

春日井市
福祉に関するアンケート調査
【結果報告書】

令和8年3月

春日井市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査概要	3
3	報告書の見方	4
II	一般高齢者調査	7
1	調査結果	8
(1)	あなたのご家族や生活状況について	8
(2)	からだを動かすことについて	12
(3)	食べることについて	16
(4)	毎日の生活について	19
(5)	現在の暮らしぶりについて	21
(6)	地域の活動について	76
(7)	たすけあいについて	98
(8)	健康について	102
(9)	認知症について	107
(10)	人生の最終段階について	110
2	機能評価の項目別結果	121
	自由記述まとめ	135
III	要支援・要介護認定者調査	138
A票	調査対象者様ご本人について	140
B票	主な介護者の方について	158
	自由記述まとめ	167
IV	障がいのある人への調査	169
(1)	障がいのあるご本人について	170
(2)	日常生活について	181
(3)	仕事や働くことについて	199
(4)	障がい者の人権について	210
(5)	家族の方への質問	236
	自由記述まとめ	243
V	一般市民調査	246
(1)	あなた自身のことについて	247
(2)	共生社会について	256
(3)	認知症について	274

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和8年度末に（仮称）春日井市総合福祉計画を策定するにあたり、対象者及び関係者の実態と意向を把握し、計画改定の基礎的な資料とすることを目的として、アンケート調査を行いました。各調査の目的は次のとおりです。

（1）一般高齢者調査

市内にお住まいの65歳以上（要支援・要介護認定者を除く）の方を対象に、介護予防をはじめとした健康に関するニーズやいきがいつくりに関する実態等を把握することを目的としています。

（2）要支援・要介護認定者調査

要支援・要介護認定を受けられた方を対象に、介護保険サービスの利用状況、利用意向等を把握するとともに、高齢者福祉施策や介護保険制度に対する意向等を把握し、高齢者福祉施策の推進や介護保険サービスの充実と持続可能な介護保険制度の運営に向けた基礎資料づくりを目的としています。

（3）障がいのある人への調査

障がい者手帳を所持している方等を対象に、障がい者及びその家族の日常生活、社会生活、障がい福祉サービスの利用状況及び今後の意向等について把握することを目的としています。

（4）一般市民調査

市内在住の18歳以上65歳未満の方を対象に、市民の生活状況等を把握することを目的としています。

2 調査概要

(1) アンケート調査の概要

区分	一般高齢者	要支援・要介護認定者	障がいのある人	一般市民
調査客体	要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方から無作為抽出	要支援・要介護の認定を受けられた方から無作為抽出	障がい者手帳を所持している方等から無作為抽出	市内在住の18歳以上65歳未満の方から無作為抽出
調査票の配布・回収	郵送配布、郵送またはWEB回答	郵送配布・郵送回収	郵送配布、郵送またはWEB回答	二次元コードを付したチラシの配布、WEB回答
調査基準日	令和7年12月1日	令和7年12月1日	令和7年12月1日	令和7年12月1日
調査期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月12日	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月12日	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月12日	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月12日

(2) アンケート調査の結果概要

区分	一般高齢者	要支援・要介護認定者	障がいのある人	一般市民
配布数 (A)	800 件	1,000 件	2,000 件	450 件
回収件数 (B)	567 件	589 件	976 件	194 件
回収率 (B/A)	70.9%	58.9%	48.8%	43.1%

※障がいのある人への調査について、問22・問23は家族への調査 (n=991) となります。

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「(number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 選択肢の記載について、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。
- 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外のクロス集計の表は、「不明・無回答」を除いて高い割合の第1位と第2位のものに網掛けをしています（第1位：**濃い網掛けに白数字**、第2位：**薄い網掛けに黒数字**）。なお、回答者(n)が10未満の場合は順位の表記を省略し、読取文の対象外としています。

- 一般高齢者調査、要支援・要介護認定者調査において、日常生活圏域は下記の15中学校区を12圏域にまとめ、報告書中では「圏域別」として記載しています。

中学校区	日常生活圏域
坂下地区	坂下地区
高森台地区	高森台・石尾台地区
石尾台地区	
藤山台地区	藤山台・岩成台地区
岩成台地区	
高蔵寺地区	高蔵寺地区
南城地区	南城地区
松原地区	松原地区
東部地区	東部地区
鷹来地区	鷹来地区
柏原地区	柏原地区
中部地区	中部地区
西部地区	西部地区
味美地区	味美・知多地区
知多地区	

Ⅱ 一般高齢者調査

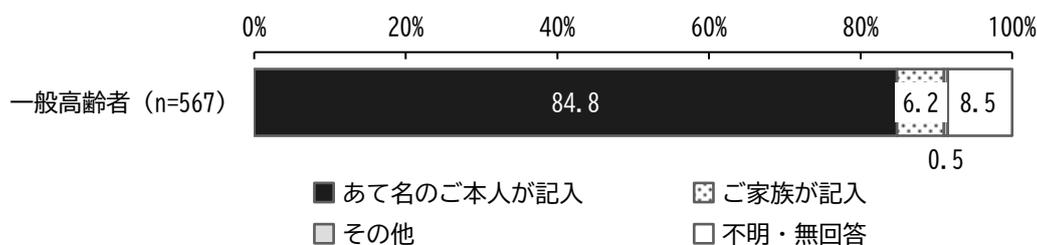
※市内在住の65歳以上（要支援・要介護認定者を除く）の方にお答えいただいています。

1 調査結果

調査票を記入されるのはどなたですか。

調査票を記入されている方は、「あて名のご本人が記入」が84.8%と最も高くなっています。

(単数回答)



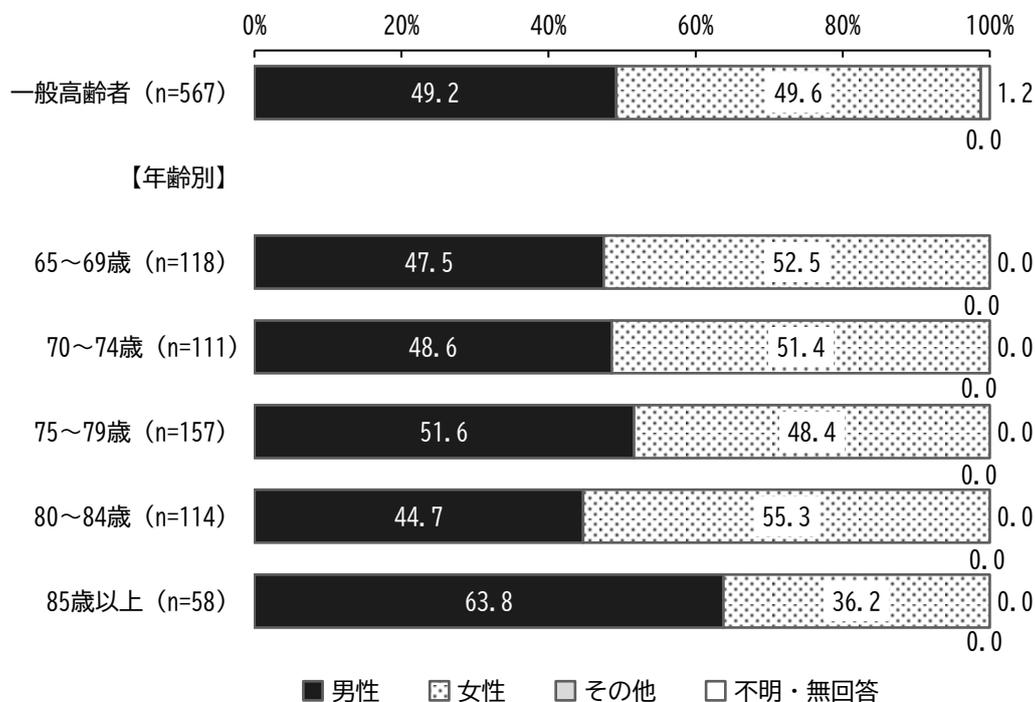
(1) あなたのご家族や生活状況について

【問1 Q1】あなたの性別はどちらですか。

性別は、「男性」が49.2%、「女性」が49.6%となっています。

年齢別の結果は次のとおりです。

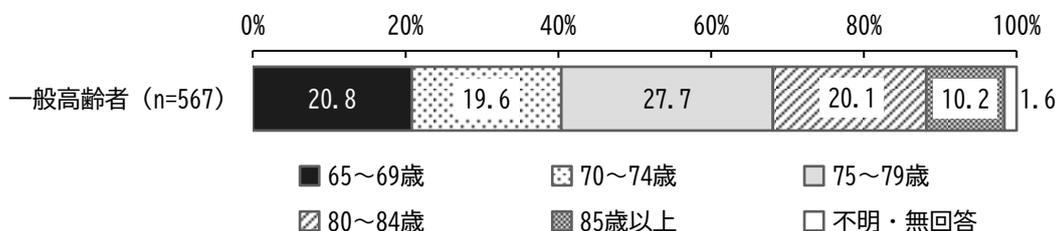
(単数回答)



【問1 Q2】あなたの年齢はおいくつですか。

年齢は、「75～79歳」が27.7%と最も高く、次いで「65～69歳」が20.8%となっています。前期高齢者（65～74歳）は40.4%、後期高齢者（75歳以上）は58.0%となっています。

（数量回答）



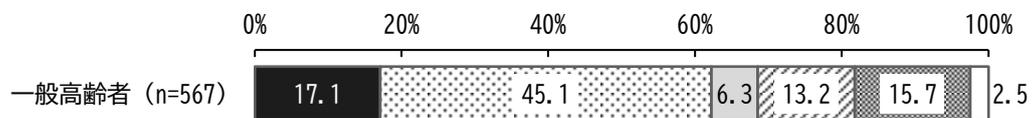
【問1 Q3】家族構成を教えてください。

家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者も65歳以上）」が45.1%と最も高く、次いで「1人暮らし」が17.1%となっています。

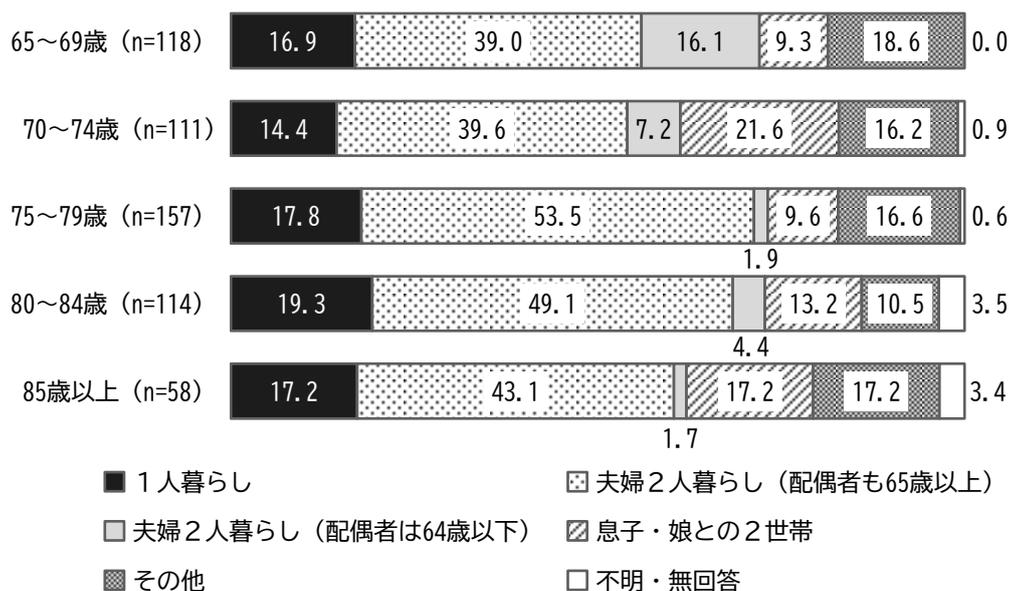
年齢別では、75～79歳で「夫婦2人暮らし（配偶者も65歳以上）」が53.5%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、いずれの年代も「1人暮らし」がそれぞれ1割台となっています。

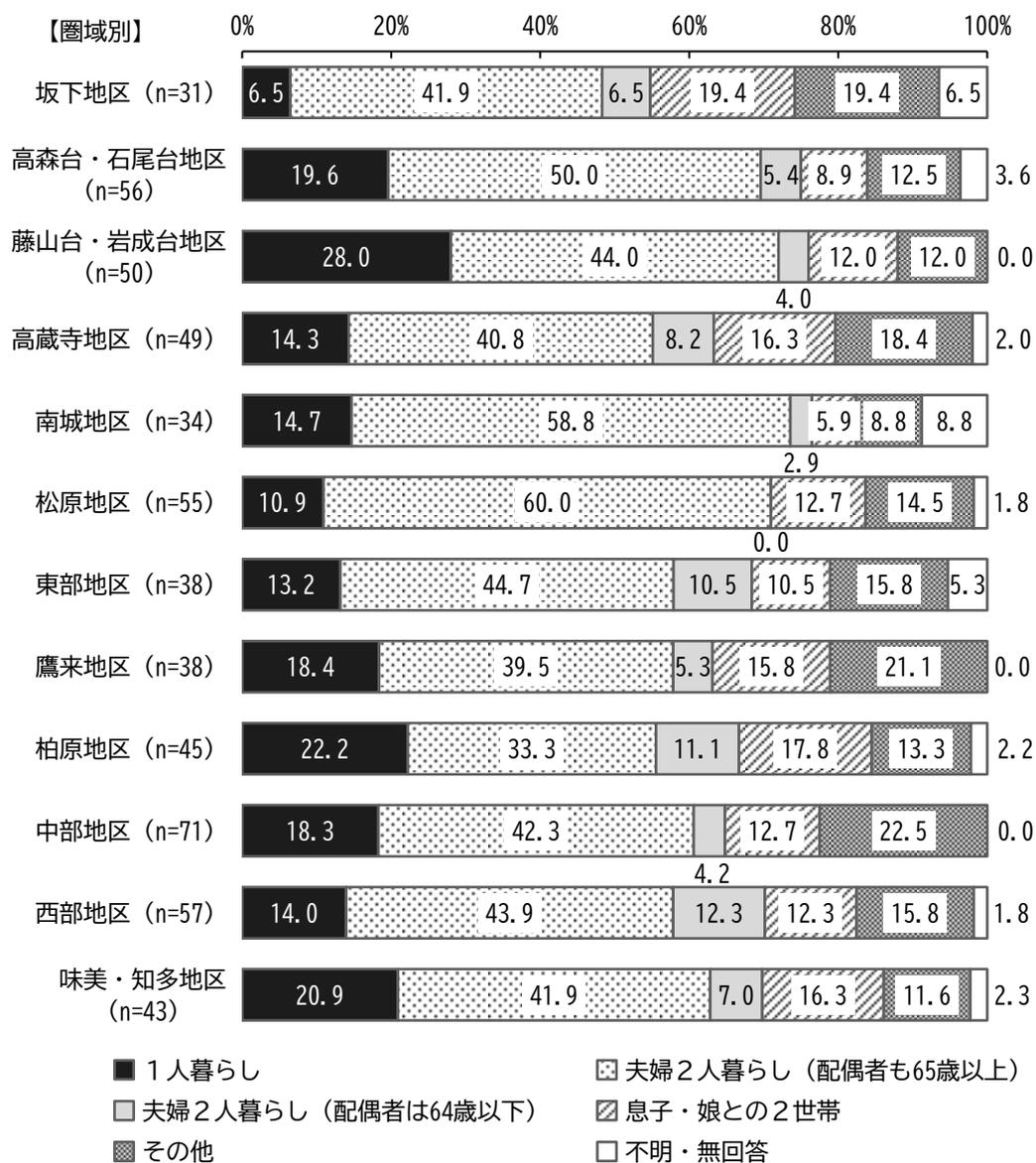
圏域別では、高森台・石尾台地区、南城地区、松原地区で「夫婦2人暮らし（配偶者も65歳以上）」がそれぞれ5～6割となっています。また、藤山台・岩成台地区、柏原地区、味美・知多地区で「1人暮らし」がそれぞれ2割台となっています。

（単数回答）



【年齢別】



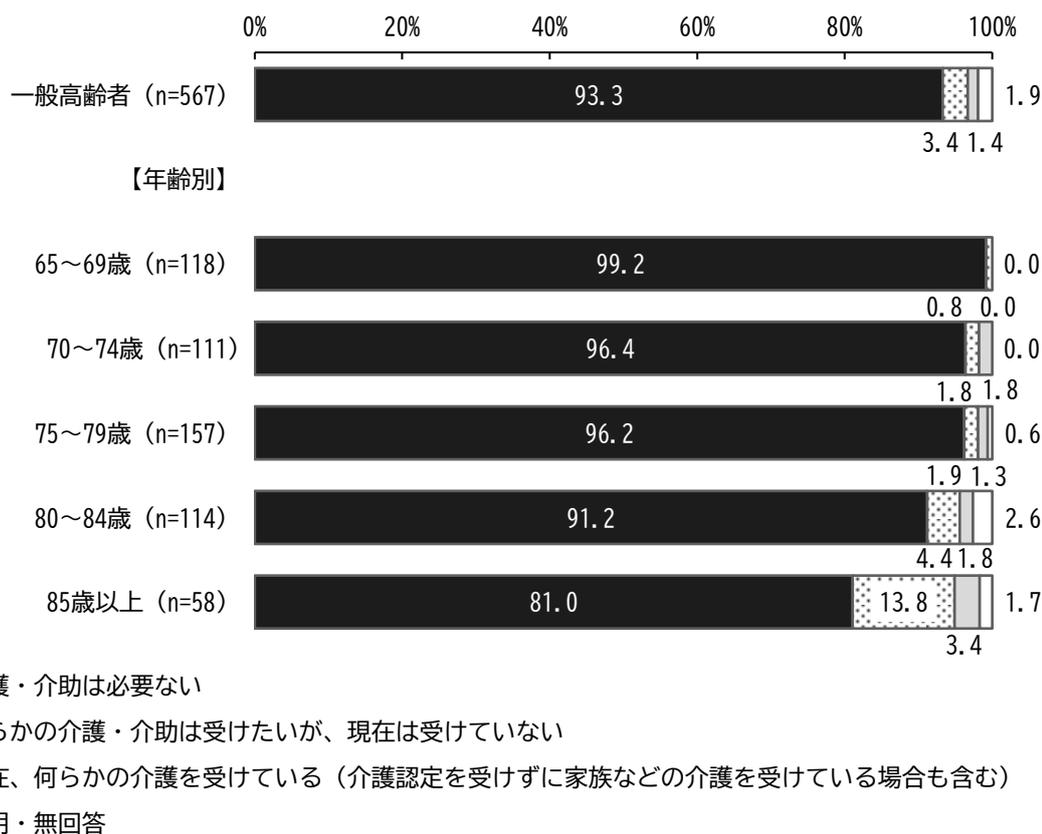


【問1 Q4】あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

介護・介助を受ける必要があるかは、「介護・介助は必要ない」が93.3%、「何らかの介護・介助は受けたいが、現在は受けていない」が3.4%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が1.4%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「介護・介助は必要ない」が低く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が高くなる傾向にあります。

(単数回答)



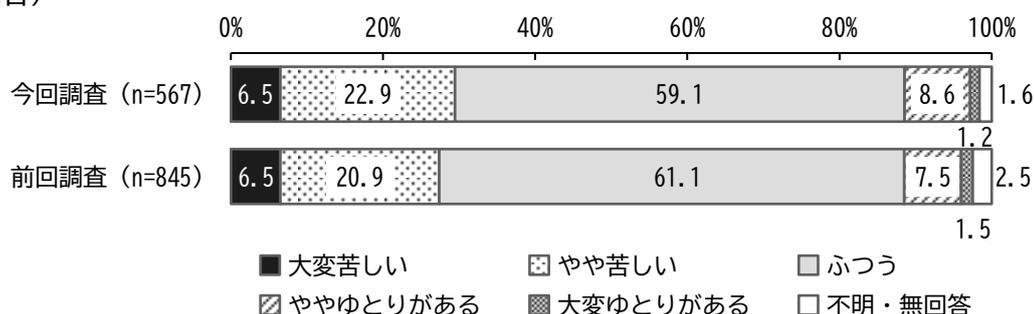
【問1 Q5】現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

*『苦しい』 = 「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合
 『ゆとりがある』 = 「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた割合

暮らしの状況は、『苦しい』が29.4%、「ふつう」が59.1%、『ゆとりがある』が9.8%となっています。

前回調査と比較すると、10ポイント以上の差はみられません。

(単数回答)



(2) からだを動かすことについて

【問2Q1】階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

【問2Q2】いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

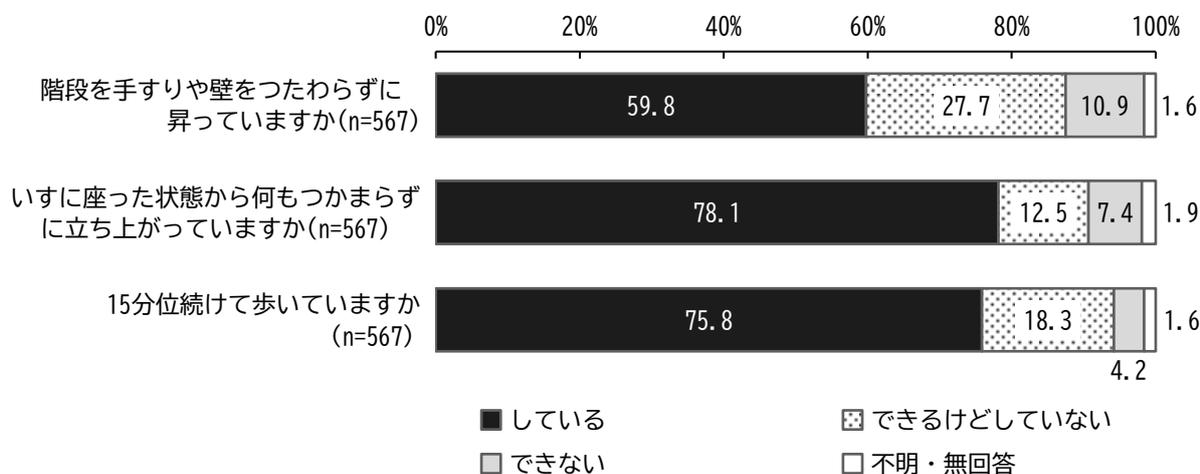
【問2Q3】15分位続けて歩いていますか。

からだを動かすことは、いずれの項目も「している」がそれぞれ最も高くなっています。

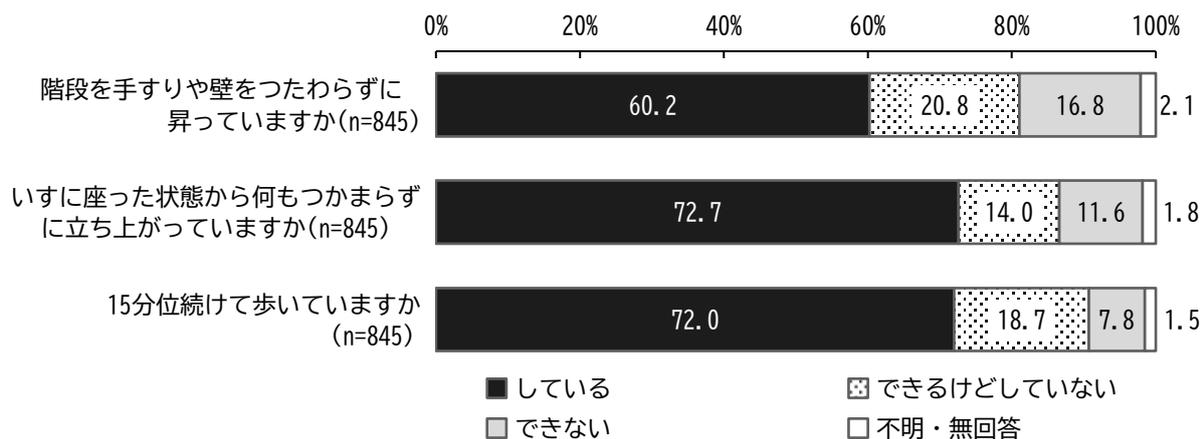
前回調査と比較すると、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」で「できるけどしていない」が6.9ポイント高くなっています。

(単数回答)

◆今回調査



◆前回調査

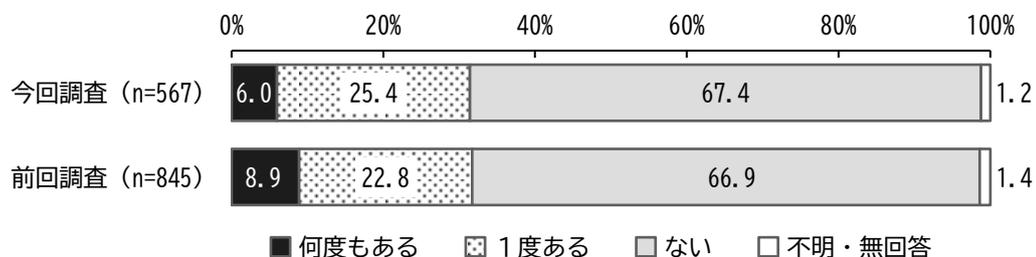


【問2Q4】過去1年間に転んだ経験がありますか。

過去1年間に転んだ経験があるかは、「何度もある」が6.0%、「1度ある」が25.4%、「ない」が67.4%となっています。

前回調査と比較すると、10ポイント以上の差はみられません。

(単数回答)



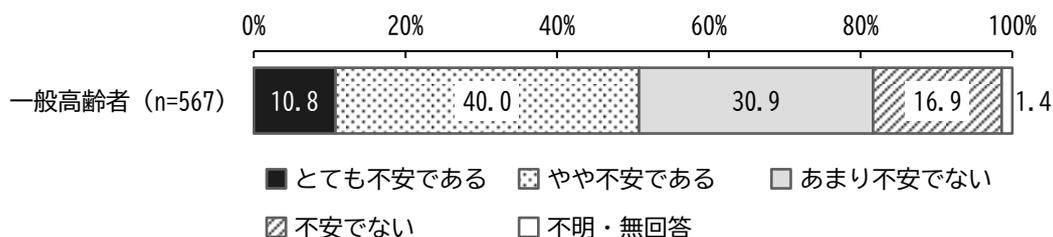
【問2Q5】転倒に対する不安は大きいですか。

* 『不安である』 = 「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた割合

『不安でない』 = 「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた割合

転倒に対する不安は、『不安である』が50.8%、『不安でない』が47.8%となっています。

(単数回答)



【問2Q6】週に1回以上は外出していますか。

1週間の外出の回数は、「週2～4回」が44.6%と最も高く、次いで「週5回以上」が41.6%となっています。なお、「ほとんど外出しない」は3.4%となっています。

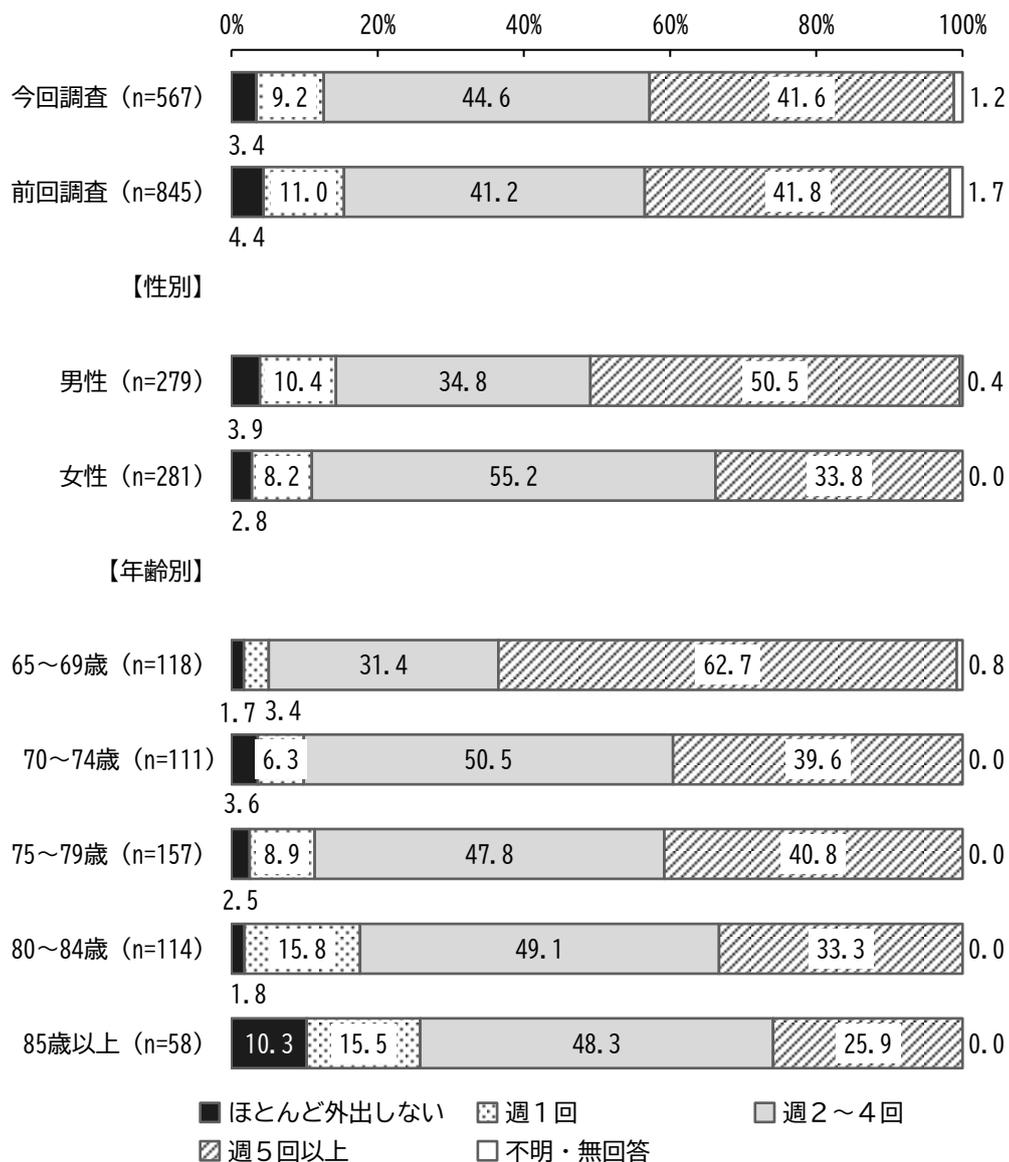
前回調査と比較すると、10ポイント以上の差はみられません。

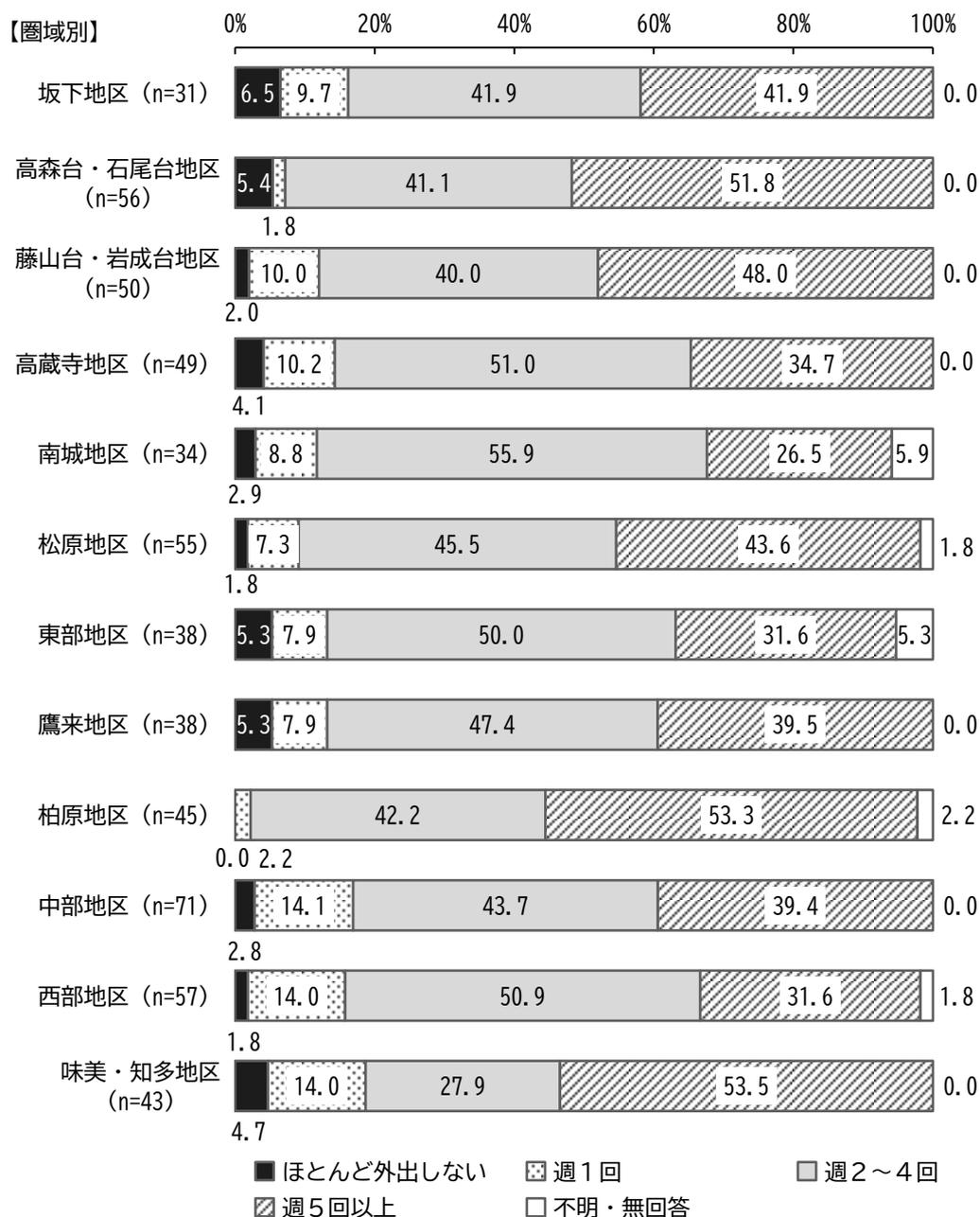
性別では、男性で「週5回以上」が50.5%、女性で「週2～4回」が55.2%と、それぞれ最も高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「週5回以上」が低くなる傾向にあります。

圏域別では、柏原地区を除いて「ほとんど外出しない」が一定数あります。

(単数回答)



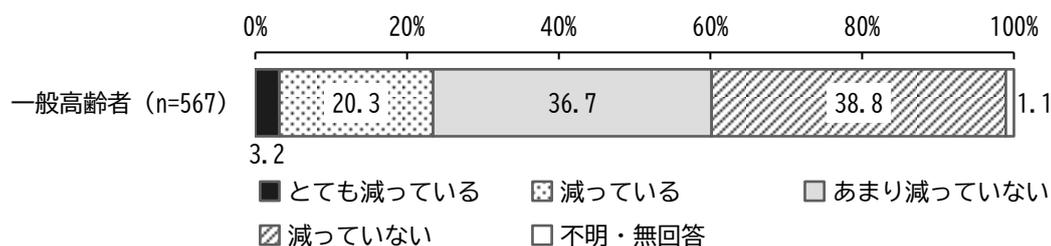


【問2Q7】 昨年の今頃と比べて外出の回数が減っていますか。

* 『減っている』 = 「とても減っている」と「減っている」を合わせた割合
 『減っていない』 = 「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた割合

外出の回数が減っているかは、『減っている』が23.5%、『減っていない』が75.5%となっています。

(単数回答)



(3) 食べることについて

【問3Q1】身長・体重

*『肥満』 = BMI「肥満(レベル1)」～「肥満(レベル4)」を合わせた割合

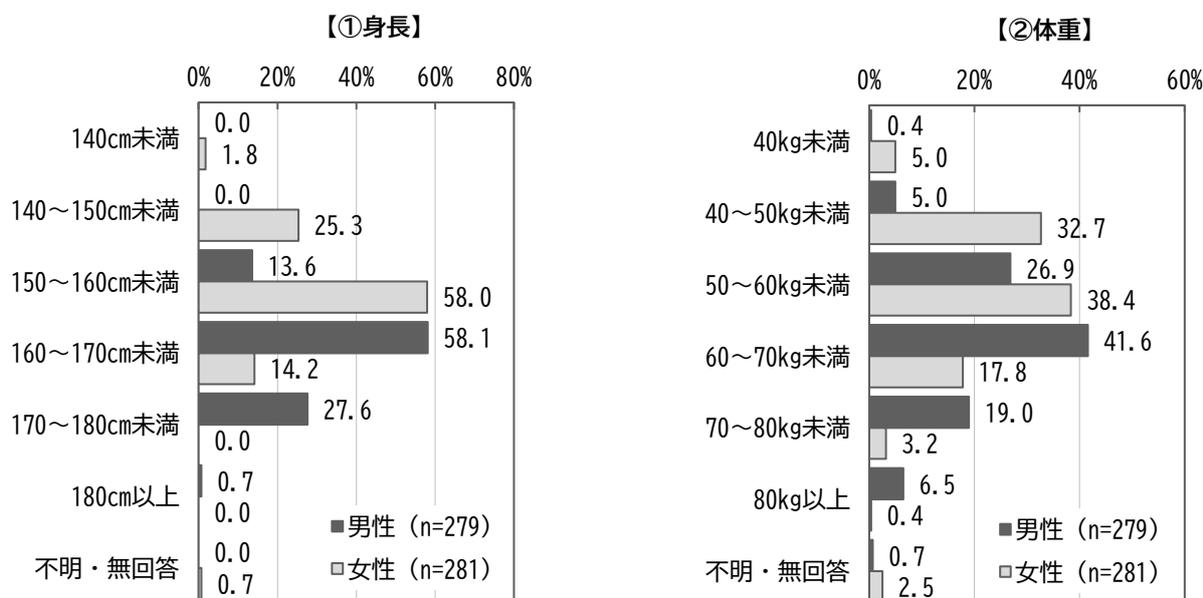
身長は、男性では「160～170cm未満」が58.1%と最も高く、次いで「170～180cm未満」が27.6%となっています。女性では、「150～160cm未満」が58.0%と最も高く、次いで「140～150cm未満」が25.3%となっています。

体重は、男性では「60～70kg未満」が41.6%と最も高く、次いで「50～60kg未満」が26.9%となっています。女性では、「50～60kg未満」が38.4%と最も高く、次いで「40～50kg未満」が32.7%となっています。

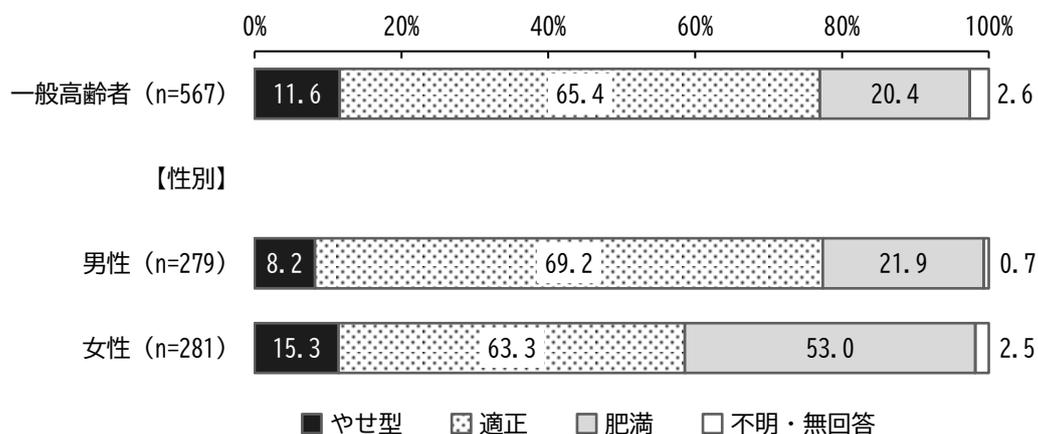
BMIは、「やせ型」が11.6%、「適正」が65.4%、「肥満」が20.4%となっています。

性別では、女性で「肥満」が53.0%と、男性と比べて31.1ポイント高くなっています。

(数量回答)



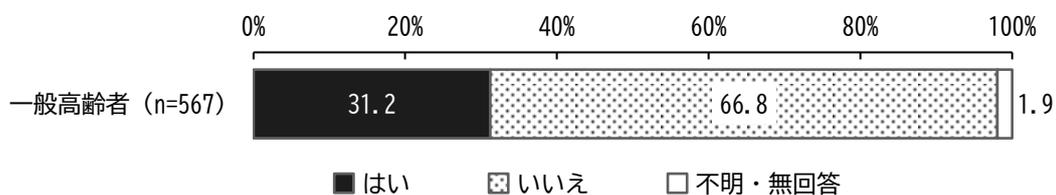
■BMI



【問3Q2】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

固いものの食べにくさは、「はい」が31.2%、「いいえ」が66.8%となっています。

(単数回答)

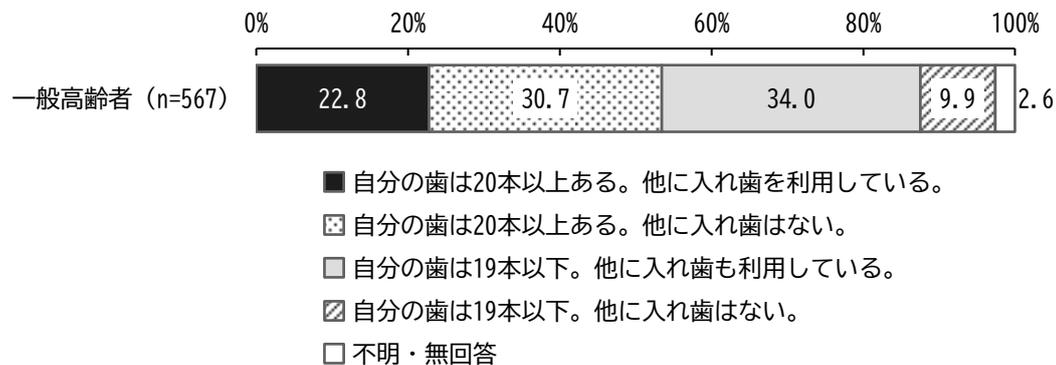


【問3Q3】歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下。他に入れ歯も利用している。」が34.0%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上ある。他に入れ歯はない。」が30.7%となっています。

(単数回答)



【問3Q4】どなたか（家族や友人を含む）と食事をとる機会がありますか。

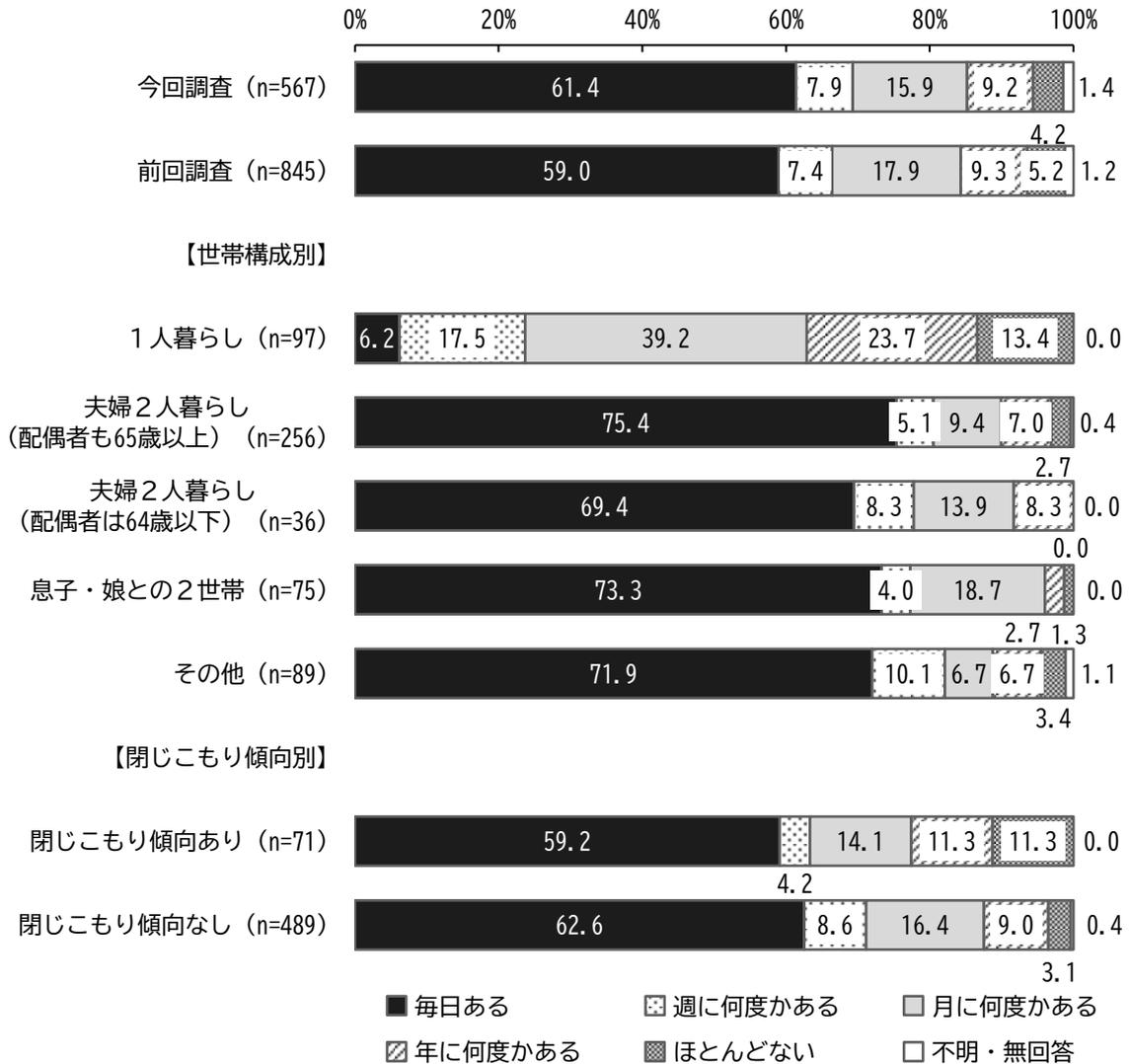
人と食事をとる機会があるかは、「毎日ある」が61.4%と最も高く、次いで「月に何度かある」が15.9%となっています。

前回調査と比較すると、10ポイント以上の差はみられません。

世帯構成別では、1人暮らしを除いて「毎日ある」がそれぞれ約7割となっています。

閉じこもり傾向別では、閉じこもり傾向ありで「ほとんどない」が11.3%と、閉じこもり傾向なしと比べて8.2ポイント高くなっています。

(単数回答)



*閉じこもり傾向とは、機能判定の評価の1つで、以下の設問と評価方法で算出します。

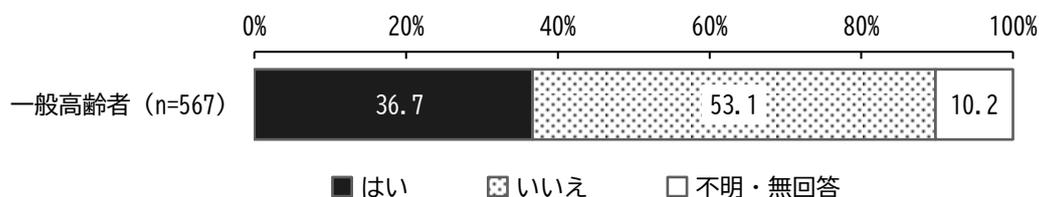
問番号	質問項目	評価方法
問2Q6	週に1回以上は外出していますか。	該当する選択肢（「ほとんど外出しない」または「週1回」）が回答された場合、該当者（閉じこもり傾向のある高齢者）とした。

(4) 毎日の生活について

【問4Q1】物忘れが多いと感じますか。

物忘れが多いと感じるかは、「はい」が36.7%、「いいえ」が53.1%となっています。

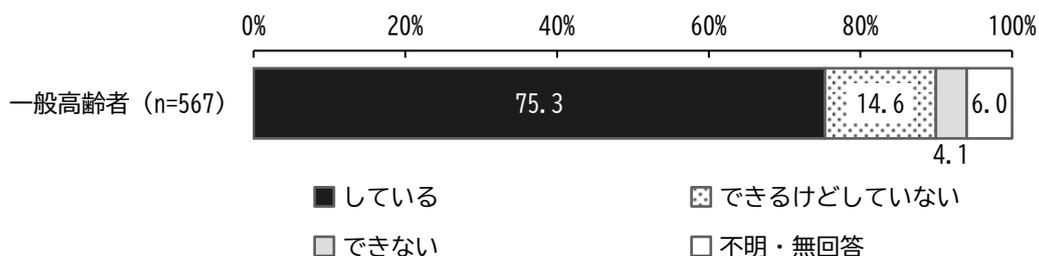
(単数回答)



【問4Q2 (1)】バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

バスや電車を使って1人で外出しているかは、「している」が75.3%、「できるけどしていない」が14.6%、「できない」が4.1%となっています。

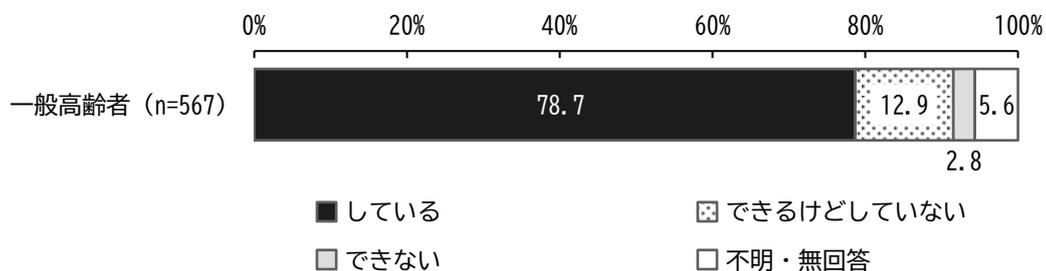
(単数回答)



【問4Q2 (2)】自分で食品・日用品の買物をしていますか。

日用品の買物を自分でしているかは、「している」が78.7%、「できるけどしていない」が12.9%、「できない」が2.8%となっています。

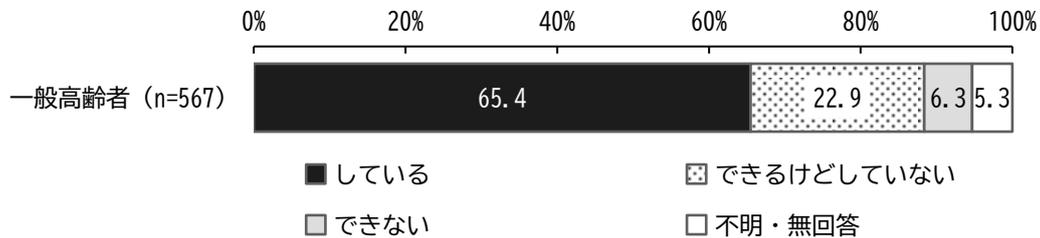
(単数回答)



【問4Q2（3）】自分で食事の用意をしていますか。

自分で食事の用意をしているかは、「している」が65.4%、「できるけどしていない」が22.9%、「できない」が6.3%となっています。

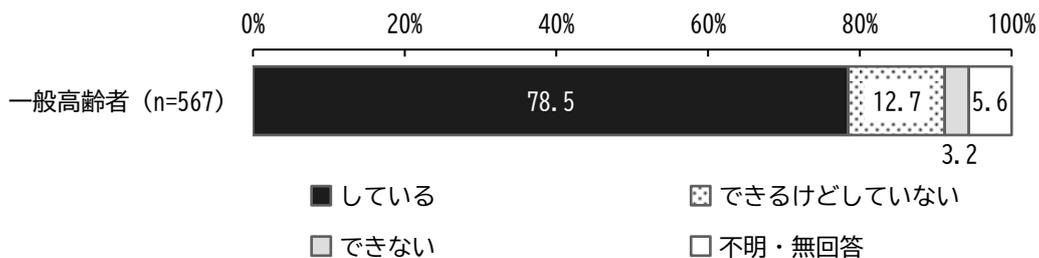
(単数回答)



【問4Q2（4）】自分で請求書の支払いをしていますか。

自分で請求書の支払いをしているかは、「している」が78.5%、「できるけどしていない」が12.7%、「できない」が3.2%となっています。

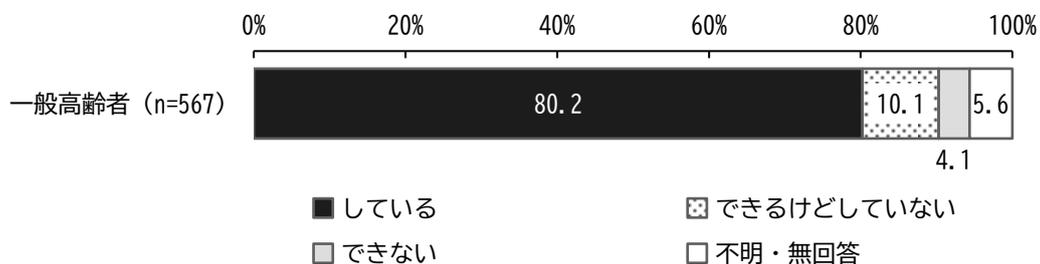
(単数回答)



【問4Q2（5）】自分で預貯金の出し入れをしていますか。

自分で預貯金の出し入れをしているかは、「している」が80.2%、「できるけどしていない」が10.1%、「できない」が4.1%となっています。

(単数回答)



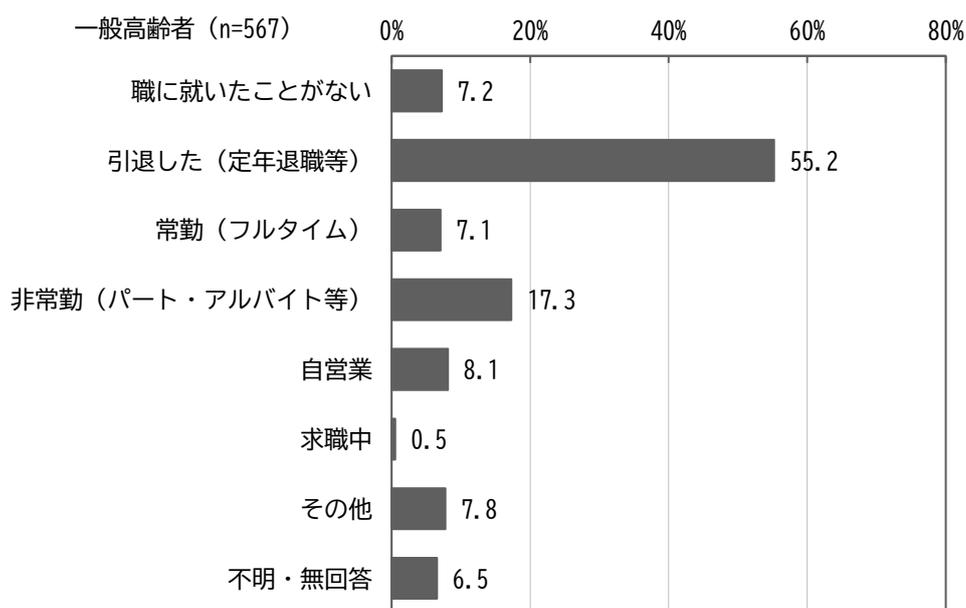
(5) 現在の暮らしぶりについて

【問5Q1】現在のあなたの就労状態はどれですか。

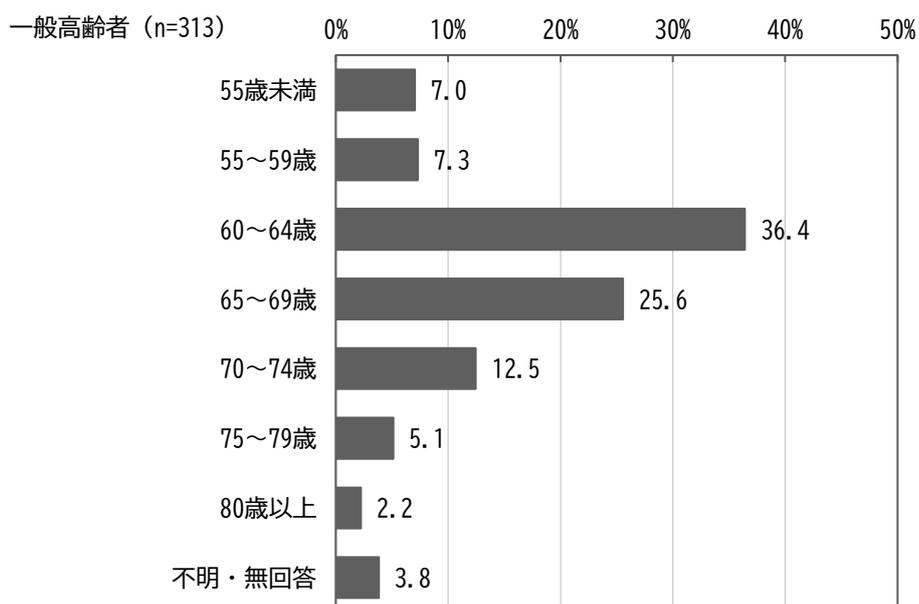
現在の就労状態は、「引退した（定年退職等）」が55.2%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が17.3%となっています。

また、引退時の年齢は、「60～64歳」が36.4%と最も高く、次いで「65～69歳」が25.6%となっています。

（複数回答）



*引退時の年齢（数量回答）

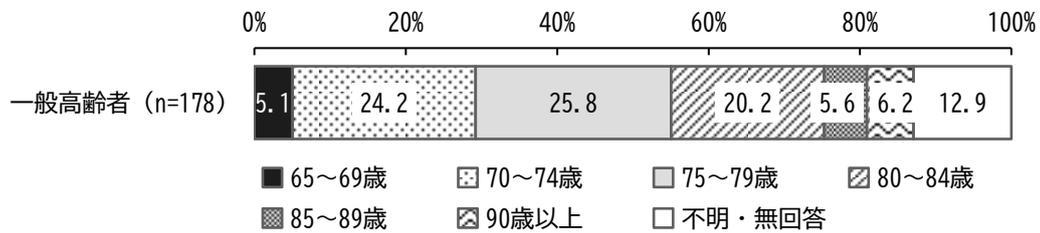


【問5Q1-1】何歳まで働きたいとお考えですか。

*【問5Q1】で「常勤」「非常勤」「自営業」のいずれかを答えた方への質問

何歳まで働きたいと考えているかは、「75～79歳」が25.8%と最も高く、次いで「70～74歳」が24.2%となっています。

(数量回答)

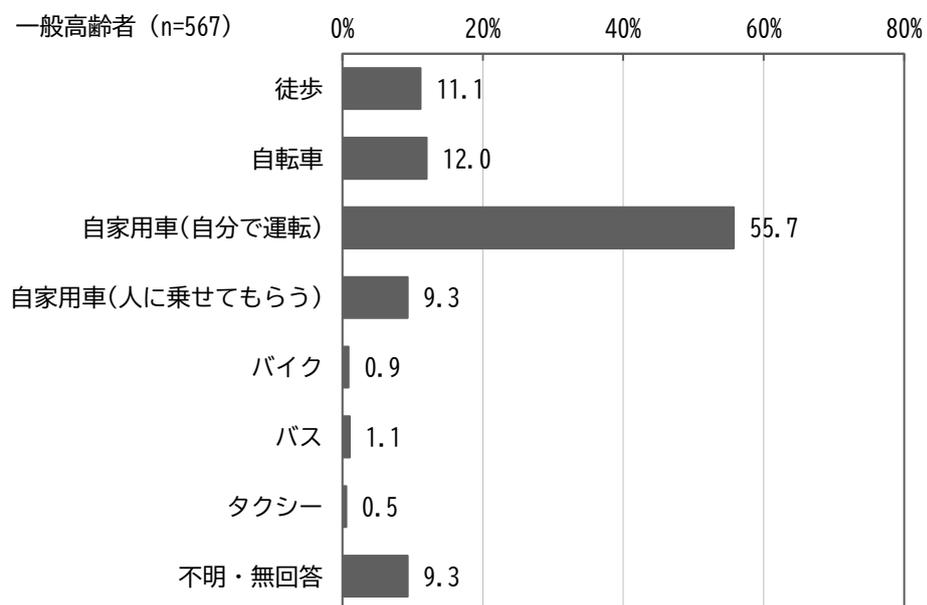


【問5Q2】あなたが次の目的で移動する場合の主な移動手段は何ですか。

(1) 買い物

買い物で移動する場合の主な移動手段は、「自家用車(自分で運転)」が55.7%と最も高く、次いで「自転車」が12.0%となっています。

(単数回答)



■年齢別

(%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
65～69歳 (n=118)	10.2	5.9	72.0	6.8	0.0	0.0	0.0	5.1
70～74歳 (n=111)	11.7	15.3	61.3	2.7	1.8	0.0	0.9	6.3
75～79歳 (n=157)	5.7	11.5	59.9	14.6	0.6	1.3	0.6	5.7
80～84歳 (n=114)	14.9	14.0	44.7	10.5	1.8	2.6	0.0	11.4
85歳以上 (n=58)	20.7	15.5	27.6	8.6	0.0	1.7	1.7	24.1

■圏域別

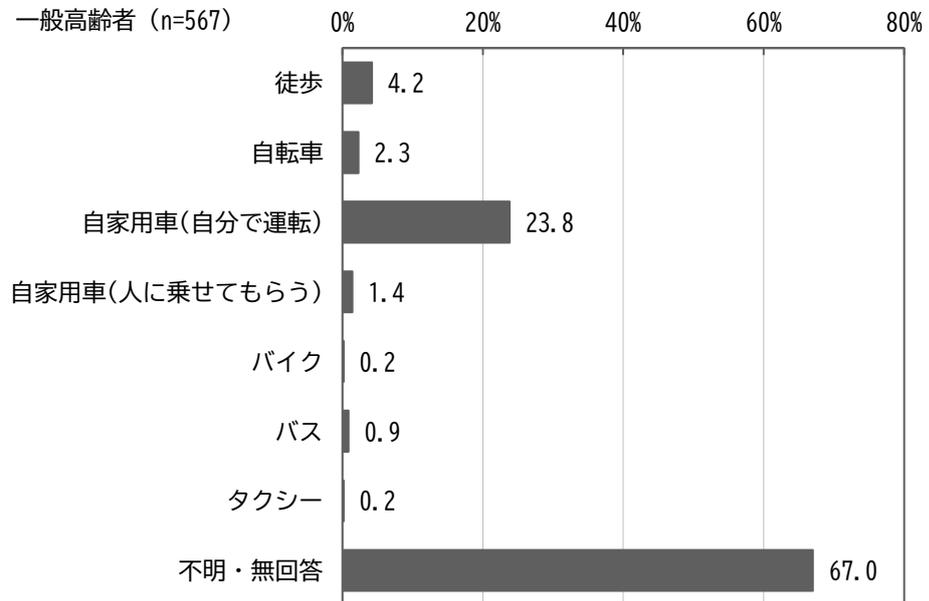
(%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
坂下地区 (n=31)	6.5	3.2	61.3	12.9	0.0	3.2	0.0	12.9
高森台・石尾台地区 (n=56)	12.5	3.6	58.9	8.9	1.8	1.8	0.0	12.5
藤山台・岩成台地区 (n=50)	16.0	8.0	58.0	6.0	2.0	4.0	2.0	4.0
高蔵寺地区 (n=49)	14.3	18.4	42.9	14.3	0.0	2.0	0.0	8.2
南城地区 (n=34)	14.7	14.7	50.0	5.9	0.0	0.0	0.0	14.7
松原地区 (n=55)	5.5	12.7	70.9	1.8	0.0	1.8	0.0	7.3
東部地区 (n=38)	5.3	23.7	44.7	10.5	0.0	0.0	2.6	13.2
鷹来地区 (n=38)	7.9	2.6	57.9	18.4	0.0	0.0	0.0	13.2
柏原地区 (n=45)	11.1	11.1	66.7	4.4	2.2	0.0	0.0	4.4
中部地区 (n=71)	23.9	16.9	42.3	7.0	0.0	0.0	0.0	9.9
西部地区 (n=57)	5.3	17.5	54.4	10.5	3.5	0.0	1.8	7.0
味美・知多地区 (n=43)	2.3	7.0	65.1	16.3	0.0	0.0	0.0	9.3

(2) 仕事

仕事で移動する場合の主な移動手段は、「自家用車(自分で運転)」が 23.8%と最も高く、次いで「徒歩」が4.2%となっています。

(単数回答)



■年齢別

(%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
65～69 歳 (n=118)	10.2	3.4	48.3	0.0	0.0	2.5	0.0	35.6
70～74 歳 (n=111)	5.4	3.6	30.6	0.9	0.9	0.9	0.0	57.7
75～79 歳 (n=157)	2.5	1.9	17.2	1.9	0.0	0.0	0.6	75.8
80～84 歳 (n=114)	1.8	0.9	9.6	1.8	0.0	0.0	0.0	86.0
85 歳以上 (n=58)	0.0	0.0	8.6	3.4	0.0	1.7	0.0	86.2

■圏域別

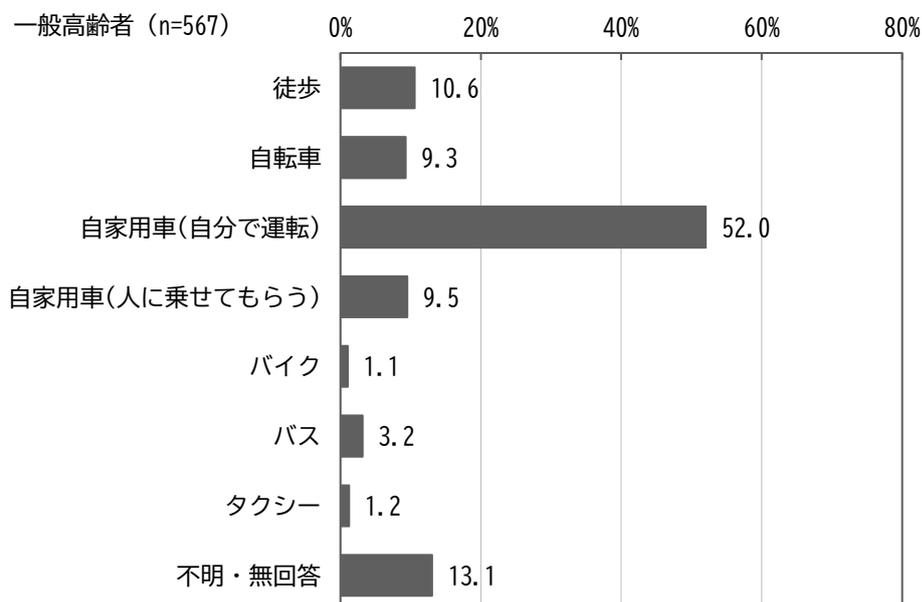
(%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
坂下地区 (n=31)	0.0	0.0	19.4	0.0	0.0	0.0	0.0	80.6
高森台・石尾台地区 (n=56)	7.1	3.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
藤山台・岩成台地区 (n=50)	2.0	4.0	22.0	0.0	0.0	2.0	0.0	70.0
高蔵寺地区 (n=49)	8.2	2.0	22.4	0.0	0.0	2.0	2.0	63.3
南城地区 (n=34)	5.9	2.9	23.5	5.9	0.0	2.9	0.0	58.8
松原地区 (n=55)	0.0	3.6	34.5	1.8	0.0	0.0	0.0	60.0
東部地区 (n=38)	2.6	2.6	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	78.9
鷹来地区 (n=38)	2.6	0.0	23.7	5.3	0.0	2.6	0.0	65.8
柏原地区 (n=45)	4.4	0.0	31.1	0.0	0.0	2.2	0.0	62.2
中部地区 (n=71)	9.9	2.8	16.9	0.0	0.0	0.0	0.0	70.4
西部地区 (n=57)	0.0	1.8	26.3	3.5	1.8	0.0	0.0	66.7
味美・知多地区 (n=43)	4.7	2.3	37.2	2.3	0.0	0.0	0.0	53.5

(3) 通院

通院で移動する場合の主な移動手段は、「自家用車(自分で運転)」が 52.0%と最も高く、次いで「徒歩」が 10.6%となっています。

(単数回答)



■年齢別

(%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
65～69歳 (n=118)	9.3	4.2	66.1	5.1	0.8	1.7	0.0	12.7
70～74歳 (n=111)	11.7	10.8	51.4	4.5	1.8	3.6	0.9	15.3
75～79歳 (n=157)	7.0	11.5	57.3	11.5	0.6	1.3	1.3	9.6
80～84歳 (n=114)	14.9	8.8	45.6	12.3	1.8	4.4	1.8	10.5
85歳以上 (n=58)	13.8	13.8	25.9	12.1	0.0	6.9	3.4	24.1

■圏域別

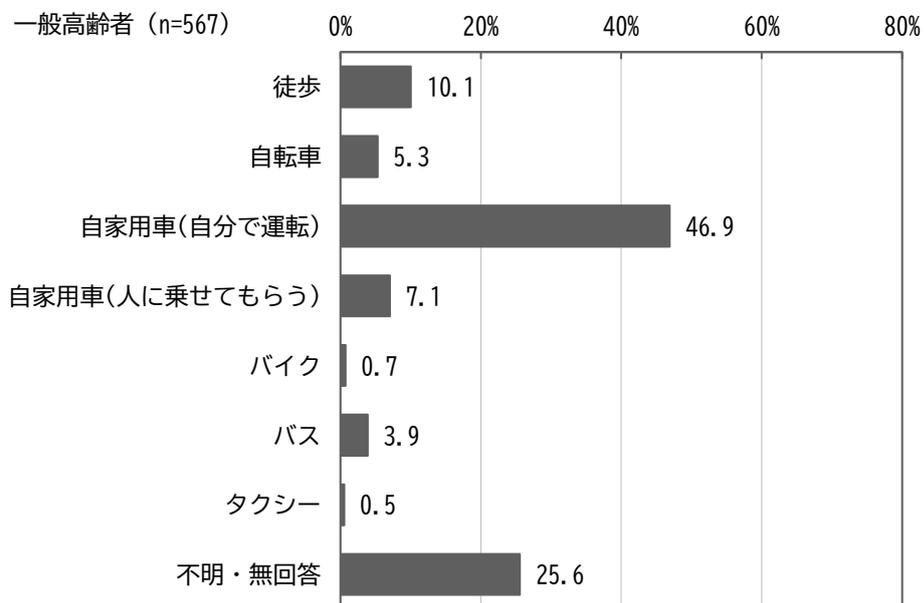
(%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
坂下地区 (n=31)	6.5	3.2	54.8	16.1	0.0	3.2	3.2	12.9
高森台・石尾台地区 (n=56)	5.4	1.8	60.7	12.5	1.8	5.4	0.0	12.5
藤山台・岩成台地区 (n=50)	18.0	6.0	54.0	2.0	2.0	8.0	2.0	8.0
高蔵寺地区 (n=49)	20.4	12.2	34.7	8.2	0.0	2.0	4.1	18.4
南城地区 (n=34)	5.9	11.8	52.9	8.8	0.0	5.9	0.0	14.7
松原地区 (n=55)	7.3	9.1	67.3	9.1	0.0	1.8	0.0	5.5
東部地区 (n=38)	10.5	10.5	34.2	13.2	2.6	2.6	2.6	23.7
鷹来地区 (n=38)	2.6	2.6	57.9	15.8	0.0	2.6	0.0	18.4
柏原地区 (n=45)	13.3	13.3	55.6	6.7	2.2	0.0	0.0	8.9
中部地区 (n=71)	22.5	8.5	45.1	5.6	0.0	5.6	0.0	12.7
西部地区 (n=57)	3.5	21.1	50.9	8.8	3.5	0.0	1.8	10.5
味美・知多地区 (n=43)	2.3	9.3	55.8	14.0	0.0	0.0	2.3	16.3

(4) 友人との交流

友人との交流で移動する場合の主な移動手段は、「自家用車(自分で運転)」が46.9%と最も高く、次いで「徒歩」が10.1%となっています。

(単数回答)



■年齢別

(%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
65～69歳 (n=118)	8.5	0.8	66.9	5.9	0.0	2.5	0.8	14.4
70～74歳 (n=111)	9.9	3.6	56.8	8.1	1.8	1.8	0.0	18.0
75～79歳 (n=157)	7.6	5.7	47.8	7.0	0.6	6.4	0.6	24.2
80～84歳 (n=114)	12.3	8.8	33.3	8.8	0.9	3.5	0.0	32.5
85歳以上 (n=58)	15.5	8.6	15.5	3.4	0.0	5.2	1.7	50.0

■圏域別

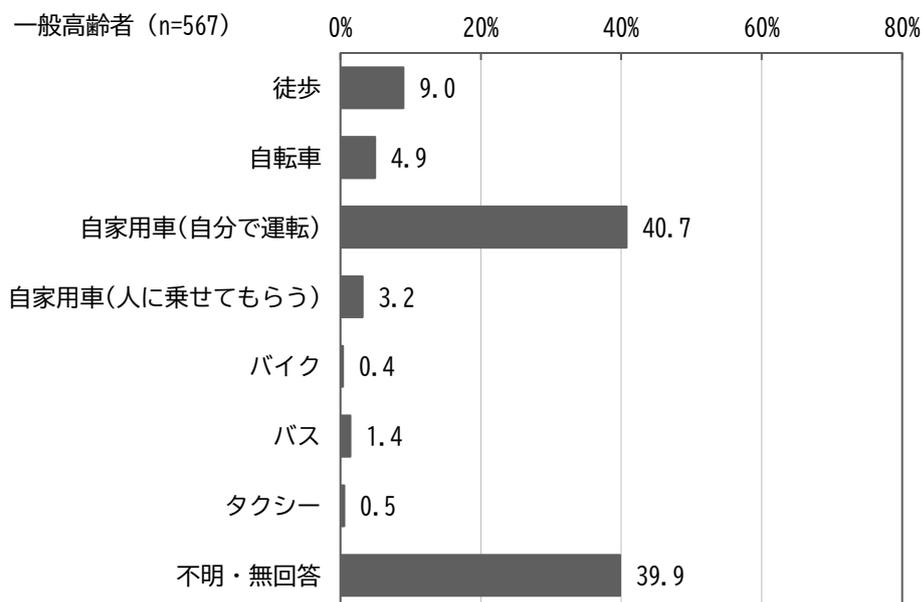
(%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
坂下地区 (n=31)	9.7	0.0	38.7	6.5	0.0	3.2	0.0	41.9
高森台・石尾台地区 (n=56)	5.4	1.8	48.2	14.3	0.0	7.1	0.0	23.2
藤山台・岩成台地区 (n=50)	10.0	0.0	44.0	8.0	2.0	10.0	0.0	26.0
高蔵寺地区 (n=49)	20.4	4.1	42.9	6.1	0.0	2.0	2.0	22.4
南城地区 (n=34)	5.9	5.9	44.1	5.9	0.0	2.9	0.0	35.3
松原地区 (n=55)	9.1	7.3	54.5	1.8	0.0	1.8	1.8	23.6
東部地区 (n=38)	7.9	13.2	36.8	10.5	0.0	5.3	0.0	26.3
鷹来地区 (n=38)	7.9	2.6	55.3	10.5	0.0	2.6	0.0	21.1
柏原地区 (n=45)	13.3	8.9	60.0	0.0	2.2	0.0	0.0	15.6
中部地区 (n=71)	12.7	5.6	43.7	8.5	0.0	2.8	0.0	26.8
西部地区 (n=57)	5.3	8.8	42.1	8.8	3.5	5.3	1.8	24.6
味美・知多地区 (n=43)	11.6	4.7	51.2	2.3	0.0	2.3	0.0	27.9

(5) 趣味

趣味で移動する場合の主な移動手段は、「自家用車(自分で運転)」が 40.7%と最も高く、次いで「徒歩」が9.0%となっています。

(単数回答)



■年齢別 (%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
65～69歳 (n=118)	11.0	2.5	58.5	2.5	0.0	1.7	0.8	22.9
70～74歳 (n=111)	3.6	6.3	48.6	3.6	0.9	1.8	0.0	35.1
75～79歳 (n=157)	7.6	3.2	40.8	4.5	0.0	1.3	0.6	42.0
80～84歳 (n=114)	10.5	7.9	28.9	1.8	0.9	0.9	0.9	48.2
85歳以上 (n=58)	15.5	5.2	15.5	1.7	0.0	1.7	0.0	60.3

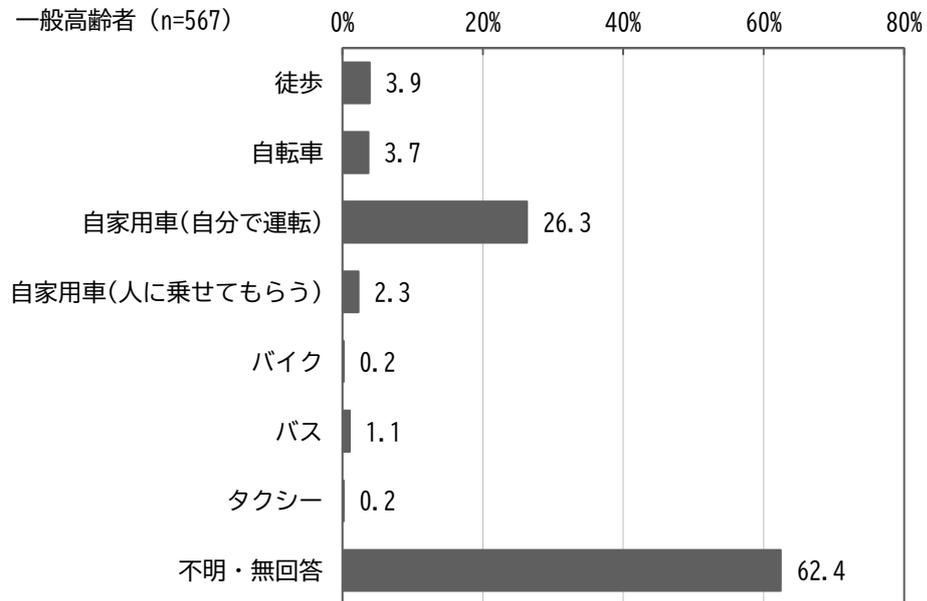
■圏域別 (%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
坂下地区 (n=31)	9.7	0.0	35.5	3.2	0.0	0.0	0.0	51.6
高森台・石尾台地区 (n=56)	10.7	3.6	50.0	3.6	1.8	0.0	0.0	30.4
藤山台・岩成台地区 (n=50)	10.0	4.0	48.0	4.0	0.0	6.0	0.0	28.0
高蔵寺地区 (n=49)	6.1	4.1	42.9	6.1	0.0	2.0	2.0	36.7
南城地区 (n=34)	5.9	0.0	32.4	2.9	0.0	2.9	0.0	55.9
松原地区 (n=55)	5.5	7.3	43.6	0.0	0.0	1.8	1.8	40.0
東部地区 (n=38)	10.5	10.5	28.9	7.9	0.0	0.0	0.0	42.1
鷹来地区 (n=38)	7.9	2.6	44.7	2.6	0.0	2.6	0.0	39.5
柏原地区 (n=45)	6.7	6.7	48.9	0.0	2.2	0.0	0.0	35.6
中部地区 (n=71)	14.1	5.6	33.8	4.2	0.0	1.4	0.0	40.8
西部地区 (n=57)	10.5	3.5	35.1	1.8	0.0	0.0	1.8	47.4
味美・知多地区 (n=43)	7.0	9.3	41.9	2.3	0.0	0.0	0.0	39.5

(6) 習い事

習い事で移動する場合の主な移動手段は、「自家用車(自分で運転)」が 26.3%と最も高く、次いで「徒歩」が3.9%となっています。

(単数回答)



■年齢別

(%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
65～69 歳 (n=118)	5.1	0.8	44.1	1.7	0.0	1.7	0.0	46.6
70～74 歳 (n=111)	3.6	6.3	28.8	3.6	0.0	0.9	0.0	56.8
75～79 歳 (n=157)	3.2	1.9	24.8	3.2	0.6	0.6	0.6	65.0
80～84 歳 (n=114)	3.5	5.3	17.5	0.9	0.0	0.9	0.0	71.9
85 歳以上 (n=58)	3.4	5.2	6.9	1.7	0.0	1.7	0.0	81.0

■圏域別

(%)

	徒歩	自転車	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (人に乗せてもらう)	バイク	バス	タクシー	不明・無回答
坂下地区 (n=31)	9.7	0.0	22.6	3.2	0.0	0.0	0.0	64.5
高森台・石尾台地区 (n=56)	3.6	3.6	28.6	3.6	0.0	0.0	0.0	60.7
藤山台・岩成台地区 (n=50)	4.0	2.0	36.0	2.0	2.0	2.0	0.0	52.0
高蔵寺地区 (n=49)	6.1	8.2	32.7	0.0	0.0	2.0	2.0	49.0
南城地区 (n=34)	5.9	5.9	23.5	0.0	0.0	2.9	0.0	61.8
松原地区 (n=55)	3.6	7.3	34.5	1.8	0.0	1.8	0.0	50.9
東部地区 (n=38)	7.9	5.3	13.2	2.6	0.0	2.6	0.0	68.4
鷹来地区 (n=38)	0.0	2.6	26.3	5.3	0.0	2.6	0.0	63.2
柏原地区 (n=45)	4.4	4.4	26.7	4.4	0.0	0.0	0.0	60.0
中部地区 (n=71)	4.2	1.4	16.9	2.8	0.0	0.0	0.0	74.6
西部地区 (n=57)	0.0	0.0	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	78.9
味美・知多地区 (n=43)	0.0	4.7	32.6	2.3	0.0	0.0	0.0	60.5

【問5Q3】あなたが外出する際に、次のことについて感じたことがありますか。

* 『感じる』 = 「よく感じる」と「たまに感じる」を合わせた割合
 『感じない』 = 「ほとんど感じない」と「感じない」を合わせた割合

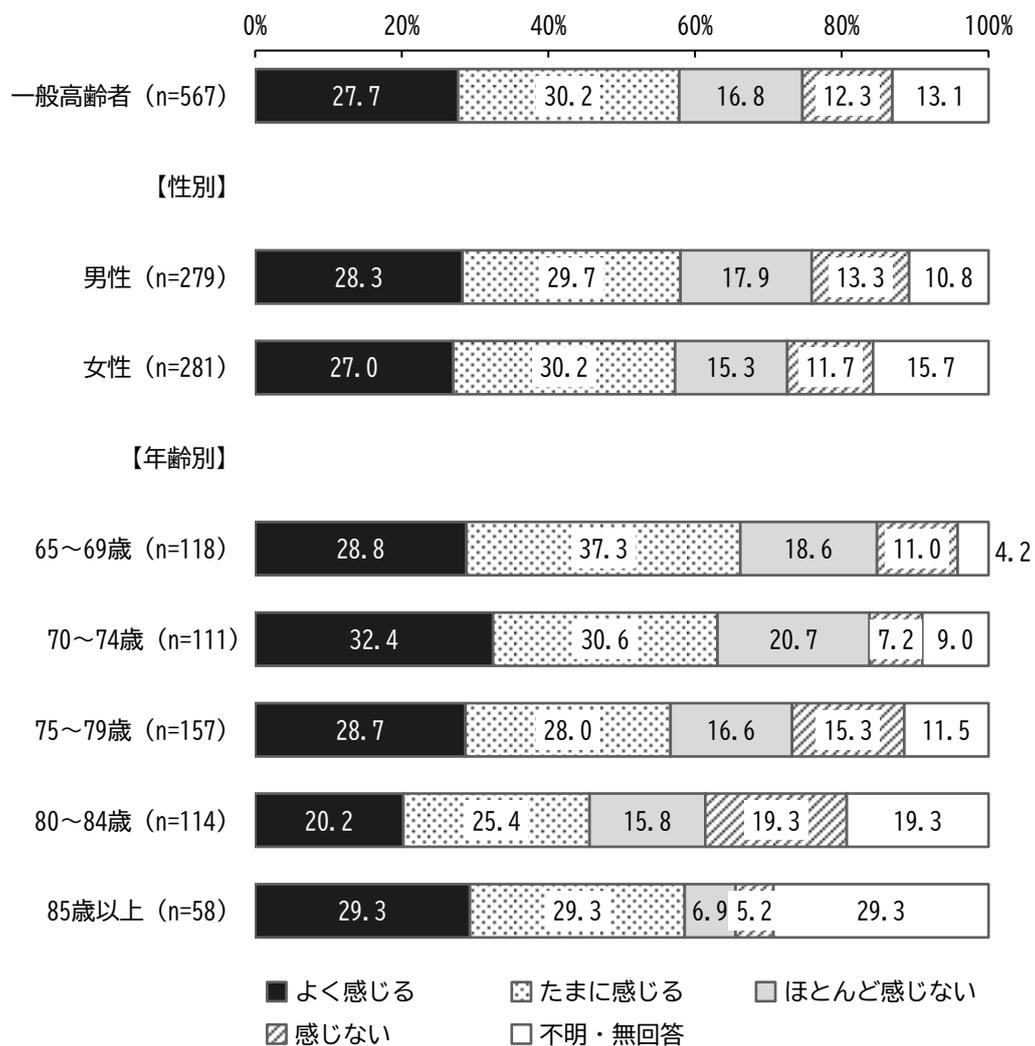
(1) 外出するための交通費が高い

外出するための交通費が高いと感じるかは、『感じる』が57.9%、『感じない』が29.1%となっています。

性別では、男性、女性ともに『感じる』がそれぞれ約6割となっています。

年齢別では、65～69歳、70～74歳で『感じる』がそれぞれ6割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



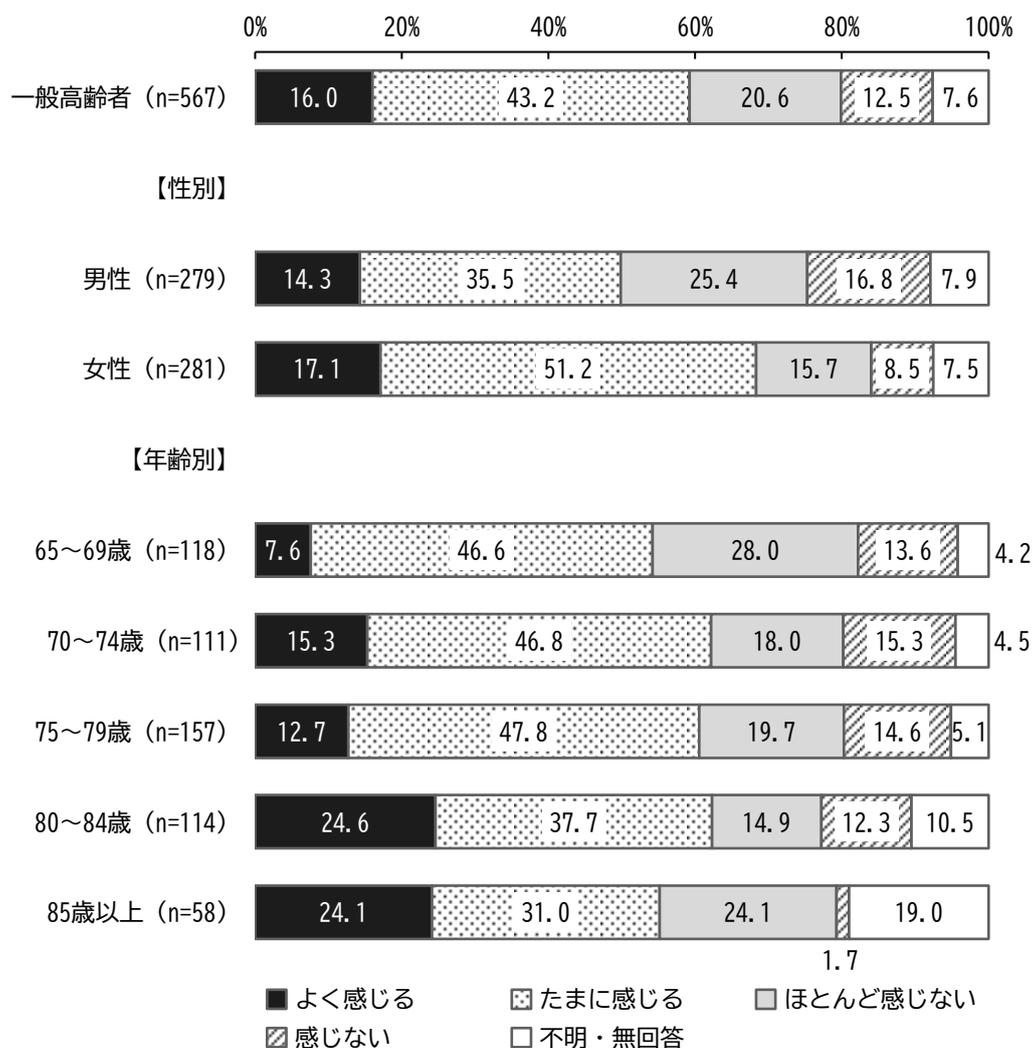
(2) 外出すると体が疲れやすい

外出すると体が疲れやすいと感じるかは、『感じる』が59.2%、『感じない』が33.1%となっています。

性別では、女性で『感じる』が68.3%と、男性と比べて18.5ポイント高くなっています。

年齢別では、70～74歳、75～79歳、80～84歳で『感じる』がそれぞれ6割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



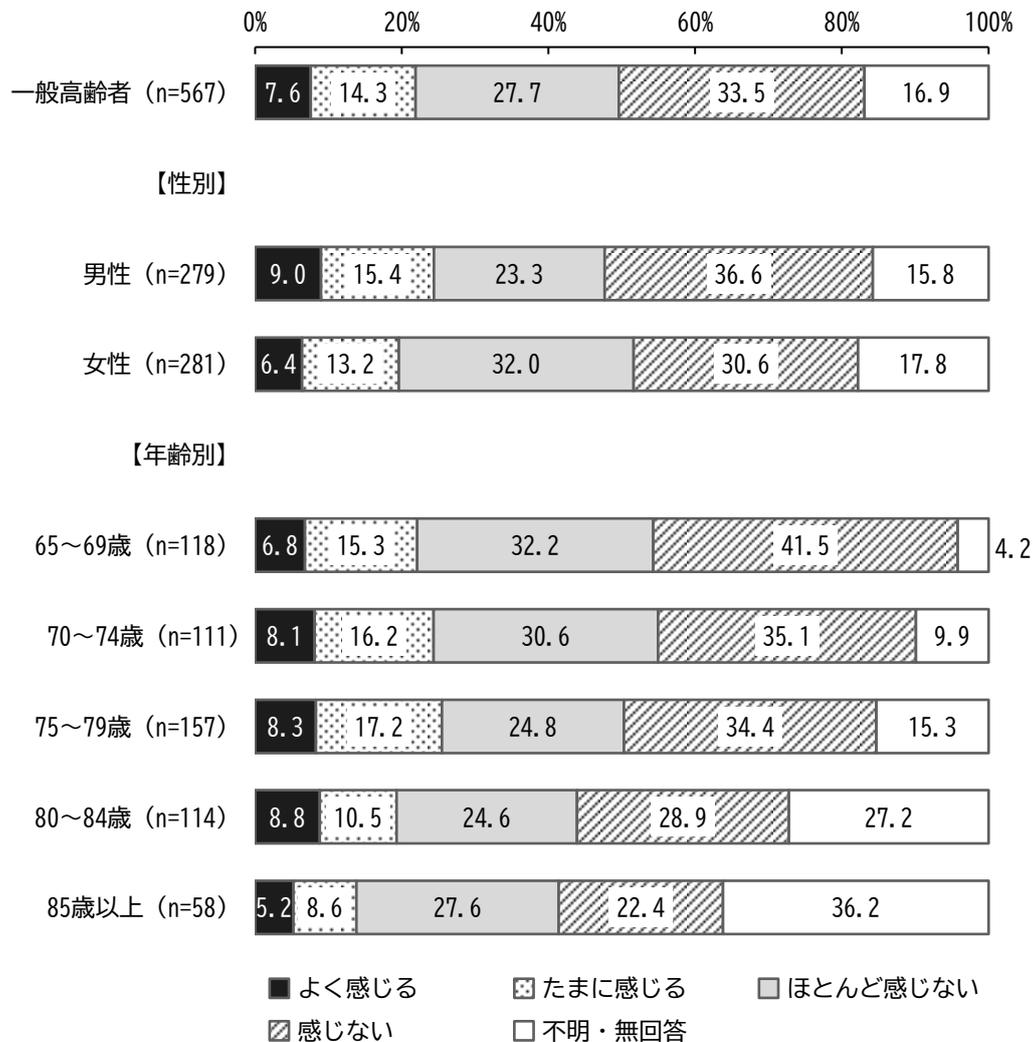
(3) 一緒に出かける人がいない

一緒に出かける人がいないと感じるかは、『感じる』が21.9%、『感じない』が61.2%となっています。

性別では、男性、女性ともに『感じる』がそれぞれ約2割となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『感じない』が概ね低くなる傾向にあります。

(単数回答)



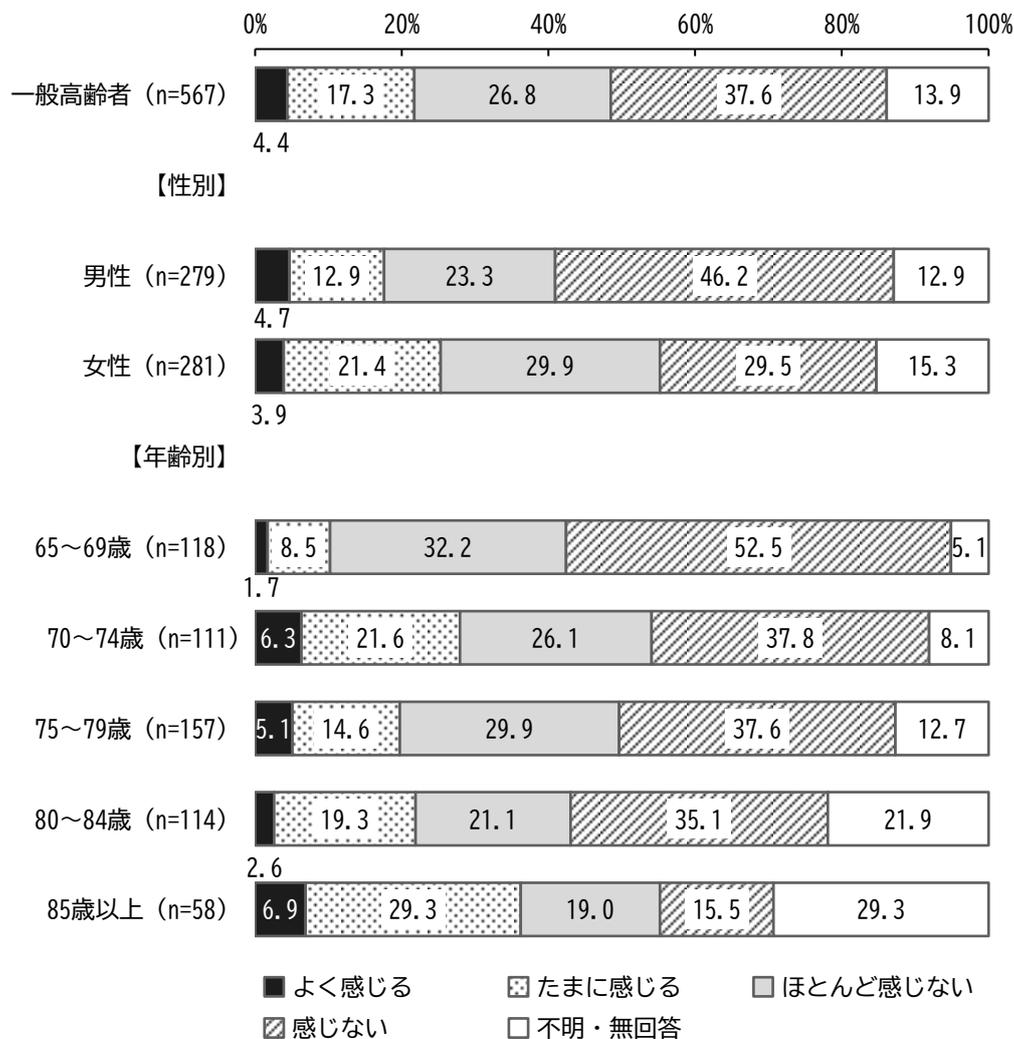
(4) 外出したいと思うことがない

外出したいと思うことがないと感じるかは、『感じる』が21.7%、『感じない』が64.4%となっています。

性別では、女性で『感じる』が25.3%と、男性と比べて7.7ポイント高くなっています。

年齢別では、85歳以上で『感じる』が36.2%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



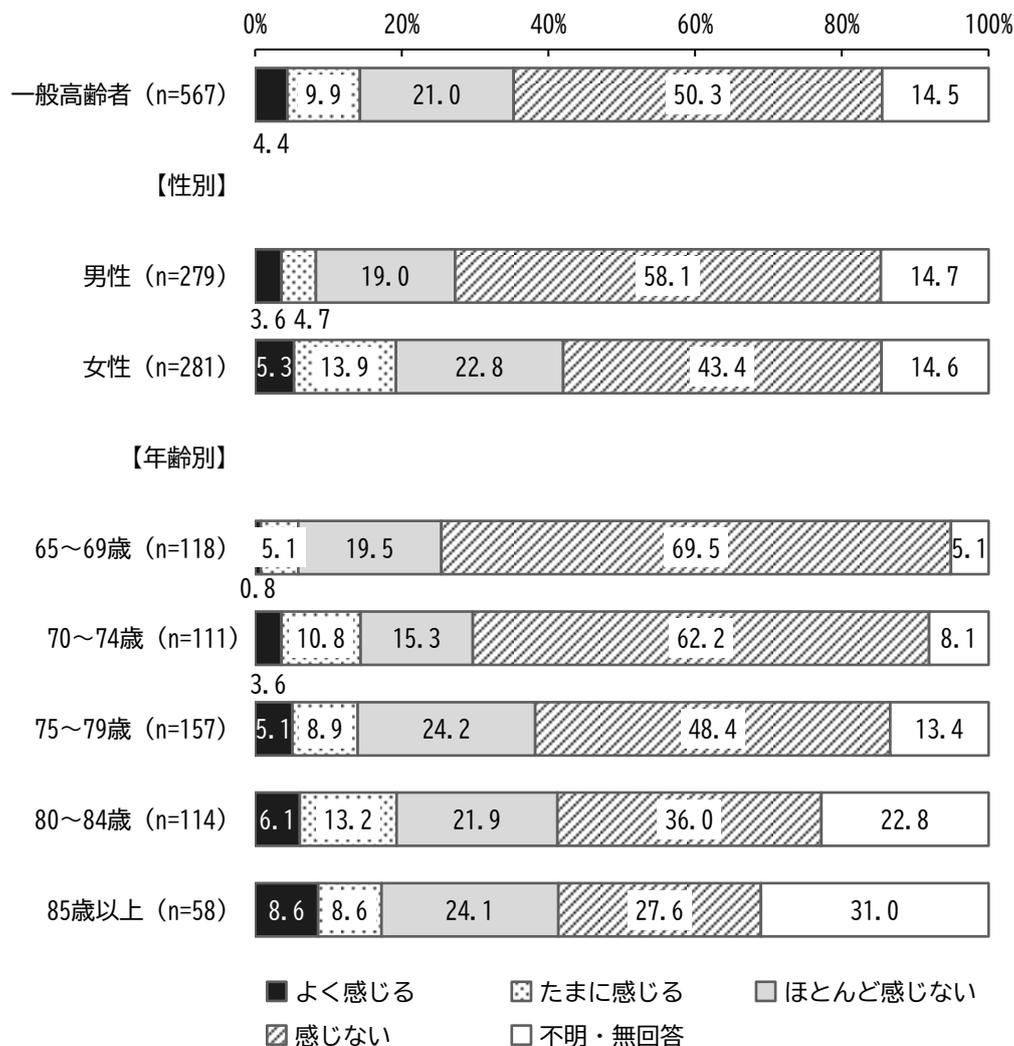
(5) 外出したくても移動手段がない

外出したくても移動手段がないと感じるかは、『感じる』が14.3%、『感じない』が71.3%となっています。

性別では、女性で『感じる』が19.2%と、男性と比べて10.9ポイント高くなっています。

年齢別では、65～69歳を除いて『感じる』がそれぞれ1割台となっています。

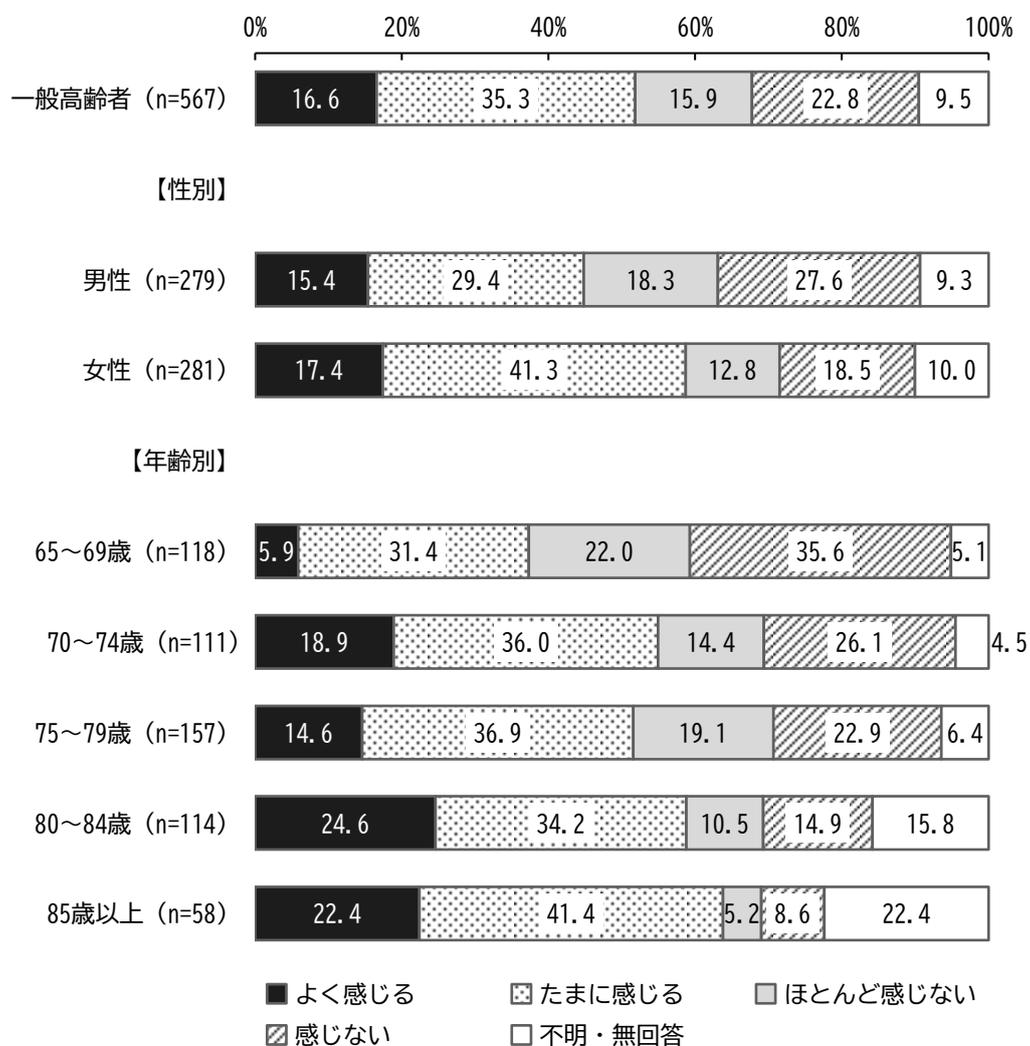
(単数回答)



(6) 坂道や段差がづらい

坂道や段差がづらいと感じるかは、『感じる』が51.9%、『感じない』が38.7%となっています。性別では、女性で『感じる』が58.7%と、男性と比べて13.9ポイント高くなっています。年齢別では、85歳以上で『感じる』が63.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



【問5Q4】あなたはスマートフォンやパソコンなどの通信機器を何に利用していますか。

* 『使う』 = 「よく使う」と「たまに使う」を合わせた割合
 『使わない』 = 「あまり使わない」と「使わない」を合わせた割合

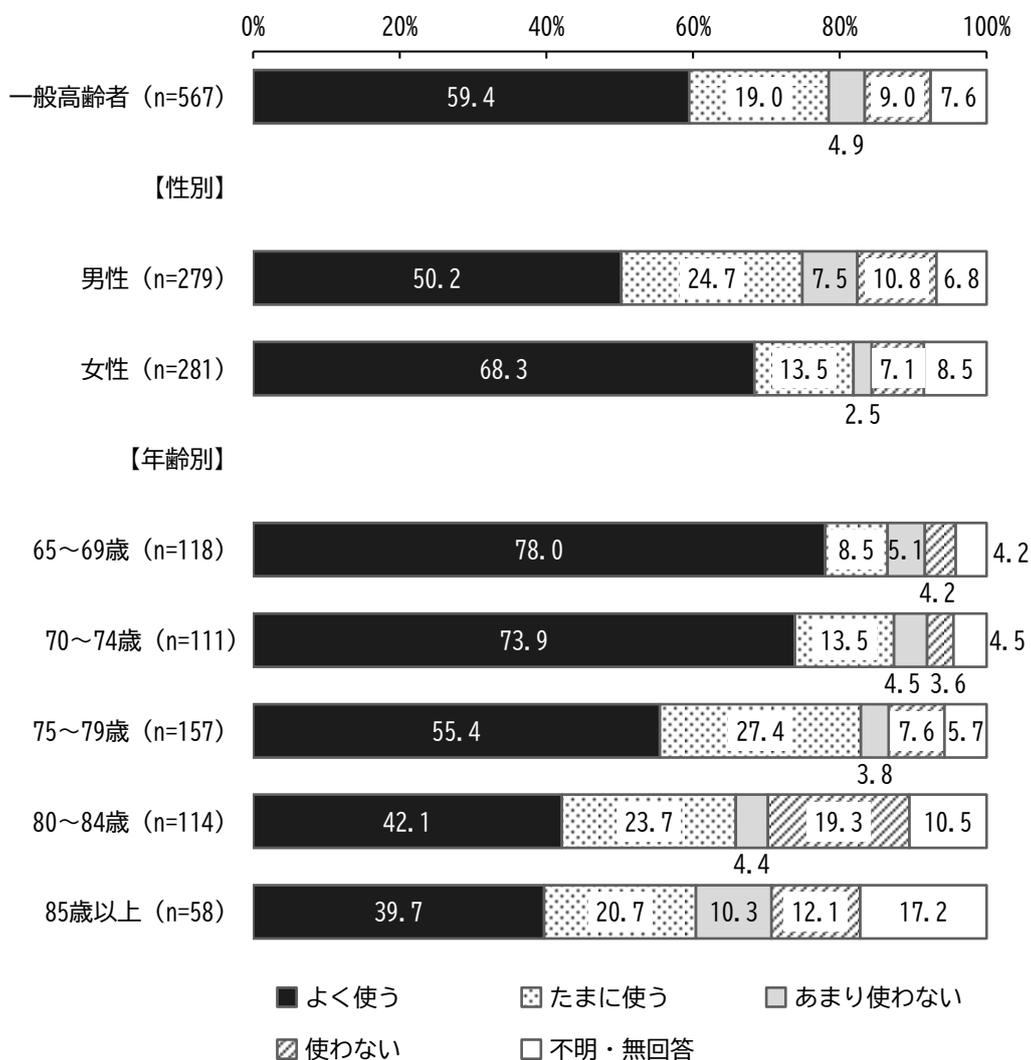
(1) 家族・友人などと連絡をとる

家族・友人などと連絡をとるために利用しているかは、『使う』が78.4%、『使わない』が13.9%となっています。

性別では、女性で『使う』が81.8%と、男性と比べて6.9ポイント高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『使う』が低くなる傾向にあり、80～84歳、85歳以上でそれぞれ6割台となっています。

(単数回答)



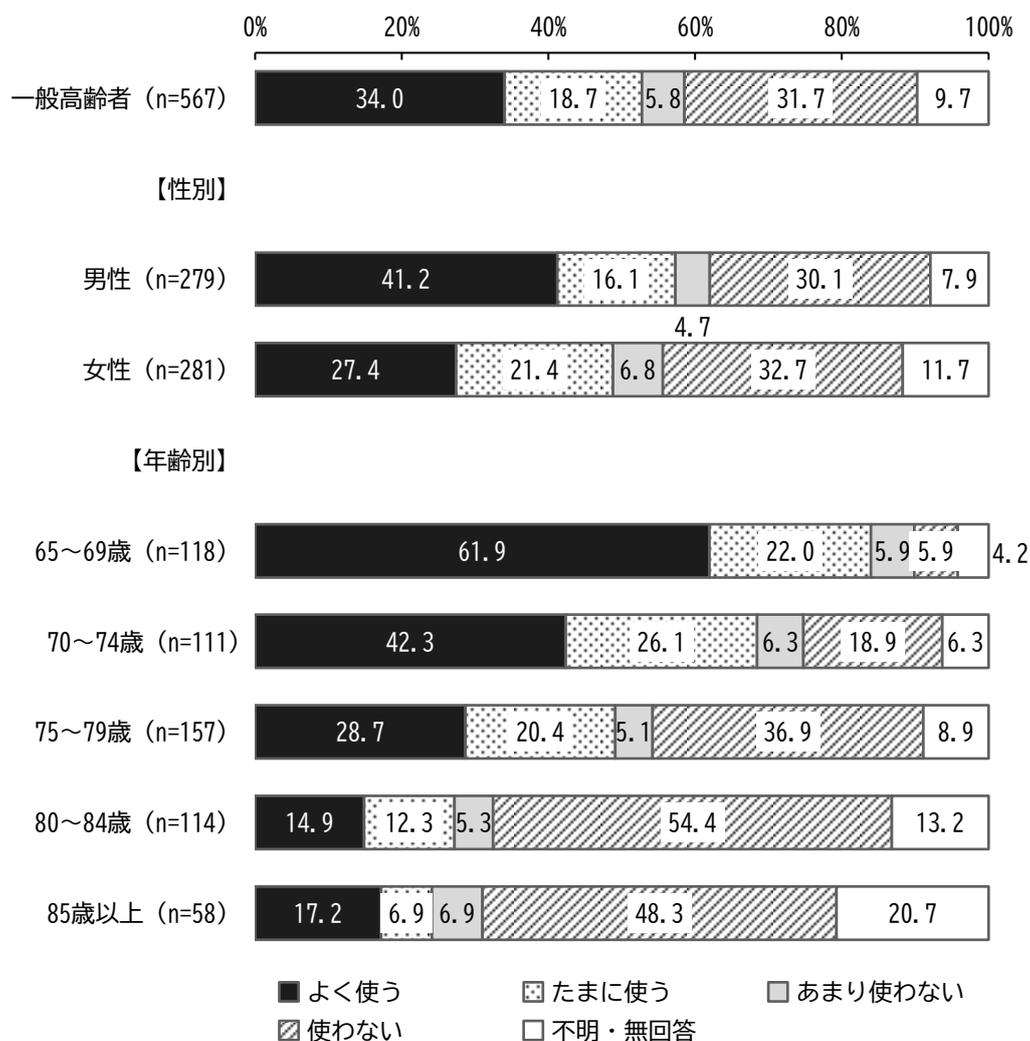
(2) インターネットで情報を集める

インターネットで情報を集めるために利用しているかは、『使う』が52.7%、『使わない』が37.5%となっています。

性別では、男性で『使う』が57.3%と、女性と比べて8.5ポイント高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『使う』が低くなる傾向にあり、80～84歳、85歳以上でそれぞれ2割台となっています。

(単数回答)



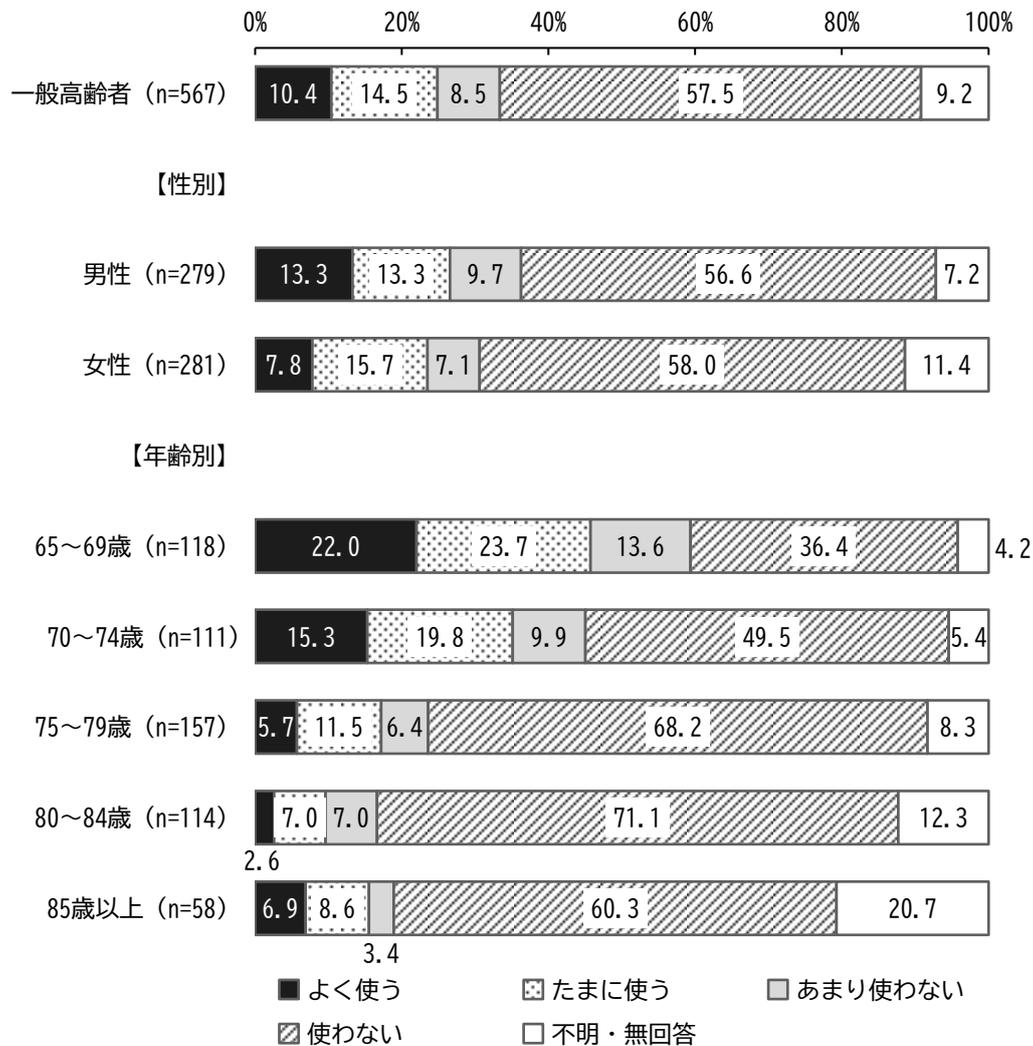
(3) ネットショッピング

ネットショッピングに利用しているかは、『使う』が24.9%、『使わない』が66.0%となっています。

性別では、男性、女性ともに『使う』がそれぞれ2割台となっています。

年齢別では、65～69歳で『使う』が45.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



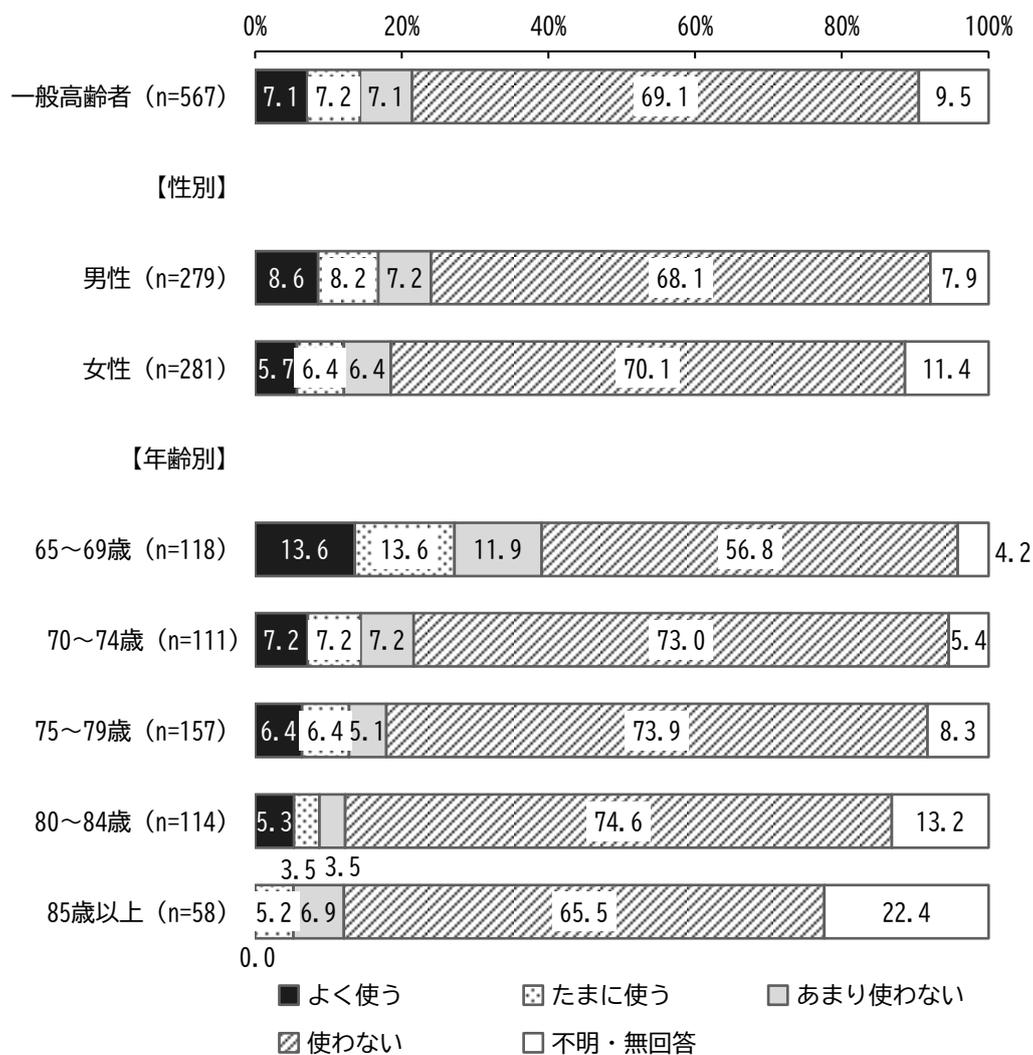
(4) SNS (Facebook、X、Instagram など) を利用する

SNS (Facebook、X、Instagram など) を利用するかは、『使う』が14.3%、『使わない』が76.2%となっています。

性別では、男性、女性ともに『使う』がそれぞれ1割台となっています。

年齢別では、65～69歳で『使う』が27.2%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



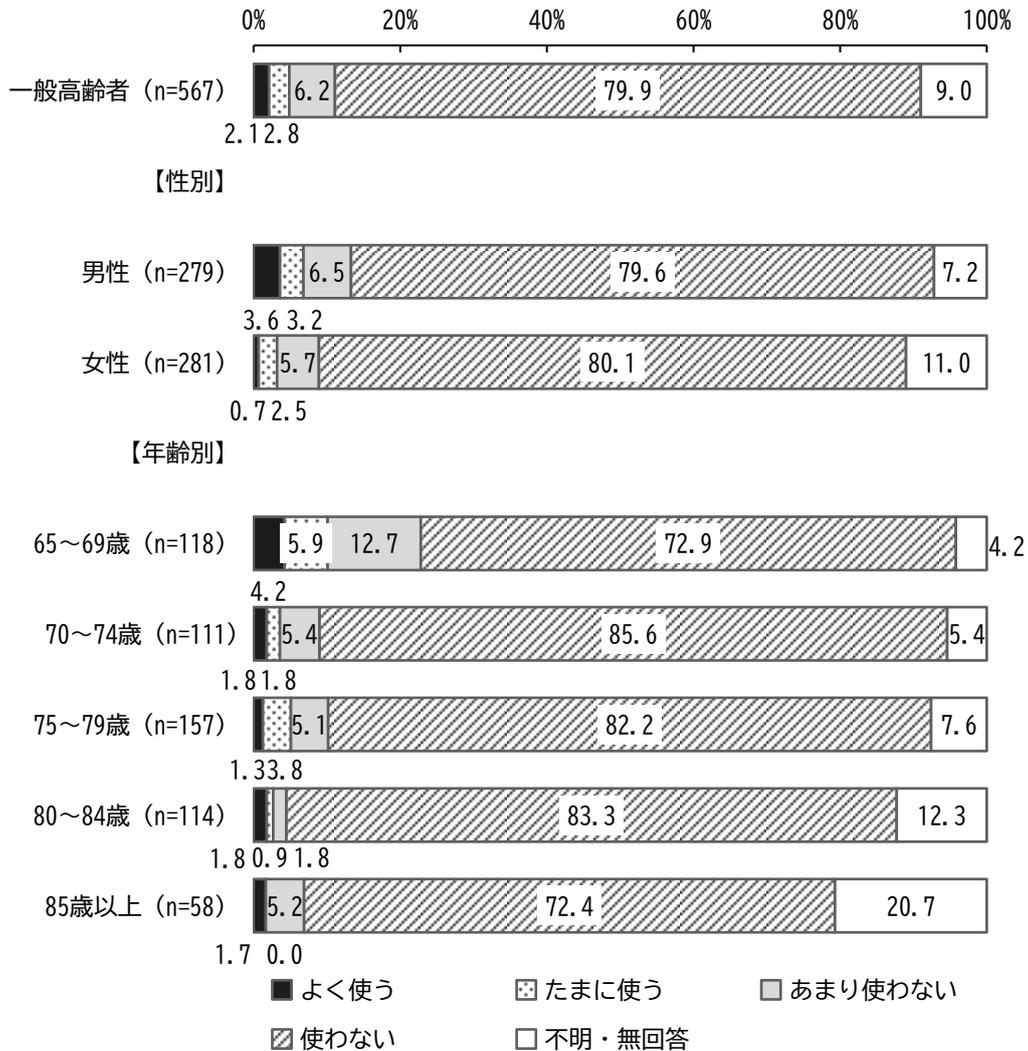
(5) ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新をする

ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新をするために利用しているかは、『使う』が4.9%、『使わない』が86.1%となっています。

性別では、『使う』が男性で6.8%、女性で4.2%となっています。

年齢別では、65～69歳で『使う』が10.1%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



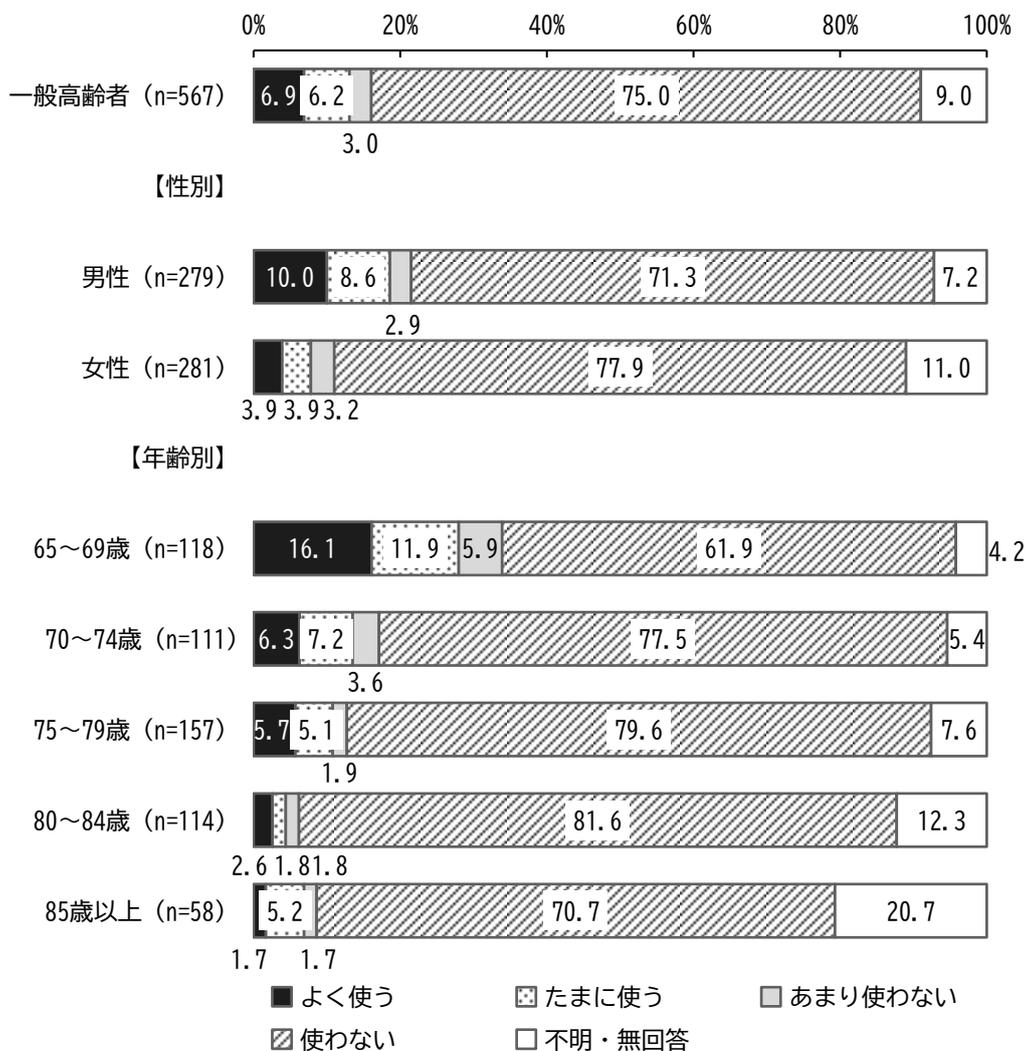
(6) ネットバンキングや金融機関（証券・保険取引など）を利用する

ネットバンキングや金融機関（証券・保険取引など）を利用するかは、『使う』が13.1%、『使わない』が78.0%となっています。

性別では、男性で『使う』が18.6%と、女性と比べて10.8ポイント高くなっています。

年齢別では、65～69歳で『使う』が28.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



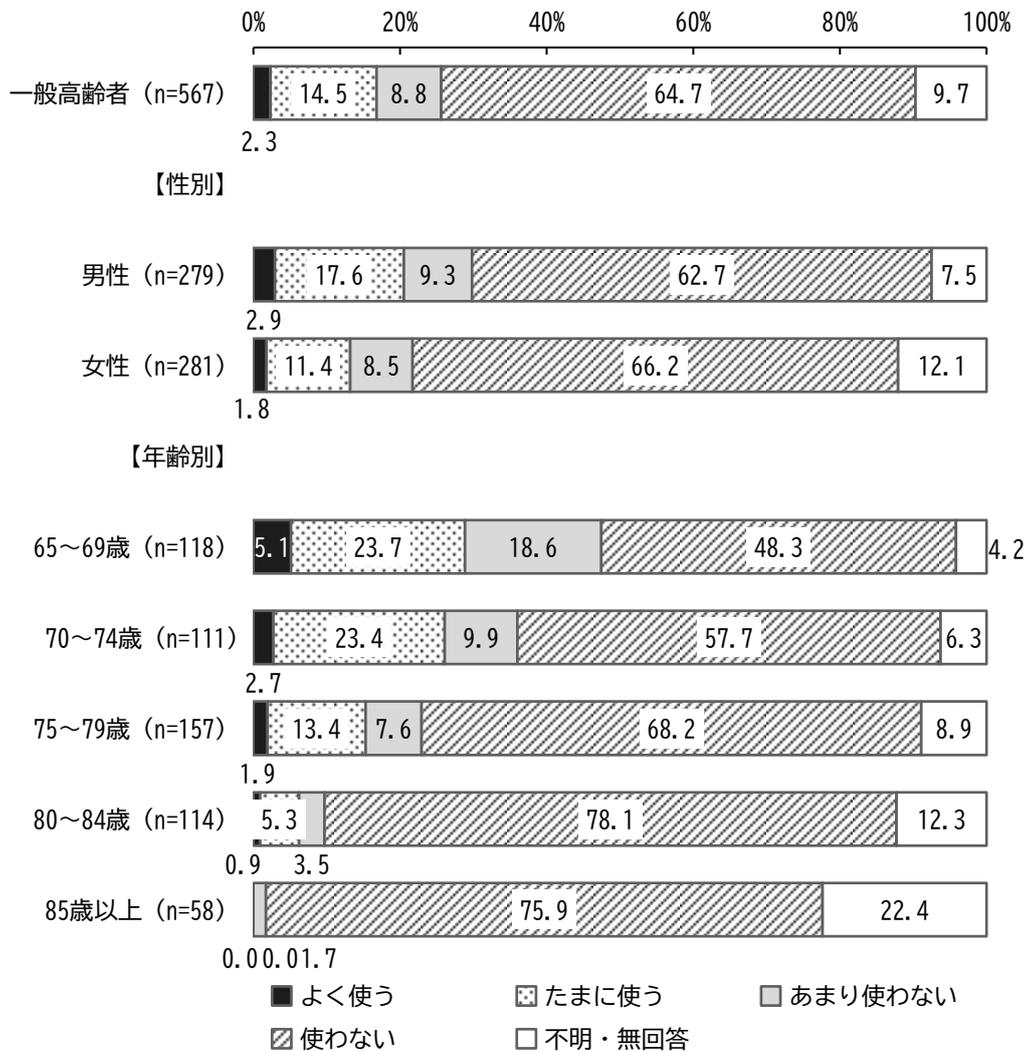
(7) 市の手続きをインターネットで行う

市の手続きをインターネットで行うために利用するかは、『使う』が16.8%、『使わない』が73.5%となっています。

性別では、男性で『使う』が20.5%と、女性と比べて7.3ポイント高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『使う』が低くなる傾向にあります。

(単数回答)



【問5Q5】オレオレ詐欺などの対策について、あてはまるものに○をつけてください。

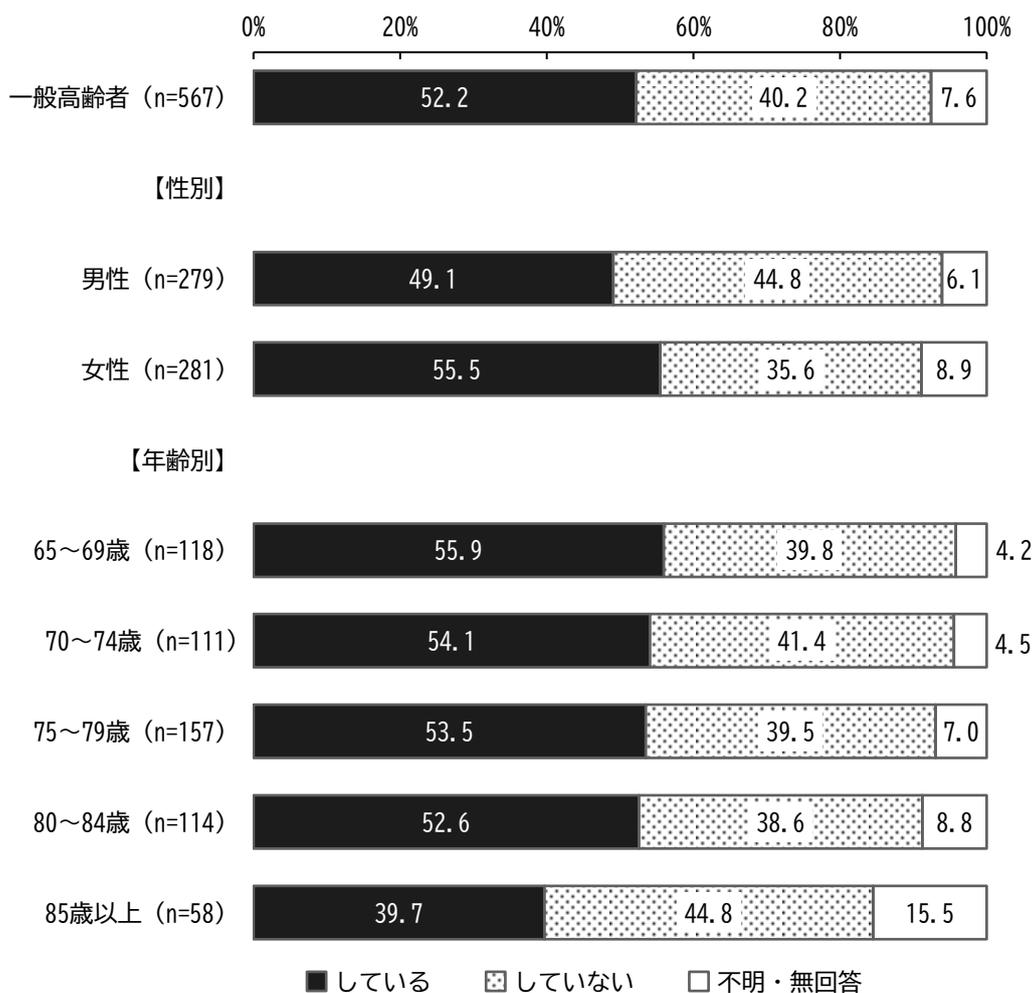
(1) 留守番電話機能を使っている

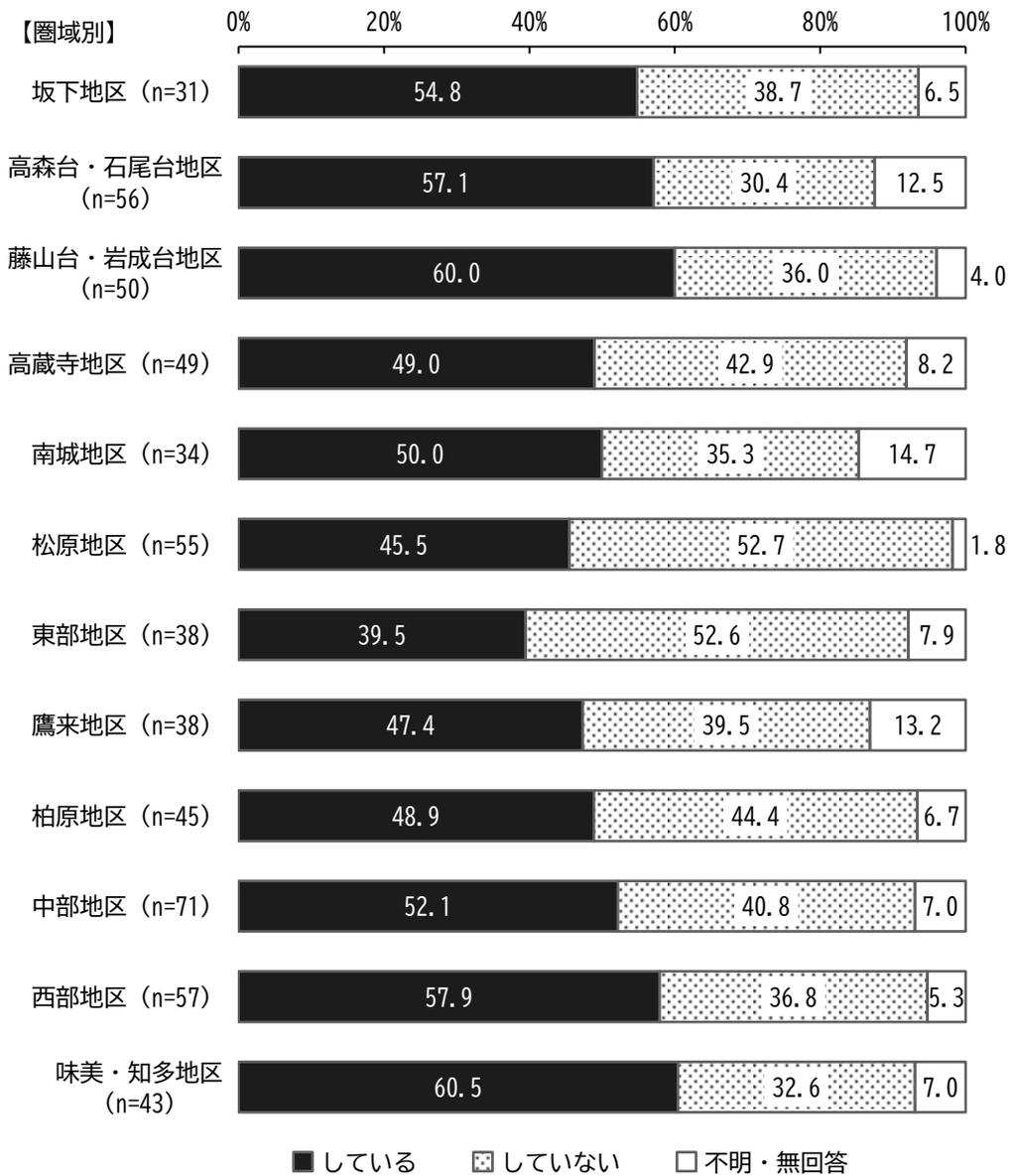
留守番電話機能を使っているかは、「している」が52.2%、「していない」が40.2%となっています。

性別では、女性で「している」が55.5%と、男性と比べて6.4ポイント高くなっています。

年齢別では、85歳以上を除いて「している」がそれぞれ5割台となっています。

(単数回答)



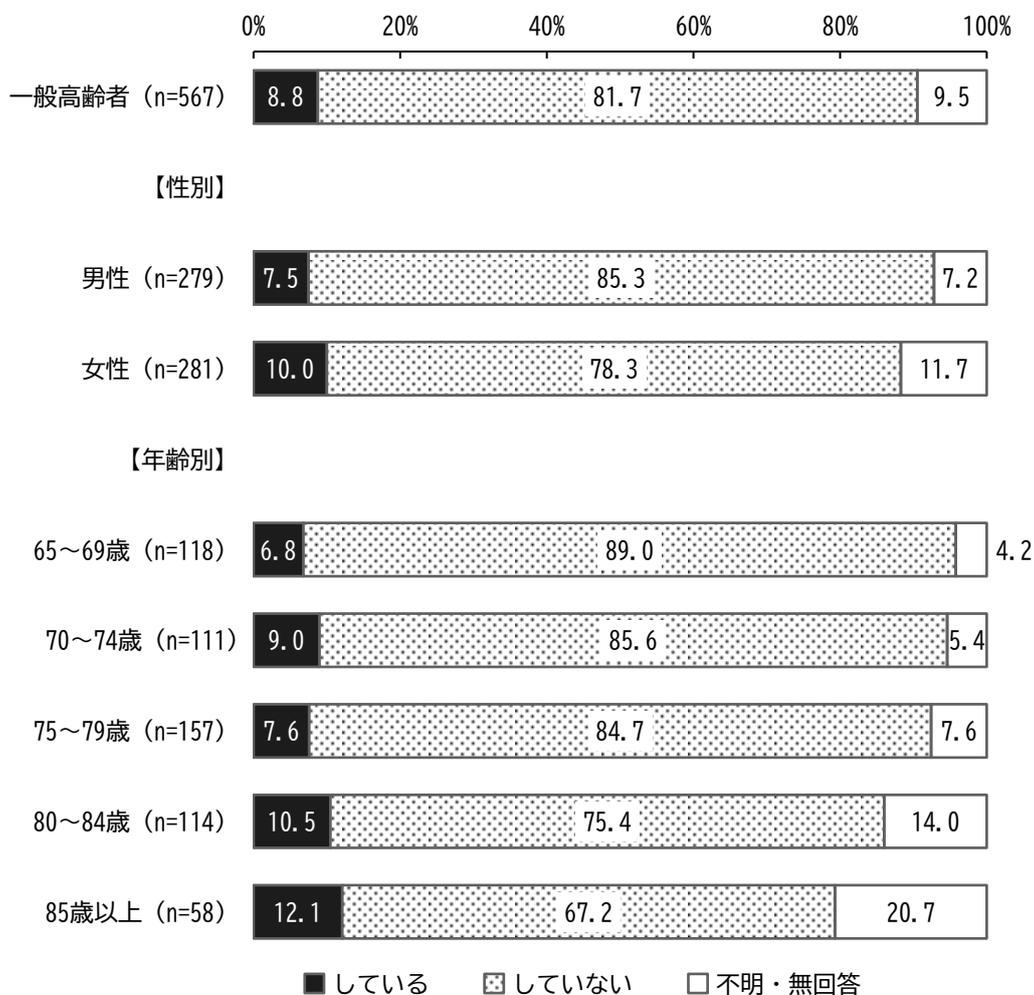


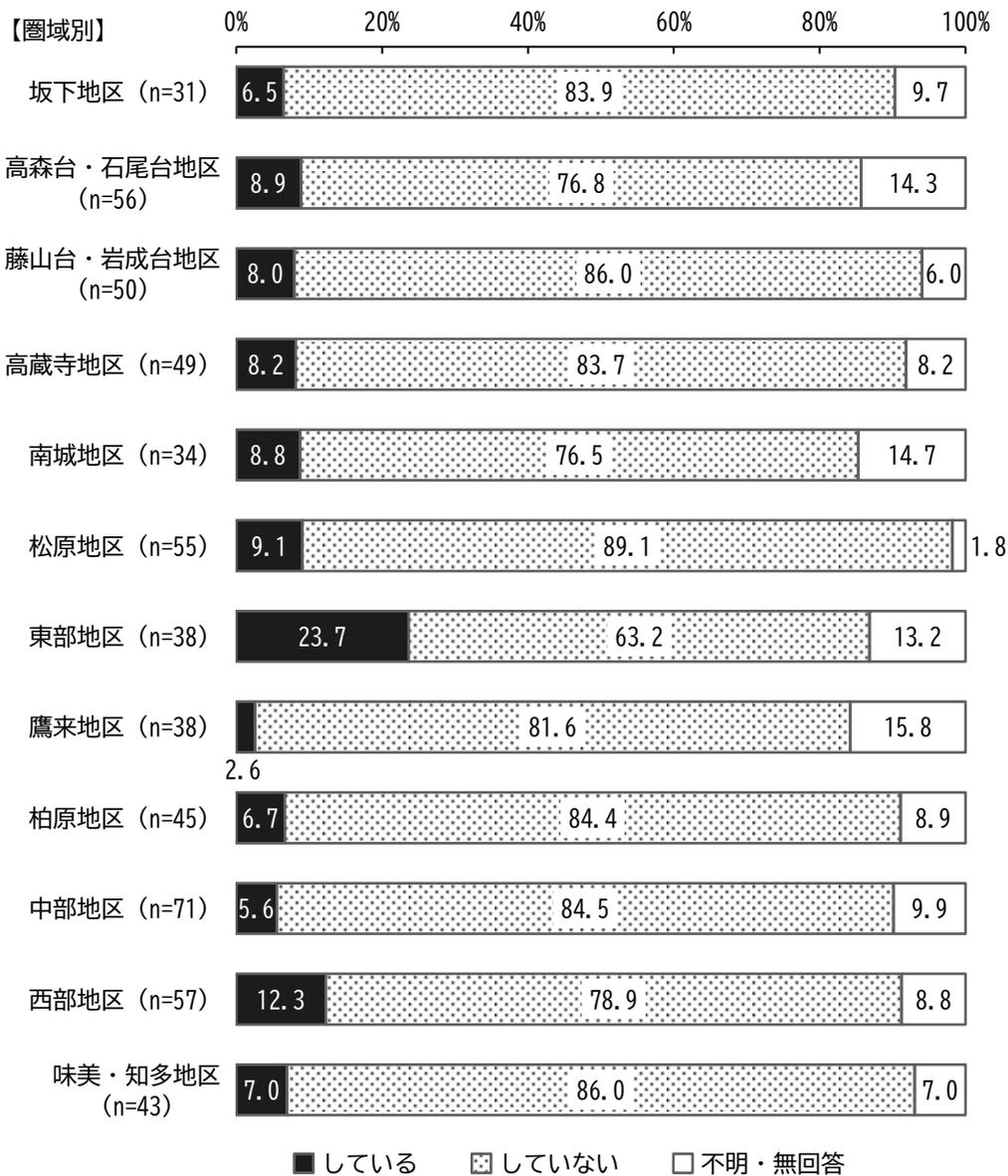
(2) 家族と合言葉を決めている

家族と合言葉を決めているかは、「している」が8.8%、「していない」が81.7%となっています。
性別では、「している」が男性で7.5%、女性で10.0%となっています。

年齢別では、80～84歳、85歳以上で「している」がそれぞれ1割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)





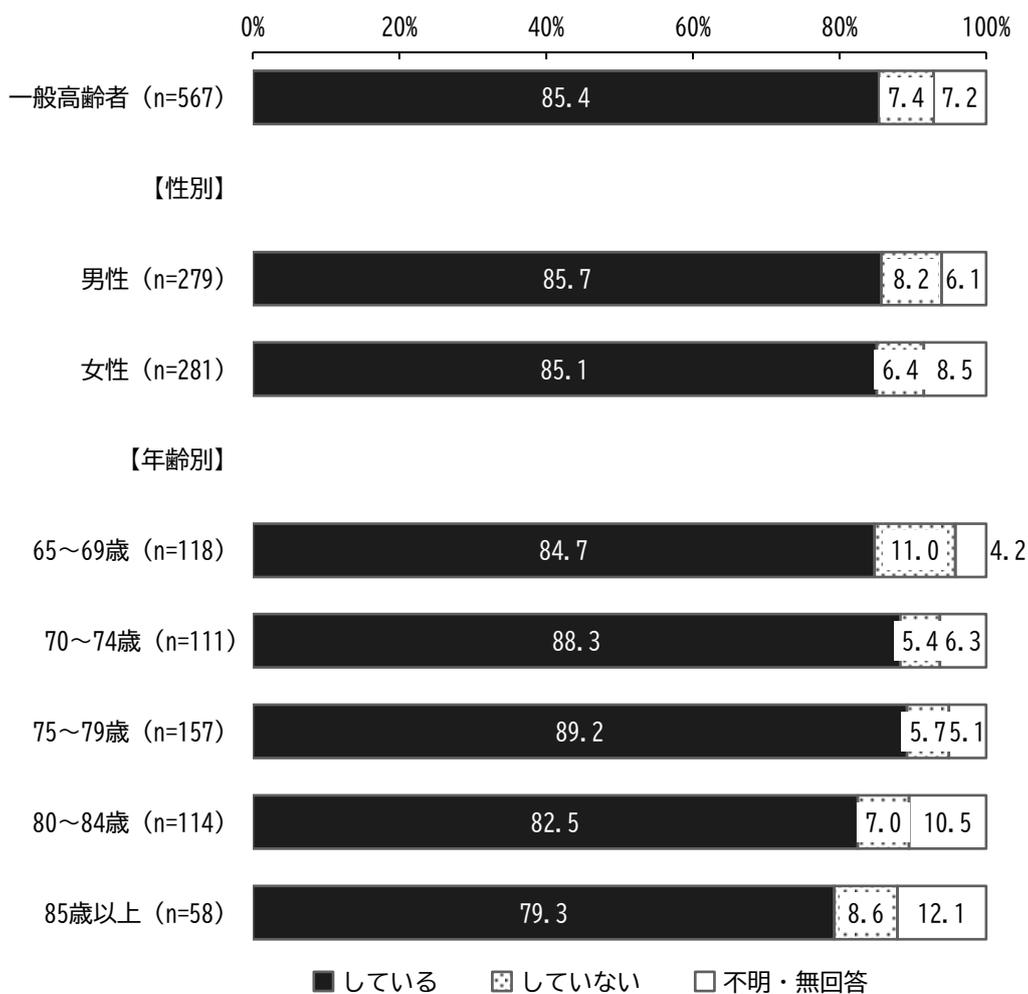
(3) 不審な電話はすぐ切るようにしている

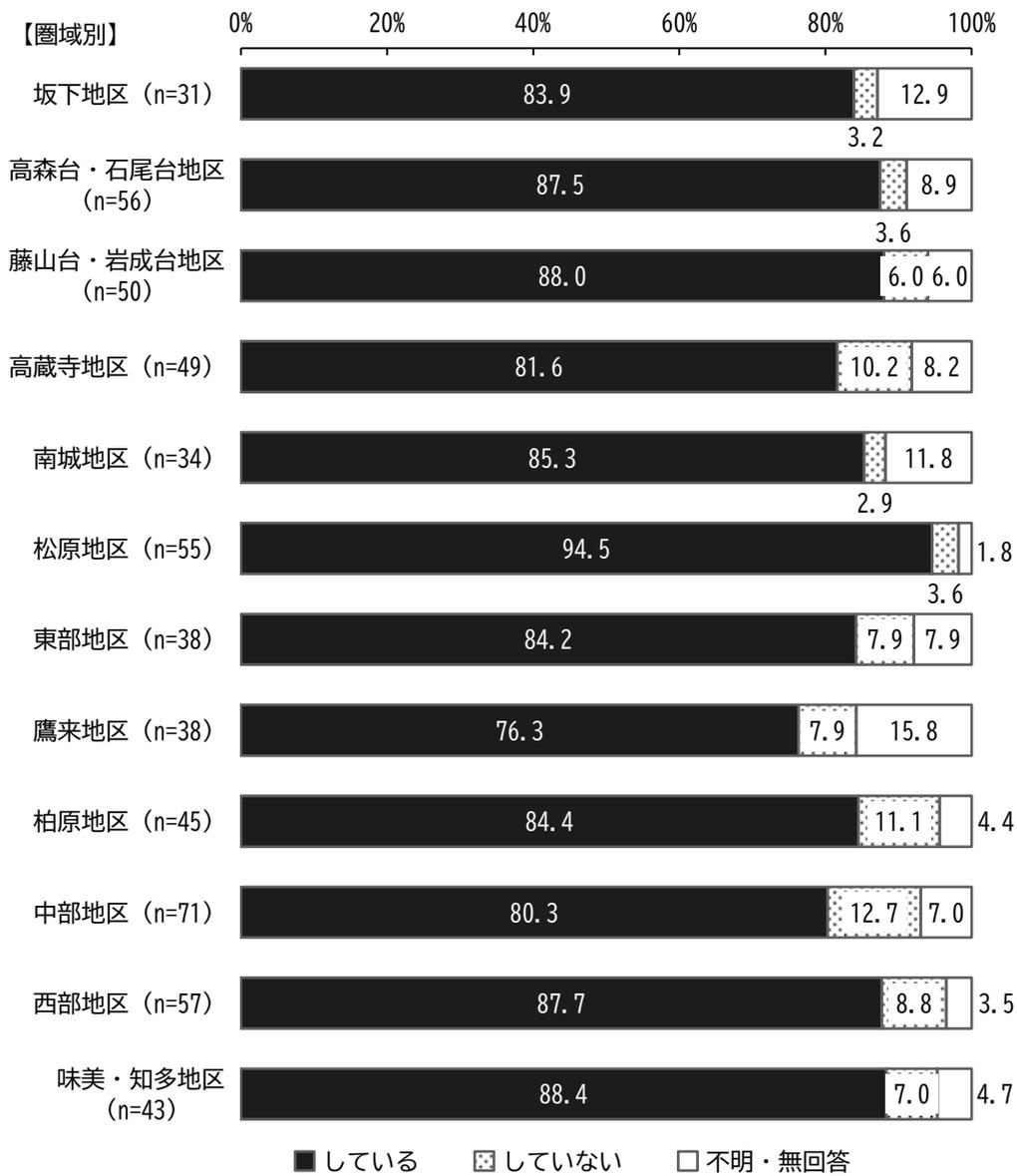
不審な電話はすぐ切るようにしているかは、「している」が85.4%、「していない」が7.4%となっています。

性別では、男性、女性ともに「している」がそれぞれ8割台となっています。

年齢別では、70～74歳、75～79歳で「している」がそれぞれ約9割と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)





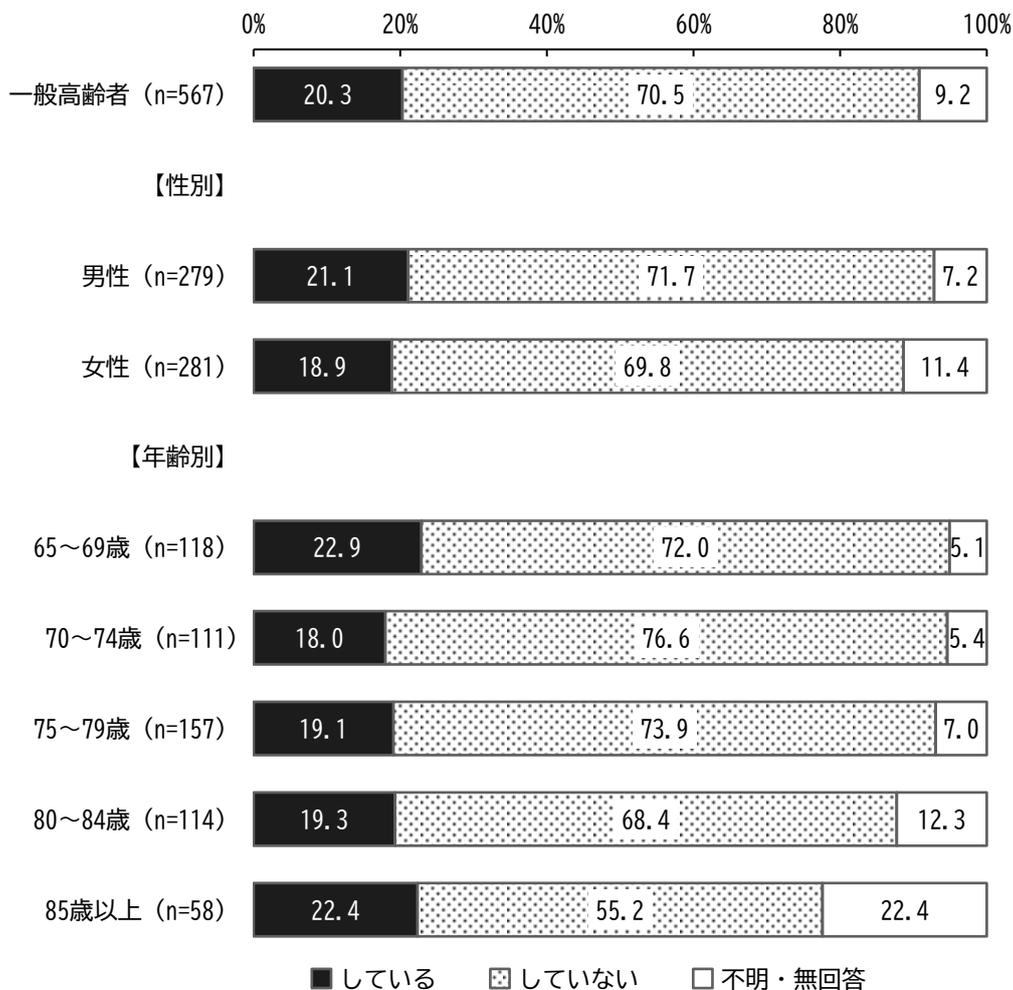
(4) 市から防犯情報を受け取っている

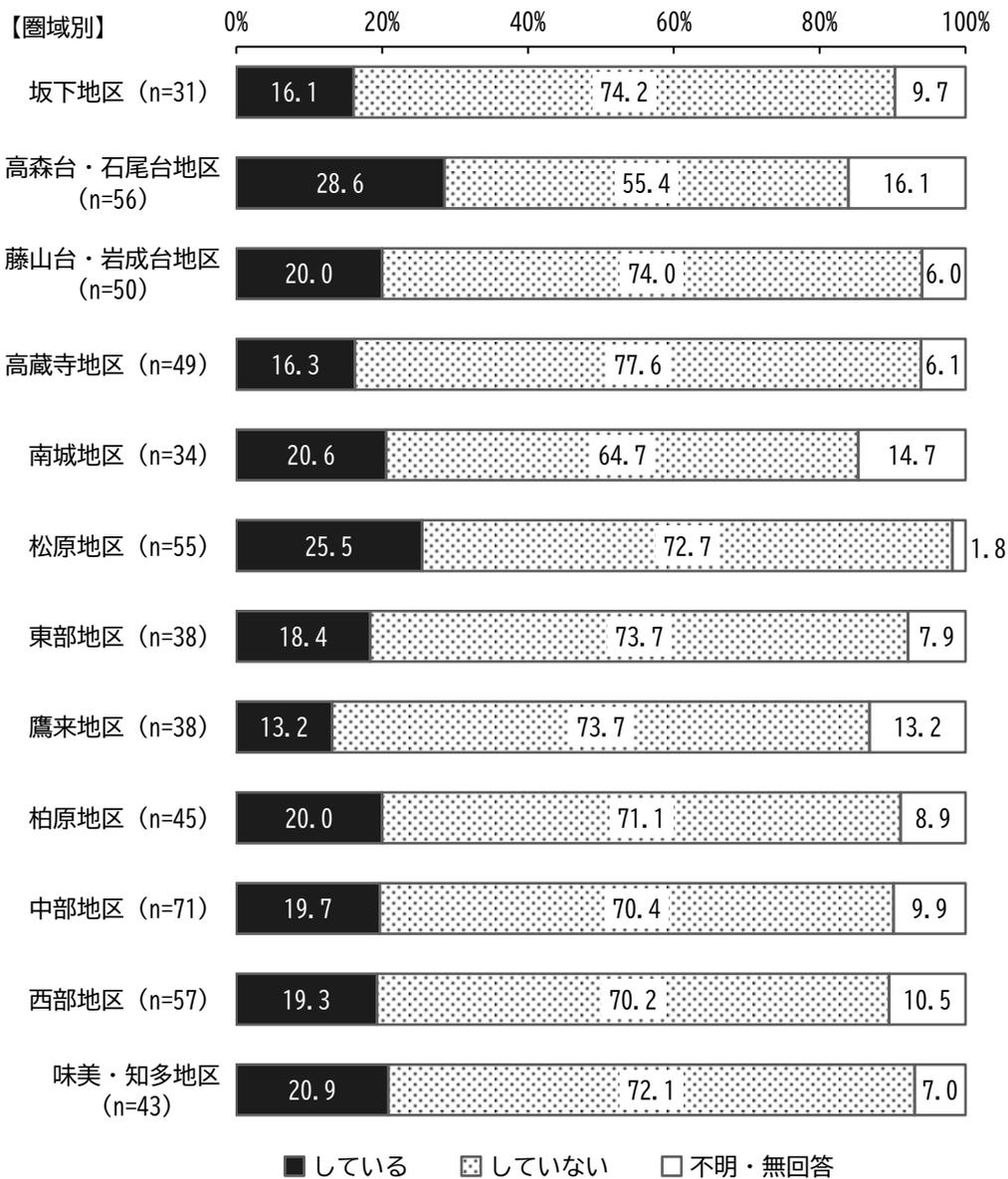
市から防犯情報を受け取っているかは、「している」が20.3%、「していない」が70.5%となっています。

性別では、男性、女性ともに「している」がそれぞれ約2割となっています。

年齢別では、いずれの年代も「している」がそれぞれ約2割となっています。

(単数回答)





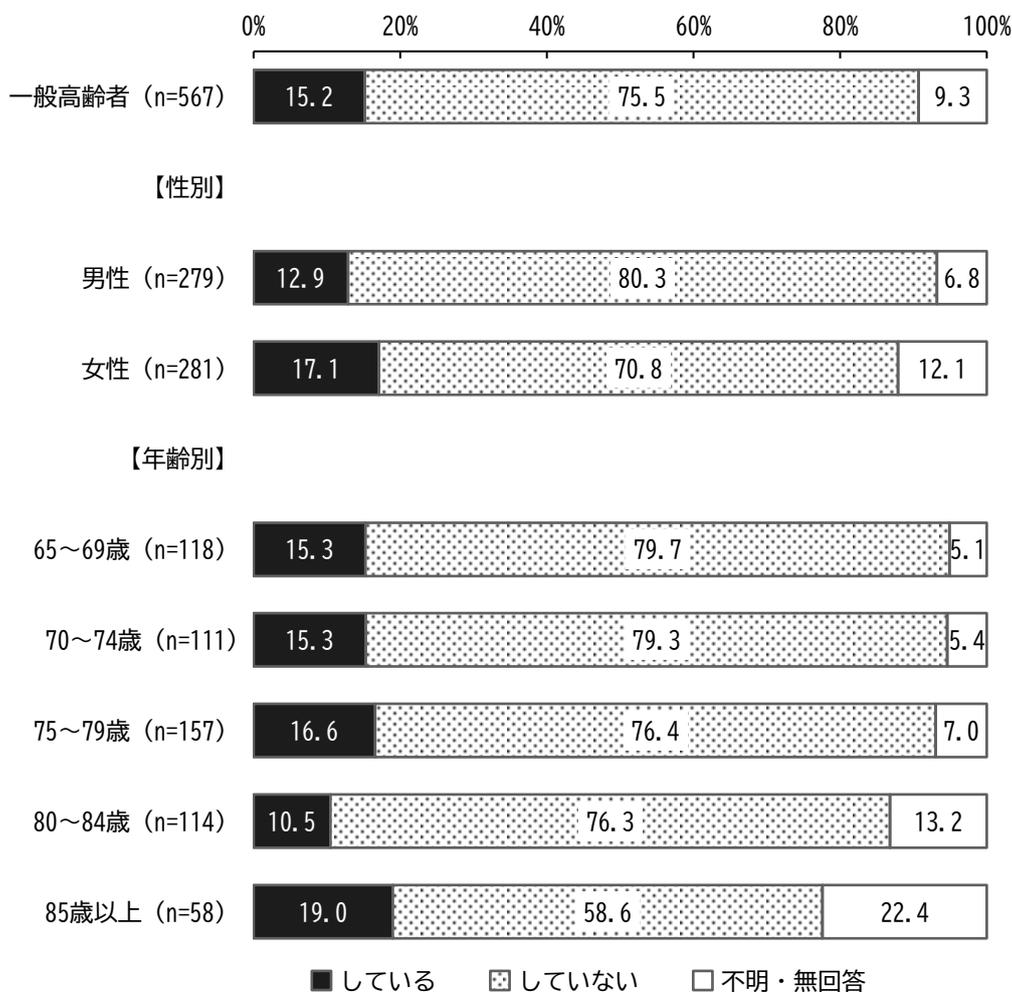
(5) 警察から防犯情報を受け取っている

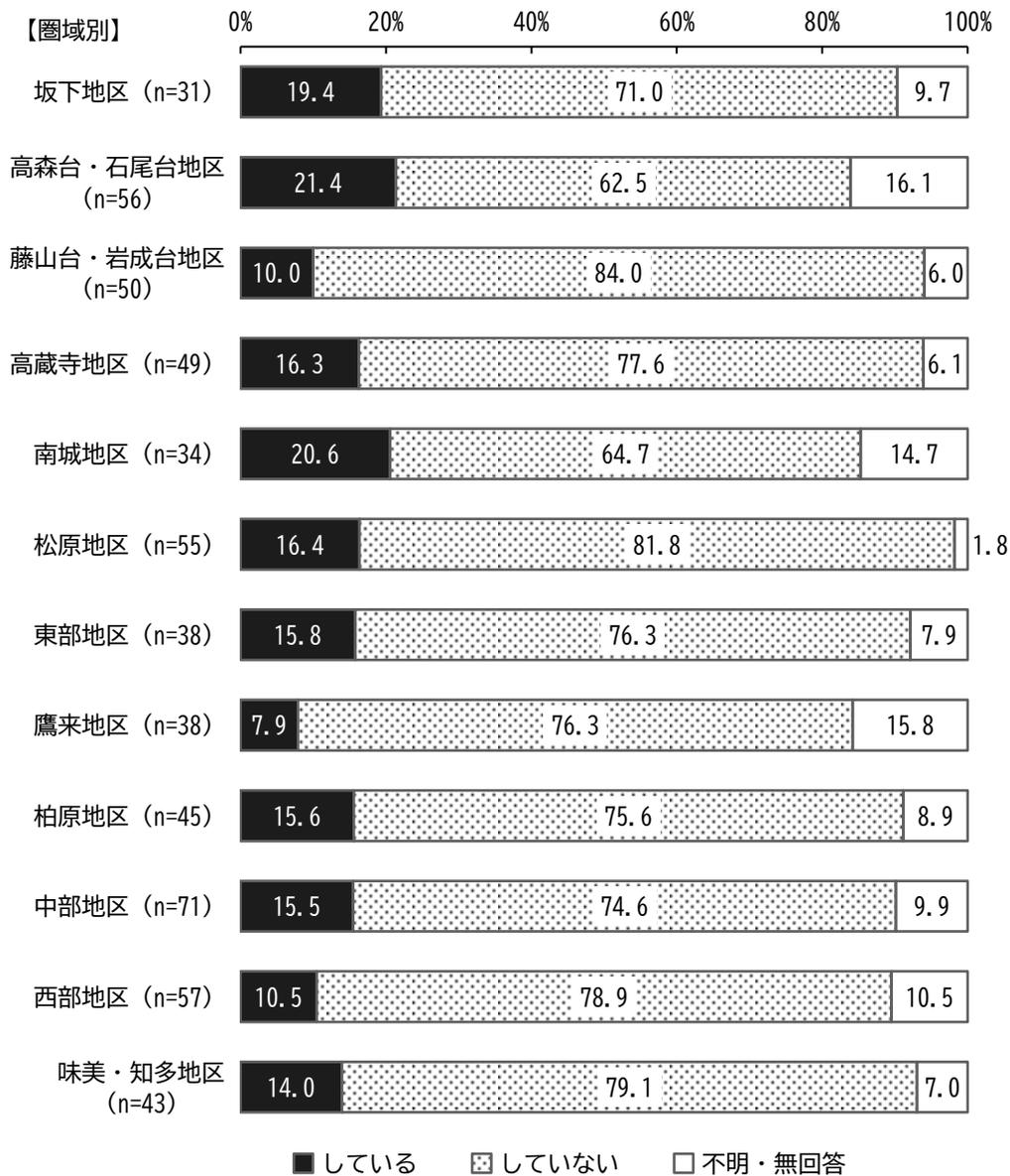
警察から防犯情報を受け取っているかは、「している」が15.2%、「していない」が75.5%となっています。

性別では、男性、女性ともに「している」がそれぞれ1割台となっています。

年齢別では、いずれの年代も「している」がそれぞれ1割台となっています。

(単数回答)





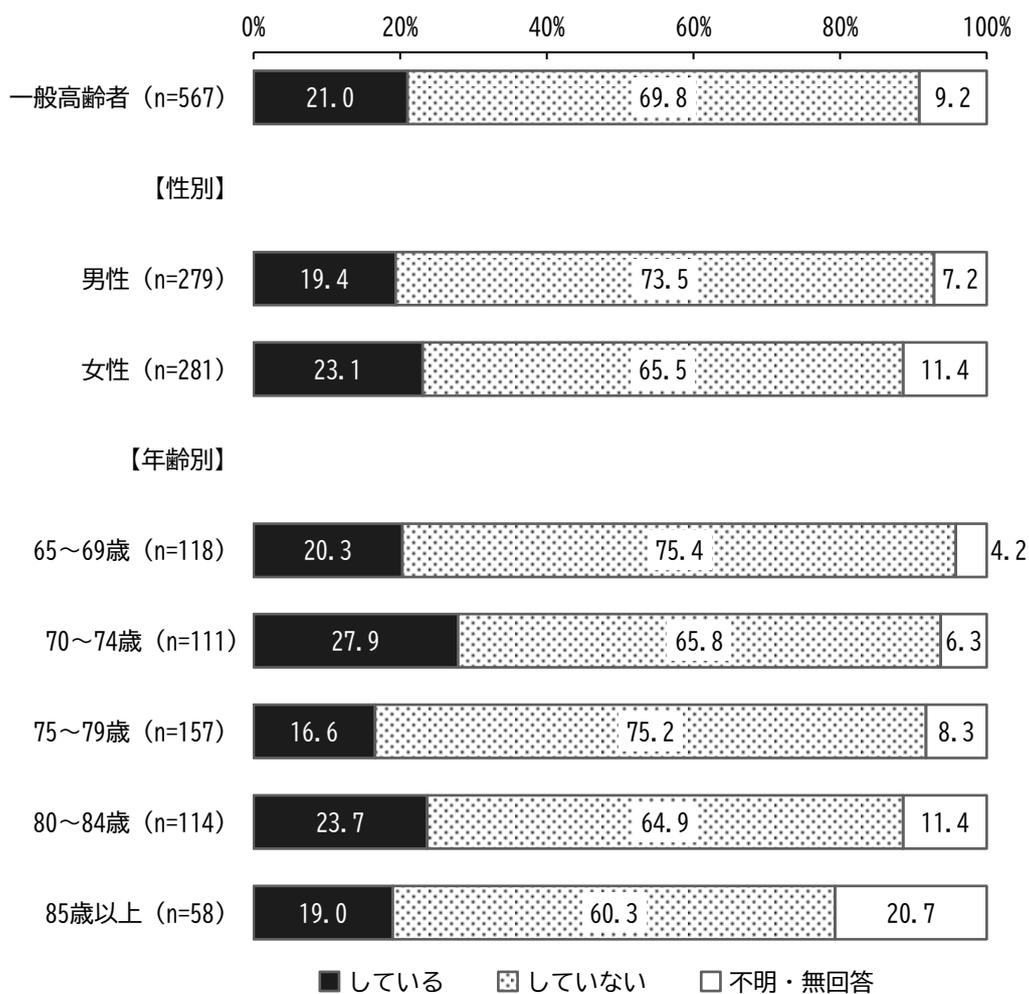
(6) 防犯機能のついた電話を使用している

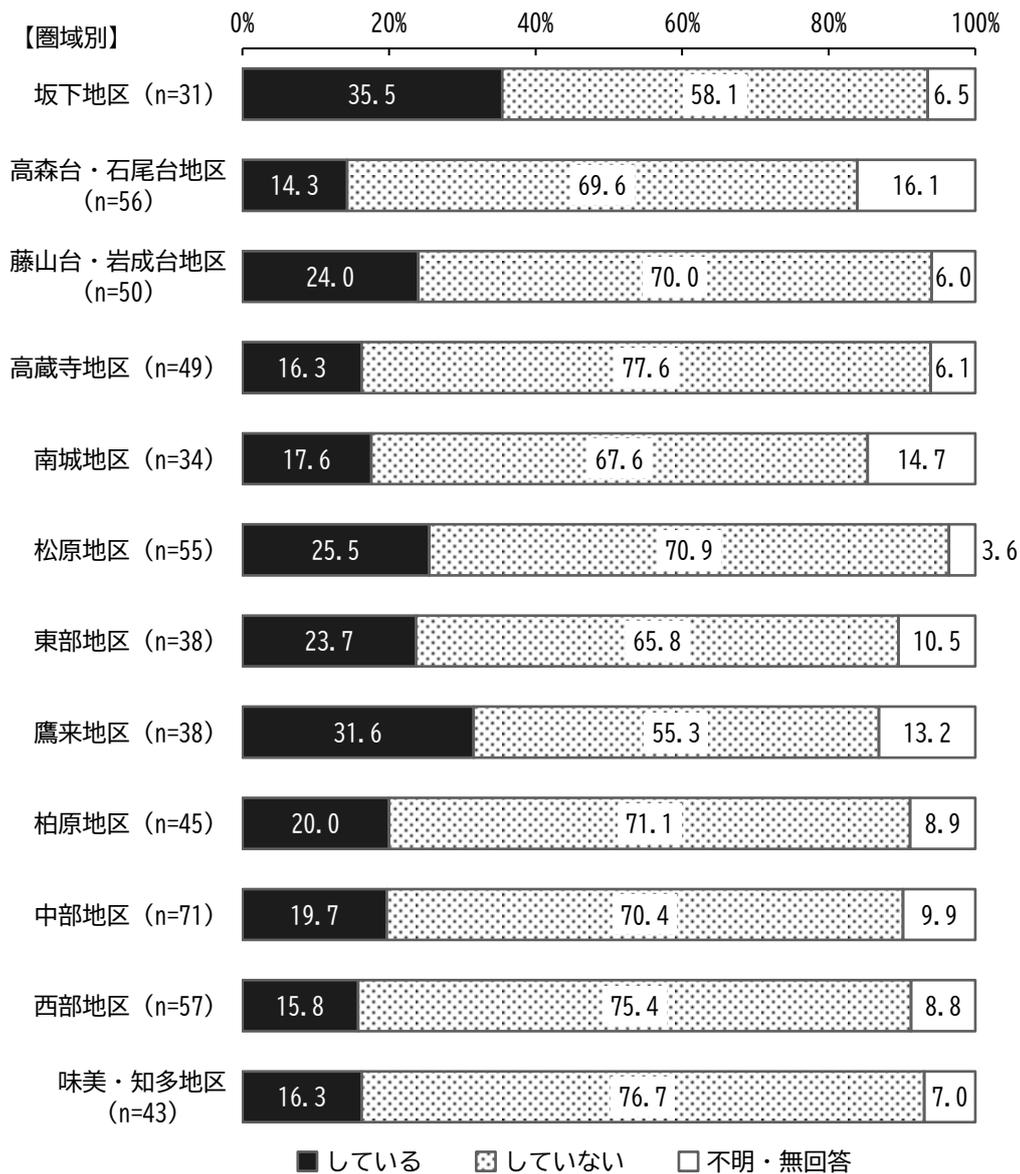
防犯機能のついた電話を使用しているかは、「している」が21.0%、「していない」が69.8%となっています。

性別では、「している」が男性で19.4%、女性で23.1%となっています。

年齢別では、65～69歳、70～74歳、80～84歳で「している」がそれぞれ2割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)





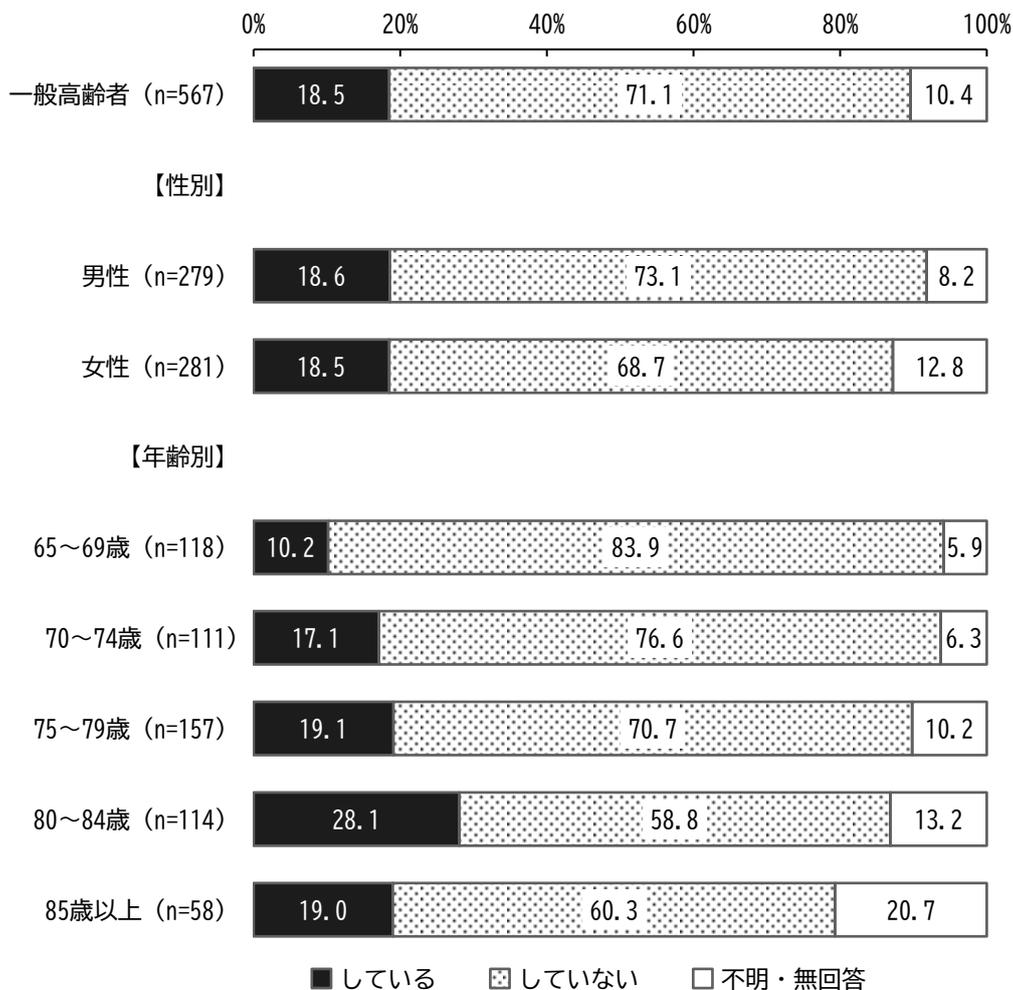
(7) 国際電話の利用休止をしている

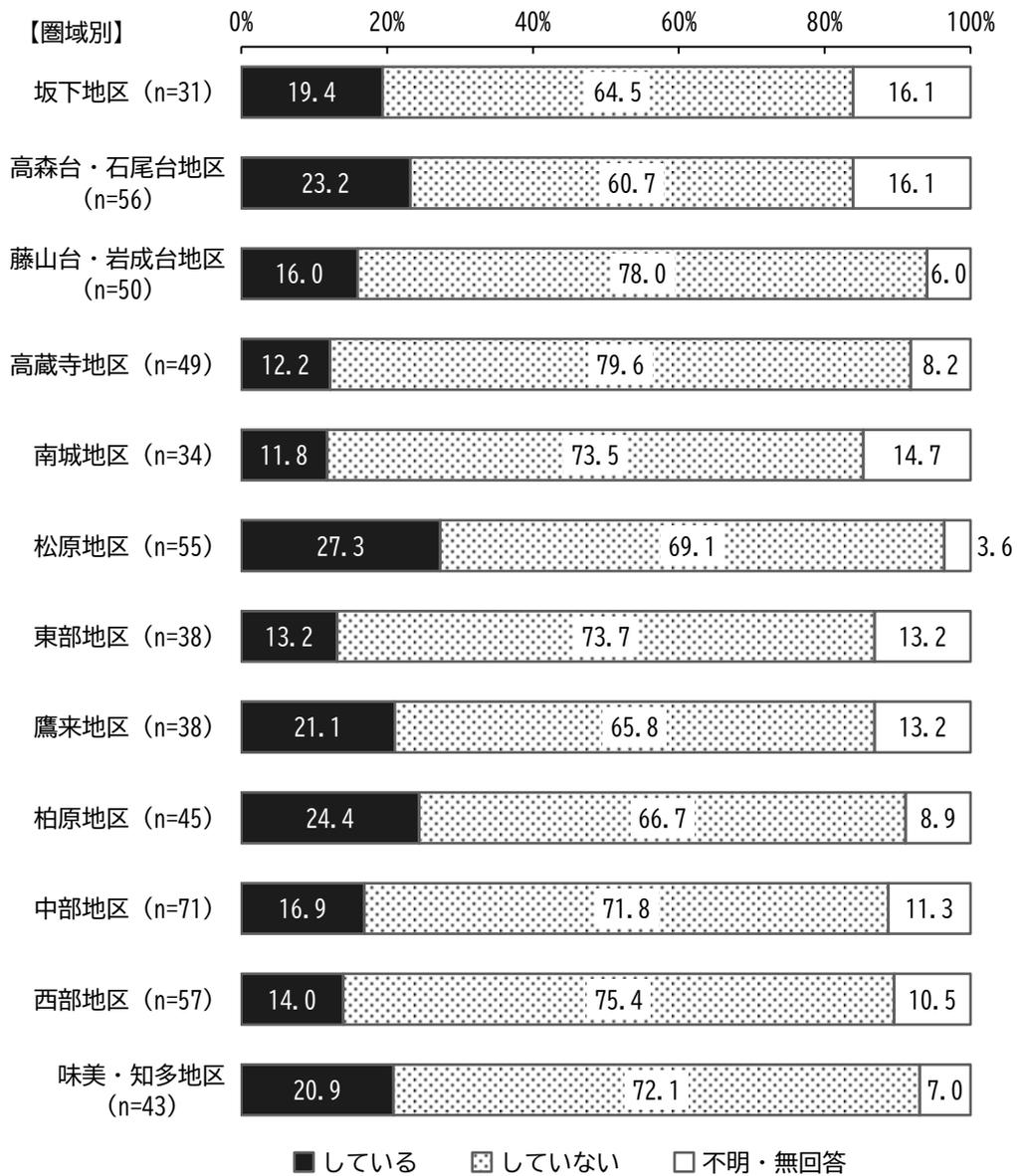
国際電話の利用休止をしているかは、「している」が18.5%、「していない」が71.1%となっています。

性別では、男性、女性ともに「している」がそれぞれ1割台となっています。

年齢別では、80～84歳で「している」が28.1%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)





【問5Q6】あなたは、詐欺や不審な勧誘から身を守るために、情報をどこから入手していますか。

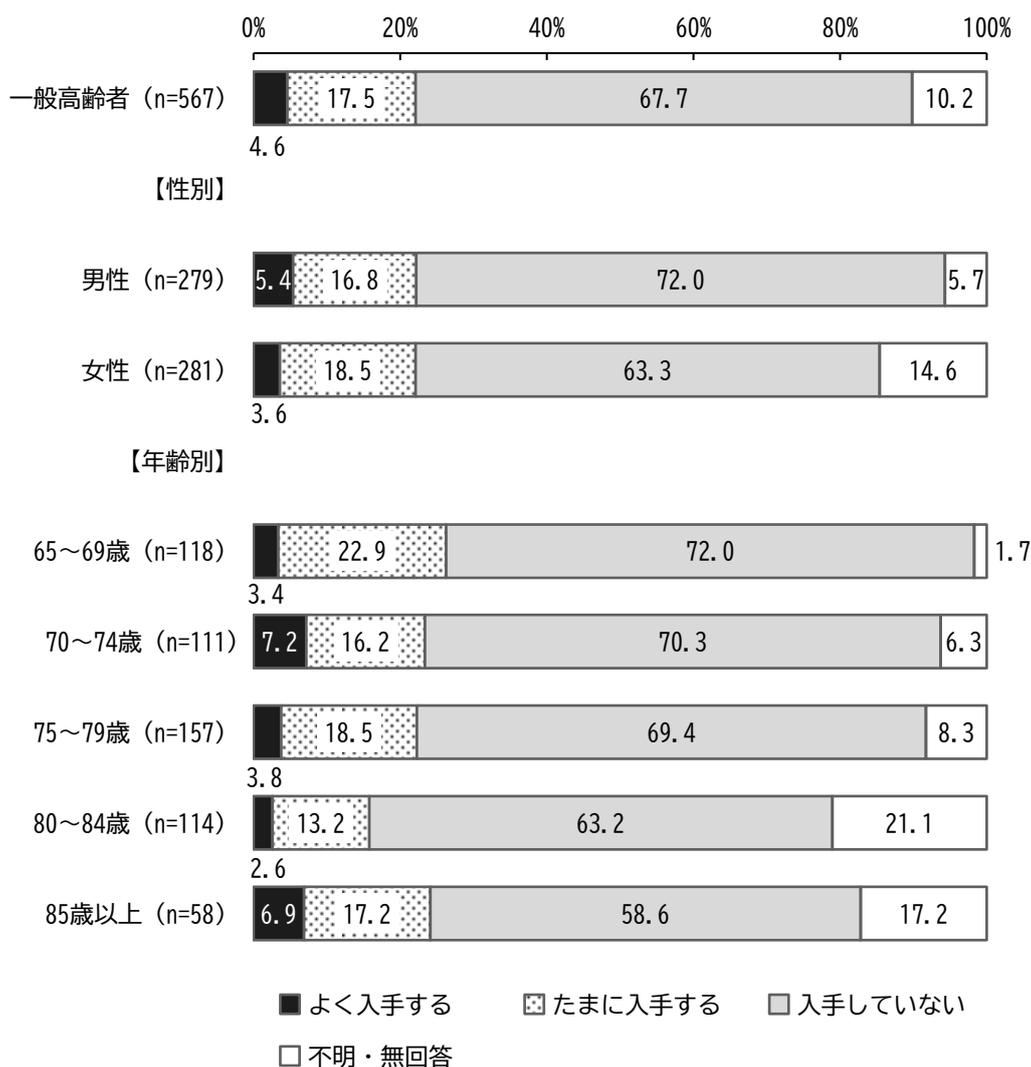
(1) 警察

警察から情報を入力しているかは、「よく入手する」が4.6%、「たまに入手する」が17.5%、「入手していない」が67.7%となっています。

性別では、「よく入手する」が男性で5.4%、女性で3.6%となっています。

年齢別では、いずれの年代も「よく入手する」が1割未満となっています。

(単数回答)



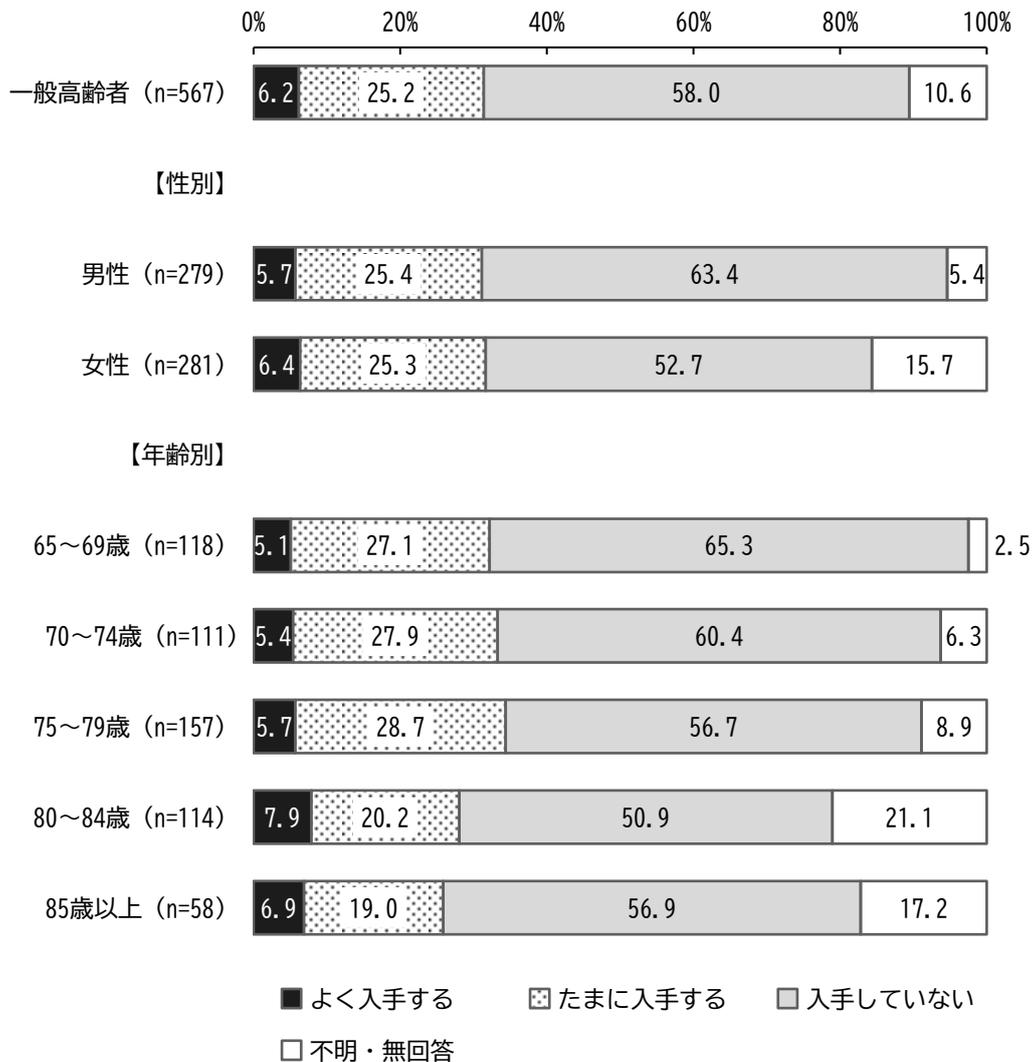
(2) 市

市から情報を入力しているかは、「よく入手する」が6.2%、「たまに入手する」が25.2%、「入手していない」が58.0%となっています。

性別では、「よく入手する」が男性で5.7%、女性で6.4%となっています。

年齢別では、いずれの年代も「よく入手する」が1割未満となっています。

(単数回答)



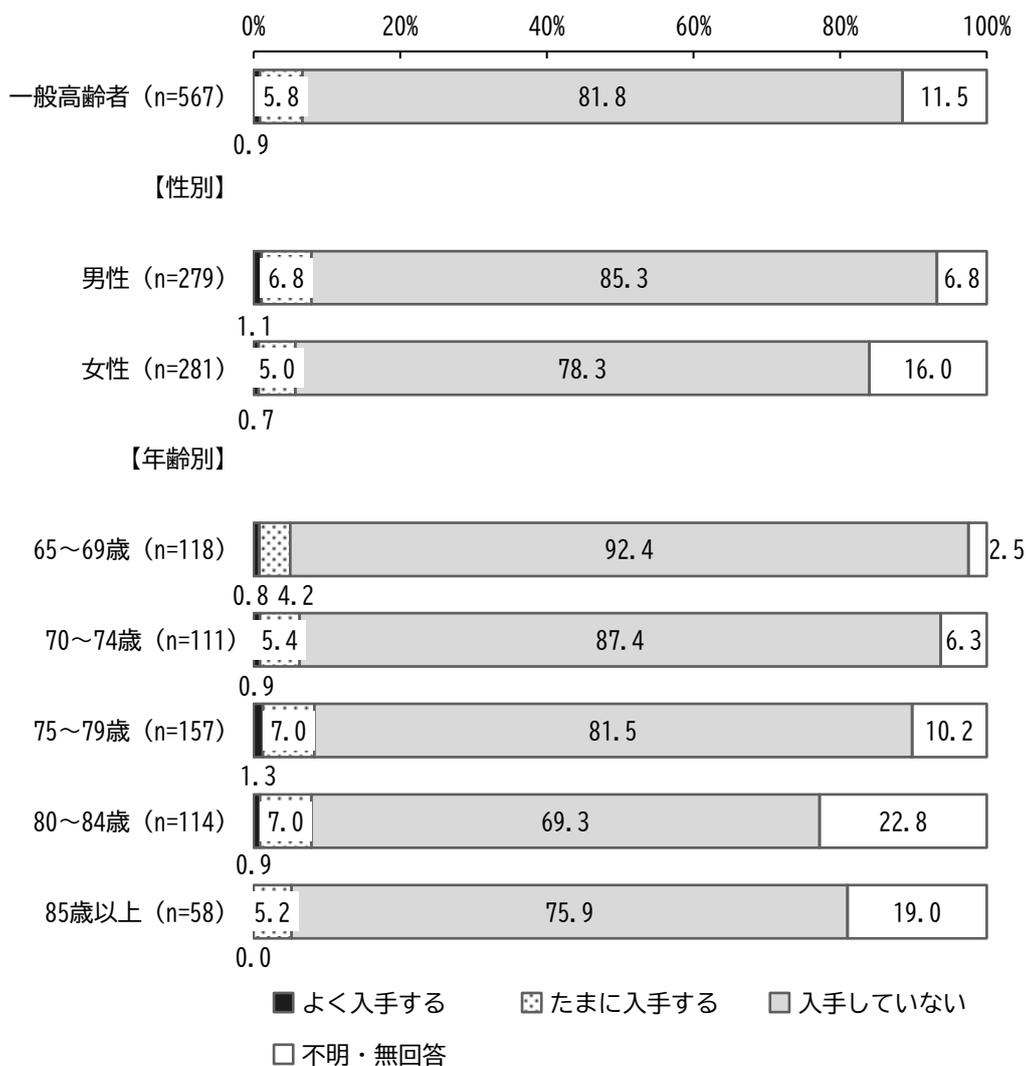
(3) 地域包括支援センター・ケアマネジャーなど

地域包括支援センター・ケアマネジャーなどから情報を入手しているかは、「よく入手する」が0.9%、「たまに入手する」が5.8%、「入手していない」が81.8%となっています。

性別では、「よく入手する」が男性で1.1%、女性で0.7%となっています。

年齢別では、いずれの年代も「よく入手する」が約1%となっています。

(単数回答)

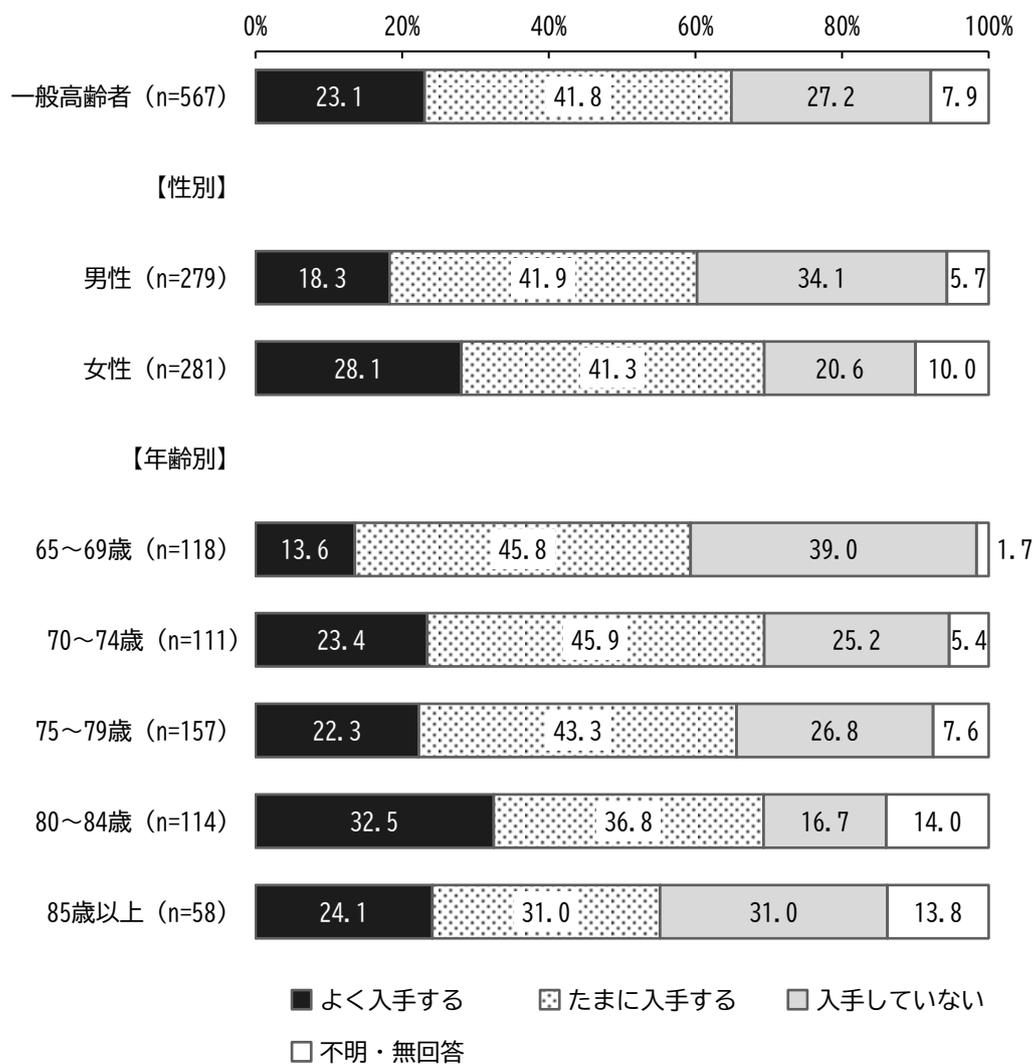


(4) 家族などの身近な人

家族などの身近な人から情報を入手しているかは、「よく入手する」が23.1%、「たまに入手する」が41.8%、「入手していない」が27.2%となっています。

性別では、女性で「よく入手する」が28.1%と、男性と比べて9.8ポイント高くなっています。年齢別では、80～84歳で「よく入手する」が32.5%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)

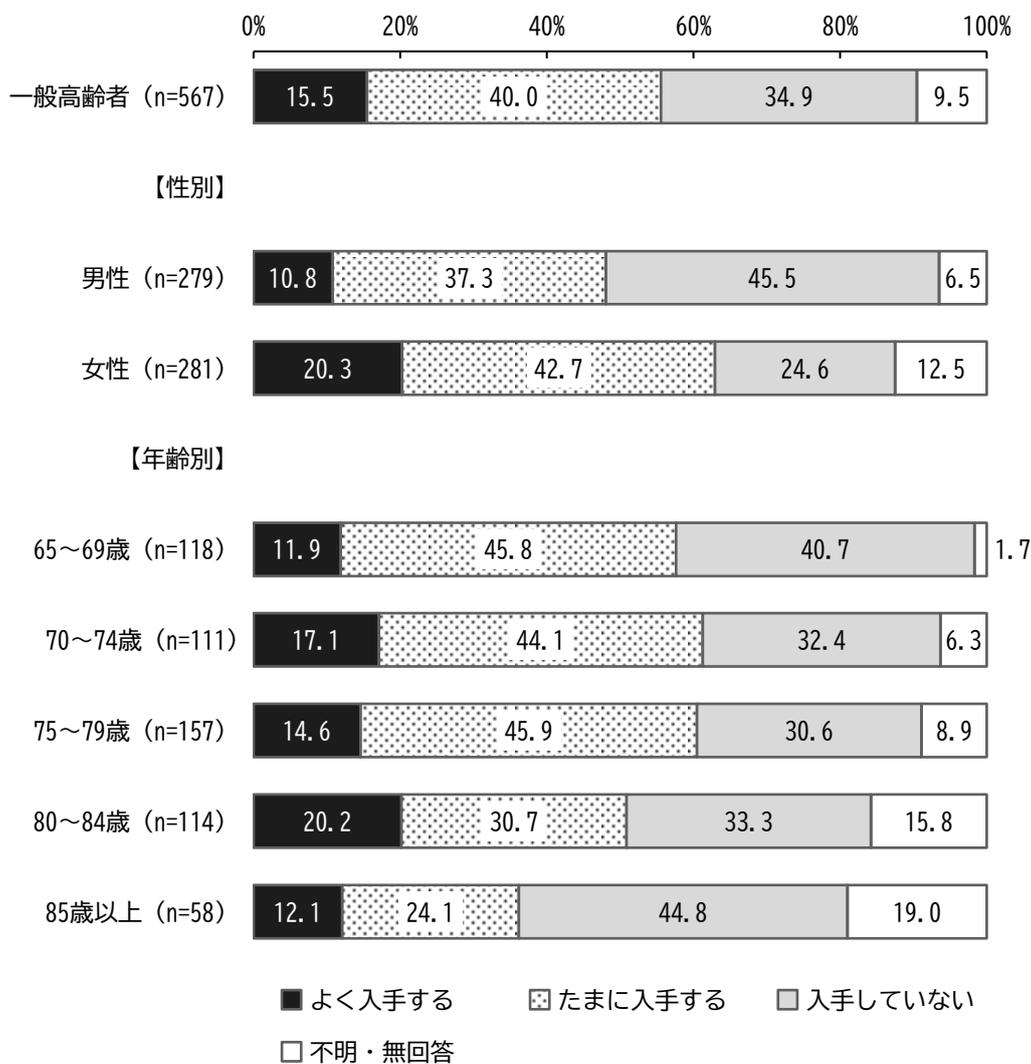


(5) 友人・知人

友人・知人から情報を入力しているかは、「よく入手する」が15.5%、「たまに入手する」が40.0%、「入手していない」が34.9%となっています。

性別では、女性で「よく入手する」が20.3%と、男性と比べて9.5ポイント高くなっています。年齢別では、80～84歳で「よく入手する」が20.2%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



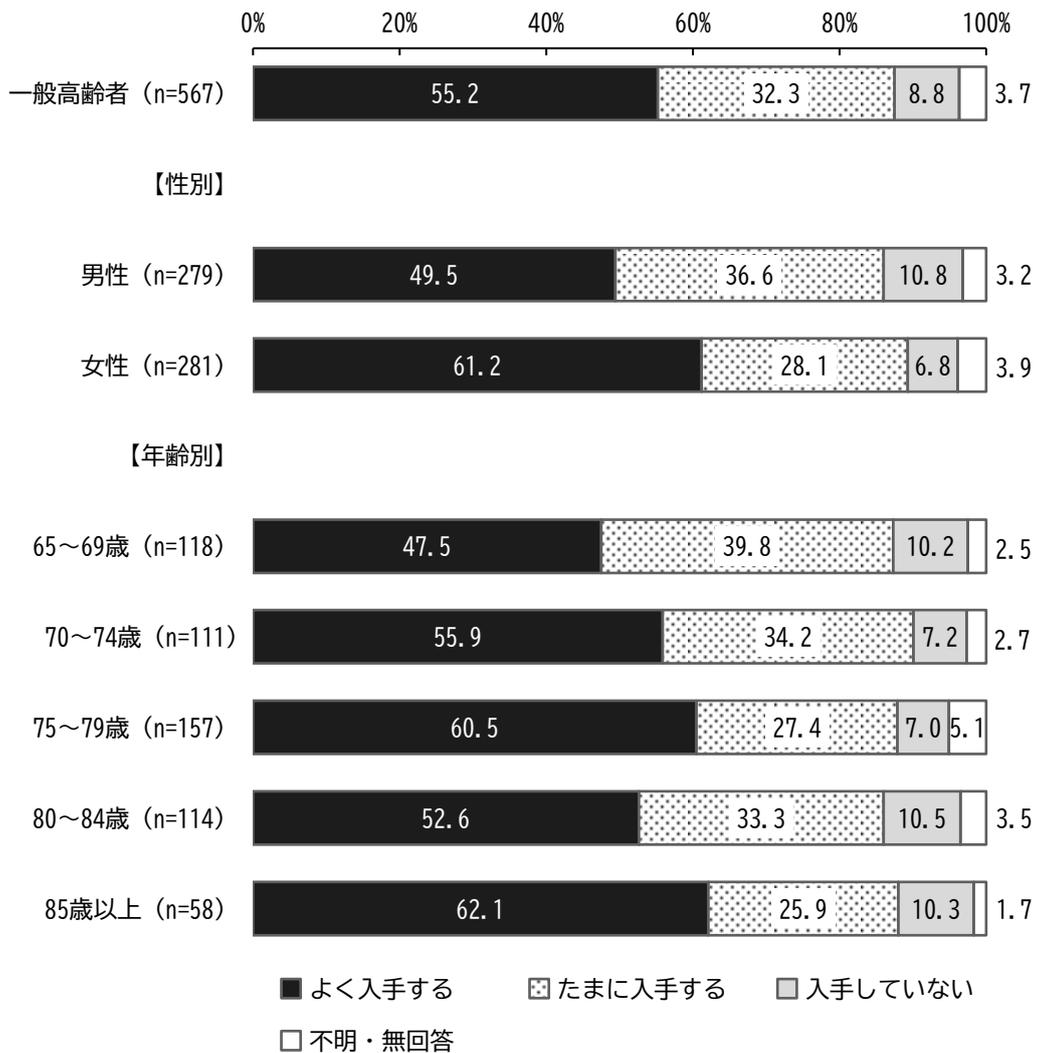
(6) 新聞やテレビ

新聞やテレビから情報を入手しているかは、「よく入手する」が 55.2%、「たまに入手する」が 32.3%、「入手していない」が 8.8%となっています。

性別では、女性で「よく入手する」が 61.2%と、男性と比べて 11.7 ポイント高くなっています。

年齢別では、75～79 歳、85 歳以上で「よく入手する」がそれぞれ 6 割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



【問5Q7】今後、詐欺被害にあうことを防止するために、利用したい対策はありますか。

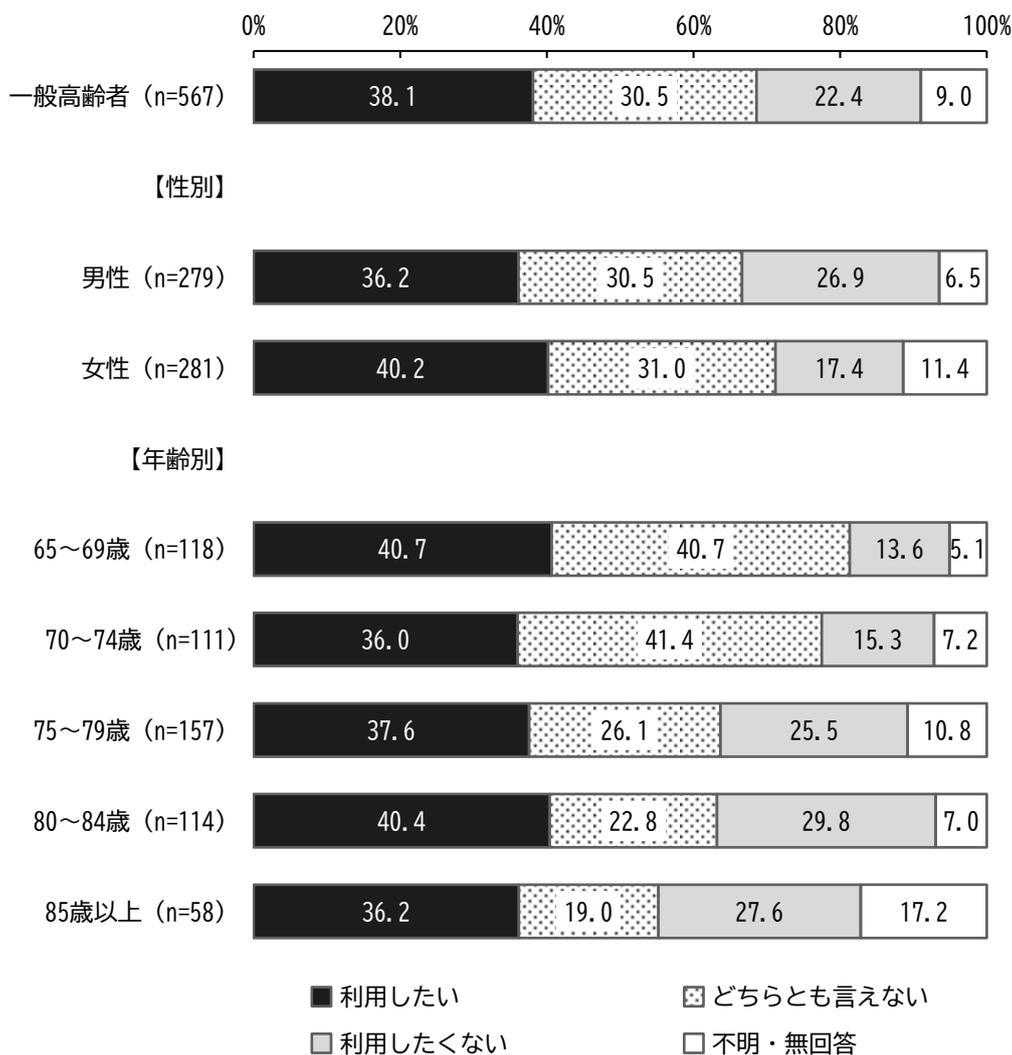
(1) 国際電話の利用休止

国際電話の利用休止は、「利用したい」が38.1%、「どちらとも言えない」が30.5%、「利用したくない」が22.4%となっています。

性別では、「利用したい」が男性で36.2%、女性で40.2%となっています。

年齢別では、65～69歳、80～84歳で「利用したい」がそれぞれ4割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



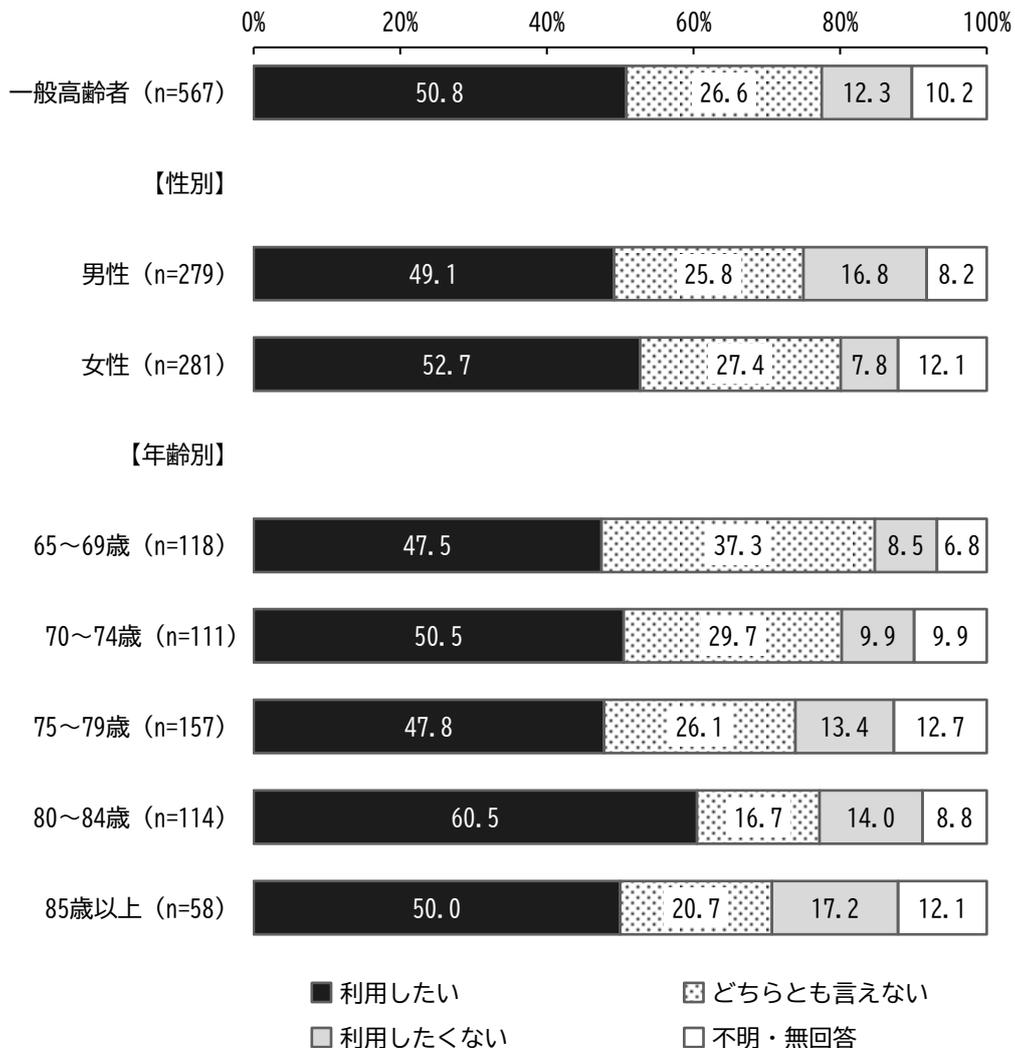
(2) 固定電話への通話録音装置の設置

固定電話への通話録音装置の設置は、「利用したい」が50.8%、「どちらとも言えない」が26.6%、「利用したくない」が12.3%となっています。

性別では、男性、女性ともに「利用したい」がそれぞれ約5割となっています。

年齢別では、80～84歳で「利用したい」が60.5%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



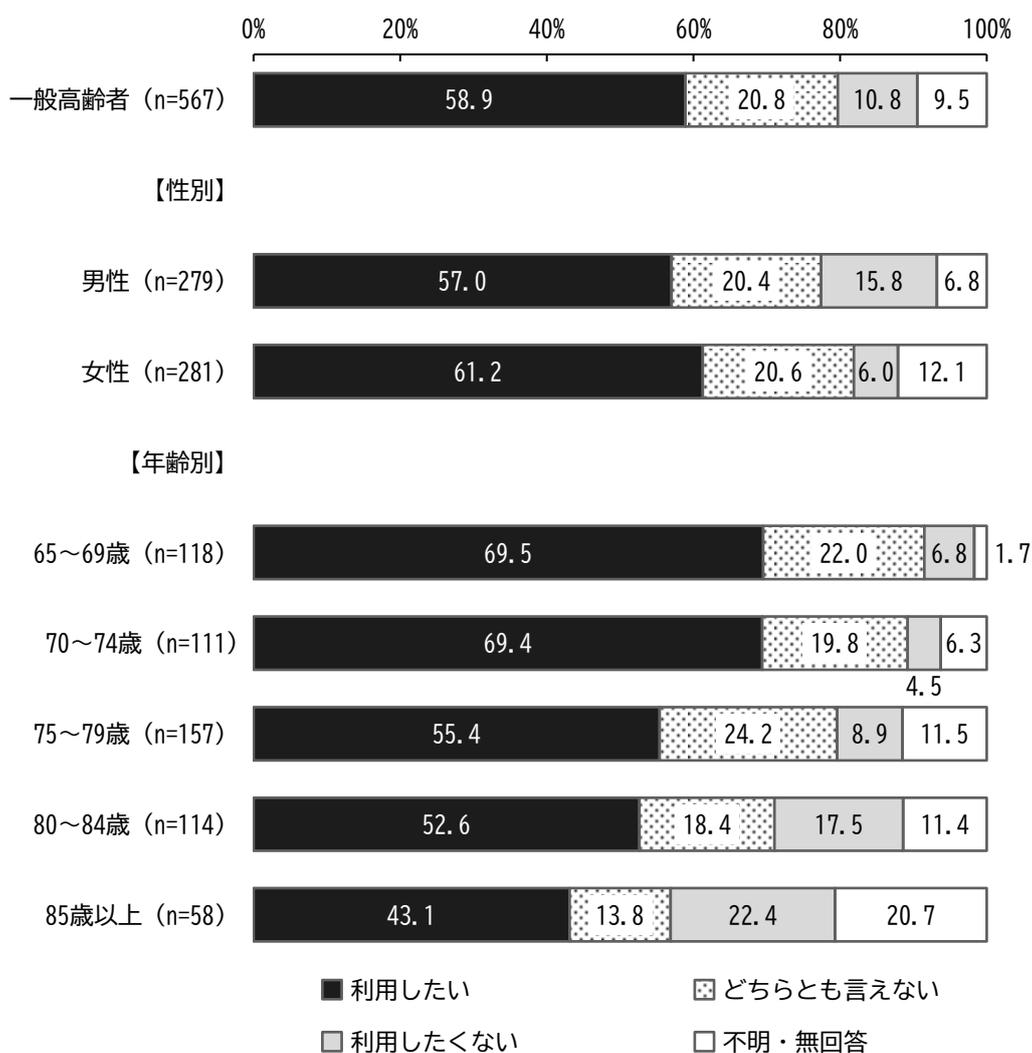
(3) スマートフォンの被害防止アプリ（不審電話の着信拒否機能など）

スマートフォンの被害防止アプリ（不審電話の着信拒否機能など）は、「利用したい」が58.9%、「どちらとも言えない」が20.8%、「利用したくない」が10.8%となっています。

性別では、「利用したい」が男性で57.0%、女性で61.2%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「利用したい」が低くなる傾向にあり、85歳以上で43.1%となっています。

(単数回答)



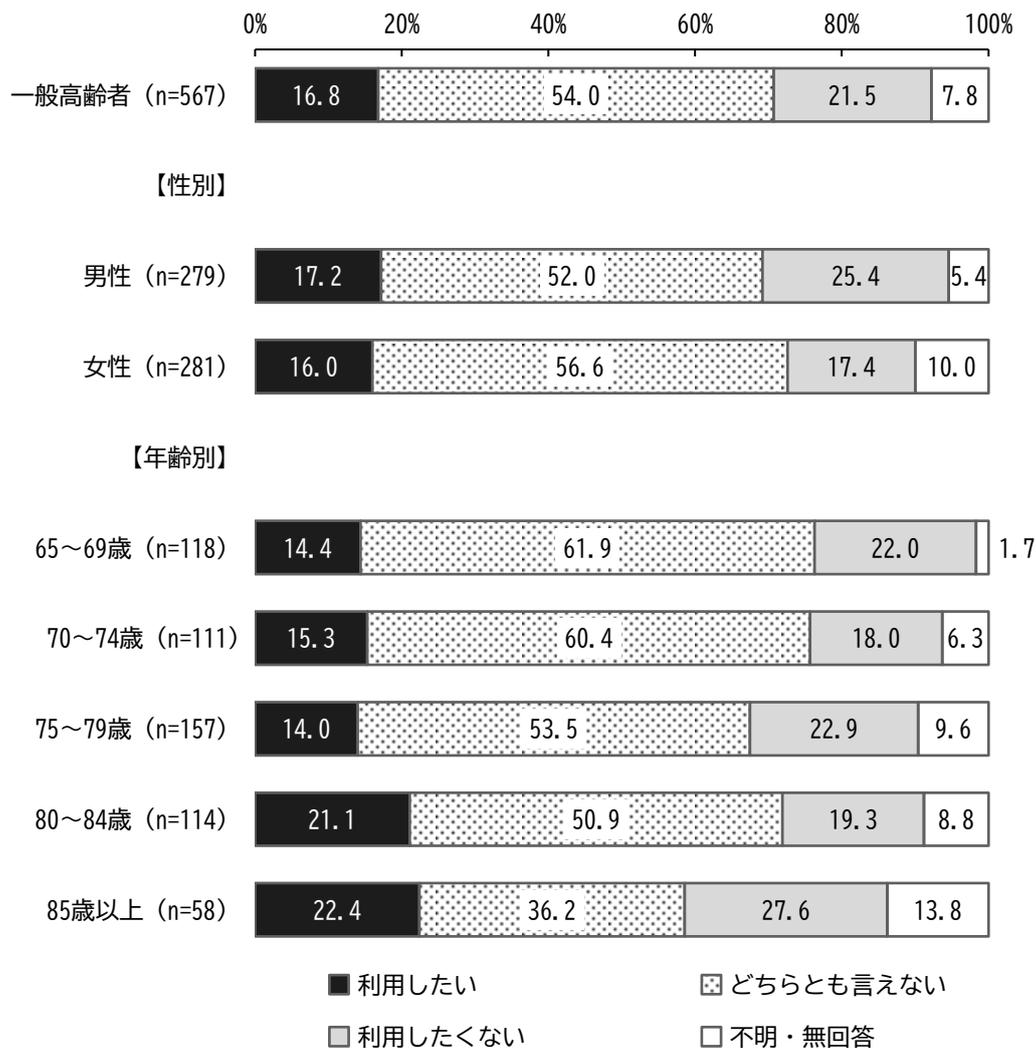
(4) 防犯情報を入手することができる行事・イベントへの参加

防犯情報を入手することができる行事・イベントへの参加は、「利用したい」が16.8%、「どちらとも言えない」が54.0%、「利用したくない」が21.5%となっています。

性別では、男性、女性ともに「利用したい」がそれぞれ1割台となっています。

年齢別では、80～84歳、85歳以上で「利用したい」がそれぞれ2割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



【問5Q8】あなたは、次のサービスなどを利用していますか。

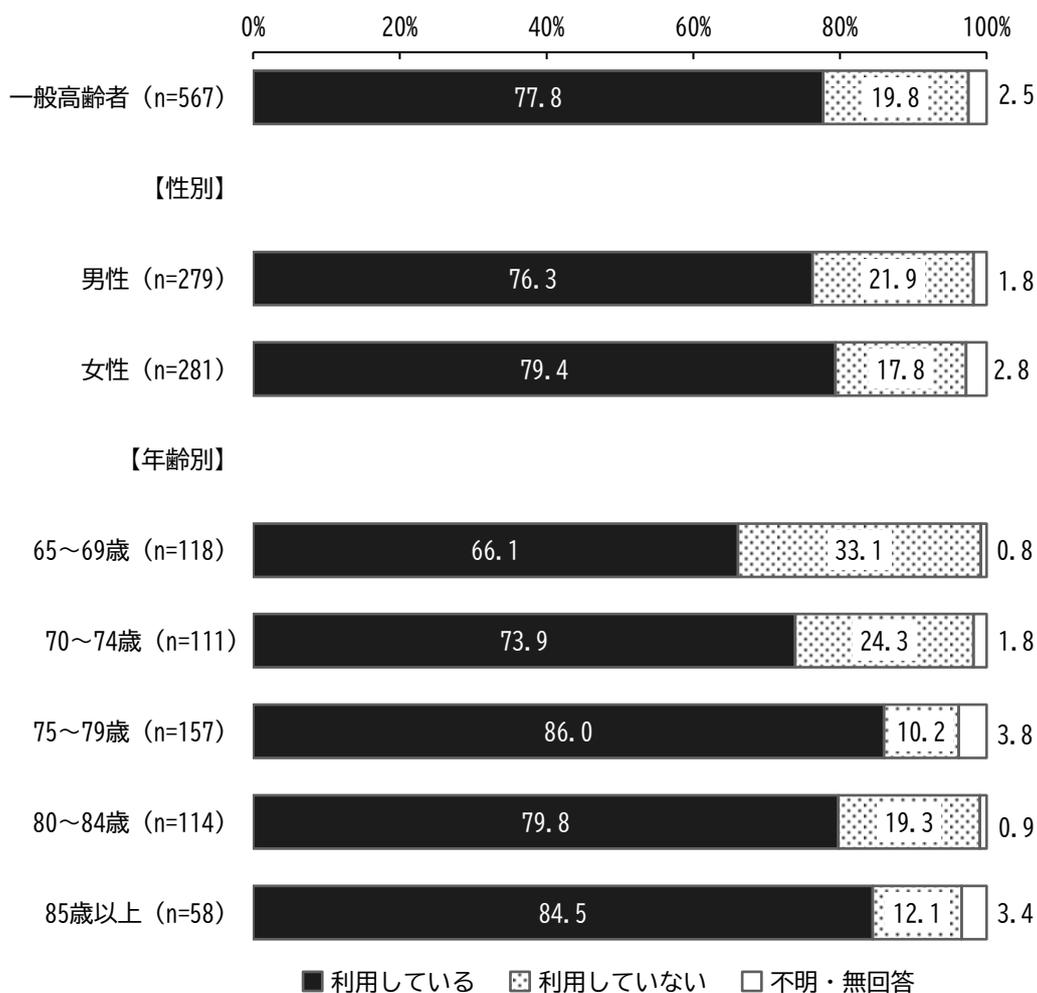
(1) 新聞の購読

新聞の購読は、「利用している」が77.8%、「利用していない」が19.8%となっています。

性別では、男性、女性ともに「利用している」がそれぞれ7割台となっています。

年齢別では、75～79歳、85歳以上で「利用している」がそれぞれ8割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



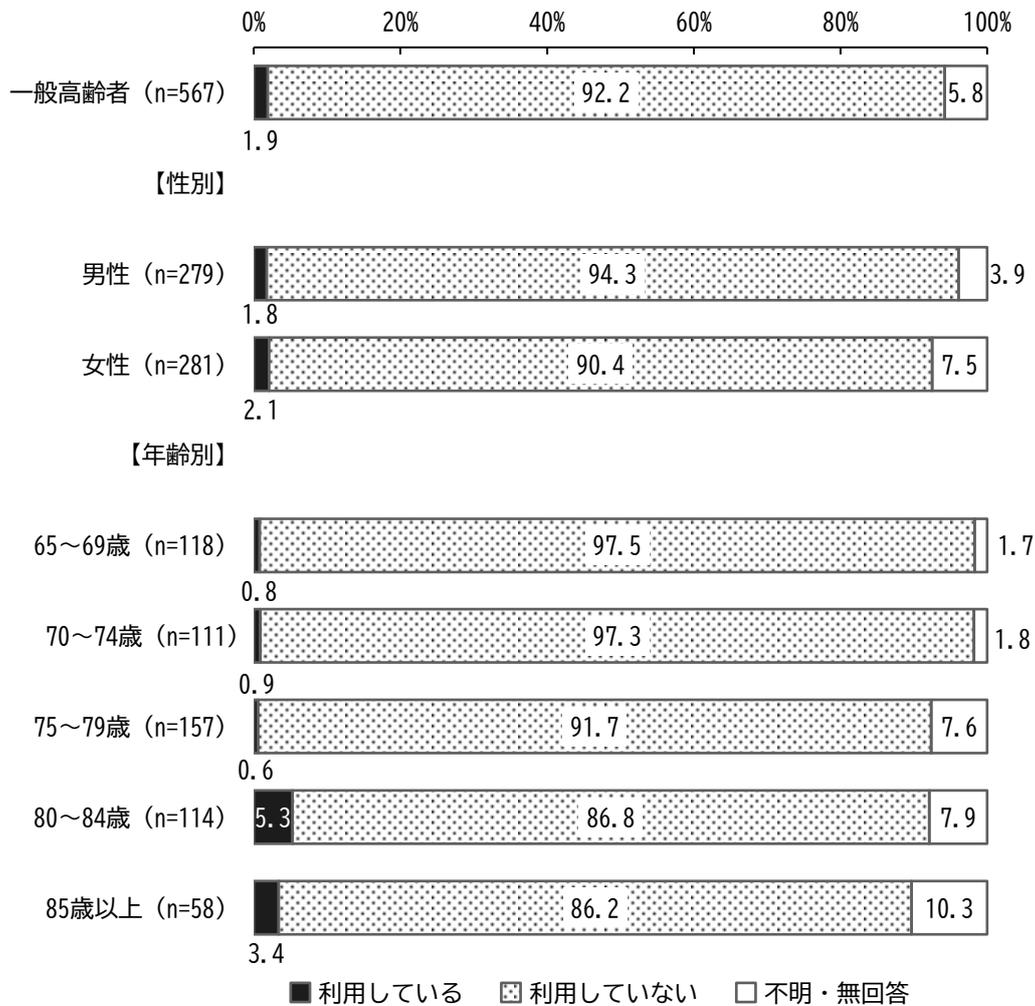
(2) 昼食や夕食などの配食サービス

昼食や夕食などの配食サービスは、「利用している」が1.9%、「利用していない」が92.2%となっています。

性別では、「利用している」が男性で1.8%、女性で2.1%となっています。

年齢別では、いずれの年代も「利用している」がそれぞれ1割未満となっています。

(単数回答)



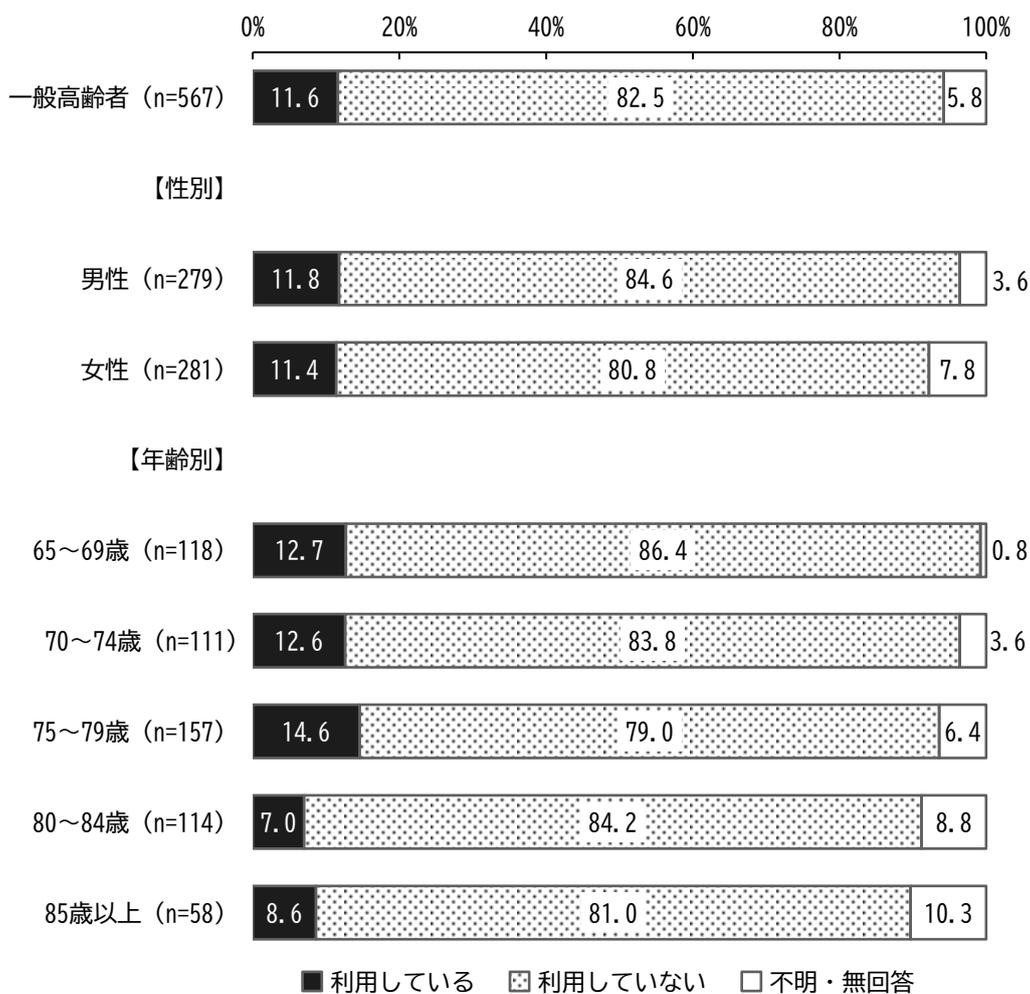
(3) 緊急時の通報サービス

緊急時の通報サービスは、「利用している」が11.6%、「利用していない」が82.5%となっています。

性別では、男性、女性ともに「利用している」がそれぞれ1割台となっています。

年齢別では、65～69歳、70～74歳、75～79歳で「利用している」がそれぞれ1割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



【問5Q9】 今後、国や市が重点を置くべきと思う施策について、ご回答ください。

* 『思う』 = 「思う」と「どちらかと言えば思う」を合わせた割合
 『思わない』 = 「どちらかと言えば思わない」と「思わない」を合わせた割合

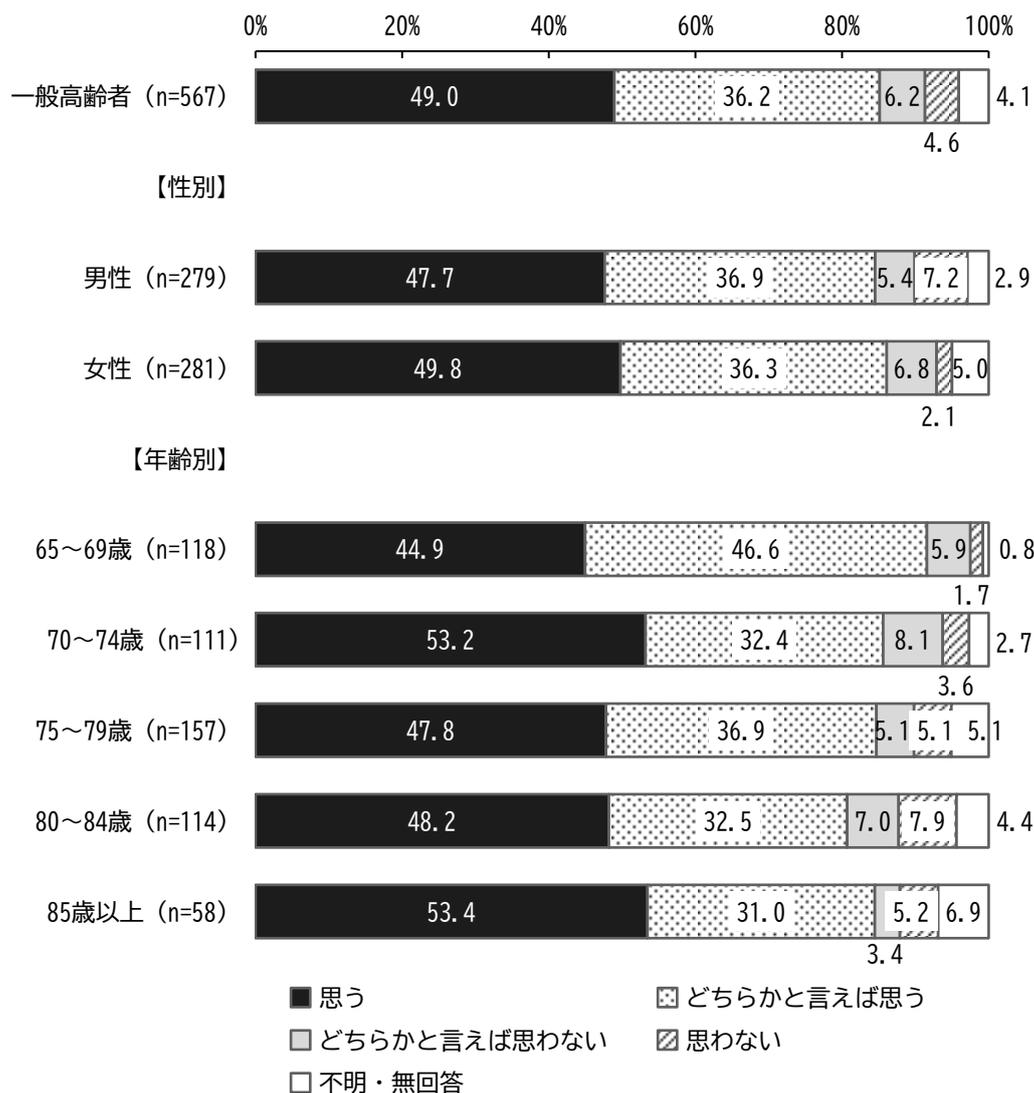
(1) 移動支援サービスの充実

移動支援サービスの充実は、『思う』が85.2%、『思わない』が10.8%となっています。

性別では、男性、女性ともに『思う』がそれぞれ8割台となっています。

年齢別では、65～69歳で『思う』が91.5%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



(6) 地域の活動について

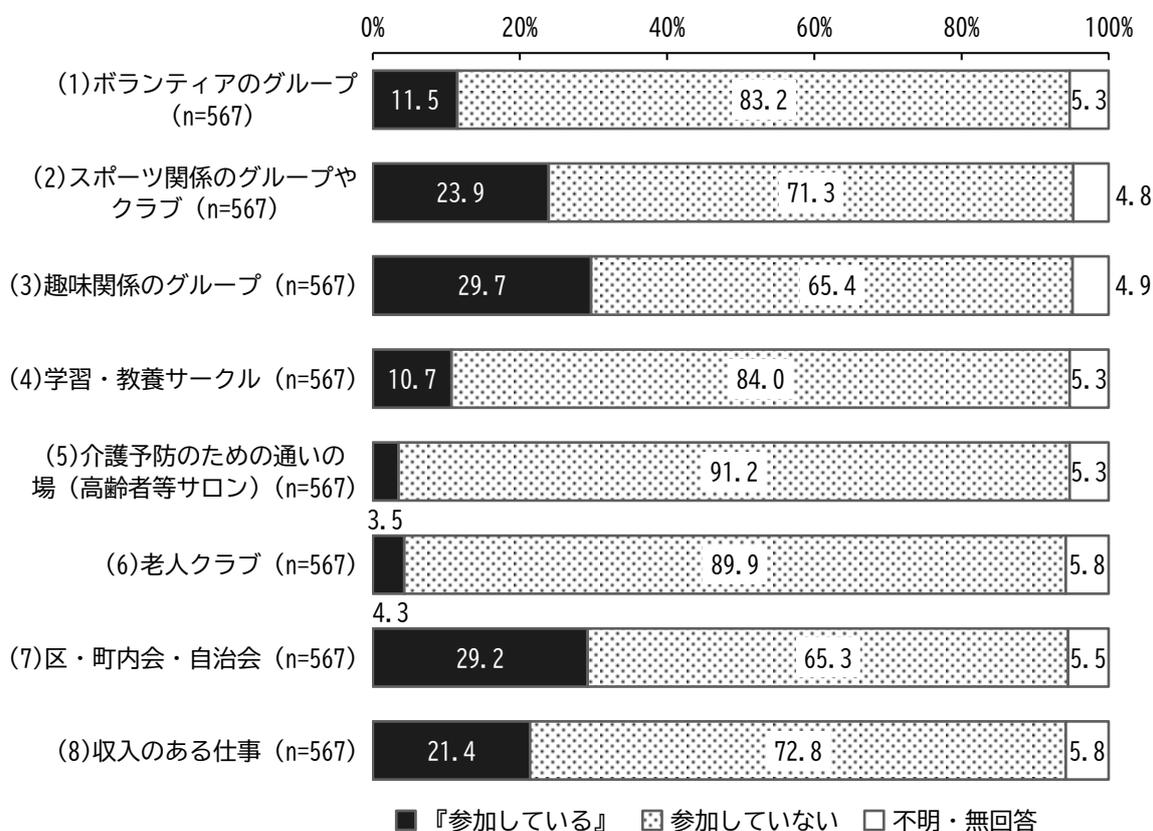
【問6Q1】 次のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

* 『参加している』 = 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」を合わせた割合

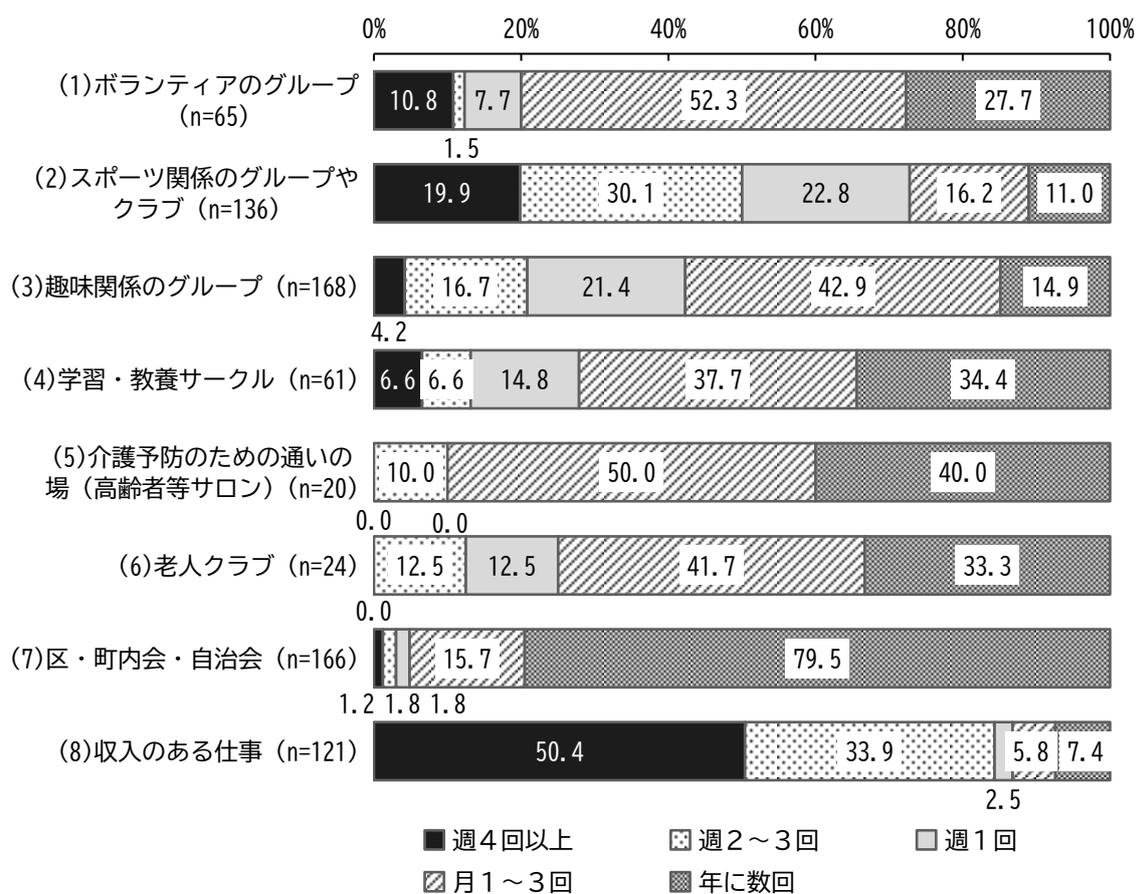
参加しているグループ・会等とその参加頻度は、「(2) スポーツ関係のグループやクラブ」「(3) 趣味関係のグループ」「(7) 区・町内会・自治会」「(8) 収入のある仕事」において『参加している』がそれぞれ2割以上となっています。一方、「(5) 介護予防のための通いの場（高齢者等サロン）」「(6) 老人クラブ」は、『参加している』がそれぞれ1割未満となっています。

参加している頻度について、週1回以上参加している人が「(8) 収入のある仕事」で 86.8%と、他と比べて高くなっています。

(単数回答)



■参加頻度 ※『参加している人』のみの集計



【問6Q1-1】参加する中で感じていることとして、あてはまるものに○をつけてください。

*【問6Q1(1)～(8)】で「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」のいずれかを答えた方への質問

*『あてはまる』 = 「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた割合
 『あてはまらない』 = 「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合

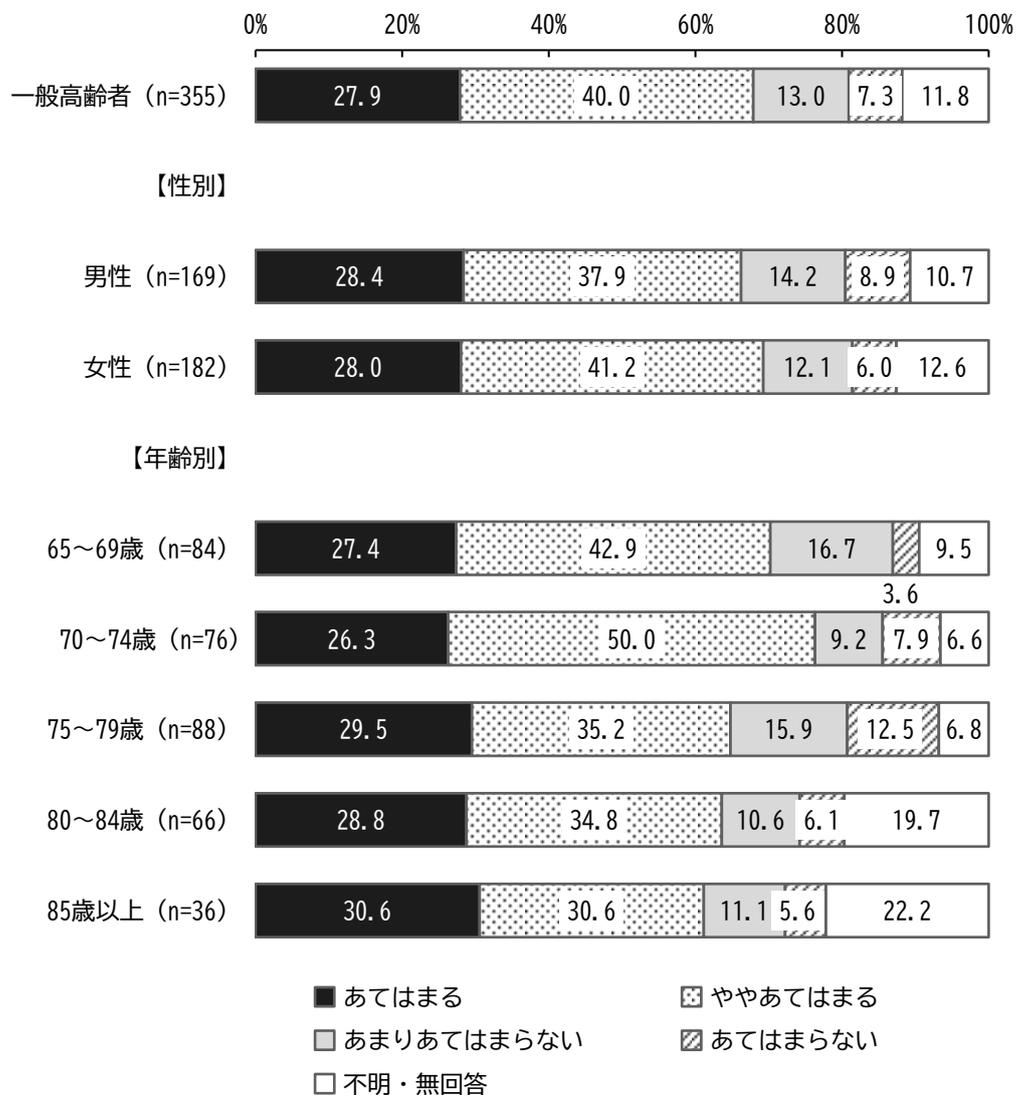
(1) いきがいを感じている

いきがいを感じているかは、『あてはまる』が67.9%、『あてはまらない』が20.3%となっています。

性別では、男性、女性ともに『あてはまる』がそれぞれ6割台となっています。

年齢別では、70～74歳で『あてはまる』が76.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



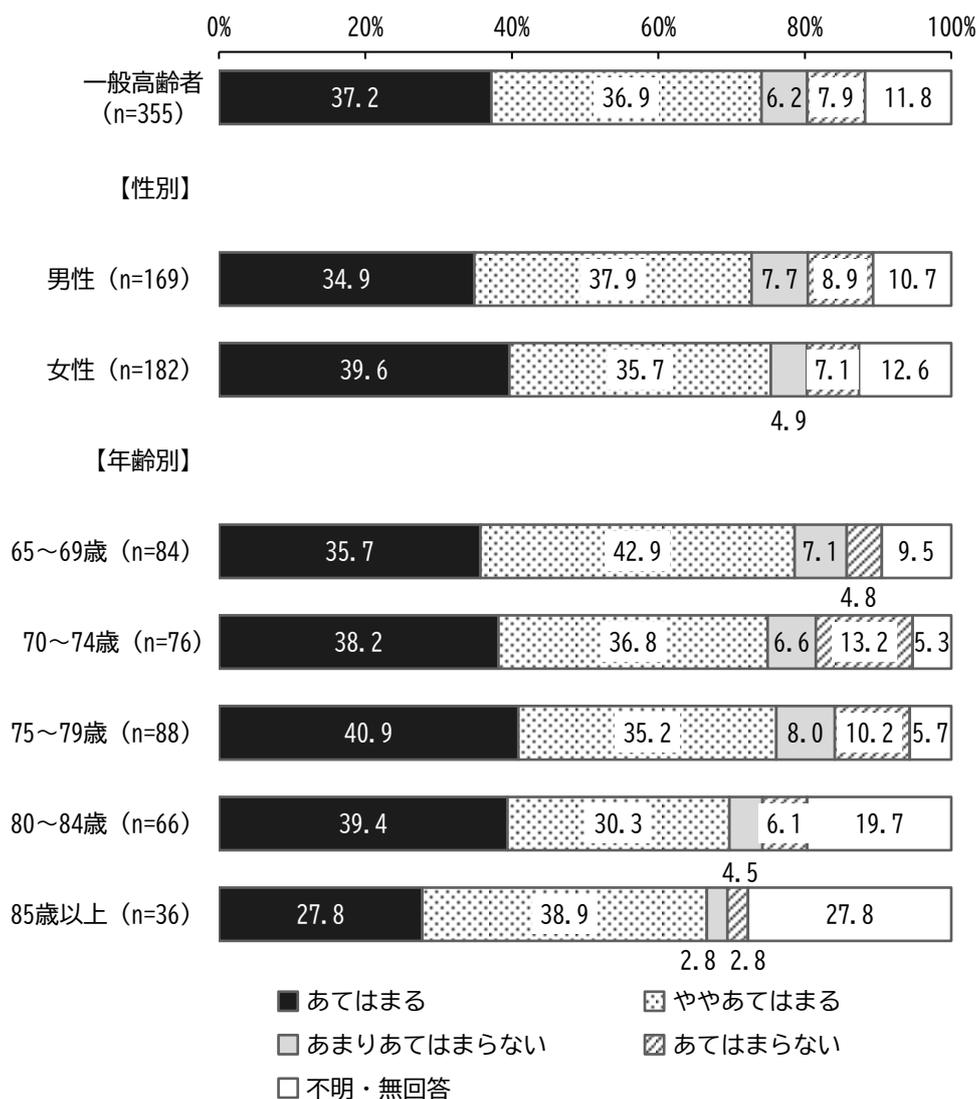
(2) 心身の健康を感じている

心身の健康を感じているかは、『あてはまる』が74.1%、『あてはまらない』が14.1%となっています。

性別では、男性、女性ともに『あてはまる』がそれぞれ7割台となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『あてはまる』が高くなる傾向にあり、85歳以上で66.7%となっています。

(単数回答)



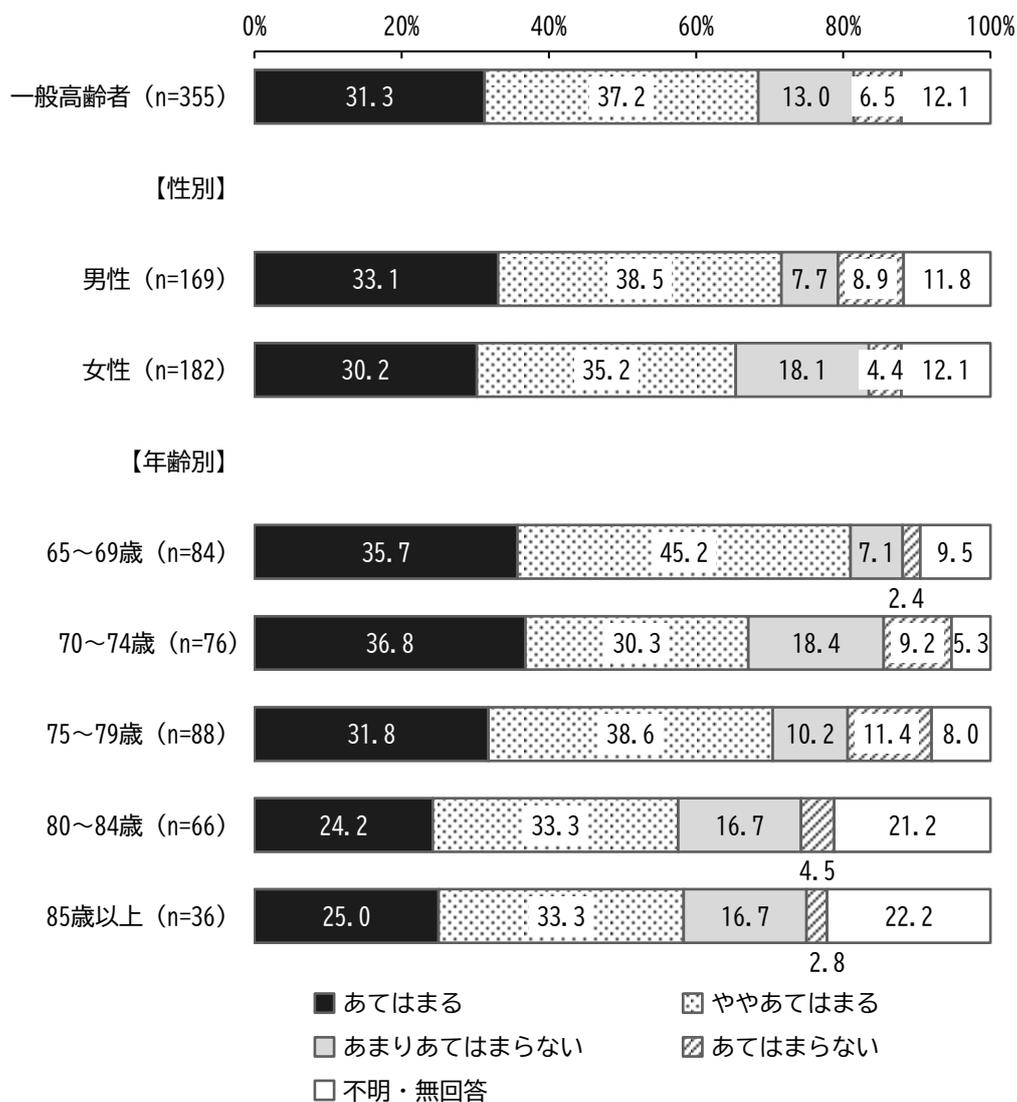
(3) 社会との関わりを感じている

社会との関わりを感じているかは、『あてはまる』が68.5%、『あてはまらない』が19.5%となっています。

性別では、男性、女性ともに『あてはまる』がそれぞれ6割台となっています。

年齢別では、65～69歳で『あてはまる』が80.9%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



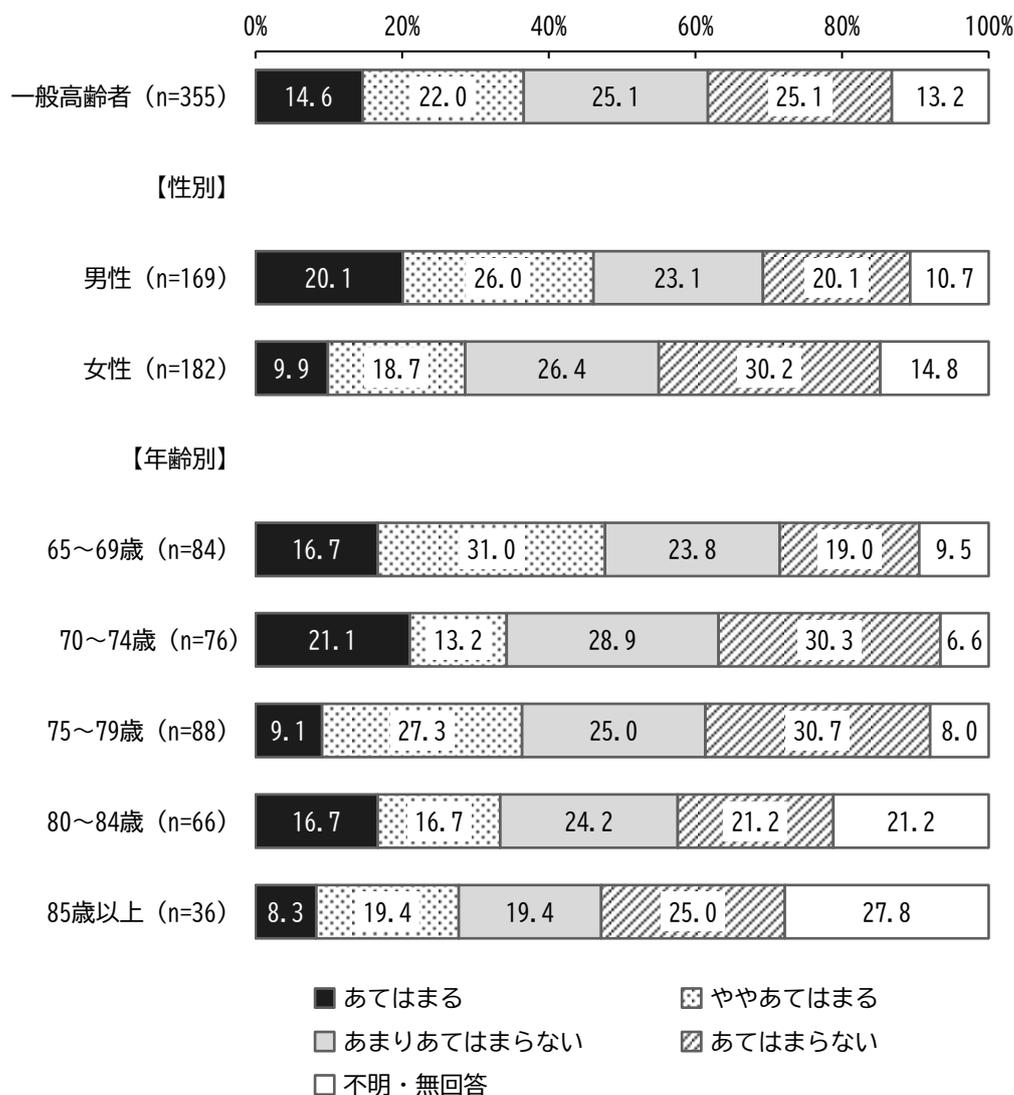
(4) 社会貢献をしていると感じている

社会貢献をしていると感じているかは、『あてはまる』が36.6%、『あてはまらない』が50.2%となっています。

性別では、男性で『あてはまる』が46.1%と、女性と比べて17.5ポイント高くなっています。

年齢別では、65～69歳で『あてはまる』が47.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



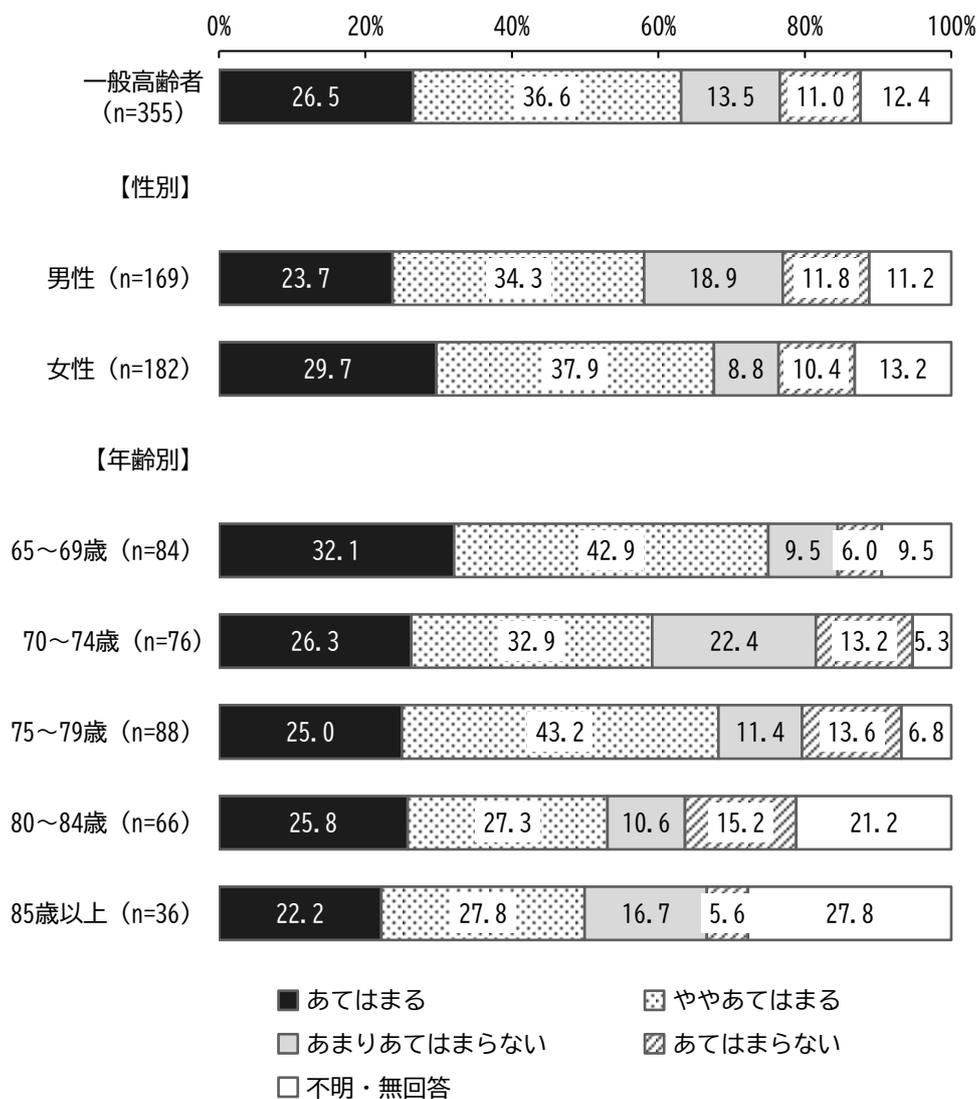
(5) 時間を有効に活用できていると感じている

時間を有効に活用できていると感じているかは、『あてはまる』が63.1%、『あてはまらない』が24.5%となっています。

性別では、女性で『あてはまる』が67.6%と、男性と比べて9.6ポイント高くなっています。

年齢別では、65～69歳で『あてはまる』が75.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



【問6Q1-2】参加していない理由として、あてはまるものに○をつけてください。

*【問6Q1(1)～(8)】で「参加していない」と答えた方への質問

*『あてはまる』 = 「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた割合

『あてはまらない』 = 「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合

(1) 参加するきっかけがない

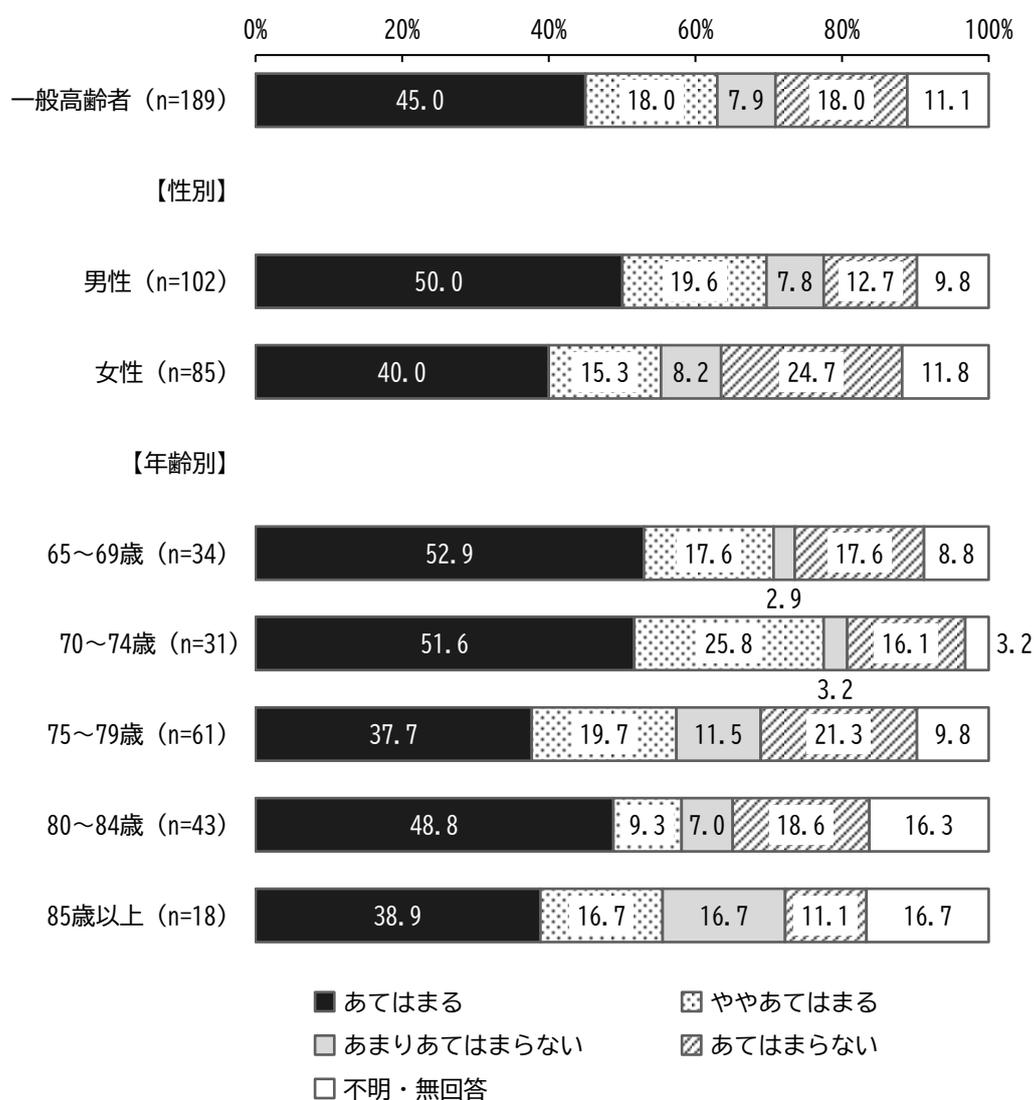
参加するきっかけがないは、『あてはまる』が63.0%、『あてはまらない』が25.9%となっています。

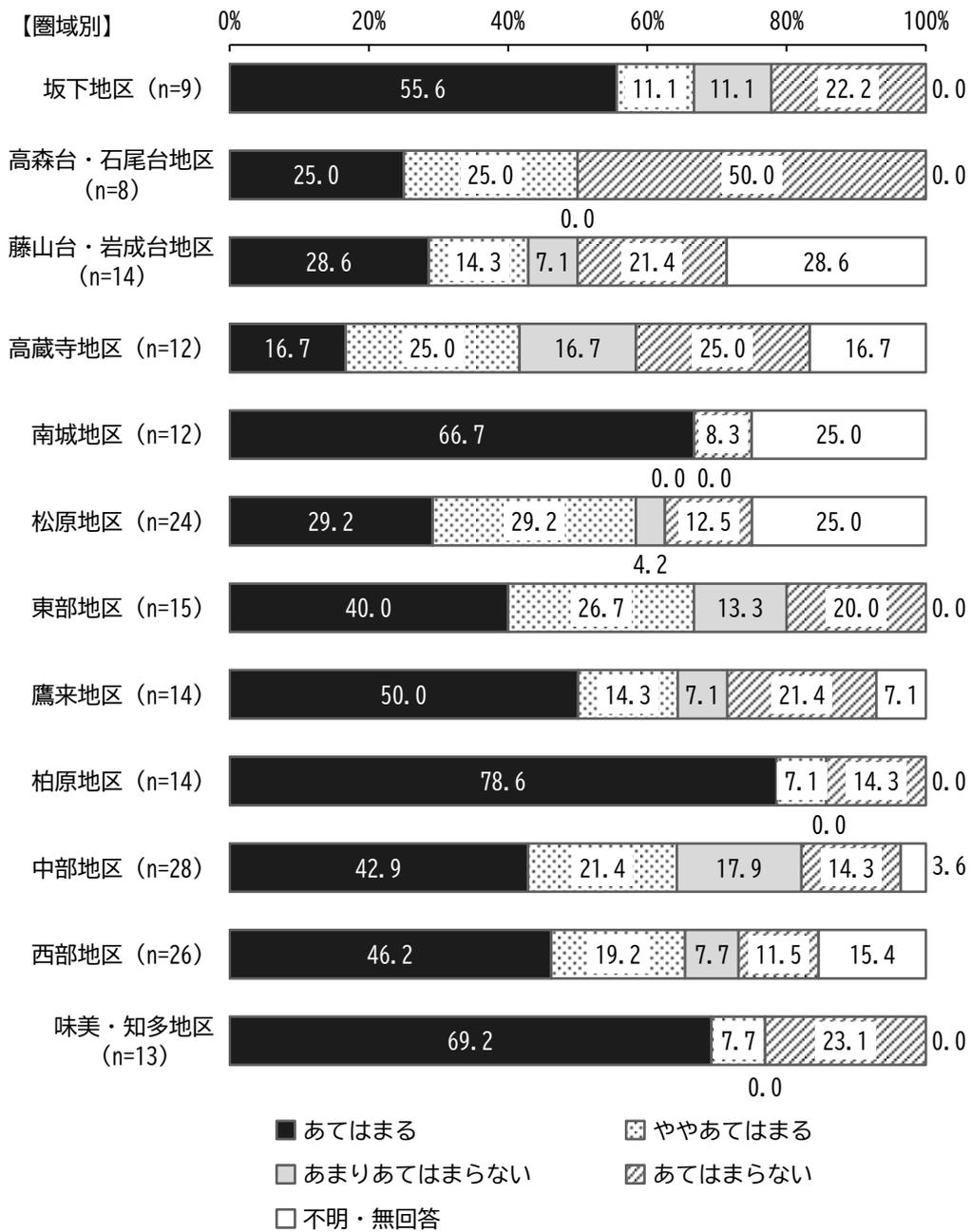
性別では、男性で『あてはまる』が69.6%と、女性と比べて14.3ポイント高くなっています。

年齢別では、70～74歳で『あてはまる』が77.4%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、柏原地区で『あてはまる』が85.7%と、他の圏域と比べて高くなっています。

(単数回答)





(2) 健康面や体力に自信がない

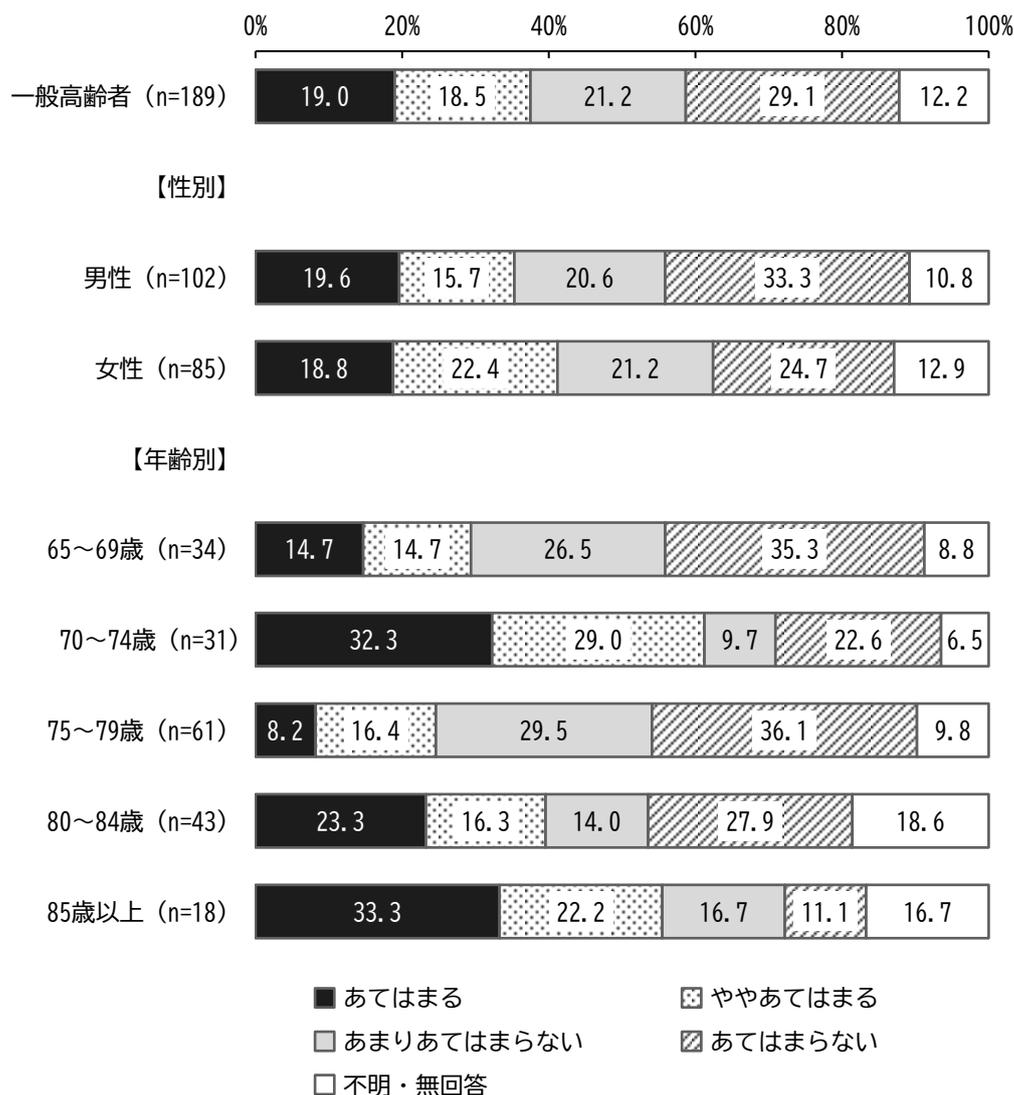
健康面や体力に自信がないは、『あてはまる』が37.5%、『あてはまらない』が50.3%となっています。

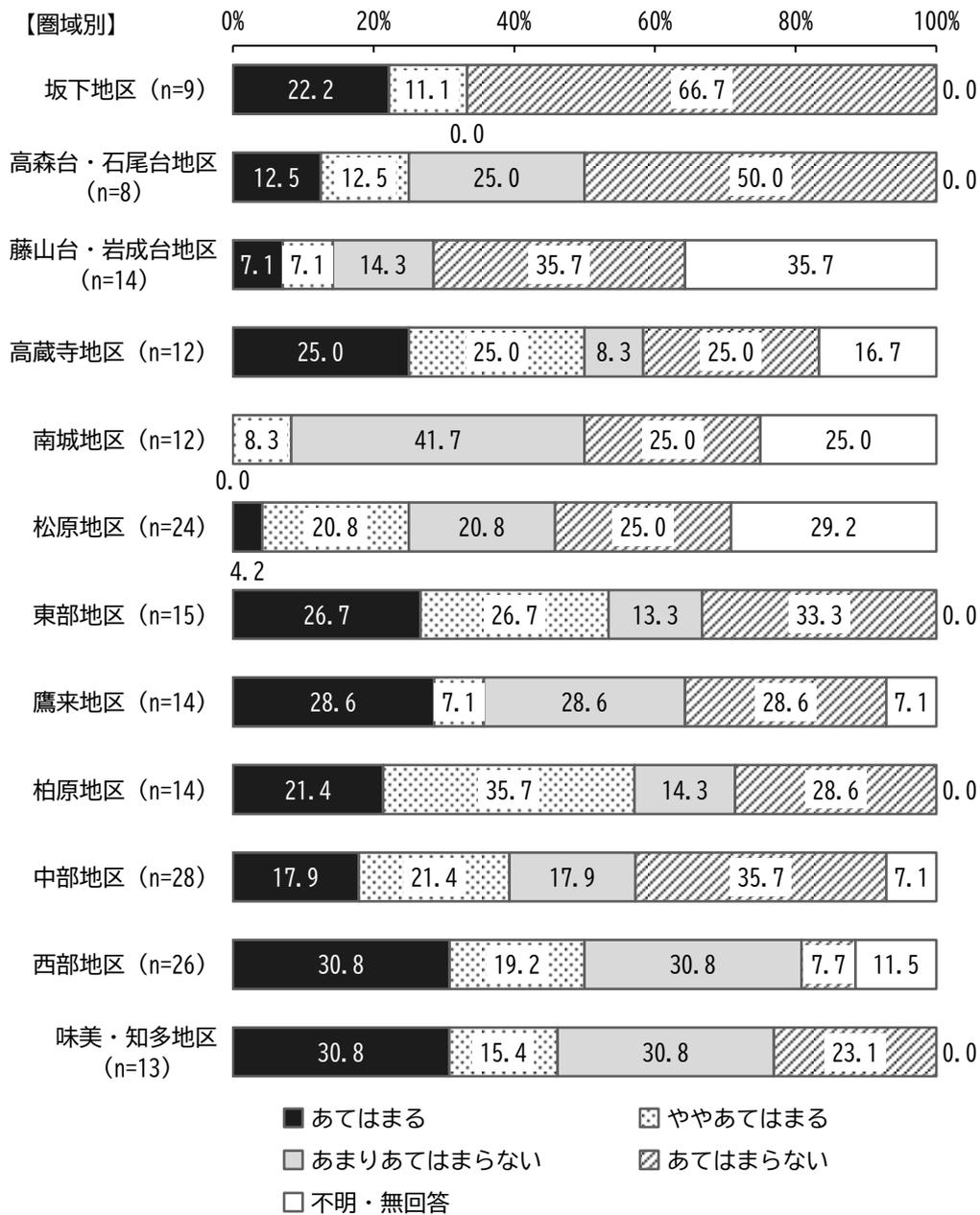
性別では、女性で『あてはまる』が41.2%と、男性と比べて5.9ポイント高くなっています。

年齢別では、70～74歳で『あてはまる』が61.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、高蔵寺地区、東部地区、柏原地区、西部地区で『あてはまる』がそれぞれ5割と、他の圏域と比べて高くなっています。

(単数回答)





(3) 一緒に参加する友人や仲間がいない

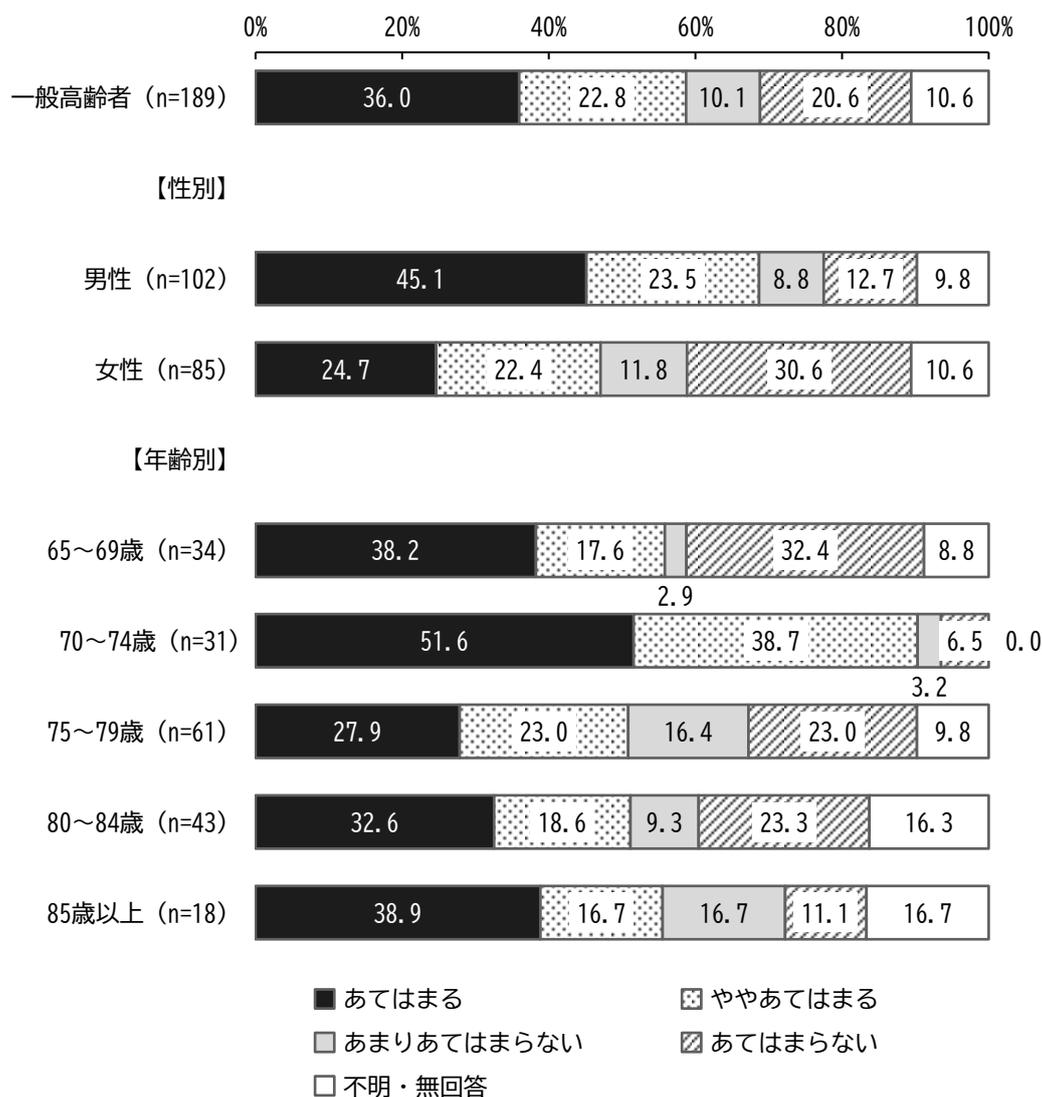
一緒に参加する友人や仲間がいないは、『あてはまる』が58.8%、『あてはまらない』が30.7%となっています。

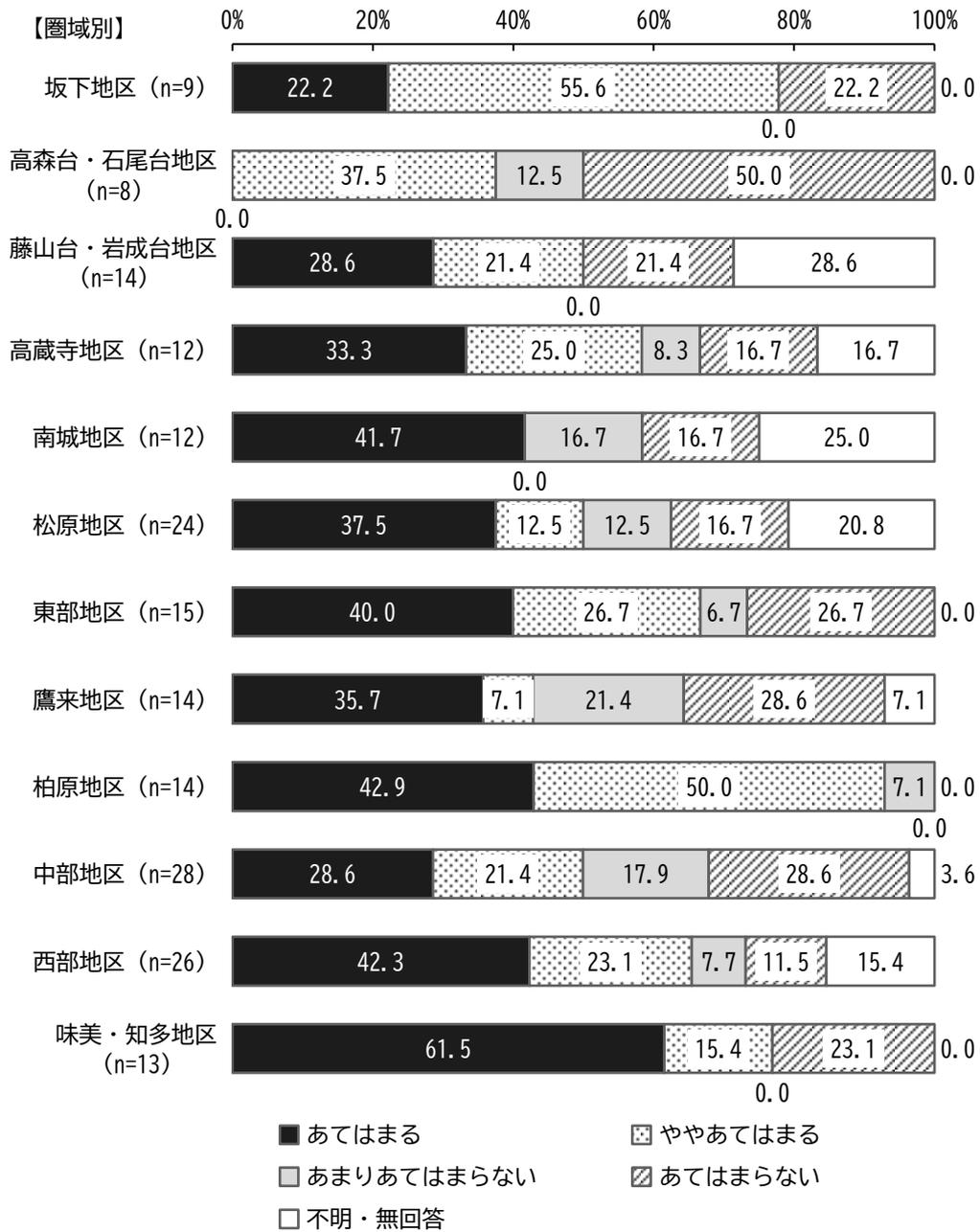
性別では、男性で『あてはまる』が68.6%と、女性と比べて21.5ポイント高くなっています。

年齢別では、70～74歳で『あてはまる』が90.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、柏原地区で『あてはまる』が92.9%と、他の圏域と比べて高くなっています。

(単数回答)





(4) 参加できる時間の余裕がない

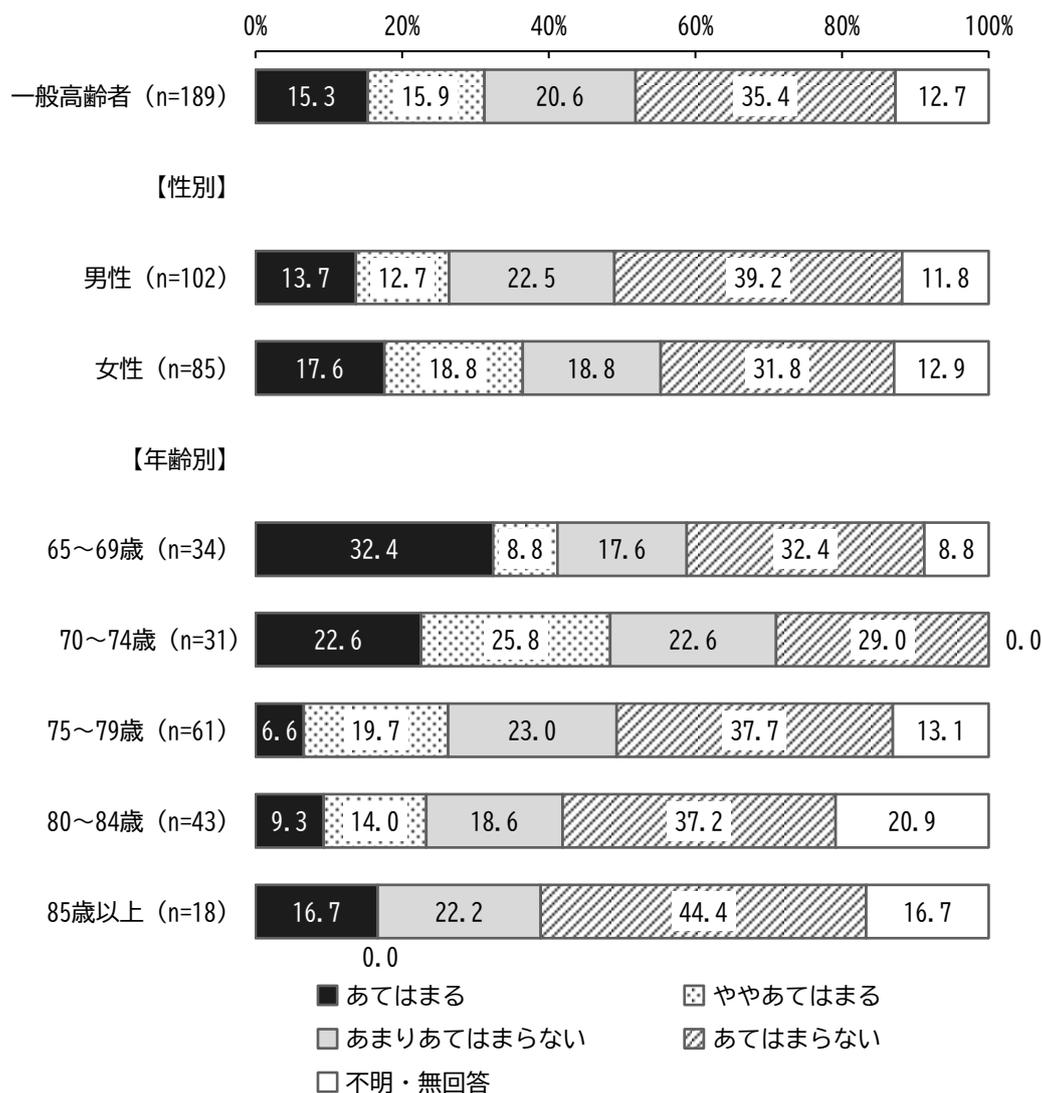
参加できる時間の余裕がないは、『あてはまる』が31.2%、『あてはまらない』が56.0%となっています。

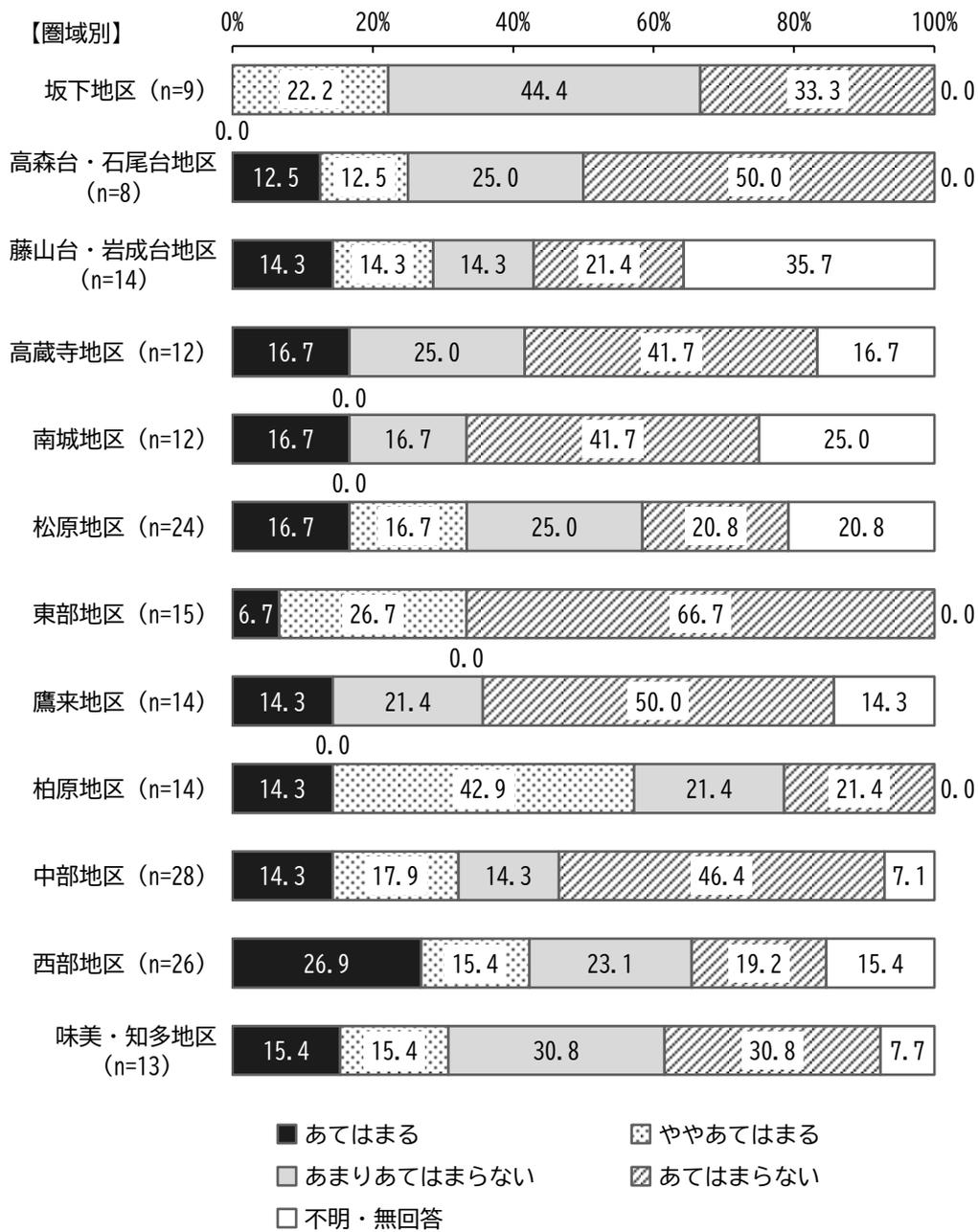
性別では、女性で『あてはまる』が36.4%と、男性と比べて10.0ポイント高くなっています。

年齢別では、65～69歳、70～74歳で『あてはまる』がそれぞれ4割台と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、柏原地区で『あてはまる』が57.2%と、他の圏域と比べて高くなっています。

(単数回答)

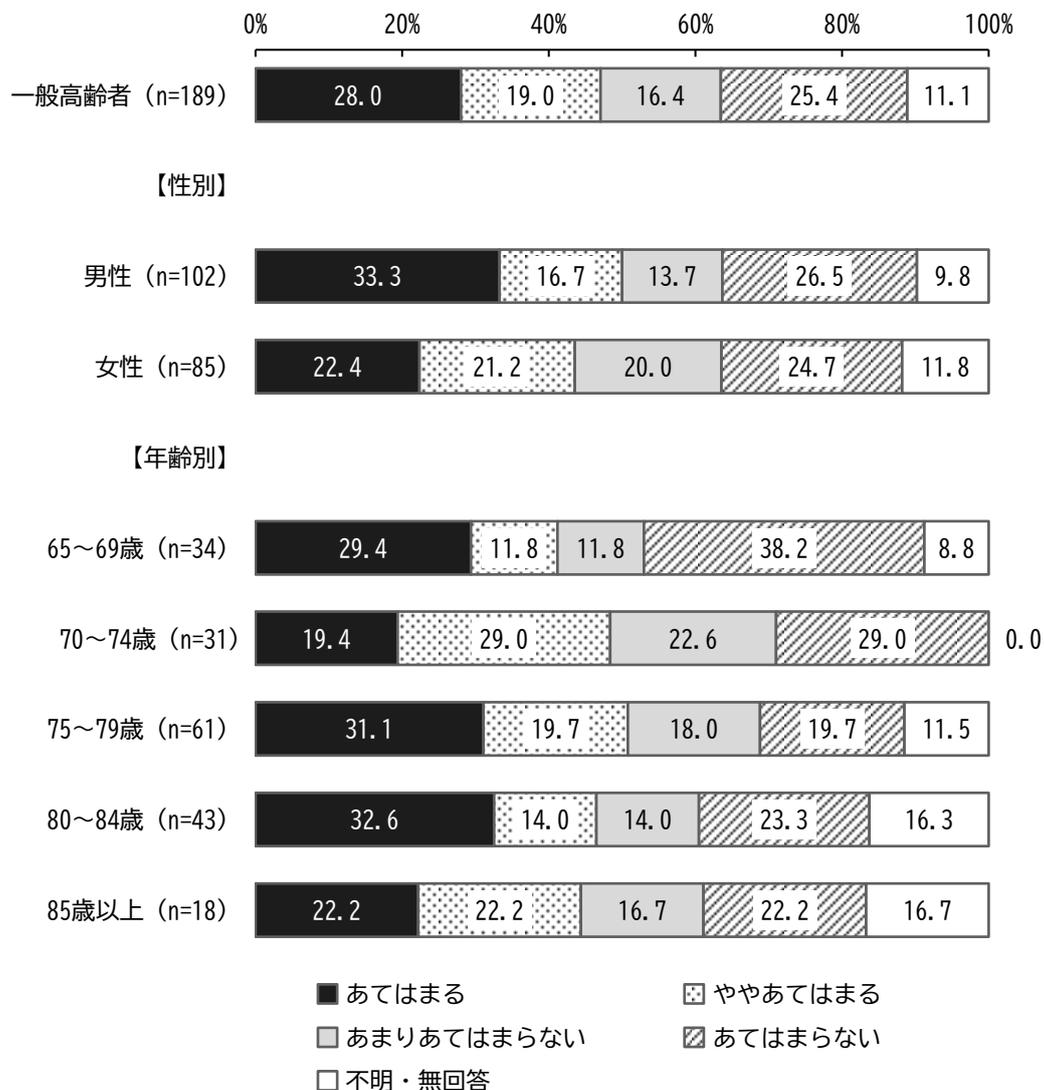


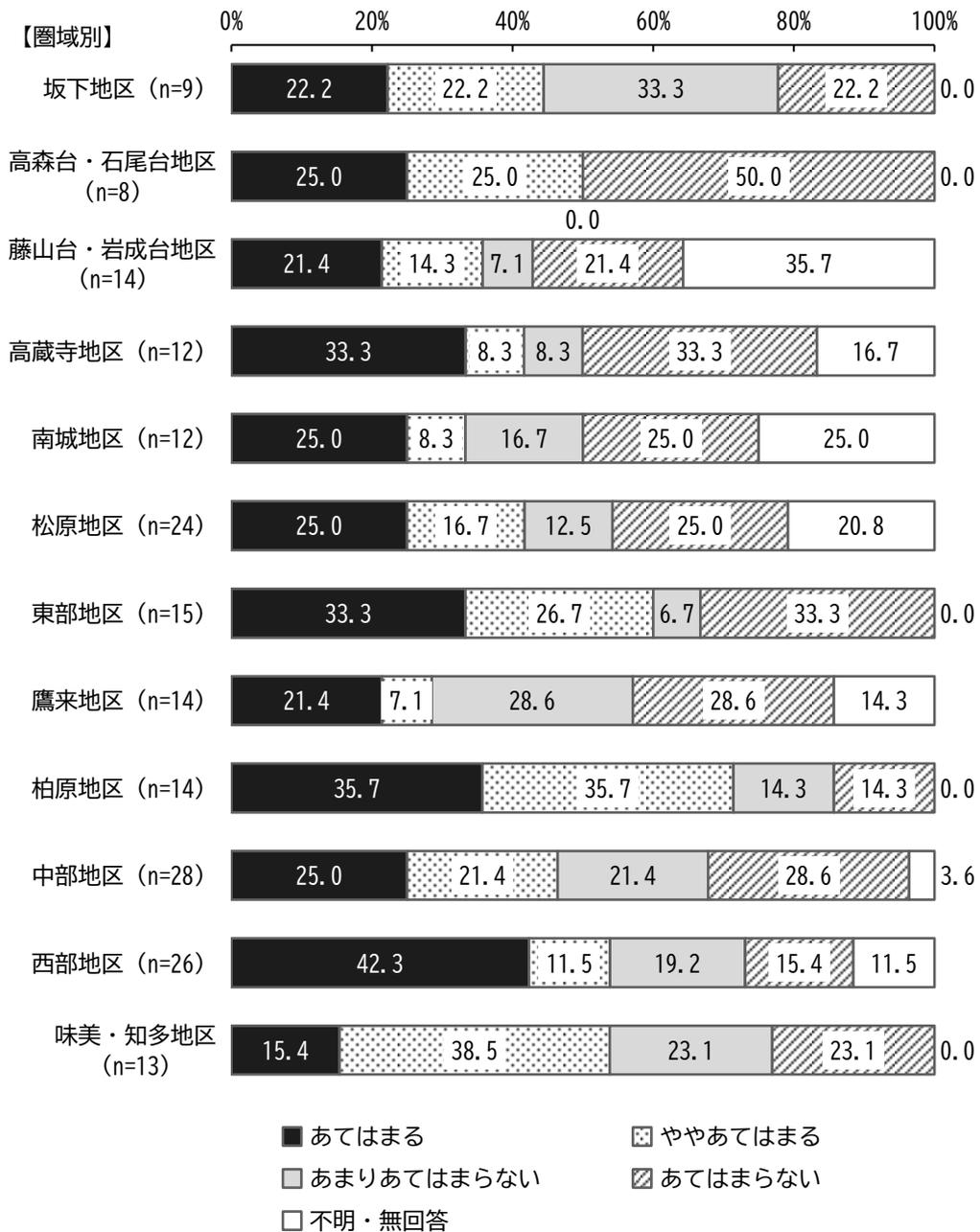


(5) 活動場所が近くにない

活動場所が近くにないは、『あてはまる』が47.0%、『あてはまらない』が41.8%となっています。
 性別では、男性で『あてはまる』が50.0%と、女性と比べて6.4ポイント高くなっています。
 年齢別では、75～79歳で『あてはまる』が50.8%と、他の年代と比べて高くなっています。
 圏域別では、柏原地区で『あてはまる』が71.4%と、他の圏域と比べて高くなっています。

(単数回答)





(6) 交流を必要としていない

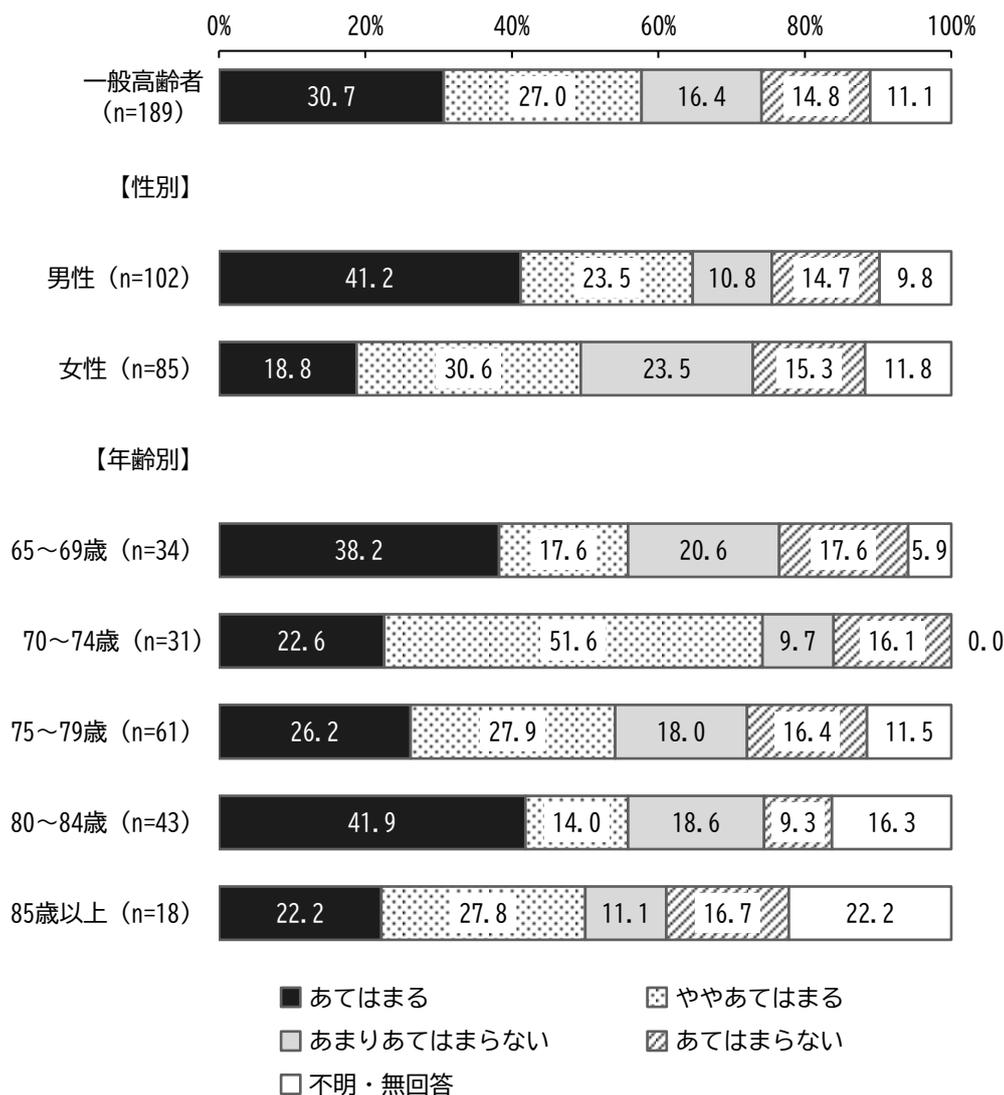
交流を必要としていないは、『あてはまる』が57.7%、『あてはまらない』が31.2%となっています。

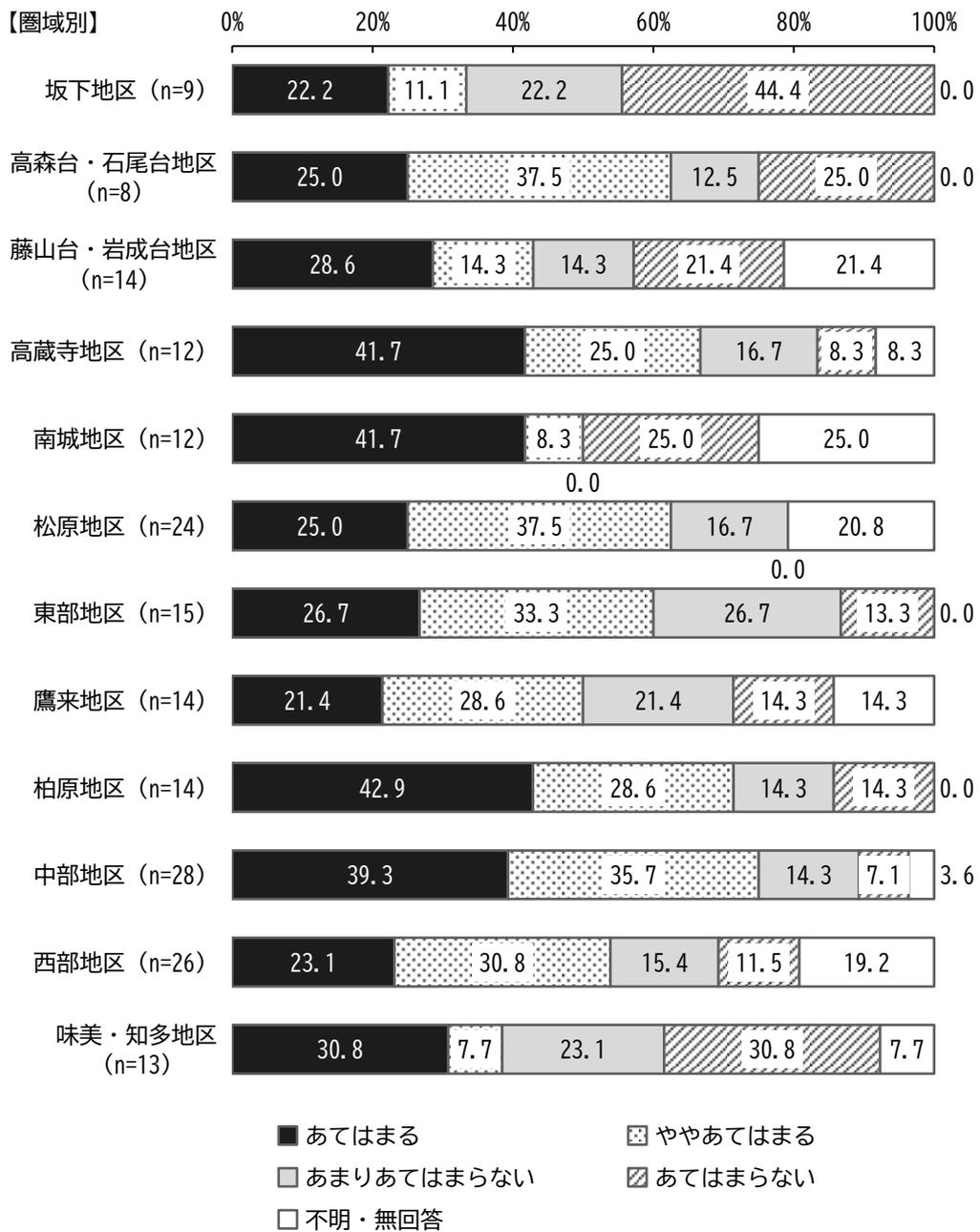
性別では、男性で『あてはまる』が64.7%と、女性と比べて15.3ポイント高くなっています。

年齢別では、70～74歳で『あてはまる』が74.2%と、他の年代と比べて高くなっています。

圏域別では、柏原地区、中部地区で『あてはまる』がそれぞれ7割台と、他の圏域と比べて高くなっています。

(単数回答)





【問6Q2】地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

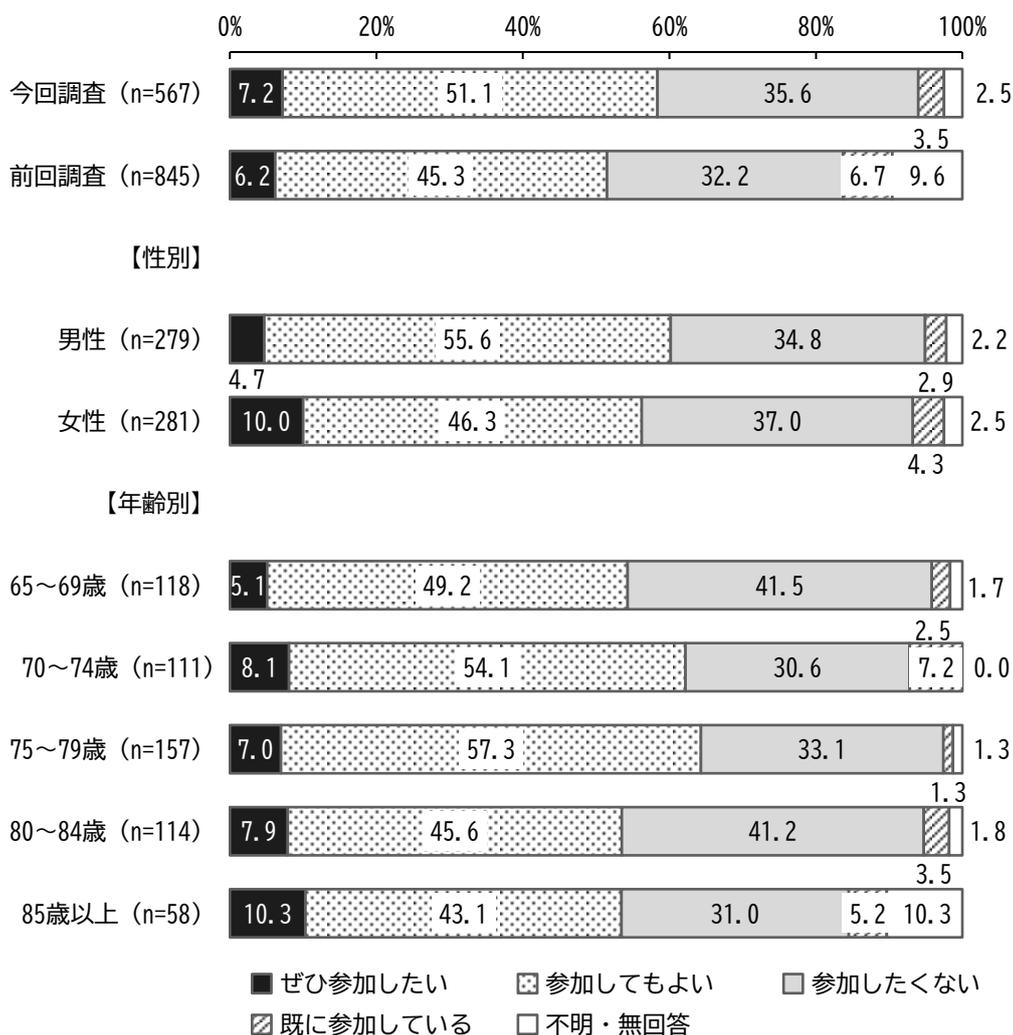
参加者としての参加希望は、「参加してもよい」が51.1%と最も高く、次いで「参加したくない」が35.6%となっています。

前回調査と比較すると、「参加してもよい」が5.8ポイント高くなっています。

性別では、男性で「参加してもよい」が55.6%と、女性と比べて9.3ポイント高くなっています。

年齢別では、70～74歳、75～79歳で「参加してもよい」がそれぞれ5割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



【問6Q3】地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

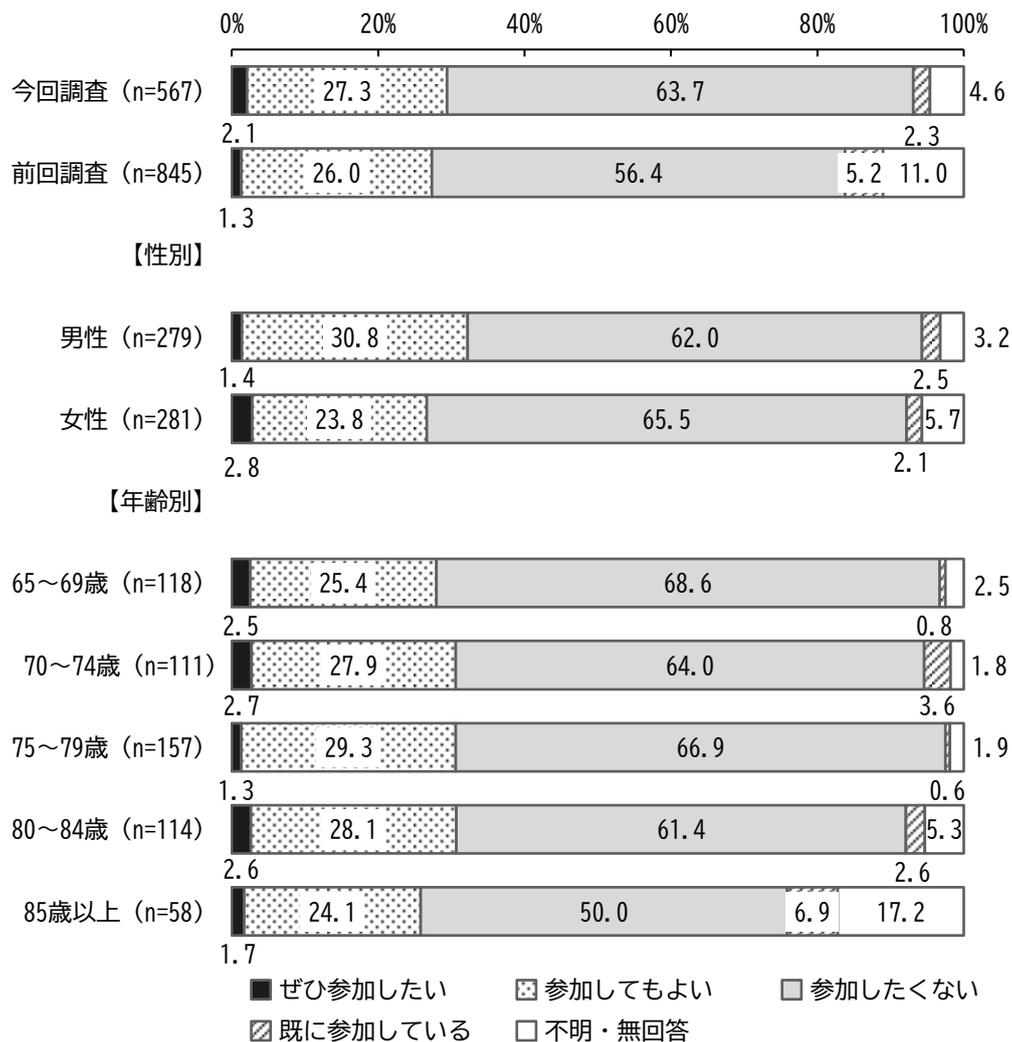
企画・運営としての参加希望は、「参加したくない」が63.7%と最も高く、次いで「参加してもよい」が27.3%となっています。

前回調査と比較すると、「参加したくない」が7.3ポイント高くなっています。

性別では、男性で「参加してもよい」が30.8%と、女性と比べて7.0ポイント高くなっています。

年齢別では、いずれの年代も「参加してもよい」がそれぞれ2割台となっています。

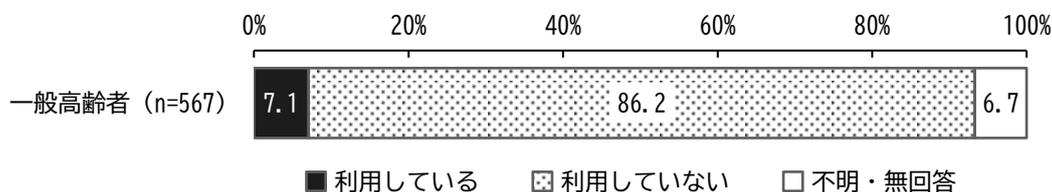
(単数回答)



【問6Q4】あなたは「かすがいいいきポイント」を利用していますか。

「かすがいいいきポイント」の利用状況は、「利用している」が7.1%、「利用していない」が86.2%となっています。

(単数回答)

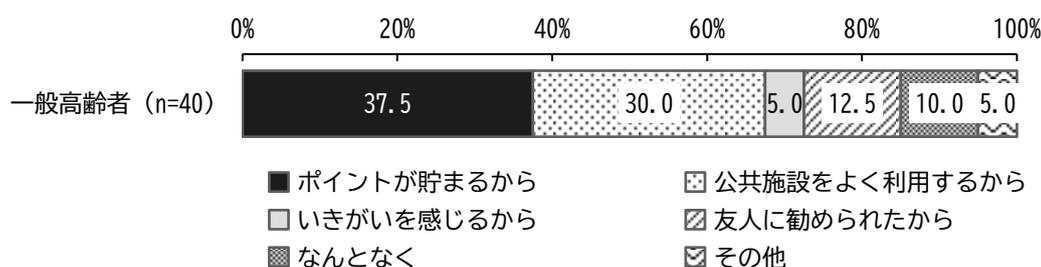


(1) 利用している主な理由

* 「かすがいいいきポイント」を利用している方への質問

「かすがいいいきポイント」を利用している主な理由は、「ポイントが貯まるから」が37.5%と最も高く、次いで「公共施設をよく利用するから」が30.0%となっています。

(単数回答)

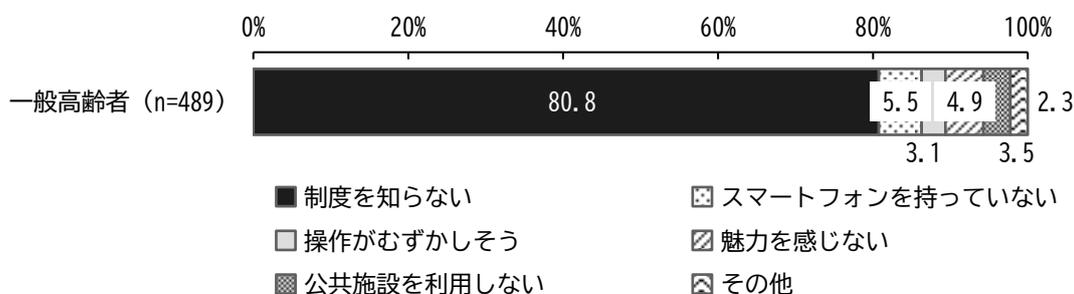


(2) 利用していない主な理由

* 「かすがいいいきポイント」を利用していない方への質問

「かすがいいいきポイント」を利用していない主な理由は、「制度を知らない」が80.8%と最も高く、次いで「スマートフォンを持っていない」が5.5%となっています。

(単数回答)



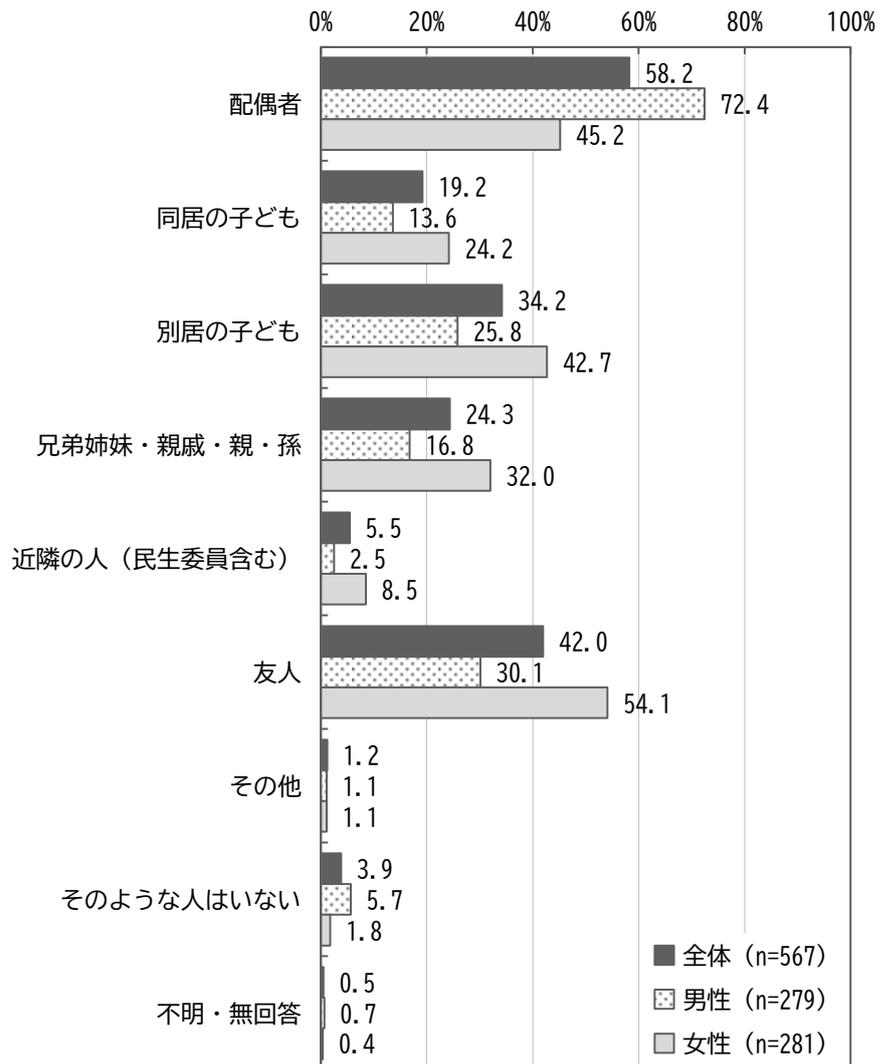
(7) たすけあいについて

【問7Q1】あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は誰ですか。

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「配偶者」が58.2%と最も高く、次いで「友人」が42.0%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が72.4%、女性で「友人」が54.1%と、それぞれ最も高くなっています。

(複数回答)

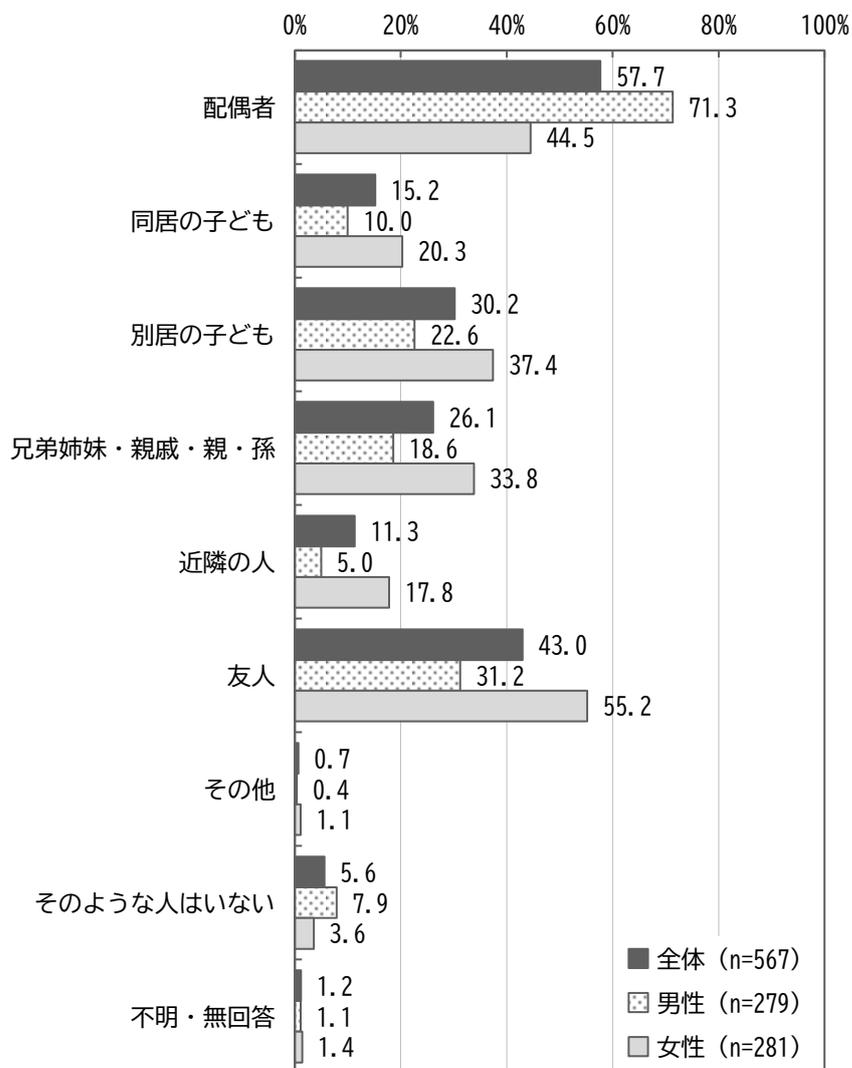


【問7Q2】 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は誰ですか。

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」が57.7%と最も高く、次いで「友人」が43.0%となっています。

性別では、男性で「配偶者」が71.3%、女性で「友人」が55.2%と、それぞれ最も高くなっています。

(複数回答)

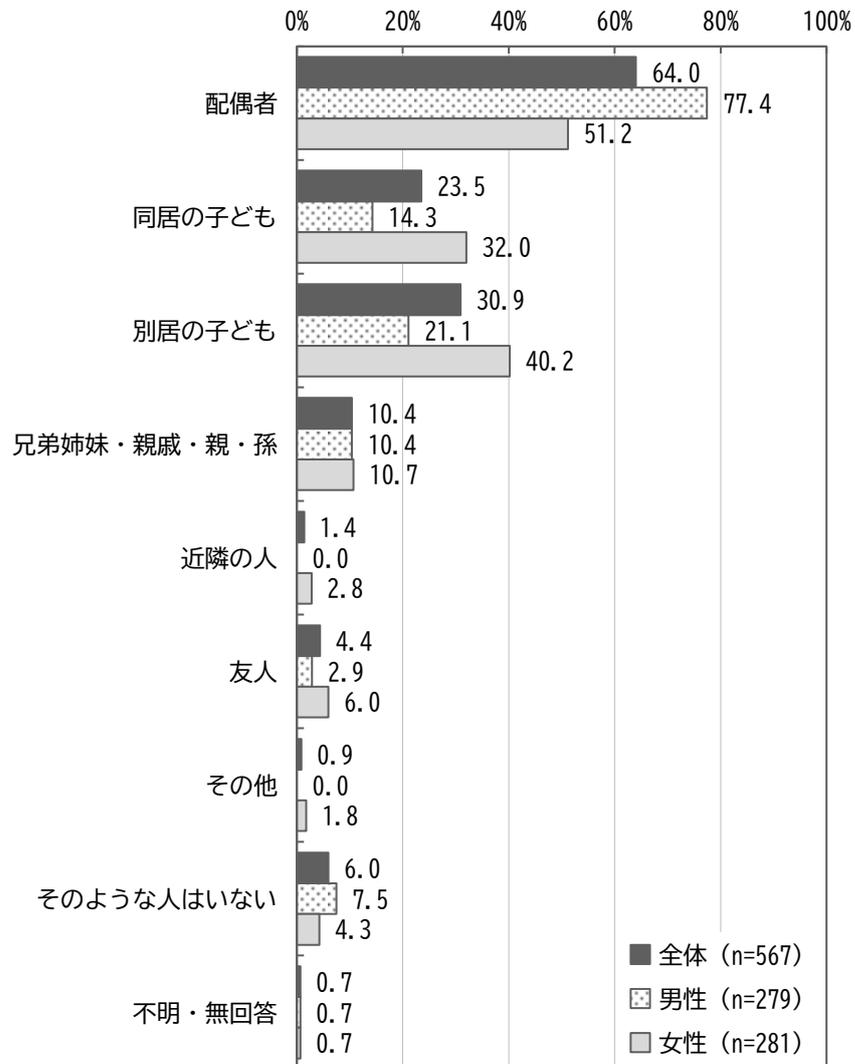


【問7Q3】あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が64.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」が30.9%となっています。

性別では、「配偶者」が男性で77.4%、女性で51.2%と、それぞれ最も高くなっています。

(複数回答)

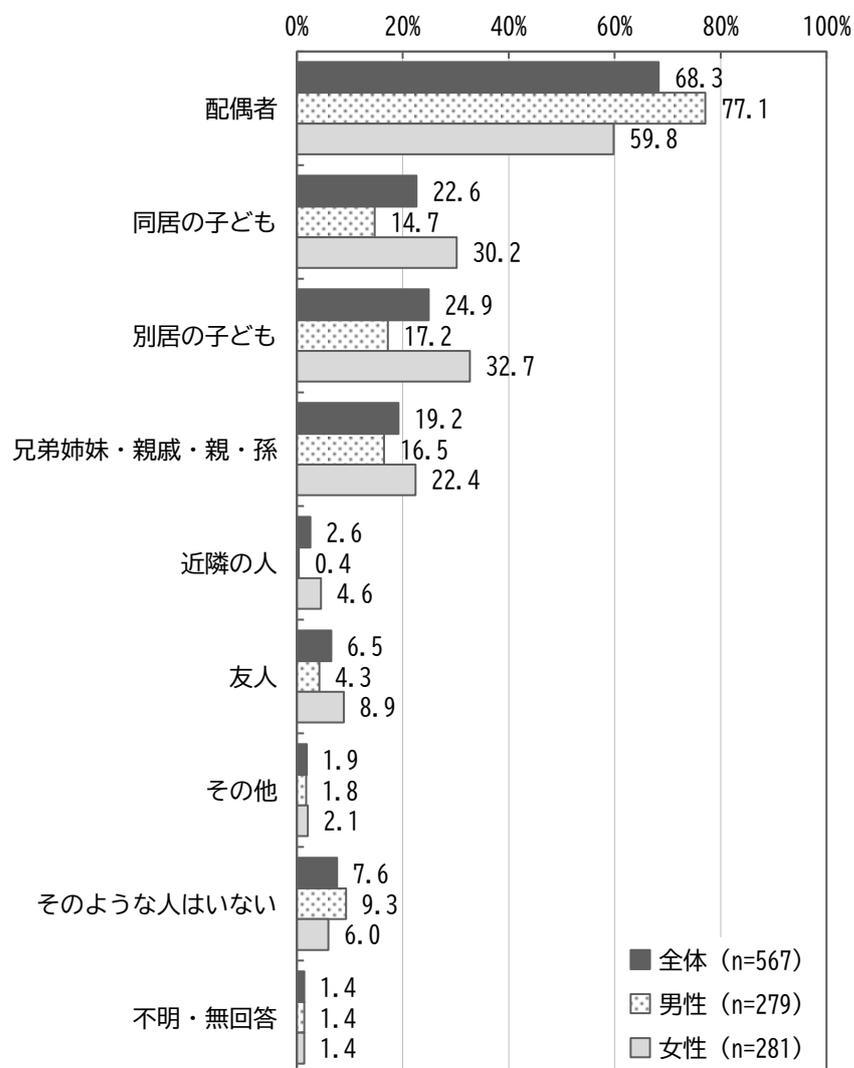


【問7Q4】 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は誰ですか。

反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が68.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」が24.9%となっています。

性別では、「配偶者」が男性で77.1%、女性で59.8%と、それぞれ最も高くなっています。

(複数回答)



(8) 健康について

【問8Q1】現在のあなたの健康状態はいかがですか。

*『よい』 = 「とてもよい」と「まあよい」を合わせた割合
『よくない』 = 「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合

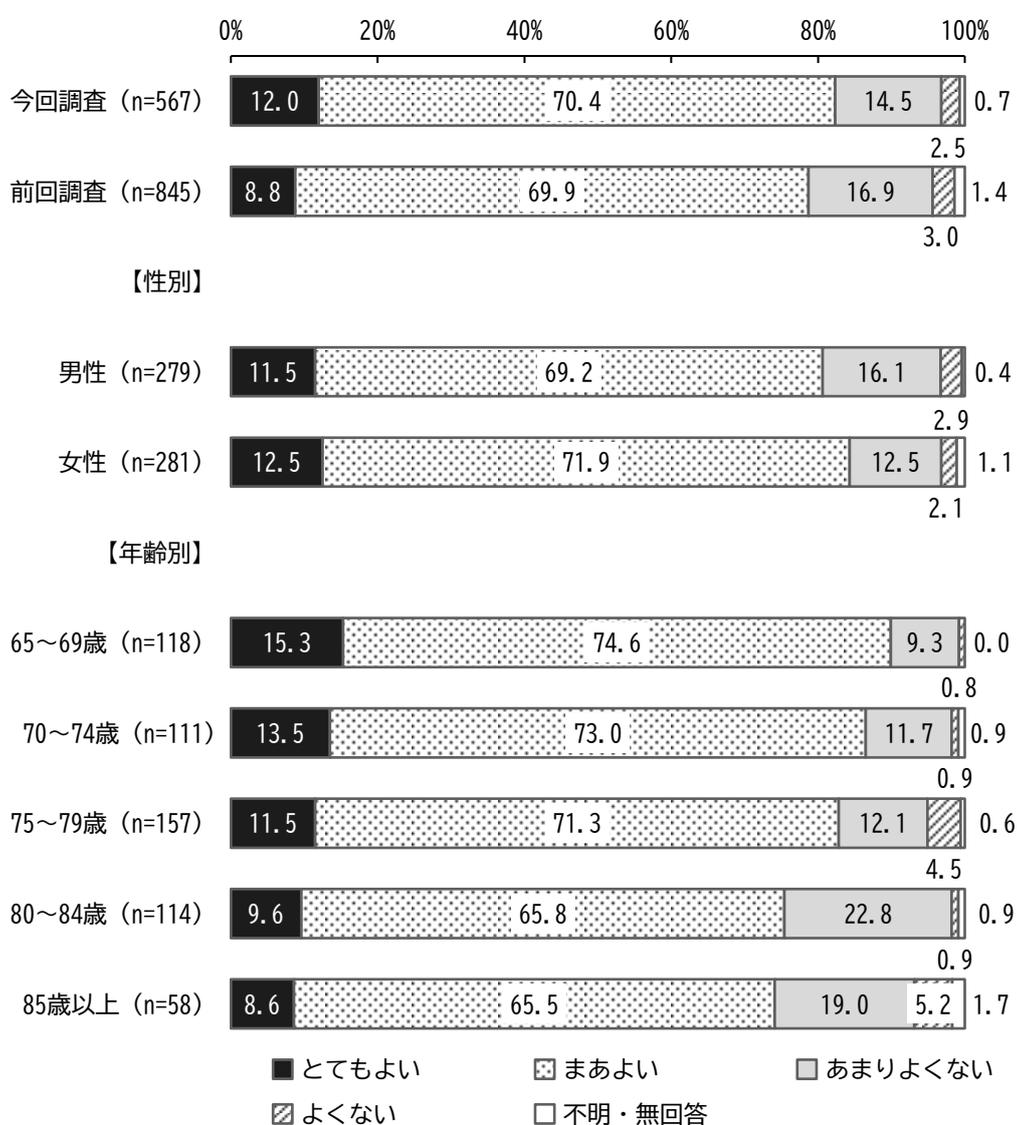
現在の健康状態は、『よい』が82.4%、『よくない』が17.0%となっています。

前回調査と比較すると、10ポイント以上の差はみられません。

性別では、男性、女性ともに『よい』がそれぞれ8割台となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『よい』が低くなる傾向にあります。

(単数回答)

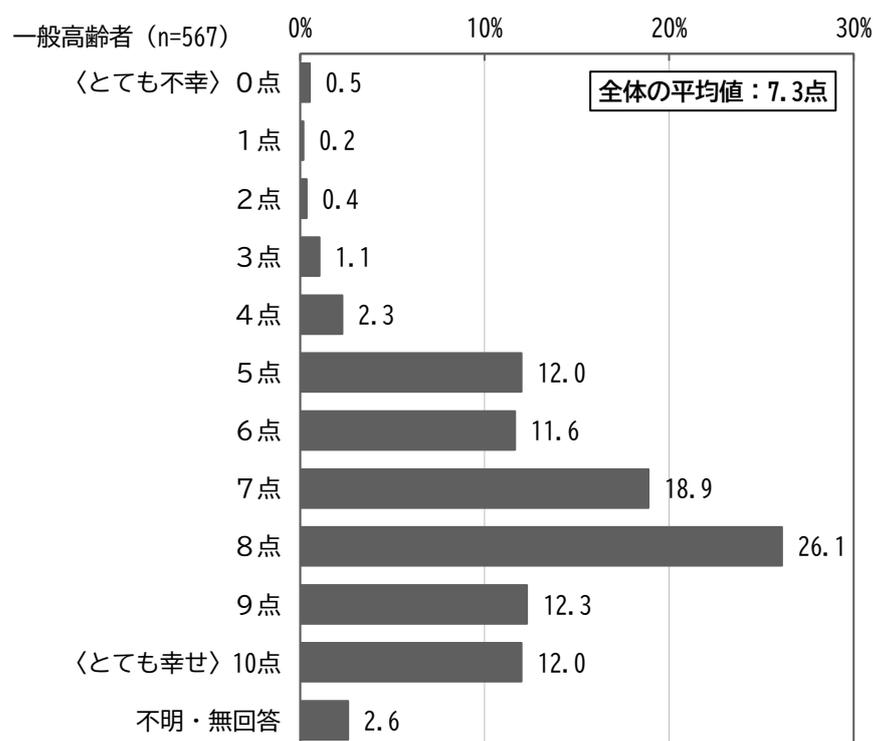


【問8Q2】あなたは、現在どの程度幸せですか。

現在どの程度幸せかは、「8点」が26.1%と最も高く、次いで「7点」が18.9%となっています。なお、全体の平均値は7.3点となっています。

圏域別では、鷹来地区で平均値が7.7点、高森台・石尾台地区で7.6点と、他の圏域と比べて高くなっています。なお、12圏域中7圏域で全体の平均値7.3点を上回っています。

(単数回答)



※全体の平均点7.3点は、「不明・無回答」を除いたn=552の平均値。

■圏域別

(%)

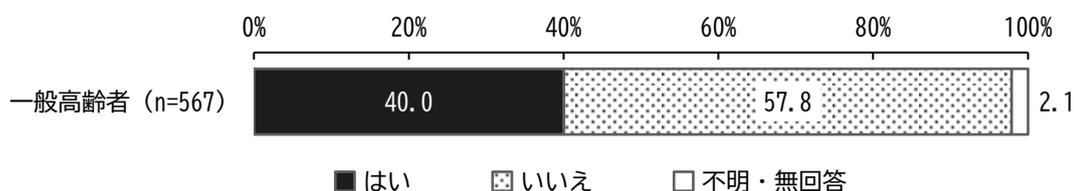
	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	不明・無回答	平均値(点)
坂下地区 (n=31)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	16.1	16.1	16.1	25.8	12.9	12.9	0.0	7.4
高森台・石尾台地区 (n=56)	0.0	1.8	0.0	1.8	0.0	5.4	8.9	23.2	23.6	16.1	10.7	3.6	7.6
藤山台・岩成台地区 (n=50)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	24.0	10.0	12.0	24.0	10.0	16.0	2.0	7.3
高蔵寺地区 (n=49)	2.0	0.0	0.0	4.1	2.0	4.1	10.2	22.4	23.6	10.2	14.3	2.0	7.4
南城地区 (n=34)	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	8.8	11.8	20.6	35.3	8.8	2.9	5.9	7.1
松原地区 (n=55)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	9.1	16.4	21.8	23.6	12.7	10.9	1.8	7.4
東部地区 (n=38)	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	13.2	15.8	34.2	10.5	10.5	7.9	7.5
鷹来地区 (n=38)	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	13.2	10.5	10.5	21.1	21.1	18.4	2.6	7.7
柏原地区 (n=45)	0.0	0.0	4.4	0.0	4.4	8.9	15.6	15.6	22.2	11.1	13.3	4.4	7.2
中部地区 (n=71)	1.4	0.0	0.0	1.4	4.2	14.1	9.9	16.9	25.4	11.3	12.7	2.8	7.2
西部地区 (n=57)	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	15.8	12.3	26.3	21.1	14.0	7.0	0.0	7.2
味美・知多地区 (n=43)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	18.6	7.0	20.9	27.9	9.3	14.0	0.0	7.4

※平均値は、各々「不明・無回答」を除いた値。

【問8Q3】この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあるかは、「はい」が40.0%、「いいえ」が57.8%となっています。

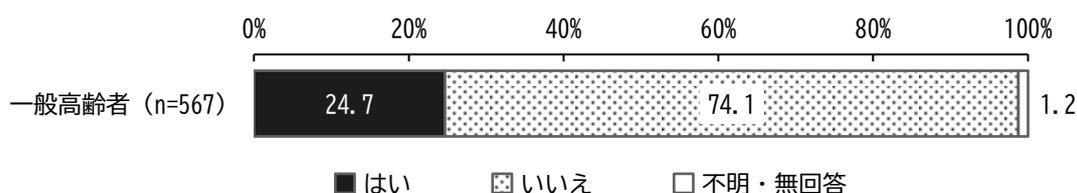
(単数回答)



【問8Q4】この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがあるかは、「はい」が24.7%、「いいえ」が74.1%となっています。

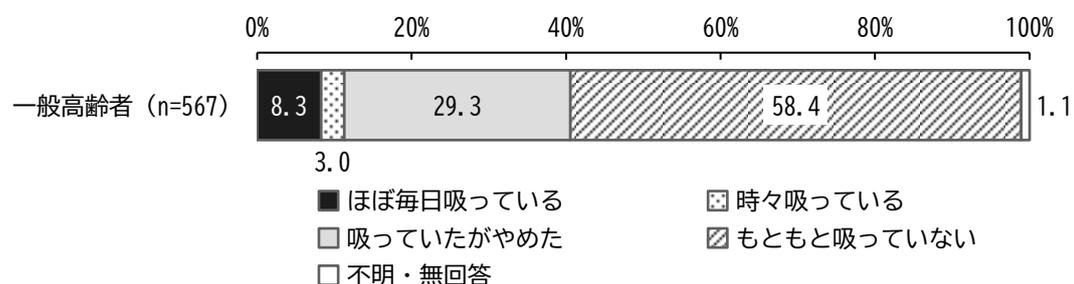
(単数回答)



【問8Q5】タバコ（電子タバコ含む）は吸っていますか。

喫煙の現状は、「もともと吸っていない」が58.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.3%となっています。

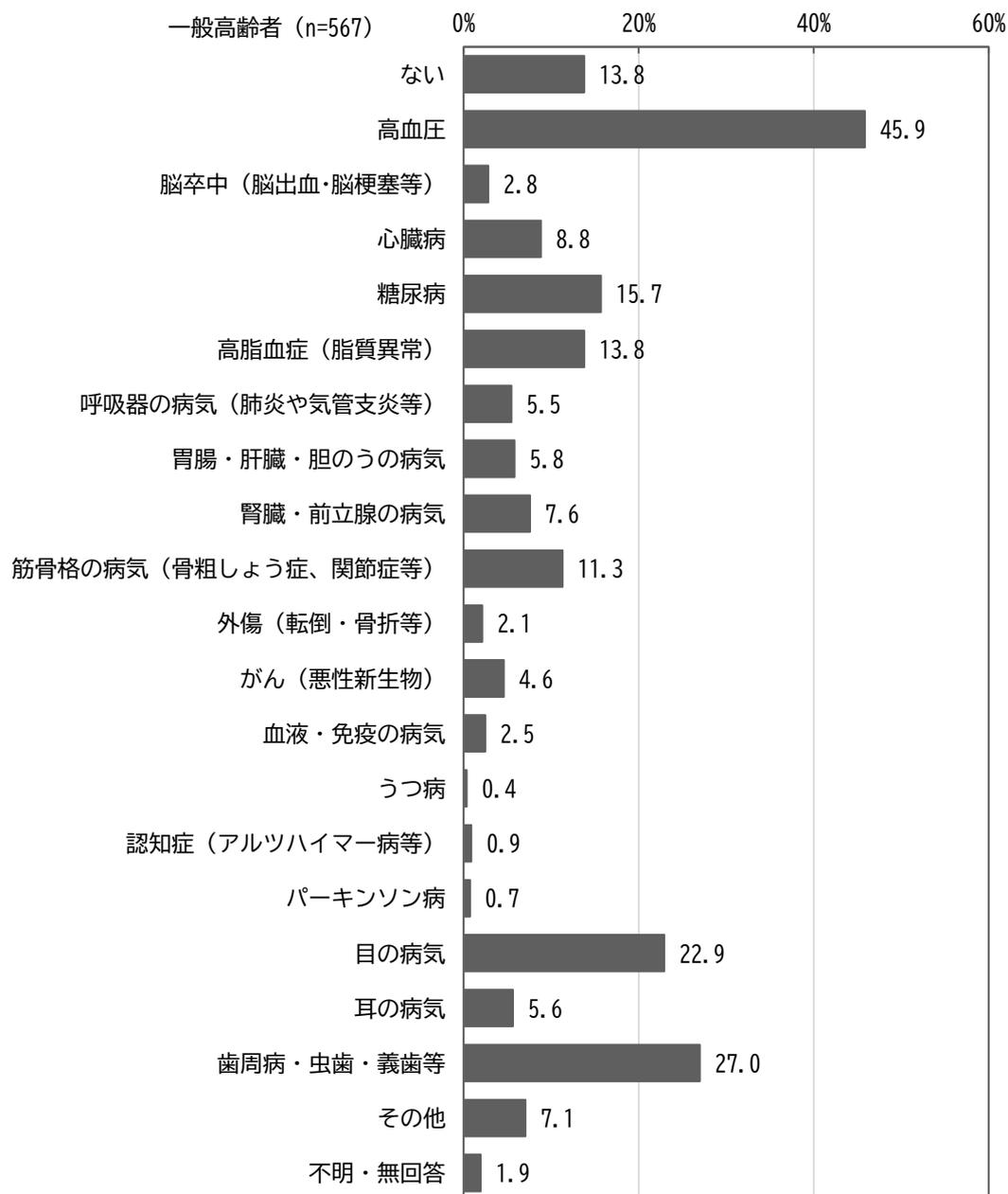
(単数回答)



【問8Q6】現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。

現在治療中、または後遺症のある病気はあるかは、「高血圧」が45.9%と最も高く、次いで「歯周病・虫歯・義歯等」が27.0%となっています。

(複数回答)



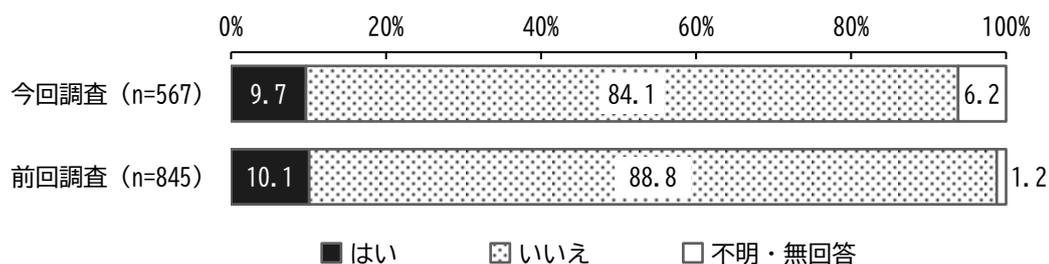
(9) 認知症について

【問9Q1】ご本人に認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。

自身または家族に認知症の症状がある人がいるかは、「はい」が9.7%、「いいえ」が84.1%となっています。

前回調査と比較すると、10ポイント以上の差はみられません。

(単数回答)

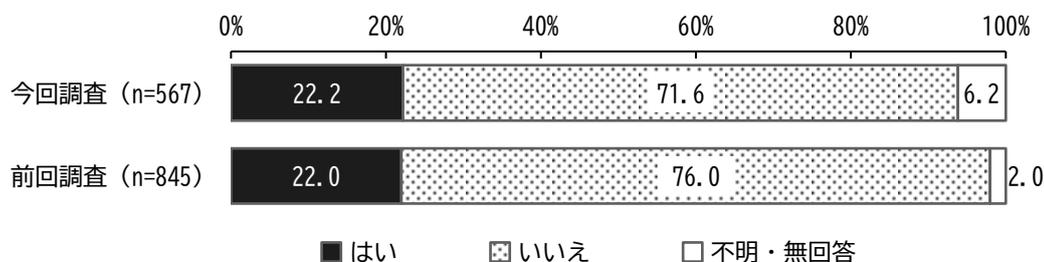


【問9Q2】認知症に関する相談窓口を知っていますか。

認知症に関する相談窓口を知っているかは、「はい」が22.2%、「いいえ」が71.6%となっています。

前回調査と比較すると、10ポイント以上の差はみられません。

(単数回答)



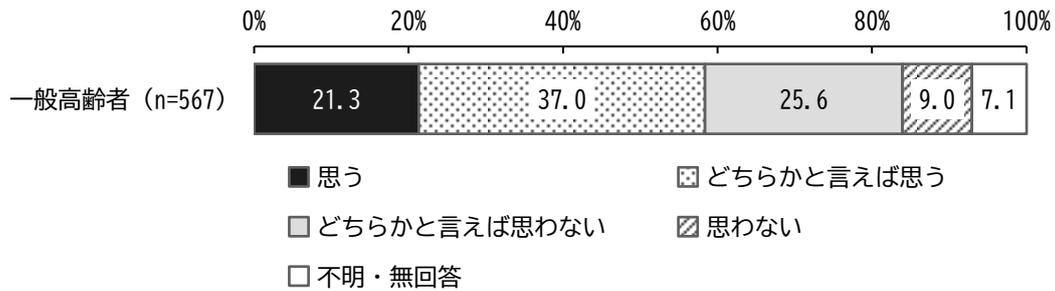
【問9Q3】認知症に関するイメージや考え方について、あてはまるものに○をつけてください。

*『思う』 = 「思う」と「どちらかと言えば思う」を合わせた割合
 『思わない』 = 「どちらかと言えば思わない」と「思わない」を合わせた割合

(1) 自分もいずれ認知症になる

自分もいずれ認知症になるは、『思う』が58.3%、『思わない』が34.6%となっています。

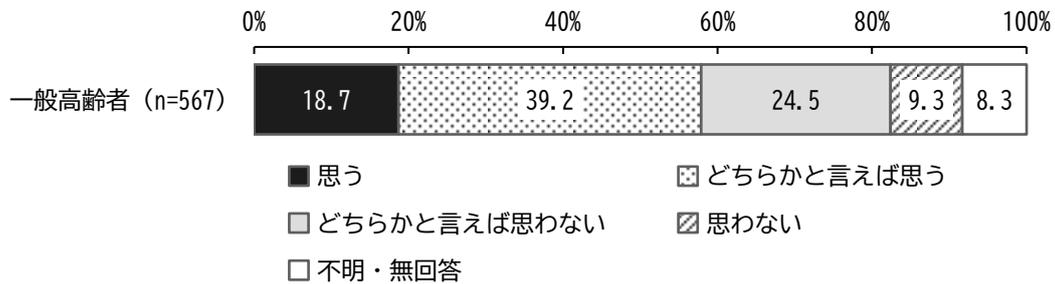
(単数回答)



(2) 認知症になったら何もできなくなる

認知症になったら何もできなくなるは、『思う』が57.9%、『思わない』が33.8%となっています。

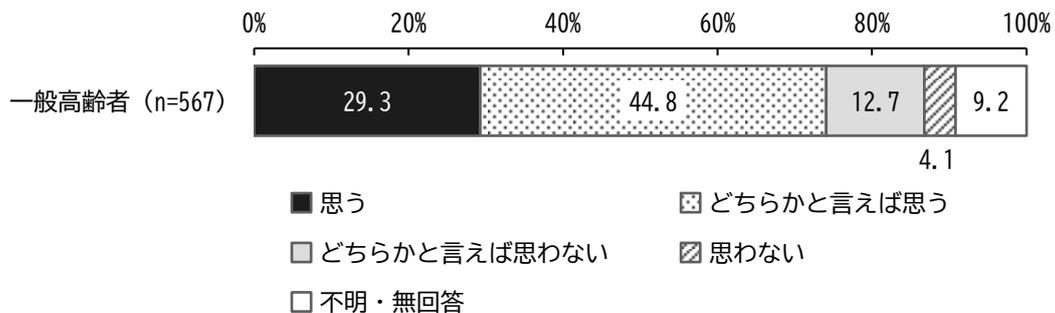
(単数回答)



(3) 認知症の人と一緒に生活するのは難しい

認知症の人と一緒に生活するのは難しいは、『思う』が74.1%、『思わない』が16.8%となっています。

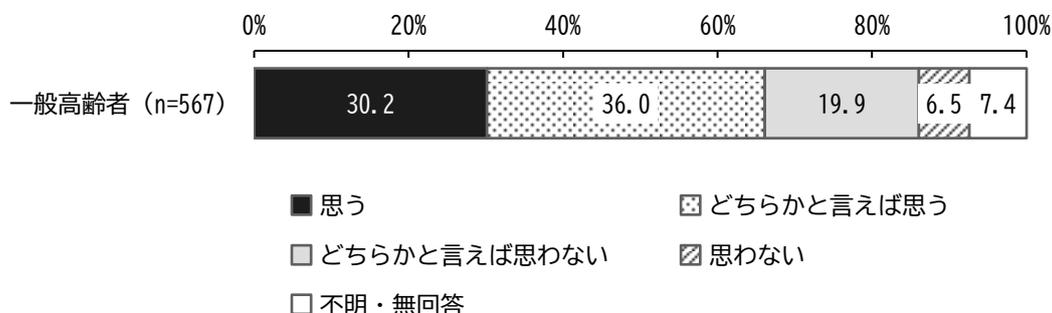
(単数回答)



(4) 認知症になったら施設や病院で過ごした方がよい

認知症になったら施設や病院で過ごした方がよいは、『思う』が66.2%、『思わない』が26.4%となっています。

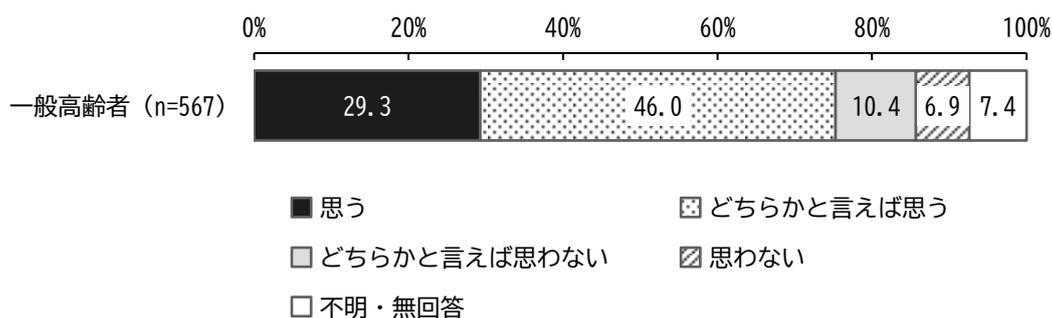
(単数回答)



(5) 自分が認知症になっても適切な支援をうけて自立して生活したい

自分が認知症になっても適切な支援をうけて自立して生活したいは、『思う』が75.3%、『思わない』が17.3%となっています。

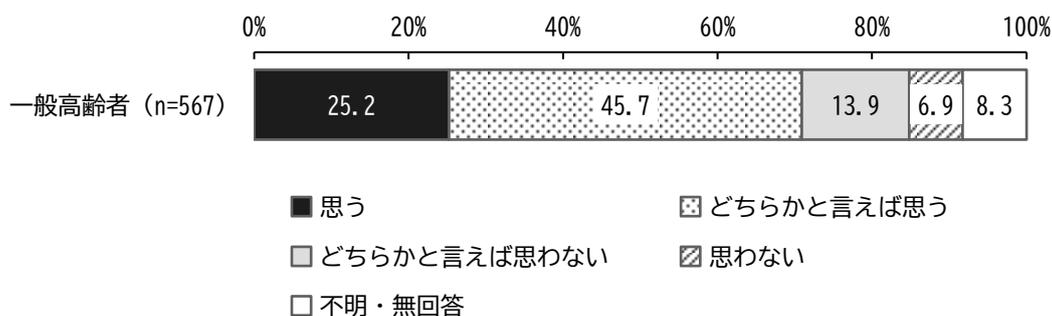
(単数回答)



(6) 認知症の人が地域（自宅）で生活できるようにみんなで支えたい

認知症の人が地域（自宅）で生活できるようにみんなで支えたいは、『思う』が70.9%、『思わない』が20.8%となっています。

(単数回答)



(10) 人生の最終段階について

【問 10Q1】あなたは人生の最終段階に受けたい、もしくは受けたくない医療・ケアについて、どのくらい話し合ったことがありますか。

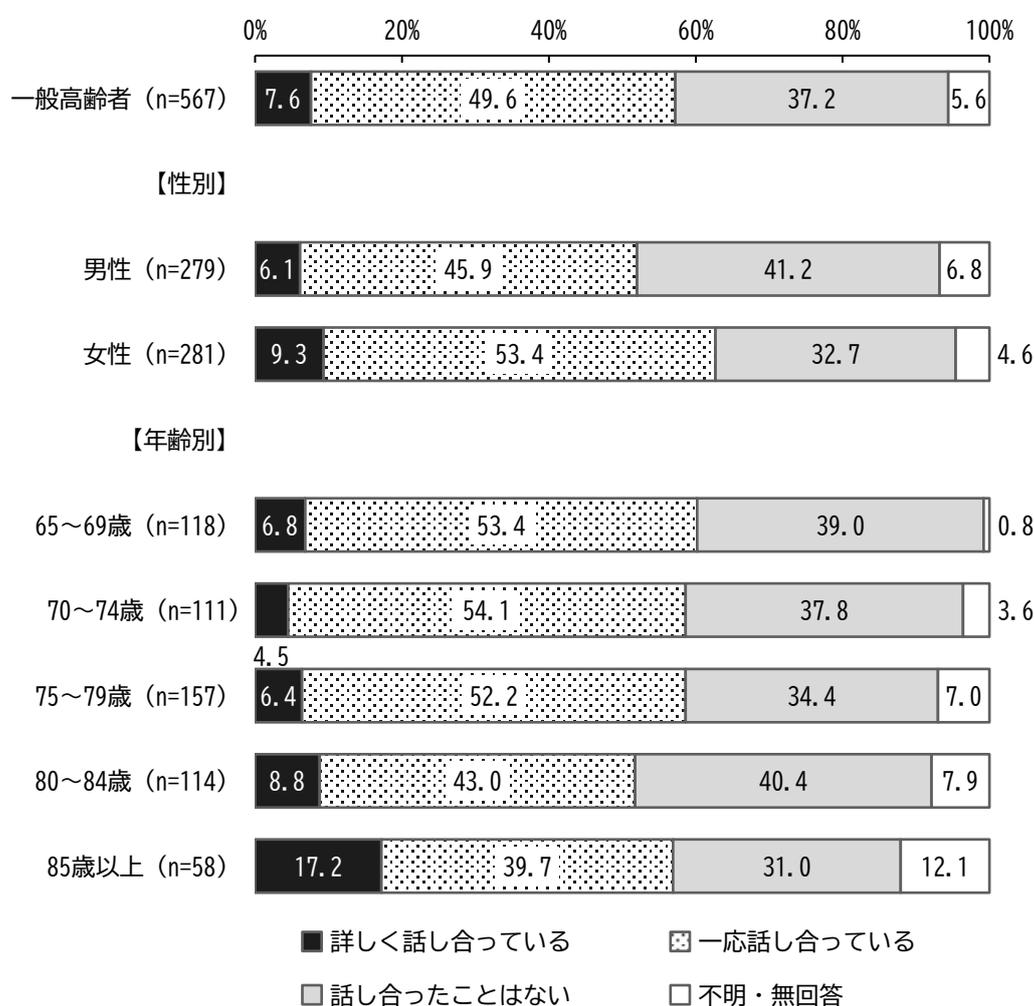
(1) 家族・親族

家族・親族とどのくらい話し合ったことがあるかは、「詳しく話し合っている」が7.6%、「一応話し合っている」が49.6%、「話し合ったことはない」が37.2%となっています。

性別では、男性、女性ともに「詳しく話し合っている」がそれぞれ1割未満となっています。

年齢別では、85歳以上で「詳しく話し合っている」が17.2%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



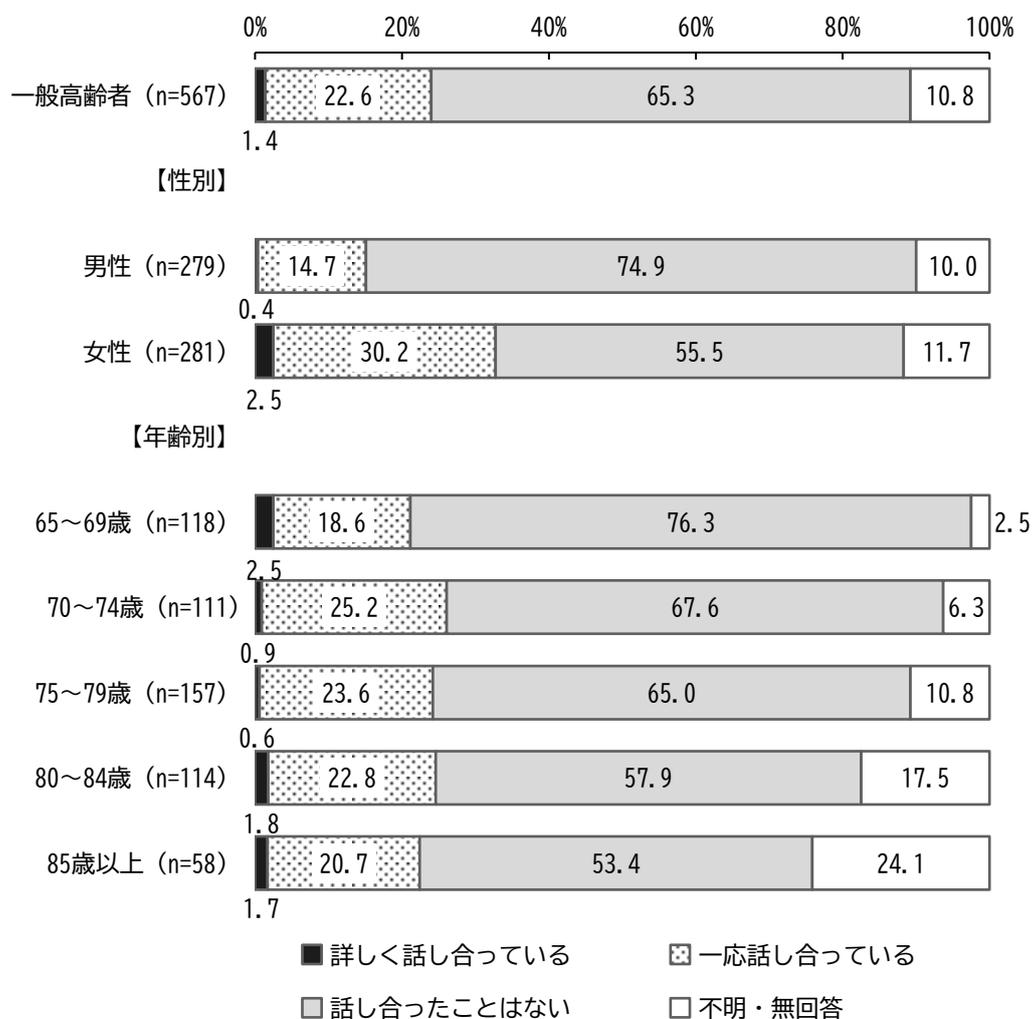
(2) 友人・知人

友人・知人とどのくらい話し合ったことがあるかは、「詳しく話し合っている」が1.4%、「一応話し合っている」が22.6%、「話し合ったことはない」が65.3%となっています。

性別では、男性、女性ともに「詳しく話し合っている」がそれぞれ1割未満となっています。

年齢別では、いずれの年代も「詳しく話し合っている」がそれぞれ1割未満となっています。

(単数回答)



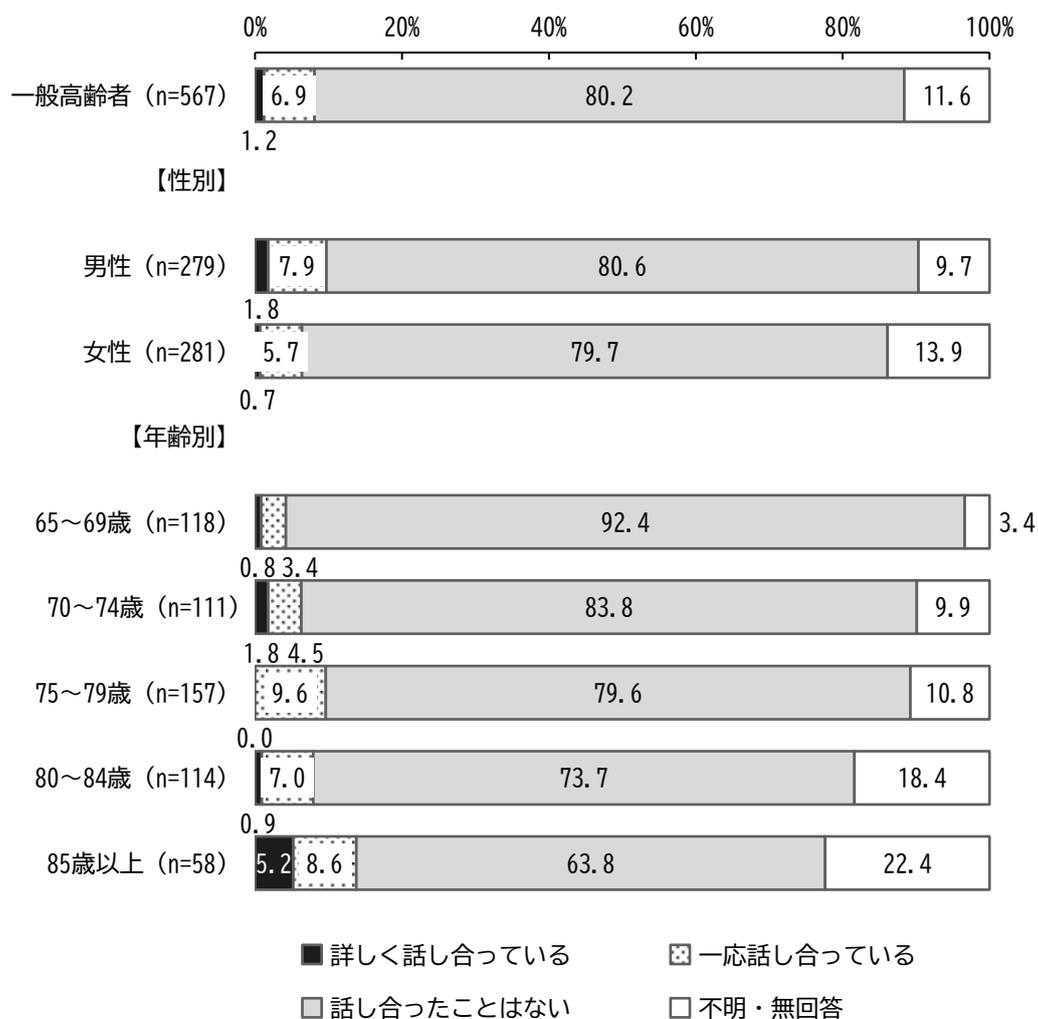
(3) 医療・介護従事者

医療・介護従事者とのどのくらい話し合ったことがあるかは、「詳しく話し合っている」が1.2%、「一応話し合っている」が6.9%、「話し合ったことはない」が80.2%となっています。

性別では、男性、女性ともに「詳しく話し合っている」がそれぞれ1割未満となっています。

年齢別では、いずれの年代も「詳しく話し合っている」がそれぞれ1割未満となっています。

(単数回答)



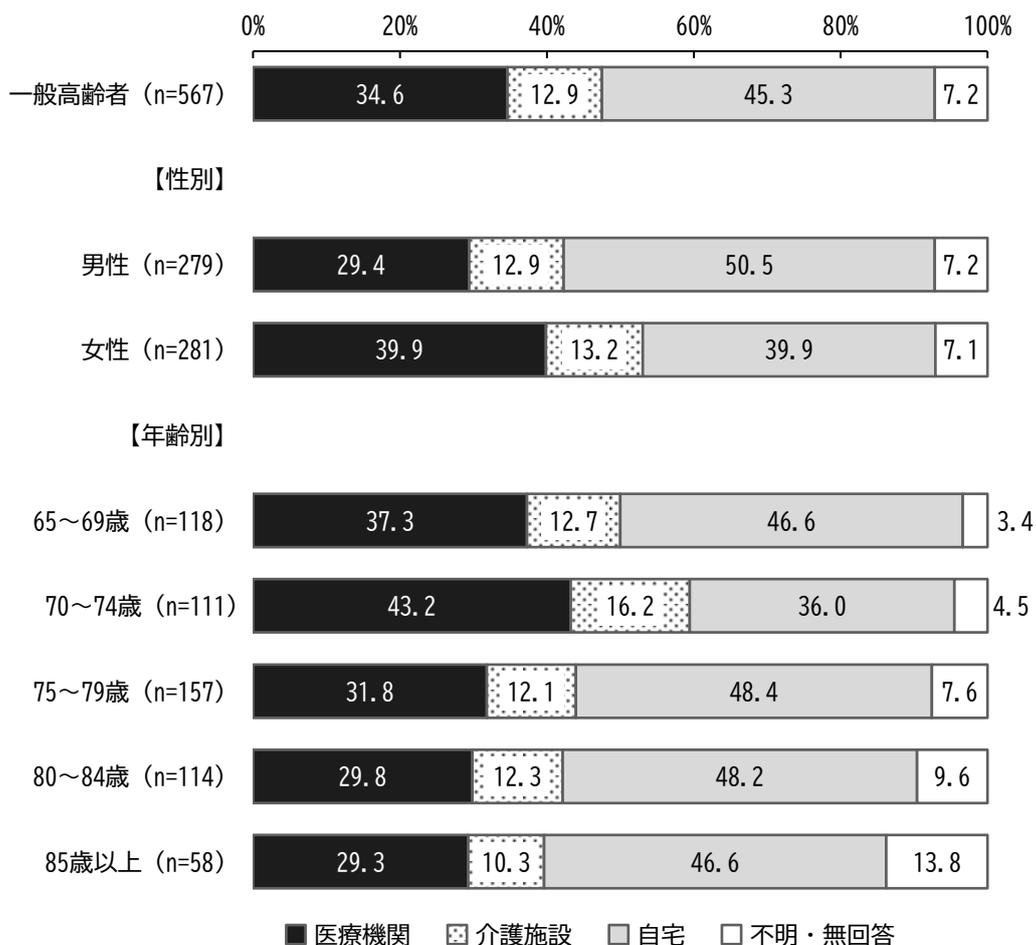
【問 10Q2】もし「病状が病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至る」と考えた時、あなたは、どこで最期を迎えることを希望しますか。

どこで最期を迎えることを希望するかは、「医療機関」が34.6%、「介護施設」が12.9%、「自宅」が45.3%となっています。

性別では、男性で「自宅」が50.5%と、女性と比べて10.6ポイント高くなっています。

年齢別では、70～74歳を除いて「自宅」がそれぞれ4割台となっています。

(単数回答)



【問10Q3】終活（死後の手続きや準備）について、どの程度備えられていますか。

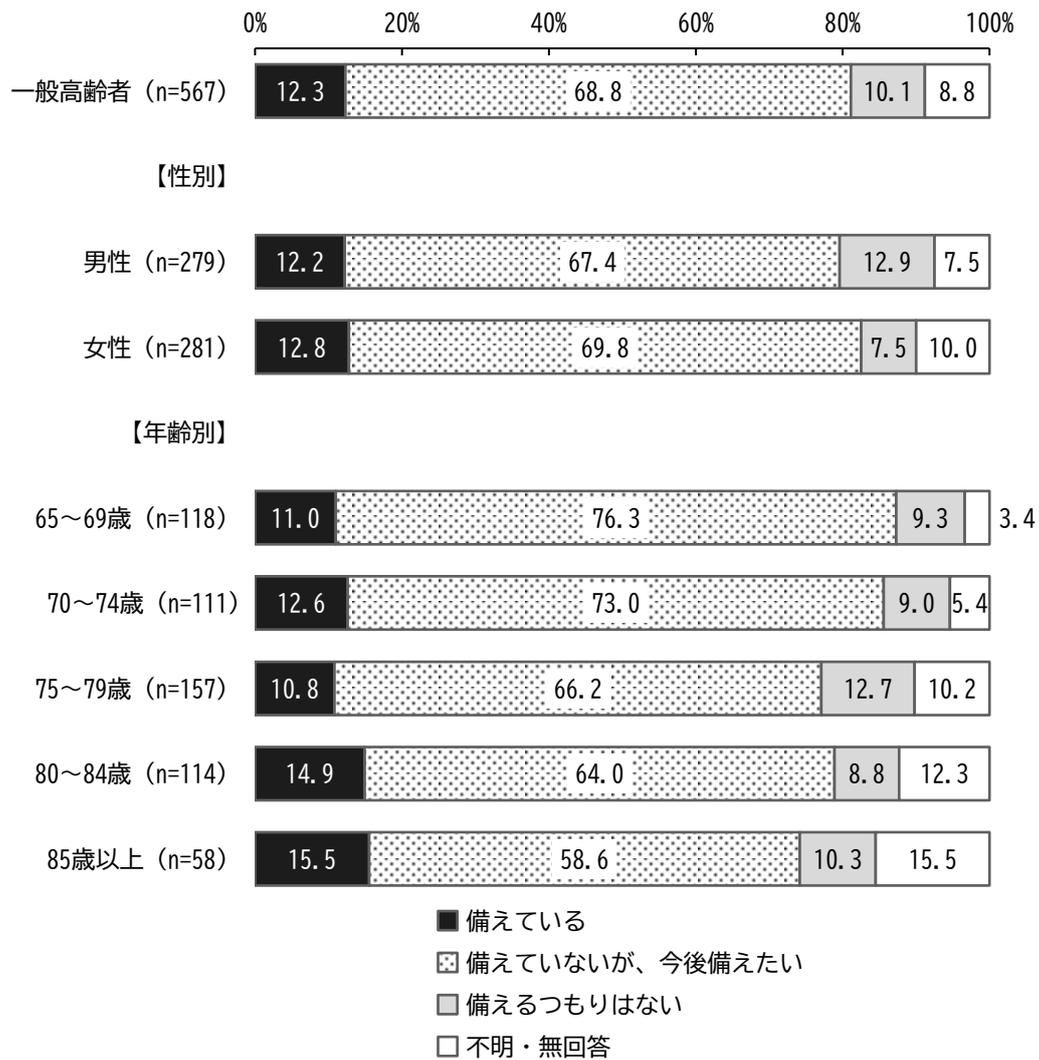
（1）相続税や生前贈与などの資産の生前整理

相続税や生前贈与などの資産の生前整理は、「備えている」が12.3%、「備えていないが、今後備えたい」が68.8%、「備えるつもりはない」が10.1%となっています。

性別では、男性、女性ともに「備えている」がそれぞれ1割台となっています。

年齢別では、いずれの年代も「備えている」がそれぞれ1割台となっています。

（単数回答）



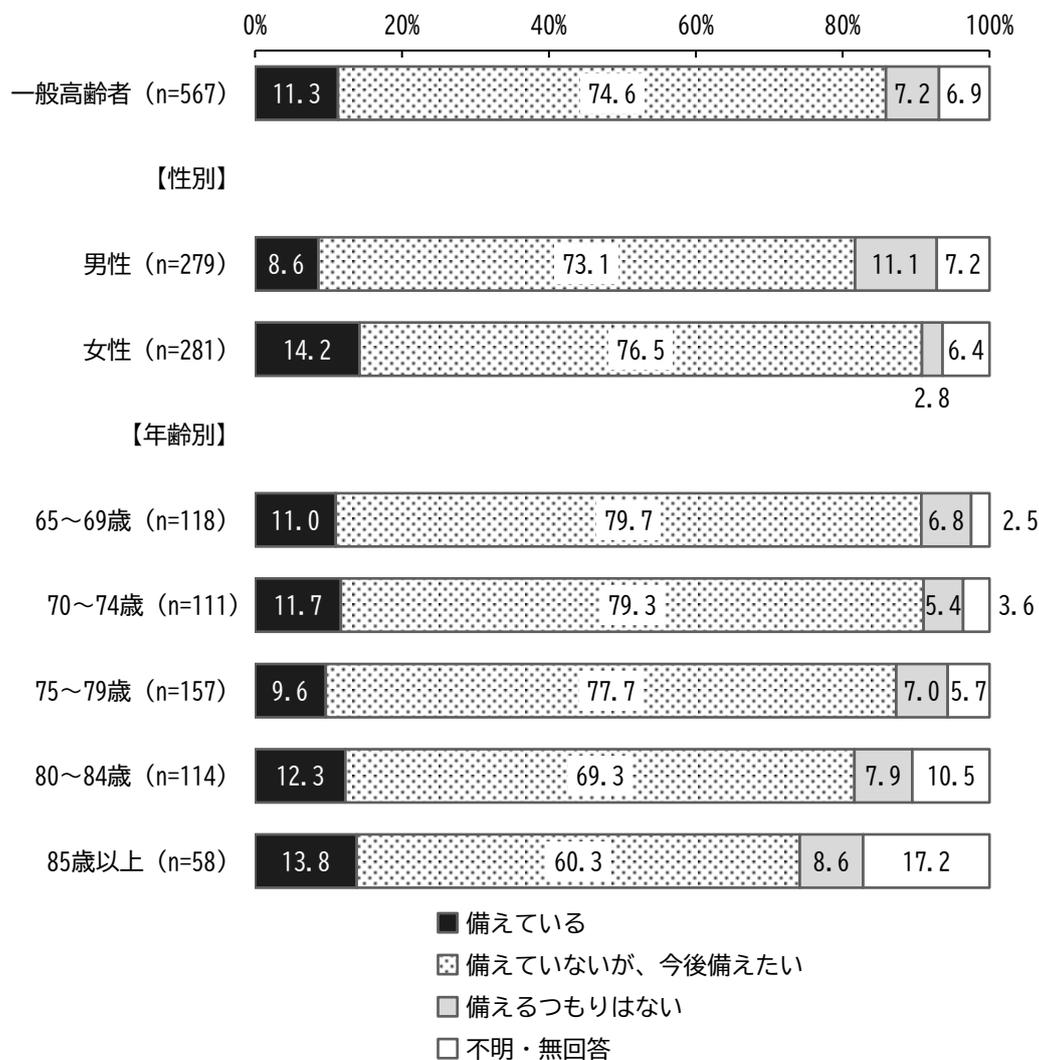
(2) 身の回り品の引継・処分などモノの生前整理

身の回り品の引継・処分などモノの生前整理は、「備えている」が11.3%、「備えていないが、今後備えたい」が74.6%、「備えるつもりはない」が7.2%となっています。

性別では、女性で「備えている」が14.2%と、男性と比べて5.6ポイント高くなっています。

年齢別では、75～79歳を除いて「備えている」がそれぞれ1割台となっています。

(単数回答)



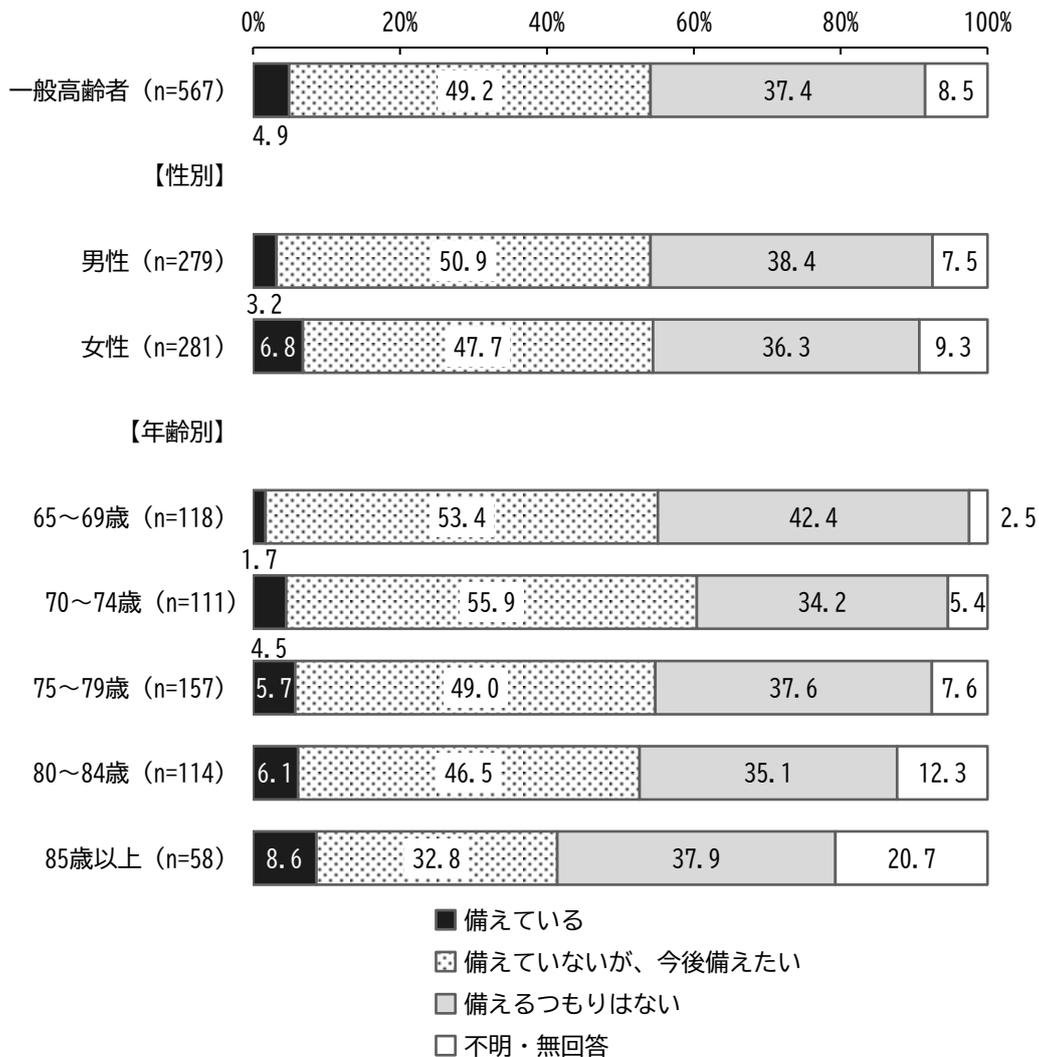
(3) 遺言書の作成

遺言書の作成は、「備えている」が4.9%、「備えていないが、今後備えたい」が49.2%、「備えるつもりはない」が37.4%となっています。

性別では、男性、女性ともに「備えている」がそれぞれ1割未満となっています。

年齢別では、いずれの年代も「備えている」がそれぞれ1割未満となっています。

(単数回答)



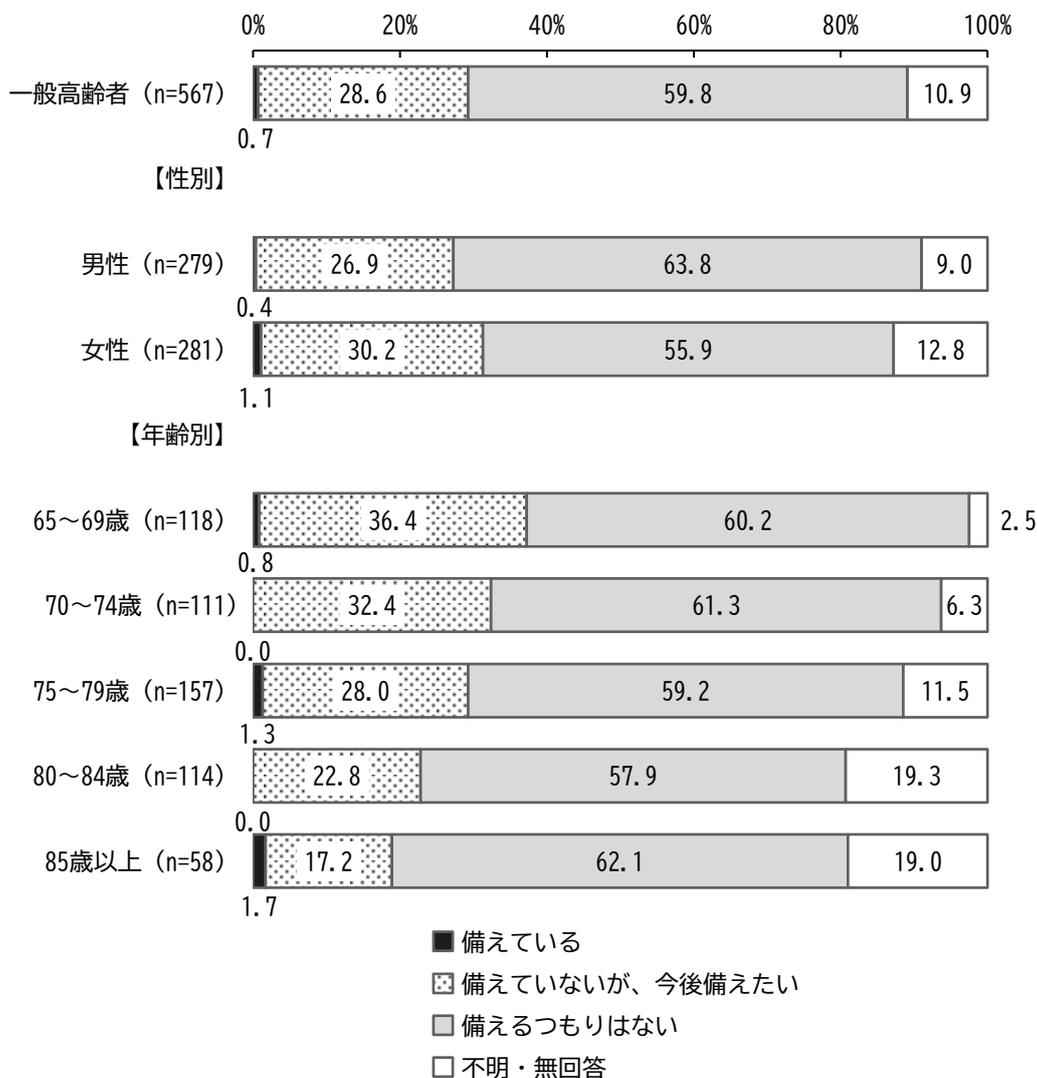
(4) 成年後見制度の利用

成年後見制度の利用は、「備えている」が0.7%、「備えていないが、今後備えたい」が28.6%、「備えるつもりはない」が59.8%となっています。

性別では、男性、女性ともに「備えている」がそれぞれ1割未満となっています。

年齢別では、いずれの年代も「備えている」がそれぞれ1割未満となっています。

(単数回答)



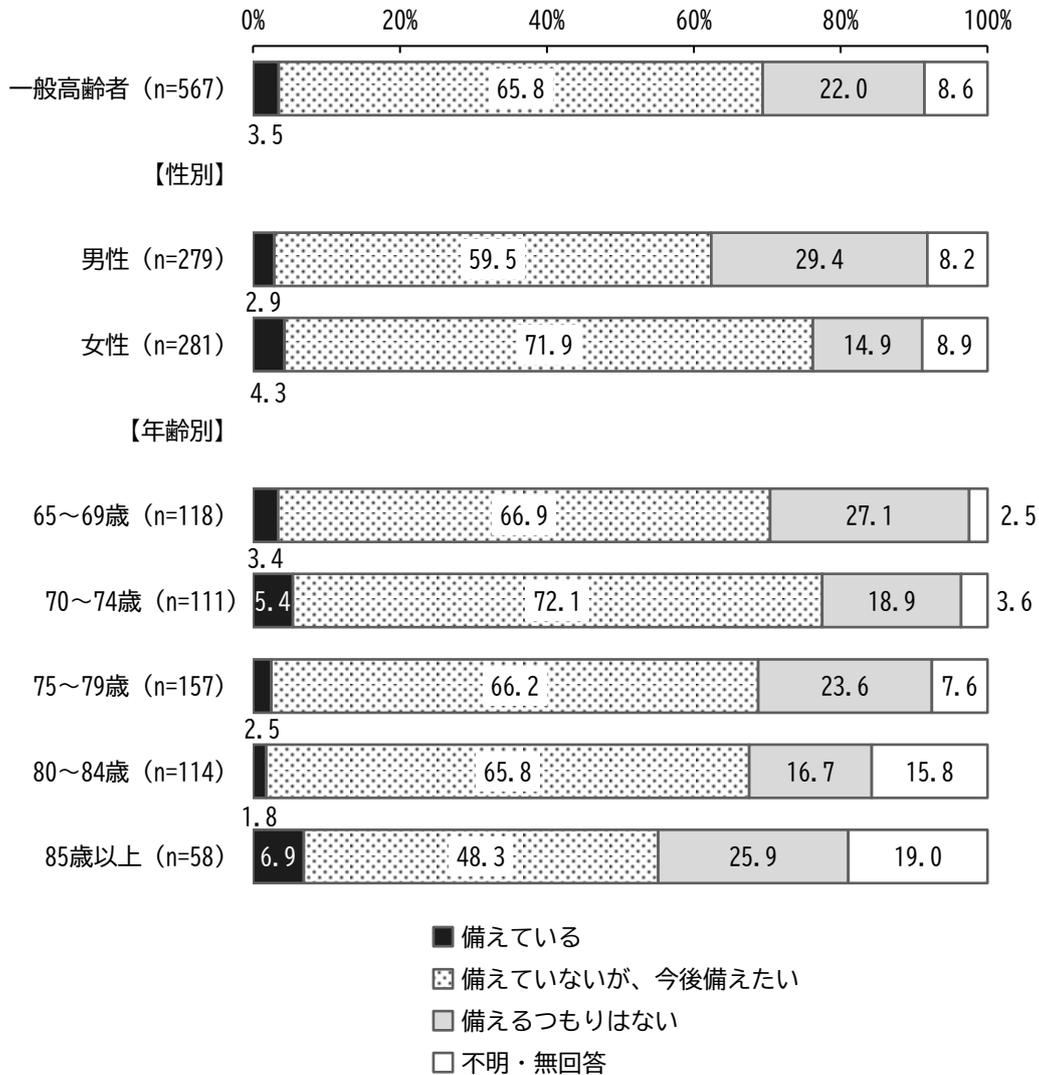
(5) 医療や介護についての信頼する人たちとの話し合いや共有

医療や介護についての信頼する人たちとの話し合いや共有は、「備えている」が3.5%、「備えていないが、今後備えたい」が65.8%、「備えるつもりはない」が22.0%となっています。

性別では、男性、女性ともに「備えている」がそれぞれ1割未満となっています。

年齢別では、いずれの年代も「備えている」がそれぞれ1割未満となっています。

(単数回答)



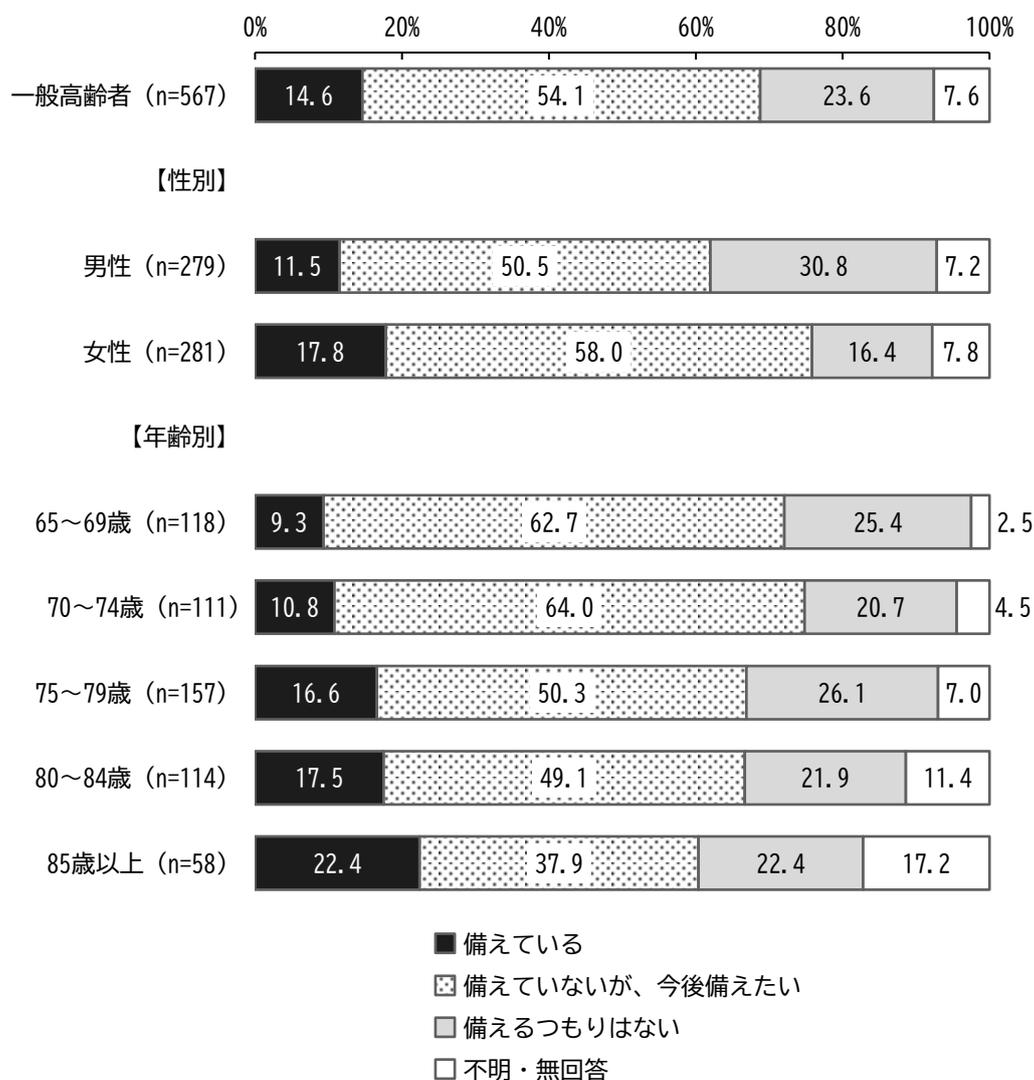
(6) 葬儀の事前準備

葬儀の事前準備は、「備えている」が14.6%、「備えていないが、今後備えたい」が54.1%、「備えるつもりはない」が23.6%となっています。

性別では、女性で「備えている」が17.8%と、男性と比べて6.3ポイント高くなっています。

年齢別では、85歳以上で「備えている」が22.4%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)

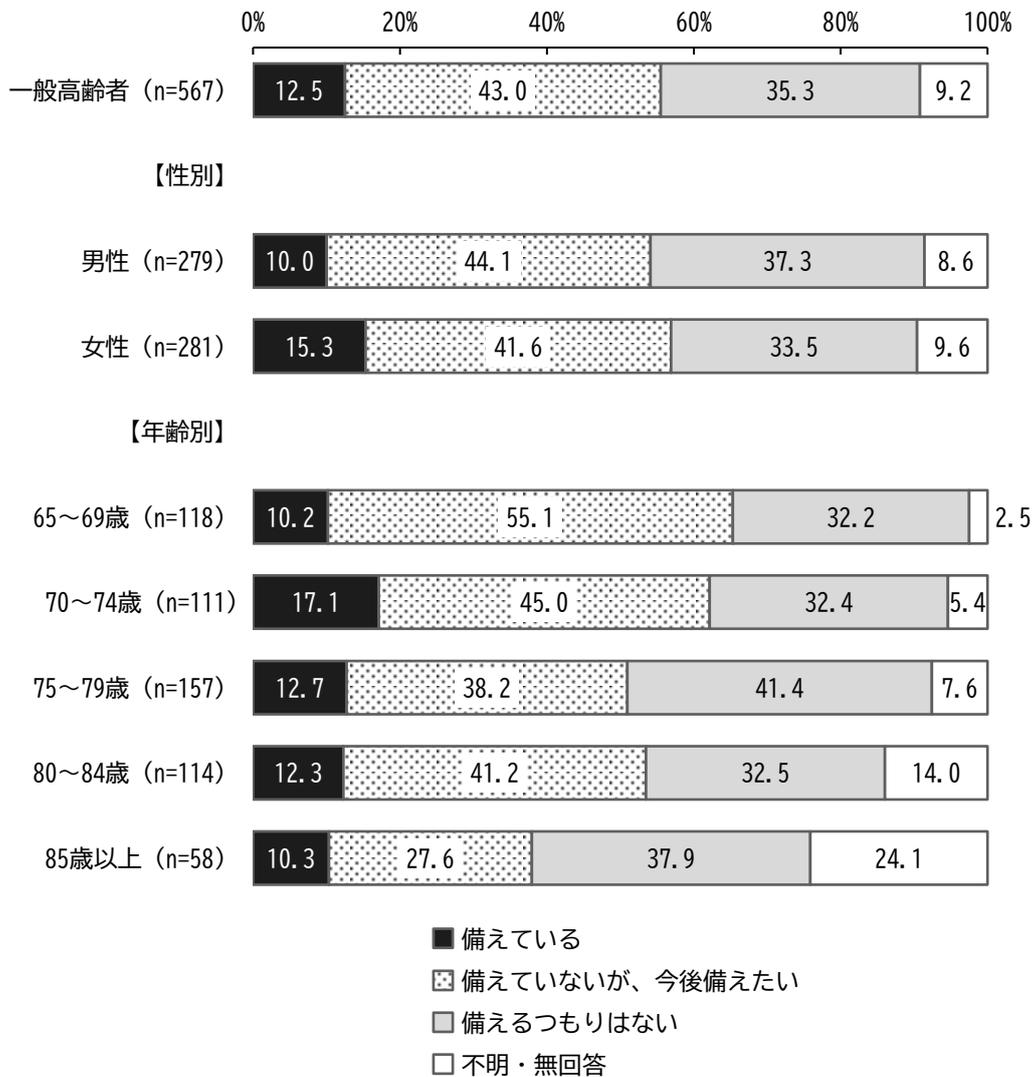


(7) 改葬・墓じまい

改葬・墓じまいは、「備えている」が12.5%、「備えていないが、今後備えたい」が43.0%、「備えるつもりはない」が35.3%となっています。

性別では、女性で「備えている」が15.3%と、男性と比べて5.3ポイント高くなっています。年齢別では、いずれの年代も「備えている」がそれぞれ1割台となっています。

(単数回答)



2 機能評価の項目別結果

一般高齢者調査結果を活用し、「(1) 運動器機能が低下している高齢者」「(2) 転倒リスクのある高齢者」「(3) 閉じこもり傾向のある高齢者」「(4) 認知機能の低下がみられる高齢者」「(5) うつ傾向の高齢者」「(6) IADL (手段的日常生活動作)」の6項目について機能判定の評価を行いました。

●機能評価項目

(1) 運動器機能が低下している高齢者

問番号	質問項目	評価方法
問2 Q 1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3問以上、該当する選択肢(問2 Q 1～3で「できない」、Q4で「何度もある」または「1度ある」、Q5で「とても不安である」または「やや不安である」)が回答された場合、 <u>該当者(運動器機能が低下している高齢者)</u> とした。
問2 Q 2	いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	
問2 Q 3	15分位続けて歩いていますか。	
問2 Q 4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	
問2 Q 5	転倒に対する不安は大きいですか。	

(2) 転倒リスクのある高齢者

問番号	質問項目	評価方法
問2 Q 4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	該当する選択肢(「何度もある」または「1度ある」)が回答された場合、 <u>該当者(転倒リスクのある高齢者)</u> とした。

(3) 閉じこもり傾向のある高齢者

問番号	質問項目	評価方法
問2 Q 6	週に1回以上は外出していますか。	該当する選択肢(「ほとんど外出しない」または「週1回」)が回答された場合、 <u>該当者(閉じこもり傾向のある高齢者)</u> とした。

(4) 認知機能の低下がみられる高齢者

問番号	質問項目	評価方法
問4 Q 1	物忘れが多いと感じますか。	該当する選択肢(「はい」)が回答された場合、 <u>該当者(認知機能の低下がみられる高齢者)</u> とした。

(5) うつ傾向の高齢者

問番号	質問項目	評価方法
問8Q3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	いずれか1つでも該当する選択肢（「はい」）が回答された場合、 <u>該当者（うつ傾向の高齢者）</u> とした。
問8Q4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	

(6) IADL（手段的日常生活動作）

問番号	質問項目	評価方法
問4Q2 (1)	バスや電車を使って1人で外出していますか。（自家用車でも可）	「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した方を1点、「できない」と回答した方を0点とし、各問の合計5点満点で評価した。5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価した。
問4Q2 (2)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問4Q2 (3)	自分で食事の用意をしていますか。	
問4Q2 (4)	自分で請求書の支払いをしていますか。	
問4Q2 (5)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

※ IADL…日常生活を送る上で必要な動作のうち、ADL（日常生活動作：食事、排せつ、入浴などの基本的な行動）より複雑で高次の動作。買い物や洗濯・掃除などの家事全般、金銭や服薬の管理、外出時に乗り物に乗ることなど。

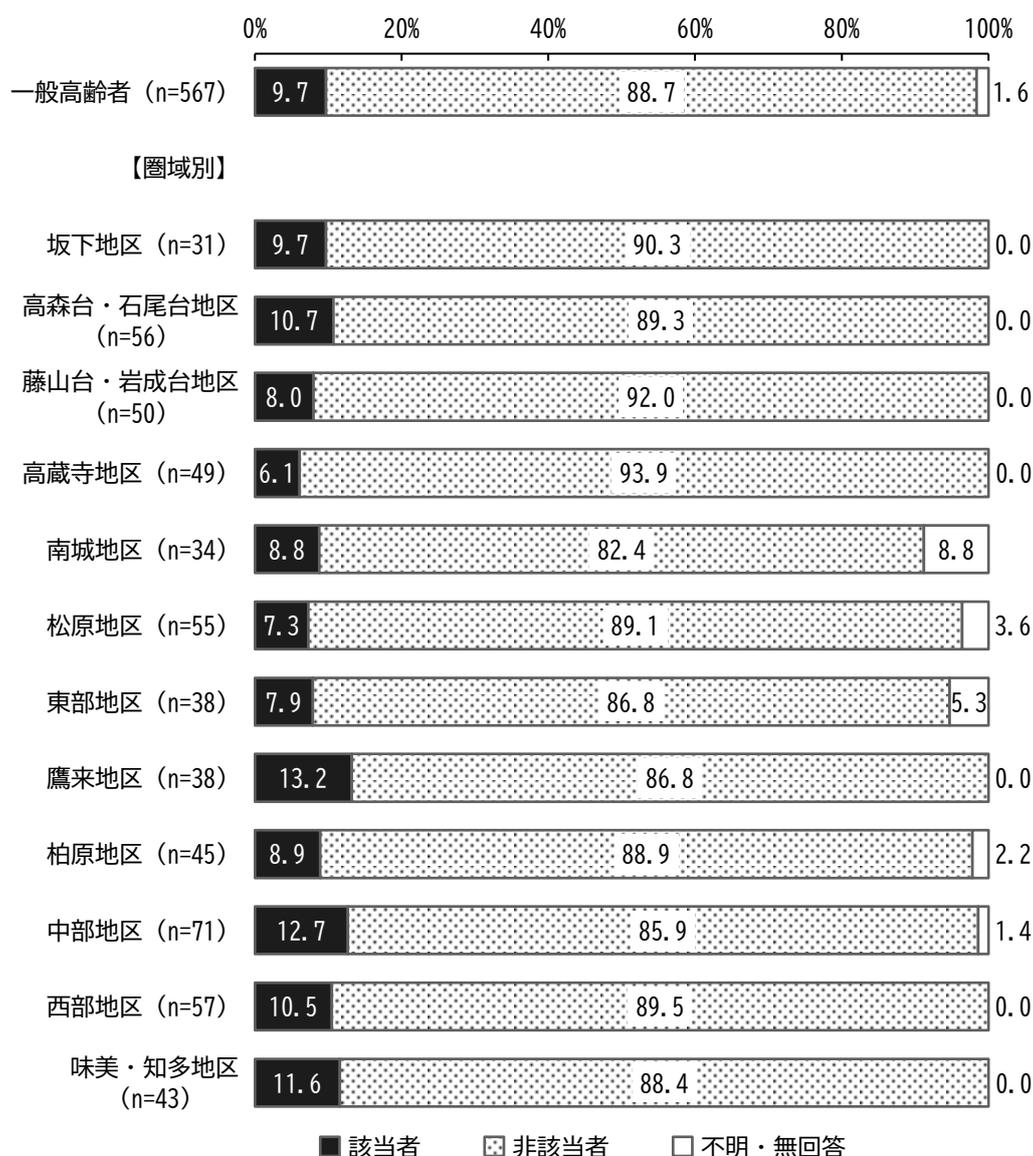
(1) 運動器機能が低下している高齢者

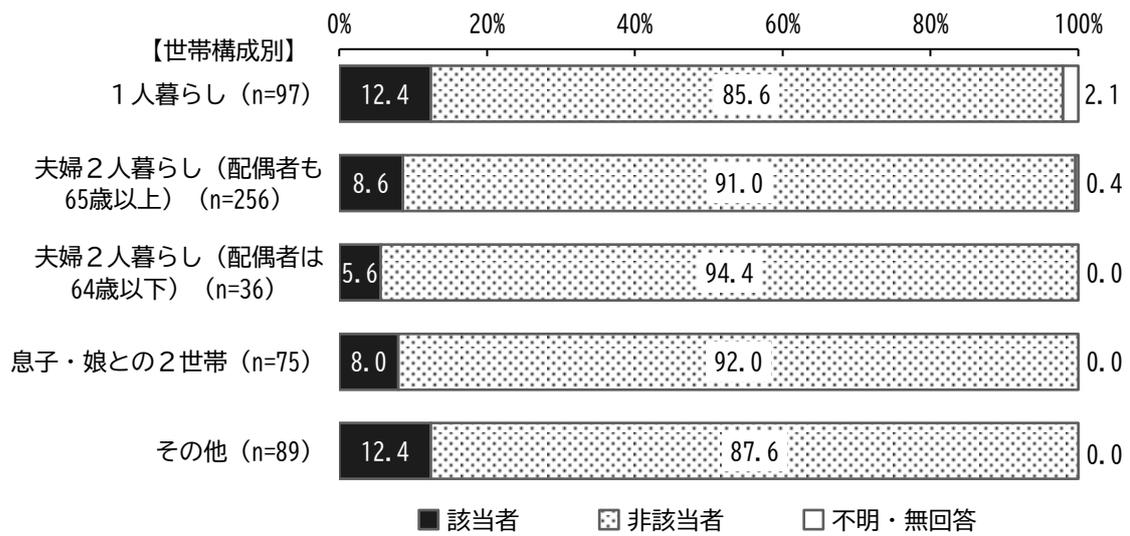
運動器の評価結果をみると、9.7%が該当者（運動器機能が低下している高齢者）となっています。

圏域別では、高森台・石尾台地区、鷹来地区、中部地区、西部地区、味美・知多地区で該当者がそれぞれ1割台と、他の圏域と比べて高くなっています。

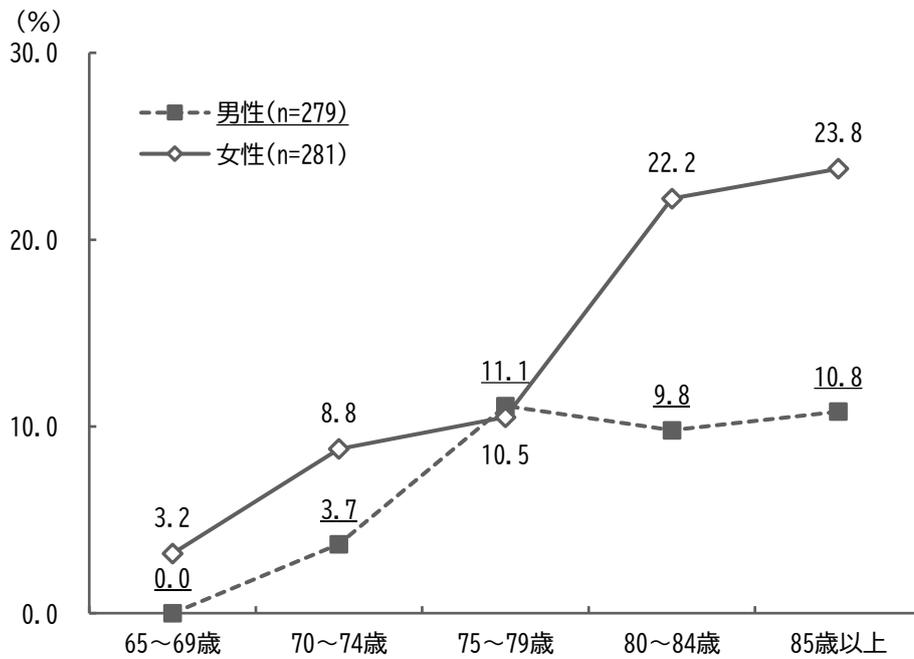
世帯構成別では、1人暮らし、その他で該当者がそれぞれ1割台と、他の世帯構成と比べて高くなっています。

性別・年齢別では、男性、女性ともに年齢が上がるにつれて、該当者の割合が高くなる傾向にあり、女性の80～84歳、85歳以上でそれぞれ2割台となっています。





■ 性別・年齢別 (該当者の割合)

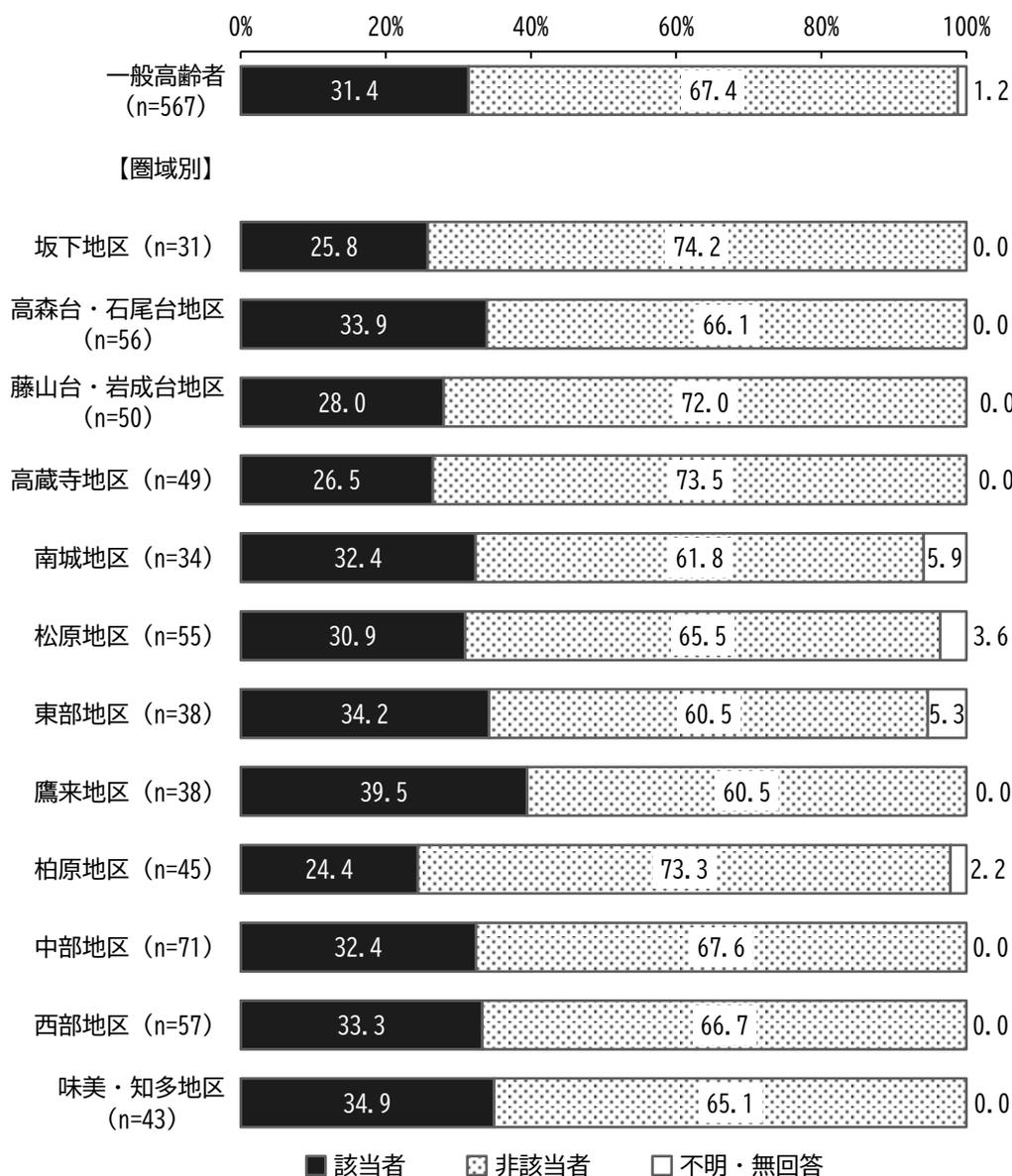


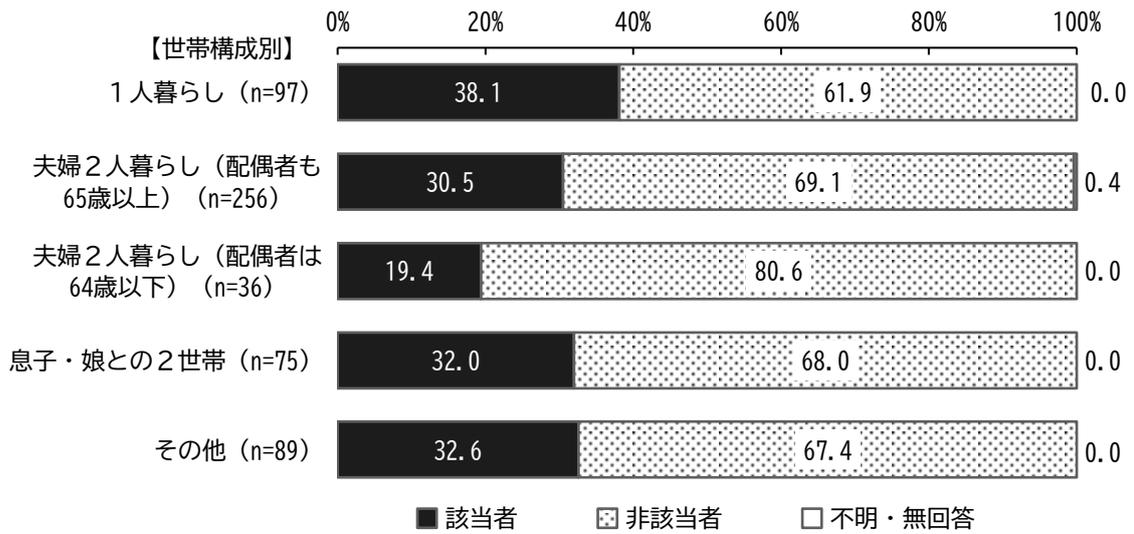
(2) 転倒リスクのある高齢者

転倒リスクの評価結果をみると、31.4%が該当者（転倒リスクのある高齢者）となっています。圏域別では、いずれの圏域も該当者がそれぞれ2～3割台となっています。

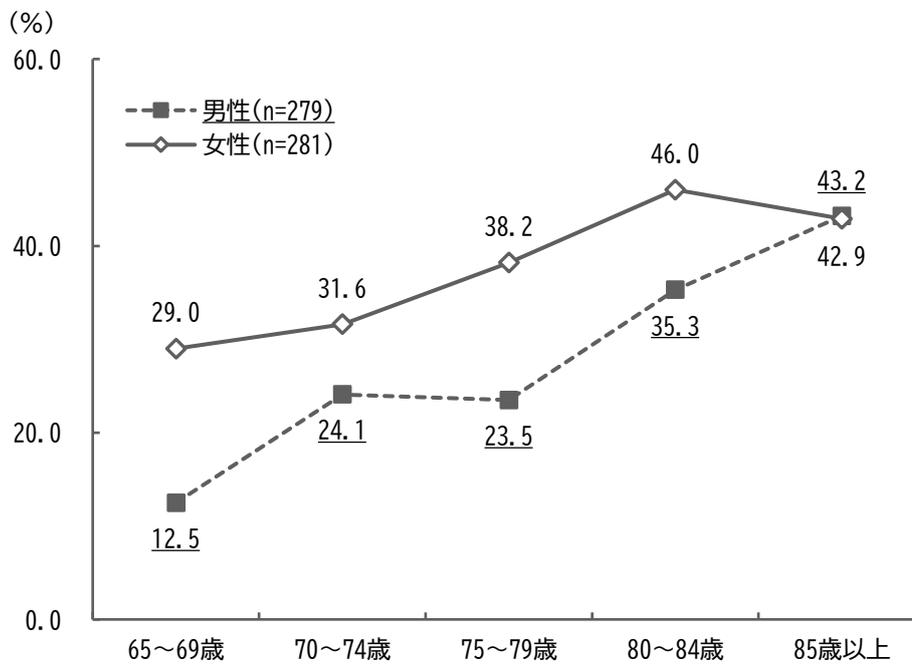
世帯構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者は64歳以下）を除いて該当者がそれぞれ3割台となっています。

性別・年齢別では、男性、女性ともに年齢が上がるにつれて、該当者の割合が概ね高くなる傾向にあり、女性の80～84歳、男性、女性の85歳以上でそれぞれ4割台となっています。





■ 性別・年齢別 (該当者の割合)



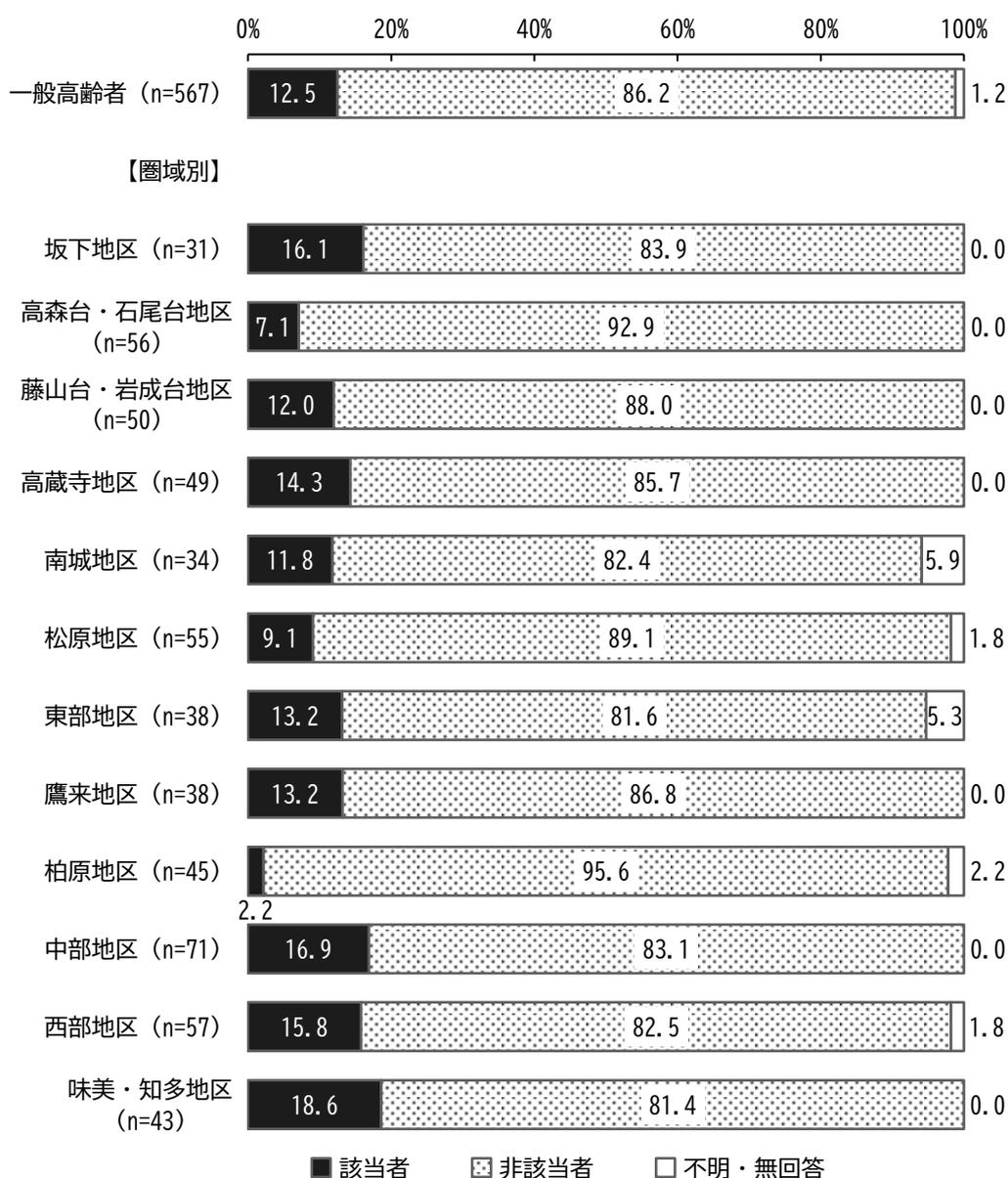
(3) 閉じこもり傾向のある高齢者

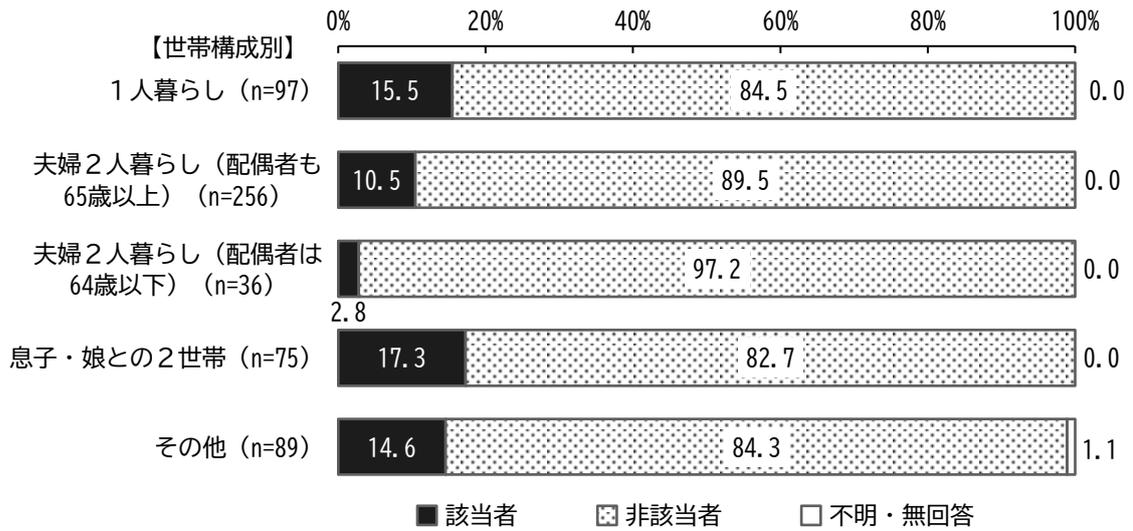
閉じこもりの評価結果をみると、12.5%が該当者（閉じこもり傾向のある高齢者）となっています。

圏域別では、12 圏域中 9 圏域で該当者がそれぞれ 1 割台となっています。

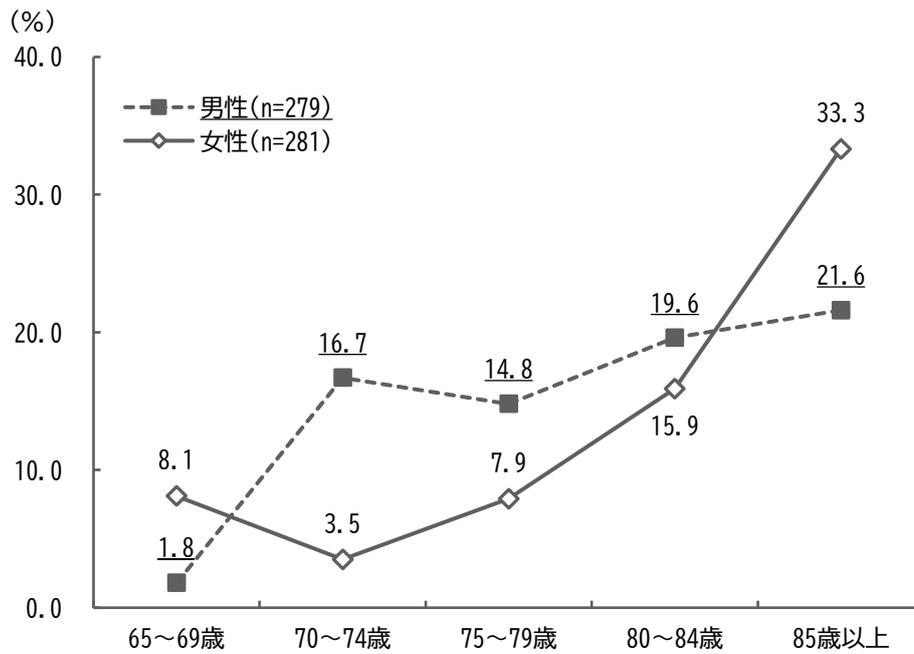
世帯構成別では、夫婦 2 人暮らし（配偶者は 64 歳以下）を除いて該当者がそれぞれ 1 割台となっています。

性別・年齢別では、男性で 65～69 歳を除いてそれぞれ 1～2 割となっています。女性で 75～79 歳以降で高くなっており、85 歳以上で 33.3%となっています。





■ 性別・年齢別 (該当者の割合)

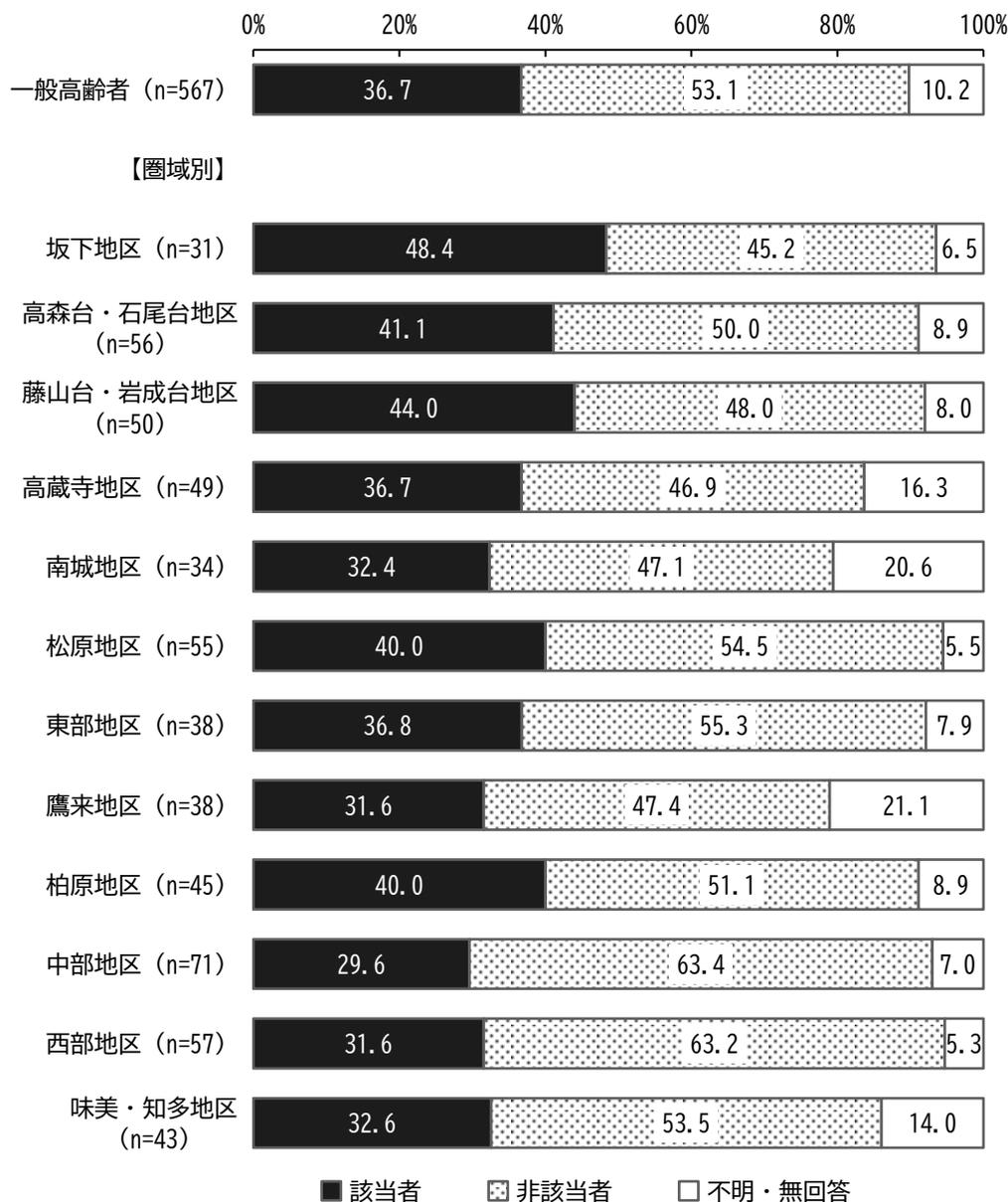


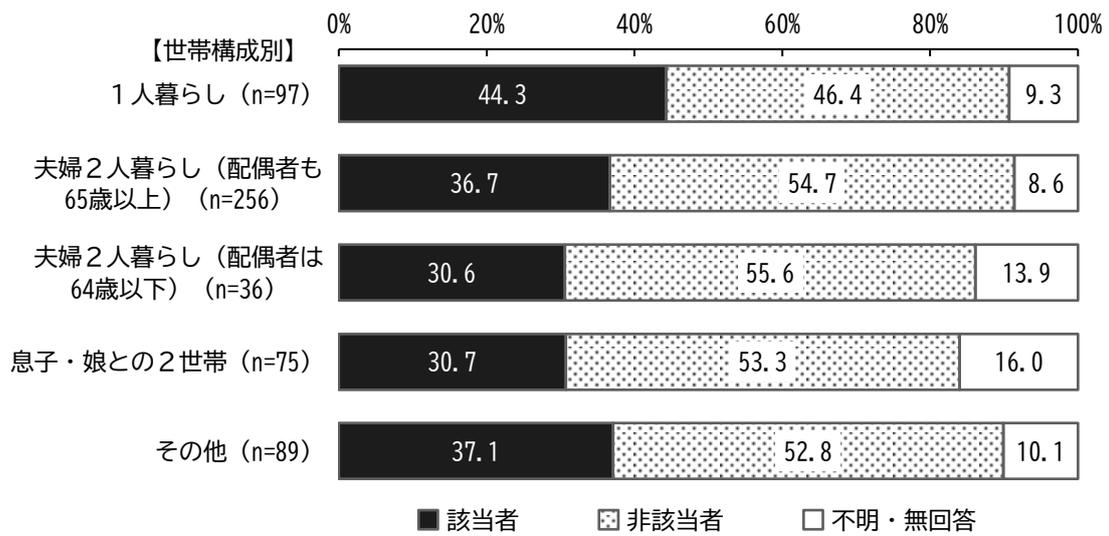
(4) 認知機能の低下がみられる高齢者

認知機能の評価結果をみると、36.7%が該当者(認知機能の低下がみられる高齢者)となっています。

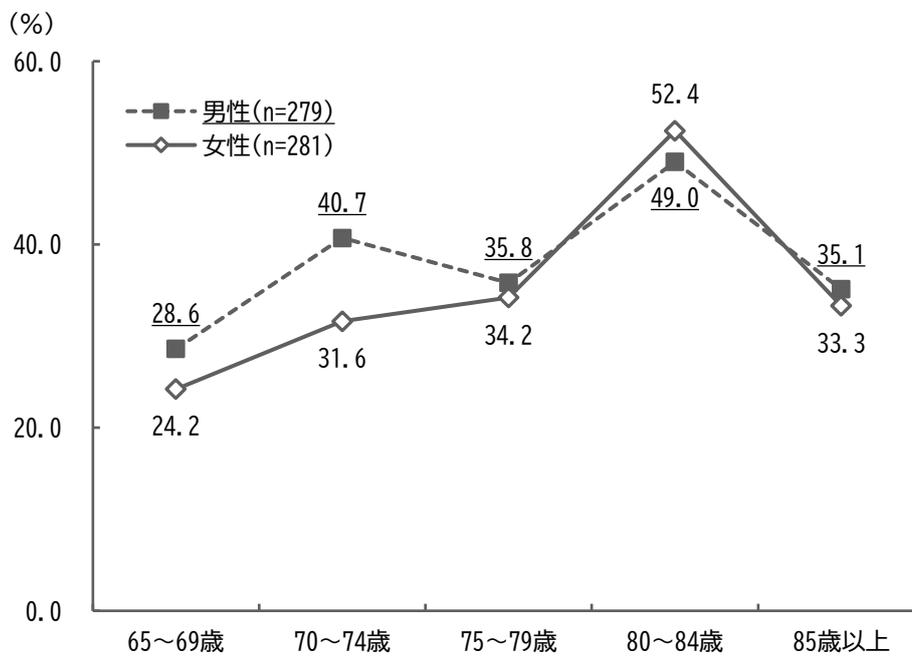
圏域別では、坂下地区、高森台・石尾台地区、藤山台・岩成台地区、松原地区、柏原地区で該当者がそれぞれ4割台と、他の圏域と比べて高くなっています。

世帯構成別では、1人暮らしで該当者が44.3%と、他の世帯構成と比べて高くなっています。性別・年齢別では、男性、女性ともに80～84歳でそれぞれ約5割となっています。





■ 性別・年齢別 (該当者の割合)



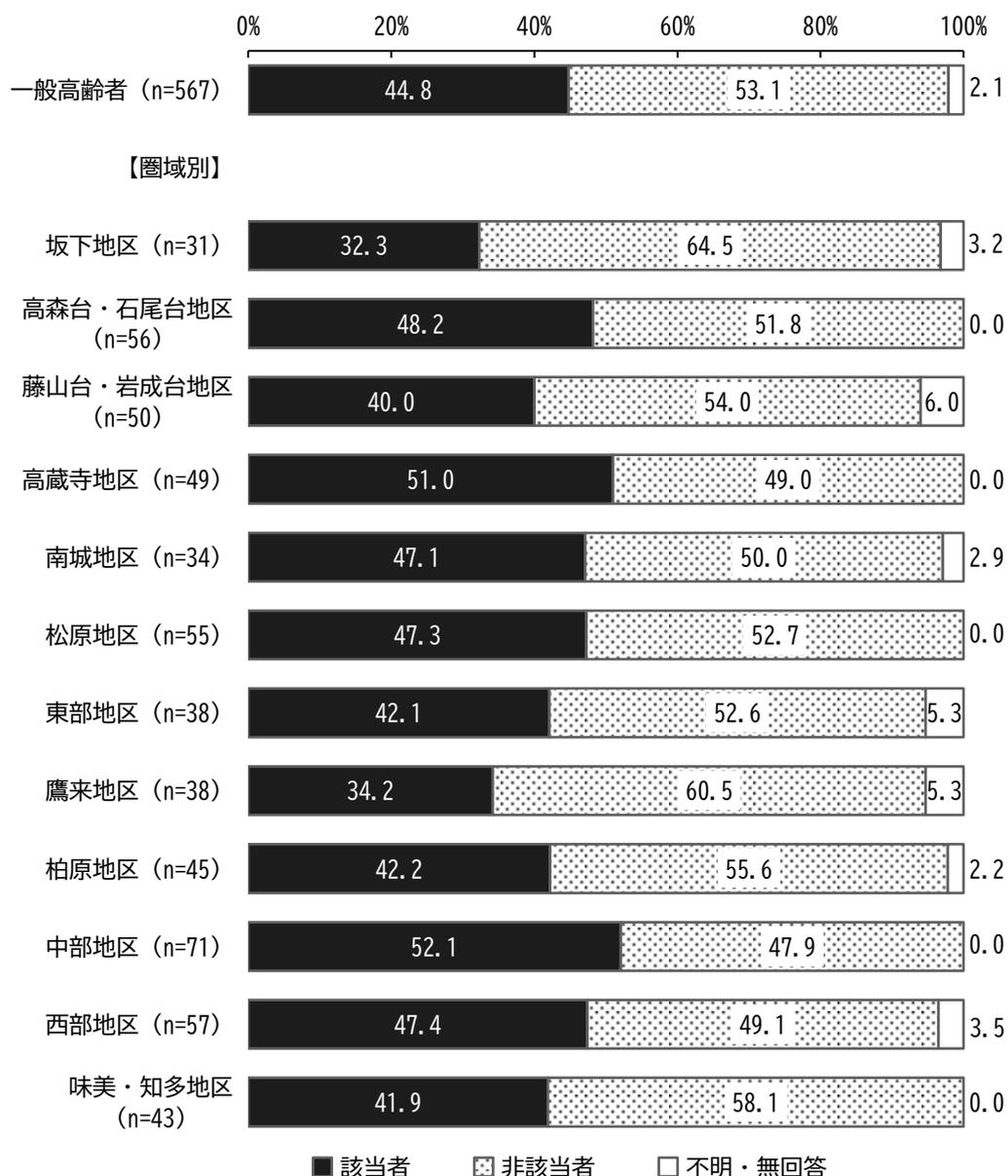
(5) うつ傾向の高齢者

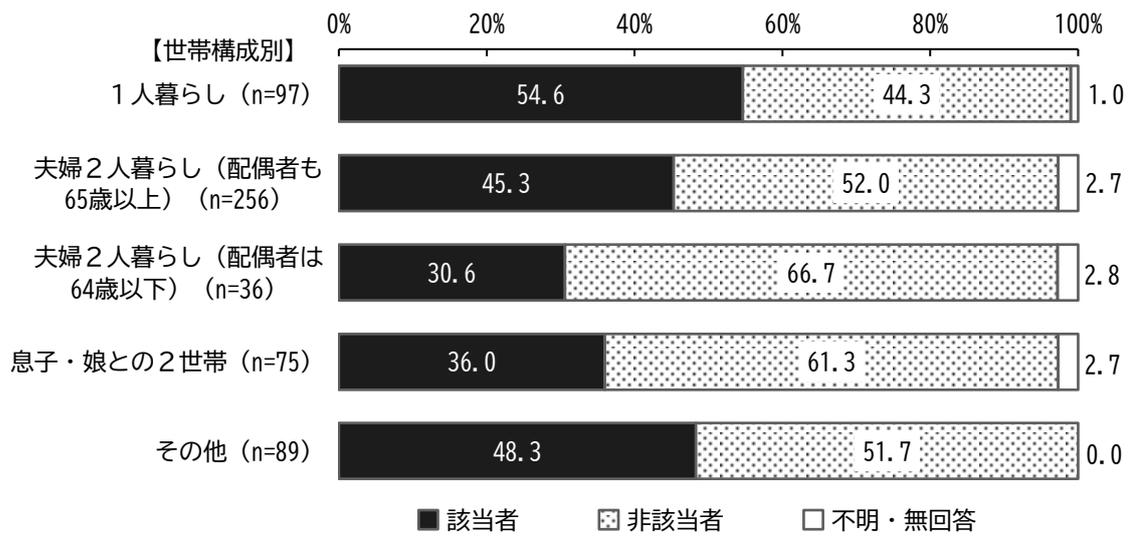
うつ傾向の評価結果をみると、44.8%が該当者（うつ傾向の高齢者）となっています。

圏域別では、高蔵寺地区、中部地区で該当者がそれぞれ5割台と、他の圏域と比べて高くなっています。

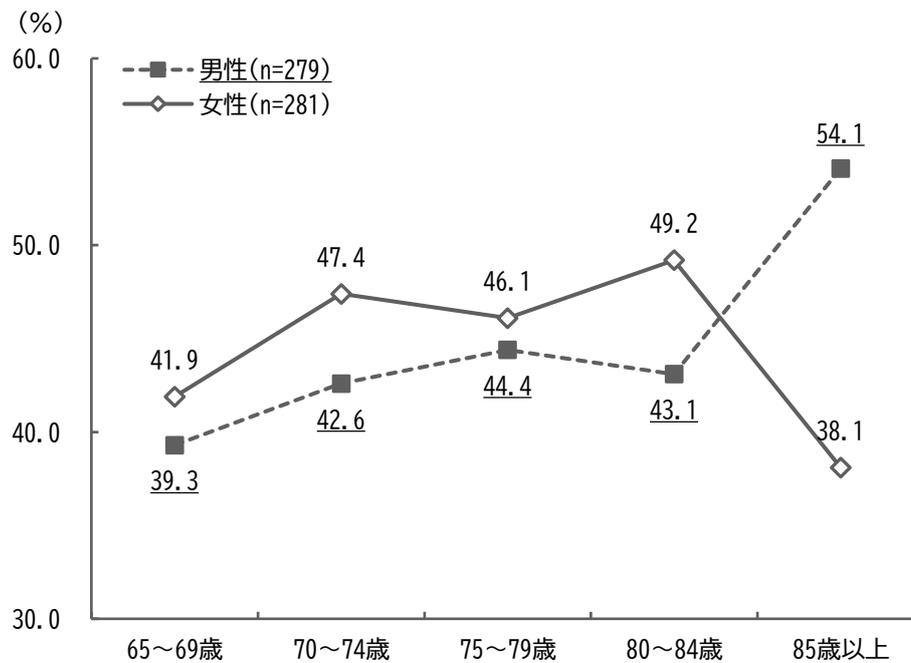
世帯構成別では、1人暮らしで該当者が54.6%と、他の世帯構成と比べて高くなっています。

性別・年齢別では、男性、女性ともに80～84歳までは3～4割台となっており、男性の85歳以上で54.1%となっています。





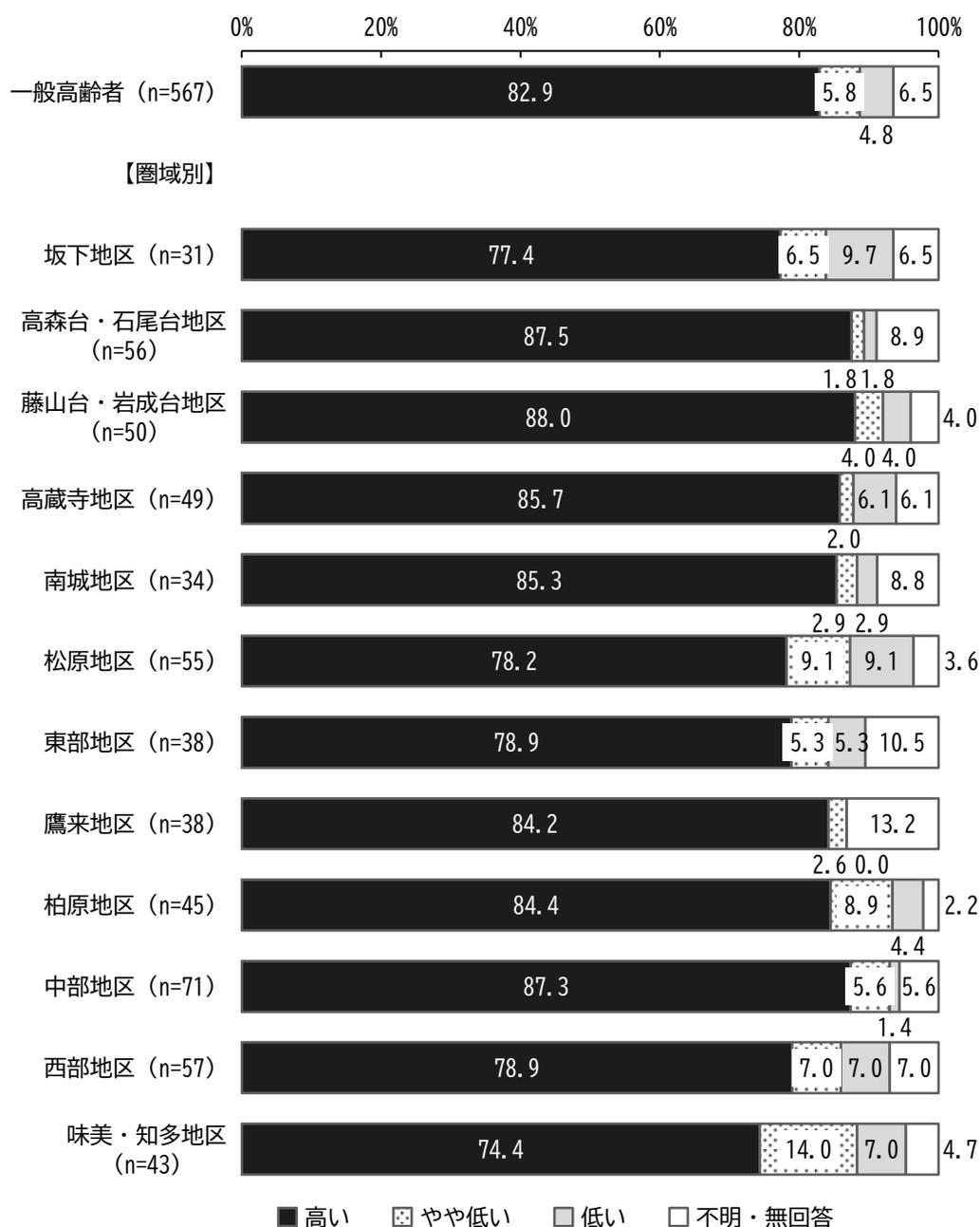
■ 性別・年齢別 (該当者の割合)

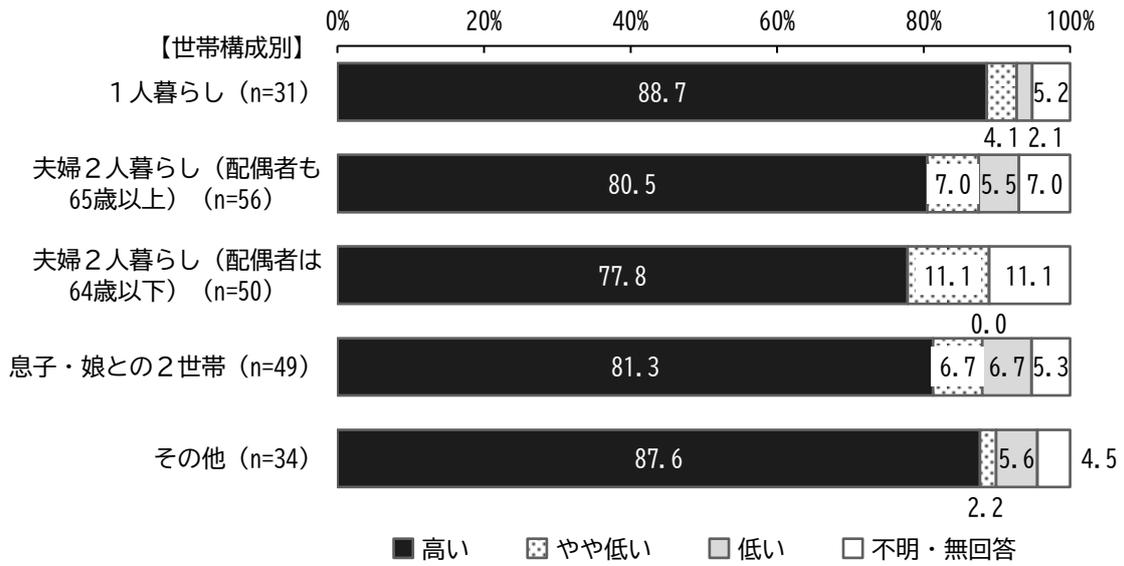


(6) I ADL (手段的日常生活動作)

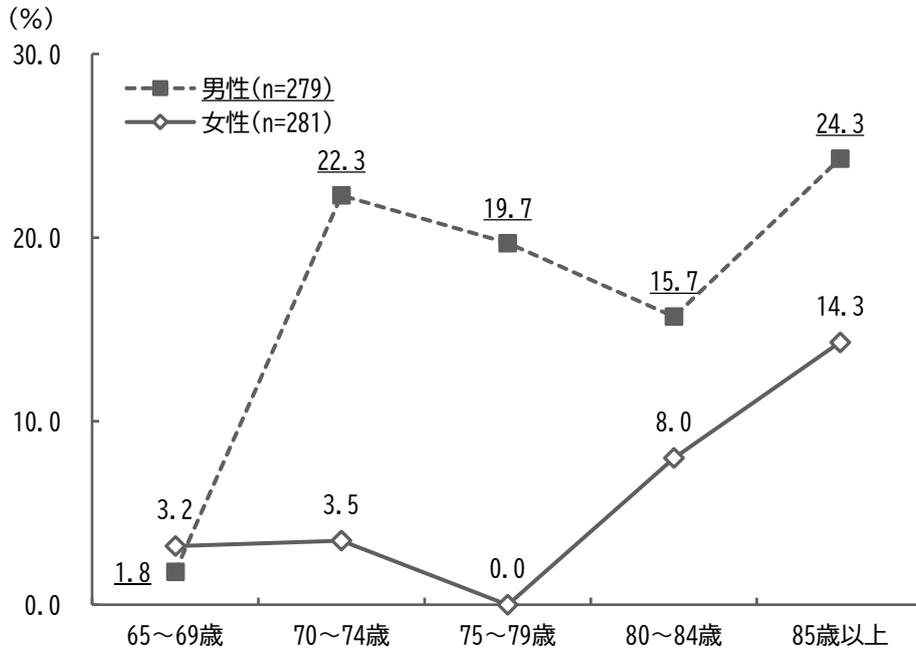
* 『低い』 = 「やや低い」と「低い」を合わせた割合

I ADL (手段的日常生活動作) の評価結果をみると、『低い』が10.6%となっています。
 圏域別では、味美・知多地区で『低い』が21.0%と、他の圏域と比べて高くなっています。
 世帯構成別では、夫婦2人暮らし(配偶者も65歳以上)、夫婦2人暮らし(配偶者は64歳以下)、息子・娘との2世帯で『低い』がそれぞれ1割台と、他の世帯構成と比べて高くなっています。
 性別・年齢別では、男性の70~74歳、85歳以上で『低い』がそれぞれ2割台となっています。
 女性の80歳以降で高くなる傾向にあり、85歳以上で14.3%となっています。





■ 性別・年齢別 (『低い』の割合)



自由記述まとめ

(1) 公共交通機関・移動手段への要望

免許返納後の足がないという声が多くあがっています。高齢者の社会参加や通院の生命線として、バスやタクシー助成への強い要望があります。

主な意見

- ・春日井市民の老人の特権がない。車がないと不便。バスが高すぎる。
- ・75歳で免許返納したが、移動が予想以上に大変で外出をためらう。バスの本数増便や、臨時バスを増やしてほしい。
- ・JRやバスの敬老パス（無料・低額）制度がほしい。
- ・オンデマンドバスは1週間前の予約が必要で不便。
- ・元気な高齢者が活動しやすいよう、商業施設へ気軽に行けるバスルートがほしい。
- ・通院などの交通費が高い。外出しやすい環境を求める。

(2) 社会参加・居場所・孤立防止に対するニーズ

単身高齢者の増加に伴い、「誰かと話したい」「集まれる場所がほしい」というニーズが高まっています。

主な意見

- ・年金が少ないので、お金をかけずに人と交流できる場がほしい。
- ・夫と息子を相次いで亡くし、今は何もしたくない状態だが、周囲の支えに感謝している。一人暮らしの人は話し相手がほしい。気軽にお茶を飲める場所があるとよい。
- ・町内で独居老人が増えている（24戸中5世帯）。LINE 配信やAI 会話ロボットなど、公共的に手助けする方法を検討してほしい。

(3) 権利擁護・終活への不安

判断能力低下時の財産管理や詐欺被害への不安の声があがっています。

主な意見

- ・判断力が低下した独り身の方が、高額な売買で騙されないよう、誰かが立ち会う制度が必要。
- ・知人が脳出血で記憶を失い、カード暗証番号が不明で出金できず困窮した事例があった。自分たちも準備が必要だと痛感した。

(4) 家庭内介護の限界と支援の質に対する不安

90代が妻を介護する事例や、施設費用の負担感、ダブルケア（介護と育児）など、家庭内の限界を訴える声があがっています。

主な意見

- ・ 老々介護は悲惨であり、何とか対策を打てないか。
- ・ 私は90歳。認知症で歩行困難な妻を風呂に入れてやりたいが、体力的にもうできない。デイサービスがない日（土日祝）は入れない。せめて1日おきに入れてやりたい。
- ・ 特養に入所中の義母に月17万円支払っている。「なら自宅で見ろ」と言われそうだが、私も20年以上介護職をし、義母も介護してきた。これからの10年は自分のために楽しみたい。
- ・ 介護職員による虐待報道などが不安。市としてモニタリングを確実にしてほしい。

(5) 情報の周知・相談窓口のわかりにくさ

「制度があるのかも知らない」「どこに聞けばいいかわからない」という声が多く、情報発信のあり方に課題があります。

主な意見

- ・ 行政として使える制度をもっと広く周知してほしい。相談窓口の対応に差がある。
- ・ 高齢者でもより分かりやすく手続きできるようにしてほしい。
- ・ 「かすがいいいきポイント」の内容が分からない。
- ・ 家族が遠方の場合など、亡き後の手続き（相続・納税等）が1つの窓口で完結する仕組みがほしい。
- ・ 高齢者向けの相談窓口や設備が一覧でわかるパンフレットがあると便利。
- ・ 公的・私的な情報をまとめたパンフレットがほしい

Ⅲ 要支援・要介護認定者調査

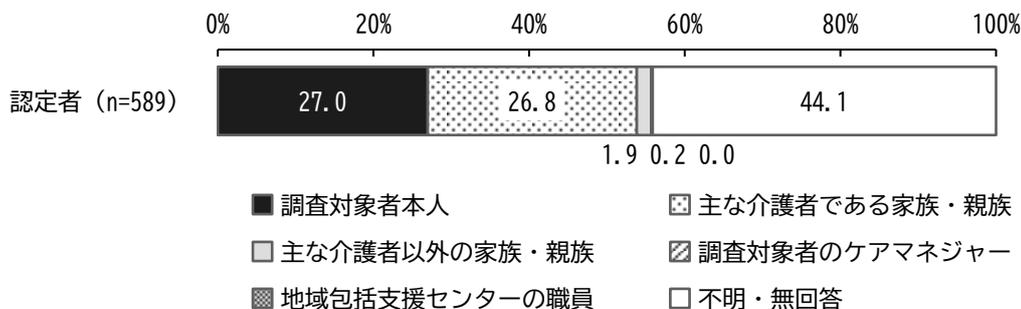
※要支援・要介護認定を受けている方にお答えいただいています。

◆現在、この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。

調査票を記入している方は、「調査対象者本人」が 27.0%と最も高く、次いで「主な介護者である家族・親族」が26.8%となっています。

要介護度別では、要支援1・2で「調査対象者本人」が、要介護1～5で「主な介護者である家族・親族」が、それぞれ最も高くなっています。

(単数回答)



■要介護度別 (%)

	調査対象者本人	主な介護者である家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	調査対象者のケアマネジャー	地域包括支援センターの職員	不明・無回答
要支援1 (n=164)	48.8	6.1	0.0	0.0	0.0	45.1
要支援2 (n=95)	36.8	15.8	2.1	0.0	0.0	45.3
要介護1 (n=109)	16.5	33.9	1.8	0.0	0.0	47.7
要介護2 (n=83)	13.3	39.8	7.2	0.0	0.0	39.8
要介護3 (n=57)	10.5	40.4	0.0	0.0	0.0	49.1
要介護4 (n=50)	14.0	40.0	2.0	2.0	0.0	42.0
要介護5 (n=31)	6.5	64.5	0.0	0.0	0.0	29.0

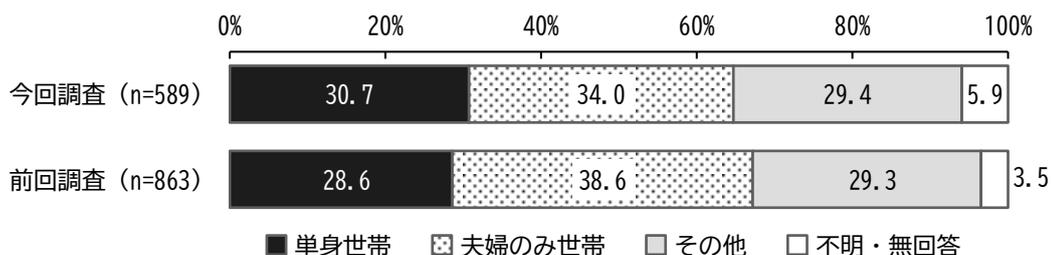
A票 調査対象者様ご本人について

【問1】世帯類型について、ご回答ください。

世帯類型は、「単身世帯」が30.7%、「夫婦のみ世帯」が34.0%、「その他」が29.4%となっています。

前回調査と比較すると、10ポイント以上の差はみられません。

(単数回答)

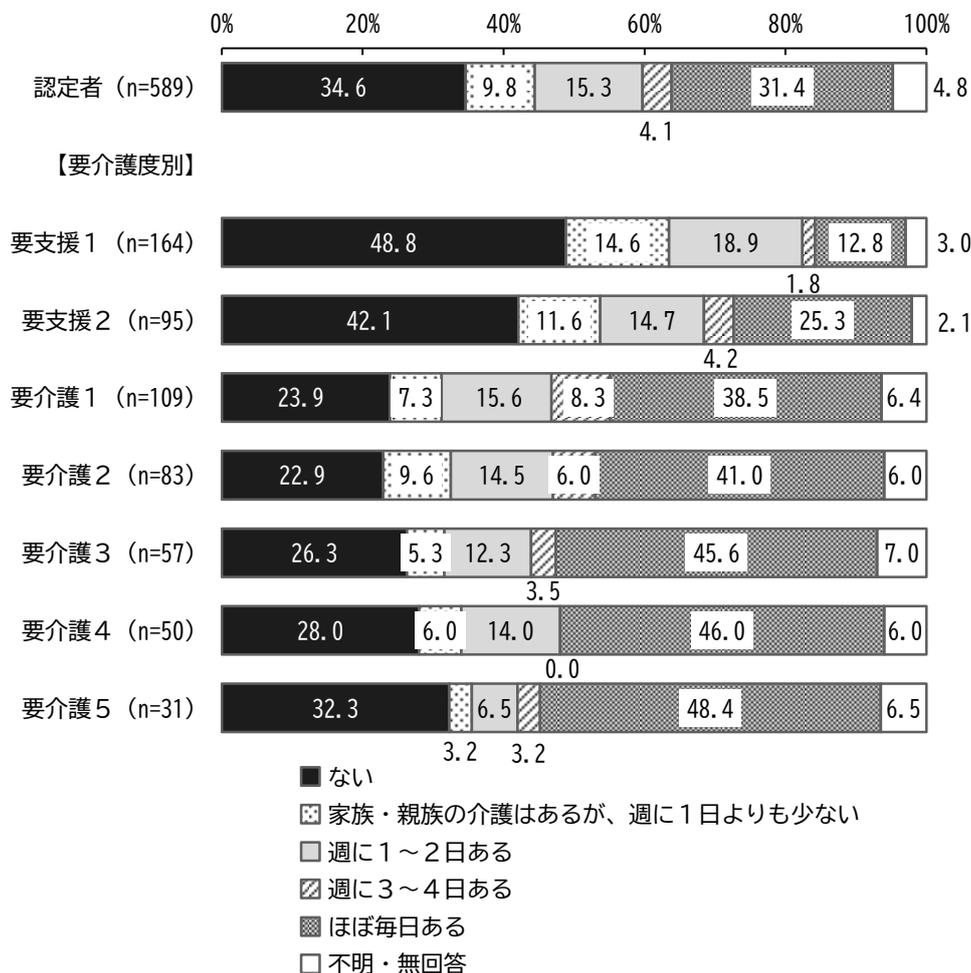


【問2】ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)

週あたりの介護の頻度は、「ない」が34.6%と最も高く、次いで「ほぼ毎日ある」が31.4%となっています。

要介護度別では、要介護1～5で「ほぼ毎日ある」がそれぞれ最も高くなっています。

(単数回答)



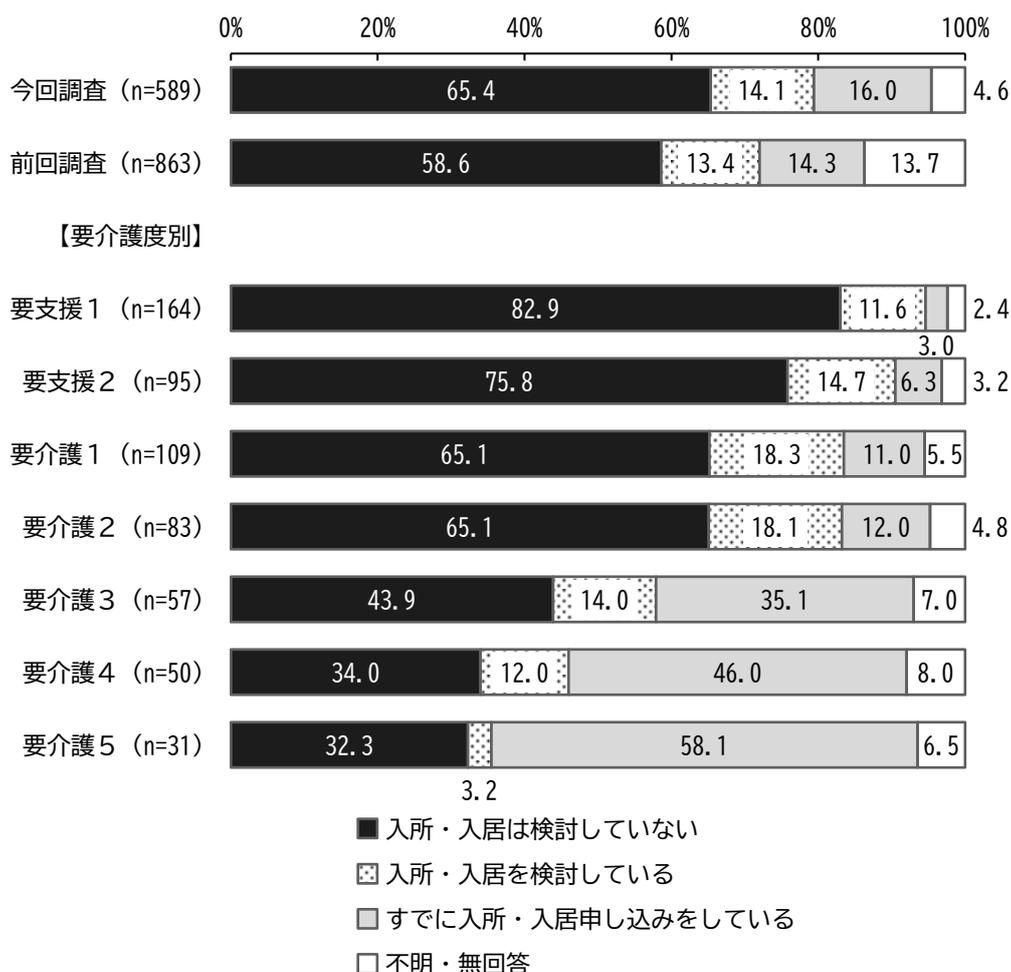
【問3】現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が65.4%、「入所・入居を検討している」が14.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が16.0%となっています。

前回調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」が6.8ポイント高くなっています。

要介護度別では、要介護4・5を除いて「入所・入居は検討していない」がそれぞれ最も高くなっています。なお、要介護が上がるにつれて「すでに入所・入居申し込みをしている」が高くなる傾向にあります。

(単数回答)



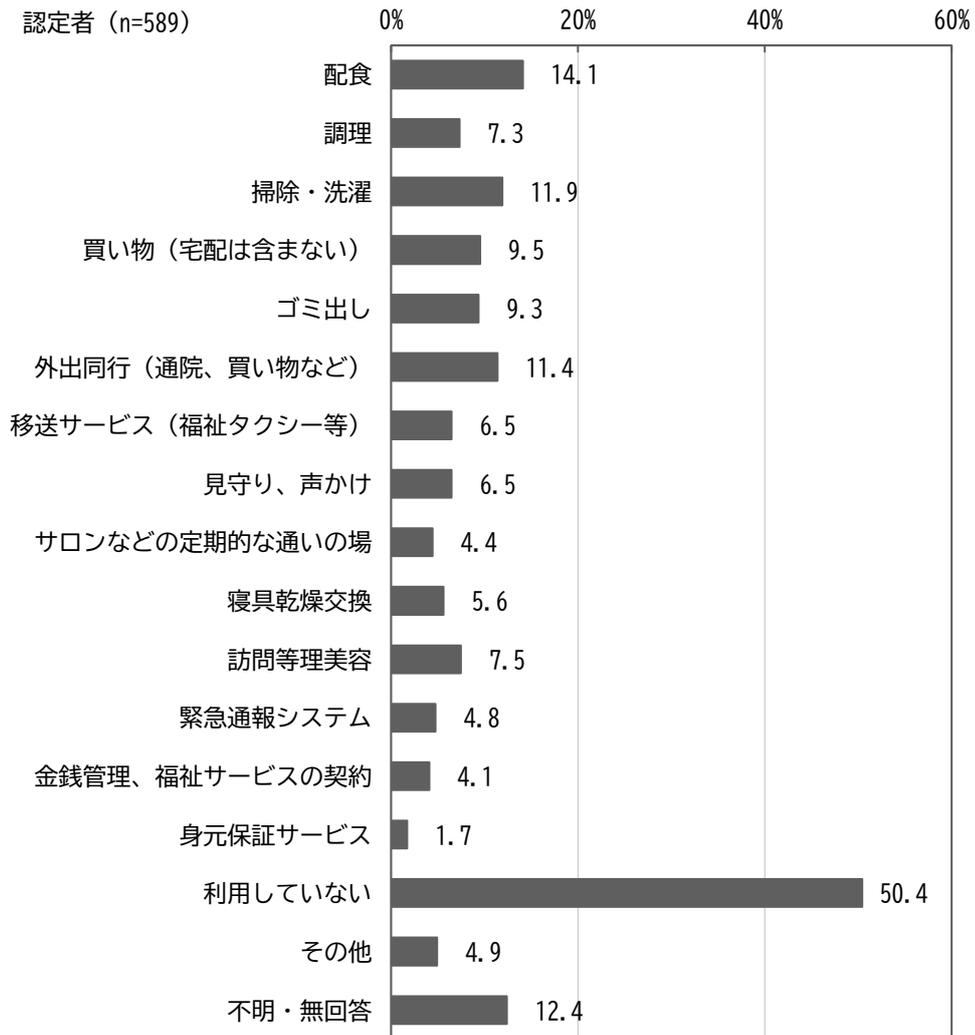
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームのことです。

【問4】現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「利用していない」(50.4%)をのぞくと、「配食」が14.1%と最も高く、次いで「掃除・洗濯」が11.9%となっています。

要介護度では、要支援1・2、要介護1で「利用していない」がそれぞれ5割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。

(複数回答)



※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めるため、対象外。

■要介護度別

(%)

	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	寝具乾燥交換	訪問等理美容
要支援1 (n=164)	11.0	4.3	10.4	10.4	10.4	11.6	7.9	7.3	4.3	3.7	3.7
要支援2 (n=95)	13.7	6.3	14.7	12.6	12.6	17.9	3.2	4.2	4.2	8.4	5.3
要介護1 (n=109)	11.0	8.3	8.3	9.2	6.4	9.2	2.8	7.3	4.6	5.5	2.8
要介護2 (n=83)	21.7	9.6	16.9	13.3	8.4	12.0	6.0	6.0	8.4	3.6	6.0
要介護3 (n=57)	15.8	10.5	14.0	7.0	12.3	7.0	5.3	5.3	1.8	3.5	14.0
要介護4 (n=50)	20.0	14.0	12.0	4.0	8.0	14.0	16.0	10.0	4.0	12.0	22.0
要介護5 (n=31)	9.7	0.0	6.5	0.0	3.2	0.0	9.7	3.2	0.0	6.5	19.4

	緊急通報システム	金銭管理、福祉サービスの契約	身元保証サービス	利用していない	その他	不明・無回答
要支援1 (n=164)	6.1	0.6	0.6	54.3	5.5	4.9
要支援2 (n=95)	3.2	4.2	2.1	58.9	1.1	6.3
要介護1 (n=109)	4.6	5.5	3.7	57.8	5.5	14.7
要介護2 (n=83)	3.6	7.2	0.0	42.2	3.6	16.9
要介護3 (n=57)	7.0	1.8	1.8	38.6	3.5	21.1
要介護4 (n=50)	6.0	10.0	4.0	40.0	10.0	16.0
要介護5 (n=31)	0.0	3.2	0.0	38.7	9.7	29.0

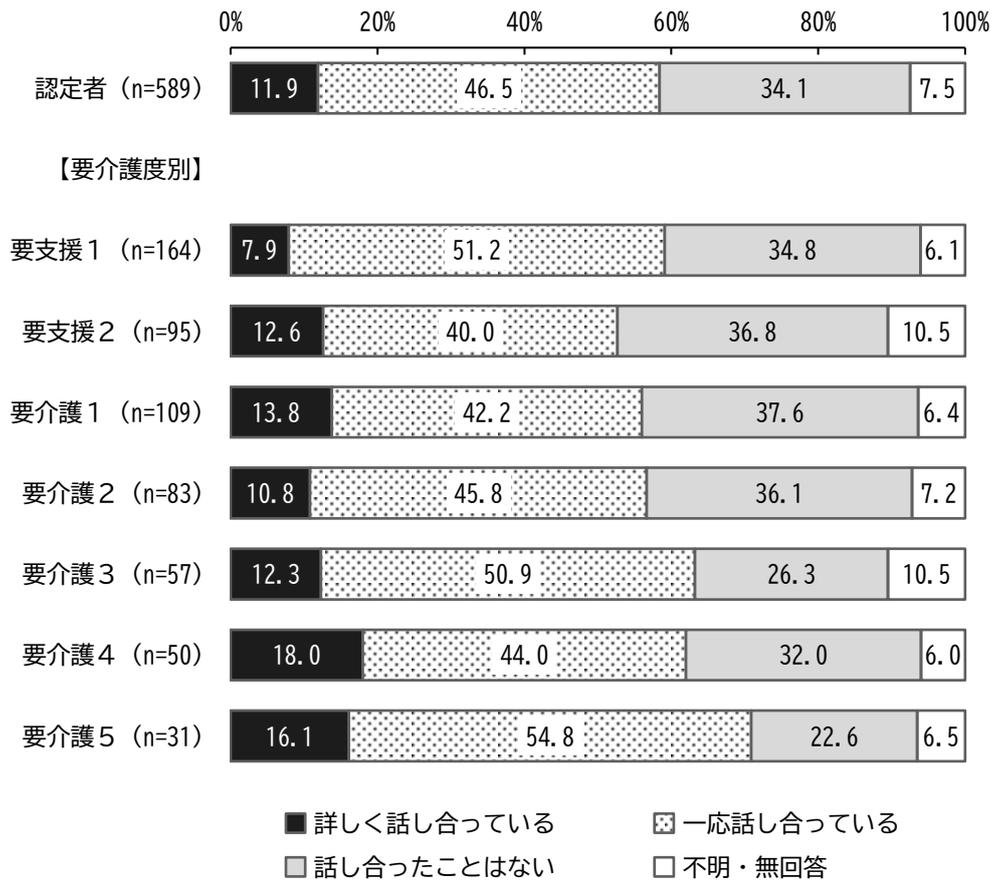
【問5】あなたは人生の最終段階に受けたい、もしくは受けたくない医療・ケアについて、どのくらい話し合ったことがありますか。

(1) 家族・親族

家族・親族と話し合ったことがあるかは、「詳しく話し合っている」が11.9%、「一応話し合っている」が46.5%、「話し合ったことはない」が34.1%となっています。

要介護度別では、要支援1を除いて「詳しく話し合っている」がそれぞれ1割台となっています。

(単数回答)

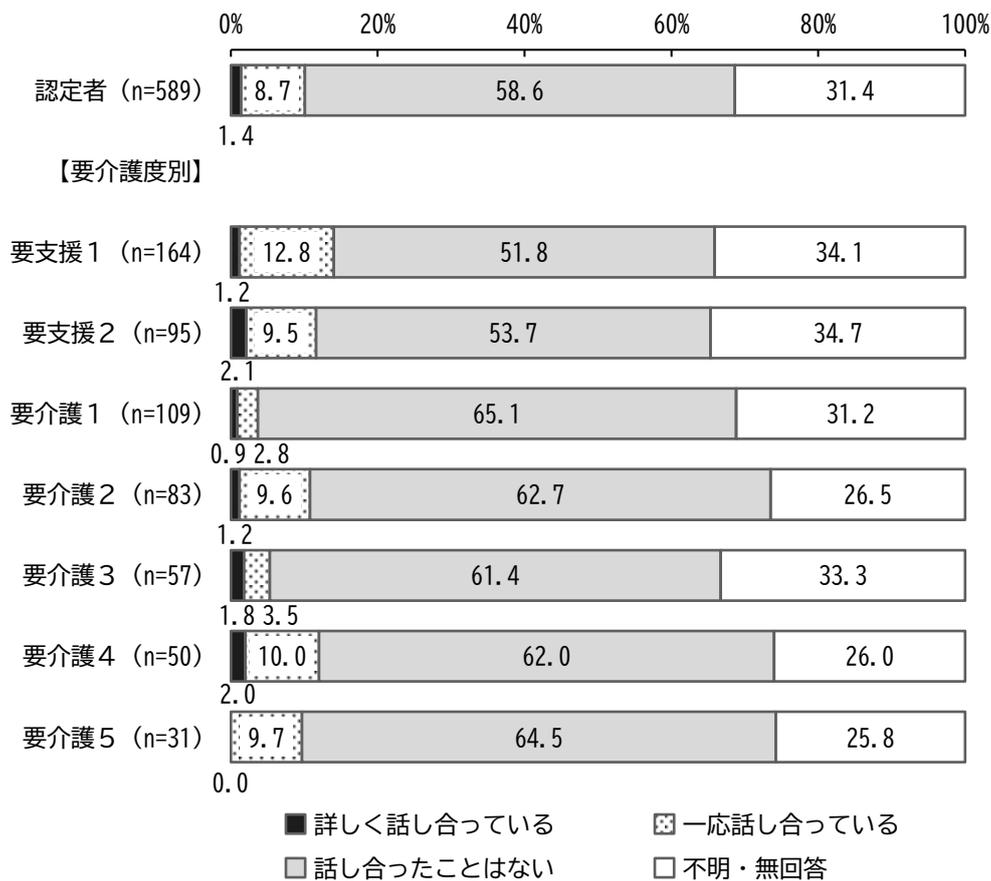


(2) 友人・知人

友人・知人と話し合ったことがあるかは、「詳しく話し合っている」が1.4%、「一応話し合っている」が8.7%、「話し合ったことはない」が58.6%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「詳しく話し合っている」がそれぞれ1割未満となっています。

(単数回答)

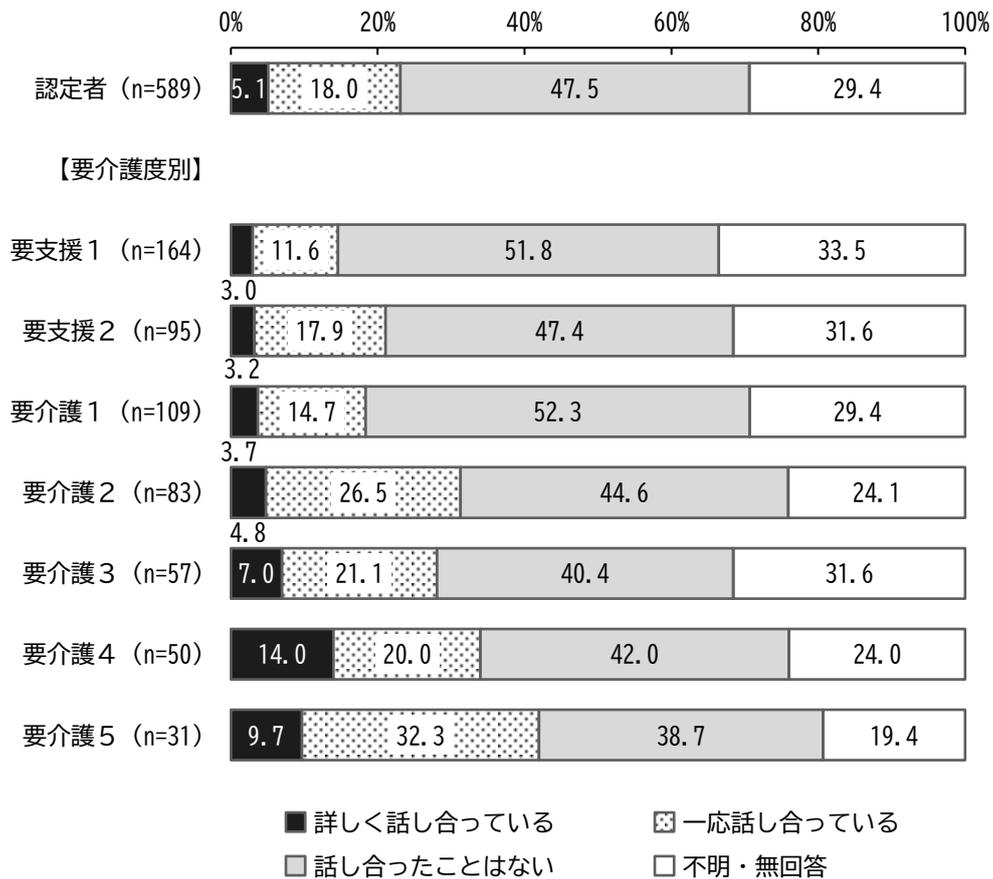


(3) 医療・介護従事者

医療・介護従事者と話し合ったことがあるかは、「詳しく話し合っている」が 5.1%、「一応話し合っている」が 18.0%、「話し合ったことはない」が 47.5%となっています。

要介護度別では、要介護4で「詳しく話し合っている」が 14.0%と、他の要介護度と比べて高くなっています。

(単数回答)



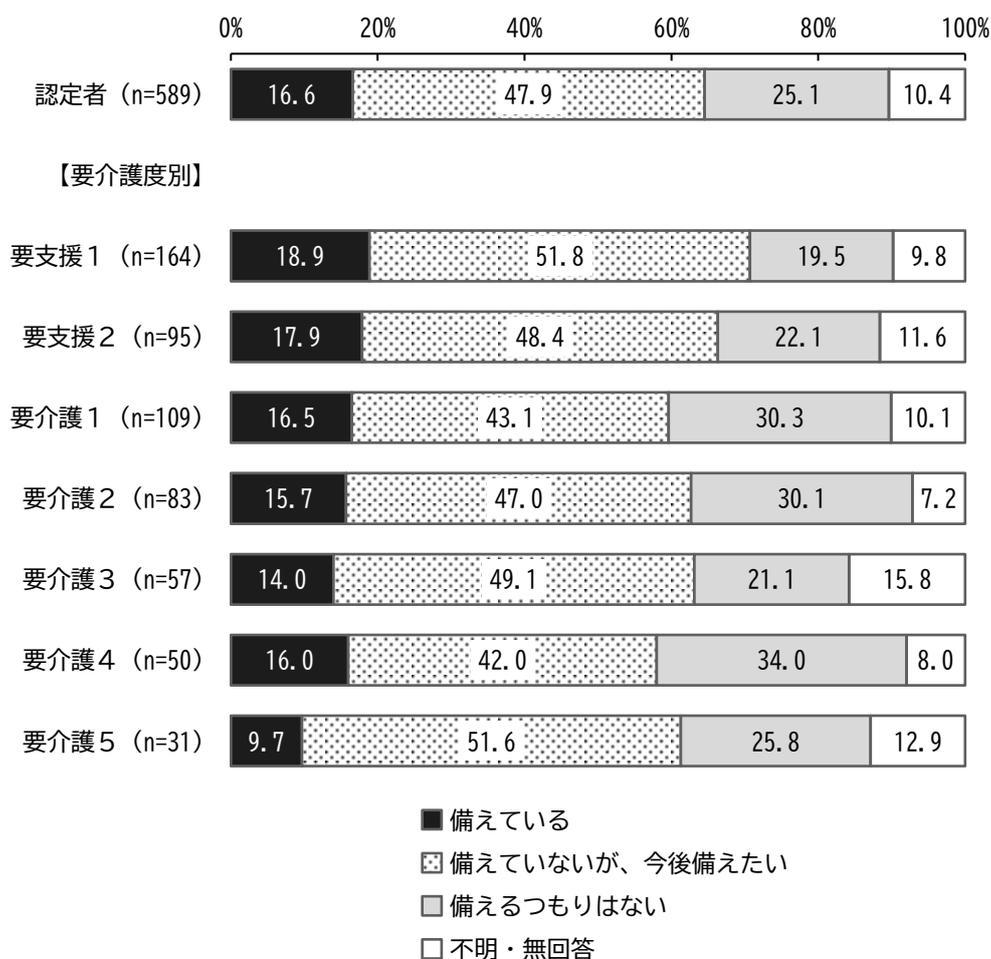
【問6】終活（死後の手続きや準備）について、どの程度備えられていますか。

（1）相続税や生前贈与などの資産の生前整理

相続税や生前贈与などの資産の生前整理は、「備えている」が16.6%、「備えていないが、今後備えたい」が47.9%、「備えるつもりはない」が25.1%となっています。

要介護度別では、要介護5を除いて「備えている」がそれぞれ1割台となっています。

（単数回答）

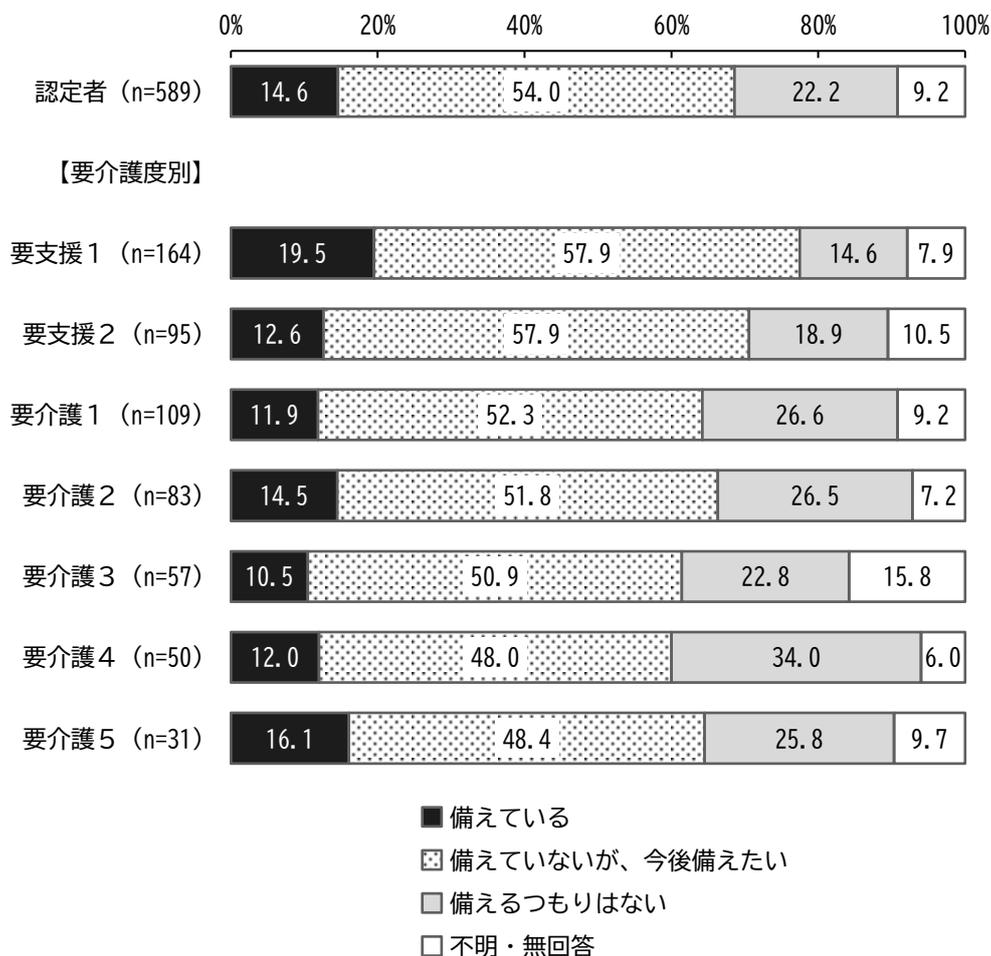


(2) 身の回り品の引継・処分などモノの生前整理

身の回り品の引継・処分などモノの生前整理は、「備えている」が14.6%、「備えていないが、今後備えたい」が54.0%、「備えるつもりはない」が22.2%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「備えている」がそれぞれ1割台となっています。

(単数回答)

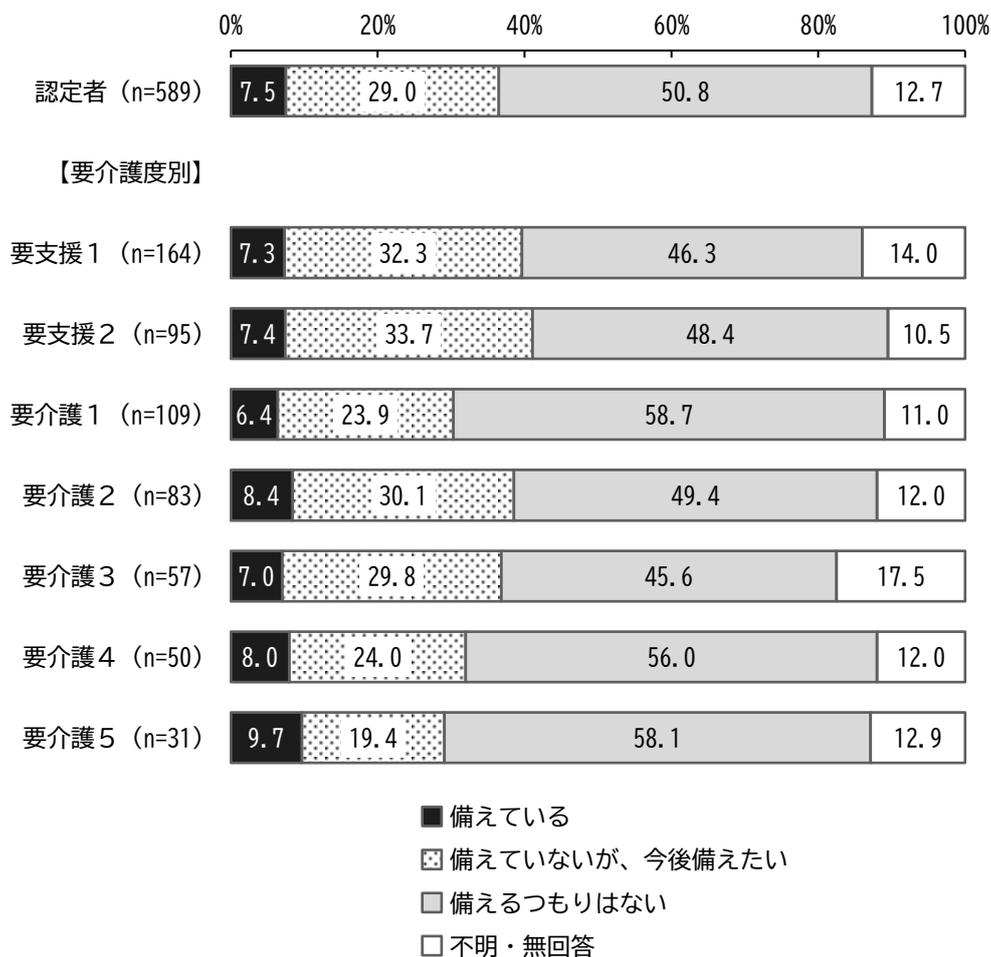


(3) 遺言書の作成

遺言書の作成は、「備えている」が7.5%、「備えていないが、今後備えたい」が29.0%、「備えるつもりはない」が50.8%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「備えている」がそれぞれ1割未満となっています。

(単数回答)

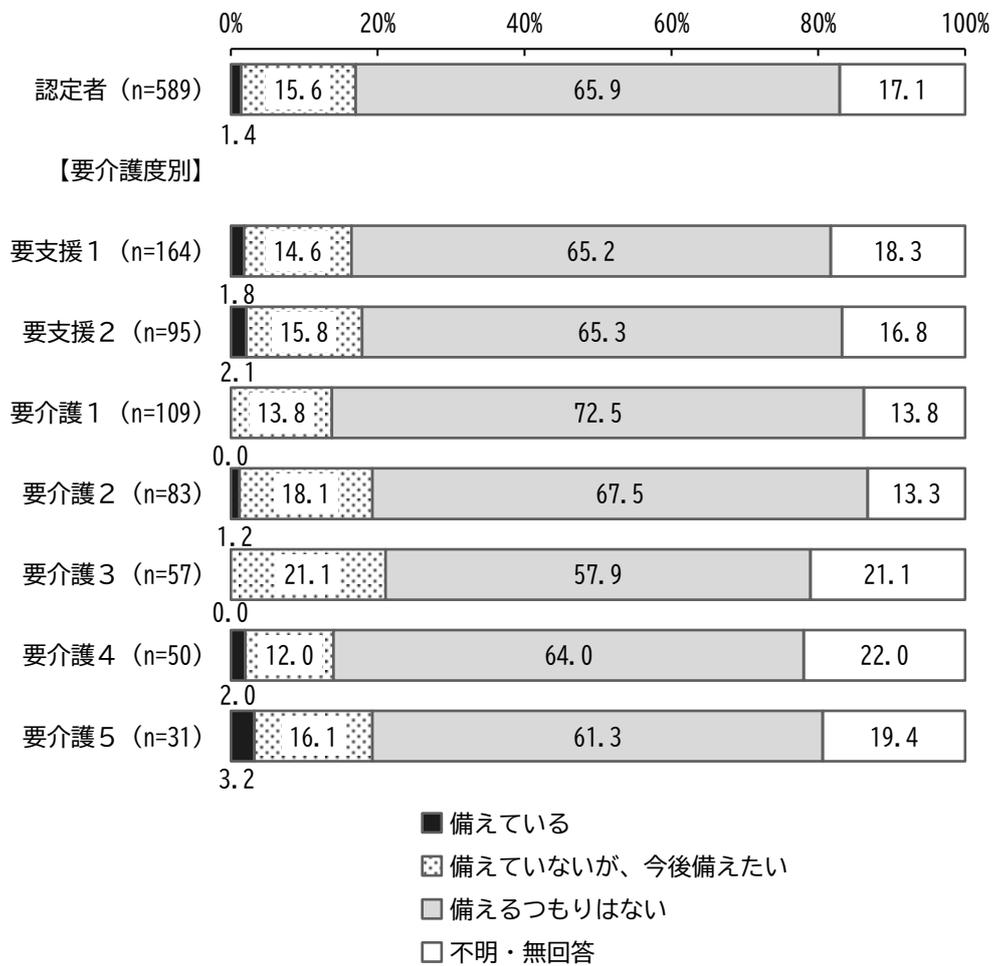


(4) 成年後見制度の利用

成年後見制度の利用は、「備えている」が1.4%、「備えていないが、今後備えたい」が15.6%、「備えるつもりはない」が65.9%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「備えている」がそれぞれ1割未満となっています。

(単数回答)

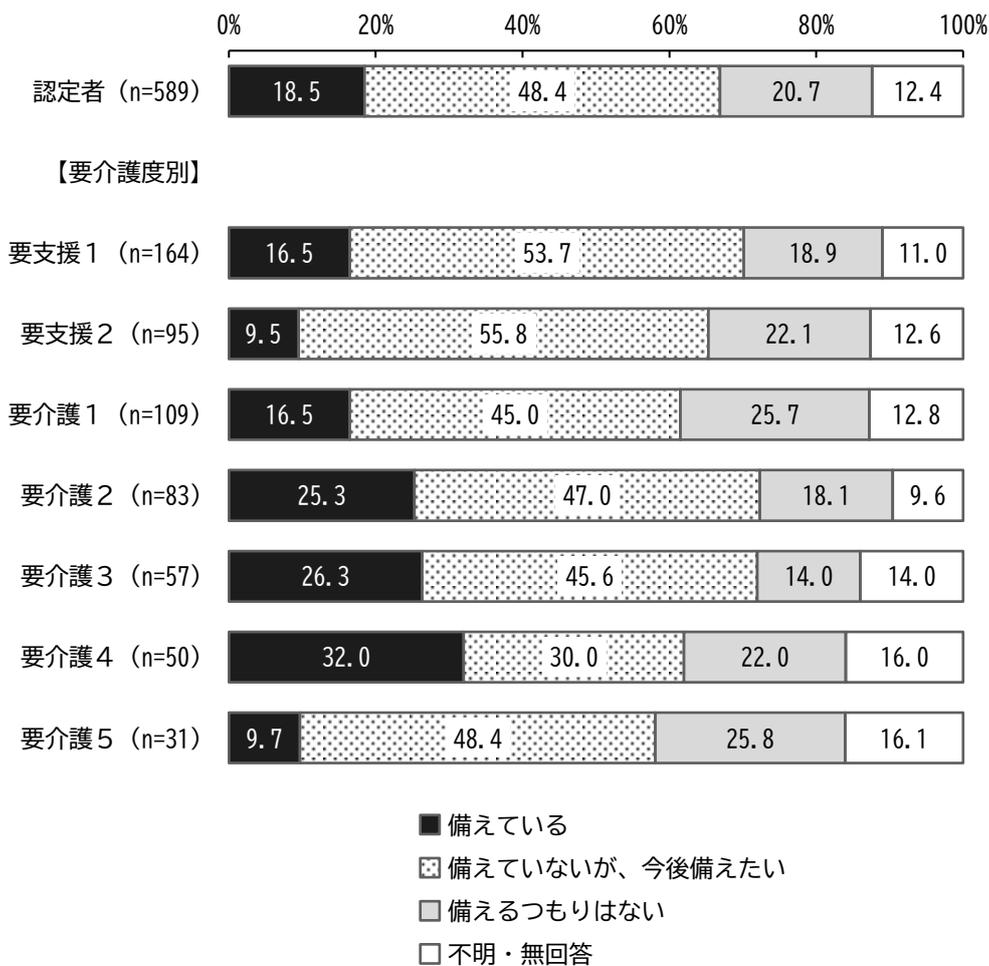


(5) 医療や介護についての信頼する人たちとの話し合いや共有

終活（死後の手続きや準備）について、医療や介護についての信頼する人たちとの話し合いや共有は、「備えている」が18.5%、「備えていないが、今後備えたい」が48.4%、「備えるつもりはない」が20.7%となっています。

要介護度別では、要介護4で「備えている」が32.0%と、他の要介護度と比べて高くなっています。

(単数回答)

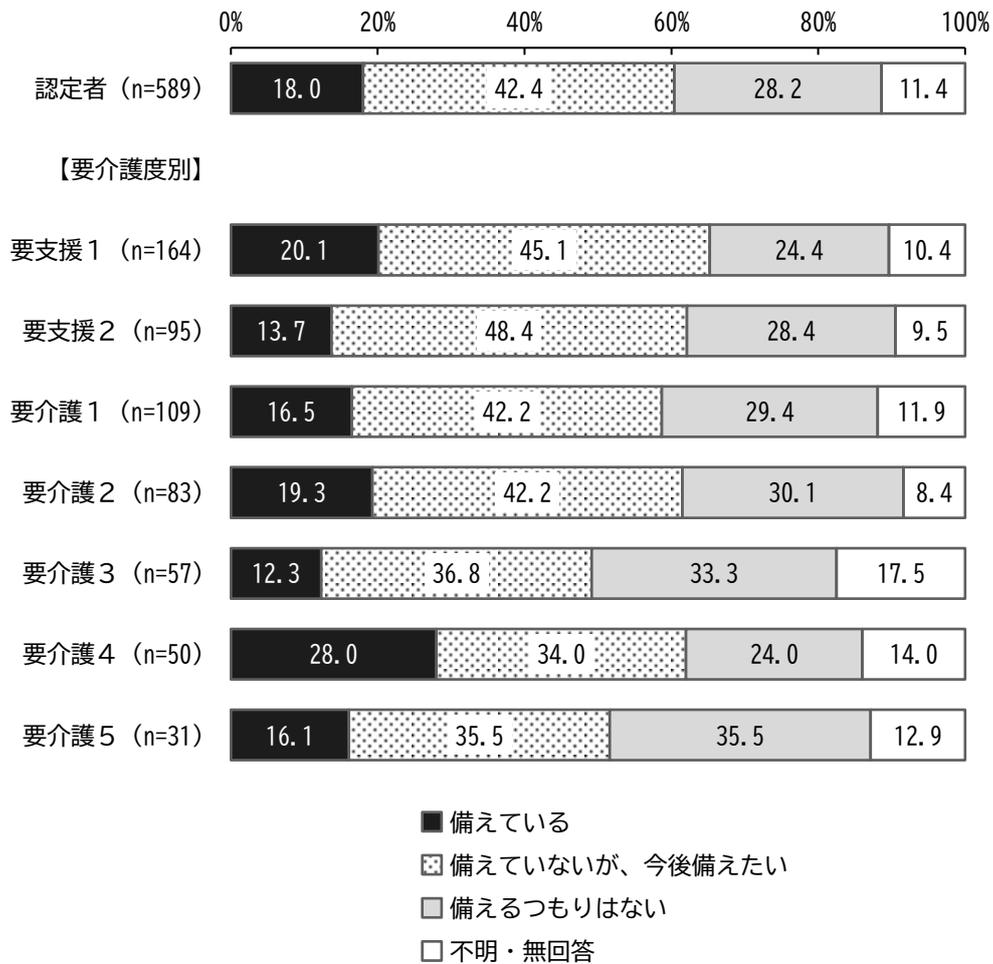


(6) 葬儀の事前準備

葬儀の事前準備は、「備えている」が18.0%、「備えていないが、今後備えたい」が42.4%、「備えるつもりはない」が28.2%となっています。

要介護度別では、要支援1、要介護4で「備えている」がそれぞれ2割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。

(単数回答)

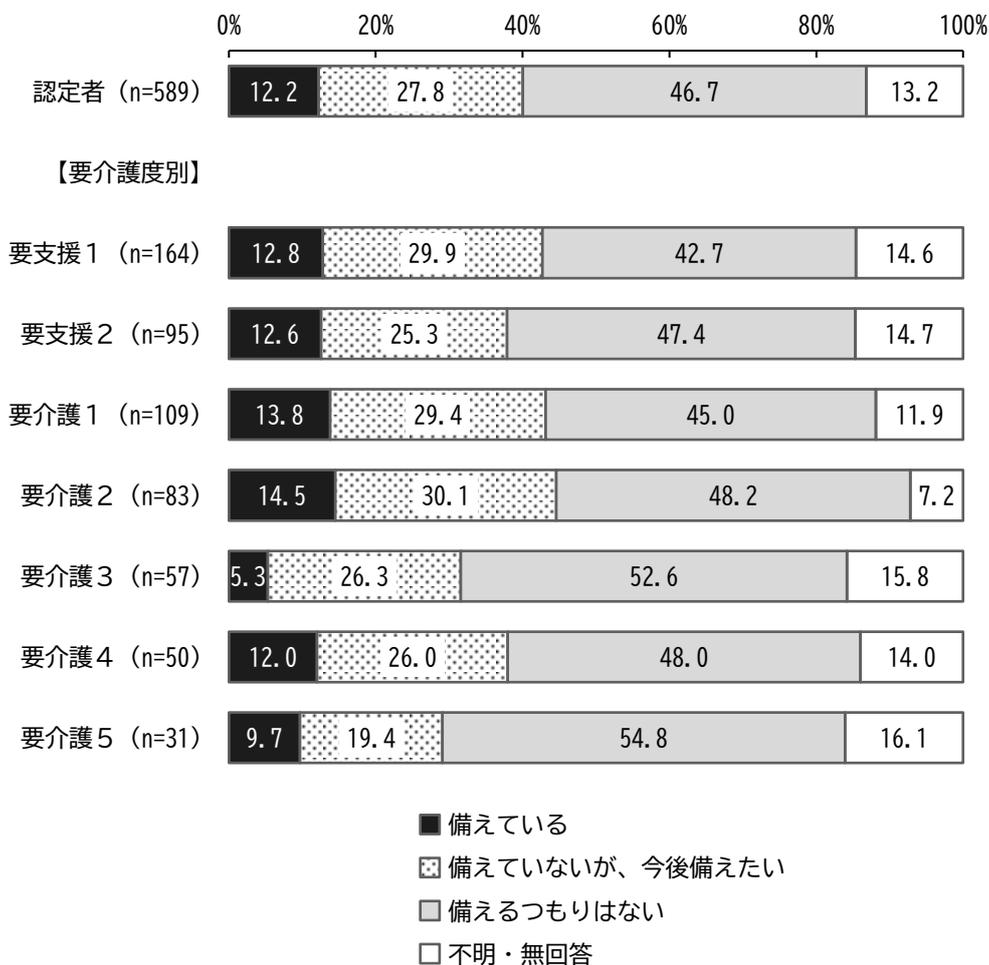


(7) 改葬・墓じまい

改葬・墓じまいは、「備えている」が12.2%、「備えていないが、今後備えたい」が27.8%、「備えるつもりはない」が46.7%となっています。

要介護度別では、要介護3・5を除いて「備えている」がそれぞれ1割台となっています。

(単数回答)



【問7】 今後、国や市が重点を置くべきと思う施策について、ご回答ください。

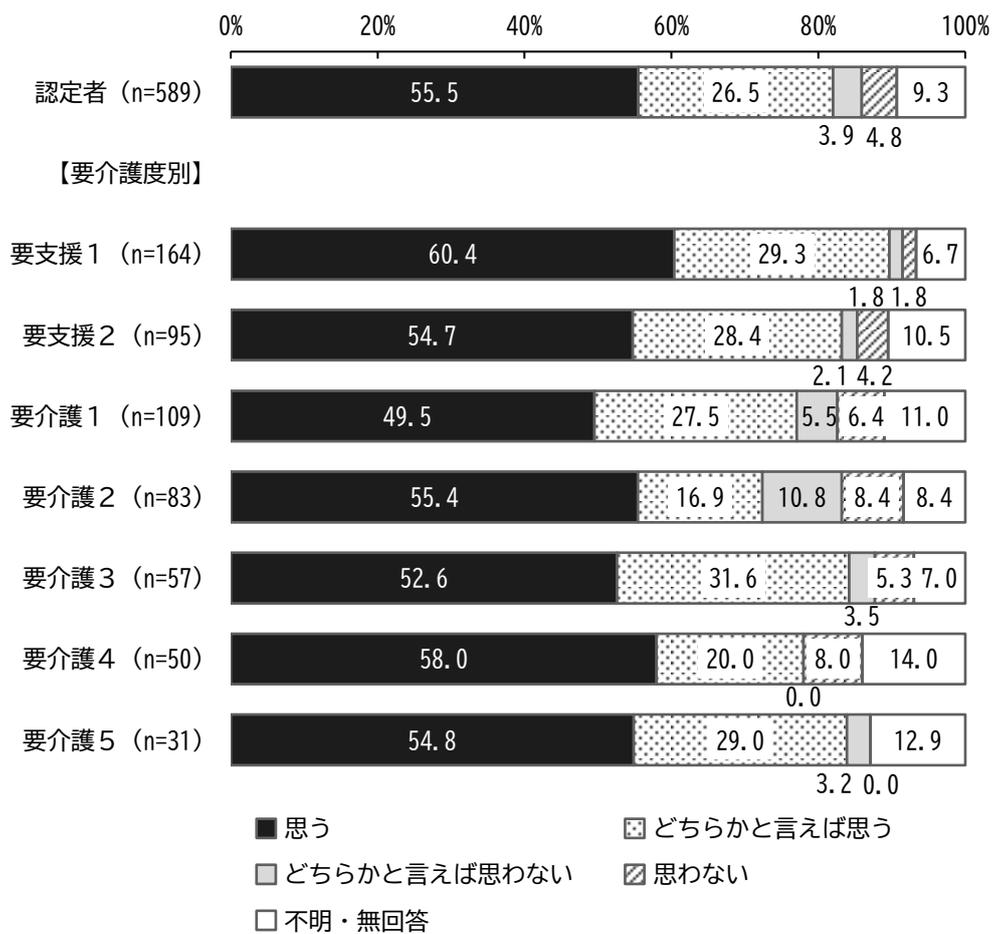
* 『思う』 = 「思う」と「どちらかと言えば思う」を合わせた割合
 『思わない』 = 「どちらかと言えば思わない」と「思わない」を合わせた割合

(1) 移動支援サービスの充実

移動支援サービスの充実は、『思う』が82.0%、『思わない』が8.7%となっています。

要介護度別では、要支援1・2、要介護3・5で『思う』がそれぞれ8割台と、他の要介護度と比べて高くなっています。

(単数回答)



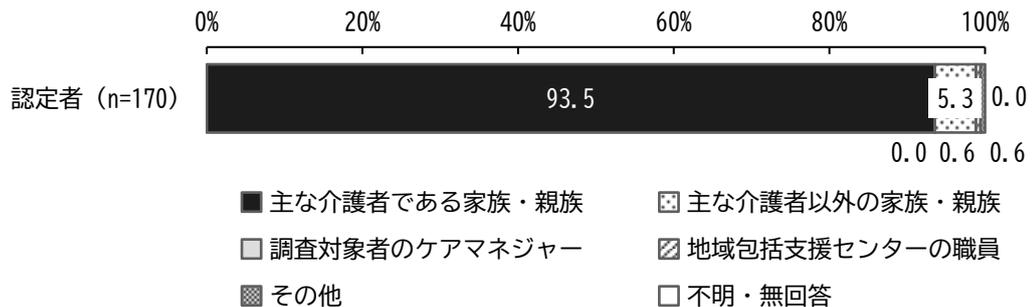
B票 主な介護者の方について

◆現在、この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。

*調査票A票の記入者が「調査対象者本人」以外を回答した方への質問

調査票の記入者は、「主な介護者である家族・親族」が93.5%と最も高く、次いで「主な介護者以外の家族・親族」が5.3%となっています。

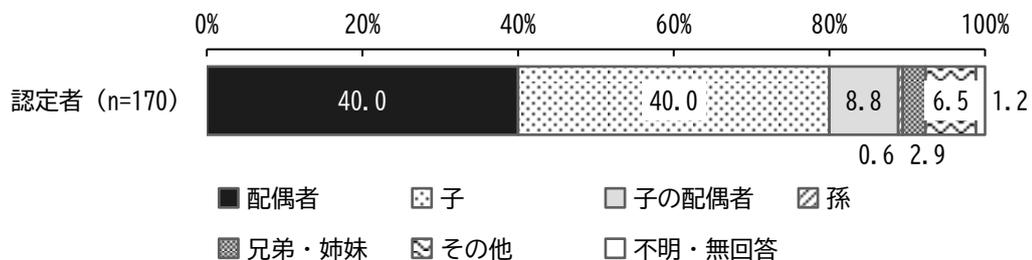
(単数回答)



【問1】主な介護者の方は、どなたですか。

主な介護者は、「配偶者」「子」がそれぞれ40.0%と最も高く、次いで「子の配偶者」が8.8%となっています。

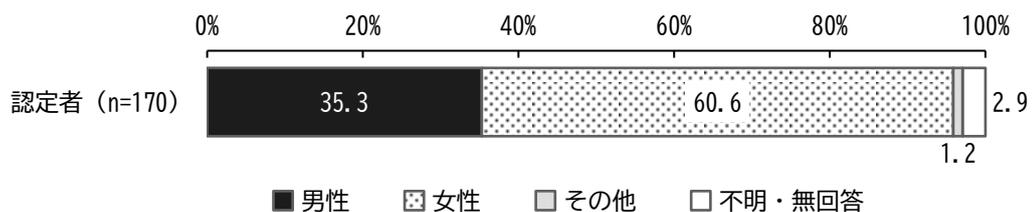
(単数回答)



【問2】主な介護者の方の性別について、ご回答ください。

主な介護者の性別は、「男性」が35.3%、「女性」が60.6%、「その他」が1.2%となっています。

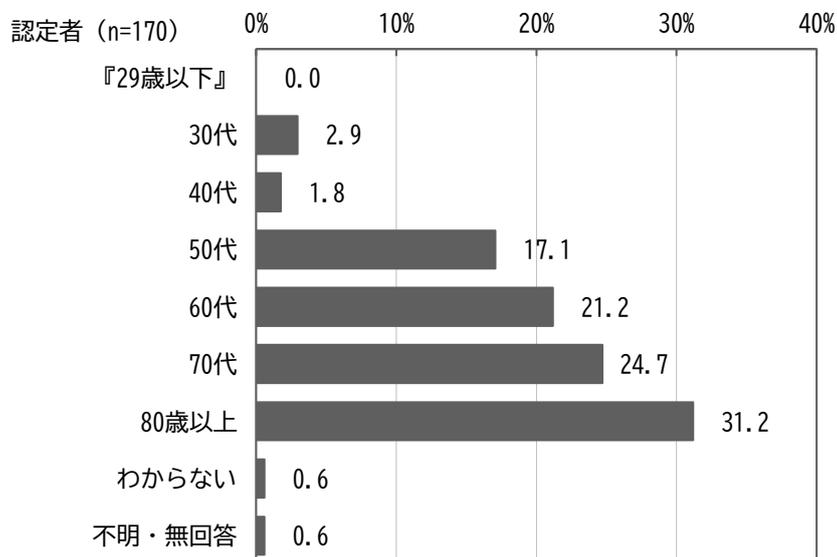
(単数回答)



【問3】 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。

主な介護者の年齢は、「80歳以上」が31.2%と最も高く、次いで「70歳代」が24.7%となっています。

(単数回答)

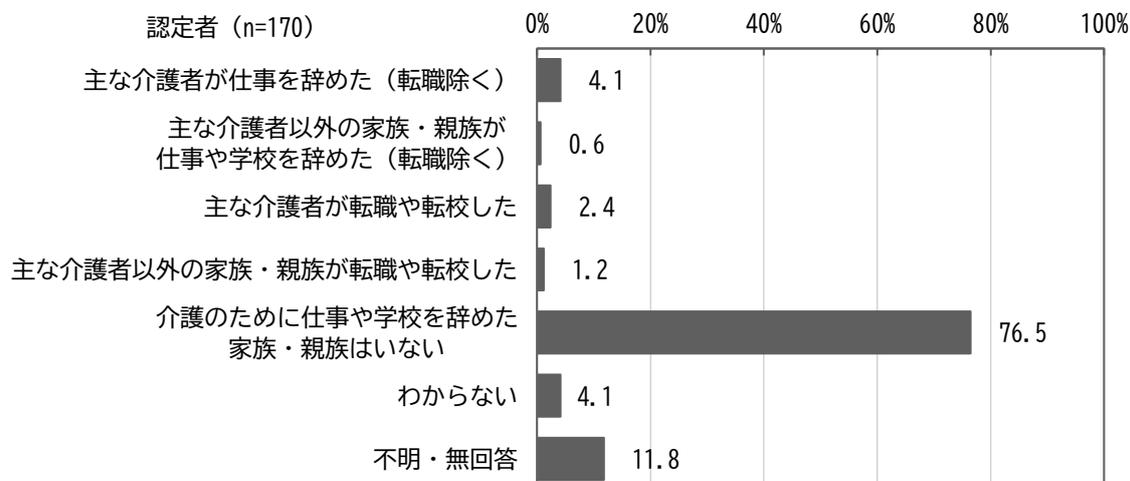


※ 『29歳以下』: 「17歳以下」「18・19歳」「20代」の合計

【問4】 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事や学校を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態等は問いません）

家族や親族の中で、本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事や学校を辞めた方は、「介護のために仕事や学校を辞めた家族・親族はいない」が76.5%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」「わからない」がそれぞれ4.1%となっています。

(複数回答)

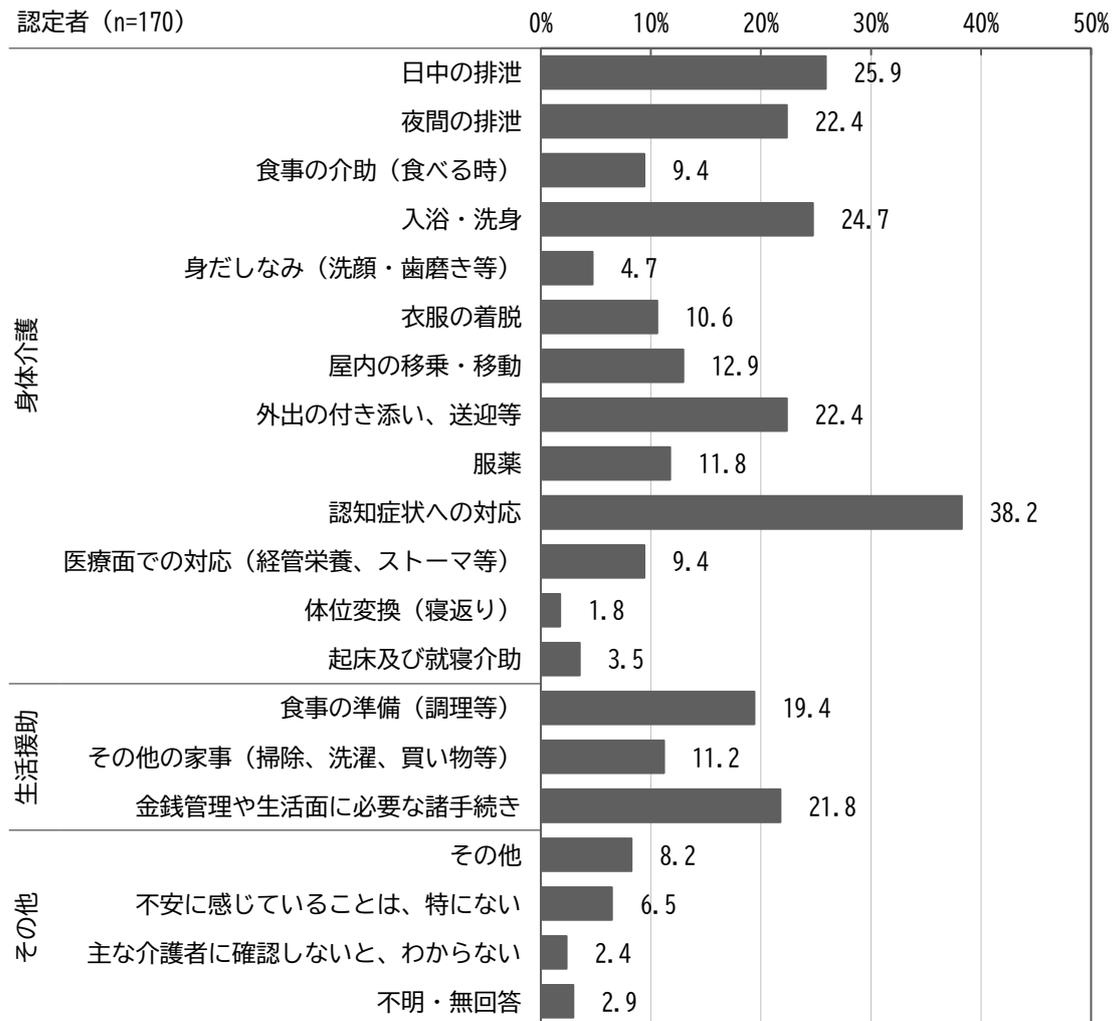


※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

【問5】現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が38.2%と最も高く、次いで「日中の排泄」が25.9%と、身体介護に関する内容が上位となっています。

（複数回答）



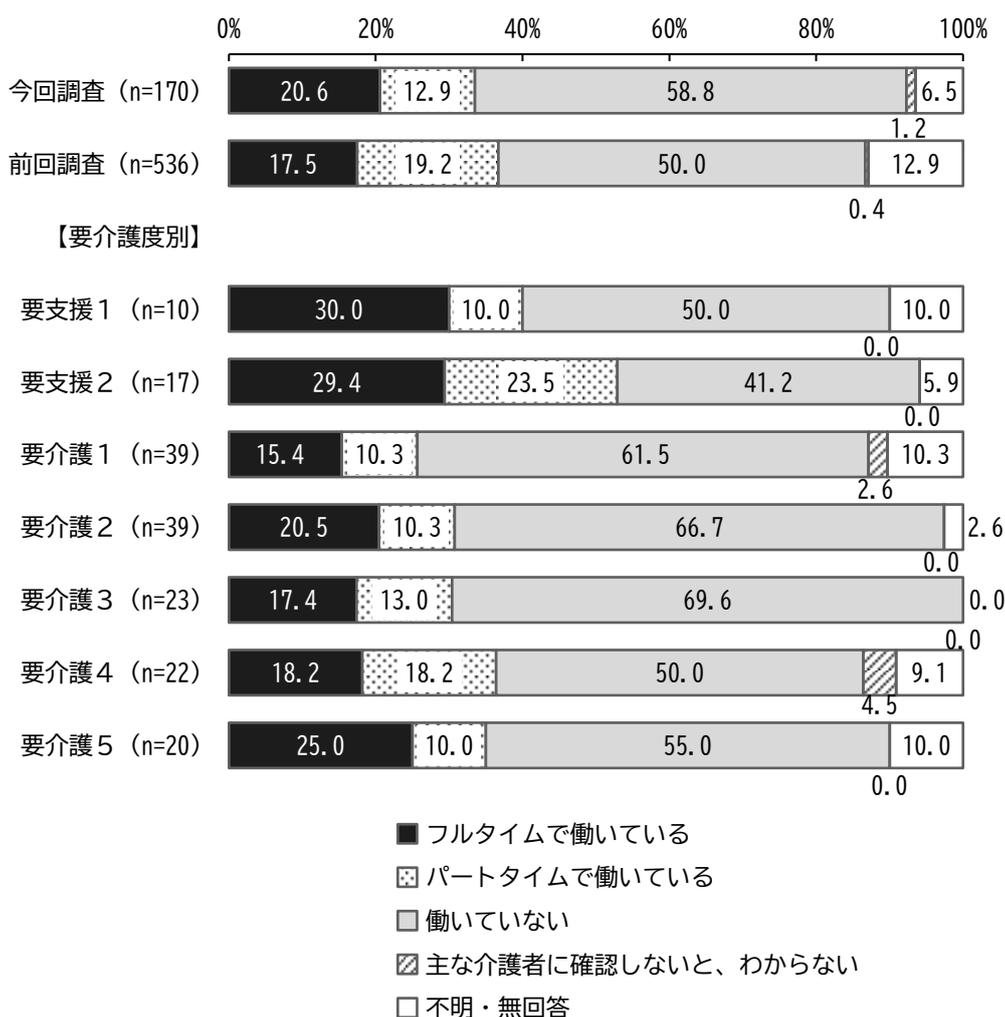
【問6】 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

主な介護者の方の現在の勤務形態は、「働いていない」が 58.8%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が20.6%となっています。なお、フルタイムやパートタイムで『働いている』方は、33.5%となっています。

前回調査と比較すると、「働いていない」が8.8ポイント高くなっている一方で、「パートタイムで働いている」が6.3ポイント低くなっています。

要介護度別では、要支援2で『働いている』が52.9%と、他の要介護度と比べて高くなっています。

(単数回答)



※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択しています。

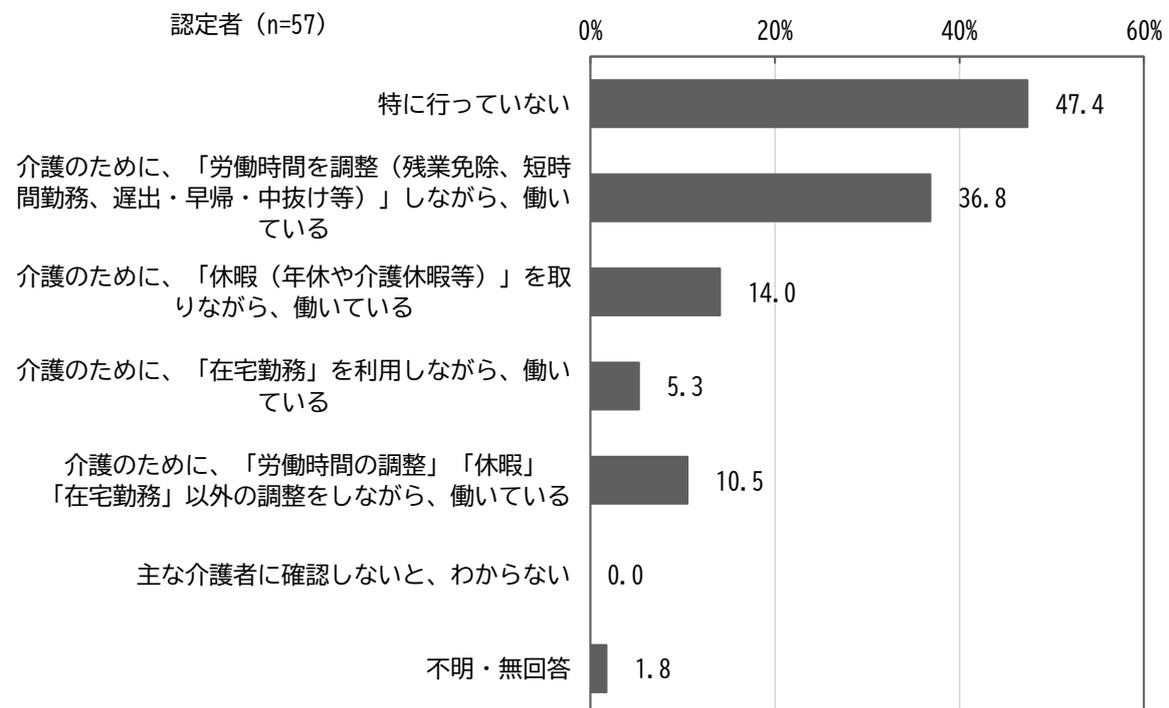
【問7】 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。

*問6で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方への質問

主な介護者が介護をするにあたって、働き方についての調整等を行っているかは、「特に行っていない」が47.4%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が36.8%となっています。

要介護度別では、要介護1で「特に行っていない」が50.0%、要介護2で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が58.3%と、それぞれ最も高くなっています。

(複数回答)



■要介護度別

(%)

	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、「労働時間の調整」「休暇」「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
要支援 1 (n=4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要支援 2 (n=9)	33.3	33.3	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0
要介護 1 (n=10)	50.0	30.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0
要介護 2 (n=12)	33.3	58.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護 3 (n=7)	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護 4 (n=8)	50.0	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0
要介護 5 (n=7)	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3

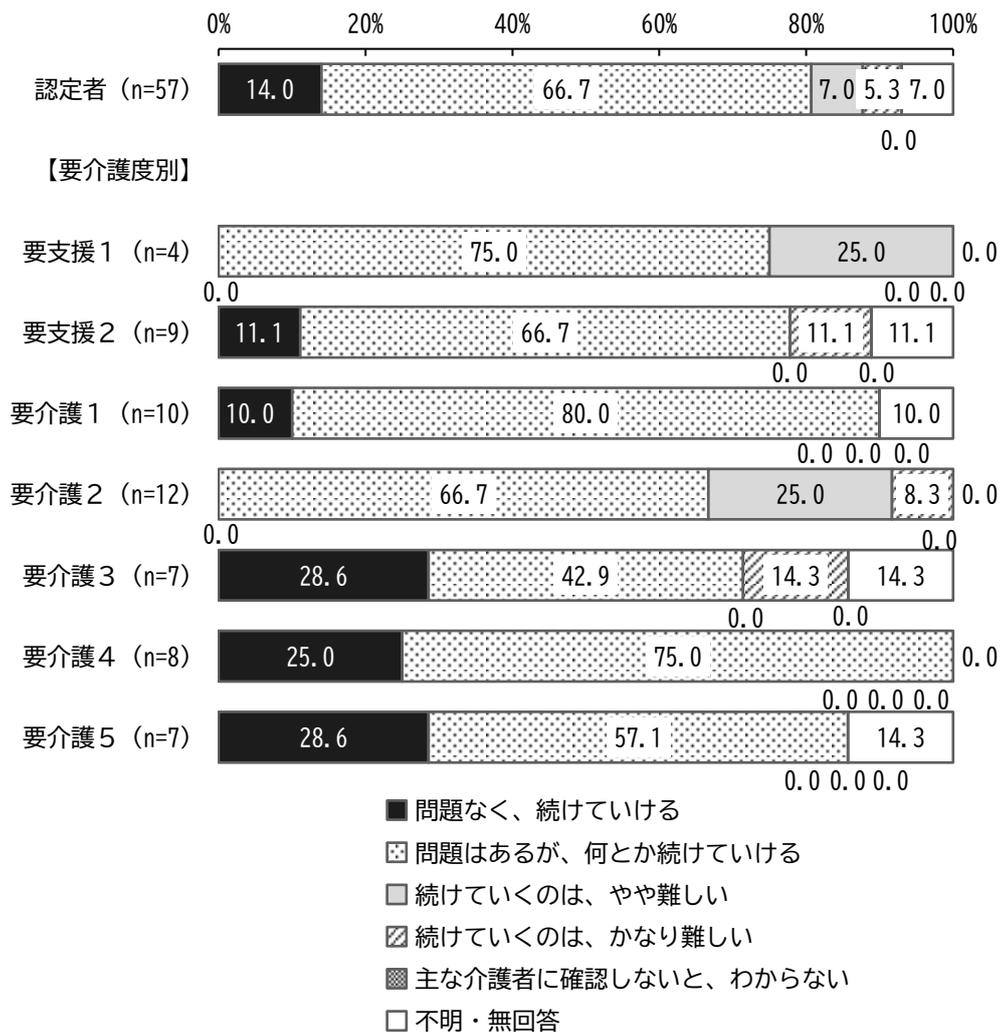
【問8】 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

*問6で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方への質問

主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけそうかは、「問題はあるが、何とか続けていける」が66.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が14.0%となっています。なお、12.3%の方は続けていくのは、『難しい』と回答しています。

世介護度別では、「問題はあるが、何とか続けていける」が要介護1で80.0%、要介護2で66.7%となっています。

(単数回答)

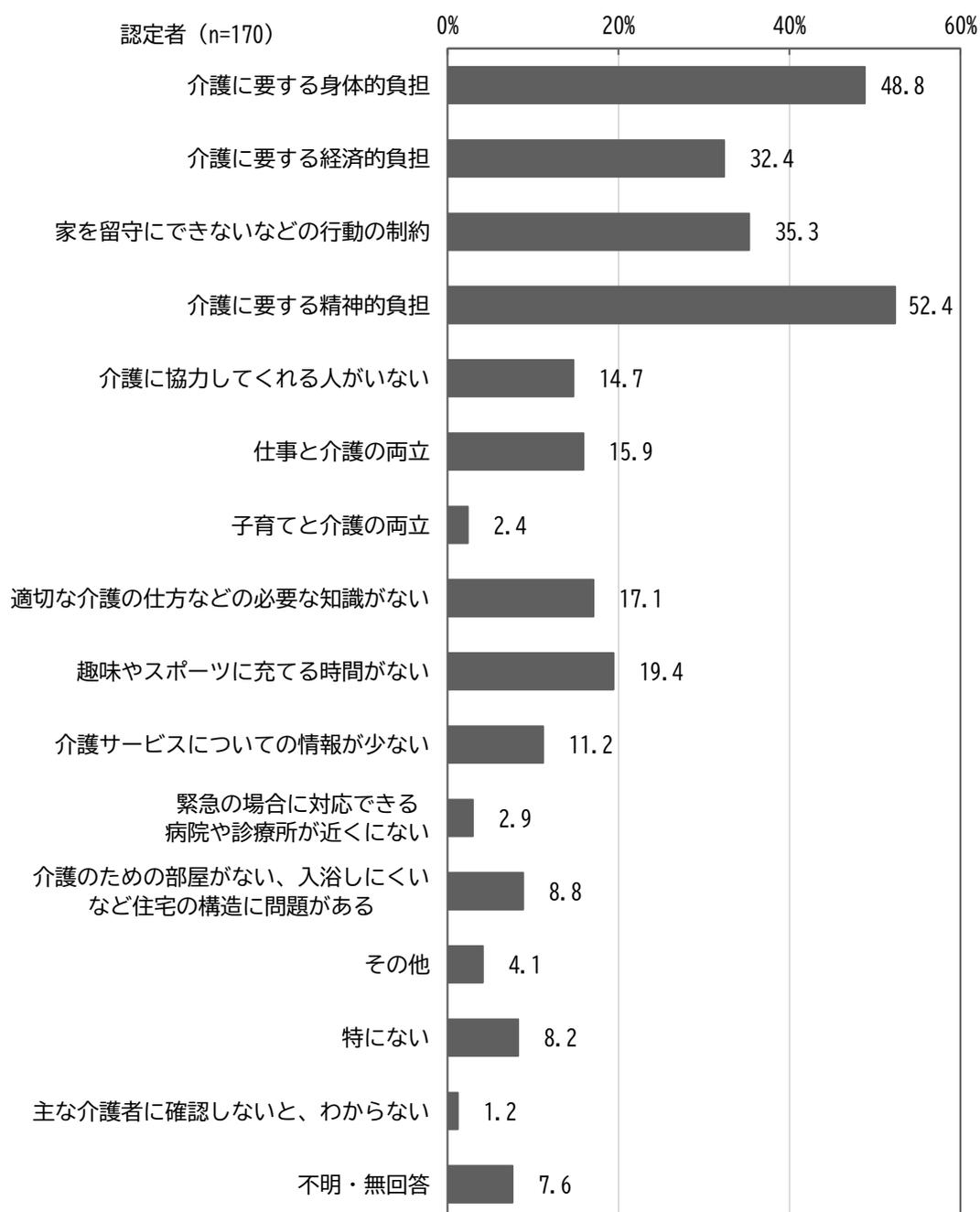


【問9】現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が困っていることについて、ご回答ください。

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が困っていることは、「介護に要する精神的負担」が52.4%と最も高く、次いで「介護に要する身体的負担」が48.8%となっています。

要介護度別では、いずれの要介護度も「介護に要する身体的負担」「介護に要する精神的負担」が上位を占めているほか、要介護3で「家を留守にできないなどの行動の制約」が、要介護5で「介護に要する経済的負担」がそれぞれ4割台となっています。

(複数回答)



■要介護度別

(%)

	介護に要する身体的負担	介護に要する経済的負担	家を留守にできないなどの行動の制約	介護に要する精神的負担	介護に協力してくれる人がいない	仕事と介護の両立	子育てと介護の両立	適切な介護の仕方などの必要な知識がない	趣味やスポーツに充てる時間がない	介護サービスについての情報が少ない	緊急の場合に対応できる病院や診療所が近くにない
要支援 1 (n=10)	60.0	10.0	40.0	60.0	10.0	10.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0
要支援 2 (n=17)	52.9	23.5	23.5	41.2	11.8	23.5	0.0	17.6	11.8	11.8	0.0
要介護 1 (n=39)	66.7	23.1	41.0	69.2	12.8	15.4	0.0	25.6	20.5	15.4	5.1
要介護 2 (n=39)	51.3	35.9	25.6	46.2	20.5	12.8	2.6	10.3	25.6	5.1	5.1
要介護 3 (n=23)	34.8	34.8	47.8	47.8	13.0	13.0	4.3	13.0	0.0	4.3	0.0
要介護 4 (n=22)	45.5	45.5	40.9	54.5	18.2	22.7	0.0	13.6	27.3	4.5	0.0
要介護 5 (n=20)	20.0	45.0	30.0	40.0	10.0	15.0	5.0	20.0	20.0	30.0	0.0

	介護のための部屋の構造がない、入浴しにくいなど住宅の問題がある	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
要支援 1 (n=10)	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0
要支援 2 (n=17)	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8
要介護 1 (n=39)	10.3	5.1	5.1	2.6	2.6
要介護 2 (n=39)	7.7	2.6	12.8	0.0	15.4
要介護 3 (n=23)	4.3	4.3	8.7	0.0	4.3
要介護 4 (n=22)	9.1	0.0	22.7	4.5	0.0
要介護 5 (n=20)	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0

自由記述まとめ

(1) 経済的負担と生活困窮

「年金だけでは施設に入れない」「在宅介護でも生活費が足りない」という、経済的な行き詰まりを訴える声があがっています。

主な意見

- ・今は自宅で介護できているが、将来施設に入れるには資金の問題があり心配。
- ・92歳、身体障がいあり。妻の施設費用で預金を使い果たし、日々の食にも困る状況。税金や保険料の減免を強く望む。
- ・施設費用が月25万円と言われた。払ったら残された家族は生活できない。
- ・妻が骨折し施設利用中だが、二重生活でお金が足りず、タイミーでバイトをして食いつなぐ日々。
- ・老々介護の限界で施設を探したが、年金生活者には高すぎて入れない。ショートステイもホテル並みの金額。
- ・もっといい施設に入りたいが年金では無理。介護者の年収制限撤廃や補助金増額を求めたい。

(2) 「老々介護」と介護者の心身疲労

高齢の配偶者や、病気を抱えた家族が介護を担う「老々介護」「認認介護」に関する悩みがあがっています。

主な意見

- ・老々介護ですべてが不安。母（認知症）がデイサービスを嫌がり、介護している父（心筋梗塞歴あり）が心配。
- ・義母の介護に加え、家事・育児・仕事があり、精神的にも休まる時がない。義母は施設を拒否しており、嫁の私がみるしかない状況。
- ・老々介護で共倒れ。「遠くの親戚より近くの他人」を実感。
- ・介護している自分も身体障害者1級で要支援1だが、親の介護をしており先が心配。
- ・1人で介護しているが、私（長女）が倒れたら…という不安が常につきまとう。
- ・ケアマネジャー以外に、介護者の精神的ケアをしてくれる相談相手がほしい。

(3) 移動手段の欠如と通院困難

通院や買い物のための移動手段がないことへの不安の声があがっています。

主な意見

- ・とにかく足がなく病院に行けない。タクシーは台数が少なく、市バスも不便。
- ・雨の日など、家族が送迎できない時の通院に困る。近距離でもタクシーを頼むのは気が引けるし、助けてくれる人がほしい。
- ・ニュータウンは陸の孤島。免許返納一辺倒ではなく、高齢者が安全に運転できる支援（講習や改造費補助）や、乗り合いタクシーの充実を求めたい。
- ・車はあるが運転できず、自費でタクシー移動。介護者である自分の受診は後回しになりしんどい。

(4) 単身・身寄りがないことへの不安

家族がいない、または頼れない場合の緊急対応や死後への不安の声があがっています。

主な意見

- ・夫婦とも 80 代で親戚がおらず、保証人がいないためケアハウスに入れない。
- ・転倒して動けない時、病院への付き添いを頼める人がいなかった。緊急時の付き添いシステムがほしい。
- ・単身で身寄りのない高齢者が、死後まで不安なく生活できる行政の仕組み（公的な身元保証等）を充実させてほしい。

(5) 医療・施設・サービスとのミスマッチ

「入りたい時に入れない」「必要なサービスがない」という需給のミスマッチの声があがっています。

主な意見

- ・春日井市には医療を前提とした老健（介護老人保健施設）が少ない。
- ・発熱時（コロナ等）にショートステイ等が利用できず、入院も断られ自宅介護で疲弊した。緊急時に預かれる施設がほしい。
- ・医療機関と連携した施設がもっと増えてほしい。
- ・リハビリを受けて自宅に戻りたいが、常備薬の取り扱いがないため特養などを選ぶしかなく、選択肢がない。

IV 障がいのある人への調査

※障がい者手帳を所持している方等にお答えいただいています。

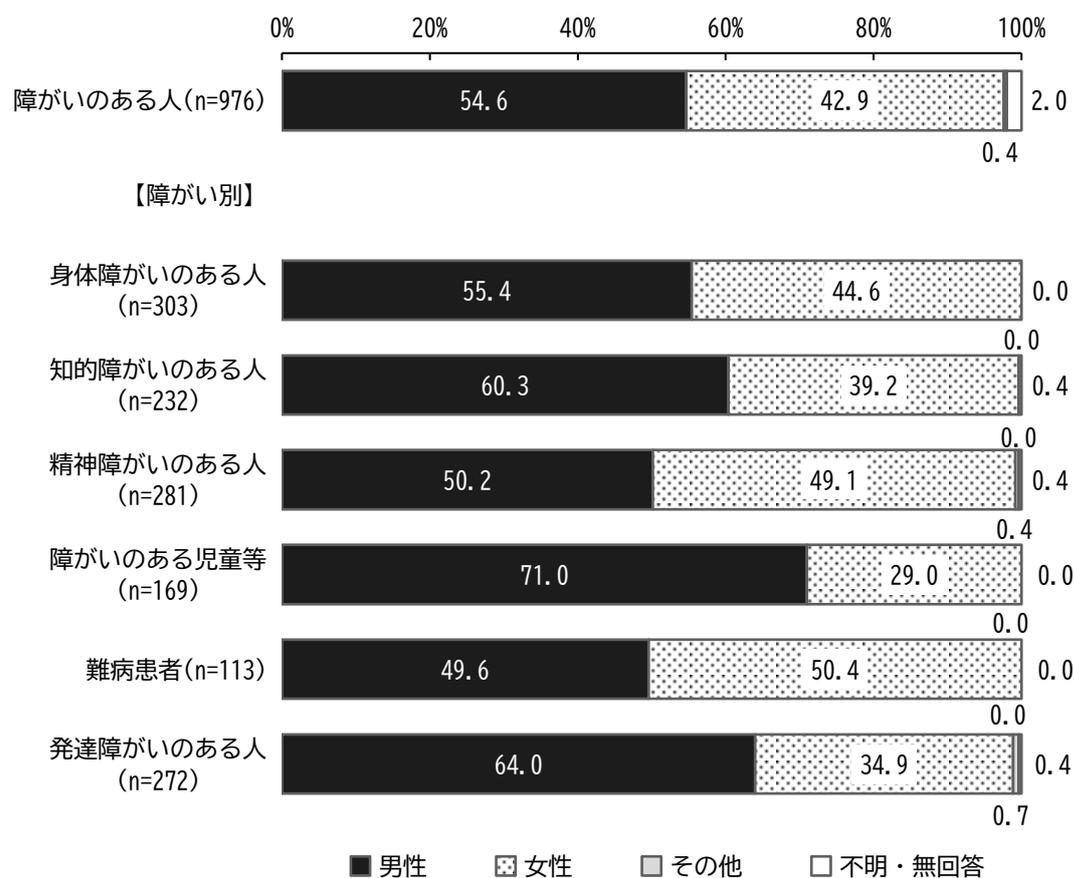
(1) 障がいのあるご本人について

【問1】性別について、あてはまるものに○をつけてください。

性別は、「男性」が54.6%、「女性」が42.9%、「その他」が0.4%となっています。

障がい別の結果は次のとおりです。

(単数回答)

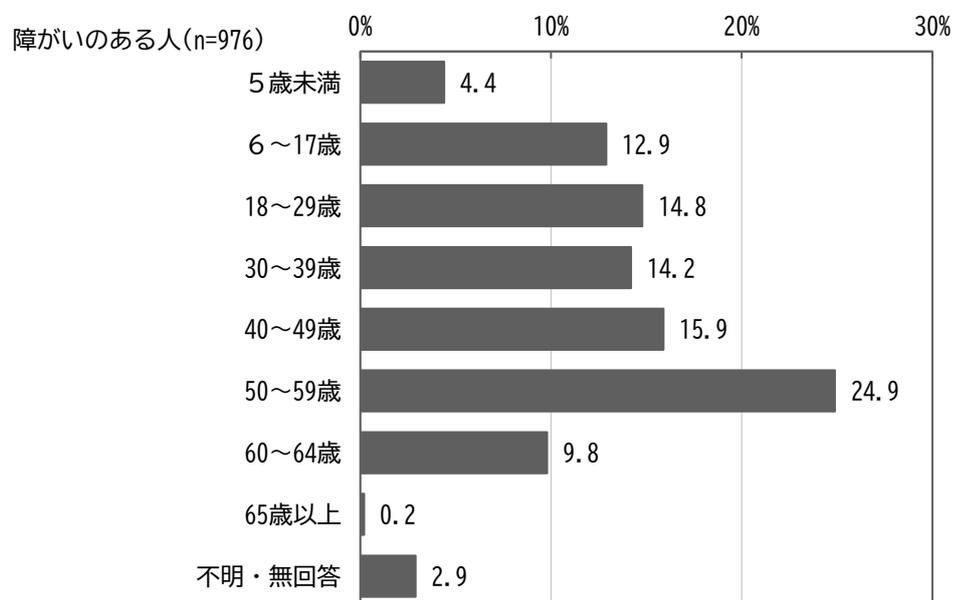


【問2】年齢を数字で記入してください。 ※令和7年12月1日現在

年齢は、「50～59歳」が24.9%と最も高く、次いで「40～49歳」が15.9%となっています。

障がい別では、「50～59歳」が身体障がいのある人で36.6%、精神障がいのある人で28.5%、「6～17歳」が知的障がいのある人で30.2%と、それぞれ最も高くなっています。

(数量回答)



■障がい別

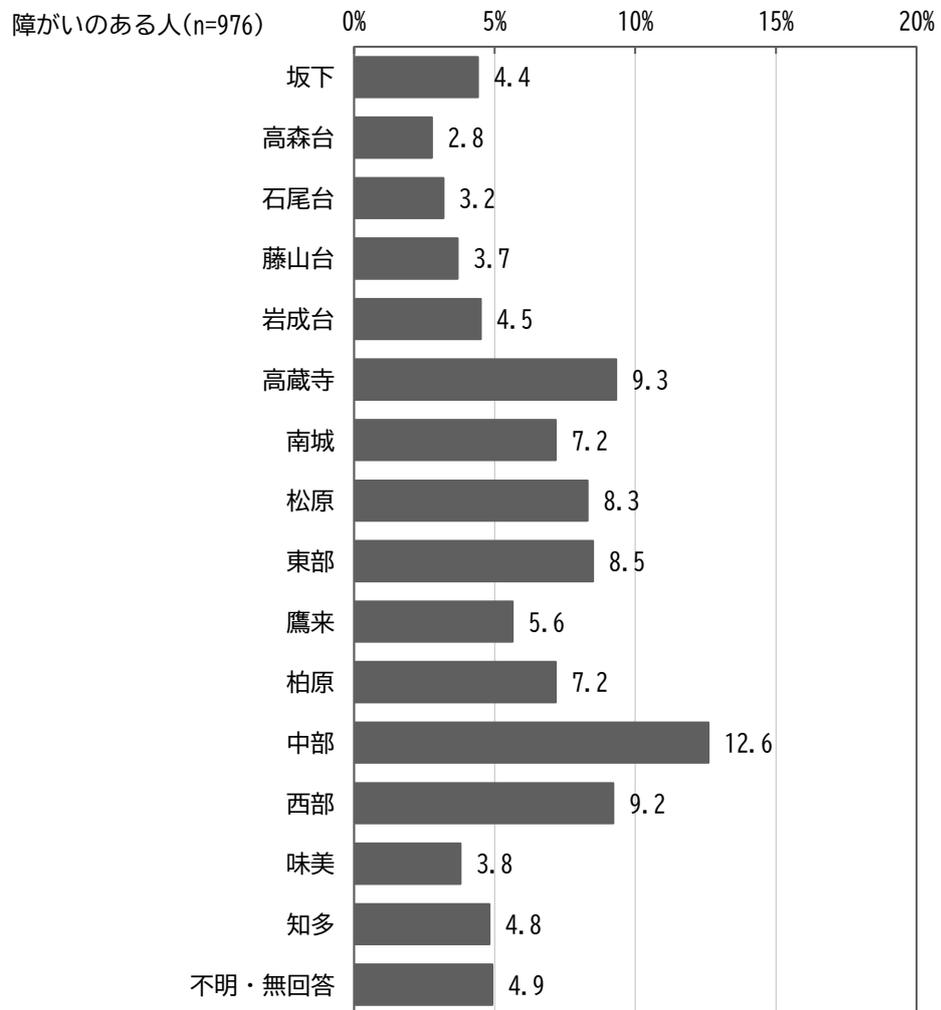
(%)

	5歳未満	6～17歳	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	不明・無回答
身体障がいのある人(n=303)	2.6	5.9	6.3	10.6	17.2	36.6	18.8	0.7	1.3
知的障がいのある人(n=232)	4.7	30.2	28.0	15.1	12.5	7.3	0.9	0.0	1.3
精神障がいのある人(n=281)	0.4	6.8	18.5	21.0	14.9	28.5	8.9	0.0	1.1
難病患者(n=113)	0.0	1.8	5.3	10.6	21.2	45.1	15.0	0.0	0.9
発達障がいのある人(n=272)	5.1	27.6	27.6	18.8	8.5	9.2	2.2	0.0	1.1

【問3】 お住いの中学校区について、あてはまるものに○をつけてください。

居住している中学校区は、「中部」が12.6%と最も高く、次いで「高蔵寺」が9.3%となっています。

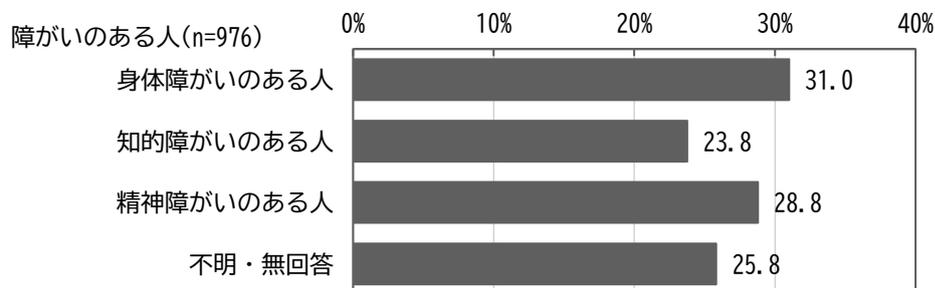
(単数回答)



※問4-1～問4-3により各障がいのある人を確定した。

所持している手帳は、「身体障がいのある人」が31.0%、「知的障がいのある人」が23.8%、「精神障がいのある人」が28.8%となっています。

(複数回答)



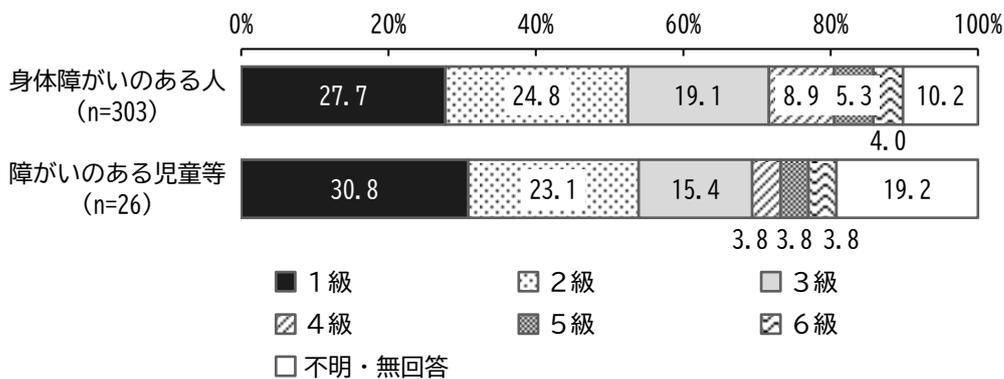
- ※「身体障がいのある人」と「知的障がいのある人」の重複所持者数は31件
- 「身体障がいのある人」と「精神障がいのある人」の重複所持者数は42件
- 「知的障がいのある人」と「精神障がいのある人」の重複所持者数は15件
- 「身体障がいのある人」と「知的障がいのある人」と「精神障がいのある人」の重複所持者数は2件

【問4-1】身体障がい者手帳をお持ちの方は、あてはまるものに○をつけてください。

(1) 等級

所持している身体障がい者手帳の等級は、「1級」が27.7%と最も高く、次いで「2級」が24.8%となっています。

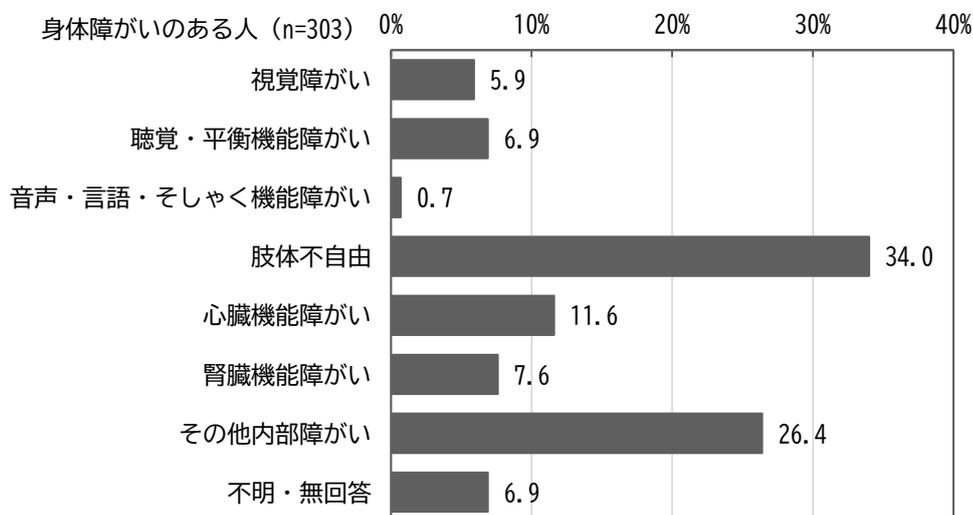
(単数回答)



(2) 障がいの種類

所持している身体障がい者手帳の等級は、「肢体不自由」が34.0%と最も高く、次いで「その他内部障がい」が26.4%となっています。

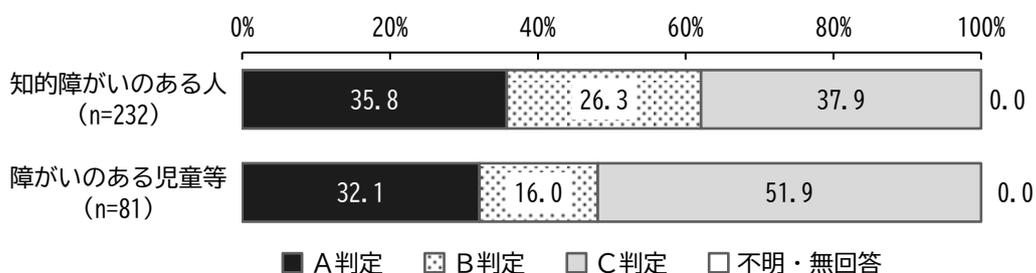
(単数回答)



【問4-2】療育手帳をお持ちの方は、あてはまるものに○をつけてください。

所持している療育手帳の等級は、「A判定」が35.8%、「B判定」が26.3%、「C判定」が37.9%となっています。

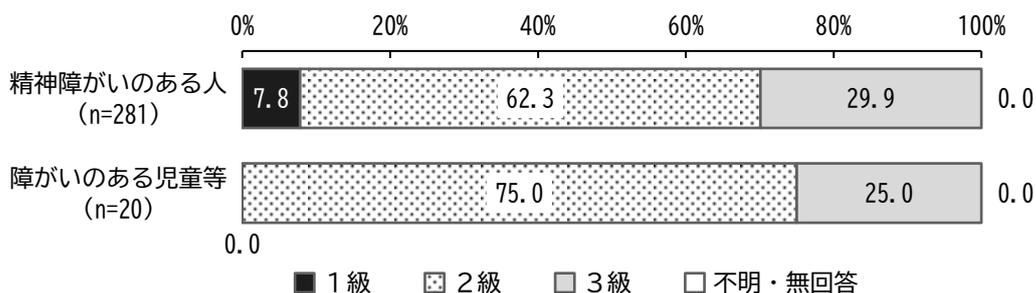
(単数回答)



【問4-3】精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は、あてはまるものに○をつけてください。

所持している精神障がい者保健福祉手帳の等級は、「1級」が7.8%、「2級」が62.3%、「3級」が29.9%となっています。

(単数回答)



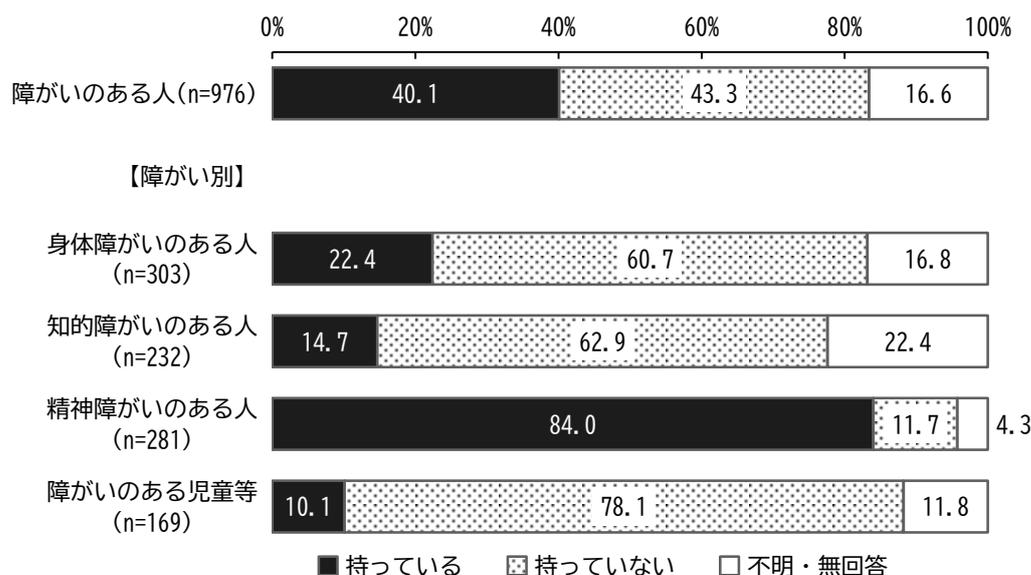
【問5】 次の受給者証を持っていたり、診断を受ける等していますか。あてはまるものに○をつけてください。

(1) 自立支援医療（精神通院）受給者証を持っている

自立支援医療（精神通院）受給者証を持っているかは、「持っている」が40.1%、「持っていない」が43.3%となっています。

障がい別では、「持っている」が身体障がいのある人で22.4%、知的障がいのある人で14.7%、精神障がいのある人で84.0%となっています。

(単数回答)

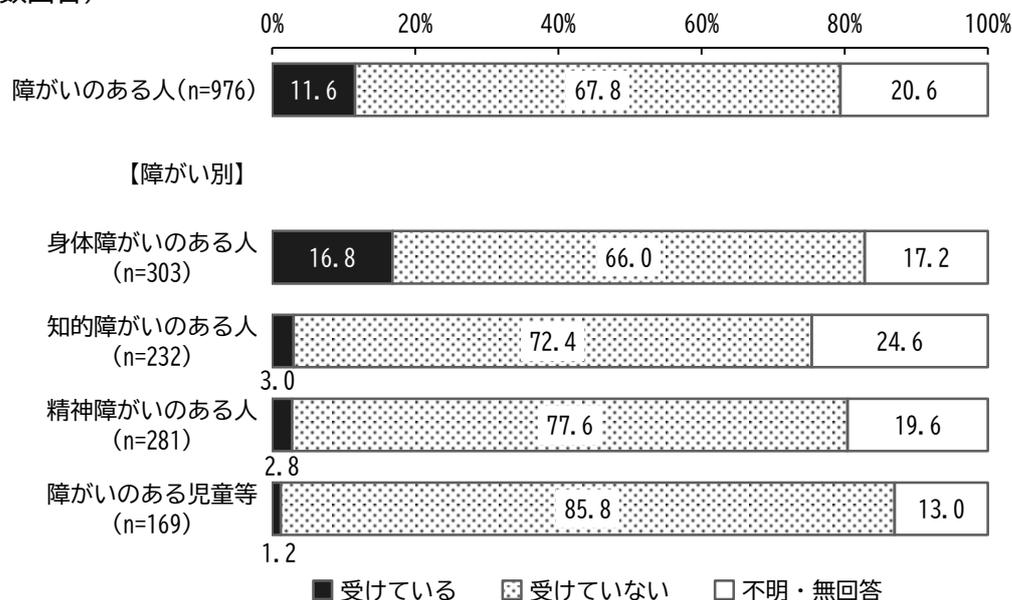


(2) 難病の診断を受けている

難病の診断を受けているかは、「受けている」が11.6%、「受けていない」が67.8%となっています。

障がい別では、「受けている」が身体障がいのある人で16.8%、知的障がいのある人で3.0%、精神障がいのある人で2.8%となっています。

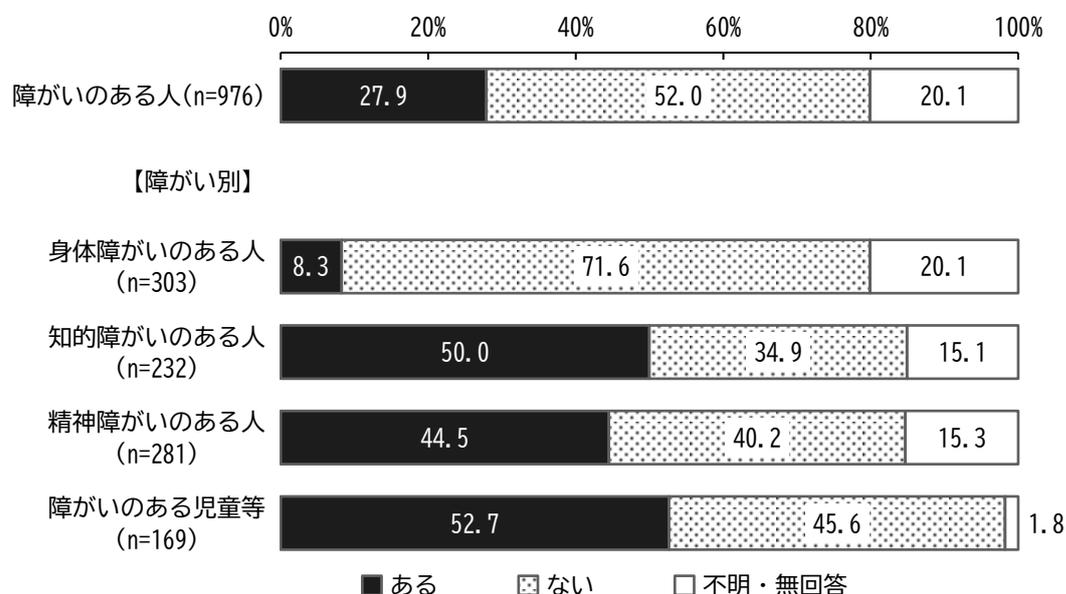
(単数回答)



(3) 発達障がいと診断されたことがある

発達障がいと診断されたことがあるかは、「ある」が27.9%、「ない」が52.0%となっています。
障がい別では、「ある」が身体障がいのある人で8.3%、知的障がいのある人で50.0%、精神障がいのある人で44.5%となっています。

(単数回答)

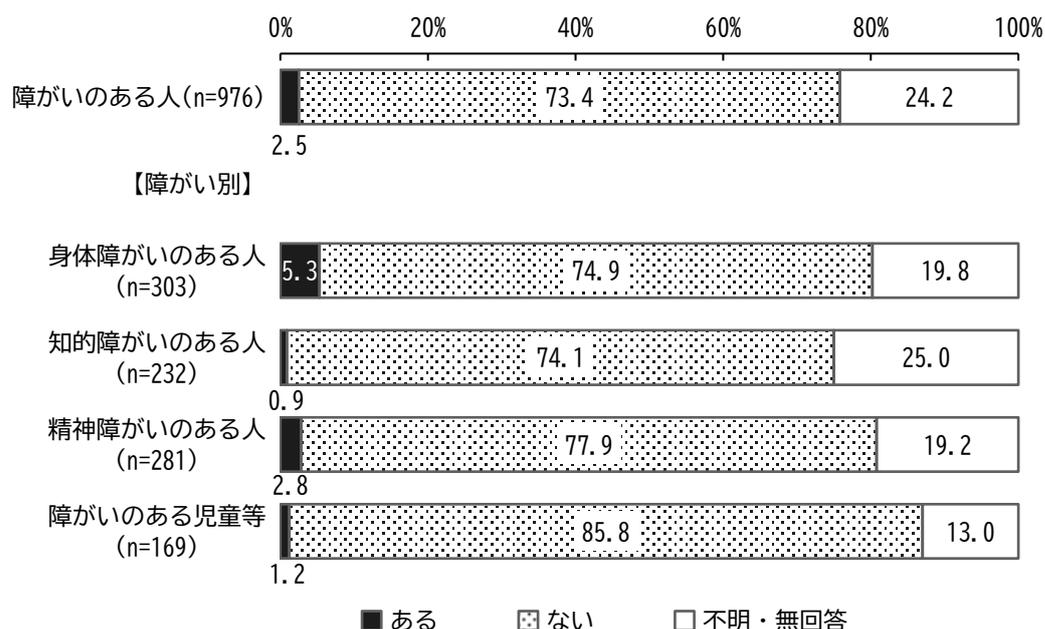


(4) 高次脳機能障がいと診断されたことがある

高次脳機能障がいと診断されたことがあるかは、「ある」が2.5%、「ない」が73.4%となっています。

障がい別では、「ある」が身体障がいのある人で5.3%、知的障がいのある人で0.9%、精神障がいのある人で2.8%となっています。

(単数回答)

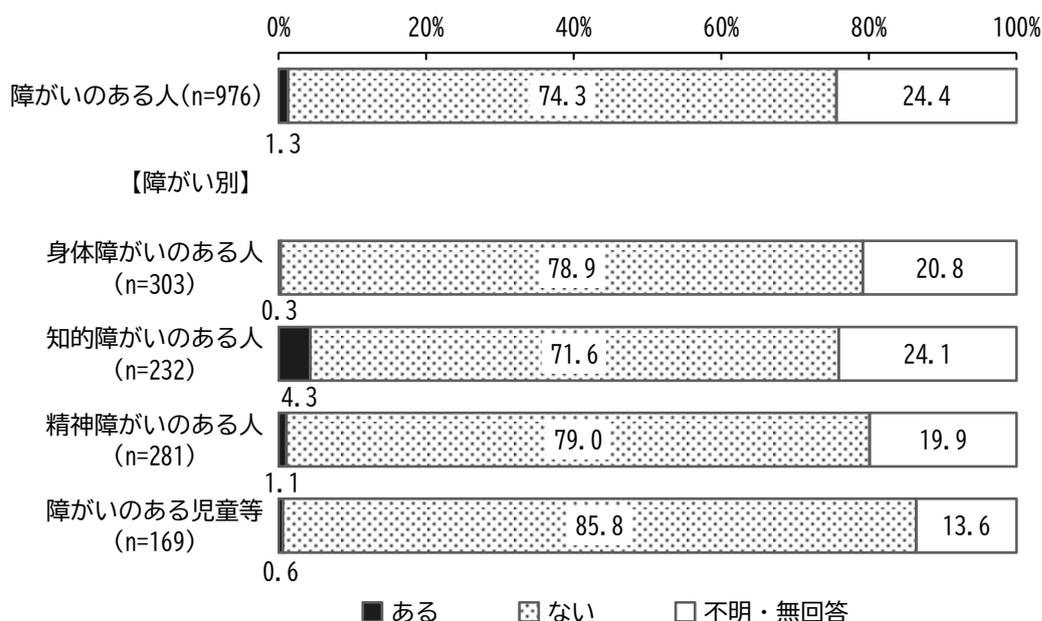


(5) 強度行動障がいがある

強度行動障がいがあるかは、「ある」が1.3%、「ない」が74.3%となっています。

障がい別では、「ある」が身体障がいのある人で0.3%、知的障がいのある人で4.3%、精神障がいのある人で1.1%となっています。

(単数回答)

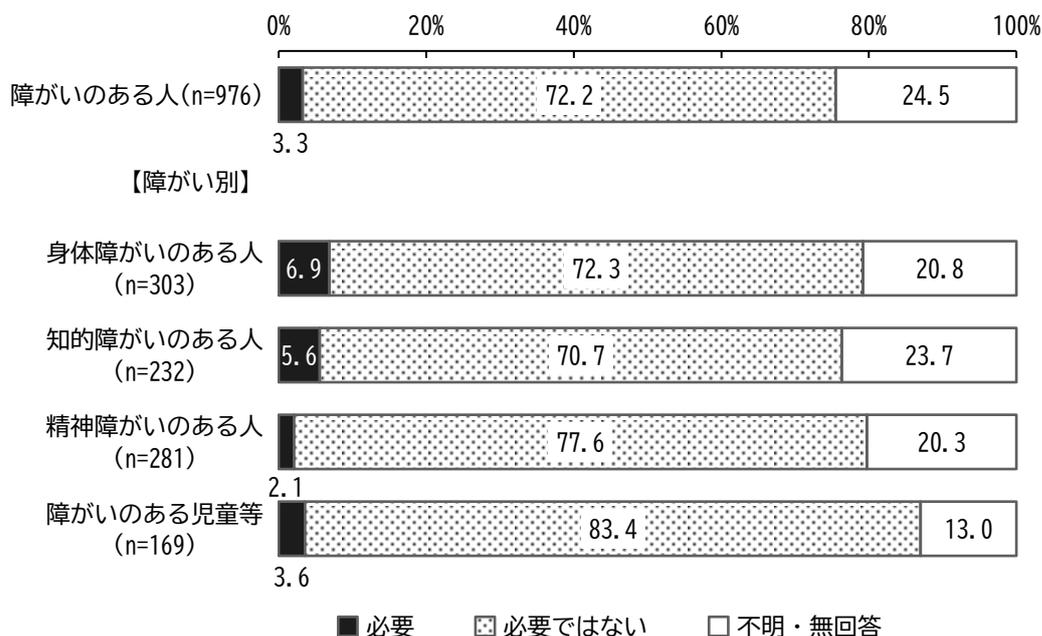


(6) 医療的ケアを必要としている

医療的ケアを必要としているかは、「必要」が3.3%、「必要ではない」が72.2%となっています。

障がい別では、「必要」が身体障がいのある人で6.9%、知的障がいのある人で5.6%、精神障がいのある人で2.1%となっています。

(単数回答)

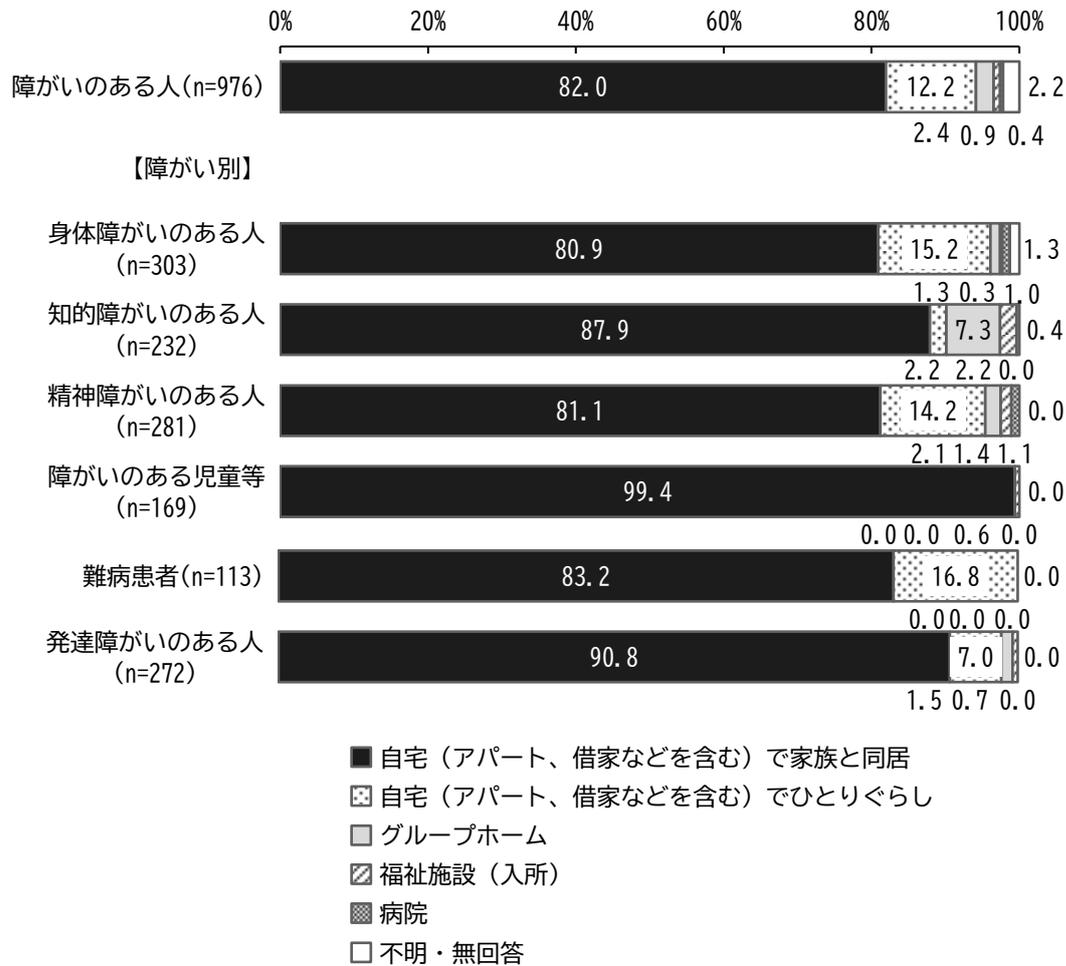


【問6①】今、どこでくらしていますか。

今、どこでくらしているかは、「自宅（アパート、借家などを含む）で家族と同居」が82.0%と最も高く、次いで「自宅（アパート、借家などを含む）でひとりぐらし」が12.2%となっています。

障がい別では、いずれの障がいのある人も「自宅（アパート、借家などを含む）で家族と同居」がそれぞれ8割台となっています。

(単数回答)

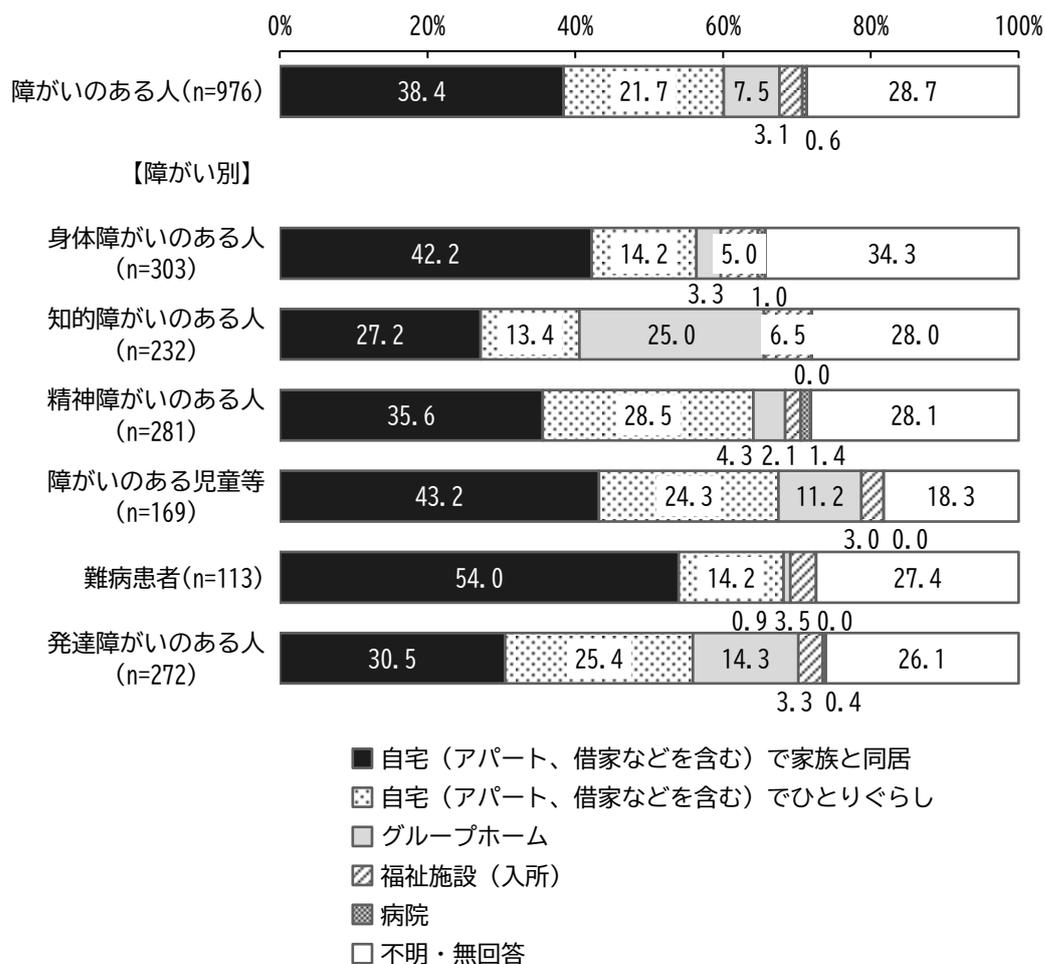


【問6②】 将来どこでくらしたいですか。

将来どこでくらしたいかは、「自宅（アパート、借家などを含む）で家族と同居」が38.4%と最も高く、次いで「自宅（アパート、借家などを含む）でひとりぐらし」が21.7%となっています。

障がい別では、いずれの障がいのある人も「自宅（アパート、借家などを含む）で家族と同居」が最も高くなっています。なお、知的障がいのある人で「グループホーム」が25.0%、精神障がいのある人で「自宅（アパート、借家などを含む）でひとりぐらし」が28.5%と、現状（問6①）と比べて高くなっています。

(単数回答)

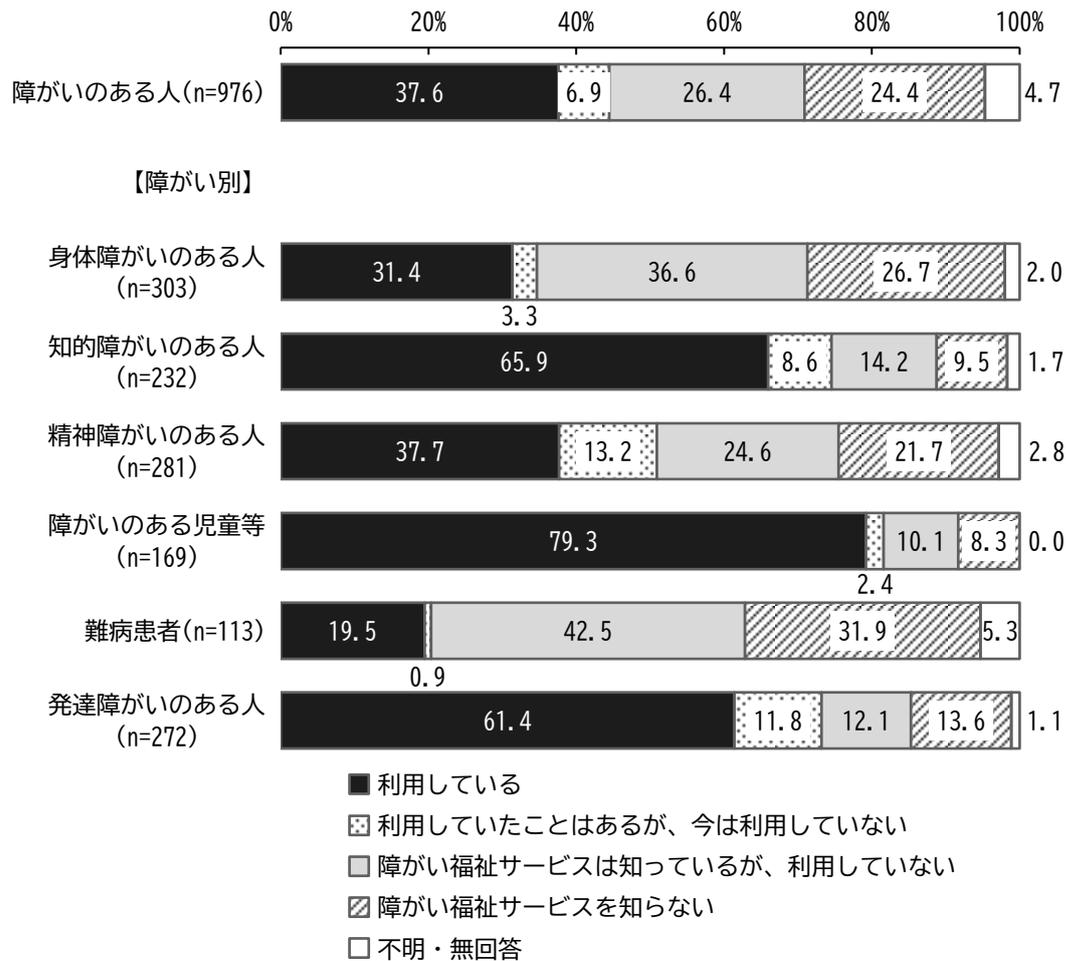


【問7】 障がい福祉サービスを利用していますか。

障がい福祉サービスを利用しているかは、「利用している」が 37.6%と最も高く、次いで「障がい福祉サービスは知っているが、利用していない」が26.4%となっています。

障がい別では、「障がい福祉サービスは知っているが、利用していない」が身体障がいのある人で36.6%、「利用している」が知的障がいのある人で65.9%、精神障がいのある人で37.7%と、それぞれ最も高くなっています。

(単数回答)



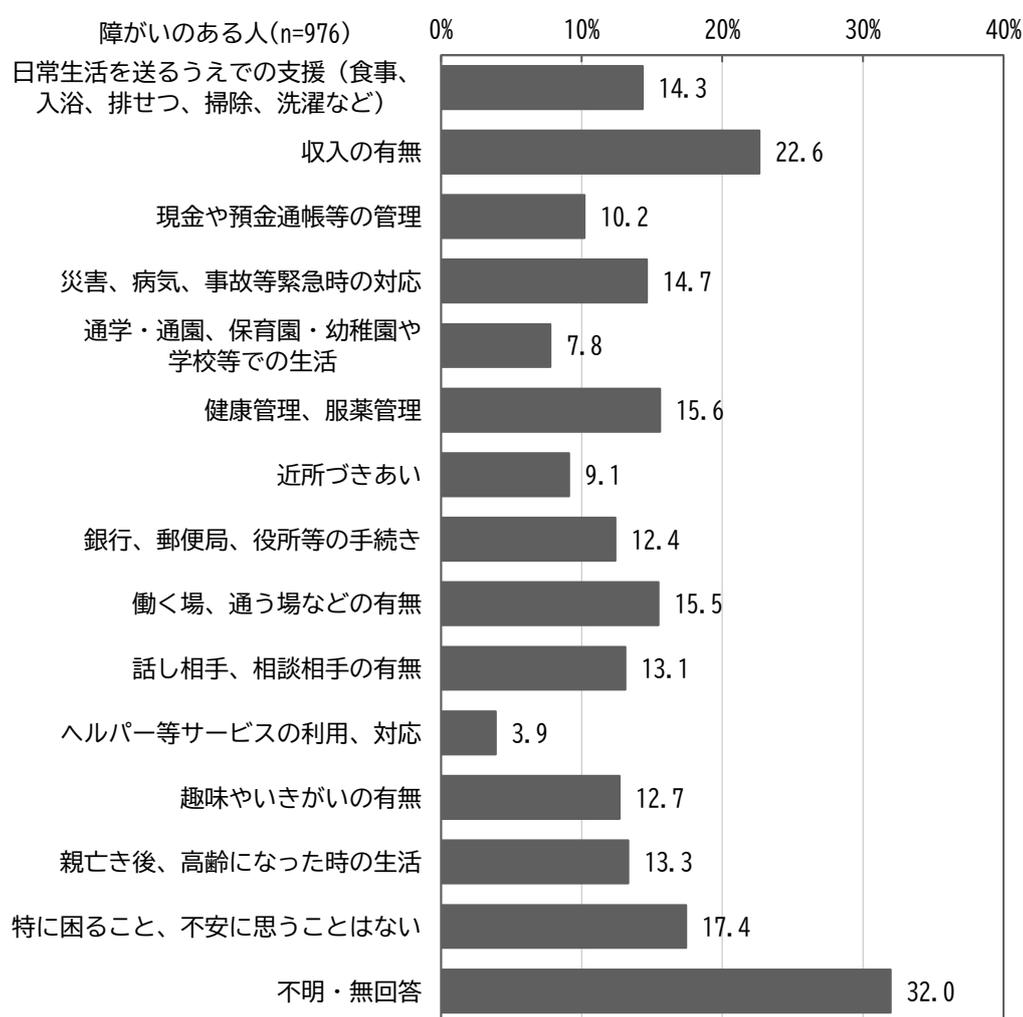
(2) 日常生活について

【問8①】現在、生活をしていく上で困っていることについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

現在、生活をしていく上で困っていることは、「収入の有無」が22.6%と最も高く、次いで「特に困ること、不安に思うことはない」が17.4%となっています。

障がい別では、精神障がいのある人で「収入の有無」が37.0%と、他の障がいのある人と比べて高くなっています。

(複数回答)



■障がい別

(%)

	日常生活を送るうえで の支援(食事、入浴、排せつ、掃除、洗濯など)	収入の有無	現金や預金通帳等の管理	災害、病気、事故等緊急時の対応	通学・通園、保育園・幼稚園や学校等での生活	健康管理、服薬管理	近所つきあい	銀行、郵便局、役所等の手続き	働く場、通う場などの有無	話し相手、相談相手の有無
身体障がいのある人 (n=303)	12.9	19.5	7.3	13.2	3.3	12.5	8.9	11.2	13.2	9.6
知的障がいのある人 (n=232)	22.8	12.1	13.8	21.6	13.4	16.4	10.8	15.9	6.5	9.5
精神障がいのある人 (n=281)	16.4	37.0	15.7	17.4	5.7	19.6	13.9	18.5	28.5	23.1
障がいのある児童等 (n=169)	27.2	7.7	5.9	16.0	34.3	11.2	5.9	5.9	7.1	8.9
難病患者(n=113)	10.6	19.5	4.4	11.5	4.4	15.9	2.7	8.8	12.4	5.3
発達障がいのある人 (n=272)	22.8	24.6	17.6	23.5	14.7	20.2	14.7	17.6	19.5	19.1

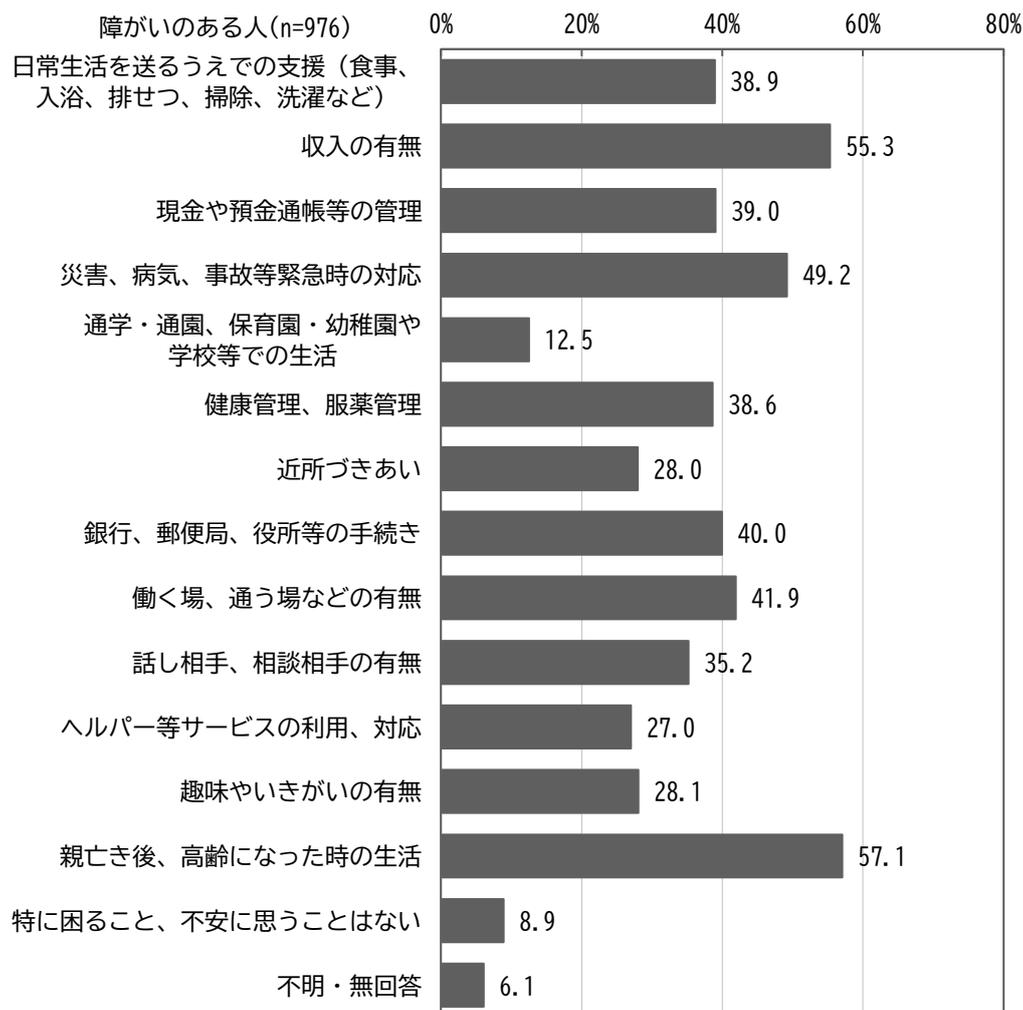
	ヘルパー等サービスの利用、対応	趣味やいきがいの有無	親亡き後、高齢になった時の生活	特に困ること、不安に思うこととはない	不明・無回答
身体障がいのある人 (n=303)	4.0	8.3	10.9	20.1	37.6
知的障がいのある人 (n=232)	5.6	8.6	16.4	11.2	34.9
精神障がいのある人 (n=281)	6.8	23.5	19.6	7.1	27.0
障がいのある児童等 (n=169)	3.6	5.3	11.2	20.7	26.0
難病患者(n=113)	3.5	8.8	9.7	27.4	32.7
発達障がいのある人 (n=272)	6.3	16.2	19.9	8.1	27.2

【問8②】将来の不安や心配事について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

将来の不安や心配事は、「親亡き後、高齢になった時の生活」が57.1%と最も高く、次いで「収入の有無」が55.3%となっています。

障がい別では、知的障がいのある人で「親亡き後、高齢になった時の生活」が85.8%と、他の障がいのある人と比べて高くなっています。

(複数回答)



■障がい別

(%)

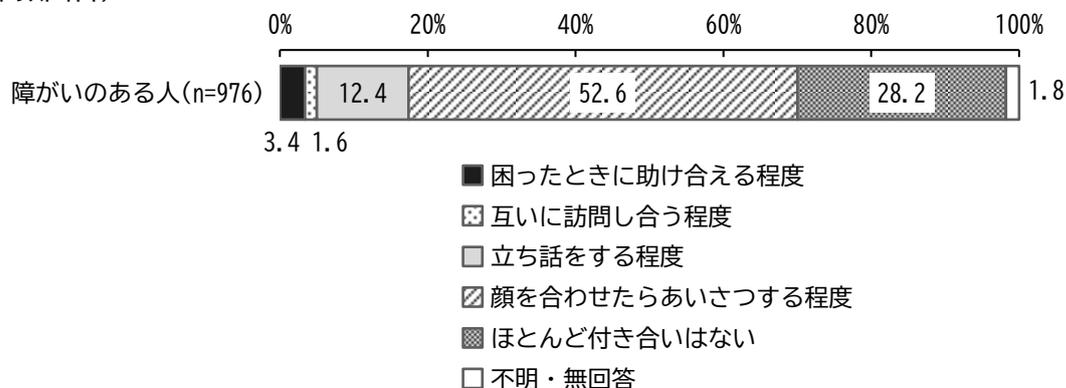
	日常生活を送るうえで の支援(食事、入浴、排せつ、掃除、洗濯など)	収入の有無	現金や預金通帳等の管理	災害、病気、事故等緊急時の対応	通学・通園、保育園・幼稚園や学校等での生活	健康管理、服薬管理	近所つきあい	銀行、郵便局、役所等の手続き	働く場、通う場などの有無	話し相手、相談相手の有無
身体障がいのある人 (n=303)	42.9	51.2	34.3	46.2	6.9	34.3	24.4	36.0	35.6	29.7
知的障がいのある人 (n=232)	52.2	57.3	64.7	65.5	17.2	49.1	34.9	63.4	52.2	47.0
精神障がいのある人 (n=281)	38.1	66.5	39.9	55.5	8.5	42.7	34.5	44.5	47.3	42.0
障がいのある児童等 (n=169)	41.4	58.6	52.1	48.5	48.5	39.6	30.8	49.7	60.4	42.6
難病患者(n=113)	40.7	54.0	28.3	46.0	5.3	38.9	18.6	30.1	32.7	24.8
発達障がいのある人 (n=272)	45.2	67.6	58.5	62.5	20.2	49.6	41.2	61.8	58.1	49.6

	ヘルパー等サービスの利用、対応	趣味やいきがいの有無	親亡き後、高齢になった時の生活	特に困ること、不安に思うこととはない	不明・無回答
身体障がいのある人 (n=303)	26.4	26.4	46.5	10.2	6.6
知的障がいのある人 (n=232)	42.7	33.2	85.8	3.0	3.4
精神障がいのある人 (n=281)	28.5	32.4	66.5	3.6	6.8
障がいのある児童等 (n=169)	28.4	26.6	67.5	8.9	1.2
難病患者(n=113)	24.8	23.9	38.9	14.2	6.2
発達障がいのある人 (n=272)	38.2	36.0	80.1	3.3	2.2

【問9】 ご近所の方とはどのようなお付き合いをされていますか。

近所の方との付き合いの程度は、「顔を合わせたらあいさつする程度」が52.6%と最も高く、次いで「ほとんど付き合いはない」が28.2%となっています。

(単数回答)



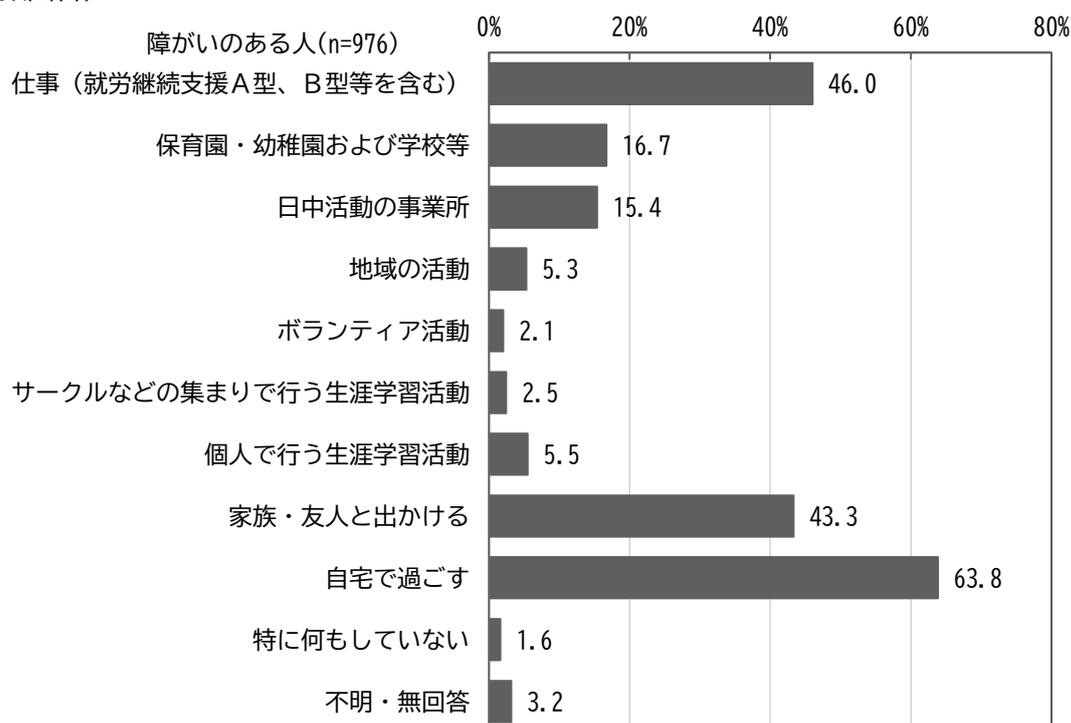
【問10①】 日中、どのように過ごしていますか。

日中の過ごし方は、「自宅で過ごす」が63.8%と最も高く、次いで「仕事（就労継続支援A型、B型等を含む）」が46.0%となっています。

障がい別では、いずれの障がいのある人も「自宅で過ごす」が6～7割台と、それぞれ最も高くなっています。なお、知的障がいのある人で「保育園・幼稚園および学校等」「日中活動の事業所」がそれぞれ3割台と、他の障がいのある人と比べて高くなっています。

年齢別では、18歳未満で「保育園・幼稚園および学校等」が88.8%、18歳以上で「自宅で過ごす」が64.4%と、それぞれ最も高くなっています。

(複数回答)



■障がい別

(%)

	仕事（就労継続支援A型、B型等を含む）	保育園・幼稚園および学校等	日中活動の事業所	地域の活動	ボランティア活動	サークルなどの集まりで行う生涯学習活動	個人で行う生涯学習活動	家族・友人と出かける	自宅で過ごす	特に何もしていない	不明・無回答
身体障がいのある人 (n=303)	47.5	7.3	9.9	5.3	1.7	1.7	4.6	35.0	60.4	3.0	5.0
知的障がいのある人 (n=232)	40.5	34.1	36.2	6.9	2.6	5.6	5.2	51.3	62.1	1.3	3.4
精神障がいのある人 (n=281)	45.2	6.0	11.4	2.5	2.5	1.8	5.7	45.2	72.2	1.4	3.6
障がいのある児童等 (n=169)	1.2	88.8	47.3	12.4	2.4	3.0	6.5	50.9	60.9	0.0	0.0
難病患者(n=113)	53.1	2.7	2.7	6.2	1.8	1.8	8.8	43.4	68.1	0.9	2.7
発達障がいのある人 (n=272)	39.3	32.7	32.4	7.0	3.3	3.7	7.4	57.4	75.4	0.7	1.1

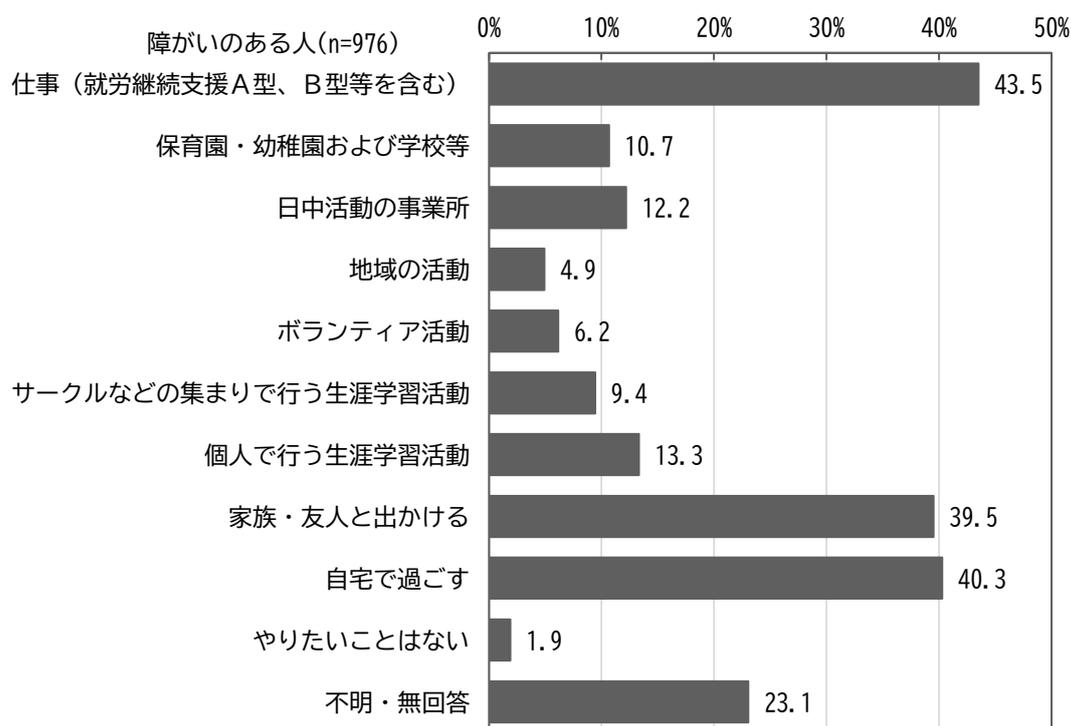
【問10②】 今後どのように過ごしたいですか。

今後の過ごし方は、「仕事（就労継続支援A型、B型等を含む）」が43.5%と最も高く、次いで「自宅で過ごす」が40.3%となっています。

障がい別では、いずれの障がいのある人も「仕事（就労継続支援A型、B型等を含む）」が3～4割台と、それぞれ最も高くなっています。なお、知的障がいのある人で「日中活動の事業所」が27.6%と、他の障がいのある人と比べて高くなっています。

年齢別では、18歳未満で「保育園・幼稚園および学校等」が52.7%、18歳以上で「仕事（就労継続支援A型、B型等を含む）」が46.1%と、それぞれ最も高くなっています。

（複数回答）



■障がい別

(%)

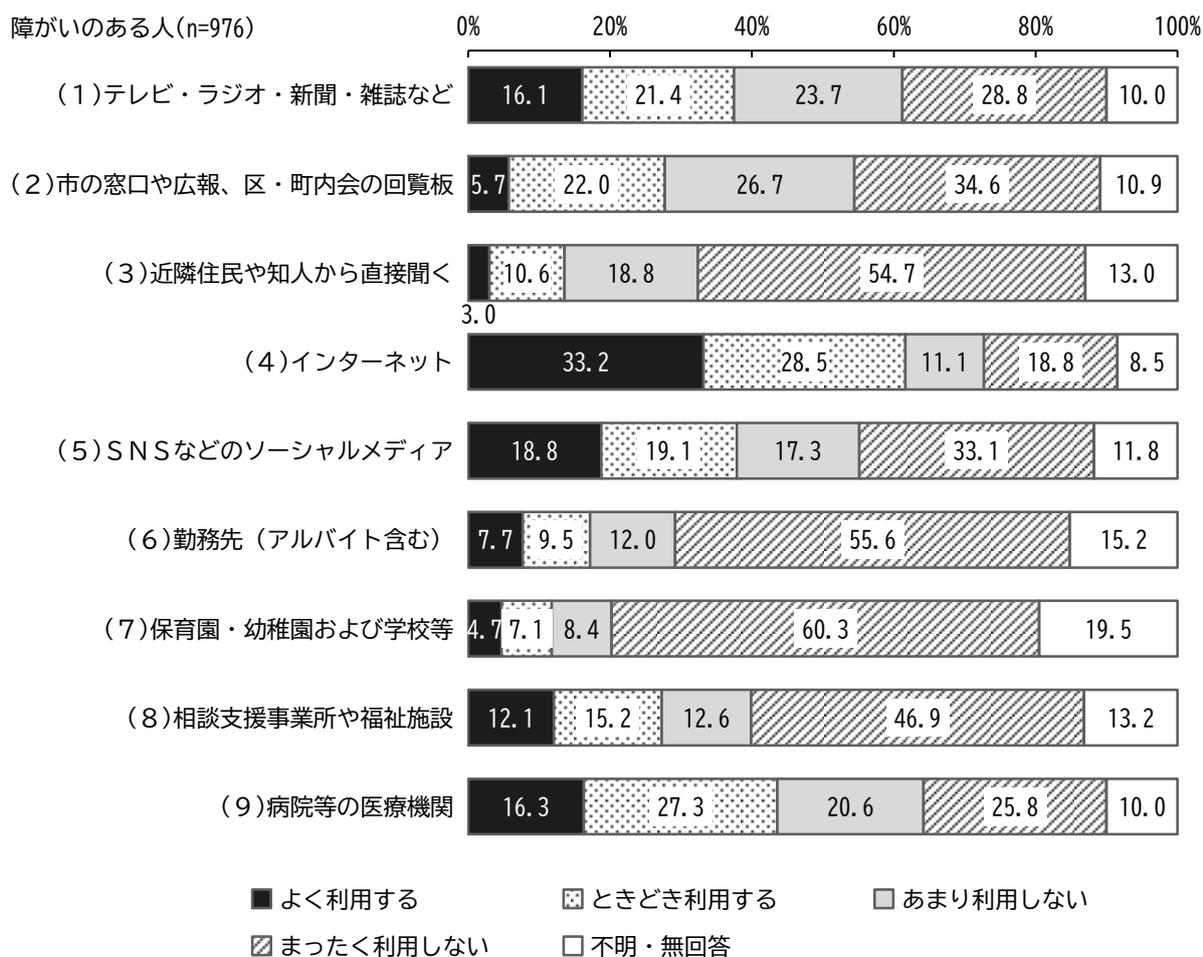
	仕事（就労継続支援A型、 B型等を含む）	保育園・幼稚園および学校等	日中活動の事業所	地域の活動	ボランティア活動	サークルなどの集まりで行う 生涯学習活動	個人で行う生涯学習活動	家族・友人と出かける	自宅で過ごす	やりたいことはない	不明・無回答
身体障がいのある人 (n=303)	39.9	5.3	8.6	4.6	6.6	7.9	9.9	32.3	37.6	2.3	28.7
知的障がいのある人 (n=232)	44.0	16.4	27.6	5.2	5.2	12.1	12.1	44.0	36.2	0.9	22.8
精神障がいのある人 (n=281)	47.3	3.9	8.2	2.8	6.4	8.5	16.7	39.1	39.1	2.5	24.6
障がいのある児童等 (n=169)	33.1	52.7	33.7	9.5	1.8	10.1	11.2	46.7	40.8	1.2	10.7
難病患者(n=113)	38.9	0.9	3.5	5.3	5.3	8.8	12.4	42.5	45.1	0.9	30.1
発達障がいのある人 (n=272)	46.0	17.3	23.9	7.7	6.6	13.2	21.0	49.6	45.6	0.7	16.5

【問 11】日頃、福祉などに関する情報を得る際、以下の媒体をどのくらい利用していますか。もっともあてはまるものに○をつけてください。

* 『利用する』 = 「よく利用する」と「ときどき利用する」を合わせた割合
 『利用しない』 = 「あまり利用しない」と「まったく利用しない」を合わせた割合

日頃、福祉などに関する情報を得る際に利用する媒体について、『利用する』が〔(4) インターネット〕で61.7%と最も高く、次いで〔(9) 病院等の医療機関〕で43.6%となっています。

(単数回答)



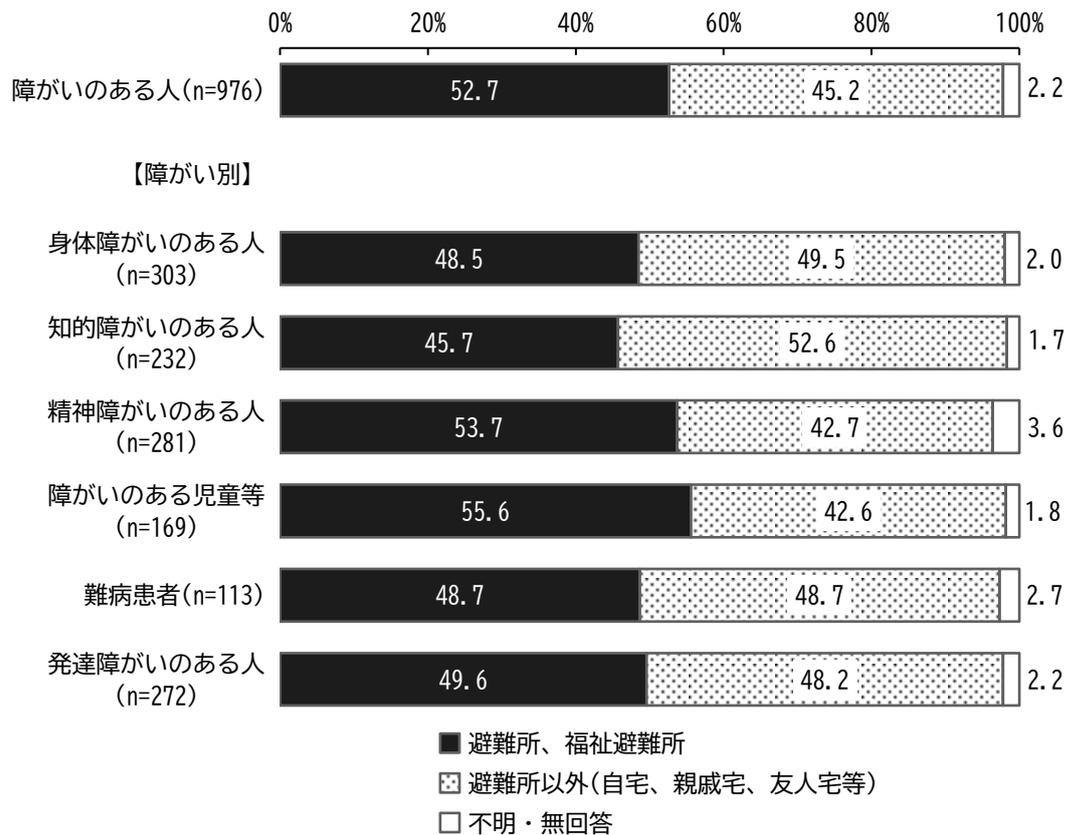
【問 12】 次の災害が起きた時、どこに避難しますか。

(1) 地震

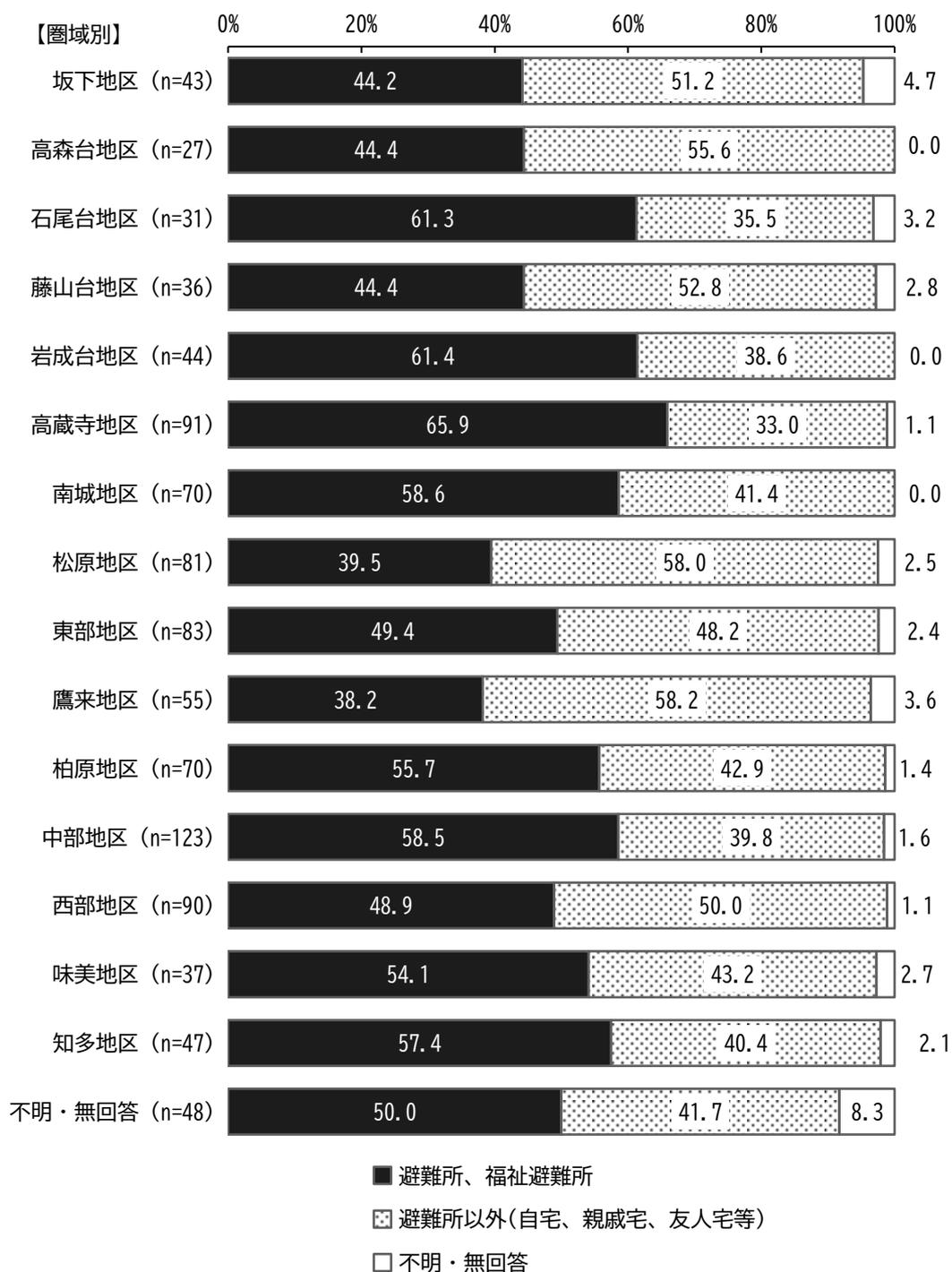
地震が発生した時の避難先は、「避難所、福祉避難所」が 52.7%、「避難所以外(自宅、親戚宅、友人宅等)」が 45.2%となっています。

障がい別では、「避難所、福祉避難所」が身体障がいのある人で 48.5%、知的障がいのある人で 45.7%、精神障がいのある人で 53.7%となっています。

(単数回答)



IV 障がいのある人への調査

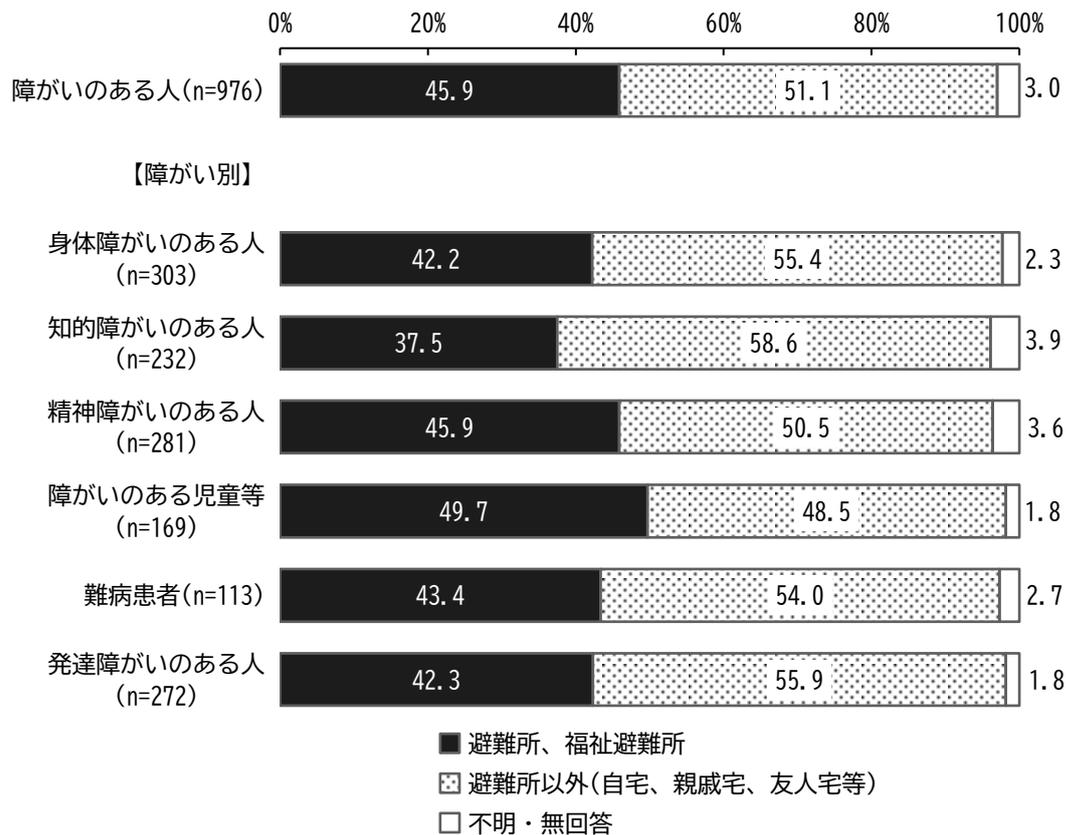


(2) 台風・大雨などの風水害

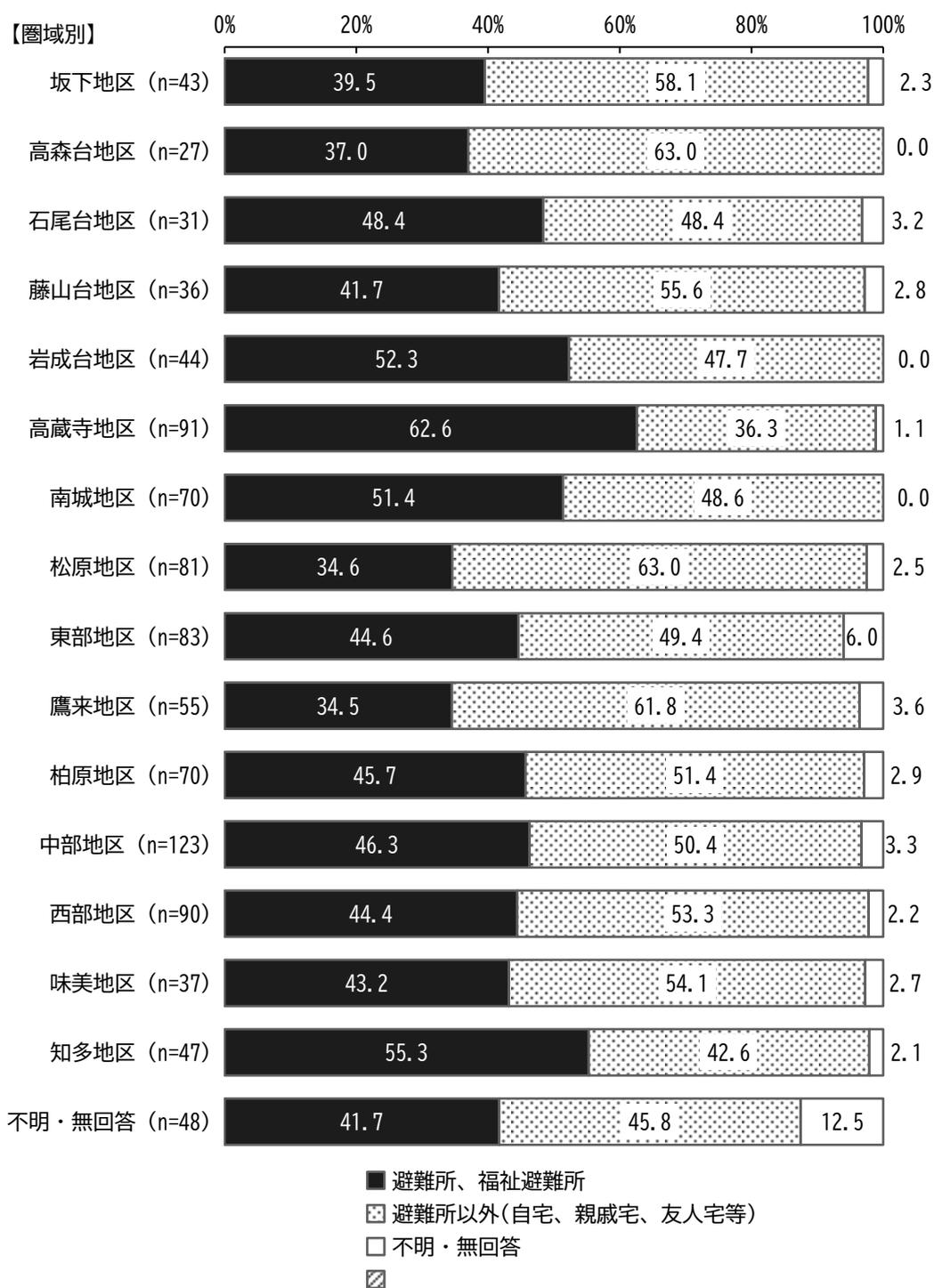
台風・大雨などの風水害が発生した時の避難先は、「避難所、福祉避難所」が45.9%、「避難所以外(自宅、親戚宅、友人宅等)」が51.1%となっています。

障がい別では、「避難所、福祉避難所」が身体障がいのある人で42.2%、知的障がいのある人で37.5%、精神障がいのある人で45.9%となっています。

(単数回答)



IV 障がいのある人への調査



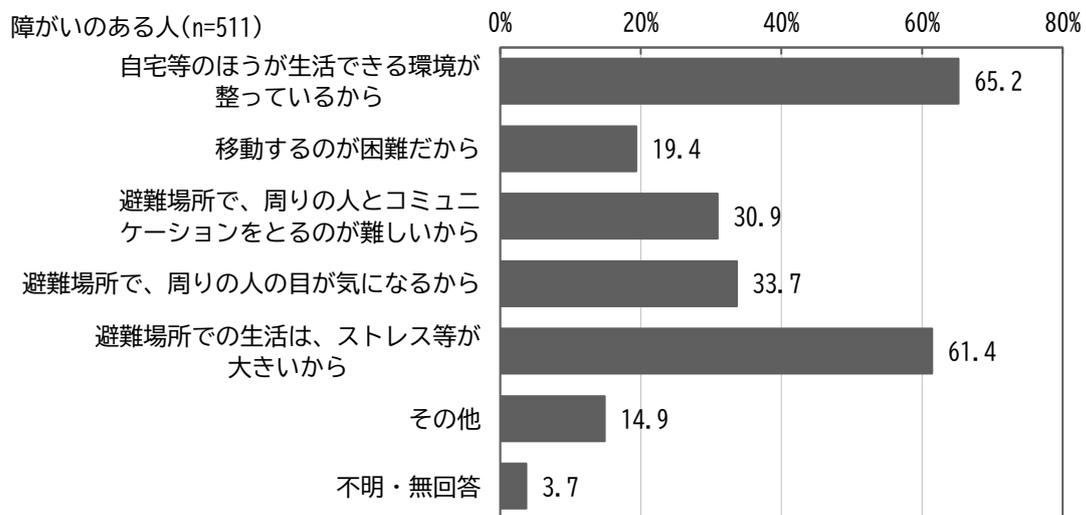
【問 13】 避難場所として、避難所以外（自宅等）を考えている理由は何ですか。

*【問 12】のいずれかで「2. 避難所以外」と答えた方への質問

避難場所として、避難所以外（自宅等）を考えている理由は、「自宅等のほうが生活できる環境が整っているから」が 65.2%と最も高く、次いで「避難場所での生活は、ストレス等が大きいから」が 61.4%となっています。

障がい別では、身体障がいのある人で「自宅等のほうが生活できる環境が整っているから」が 69.9%、「避難場所での生活は、ストレス等が大きいから」が知的障がいのある人で 65.2%、精神障がいのある人で 73.6%と、それぞれ最も高くなっています。なお、身体障がいのある人で「移動するのが困難だから」が 32.4%、精神障がいのある人で「避難場所で、周りの人の目が気になるから」が 50.0%となっています。

(複数回答)



■障がい別

(%)

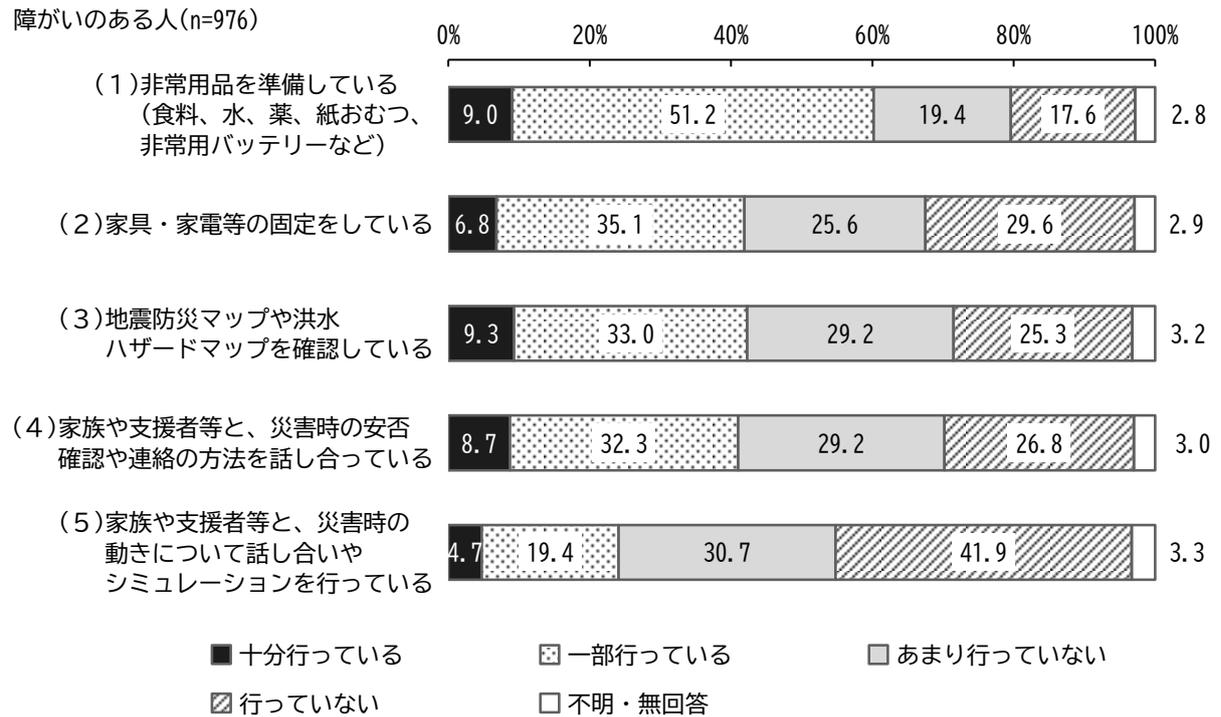
	自宅等のほうが生活できる環境が整っているから	移動するのが困難だから	避難場所での生活は、周りの人とコミュニケーションをとるのが難しいから	避難場所での生活は、周りの人の目が気になるから	避難場所での生活は、ストレス等が大きいため	その他	不明・無回答
身体障がいのある人 (n=173)	69.9	32.4	17.3	24.3	52.0	13.9	2.3
知的障がいのある人 (n=138)	61.6	19.6	38.4	34.1	65.2	8.7	5.1
精神障がいのある人 (n=144)	63.9	11.8	48.6	50.0	73.6	19.4	2.8
障がいのある児童等 (n=85)	68.2	10.6	30.6	34.1	64.7	4.7	4.7
難病患者(n=63)	61.9	31.7	15.9	23.8	61.9	23.8	3.2
発達障がいのある人 (n=155)	59.4	12.3	46.5	45.2	71.6	16.8	3.2

【問 14】 災害が起きた時の備えについて、もっともあてはまるものに○をつけてください。

* 『行っている』 = 「十分行っている」と「一部行っている」を合わせた割合
 『行っていない』 = 「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた割合

災害が起きた時の備えについて、『行っている』が〔(1) 非常用品を準備している（食料、水、薬、紙おむつ、非常用バッテリーなど）〕で60.2%と最も高く、次いで〔(3) 地震防災マップや洪水ハザードマップを確認している〕で42.3%となっています。

(単数回答)

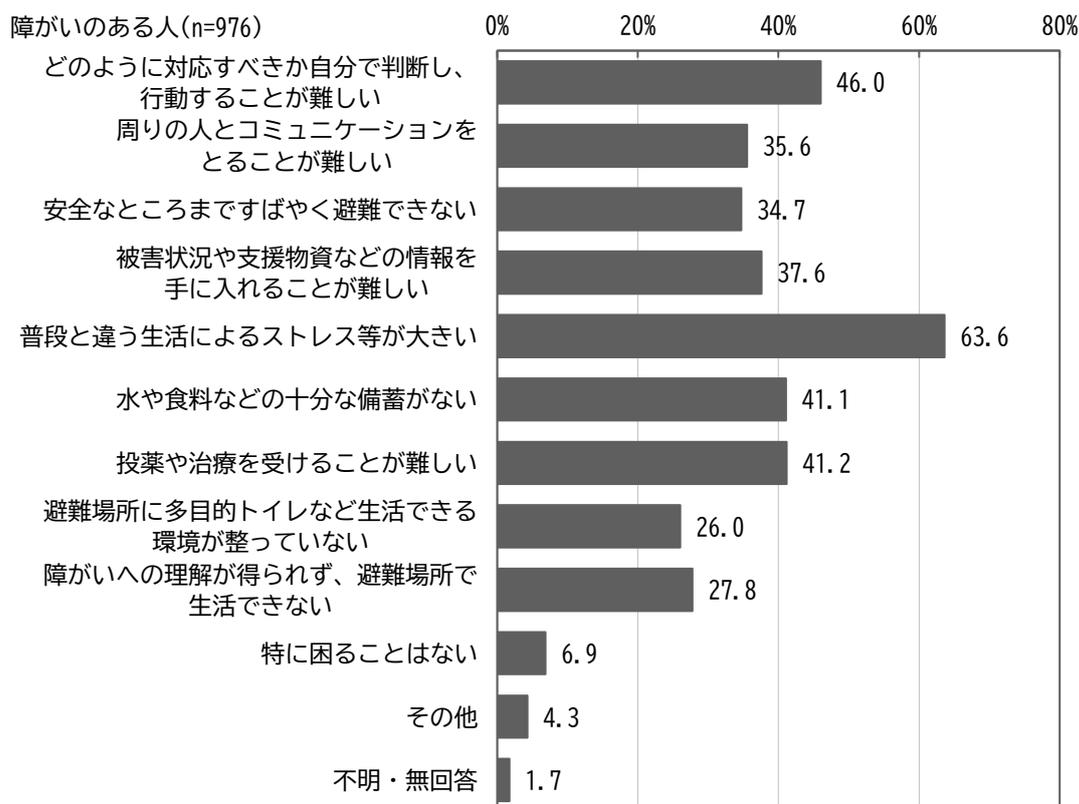


【問15】 災害が起きた時に困ると思うことは何ですか。

災害が起きた時に困ると思うことは、「普段と違う生活によるストレス等が大きい」が63.6%と最も高く、次いで「どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい」が46.0%となっています。

障がい別では、知的障がいのある人で「どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい」が、精神障がいのある人で「普段と違う生活によるストレス等が大きい」がそれぞれ7割台となっています。なお、知的障がいのある人で「被害状況や支援物資などの情報を手に入れることが難しい」が59.9%となっています。

(複数回答)



■障がい別

(%)

	どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい	周りの人とコミュニケーションをとることが難しい	安全なところまですばやく避難できない	被害状況や支援物資などの情報を手に入れることが難しい	普段と違う生活によるストレス等が大き	水や食料などの十分な備蓄がない	投薬や治療を受けることが難しい	避難場所に多目的トイレなど生活できる環境が整っていない	障がいへの理解が得られず、避難場所で生活できない	特に困ることはない
身体障がいのある人 (n=303)	32.3	24.1	40.6	30.0	50.5	40.3	42.9	29.4	25.1	6.9
知的障がいのある人 (n=232)	75.0	55.6	52.2	59.9	65.5	40.5	28.0	29.7	43.5	5.6
精神障がいのある人 (n=281)	51.6	46.6	30.6	40.6	76.9	49.8	48.4	26.3	36.3	5.0
障がいのある児童等 (n=169)	68.6	40.2	39.1	46.7	72.2	26.6	17.8	19.5	29.6	7.7
難病患者(n=113)	28.3	15.0	28.3	26.5	55.8	35.4	61.1	31.0	23.0	5.3
発達障がいのある人 (n=272)	68.0	55.5	41.2	50.7	76.5	39.7	36.0	25.4	44.1	3.3

	その他	不明・無回答
身体障がいのある人 (n=303)	4.3	1.7
知的障がいのある人 (n=232)	2.2	0.4
精神障がいのある人 (n=281)	6.0	1.8
障がいのある児童等 (n=169)	2.4	1.8
難病患者(n=113)	9.7	0.9
発達障がいのある人 (n=272)	5.1	1.1

(3) 仕事や働くことについて

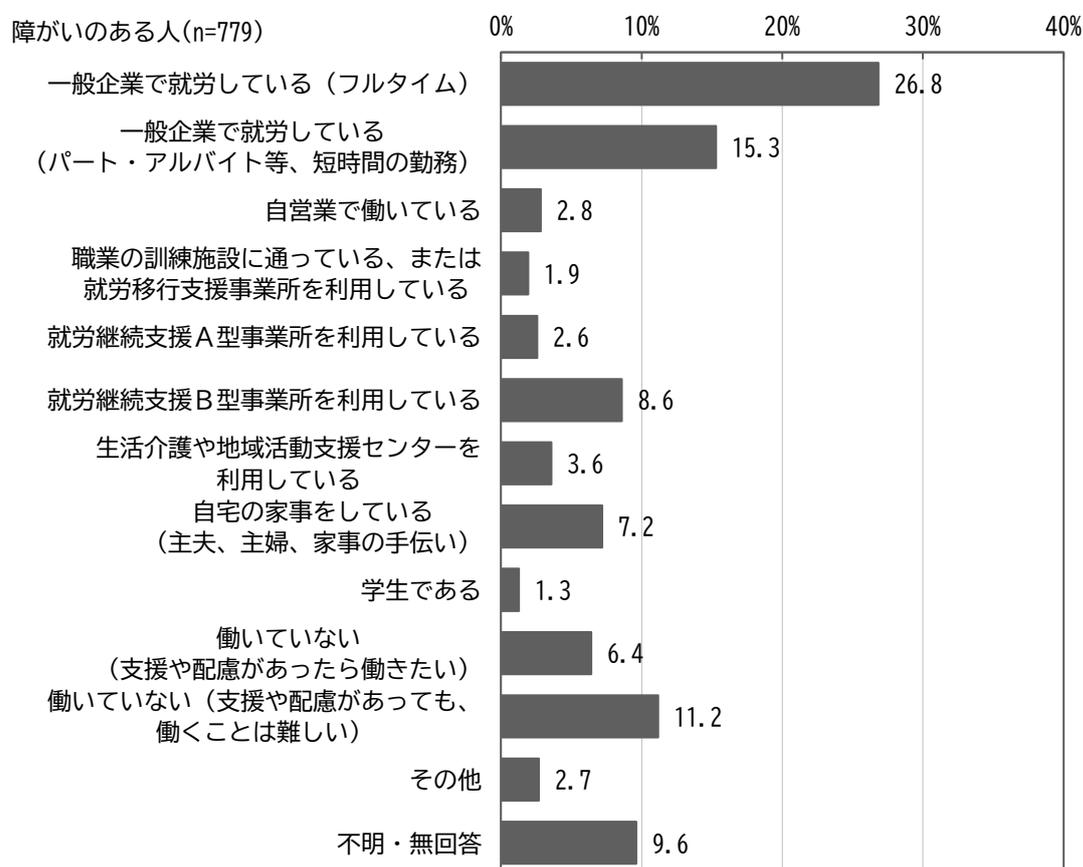
【問 16】現在の仕事などの状況について、もっともあてはまるものに○をつけてください。

*18歳以上の方への質問

現在の仕事などの状況は、「一般企業で就労している（フルタイム）」が26.8%と最も高く、次いで「一般企業で就労している（パート・アルバイト等、短時間の勤務）」が15.3%となっています。

障がい別では、身体障がいのある人で「一般企業で就労している（フルタイム）」が34.1%、知的障がいのある人で「就労継続支援B型事業所を利用している」が22.3%、精神障がいのある人で「一般企業で就労している（パート・アルバイト等、短時間の勤務）」が18.6%と、それぞれ最も高くなっています。

(複数回答)



■障がい別

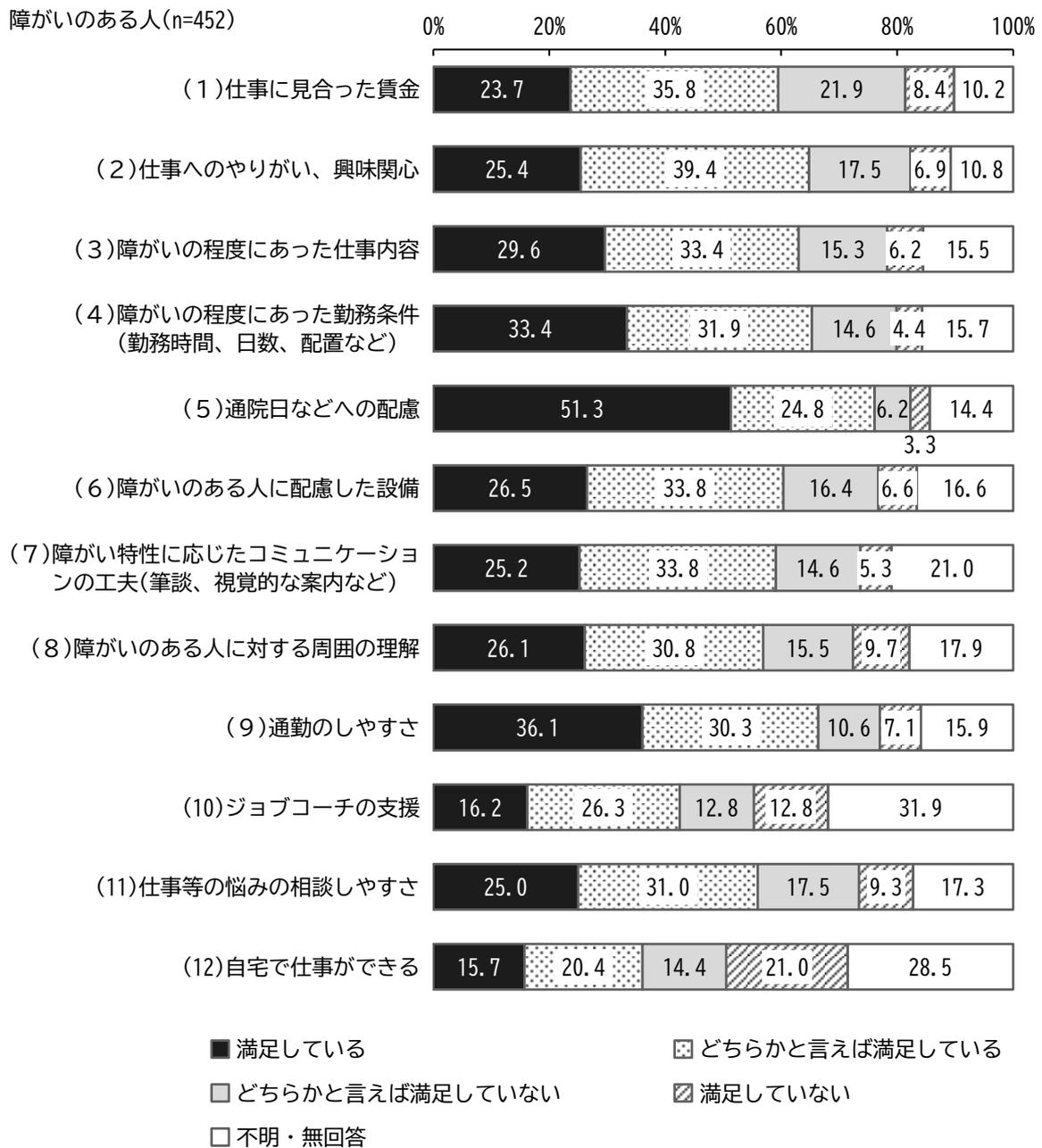
(%)

	一般企業で就労している (フルタイム)	一般企業で就労している (パート・アルバイト等、短時間の勤務)	自営業で働いている	職業の訓練施設に通っている、または 就労移行支援事業所を利用している	就労継続支援A型事業所を利用 している	就労継続支援B型事業所を利用 している	生活介護や地域活動支援センターを 利用している	自宅の家事をしている(主夫、主婦、 家事の手伝い)	学生である	働いていない(支援や配慮があったら 働きたい)
身体障がいのある人 (n=273)	34.1	12.5	4.0	0.0	1.5	4.8	4.0	7.7	0.0	7.3
知的障がいのある人 (n=148)	18.9	13.5	0.0	0.0	5.4	22.3	15.5	2.0	2.0	0.7
精神障がいのある人 (n=258)	11.6	18.6	1.9	5.0	3.9	11.2	0.4	8.5	0.8	9.7
難病患者(n=110)	34.5	14.5	5.5	0.9	1.8	0.0	0.9	10.9	1.8	6.4
発達障がいのある人 (n=180)	16.7	18.9	1.1	3.3	3.9	17.8	6.7	5.0	3.3	6.7

	働いていない(支援や配慮があ っても、働くことは難しい)	その他	不明・無回答
身体障がいのある人 (n=273)	12.8	2.9	8.4
知的障がいのある人 (n=148)	8.8	3.4	7.4
精神障がいのある人 (n=258)	15.5	2.3	10.5
難病患者(n=110)	11.8	2.7	8.2
発達障がいのある人 (n=180)	9.4	2.2	5.0

【満足度】

(単数回答)



【ポートフォリオによる分析の考え方】

12項目について、満足度と重要度を下表のような配分で点数化し、その点数の合計値を、「不明・無回答」を除いた各設問の回答総数で割り、満足度・重要度を得点化します。

さらに、各項目の満足度と重要度の得点の関係で分布図を作成し、ポートフォリオ分析により今後の方向性を分析します。

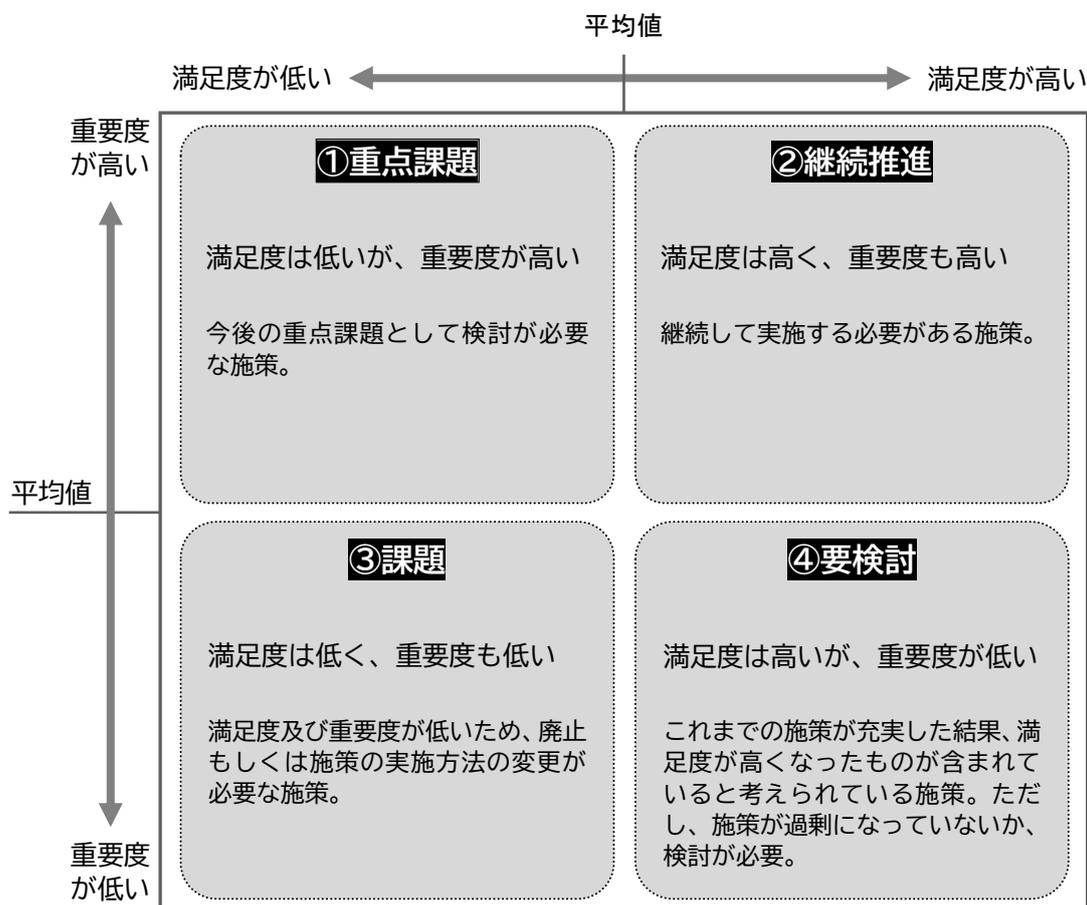
■重要度・満足度の得点化の手順

満足度	得点
満足	4点
やや満足	3点
やや不満	3点
不満	1点
不明・無回答	計算対象外

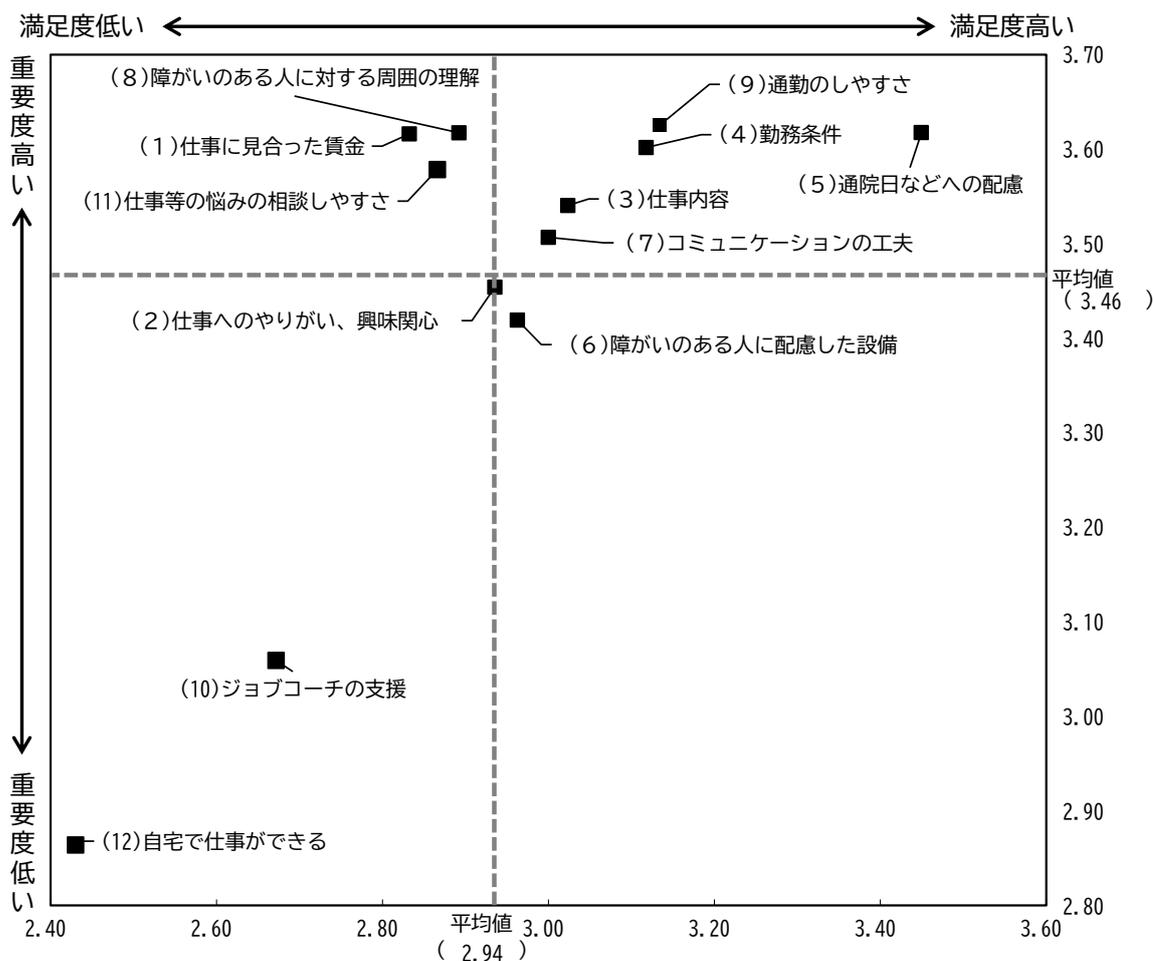
重要度	得点
重要	4点
やや重要	3点
あまり重要ではない	3点
重要ではない	1点
不明・無回答	計算対象外

※得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示

ポートフォリオとは、各属性についての満足度と総合満足度への影響度を二次元にプロットした図です。それぞれの選択肢を4段階評価で聞き、X軸に各属性の満足度、Y軸に重要度（期待値）として総合満足度と各満足度の偏相関係数を表しています。なお、図は4象限に分けられ、象限を分ける境界線は、満足度、重要度の各平均値を使用しています。

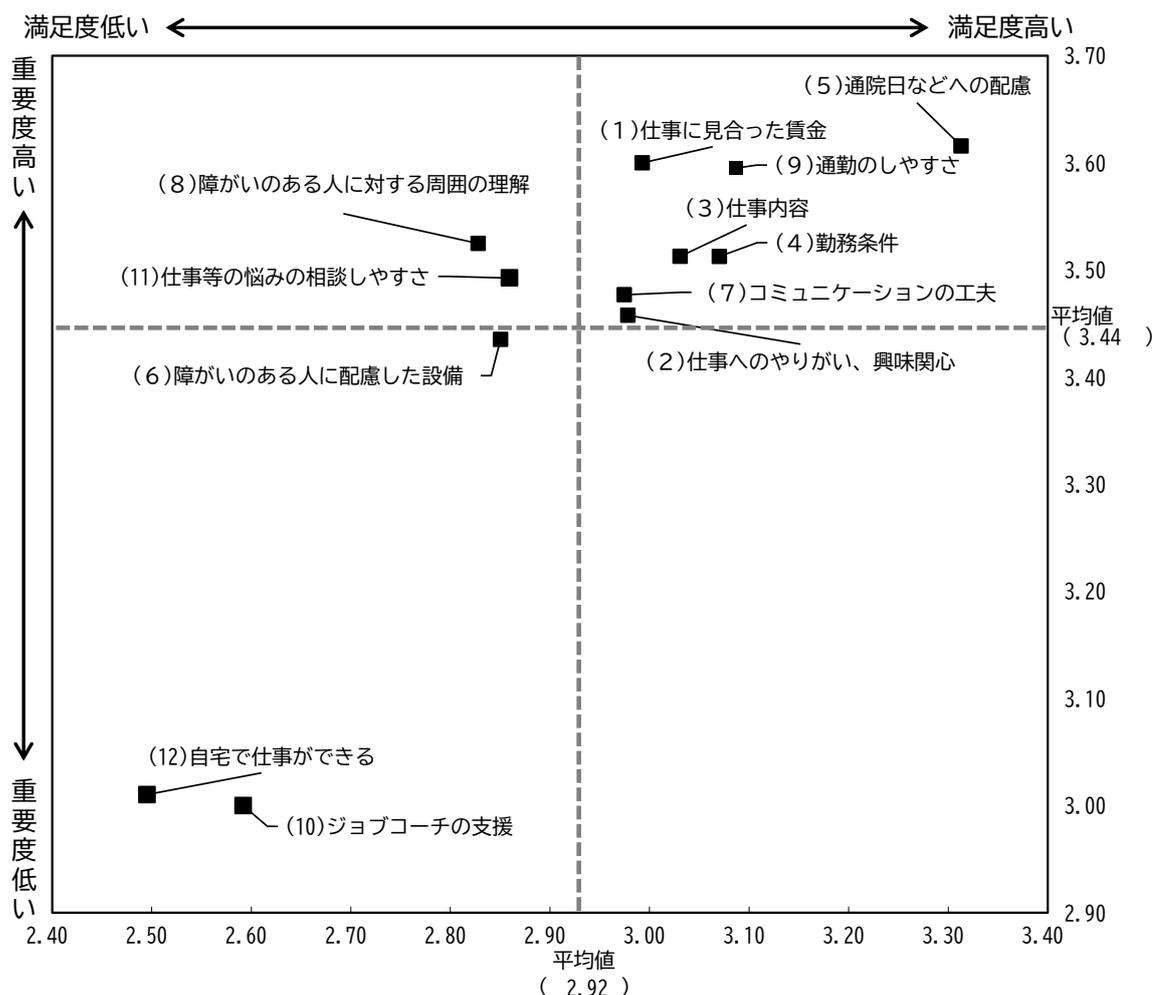


■全体



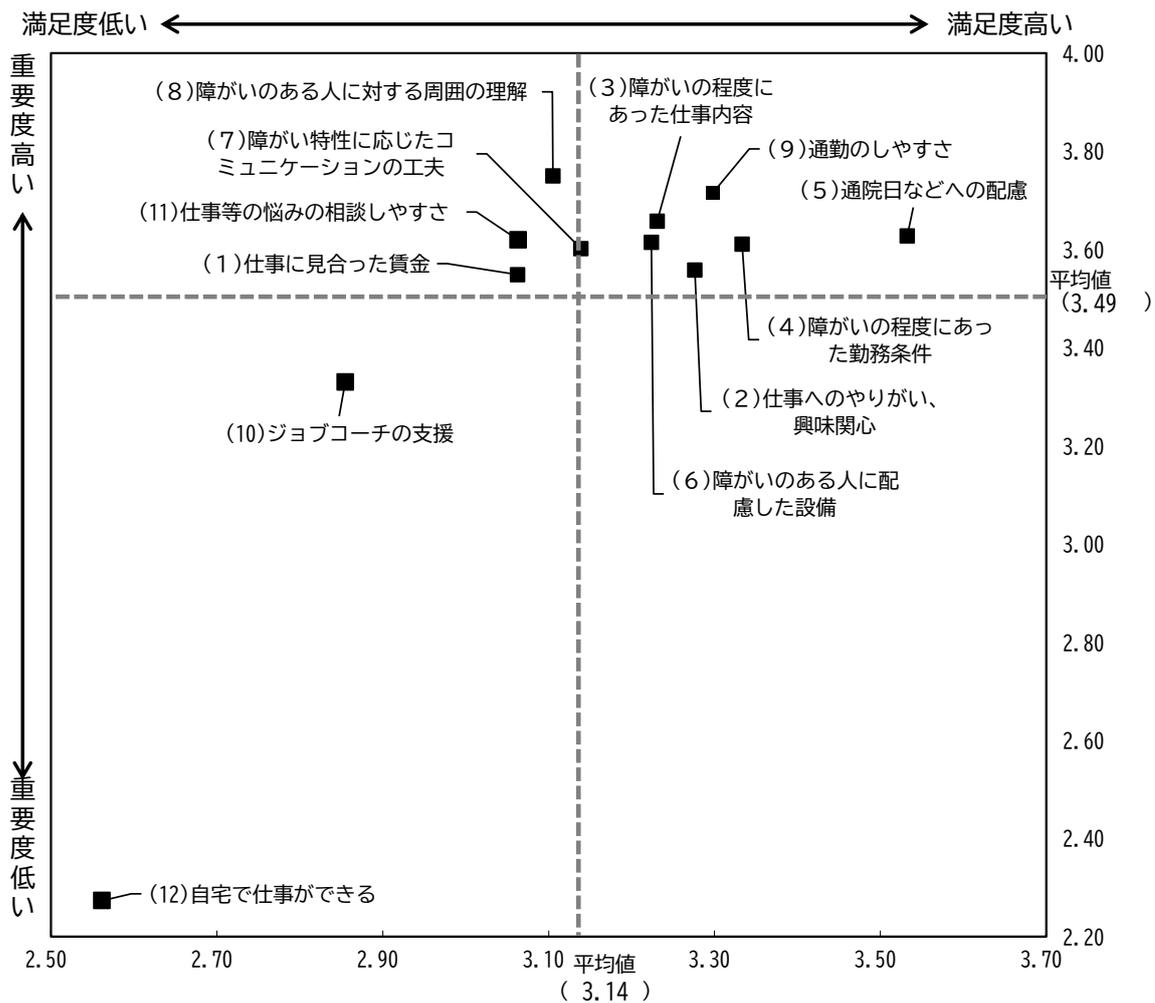
区分	満足度	重要度
(1)仕事に見合った賃金	2.83	3.62
(2)仕事へのやりがい、興味関心	2.94	3.45
(3)障がいの程度にあった仕事内容	3.02	3.54
(4)障がいの程度にあった勤務条件 (勤務時間、日数、配置など)	3.12	3.60
(5)通院日などへの配慮	3.45	3.62
(6)障がいのある人に配慮した設備	2.96	3.42
(7)障がい特性に応じたコミュニケーションの工夫(筆談、視覚的な案内など)	3.00	3.51
(8)障がいのある人に対する周囲の理解	2.89	3.62
(9)通勤のしやすさ	3.13	3.63
(10)ジョブコーチの支援	2.67	3.06
(11)仕事等の悩みの相談しやすさ	2.87	3.58
(12)自宅で仕事ができる	2.43	2.86

■障がい別（身体障がいのある人）



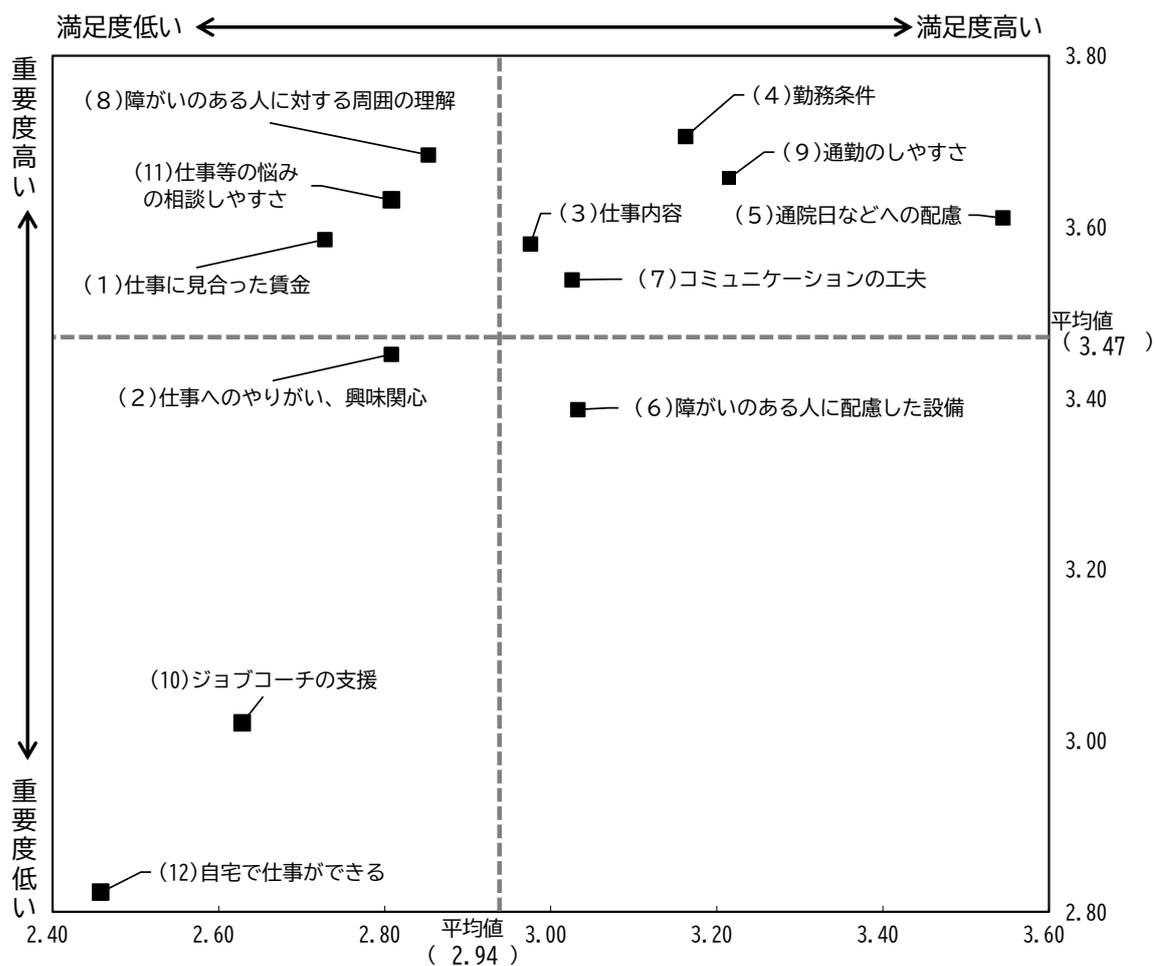
区分	満足度	重要度
(1)仕事に見合った賃金	2.99	3.60
(2)仕事へのやりがい、興味関心	2.98	3.46
(3)障がいの程度にあった仕事内容	3.03	3.51
(4)障がいの程度にあった勤務条件（勤務時間、日数、配置など）	3.07	3.51
(5)通院日などへの配慮	3.31	3.62
(6)障がいのある人に配慮した設備	2.85	3.44
(7)障がい特性に応じたコミュニケーションの工夫(筆談、視覚的な案内など)	2.97	3.48
(8)障がいのある人に対する周囲の理解	2.83	3.52
(9)通勤のしやすさ	3.09	3.60
(10)ジョブコーチの支援	2.59	3.00
(11)仕事等の悩みの相談しやすさ	2.86	3.49
(12)自宅で仕事ができる	2.50	3.01

■障がい別（知的障がいのある人）



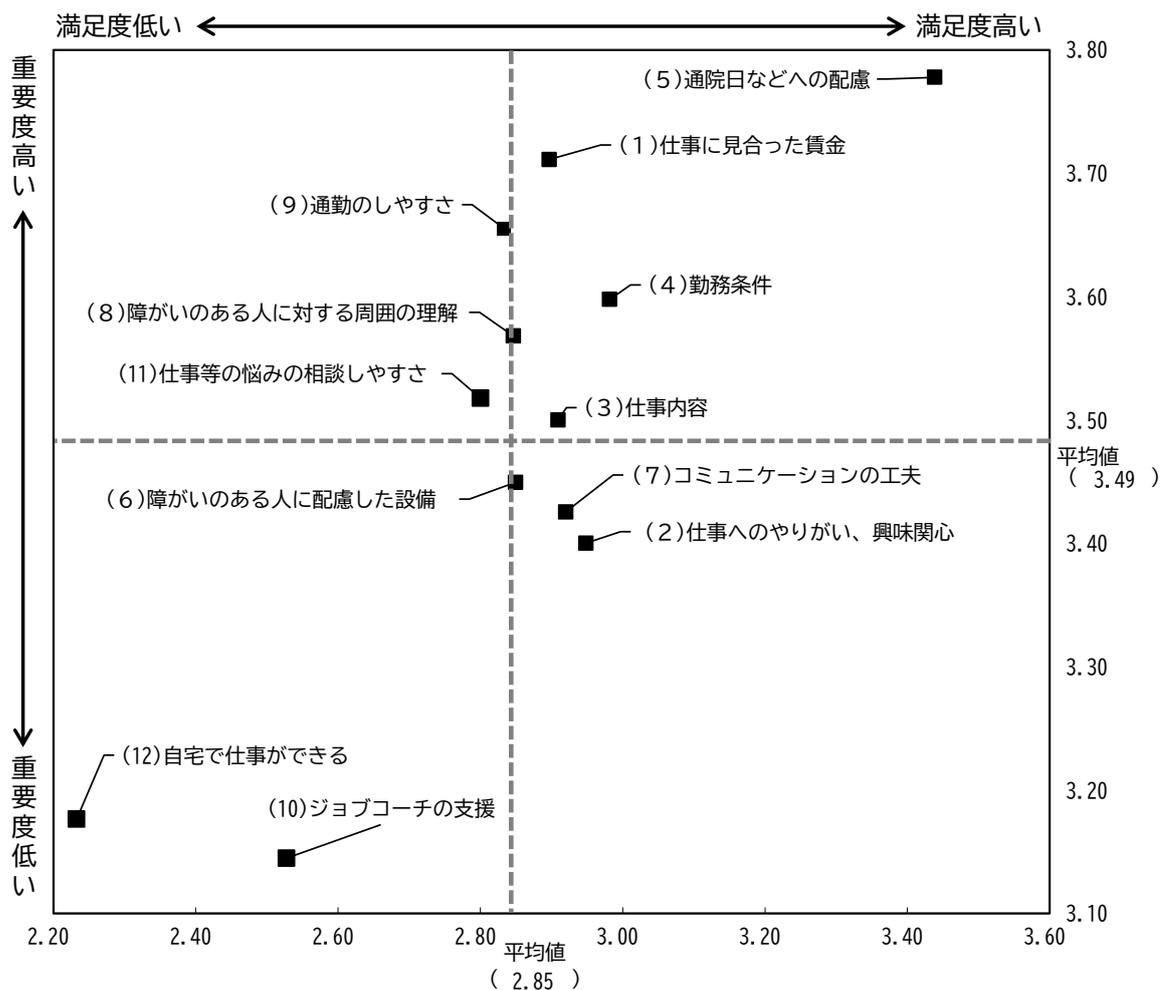
区分	満足度	重要度
(1)仕事に見合った賃金	3.06	3.55
(2)仕事へのやりがい、興味関心	3.28	3.56
(3)障がいの程度にあった仕事内容	3.23	3.66
(4)障がいの程度にあった勤務条件（勤務時間、日数、配置など）	3.33	3.61
(5)通院日などへの配慮	3.53	3.63
(6)障がいのある人に配慮した設備	3.22	3.61
(7)障がい特性に応じたコミュニケーションの工夫（筆談、視覚的な案内など）	3.14	3.60
(8)障がいのある人に対する周囲の理解	3.11	3.75
(9)通勤のしやすさ	3.30	3.72
(10)ジョブコーチの支援	2.85	3.33
(11)仕事等の悩みの相談しやすさ	3.06	3.62
(12)自宅で仕事ができる	2.56	2.27

■障がい別（精神障がいのある人）



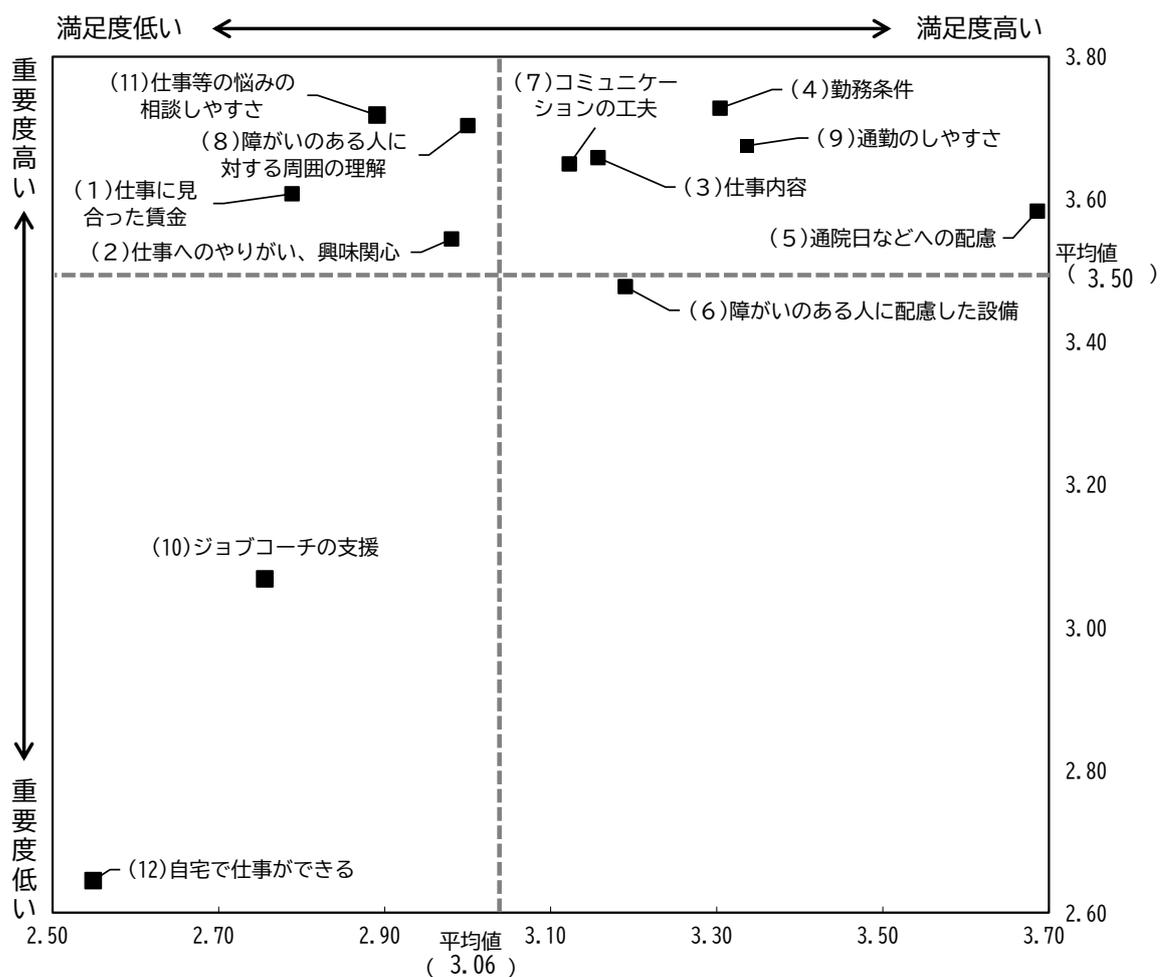
区分	満足度	重要度
(1)仕事に見合った賃金	2.73	3.59
(2)仕事へのやりがい、興味関心	2.81	3.45
(3)障がいの程度にあった仕事内容	2.98	3.58
(4)障がいの程度にあった勤務条件（勤務時間、日数、配置など）	3.16	3.71
(5)通院日などへの配慮	3.54	3.61
(6)障がいのある人に配慮した設備	3.03	3.39
(7)障がい特性に応じたコミュニケーションの工夫(筆談、視覚的な案内など)	3.03	3.54
(8)障がいのある人に対する周囲の理解	2.85	3.68
(9)通勤のしやすさ	3.21	3.66
(10)ジョブコーチの支援	2.63	3.02
(11)仕事等の悩みの相談しやすさ	2.81	3.63
(12)自宅で仕事ができる	2.46	2.82

■障がい別（難病患者）



区分	満足度	重要度
(1)仕事に見合った賃金	2.90	3.71
(2)仕事へのやりがい、興味関心	2.95	3.40
(3)障がいの程度にあった仕事内容	2.91	3.50
(4)障がいの程度にあった勤務条件（勤務時間、日数、配置など）	2.98	3.60
(5)通院日などへの配慮	3.44	3.78
(6)障がいのある人に配慮した設備	2.85	3.45
(7)障がい特性に応じたコミュニケーションの工夫（筆談、視覚的な案内など）	2.92	3.43
(8)障がいのある人に対する周囲の理解	2.85	3.57
(9)通勤のしやすさ	2.83	3.66
(10)ジョブコーチの支援	2.53	3.14
(11)仕事等の悩みの相談しやすさ	2.80	3.52
(12)自宅で仕事ができる	2.23	3.18

■障がい別（発達障がいのある人）



区分	満足度	重要度
(1)仕事に見合った賃金	2.79	3.61
(2)仕事へのやりがい、興味関心	2.98	3.54
(3)障がいの程度にあった仕事内容	3.16	3.66
(4)障がいの程度にあった勤務条件（勤務時間、日数、配置など）	3.30	3.73
(5)通院日などへの配慮	3.69	3.58
(6)障がいのある人に配慮した設備	3.19	3.48
(7)障がい特性に応じたコミュニケーションの工夫（筆談、視覚的な案内など）	3.12	3.65
(8)障がいのある人に対する周囲の理解	3.00	3.70
(9)通勤のしやすさ	3.34	3.68
(10)ジョブコーチの支援	2.76	3.07
(11)仕事等の悩みの相談しやすさ	2.89	3.72
(12)自宅で仕事ができる	2.55	2.64

(4) 障がい者の人権について

【問 18】 次の場面で、障がいがあることで、普段の生活で不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。もっともあてはまるものに○をつけてください。

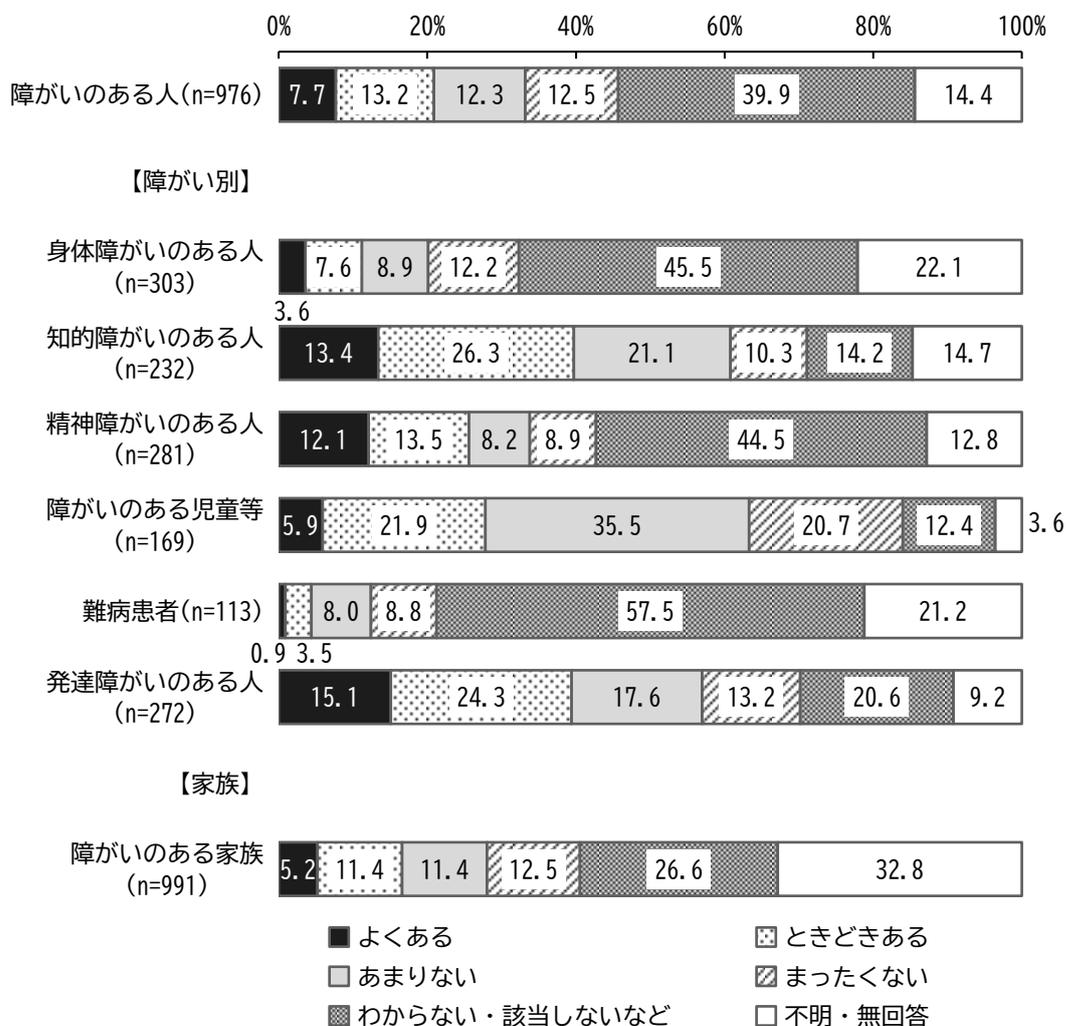
* 『ある』 = 「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合
 『ない』 = 「あまりない」と「まったくない」を合わせた割合

(1) 保育園・学校など

保育園・学校などで、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が20.9%、『ない』が24.8%、「わからない・該当しないなど」が39.9%となっています。

障がい別では、『ある』が身体障がいのある人で11.2%、知的障がいのある人で39.7%、精神障がいのある人で25.6%となっています。

(単数回答)

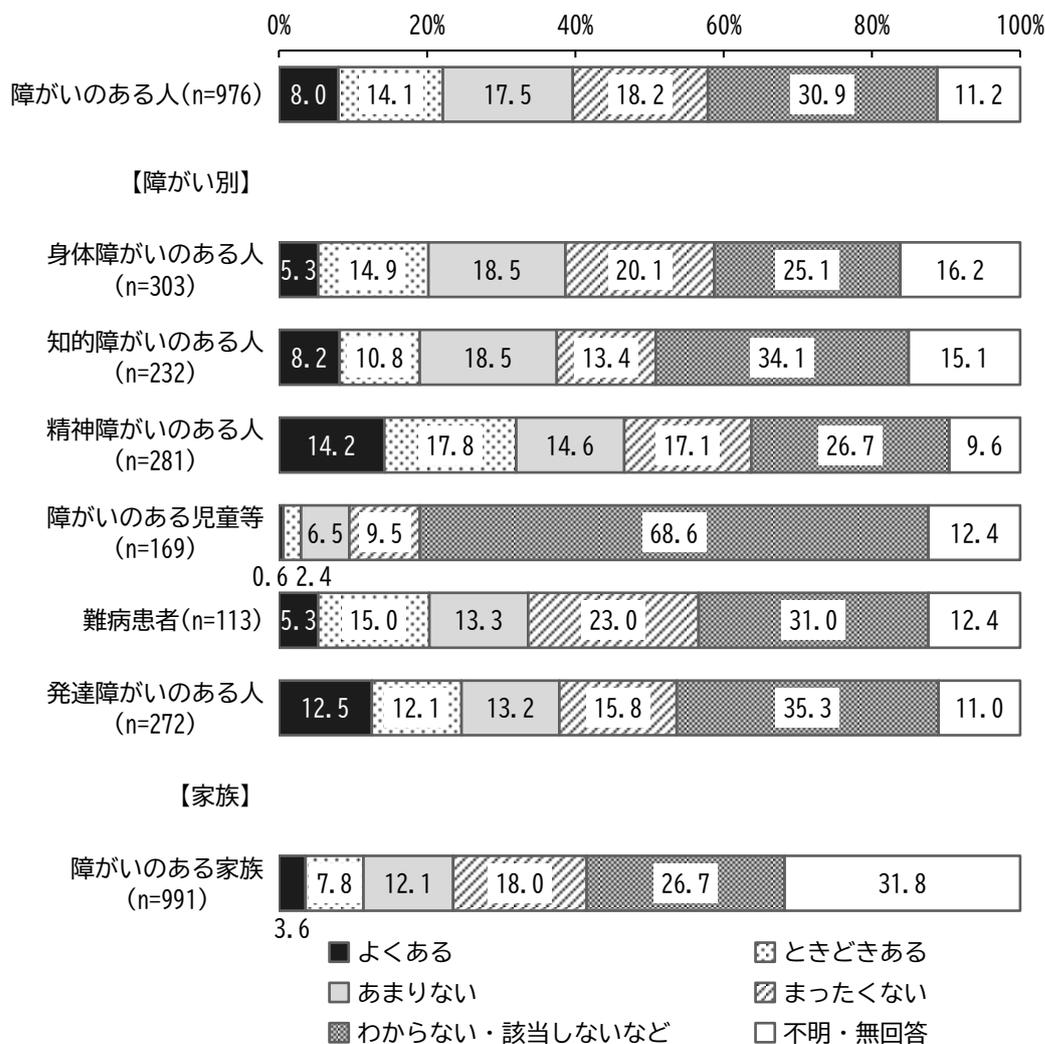


(2) 職場・就労の場

職場・就労の場で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が22.1%、『ない』が35.7%、「わからない・該当しないなど」が30.9%となっています。

障がい別では、『ある』が身体障がいのある人で20.2%、知的障がいのある人で19.0%、精神障がいのある人で32.0%となっています。

(単数回答)

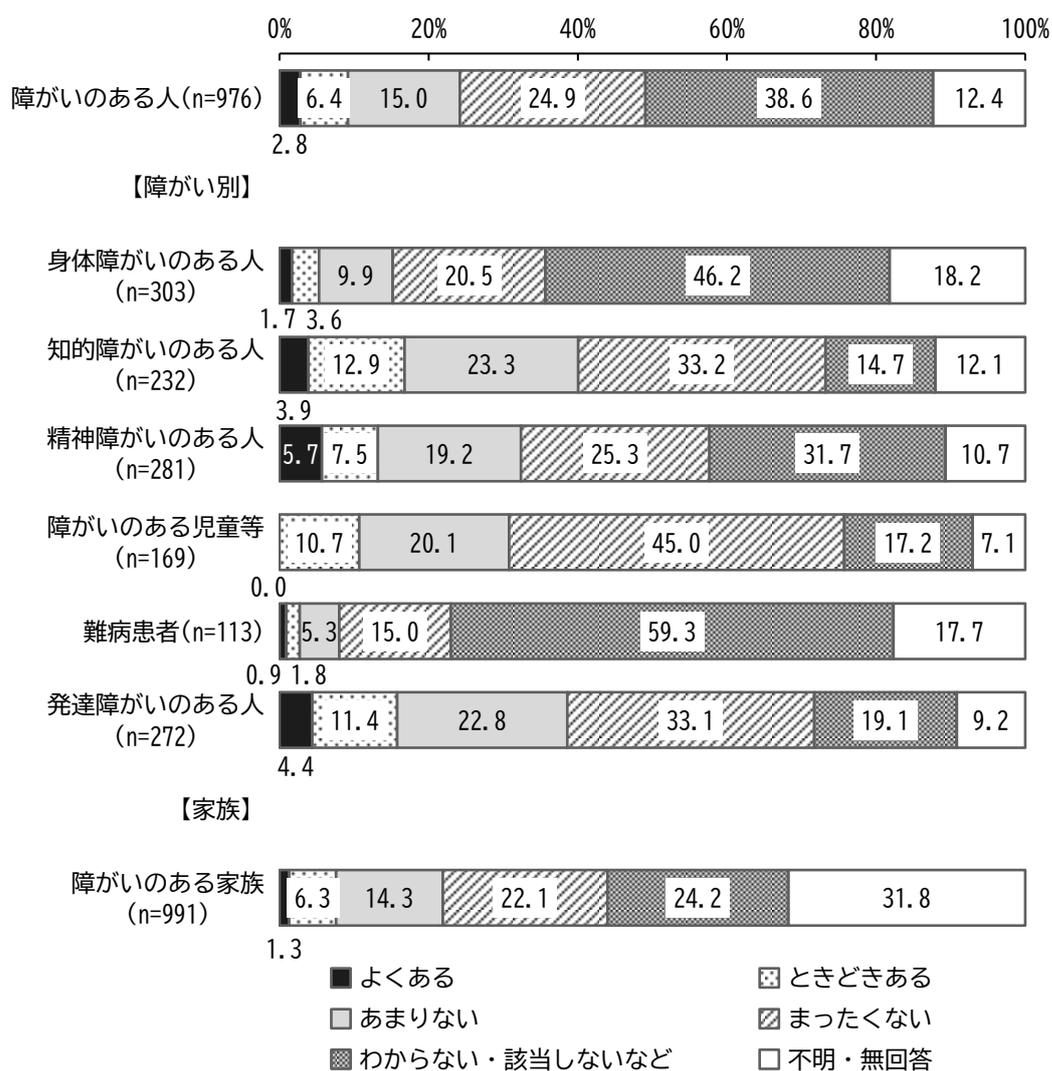


(3) 相談支援事業所や福祉施設（相談支援事業所、グループホーム、就労継続支援事業所、地域活動支援センター、生活介護、放課後等デイサービスなど）

相談支援事業所や福祉施設（相談支援事業所、グループホーム、就労継続支援事業所、地域活動支援センター、生活介護、放課後等デイサービスなど）で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が9.2%、『ない』が39.9%、「わからない・該当しないなど」が38.6%となっています。

障がい別では、『ある』が身体障がいのある人で5.3%、知的障がいのある人で16.8%、精神障がいのある人で13.2%となっています。

(単数回答)

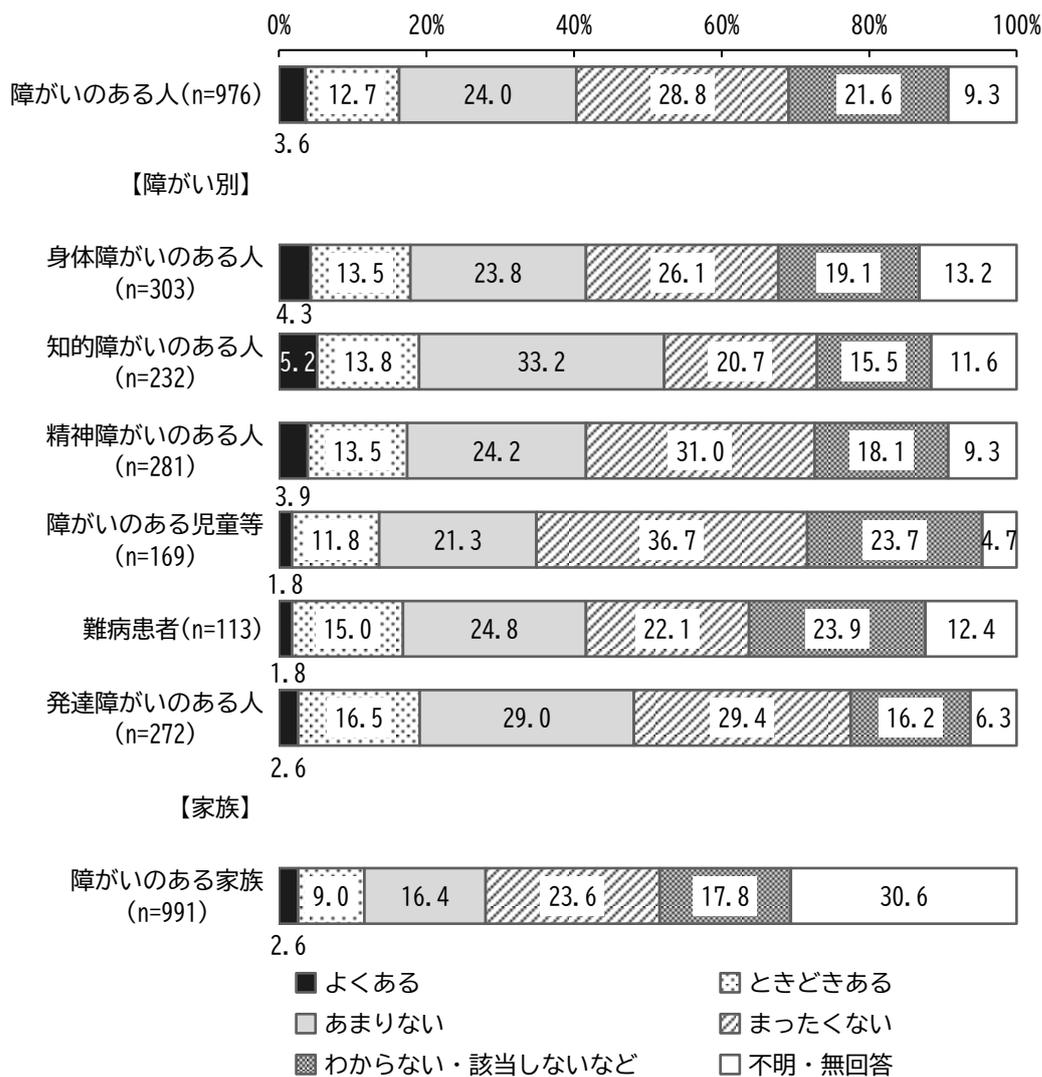


(4) 公共交通機関（電車・バス・タクシーなど）

公共交通機関（電車・バス・タクシーなど）で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が16.3%、『ない』が52.8%、「わからない・該当しないなど」が21.6%となっています。

障がい別では、『ある』が身体障がいのある人で17.8%、知的障がいのある人で19.0%、精神障がいのある人で17.4%となっています。

(単数回答)

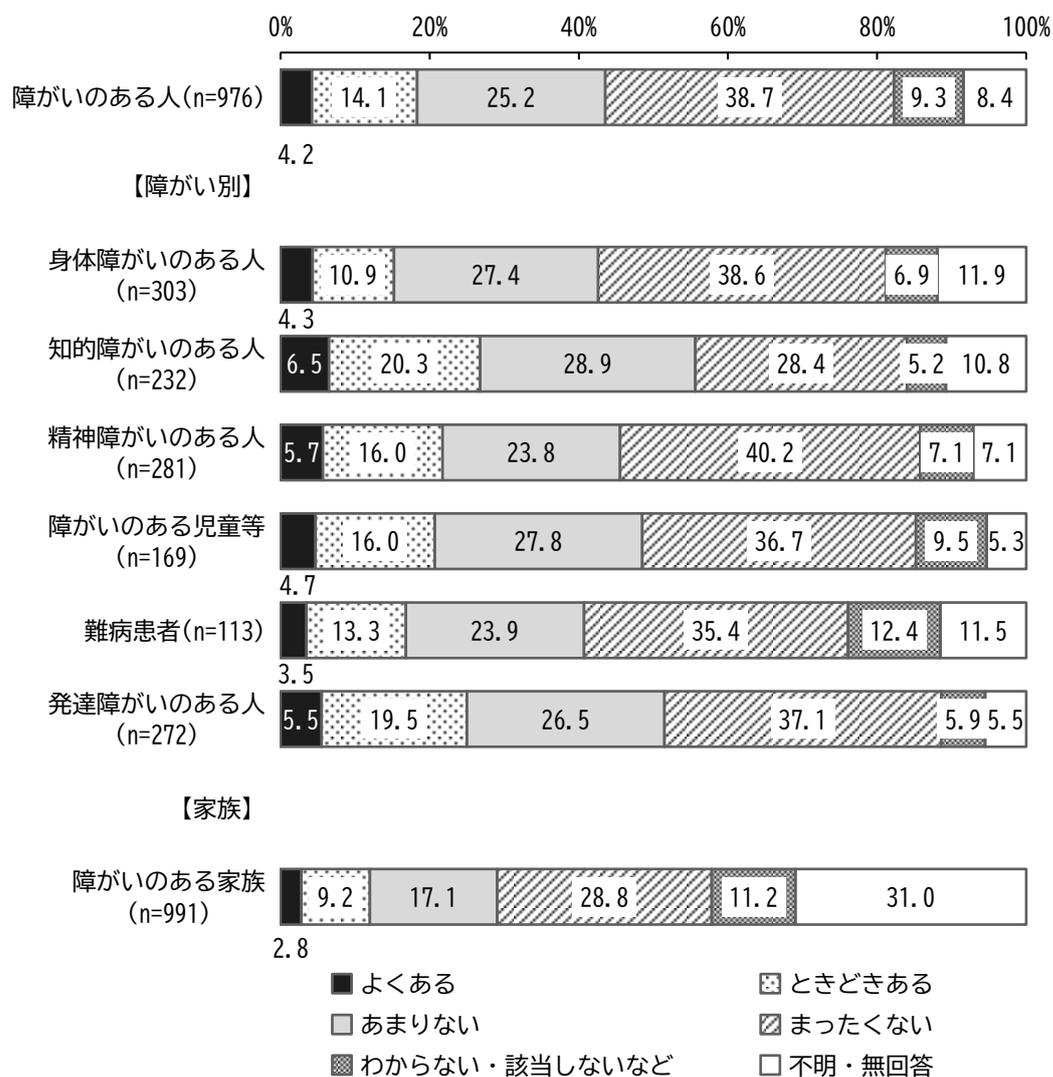


(5) 医療機関（病院・クリニック・歯科・薬局など）

医療機関（病院・クリニック・歯科・薬局など）で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が18.3%、『ない』が63.9%、「わからない・該当しないなど」が9.3%となっています。

障がい別では、『ある』が身体障がいのある人で15.2%、知的障がいのある人で26.8%、精神障がいのある人で21.7%となっています。

(単数回答)

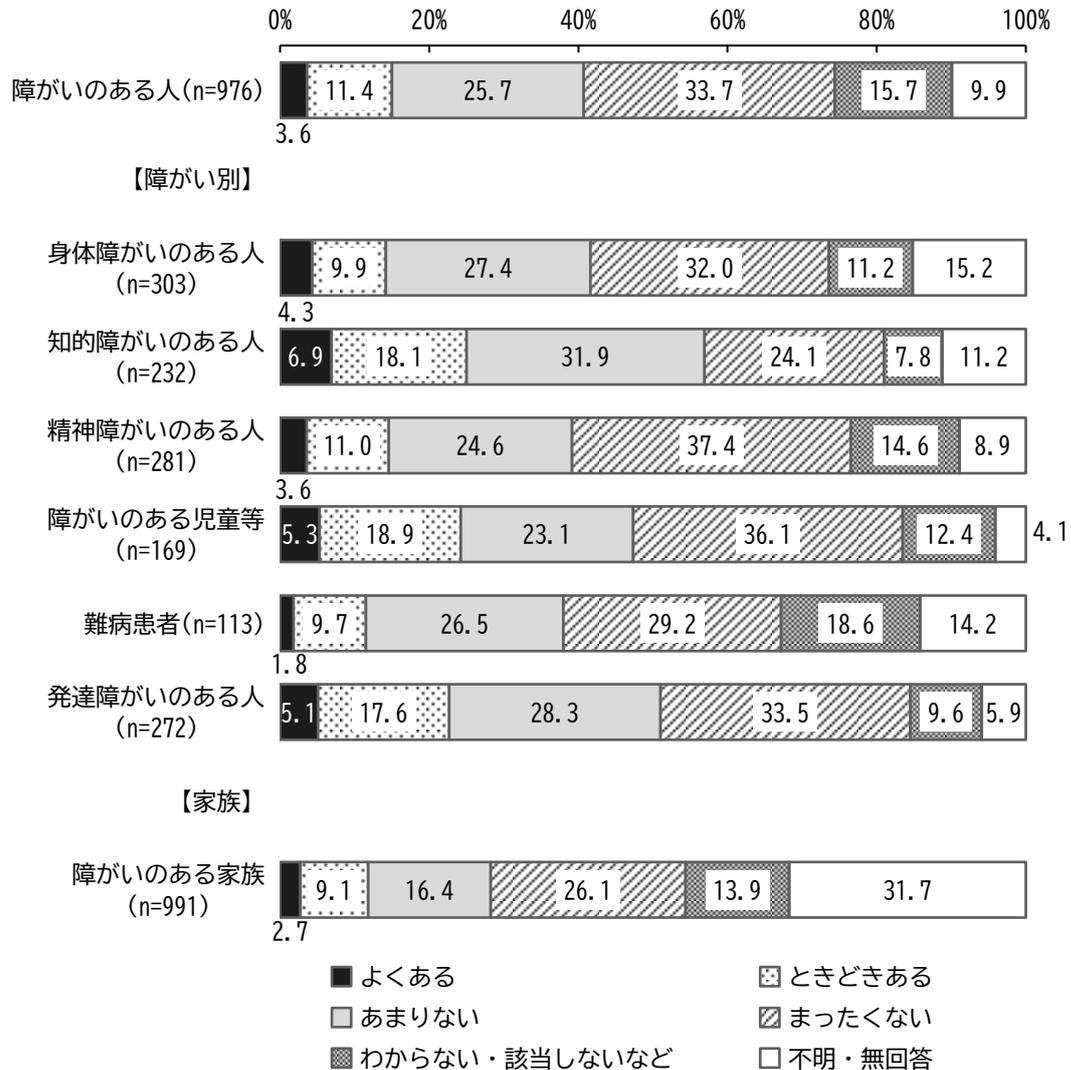


(6) 店舗・飲食店・サービス施設など

店舗・飲食店・サービス施設などで、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が15.0%、『ない』が59.4%、「わからない・該当しないなど」が15.7%となっています。

障がい別では、『ある』が身体障がいのある人で14.2%、知的障がいのある人で25.0%、精神障がいのある人で14.6%となっています。

(単数回答)

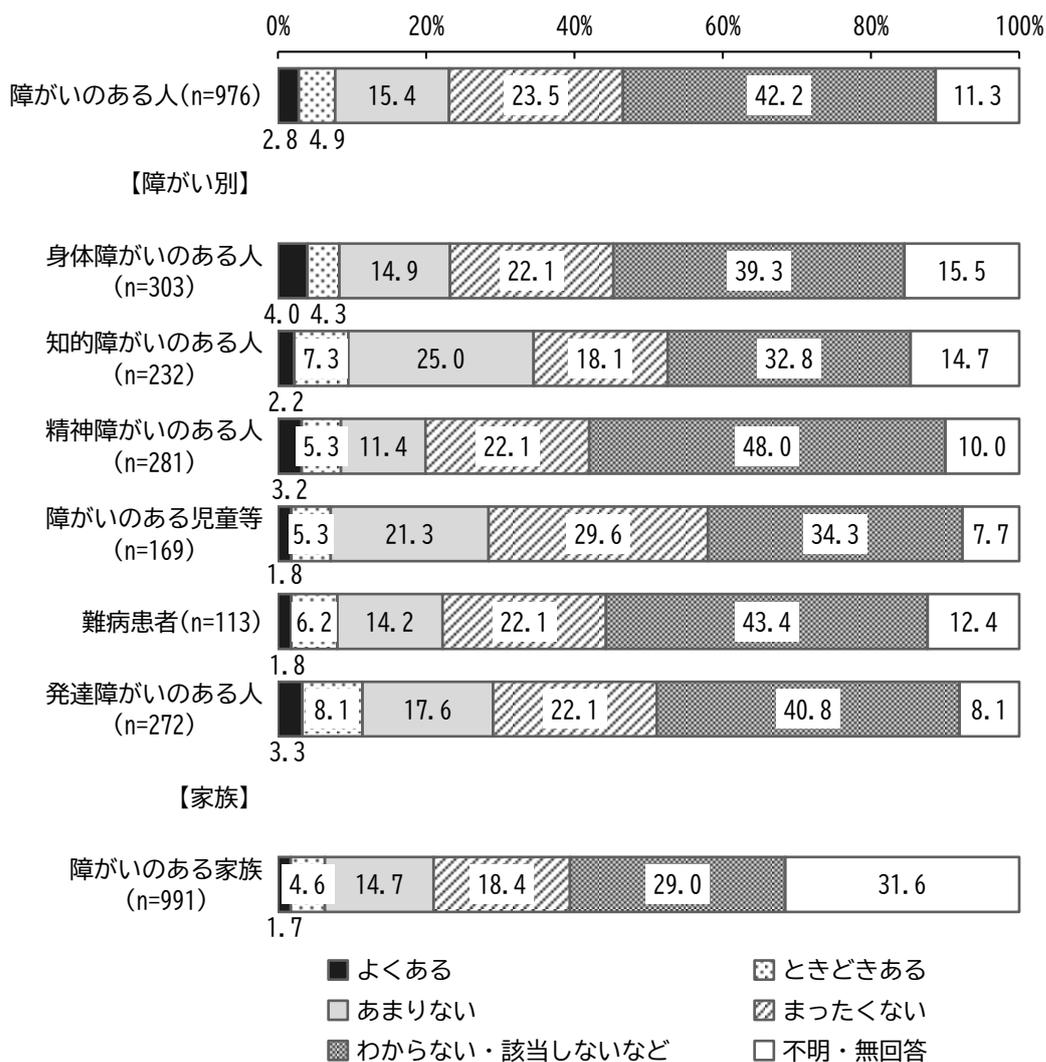


(7) 地域の行事・地域活動の場（町内会・PTA、ボランティアなど）

地域の行事・地域活動の場（町内会・PTA、ボランティアなど）などで、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が7.7%、『ない』が38.9%、「わからない・該当しないなど」が42.2%となっています。

障がい別では、『ある』が身体障がいのある人で8.3%、知的障がいのある人で9.5%、精神障がいのある人で8.5%となっています。

(単数回答)

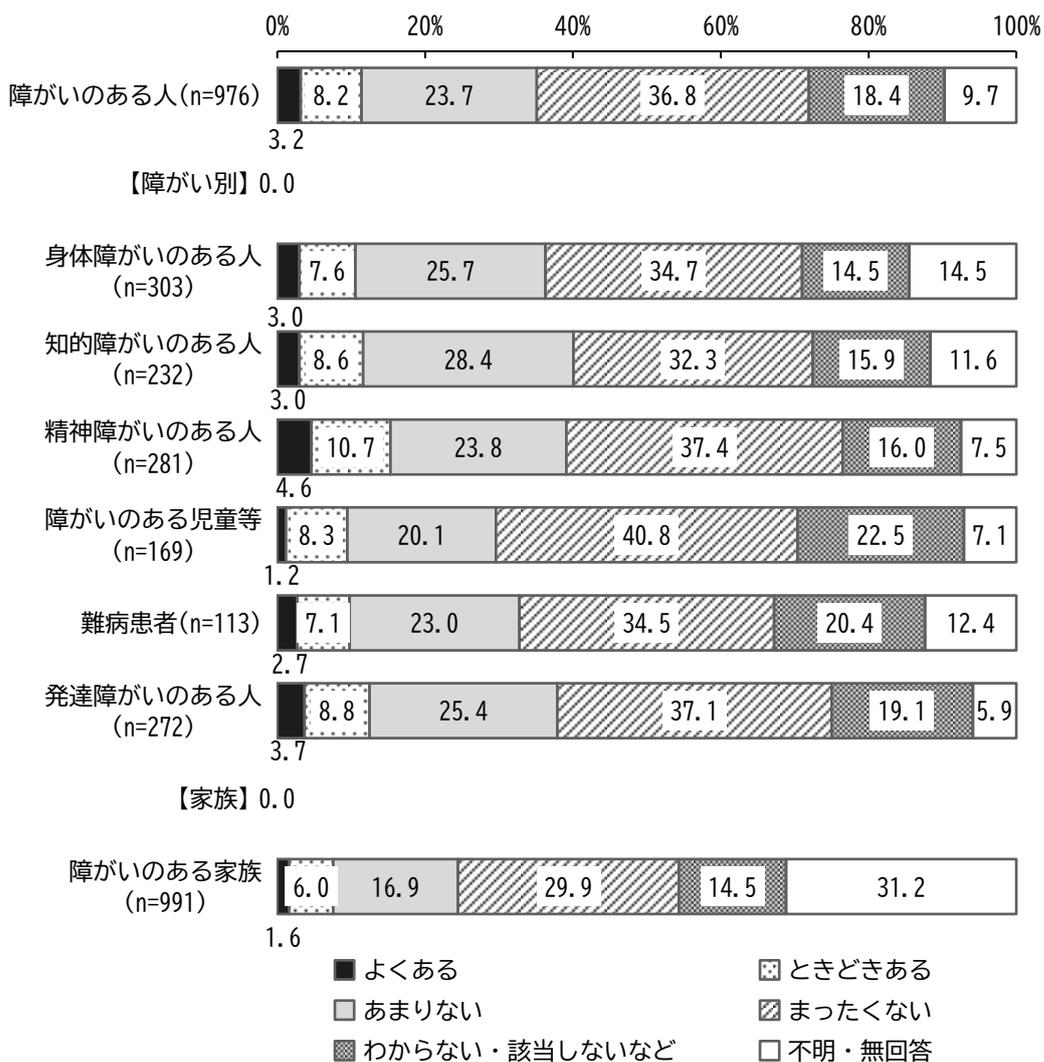


(8) 行政機関・市役所の窓口など

行政機関・市役所の窓口などで、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が11.4%、『ない』が60.5%、「わからない・該当しないなど」が18.4%となっています。

障がい別では、『ある』が身体障がいのある人で10.6%、知的障がいのある人で11.6%、精神障がいのある人で15.3%となっています。

(単数回答)

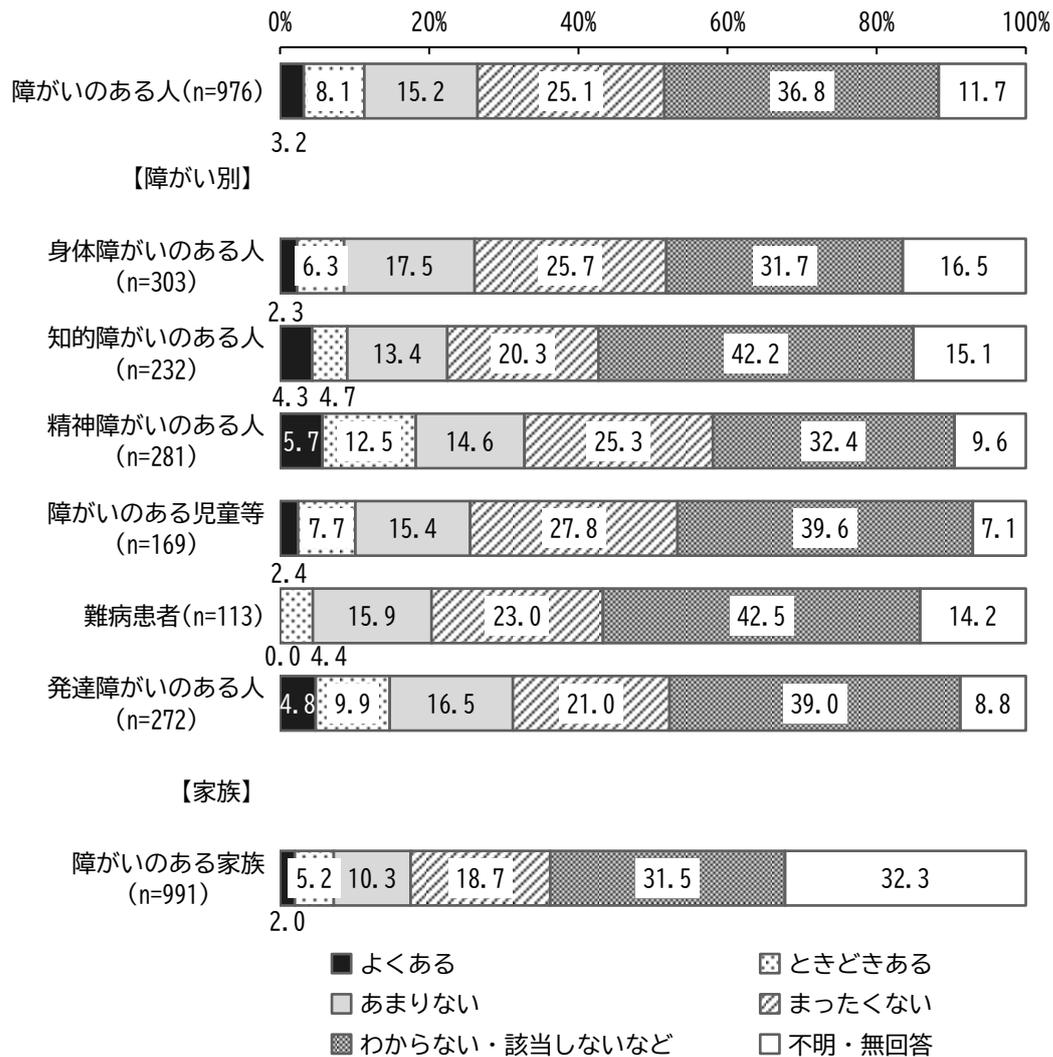


(9) SNS・インターネット上

SNS・インターネット上で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が11.3%、『ない』が40.3%、「わからない・該当しないなど」が36.8%となっています。

障がい別では、『ある』が身体障がいのある人で8.6%、知的障がいのある人で9.0%、精神障がいのある人で18.2%となっています。

(単数回答)

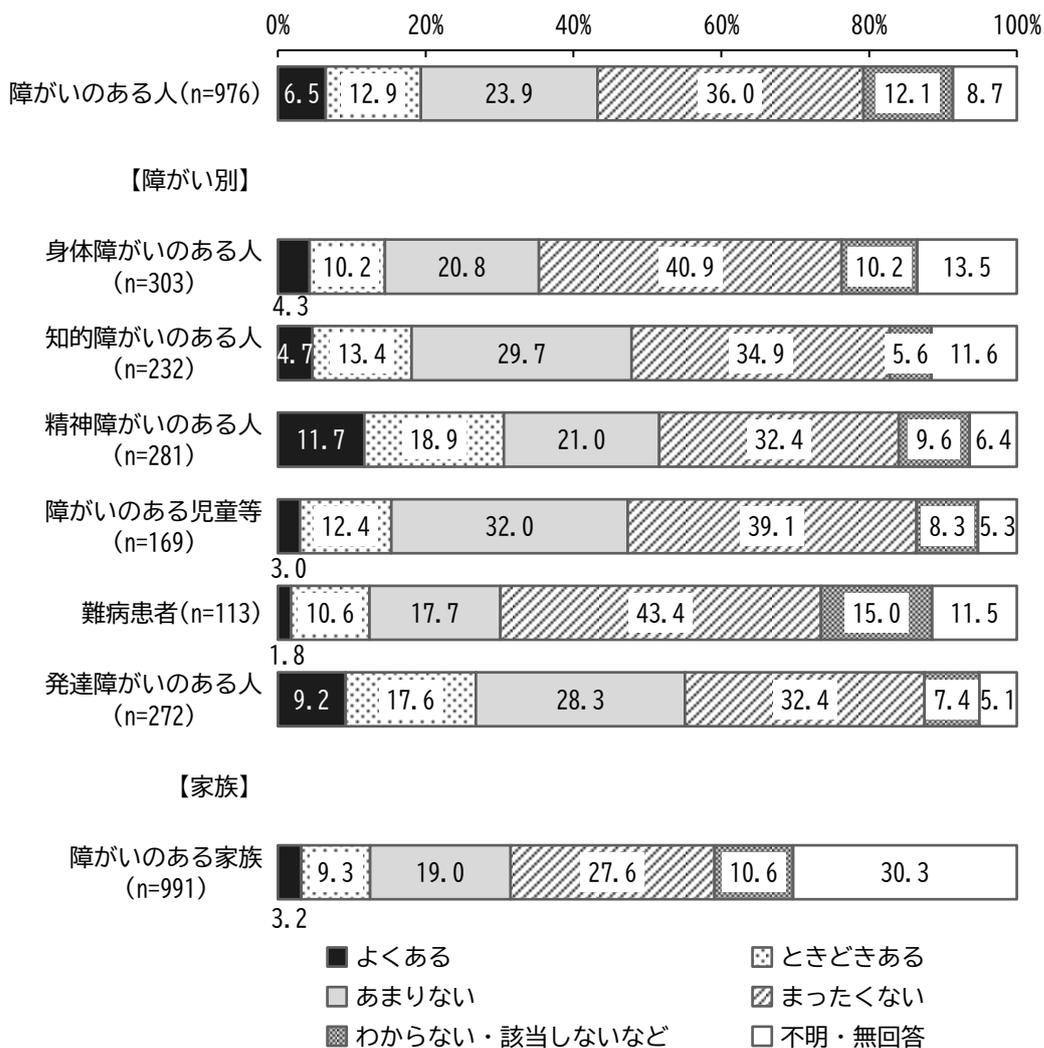


(10) 家庭内・親族などとの関係

家庭内・親族などとの関係で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が19.4%、『ない』が59.9%、「わからない・該当しないなど」が12.1%となっています。

障がい別では、『ある』が身体障がいのある人で14.5%、知的障がいのある人で18.1%、精神障がいのある人で30.6%となっています。

(単数回答)



【問 19】あなたは、障がいのある人への理解を深めるために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。もっともあてはまるものに○をつけてください。

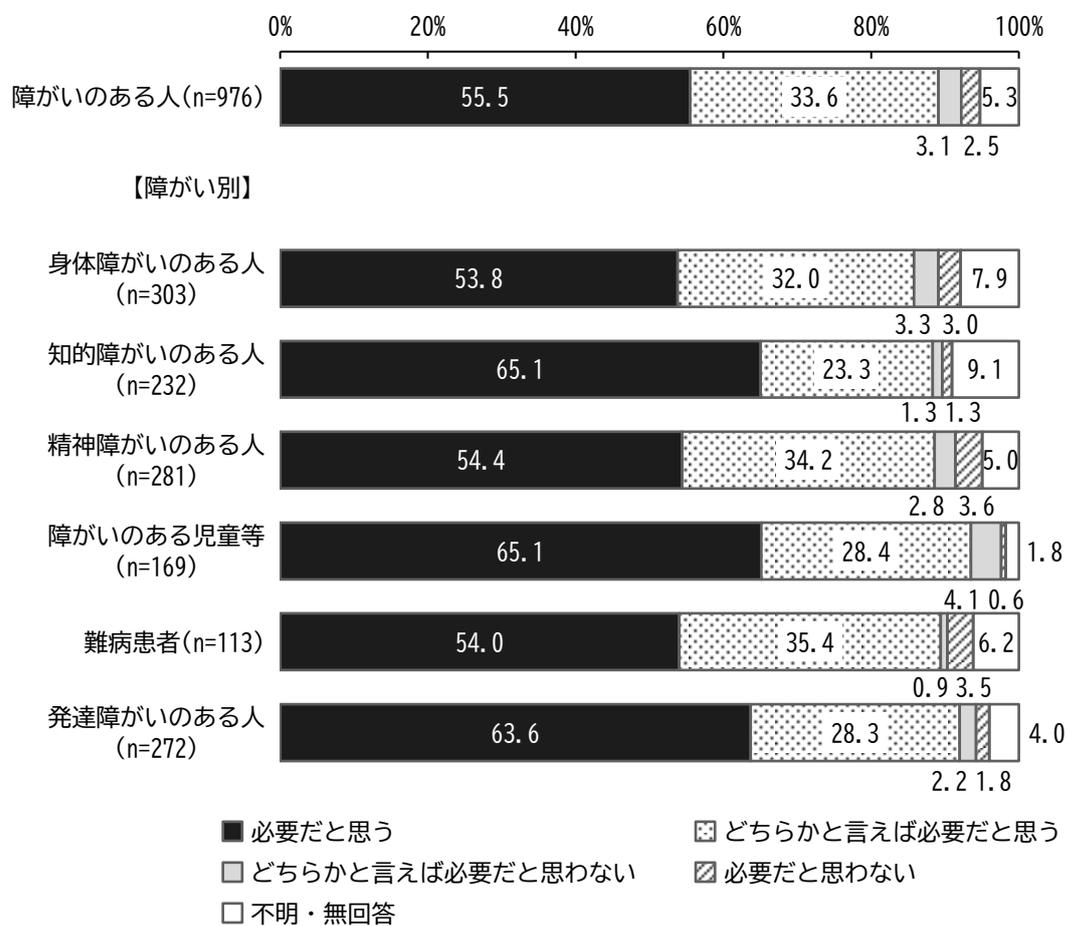
* 『必要だと思う』 = 「必要だと思う」と「どちらかと言えば必要だと思う」を合わせた割合
 『必要だと思わない』 = 「どちらかと言えば必要だと思わない」と「必要だと思わない」を合わせた割合

(1) 障がいへの理解を促す幼少期からの教育

障がいへの理解を促す幼少期からの教育が必要だと思うかは、『必要だと思う』が89.1%、『必要だと思わない』が5.6%となっています。

障がい別では、『必要だと思う』が身体障がいのある人で85.8%、知的障がいのある人で88.4%、精神障がいのある人で88.6%となっています。

(単数回答)

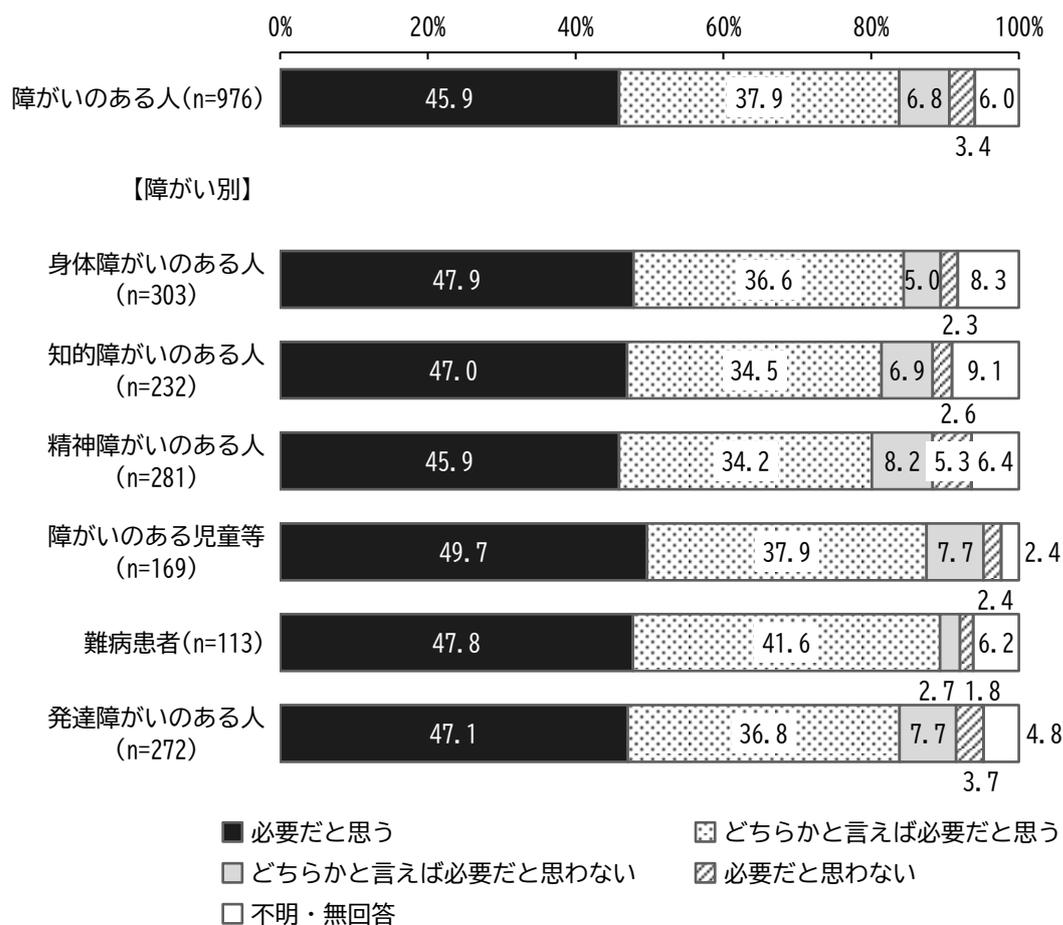


(2) 障がいの有無に関わらず共に学ぶ幼少期からの教育（インクルーシブ教育）の推進

障がいの有無に関わらず共に学ぶ幼少期からの教育（インクルーシブ教育）の推進が必要だと思うかは、『必要だと思う』が83.8%、『必要だと思わない』が10.2%となっています。

障がい別では、『必要だと思う』が身体障がいのある人で84.5%、知的障がいのある人で81.5%、精神障がいのある人で80.1%となっています。

(単数回答)

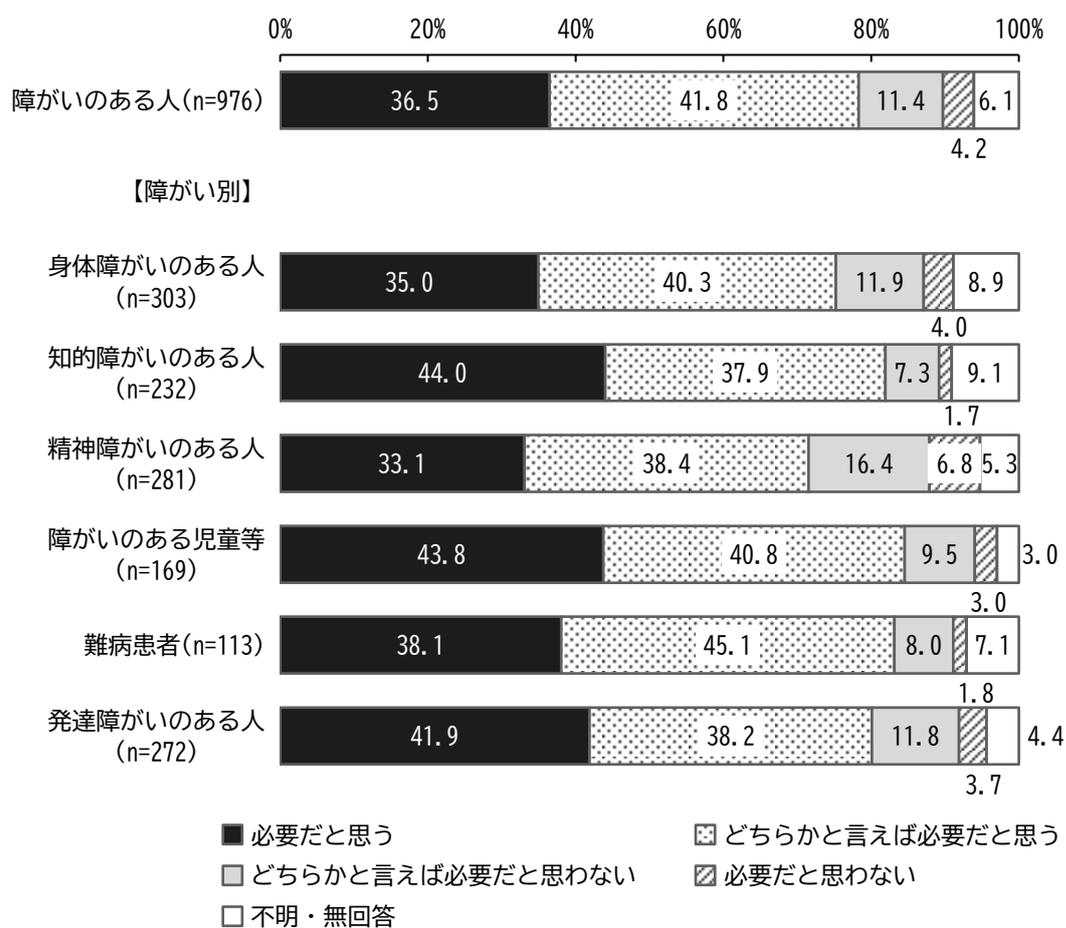


(3) 障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催

障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催が必要だと思うかは、『必要だと思う』が78.3%、『必要だと思わない』が15.6%となっています。

障がい別では、『必要だと思う』が身体障がいのある人で75.3%、知的障がいのある人で81.9%、精神障がいのある人で71.5%となっています。

(単数回答)

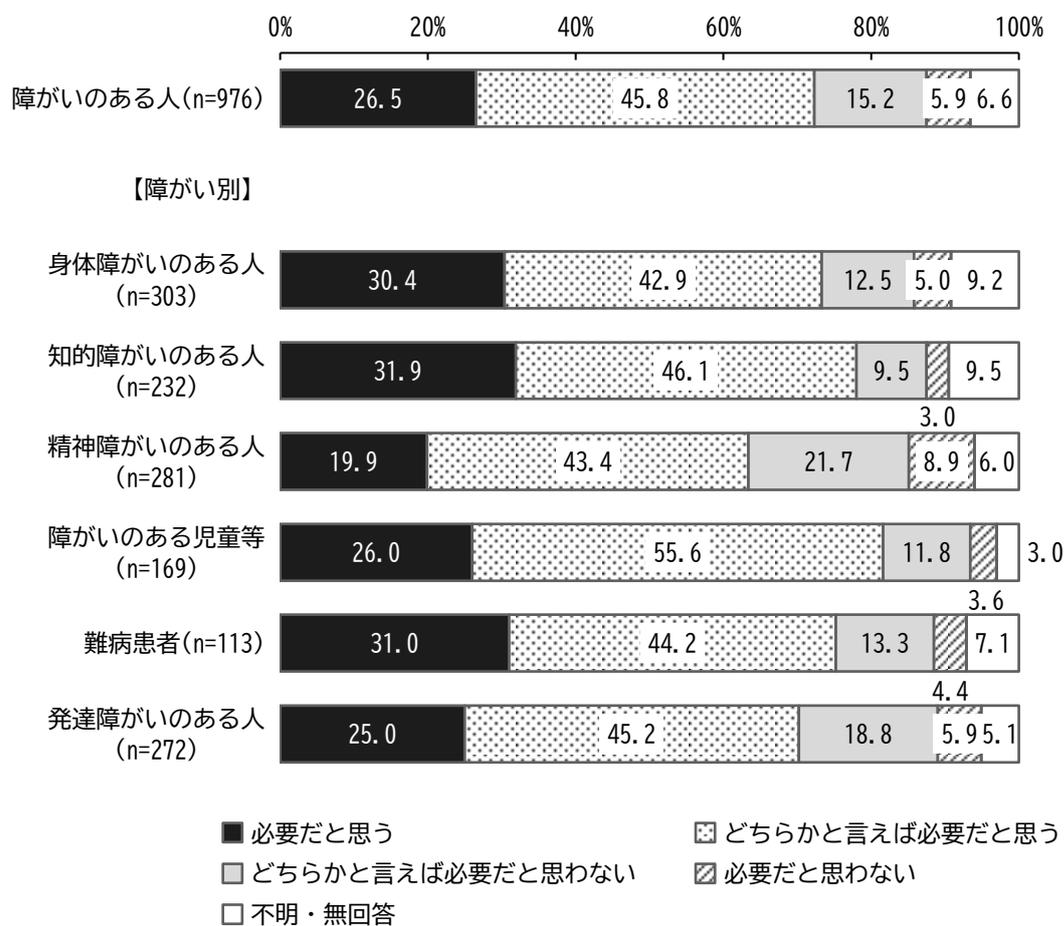


(4) ボランティア活動の促進

ボランティア活動の促進が必要だと思うかは、『必要だと思う』が72.3%、『必要だと思わない』が21.1%となっています。

障がい別では、『必要だと思う』が身体障がいのある人で73.3%、知的障がいのある人で78.0%、精神障がいのある人で63.3%となっています。

(単数回答)

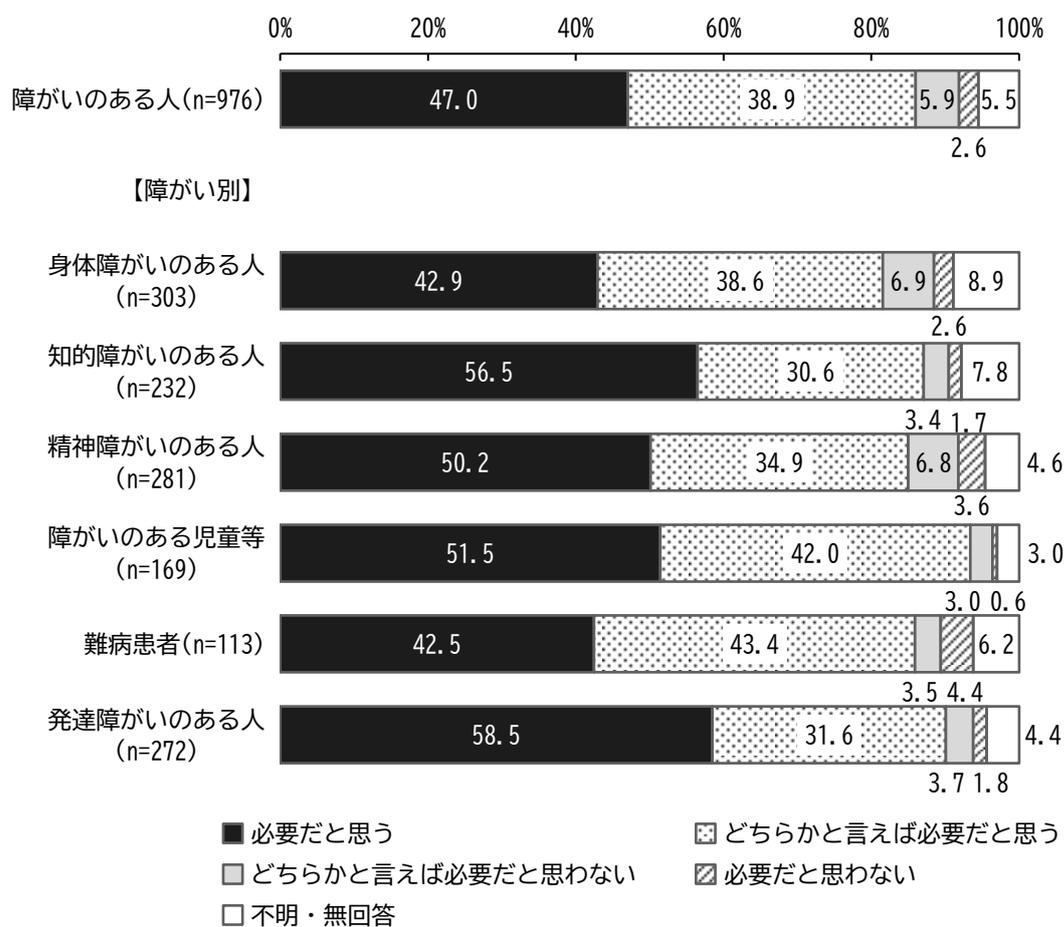


(5) 障がいへの社会全体の理解を深めるための広報・啓発

障がいへの社会全体の理解を深めるための広報・啓発が必要だと思うかは、『必要だと思う』が85.9%、『必要だと思わない』が8.5%となっています。

障がい別では、『必要だと思う』が身体障がいのある人で81.5%、知的障がいのある人で87.1%、精神障がいのある人で85.1%となっています。

(単数回答)

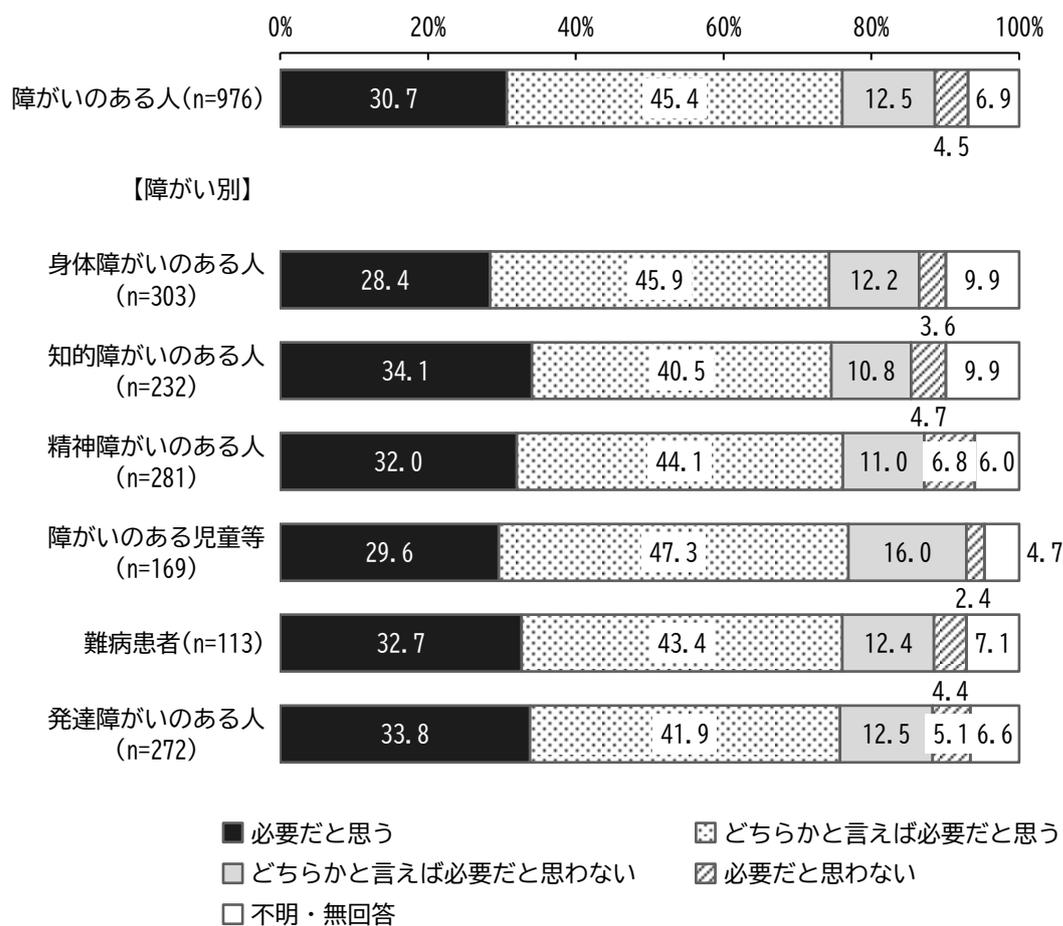


(6) 障がいのある人の施設入所から地域生活への移行

障がいのある人の施設入所から地域生活への移行が必要だと思うかは、『必要だと思う』が76.1%、『必要だと思わない』が17.0%となっています。

障がい別では、『必要だと思う』が身体障がいのある人で74.3%、知的障がいのある人で74.6%、精神障がいのある人で76.1%となっています。

(単数回答)



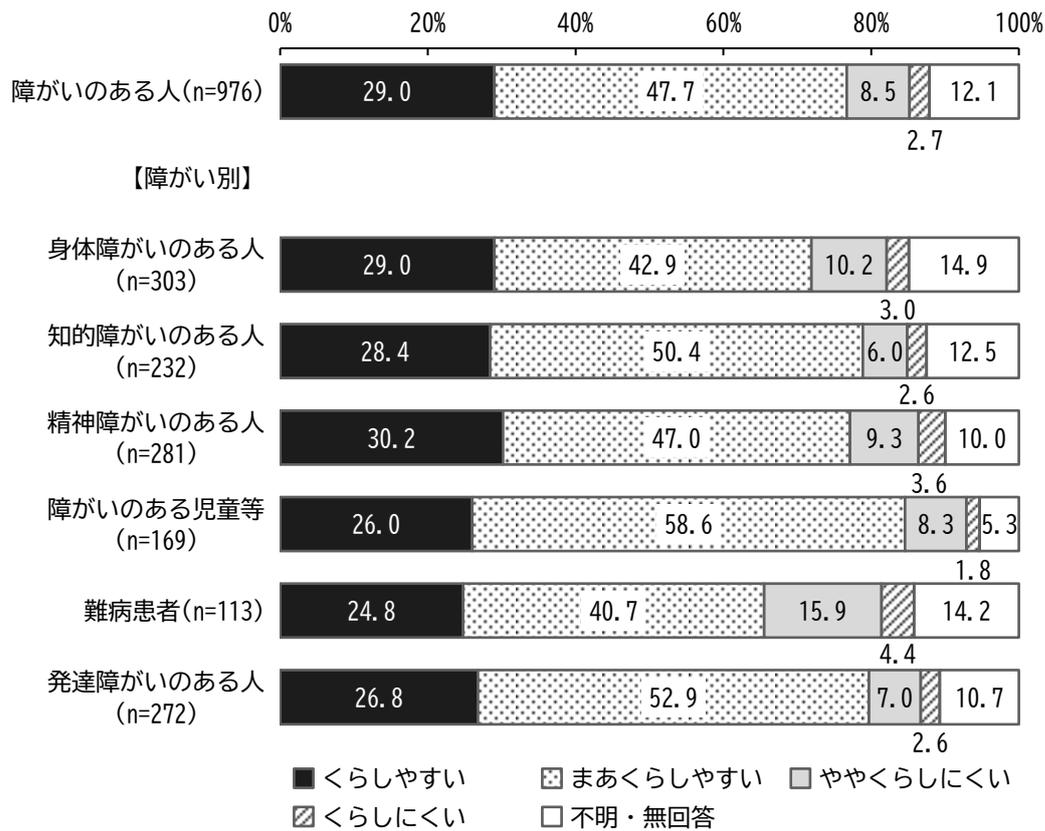
【問 20】春日井市をくらしやすいまちだと思いますか。

* 『くらしやすい』 = 「くらしやすい」と「まあくらしやすい」を合わせた割合
 『くらしにくい』 = 「ややくらしにくい」と「くらしにくい」を合わせた割合

春日井市をくらしやすいまちだと思うかは、『くらしやすい』が76.7%、『くらしにくい』が11.2%となっています。

障がい別では、『くらしやすい』が身体障がいのある人で71.9%、知的障がいのある人で78.8%、精神障がいのある人で77.2%となっています。

(単数回答)



【問 21】春日井市の施策について、今後特に重要だと思うこと（重要度）と、現状の満足度について、もっともあてはまるものに○をつけてください。

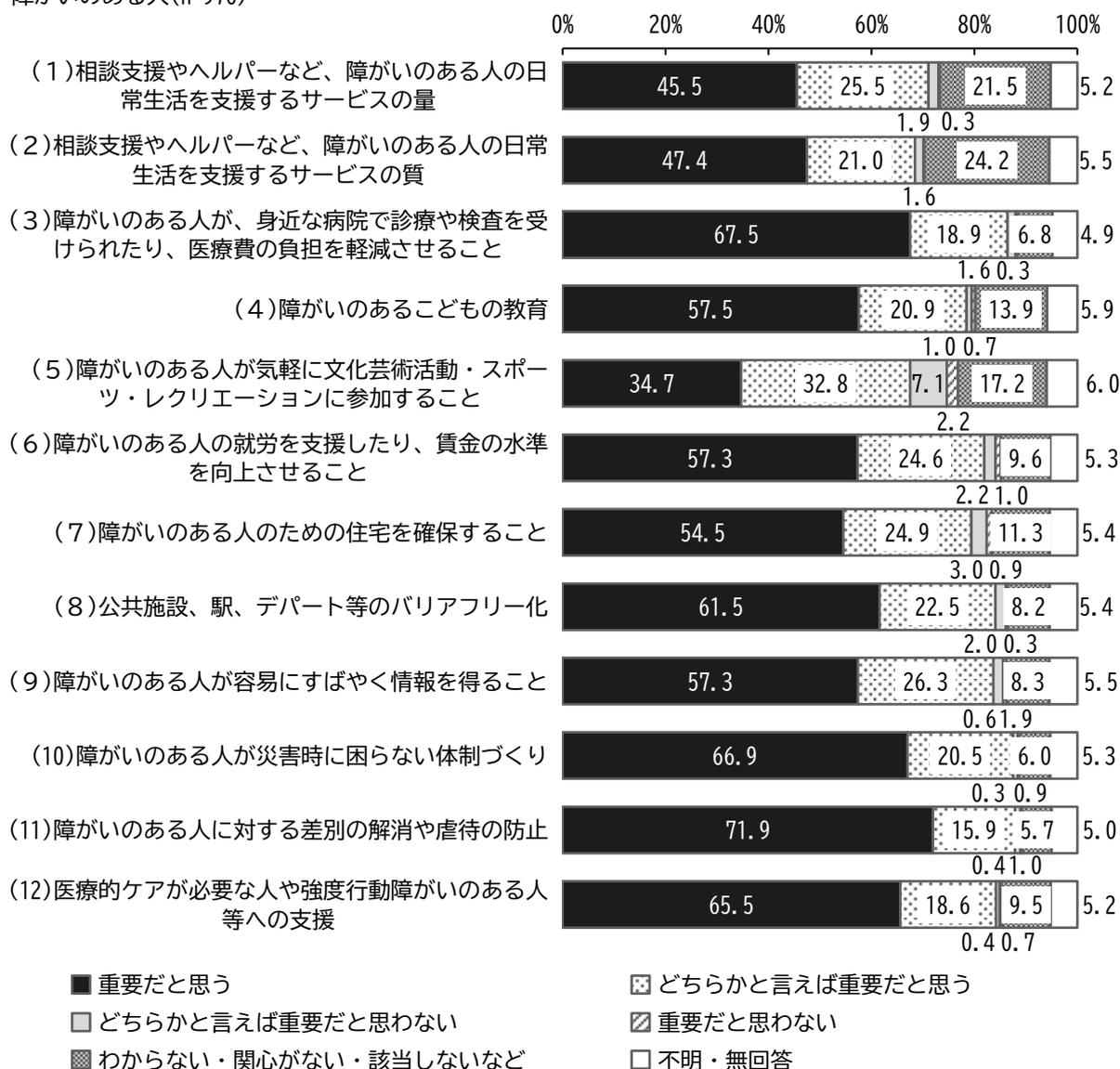
- * 【重要度】『重要だと思う』 = 「重要だと思う」と「どちらかと言えば重要だと思う」を合わせた割合
『重要だと思わない』 = 「どちらかと言えば重要だと思わない」と「重要だと思わない」を合わせた割合
- * 【満足度】『満足している』 = 「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合わせた割合
『満足していない』 = 「どちらかと言えば満足していない」と「満足していない」を合わせた割合

「差別解消や虐待防止」「災害に困らない体制づくり」「医療的ケアが必要な人等への支援」について、各障がいともに重要度が高く満足度が低い重点課題施策となっています。

【重要度】

(単数回答)

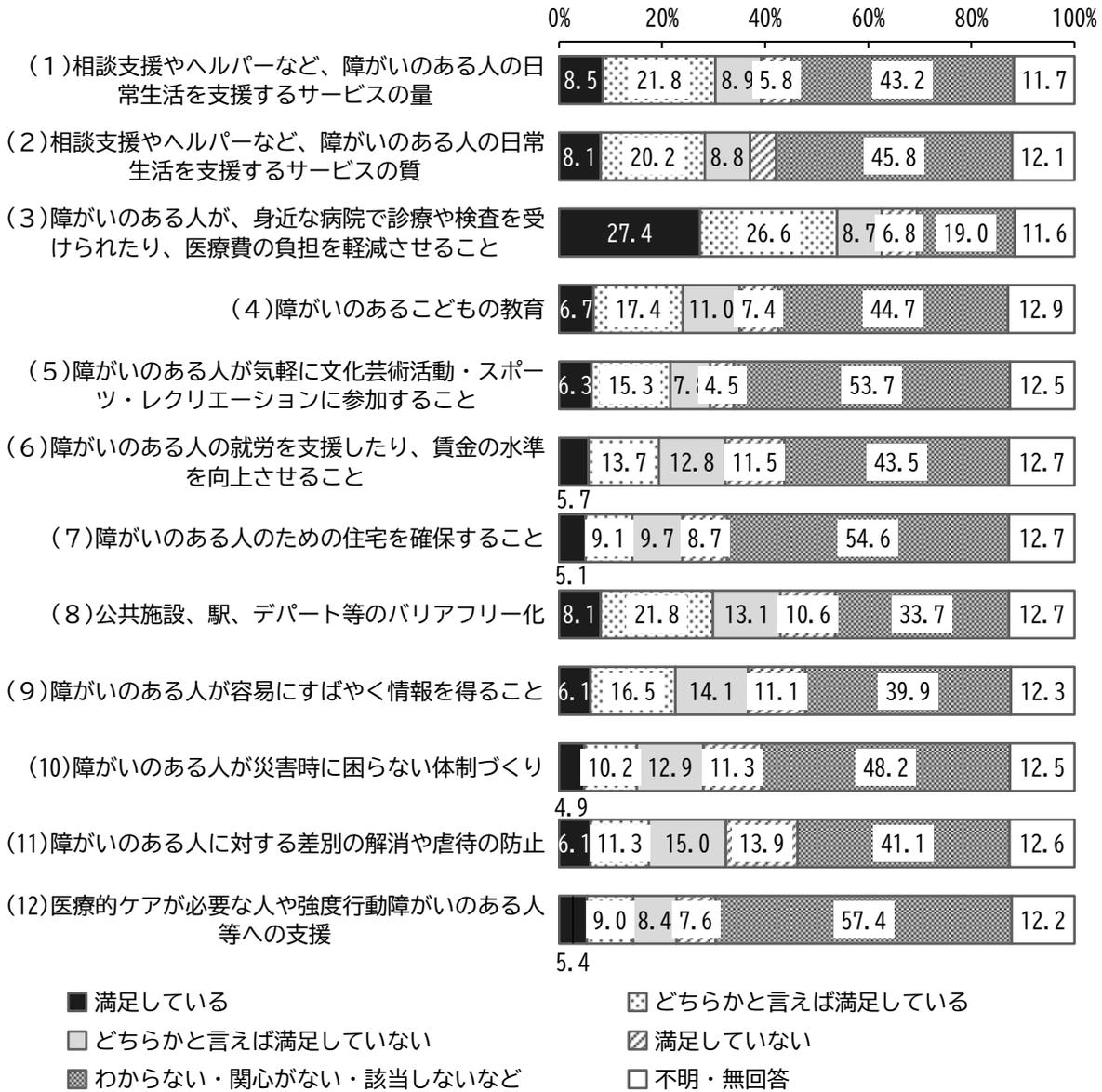
障がいのある人(n=976)



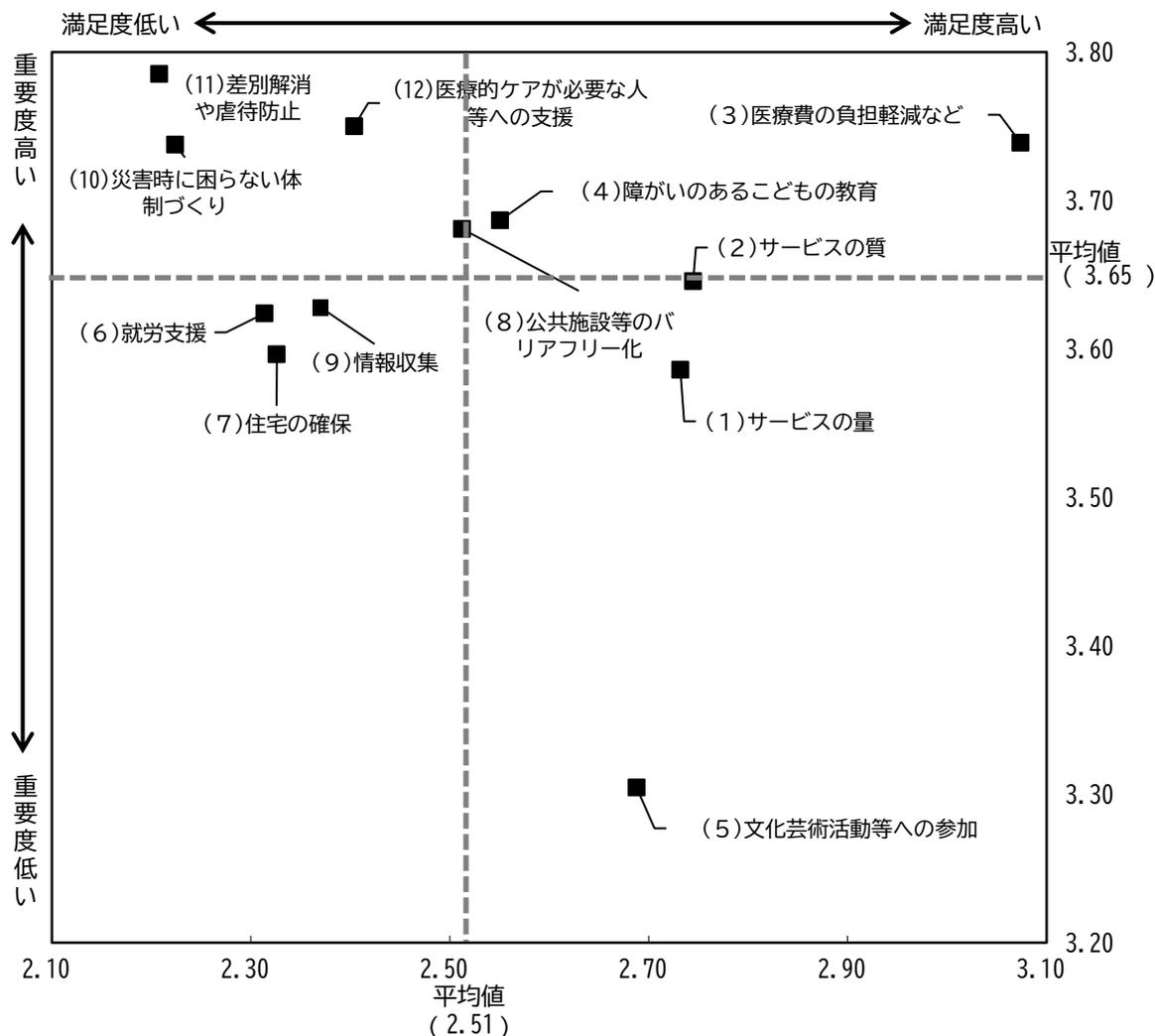
【満足度】

(単数回答)

障がいのある人(n=976)

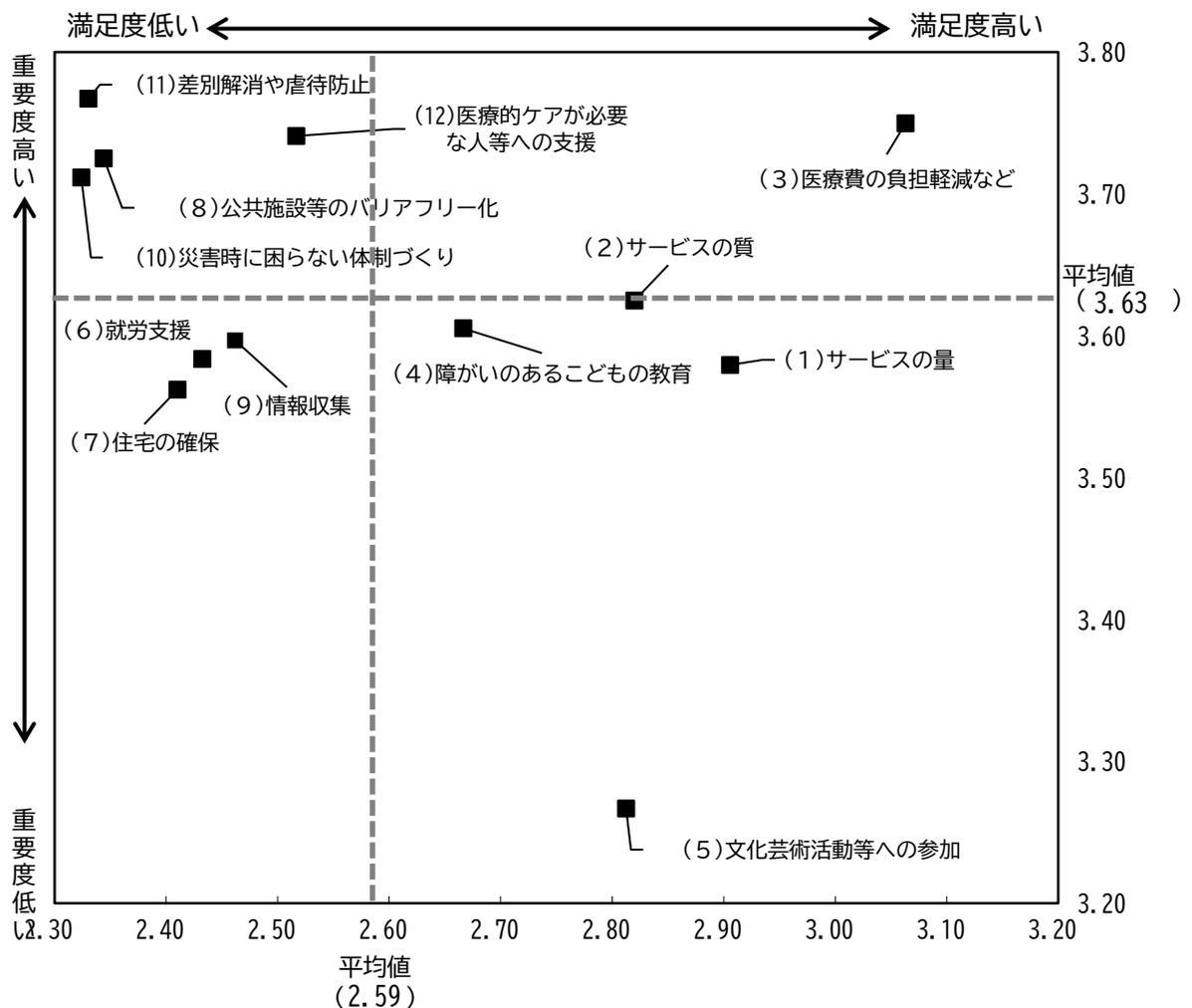


■全体



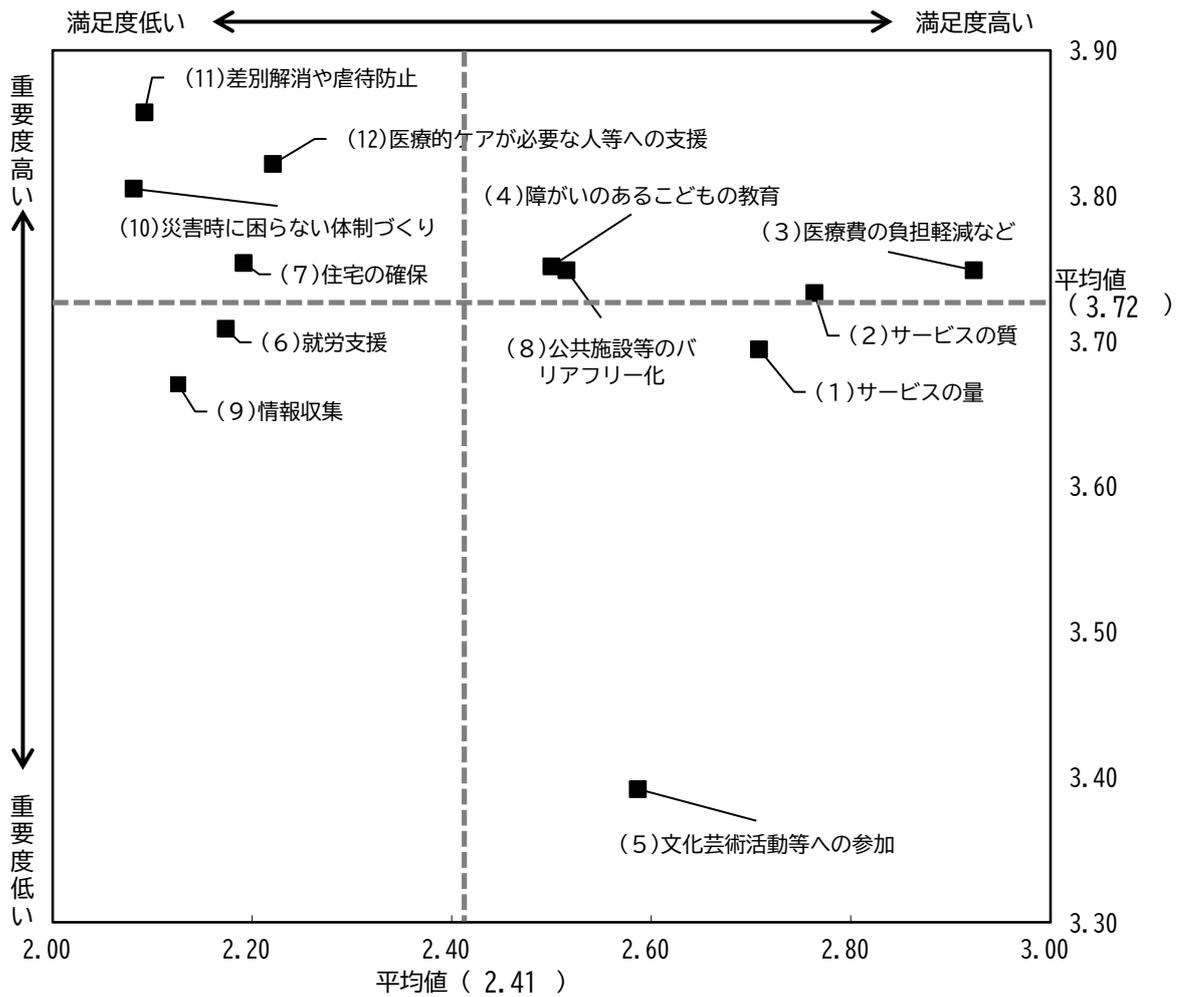
区分	満足度	重要度
(1) 相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの量	2.73	3.59
(2) 相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの質	2.74	3.65
(3) 障がいのある人が、身近な病院で診療や検査を受けられたり、医療費の負担を軽減させること	3.07	3.74
(4) 障がいのあるこどもの教育	2.55	3.69
(5) 障がいのある人が気軽に文化芸術活動・スポーツ・レクリエーションに参加すること	2.69	3.30
(6) 障がいのある人の就労を支援したり、賃金の水準を向上させること	2.31	3.62
(7) 障がいのある人のための住宅を確保すること	2.33	3.60
(8) 公共施設、駅、デパート等のバリアフリー化	2.51	3.68
(9) 障がいのある人が容易にすばやく情報を得ること	2.37	3.63
(10) 障がいのある人が災害時に困らない体制づくり	2.22	3.74
(11) 障がいのある人に対する差別の解消や虐待の防止	2.21	3.79
(12) 医療的ケアが必要な人や強度行動障がいのある人等への支援	2.40	3.75

■障がい別（身体障がいのある人）



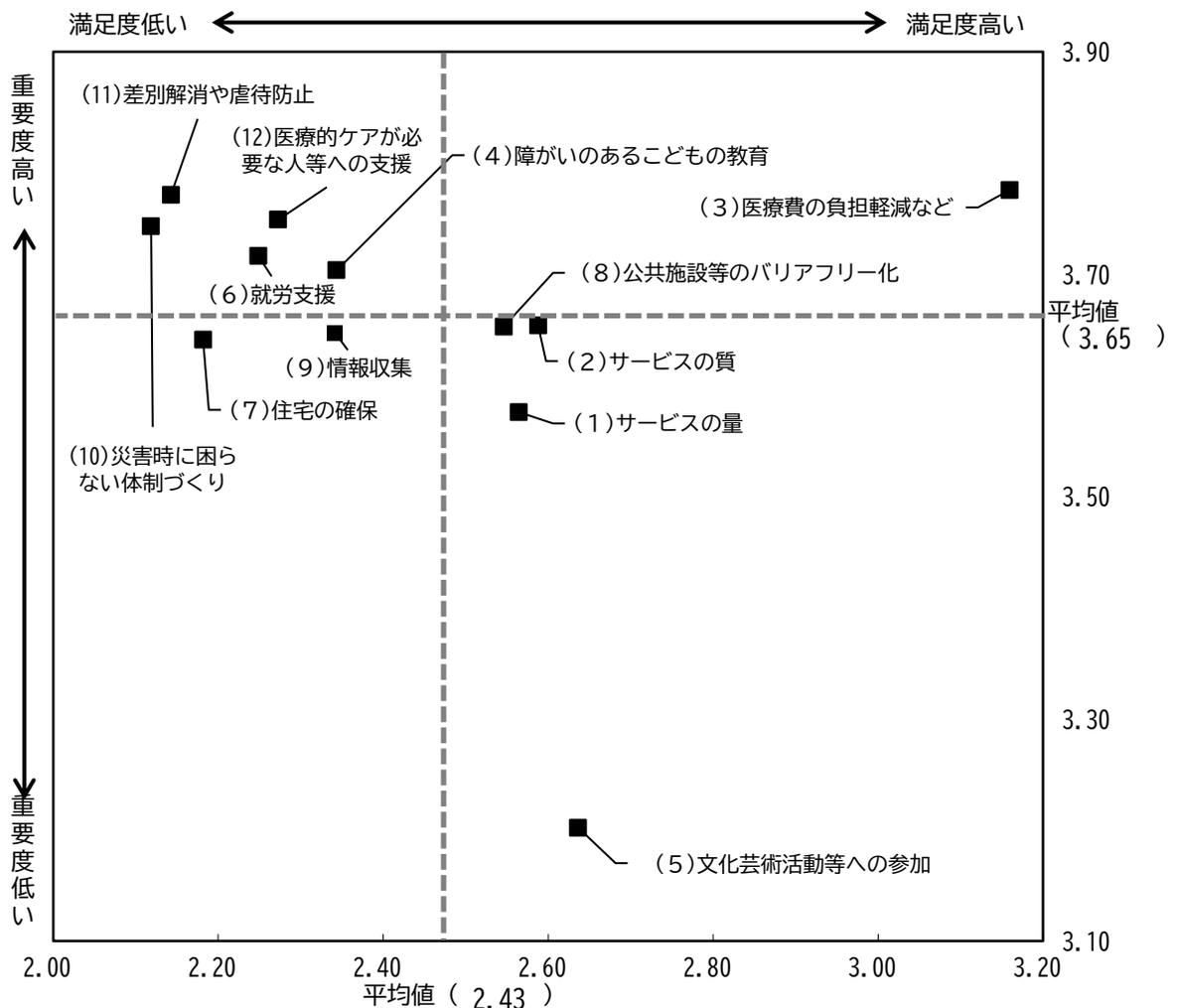
区分	満足度	重要度
(1)相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの量	2.91	3.58
(2)相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの質	2.82	3.63
(3)障がいのある人が、身近な病院で診察や検査を受けられたり、医療費の負担を軽減させること	3.06	3.75
(4)障がいのあるこどもの教育	2.67	3.61
(5)障がいのある人が気軽に文化芸術活動・スポーツ・レクリエーションに参加すること	2.81	3.27
(6)障がいのある人の就労を支援したり、賃金の水準を向上させること	2.43	3.58
(7)障がいのある人のための住宅を確保すること	2.41	3.56
(8)公共施設、駅、デパート等のバリアフリー化	2.34	3.73
(9)障がいのある人が容易にすばやく情報を得ること	2.46	3.60
(10)障がいのある人が災害時に困らない体制づくり	2.32	3.71
(11)障がいのある人に対する差別の解消や虐待の防止	2.33	3.77
(12)医療的ケアが必要な人や強度行動障がいのある人等への支援	2.52	3.74

■障がい別（知的障がいのある人）



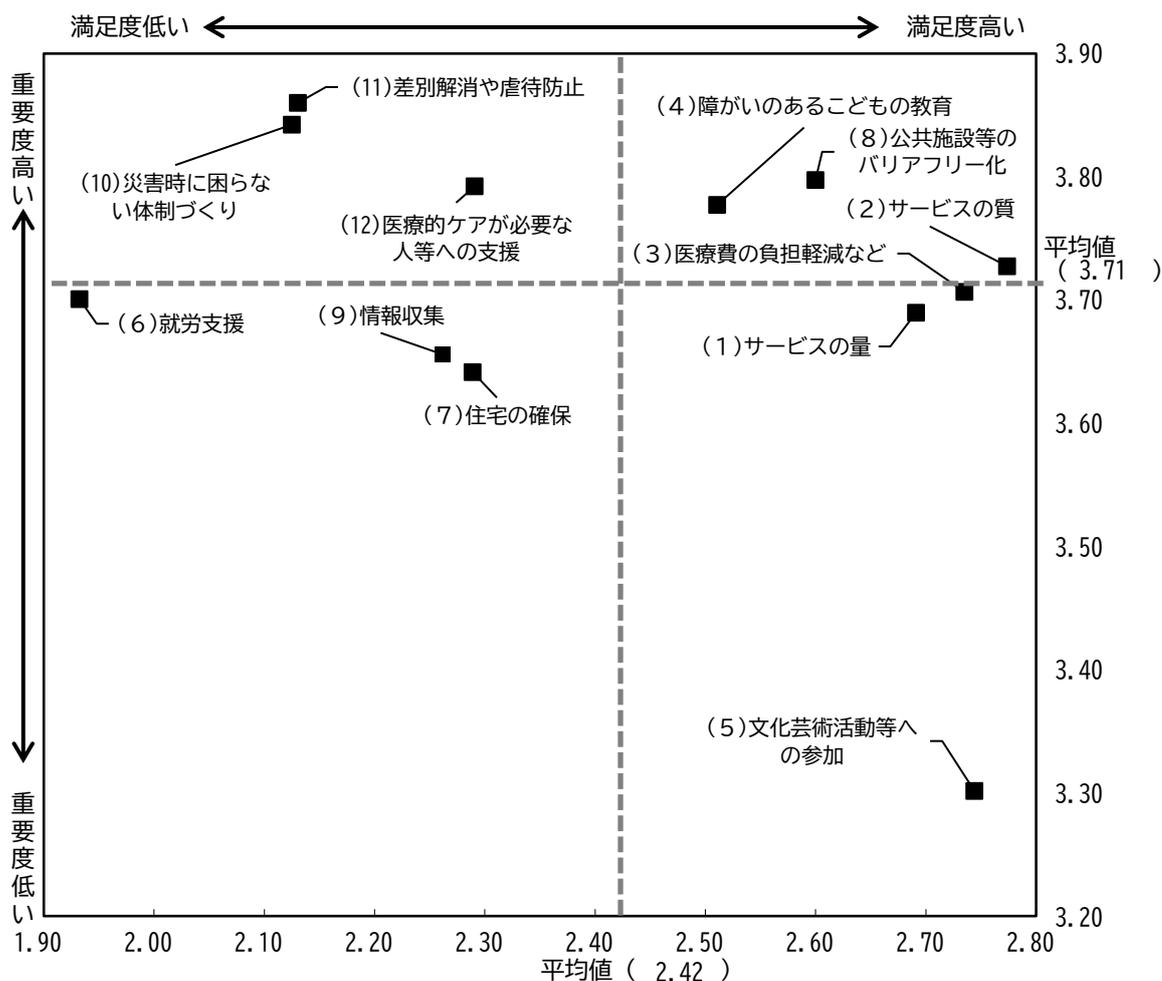
区分	満足度	重要度
(1) 相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの量	2.71	3.69
(2) 相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの質	2.76	3.73
(3) 障がいのある人が、身近な病院で診察や検査を受けられたり、医療費の負担を軽減させること	2.92	3.75
(4) 障がいのあるこどもの教育	2.50	3.75
(5) 障がいのある人が気軽に文化芸術活動・スポーツ・レクリエーションに参加すること	2.59	3.39
(6) 障がいのある人の就労を支援したり、賃金の水準を向上させること	2.17	3.71
(7) 障がいのある人のための住宅を確保すること	2.19	3.75
(8) 公共施設、駅、デパート等のバリアフリー化	2.51	3.75
(9) 障がいのある人が容易にすばやく情報を得ること	2.13	3.67
(10) 障がいのある人が災害時に困らない体制づくり	2.08	3.80
(11) 障がいのある人に対する差別の解消や虐待の防止	2.09	3.86
(12) 医療的ケアが必要な人や強度行動障がいのある人等への支援	2.22	3.82

■障がい別（精神障がいのある人）



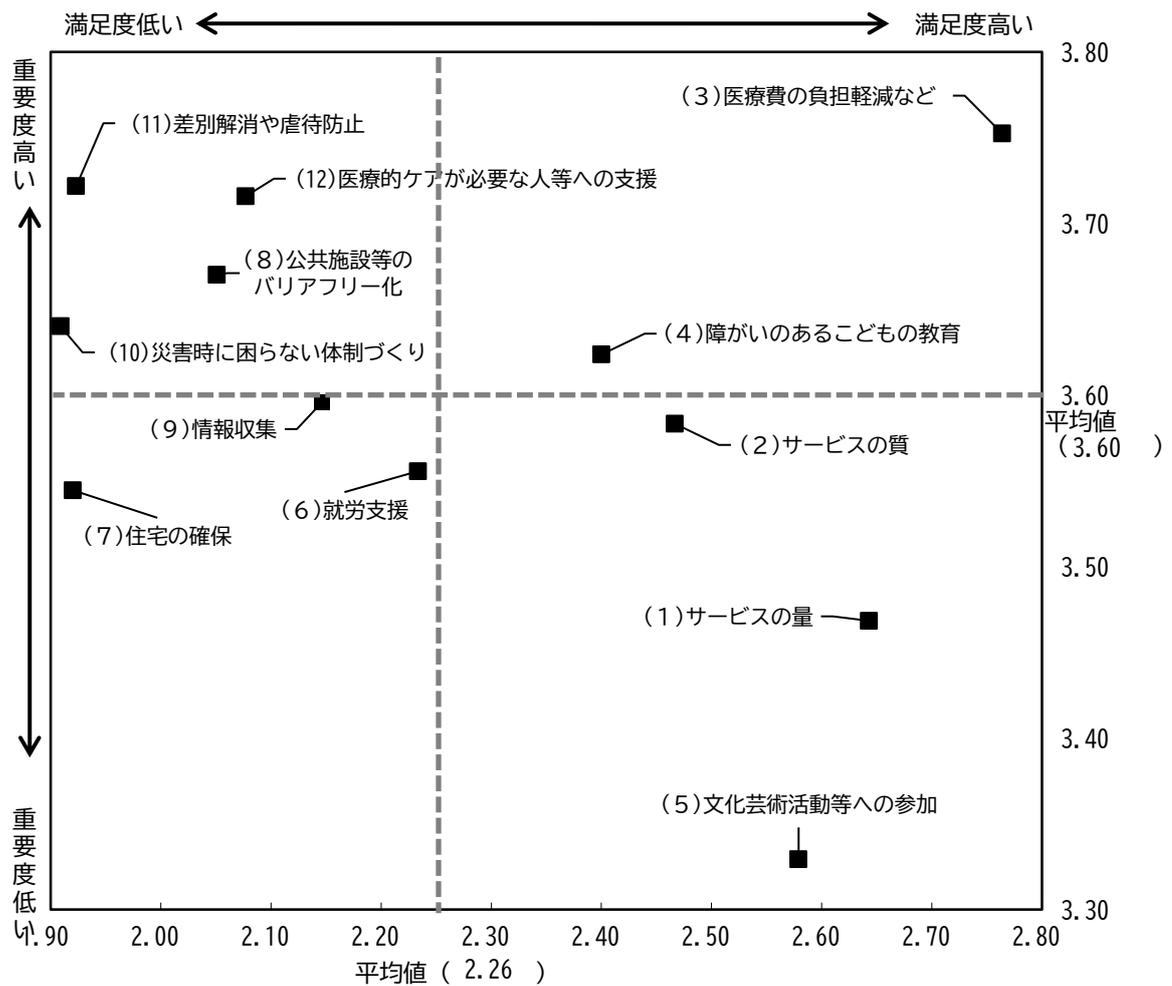
区分	満足度	重要度
(1) 相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの量	2.56	3.58
(2) 相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの質	2.59	3.65
(3) 障がいのある人が、身近な病院で診察や検査を受けられたり、医療費の負担を軽減させること	3.16	3.78
(4) 障がいのあるこどもの教育	2.34	3.70
(5) 障がいのある人が気軽に文化芸術活動・スポーツ・レクリエーションに参加すること	2.64	3.20
(6) 障がいのある人の就労を支援したり、賃金の水準を向上させること	2.25	3.72
(7) 障がいのある人のための住宅を確保すること	2.18	3.64
(8) 公共施設、駅、デパート等のバリアフリー化	2.55	3.65
(9) 障がいのある人が容易にすばやく情報を得ること	2.34	3.65
(10) 障がいのある人が災害時に困らない体制づくり	2.12	3.74
(11) 障がいのある人に対する差別の解消や虐待の防止	2.14	3.77
(12) 医療的ケアが必要な人や強度行動障がいのある人等への支援	2.27	3.75

■障がい別（障がいのある児童）



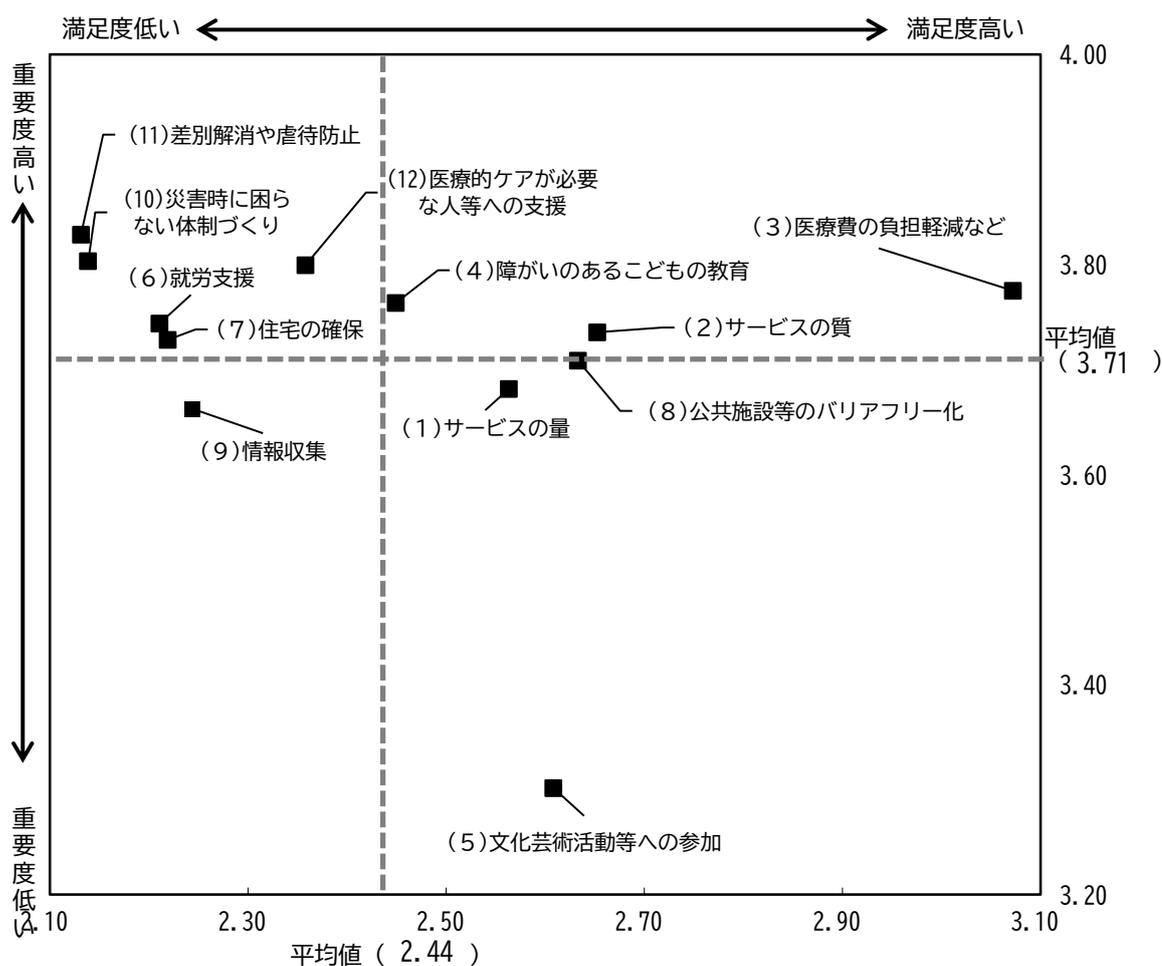
区分	満足度	重要度
(1)相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの量	2.69	3.69
(2)相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの質	2.77	3.73
(3)障がいのある人が、身近な病院で診察や検査を受けられたり、医療費の負担を軽減させること	2.74	3.71
(4)障がいのあるこどもの教育	2.51	3.78
(5)障がいのある人が気軽に文化芸術活動・スポーツ・レクリエーションに参加すること	2.74	3.30
(6)障がいのある人の就労を支援したり、賃金の水準を向上させること	1.93	3.70
(7)障がいのある人のための住宅を確保すること	2.29	3.64
(8)公共施設、駅、デパート等のバリアフリー化	2.60	3.80
(9)障がいのある人が容易にすばやく情報を得ること	2.26	3.66
(10)障がいのある人が災害時に困らない体制づくり	2.13	3.84
(11)障がいのある人に対する差別の解消や虐待の防止	2.13	3.86
(12)医療的ケアが必要な人や強度行動障がいのある人等への支援	2.29	3.79

■障がい別（難病患者）



区分	満足度	重要度
(1)相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの量	2.64	3.47
(2)相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの質	2.47	3.58
(3)障がいのある人が、身近な病院で診療や検査を受けられたり、医療費の負担を軽減させること	2.76	3.75
(4)障がいのあるこどもの教育	2.40	3.62
(5)障がいのある人が気軽に文化芸術活動・スポーツ・レクリエーションに参加すること	2.58	3.33
(6)障がいのある人の就労を支援したり、賃金の水準を向上させること	2.23	3.56
(7)障がいのある人のための住宅を確保すること	1.92	3.54
(8)公共施設、駅、デパート等のバリアフリー化	2.05	3.67
(9)障がいのある人が容易にすばやく情報を得ること	2.15	3.60
(10)障がいのある人が災害時に困らない体制づくり	1.91	3.64
(11)障がいのある人に対する差別の解消や虐待の防止	1.92	3.72
(12)医療的ケアが必要な人や強度行動障がいのある人等への支援	2.08	3.72

■障がい別（発達障がいのある人）



区分	満足度	重要度
(1)相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの量	2.56	3.68
(2)相談支援やヘルパーなど、障がいのある人の日常生活を支援するサービスの質	2.65	3.74
(3)障がいのある人が、身近な病院で診察や検査を受けられたり、医療費の負担を軽減させること	3.07	3.78
(4)障がいのあるこどもの教育	2.45	3.76
(5)障がいのある人が気軽に文化芸術活動・スポーツ・レクリエーションに参加すること	2.61	3.30
(6)障がいのある人の就労を支援したり、賃金の水準を向上させること	2.21	3.74
(7)障がいのある人のための住宅を確保すること	2.22	3.73
(8)公共施設、駅、デパート等のバリアフリー化	2.63	3.71
(9)障がいのある人が容易にすばやく情報を得ること	2.24	3.66
(10)障がいのある人が災害時に困らない体制づくり	2.14	3.80
(11)障がいのある人に対する差別の解消や虐待の防止	2.13	3.83
(12)医療的ケアが必要な人や強度行動障がいのある人等への支援	2.36	3.80

(5) 家族の方への質問

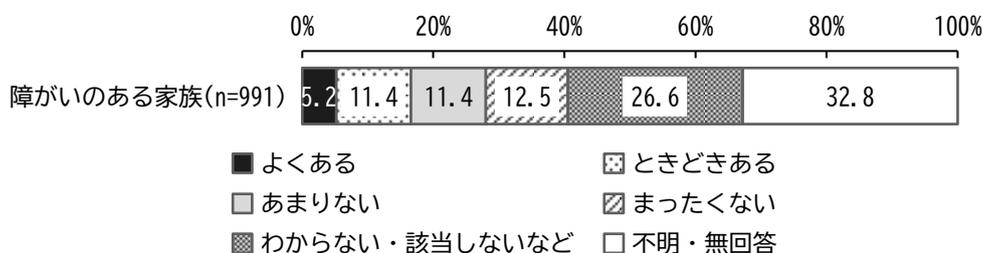
【問 22】 家族に障がいがあることで、普段の生活で不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。もっともあてはまるものに○をつけてください。

*『ある』 = 「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合
『ない』 = 「あまりない」と「まったくない」を合わせた割合

(1) 保育園・学校など

保育園・学校などで、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が16.6%、『ない』が23.9%、「わからない・関心がない・該当しないなど」が26.6%となっています。

(単数回答)



(2) 職場・就労の場

職場・就労の場で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が11.4%、『ない』が30.1%、「わからない・関心がない・該当しないなど」が26.7%となっています。

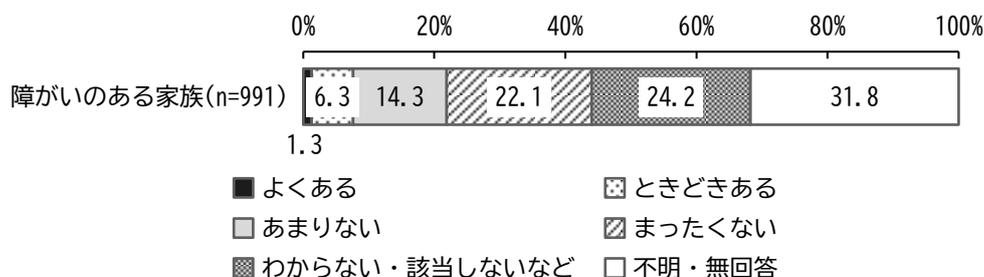
(単数回答)



(3) 相談支援事業所や福祉施設（相談支援事業所、グループホーム、就労継続支援事業所、地域活動支援センター、生活介護、放課後等デイサービスなど）

相談支援事業所や福祉施設（相談支援事業所、グループホーム、就労継続支援事業所、地域活動支援センター、生活介護、放課後等デイサービスなど）で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が7.6%、『ない』が36.4%、「わからない・関心がない・該当しないなど」が24.2%となっています。

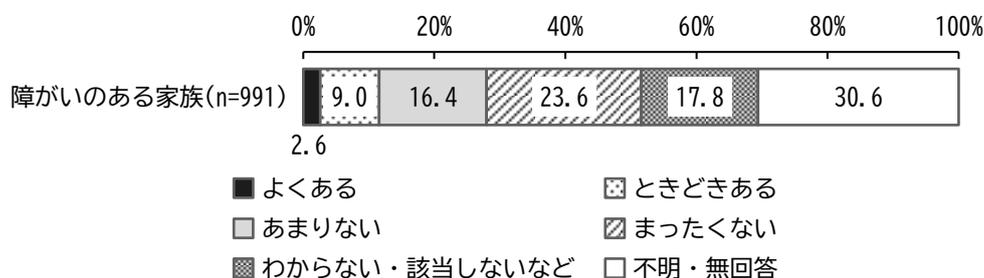
(単数回答)



(4) 公共交通機関（電車・バス・タクシーなど）

公共交通機関（電車・バス・タクシーなど）で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が11.6%、『ない』が40.0%、「わからない・関心がない・該当しないなど」が17.8%となっています。

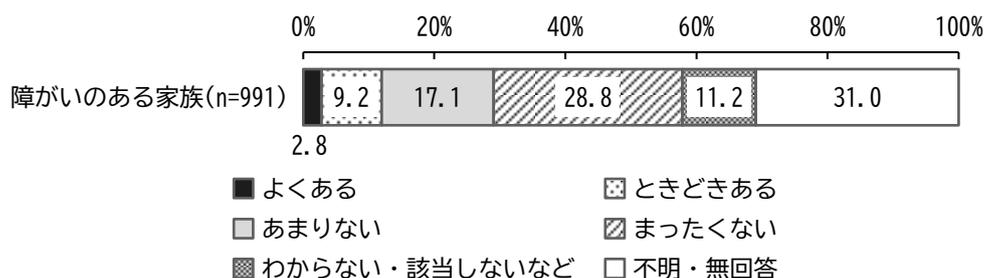
(単数回答)



(5) 医療機関（病院・クリニック・歯科・薬局など）

医療機関（病院・クリニック・歯科・薬局など）で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が12.0%、『ない』が45.9%、「わからない・関心がない・該当しないなど」が11.2%となっています。

(単数回答)



(6) 店舗・飲食店・サービス施設など

店舗・飲食店・サービス施設などで、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が11.8%、『ない』が42.5%、「わからない・関心がない・該当しないなど」が13.9%となっています。

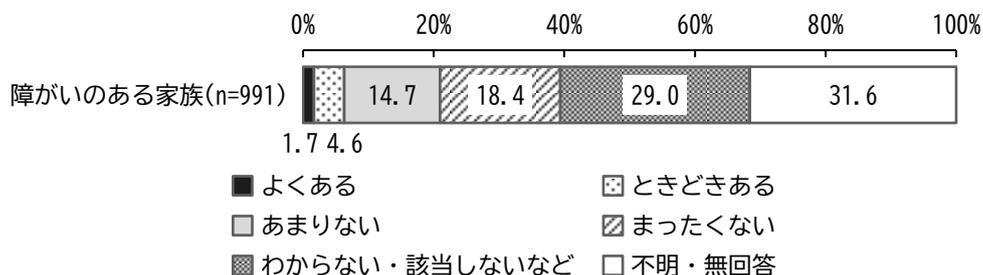
(単数回答)



(7) 地域の行事・地域活動の場 (町内会・PTA、ボランティアなど)

地域の行事・地域活動の場 (町内会・PTA、ボランティアなど) で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が6.3%、『ない』が33.1%、「わからない・関心がない・該当しないなど」が29.0%となっています。

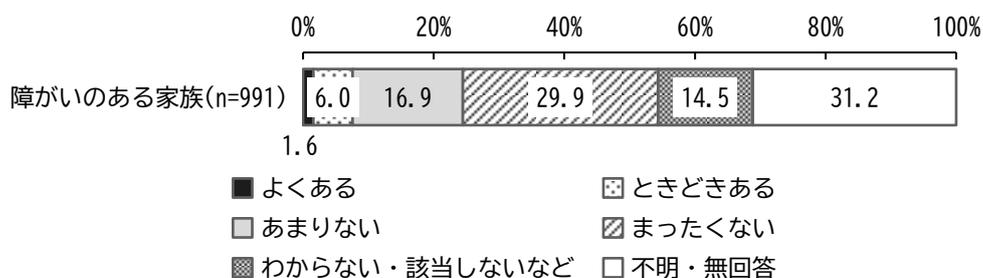
(単数回答)



(8) 行政機関・市役所の窓口など

行政機関・市役所の窓口などで、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が7.6%、『ない』が46.8%、「わからない・関心がない・該当しないなど」が14.5%となっています。

(単数回答)



(9) SNS・インターネット上

SNS・インターネット上で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が7.2%、『ない』が29.0%、「わからない・関心がない・該当しないなど」が31.5%となっています。

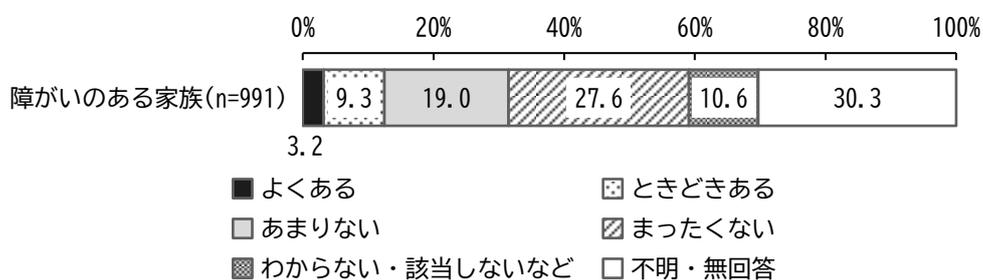
(単数回答)



(10) 家庭内・親族などとの関係

家庭内・親族などとの関係で、不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがあるかは、『ある』が12.5%、『ない』が46.6%、「わからない・関心がない・該当しないなど」が10.6%となっています。

(単数回答)



【問 23】 今後、障がいのあるこどもの支援について、重要だと思うことは何ですか。
 もっともあてはまるものに○をつけてください。

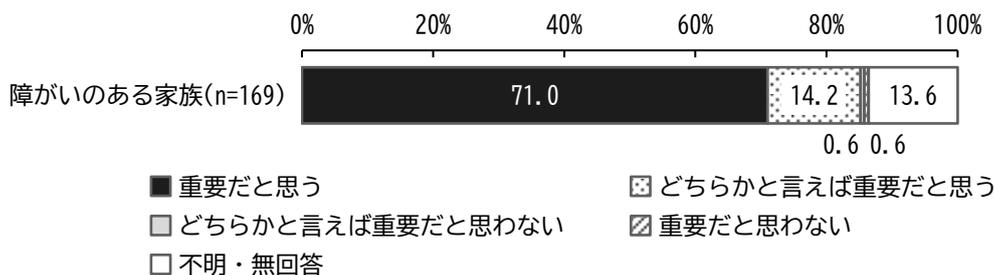
*18歳未満の障がいのお子さんをお持ちの方への質問

*『重要だと思う』 = 「重要だと思う」と「どちらかと言えば重要だと思う」を合わせた割合
 『重要だと思わない』 = 「どちらかと言えば重要だと思わない」と「重要だと思わない」を合わせた割合

(1) 保護者が気軽に相談できる機会

保護者が気軽に相談できる機会が重要であると思うかは、『重要だと思う』が85.2%、『重要だと思わない』が1.2%となっています。

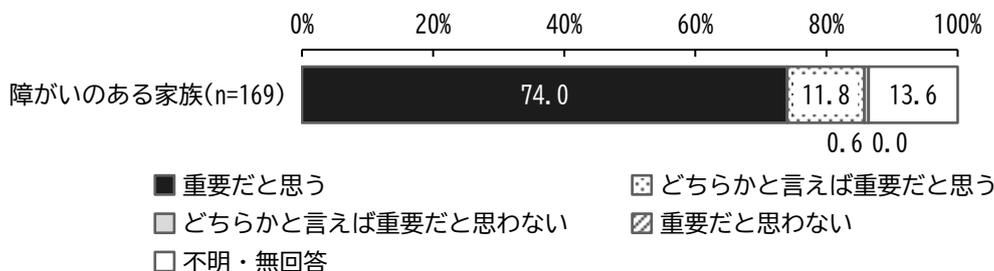
(単数回答)



(2) 進学相談・進路相談

進学相談・進路相談が重要であると思うかは、『重要だと思う』が85.8%、『重要だと思わない』が0.6%となっています。

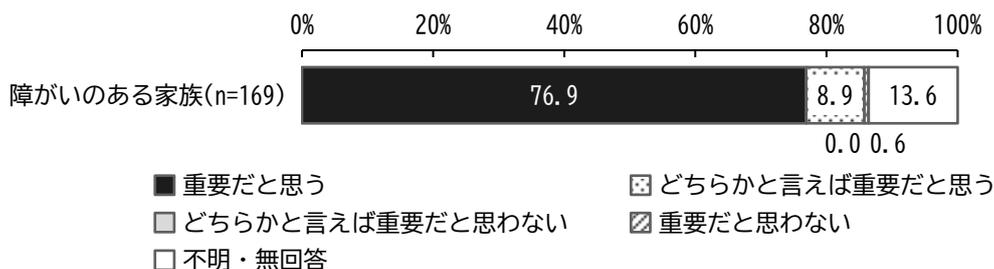
(単数回答)



(3) 障がいの程度・内容にあった教育・療育の機会

障がいの程度・内容にあった教育・療育の機会が重要であると思うかは、『重要だと思う』が85.8%、『重要だと思わない』が0.6%となっています。

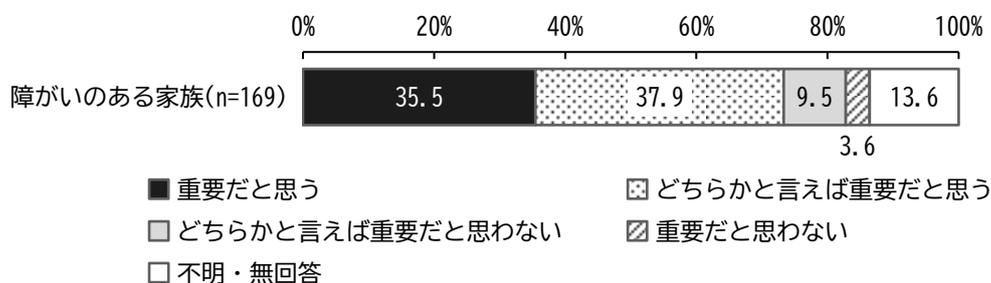
(単数回答)



(4) 障がいのない子どもとの交流及び共同学習

障がいのない子どもとの交流及び共同学習が重要であると思うかは、『重要だと思う』が73.4%、『重要だと思わない』が13.1%となっています。

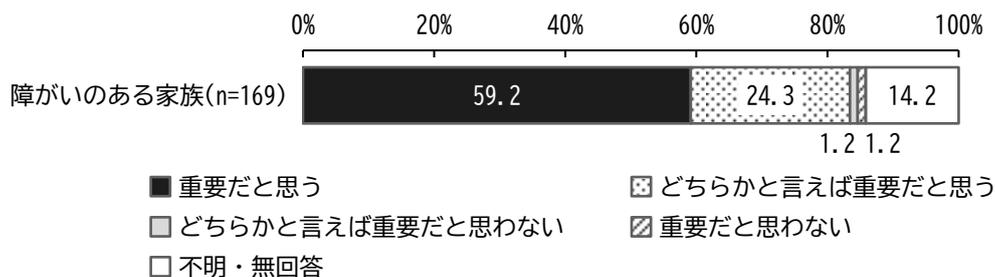
(単数回答)



(5) 児童、生徒の障がいへの理解を促す教育

児童、生徒の障がいへの理解を促す教育が重要であると思うかは、『重要だと思う』が83.5%、『重要だと思わない』が2.4%となっています。

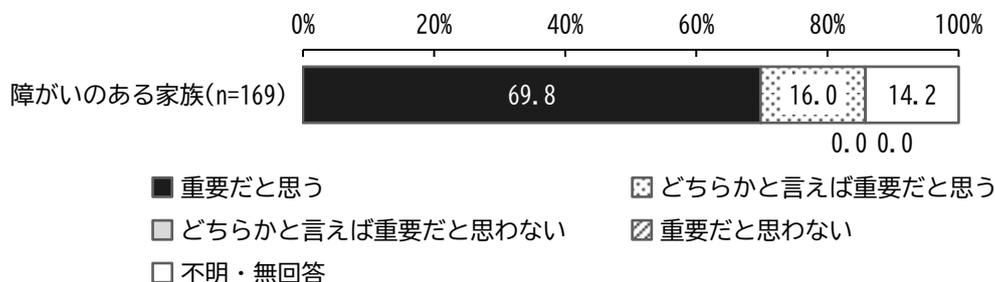
(単数回答)



(6) 言語療法・理学療法・作業療法の機会

言語療法・理学療法・作業療法の機会が重要であると思うかは、『重要だと思う』が85.8%となっています。

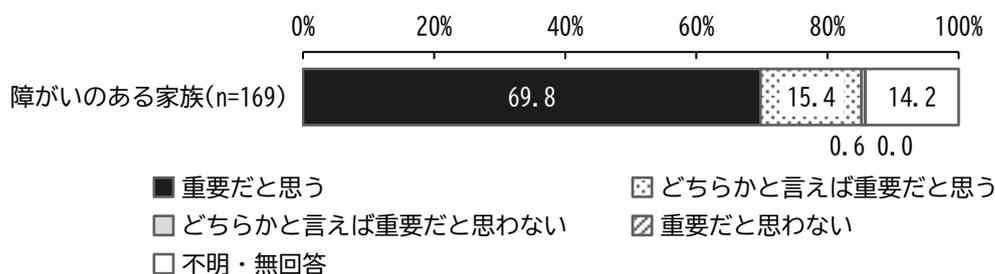
(単数回答)



(7) 放課後の居場所

放課後の居場所が重要であると思うかは、『重要だと思う』が85.2%、『重要だと思わない』が0.6%となっています。

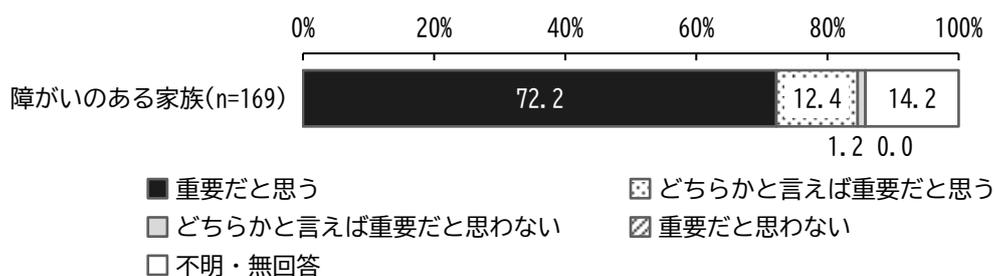
(単数回答)



(8) 障がい特性にあった教育環境

障がい特性にあった教育環境が重要であると思うかは、『重要だと思う』が84.6%、『重要だと思わない』が1.2%となっています。

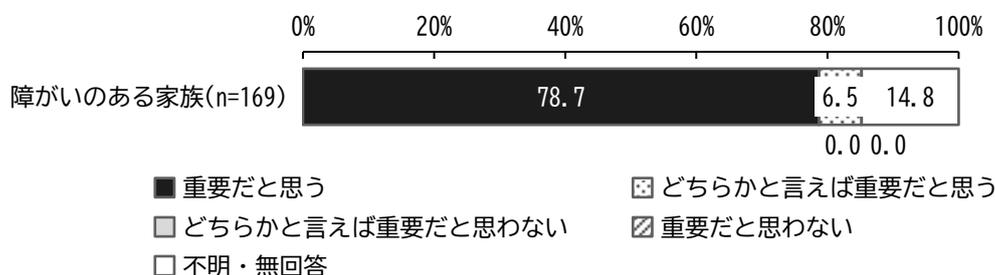
(単数回答)



(9) 保育園や幼稚園、学校の先生の障がい理解の促進

保育園や幼稚園、学校の先生の障がい理解の促進が重要であると思うかは、『重要だと思う』が85.2%となっています。

(単数回答)



自由記述まとめ

(1) 「親なき後」の生活と住まいへの不安

保護者や介護者が亡くなった後の生活に強い不安を抱いている声が多くあがっています。

主な意見

- ・ 高齢になり家から入所、グループホームなどに入れるのが不安。病気になったとき、親なき後、付添いや個室料などを支払えるのか不安。
- ・ 現在は親と一緒に生活しているが、親が亡くなった後の生活すべての手続きができるか不安になる。
- ・ 親亡き後に障がいの重いこどもが安心して生活ができる場所がほしい。
- ・ 事業所やショートステイなどの不足、グループホームの不足など将来利用することになるであろう施設が、なかなか空気が無いと聞くので不安です。また、事業所等での賃金も収入といえる程はないので、親が将来的に財産を残してあげられるのかも心配です。
- ・ 障がい児が将来1人でも生活できる設備を充実させてほしいです。親である自分たちが高齢や病気等になり世話ができなくなった時に、障がい児であるこどもの預け先がすぐ見つかるのか、という不安があります。

(2) 障がい児への支援 「現在の悩み」と「将来への不安」

障がい児福祉サービスや、18歳の壁、卒業後の進路などへの不安の声があがっています。また、現在進行形で就労とケアの両立に悩み、社会から孤立していると感じる家族もあります。

主な意見

- ・ 卒業後の中学生以上のこどもの居場所が少ない。施設によって専門性、支援の質の差が大きい。
- ・ 療育の先生と園（学校）の先生との、障がいに対する理解の差がありすぎる。保育園の行事で集団行動が苦手にも関わらず、皆と一緒に参加しなければいけなかった為、大勢の前で親子共々辛い思いをした。
- ・ 普通級の子たちは「支援級の子たちと自分達は違う」と思っています。その考えをなくすようなインクルーシブ教育をして欲しいです。
- ・ 理解のある幼稚園を探すのに苦労した。どのような進路で進むべきか、また、どのような選択肢があるのか、情報を簡単に調べられるシステムや春育フェアのような催しが開かれると助かる。
- ・ 今現在、愛知県医療療育総合センター(コロニー)に通っていますが、18歳になると通えなくなるので病院を探すにあたってどこにすればいいのかわからない。成人の発達障がいを診察できる精神科や医師が少なく、新たな病院が見つからない。
- ・ 日中だと病院・リハビリ・施設(療育は預かり時間が短い)為長く働くことができず、こどものことをしながら夜勤をするしかありません。働きたくても時間の制限があり稼げない。
- ・ 私(本人の母)はこどもの付きそいが多くて、働きたくても働けない状況で困っている。社会や大人との関わりが少なく、自分のやりたいことがやれないので、時々、自分が生きている意味がわからなくなる。

(3) 経済的な不安と就労の悩み

障がい年金や就労支援事業所の工賃だけでは生活が苦しいという声や、就労の場での悩みがあがっています。

主な意見

- ・就労支援B型で仕事をして賃金をもらっていますが、一生懸命仕事をして300円(時給)です。もう少し時給を上げて下さい。
- ・障がいをクローズして働くと、自分のキャパ以上の仕事量を求められて心身が潰れてしまい続かないですし、障がいをオープンにして働くとまだまだ差別や偏見があり、主に人間関係において上手いかず辞めてしまいます。障がいを持つ人が、一般雇用でも働きやすい環境づくりをしてほしいなと思っています。
- ・組織の中には、障がいについて全く理解を示さない人もいます。以前、障がいが原因で特定の職務ができないと相談したところ、「職務放棄だ。怠慢だ。労働者としての資質が疑われる。」と言われたこともあります。
- ・マルチタスクやコミュニケーションが苦手な特性を理解されず、怠けていると誤解されたり、パワハラやいじめを受けたりする。
- ・将来への不安は収入面。今は何とか騙し騙しでやってるけど、いつ収入が途切れるか、働けなくなったらどうなるのだろう。この先どうなるのか不安で仕方ない

(4) 障がいへの理解不足と差別・偏見

障がいに対する偏見や心ない言葉等で、当事者や家族が傷ついている声があがっています。

主な意見

- ・じろじろ見られる。何もしてなくても見た目で普通と違うとわかるので、避けられる。
- ・図書館で息子が小学1年生の時、(アニメ見て)DVD見ながら歌っていたら「この子、障がい児ですか？」と職員の女に聞かれた。発達障がい、アスペルガーだが、蔑んだ目で大きな声で聞かれたのがイヤだった。
- ・電車に乗っているときに身につけているヘルプマークを指差して「障がい者？」とささやかれて悲しい思いをしたので、ヘルプマークを外して電車に乗るようになった。
- ・発達障がいがありにくい為、皆と同じように活動に参加できなかったり活動から離脱してしまうと、そんなことでやめるのか、など理解のない声掛けをされることがあります。
- ・障がいを、性格やしつけの問題と言われたり、親の気にしすぎと言われたことがある。

(5) 行政手続きの複雑さと情報アクセスの壁

必要な情報が届かない、手続きが複雑でわかりにくいといった声があがっています。

主な意見

- ・必要な情報や支援制度に、自分から調べないとたどり着けないことにもどかしさを感じます。必要としているときに、届かない、分からない。
- ・障がい福祉関係の手続きや支援施設の見学や面談、通院など、平日の昼間に対応する必要がある事が多すぎて、仕事との両立がかなり大変。情報収集も自治体による部分が多く、HPもバラバラなので大変。必要な手続きの場所や順番を一覧できるものやフローチャート、まとめてできる窓口などがあると手間が短縮できて助かる。
- ・困りごとがある人たちの福祉サービスが「自分で情報を取りに行かないといけない」という時点で大変しんどいです。

(6) 地域生活基盤の不足（移動・居場所）

移動手段（バス・タクシー）の不便さ、また余暇活動や居場所の少なさについての声があがっています。

主な意見
・公共交通機関の本数が少ないので、将来親が高齢になったりして、送迎運転が不可能となった時のことを思うと心配・不安です。
・私は車椅子を使用しており、自動車の運転もできず、市役所に行くために公共バスを使おうとすると、1時間に1本しかありません。また、バスには車椅子スペースが1つしかなく、既に使用中だと乗ることもできません。
・春日井のプールへ行きたいが声を出したり人混みが苦手なので行けない。障がい者専用デイを作って欲しい。運動不足になりがちなので、アスレチックジムも障がい者が使用できるように専用日を設けて欲しい。
・自閉症や強度行動障がいの特性があるので、いつパニックが起きるかわからず、とても気を遣うし疲れるので、出かけるのをためらってしまう。障がいのある人が気軽に安心して出かけられる場所がほしいです。

(7) 災害時の避難と備えに関する懸念

避難所生活への適応が困難であるため、「自宅に留まるしかない」という声や、具体的な避難計画が立てられないことへの不安の声があがっています。

主な意見
・避難所はとても無理。
・呼吸器など医療機器が必要であり、電気がないと困る。本当は避難所へ行きたい。
・災害等が起こった時は「もう終わりだ」と思っている。そんな状況で避難するという選択が頭がない。
・避難場所では体が痛いし、横になれないから。暑さや寒さに耐えられないから。床に座れない。椅子にしか座れない。
・向精神薬を含め、かなり大量の薬を毎日飲んでいるため、それが災害時に飲み切ってなくなると、離脱症状などかなり身体的・精神的に苦しい状態になってしまうと思います。
・非常用品を用意しているが、賞味期限等による見直しができている。家が整理整頓できてないので、容易に持ち出せないかもしれない。
・南海トラフや他の自然災害のことを考えると、日頃から災害の備えはするべきとは思っている。けれど、避難場所も現在の住居からだと難しく、それは考え中。独立しているこども達との話し合いも必要だと改めて思った。

V 一般市民調査

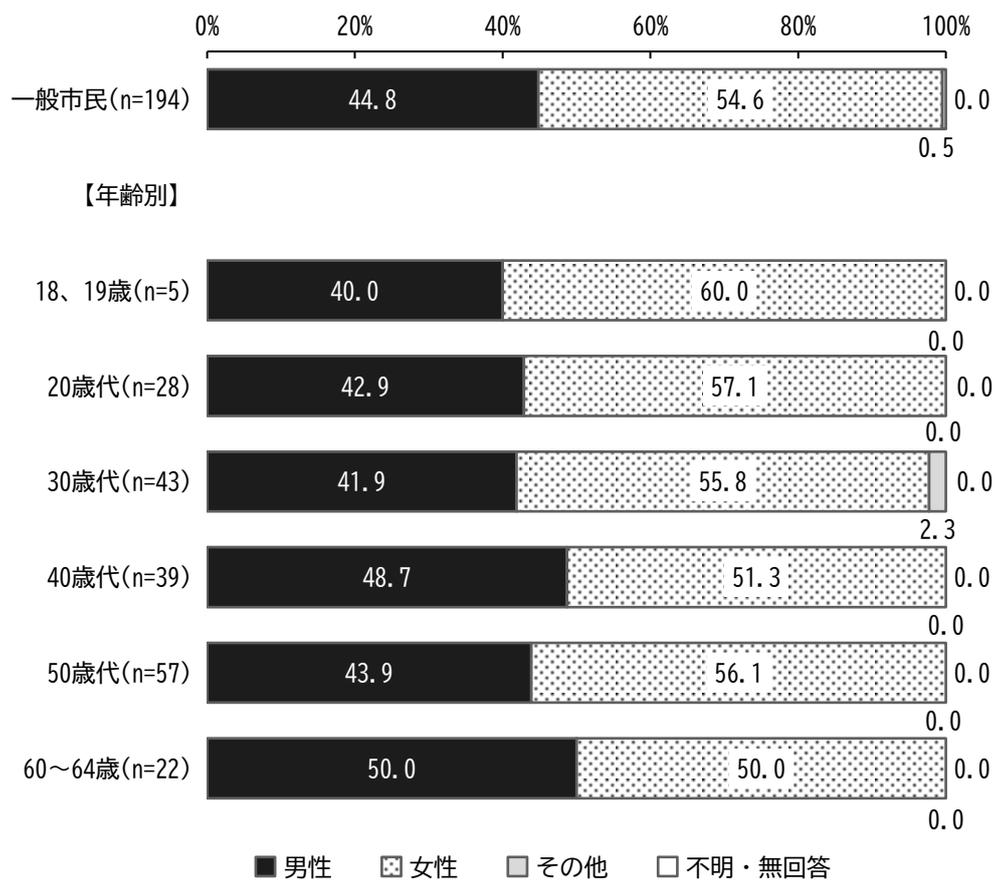
※市内在住の18歳以上65歳未満の方にお答えいただいています。

(1) あなた自身のことについて

【問1】性別について、あてはまるものに○をつけてください。

性別は、「男性」が44.8%、「女性」が54.6%、「その他」が0.5%となっています。
年齢別の結果は次のとおりです。

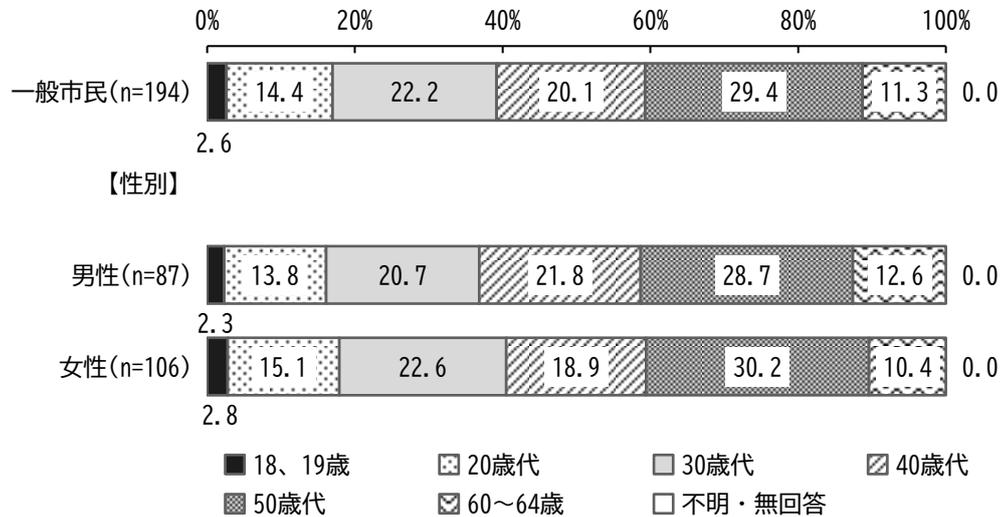
(単数回答)



【問2】年齢を数字で記入してください。※令和7年12月1日現在

年齢は、「50歳代」が29.4%と最も高く、次いで「30歳代」が22.2%となっています。
性別の結果は次のとおりです。

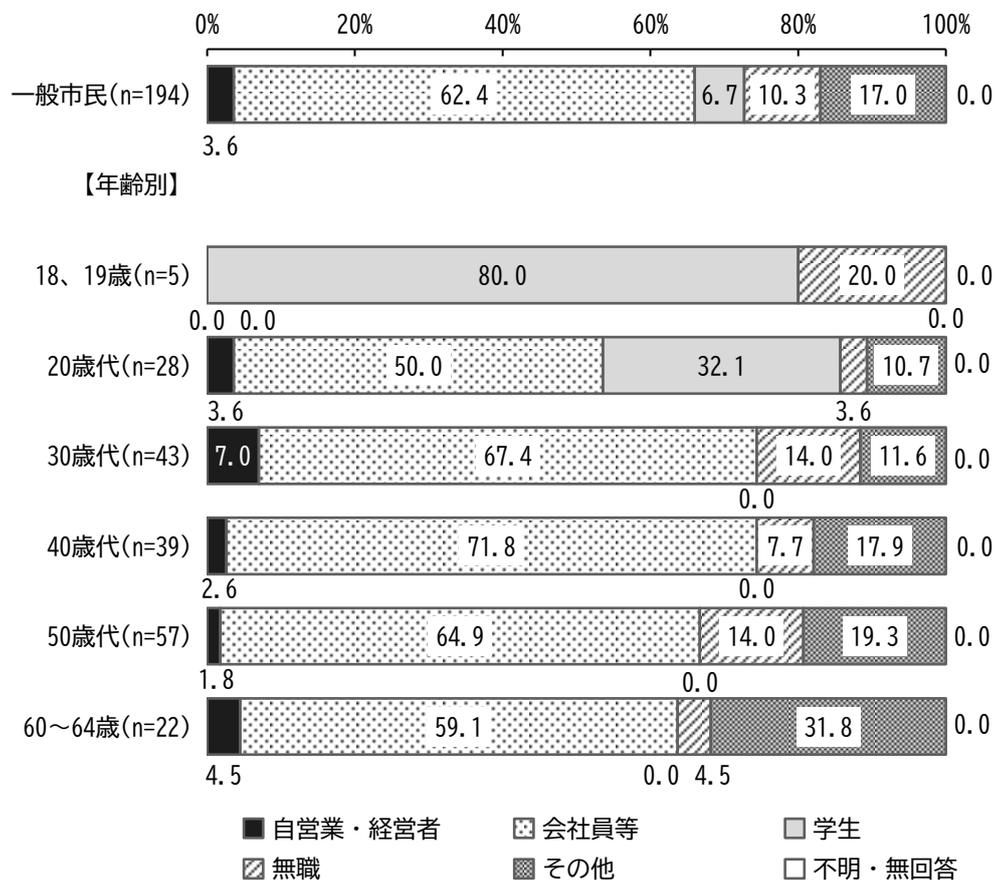
(数量回答)



【問3】あなたのご職業は何ですか。

職業は、「会社員等」が62.4%と最も高く、次いで「その他」が17.0%となっています。
年齢別では、いずれの年代も「会社員等」がそれぞれ最も高くなっています。

(単数回答)



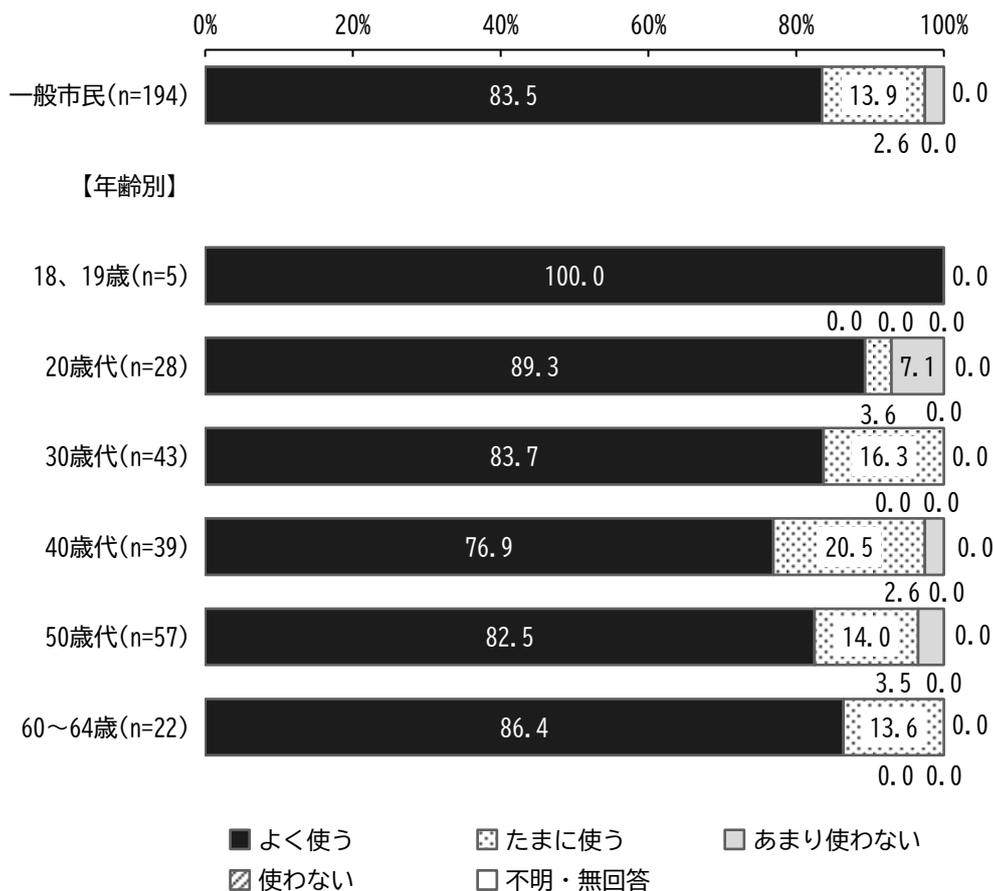
【問4】あなたはスマートフォンやパソコンなどの通信機器を使ってどのようなことをされていますか。

* 『使う』 = 「よく使う」と「たまに使う」を合わせた割合
 『使わない』 = 「あまり使わない」と「使わない」を合わせた割合

(1) 家族・友人などと連絡をとる

家族・友人などと連絡をとるかは、『使う』が97.4%、『使わない』が2.6%となっています。
 年齢別では、いずれの年代も『使う』がそれぞれ9～10割台となっています。

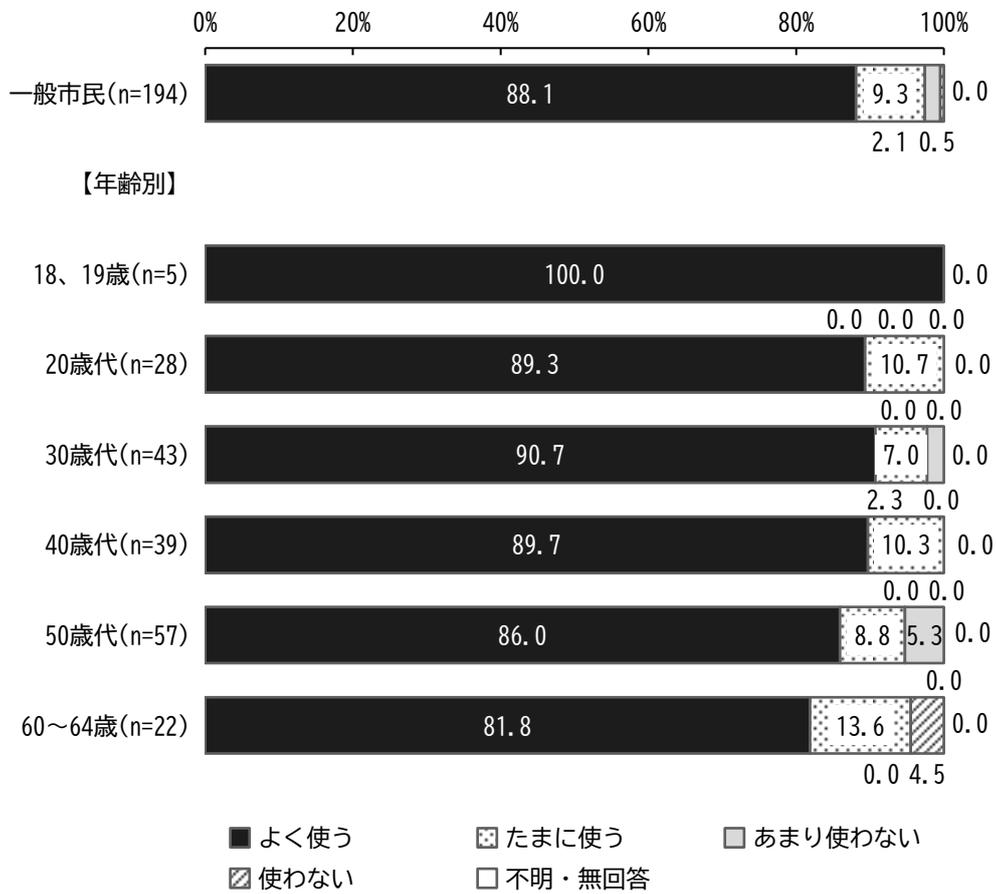
(単数回答)



(2) インターネットで情報を集める

インターネットで情報を集めるかは、『使う』が97.4%、『使わない』が2.6%となっています。
年齢別では、いずれの年代も『使う』がそれぞれ9～10割台となっています。

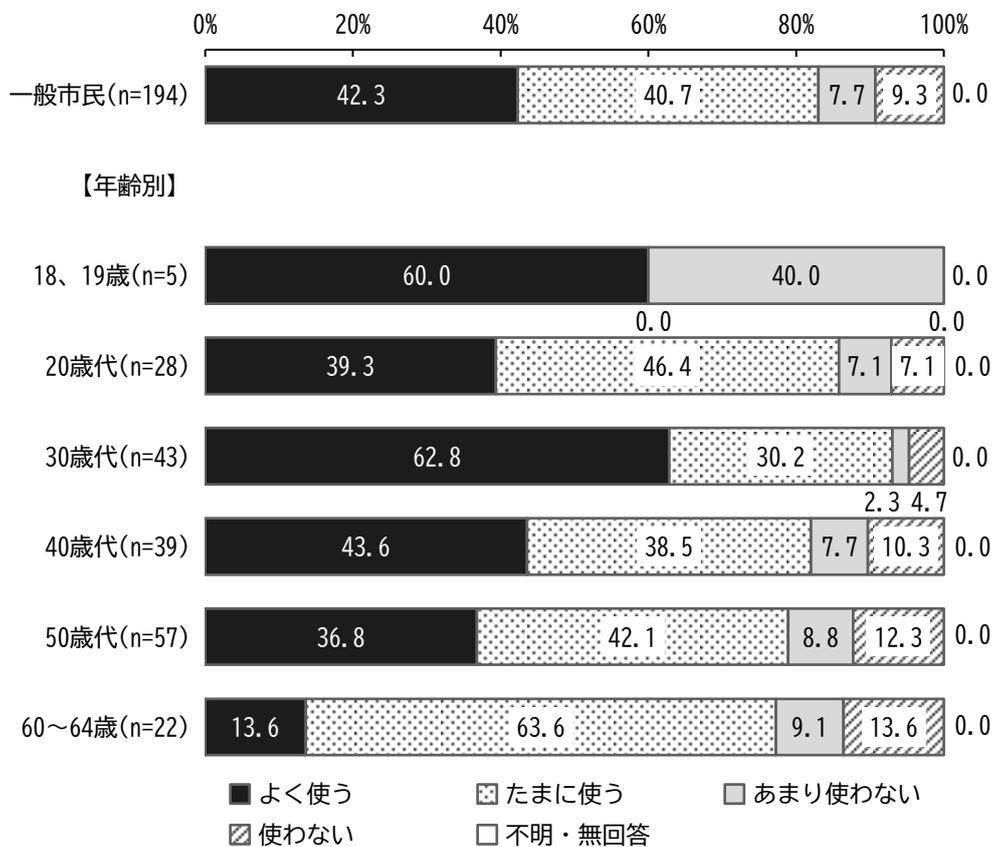
(単数回答)



(3) ネットショッピング

ネットショッピングをするかは、『使う』が83.0%、『使わない』が17.0%となっています。
年齢別では、30歳代で『使う』が93.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)

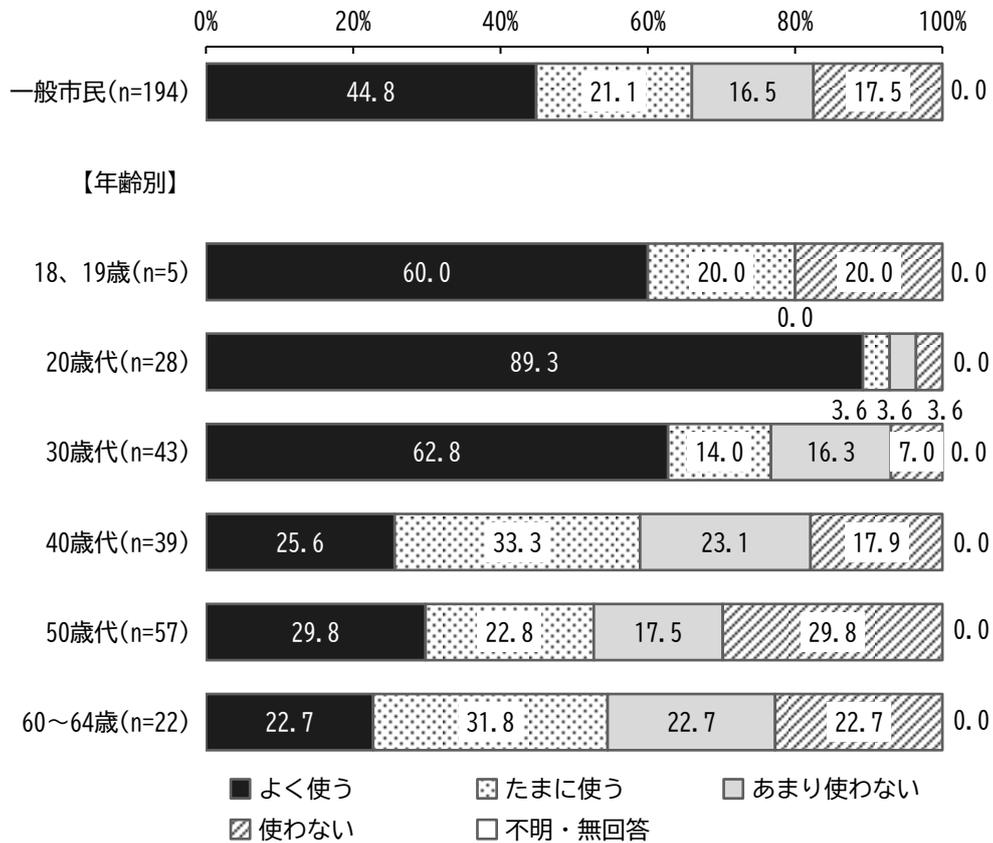


(4) SNS (Facebook、X、LINE、Instagram など) を利用する

SNS (Facebook、X、LINE、Instagram など) を利用するかは、『使う』が65.9%、『使わない』が34.0%となっています。

年齢別では、20歳代で『使う』が92.9%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)

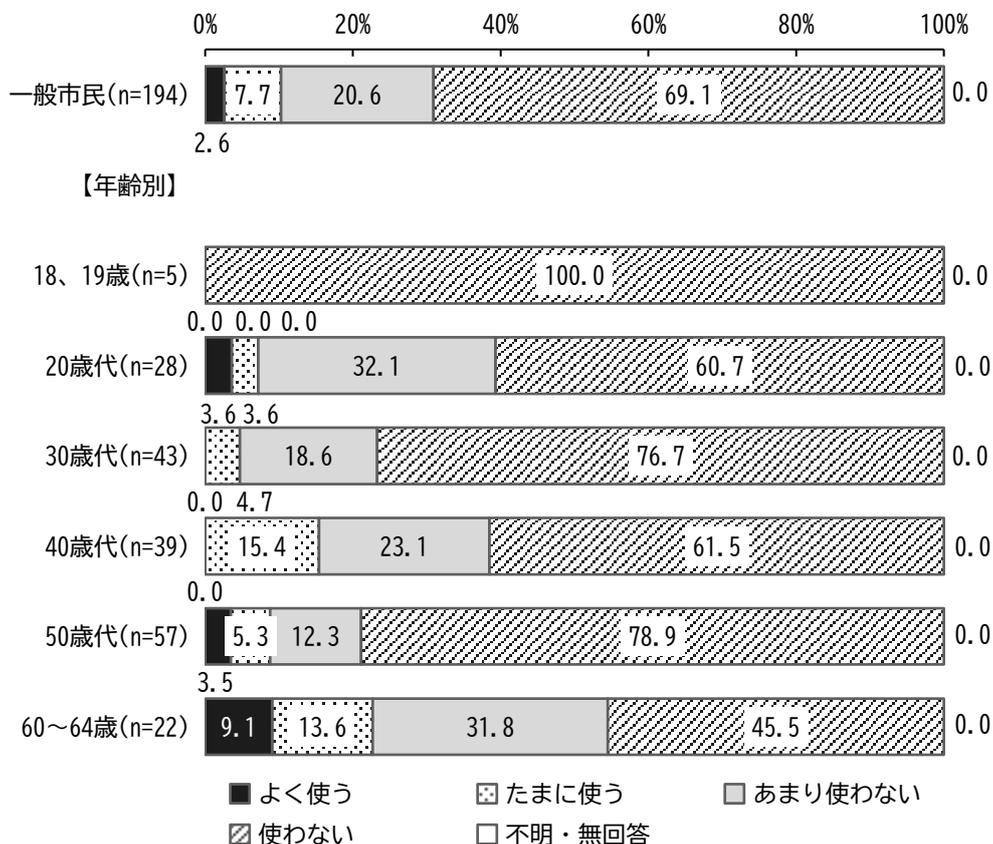


(5) ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新をする

ホームページやブログへの書き込みまたは開設・更新をするかは、『使う』が10.3%、『使わない』が89.7%となっています。

年齢別では、60～64歳で『使う』が22.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)

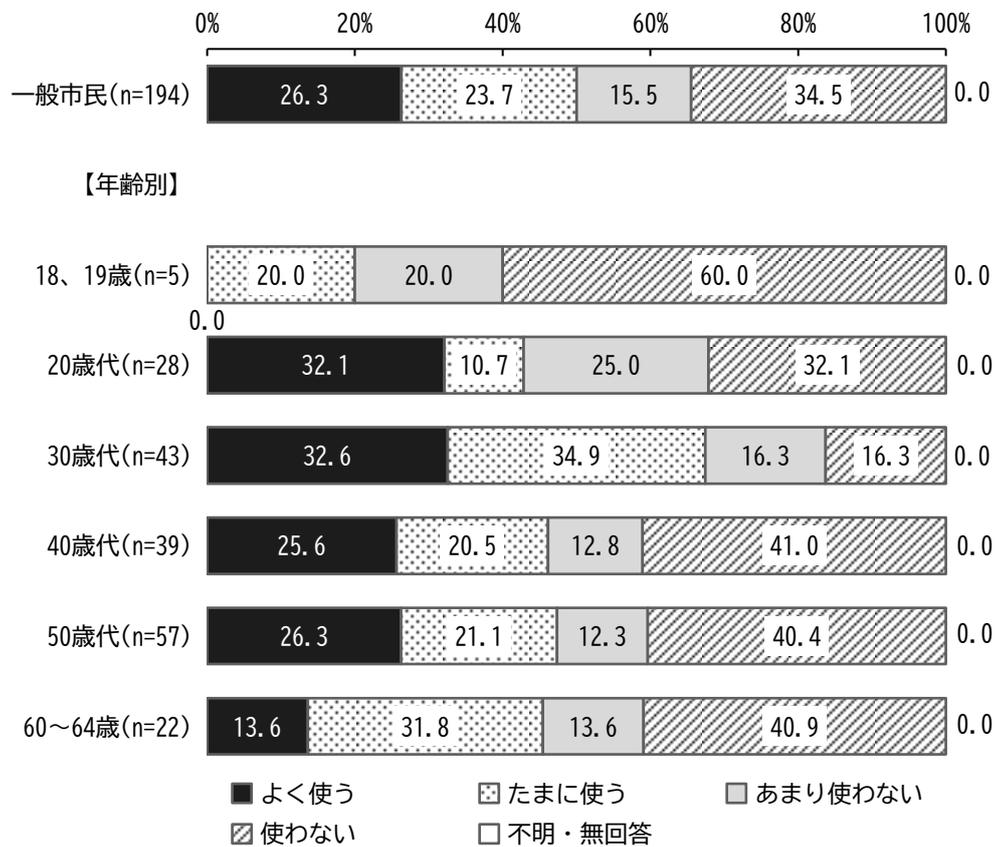


(6) ネットバンキングや金融機関（証券・保険取引など）を利用する

ネットバンキングや金融機関（証券・保険取引など）を利用するかは、『使う』が50.0%、『使わない』が50.0%となっています。

年齢別では、30歳代で『使う』が67.5%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)

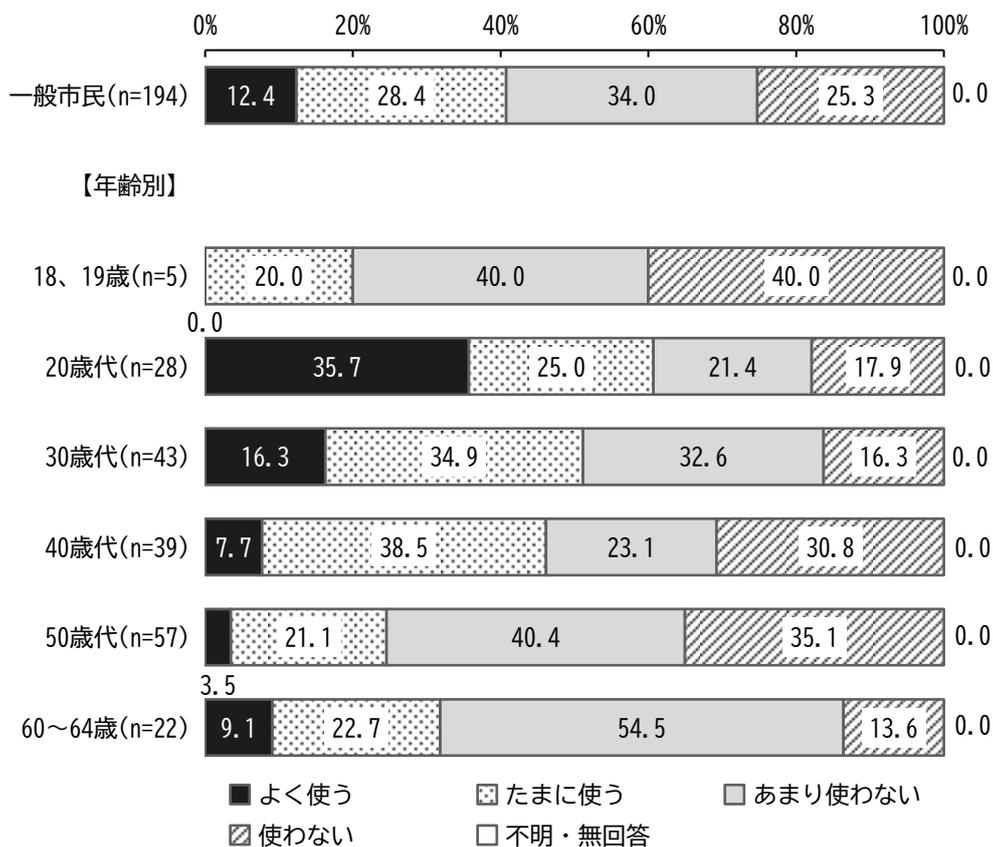


(7) 市の手続きをインターネットで行う

市の手続きをインターネットで行うかは、『使う』が40.8%、『使わない』が59.3%となっています。

年齢別では、20歳代で『使う』が60.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)

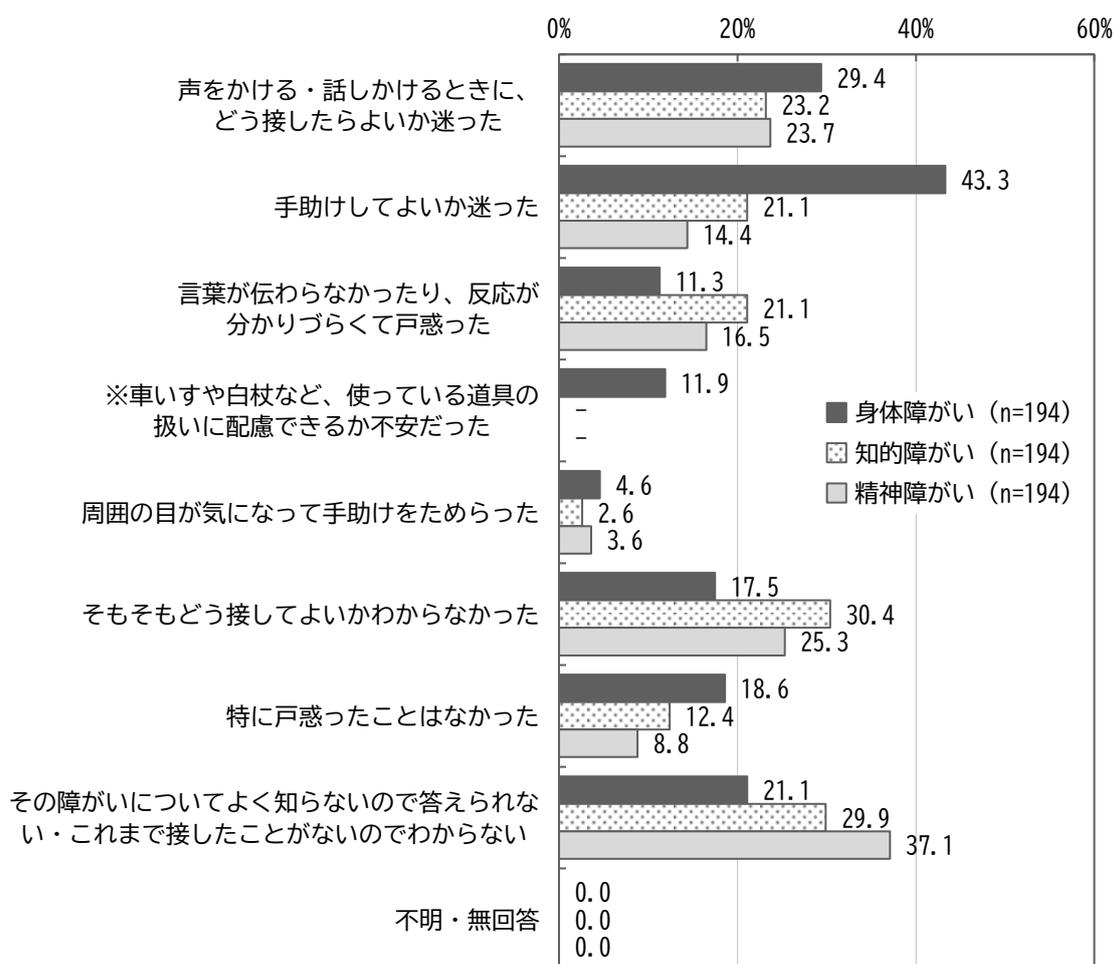


(2) 共生社会について

【問5】障がいのある人との関わりで、戸惑ったことは何ですか。

障がいのある人との関わりで、戸惑ったことは、〔手助けしてよいか迷った〕が「身体障がい」で43.3%、〔そもそもどう接してよいかわからなかった〕が「知的障がい」で30.4%、〔その障がいについてよく知らないので答えられない・これまで接したことがないのでわからない〕が「精神障がい」で37.1%と、それぞれ最も高くなっています。

(複数回答)

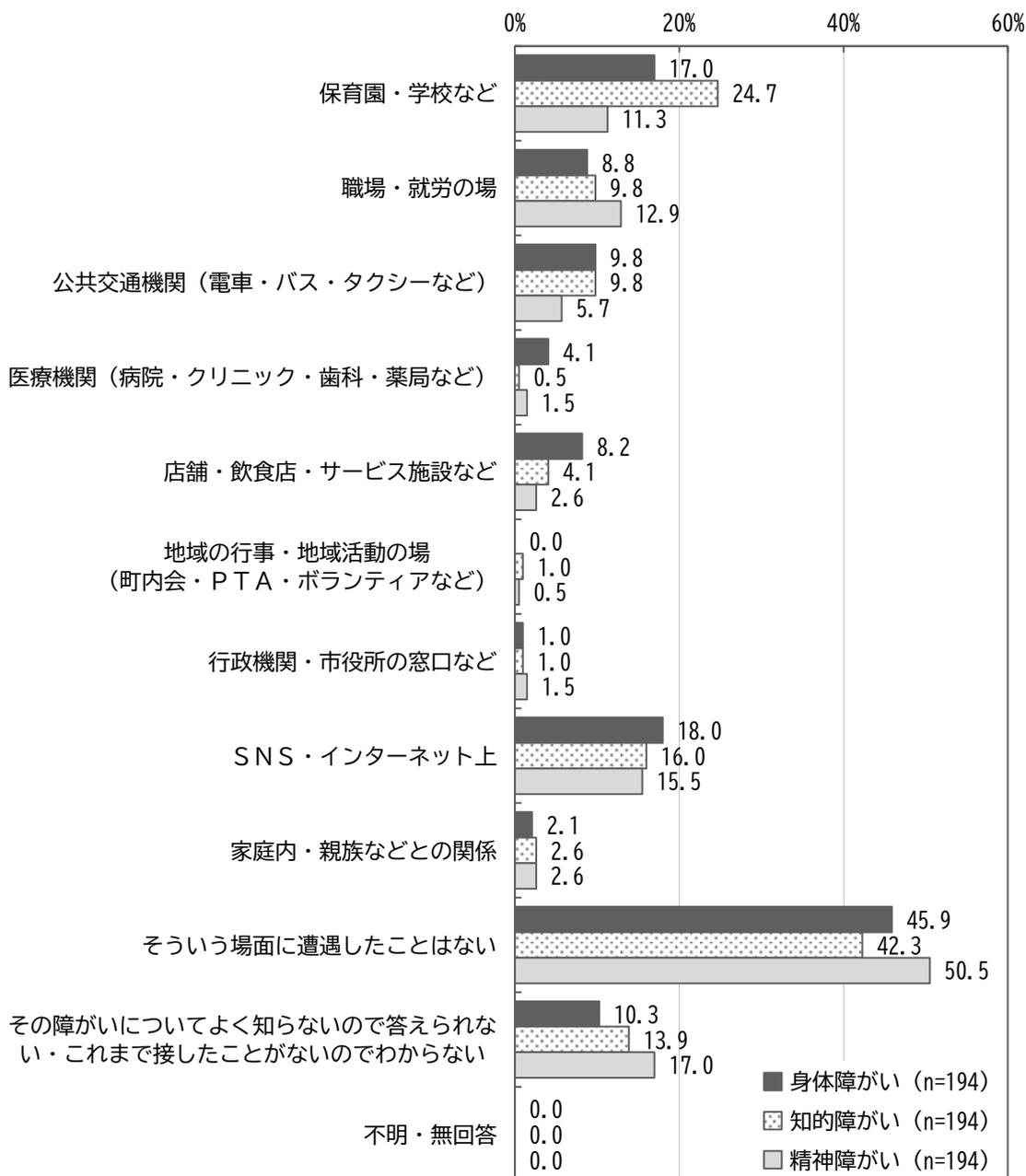


※〔車いすや白杖など、使っている道具の扱いに配慮できるか不安だった〕について、「知的障がい」「精神障がい」の選択肢はありません。

【問6】あなたは、障がいのある人が、障がいがあることで偏見や差別を受ける場面に遭遇したことはありますか。具体的にあてはまる場面や状況に○をつけてください。

障がいのある人が、障がいがあることで偏見や差別を受ける場面に遭遇したことがあるかは、「そういう場面に遭遇したことはない」が「身体障がい」で45.9%、「知的障がい」で42.3%、「精神障がい」が50.5%と、それぞれ最も高くなっています。

(複数回答)



【問7】あなたの職場では、障がいのある人が働くにあたって、配慮や工夫されていることはありますか。

*【問3】で「1. 自営業・経営者」または「2. 会社員等」と答えた方への質問
 なお、「18、19歳」は問3で該当の回答がありませんでした。

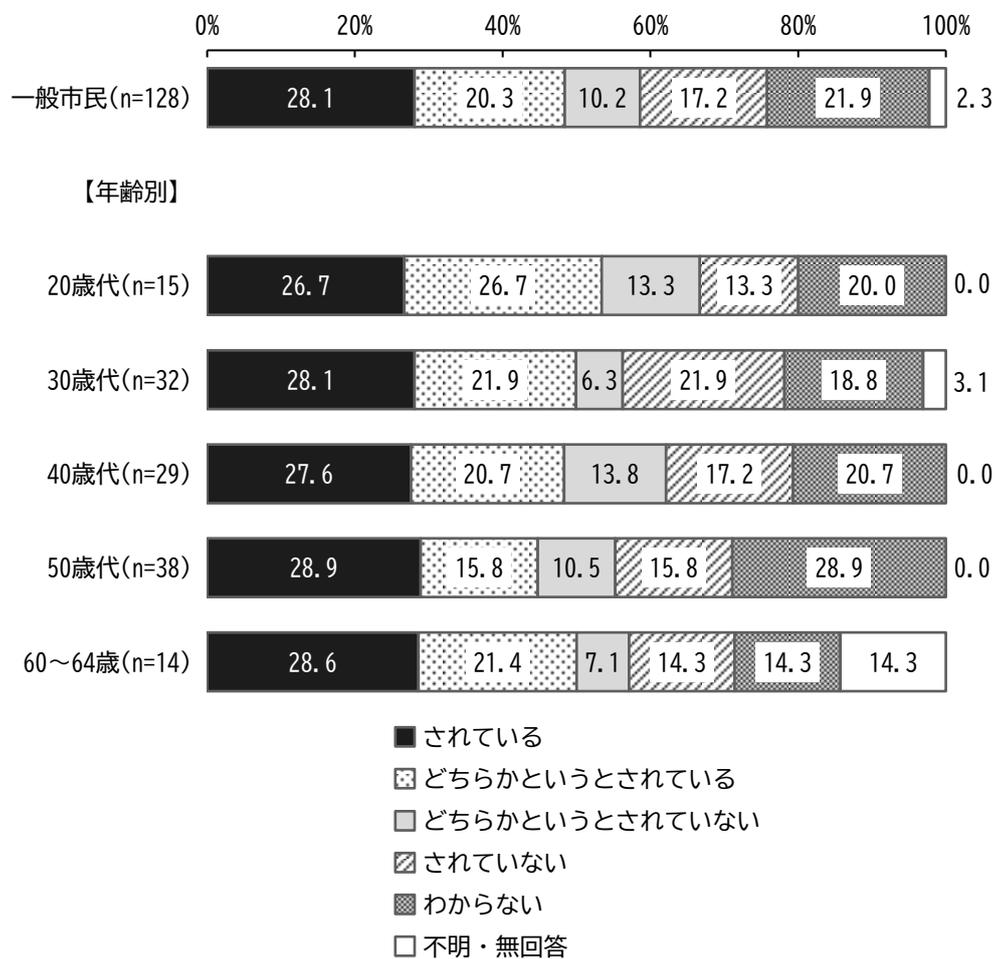
*『されている』 = 「されている」と「どちらかというとされている」を合わせた割合
 『されていない』 = 「どちらかというとされていない」と「されていない」を合わせた割合

(1) 障がいの程度にあった仕事内容である

職場で障がいのある人が働くにあたって、障がいの程度にあった仕事内容であるかは、『されている』が48.4%、『されていない』が27.4%、「わからない」が21.9%となっています。

年齢別では、いずれの年代も『されている』が4～5割割合となっています。なお、50歳代で「わからない」が28.9%となっています。

(単数回答)

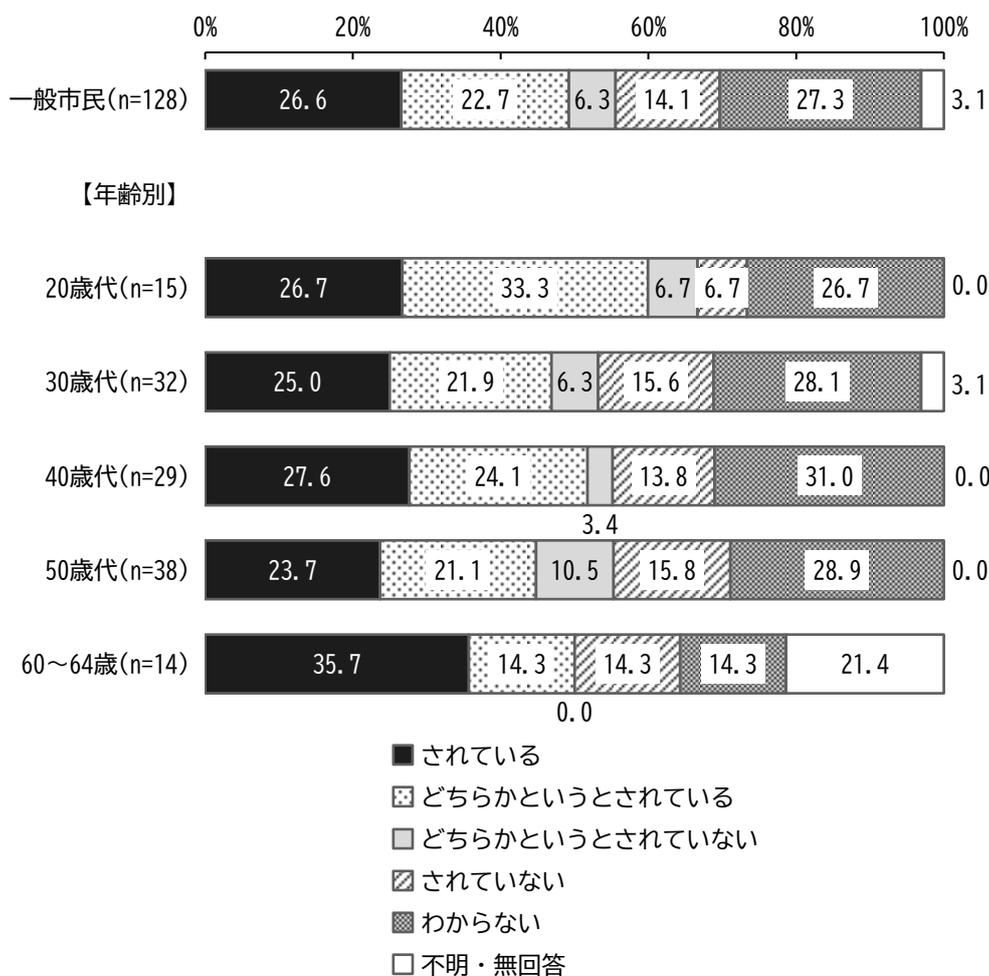


(2) 障がいの程度にあった勤務条件である（勤務時間、日数、配置など）

職場で障がいのある人が働くにあたって、障がいの程度にあった勤務条件である（勤務時間、日数、配置など）かは、『されている』が49.3%、『されていない』が20.4%、「わからない」が27.3%となっています。

年齢別では、20歳代で『されている』が60.0%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、40歳代で「わからない」が31.0%となっています。

(単数回答)

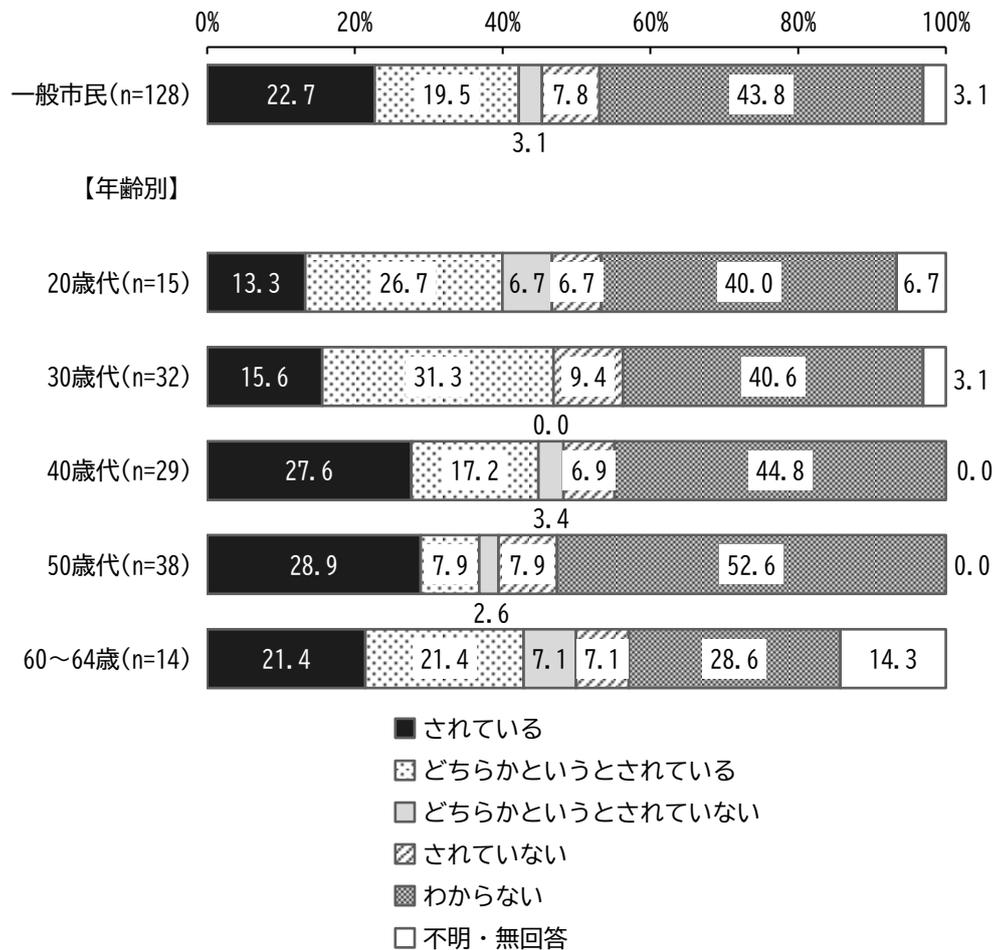


(3) 通院日などに配慮がある

職場で障がいのある人が働くにあたって、通院日などに配慮があるかは、『されている』が42.2%、『されていない』が10.9%、「わからない」が43.8%となっています。

年齢別では、いずれの年代も『されている』が3～4割台となっています。なお、50歳代で「わからない」が52.6%となっています。

(単数回答)

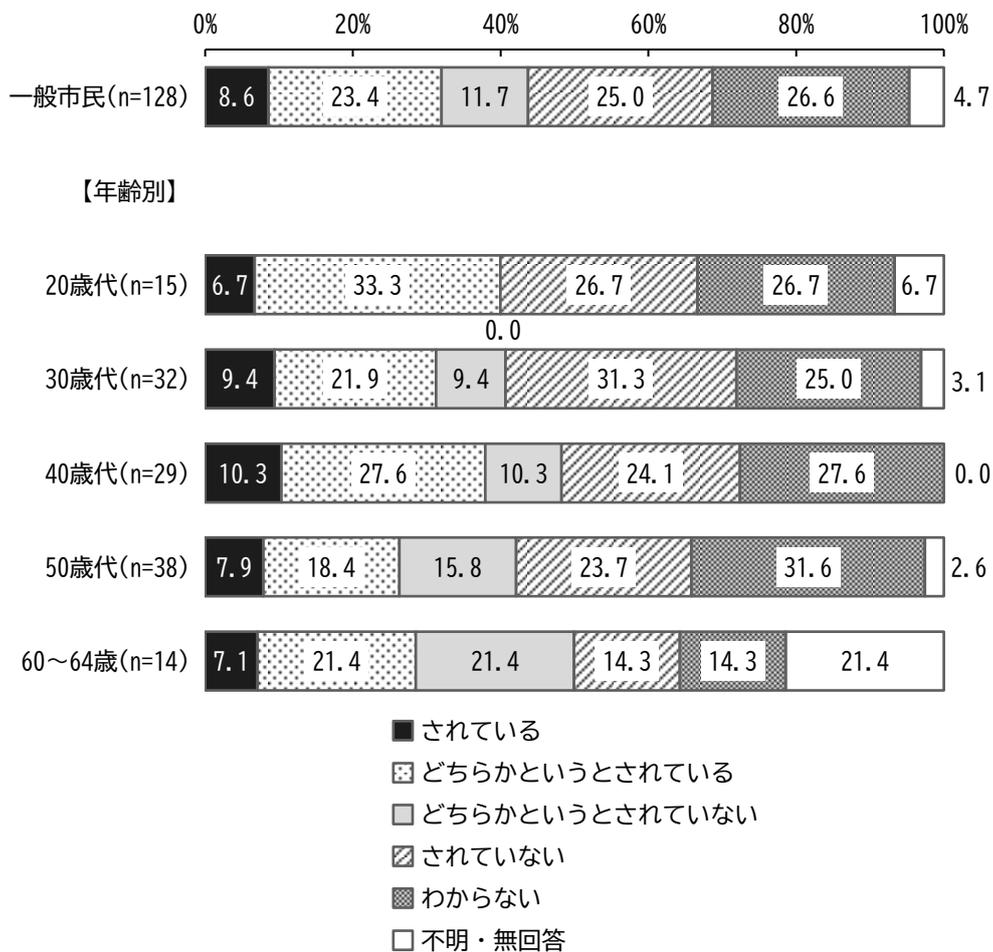


(4) 障がいのある人に配慮した設備が整っている

職場で障がいのある人が働くにあたって、障がいのある人に配慮した設備が整っているかは、『さ
れている』が32.0%、『されていない』が36.7%、「わからない」が26.6%となっています。

年齢別では、50歳代、60～64歳で『されている』がそれぞれ2割台と、他の年代と比べて低くな
っています。なお、50歳代で『わからない』が31.6%となっています。

(単数回答)

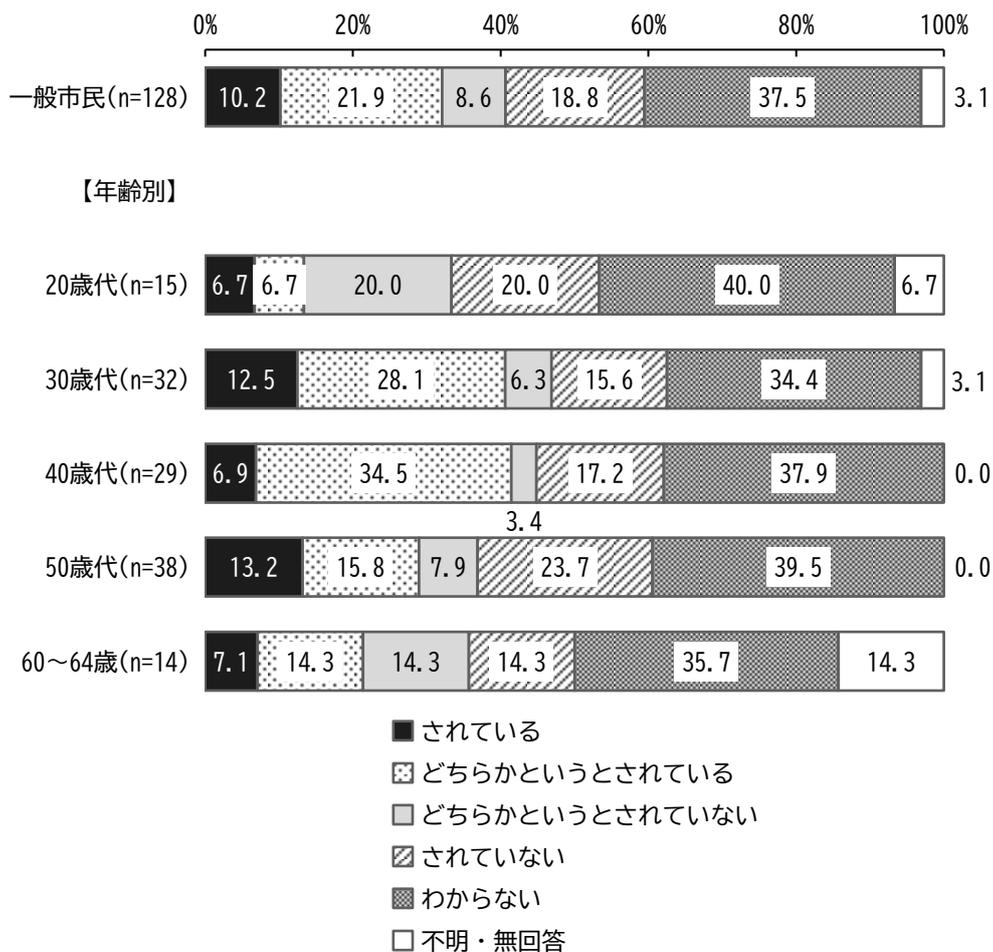


(5) 障がい特性に応じたコミュニケーションの工夫がある（筆談、視覚的な案内など）

職場で障がいのある人が働くにあたって、障がい特性に応じたコミュニケーションの工夫がある（筆談、視覚的な案内など）かは、『されている』が32.1%、『されていない』が27.4%、「わからない」が37.5%となっています。

年齢別では、30歳代、40歳代で『されている』がそれぞれ4割台と、他の年代と比べて高くなっています。なお、いずれの年代も「わからない」がそれぞれ3～4割台となっています。

(単数回答)

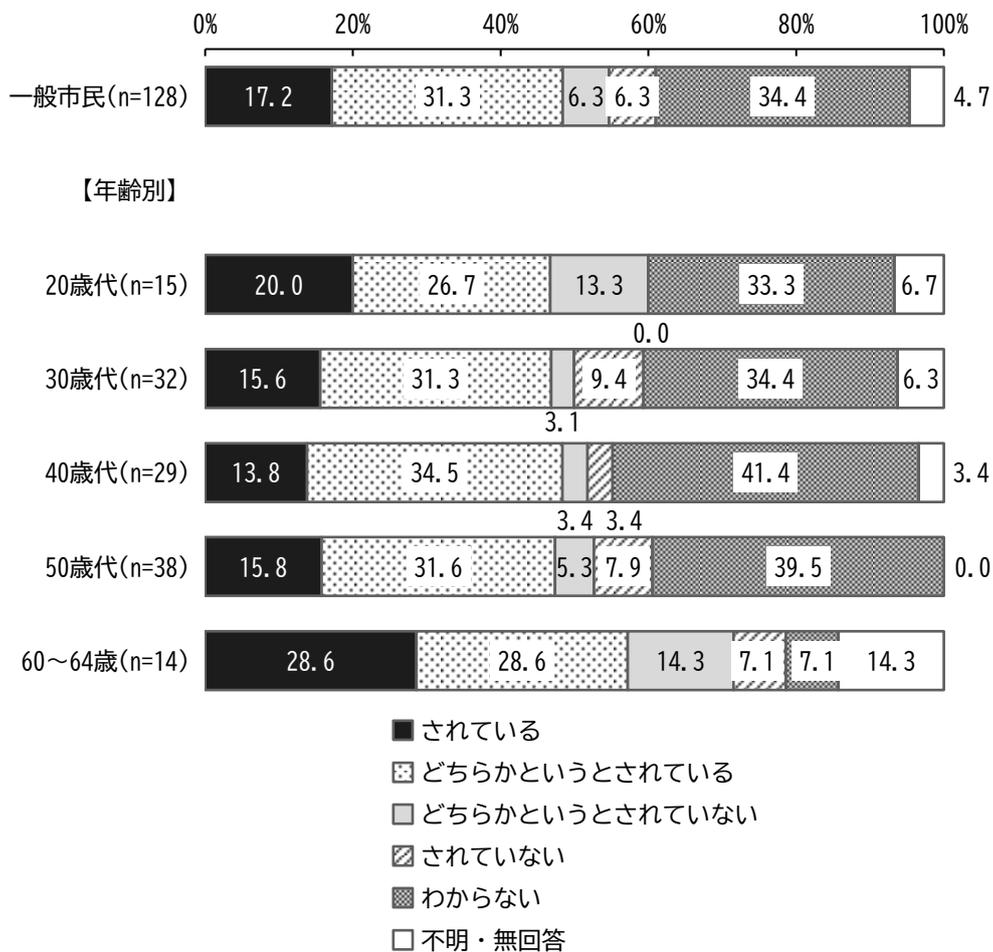


(6) 障がいのある人に対する周囲の理解がある

職場で障がいのある人が働くにあたって、障がいのある人に対する周囲の理解があるかは、『されている』が48.5%、『されていない』が12.6%、「わからない」が34.4%となっています。

年齢別では、60～64歳で『されている』が57.2%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、40歳代、50歳代で「わからない」がそれぞれ約4割となっています。

(単数回答)

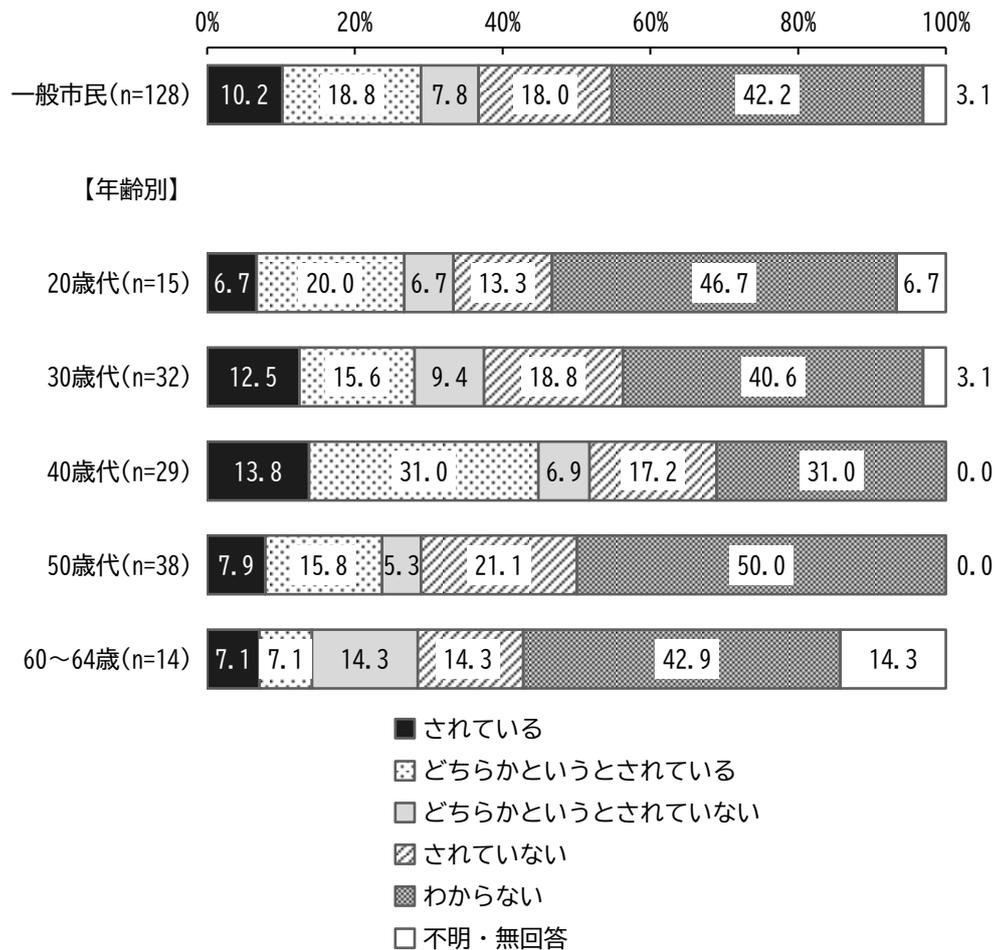


(7) 通勤がしやすい

職場で障がいのある人が働くにあたって、通勤がしやすいかは、『されている』が29.0%、『されていない』が25.8%、「わからない」が42.2%となっています。

年齢別では、40歳代で『されている』が44.8%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、50歳代で「わからない」が50.0%となっています。

(単数回答)

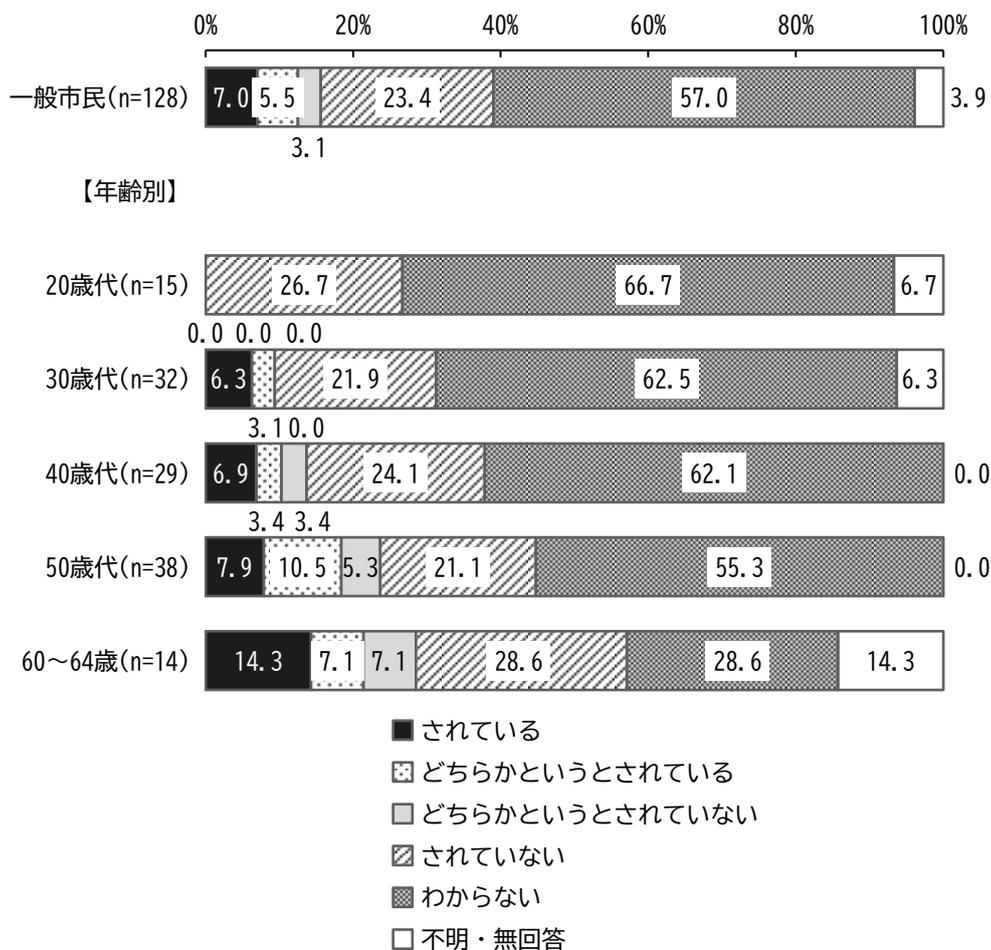


(8) ジョブコーチの支援がある

職場で障がいのある人が働くにあたって、ジョブコーチの支援があるかは、『されている』が12.5%、『されていない』が26.5%、「わからない」が57.0%となっています。

年齢別では、60～64歳で『されている』が21.4%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、20歳代、30歳代、40歳代で「わからない」がそれぞれ6割台となっています。

(単数回答)

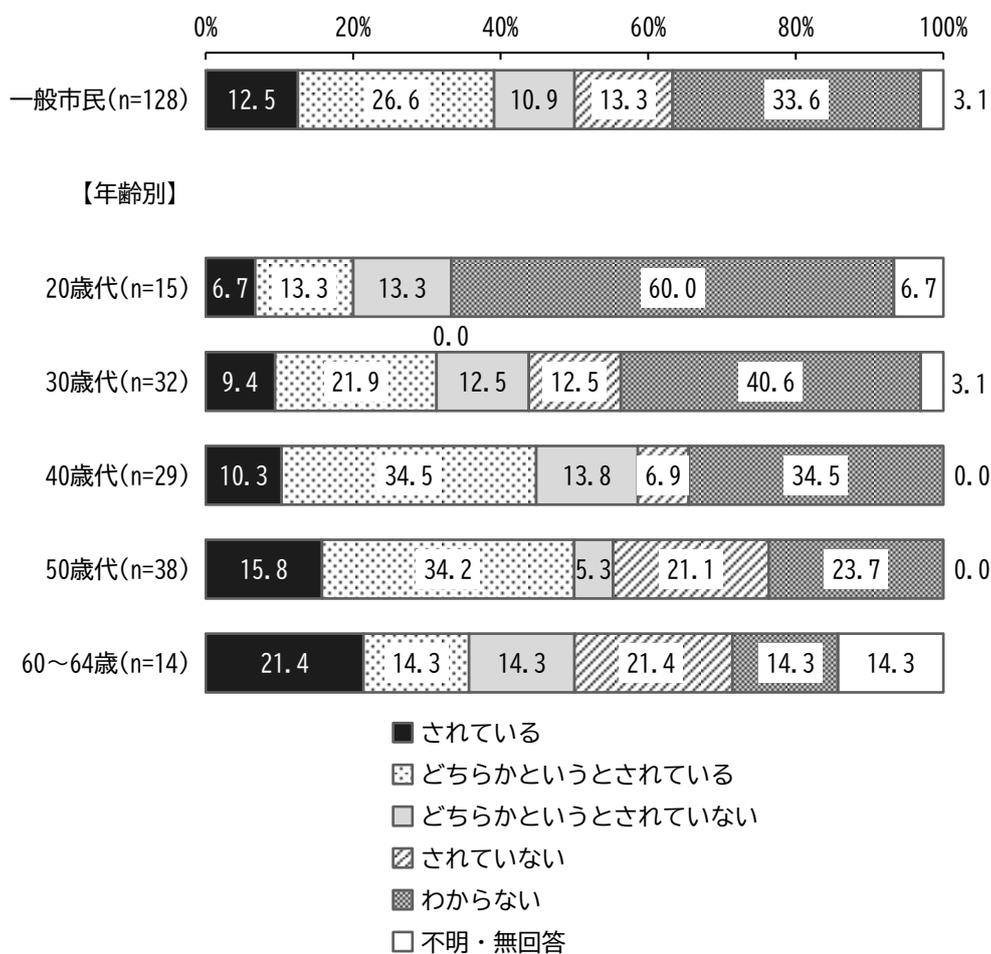


(9) 仕事等の悩みを相談しやすい

職場で障がいのある人が働くにあたって、仕事等の悩みを相談しやすいかは、『されている』が39.1%、『されていない』が24.2%、「わからない」が33.6%となっています。

年齢別では、50歳代で『されている』が50.0%と、他の年代と比べて高くなっています。なお、20歳代で「わからない」が60.0%となっています。

(単数回答)

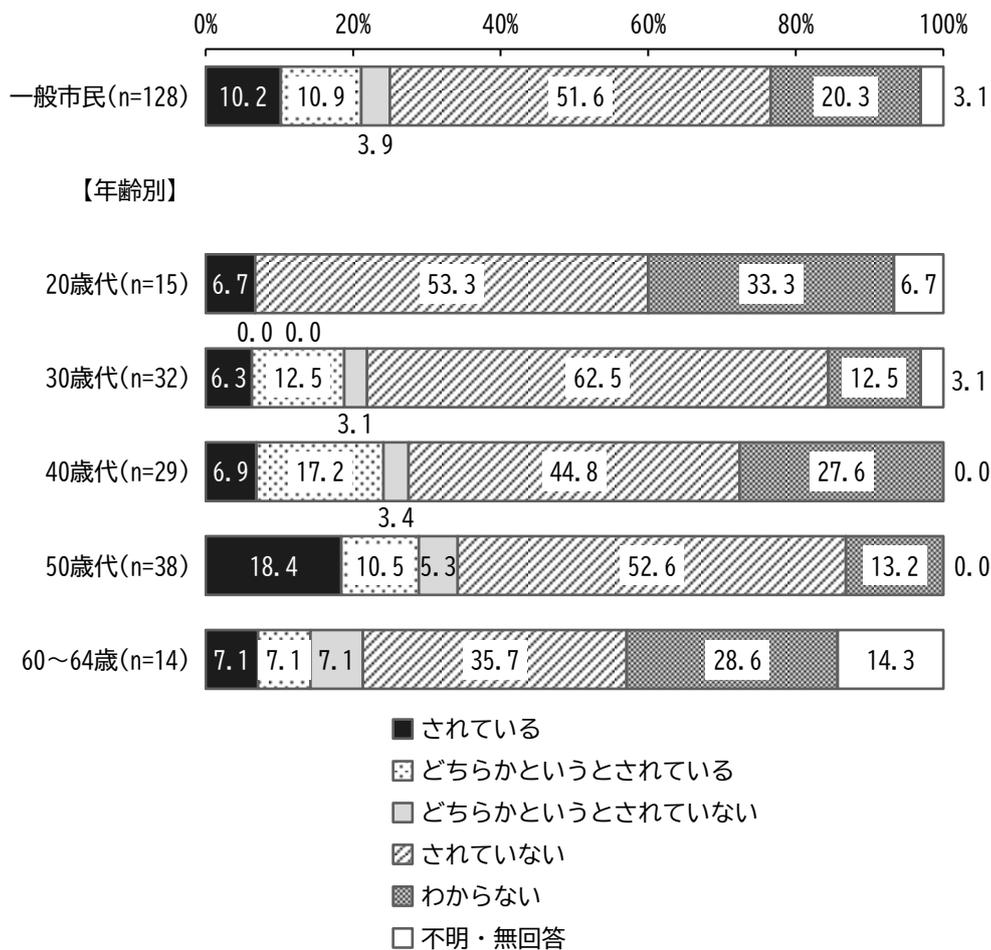


(10) 自宅で仕事ができる

職場で障がいのある人が働くにあたって、自宅で仕事ができるかは、『されている』が21.1%、『されていない』が55.5%、「わからない」が20.3%となっています。

年齢別では、40歳代、50歳代で『されている』がそれぞれ2割台と、他の年代と比べて高くなっています。なお、20歳代で「わからない」が33.3%となっています。

(単数回答)



【問8】あなたは、障がいのある人への理解を深めるために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。もっともあてはまるものに○をつけてください。

* 『必要だと思う』 = 「必要だと思う」と「どちらかと言えば必要だと思う」を合わせた割合
 『必要だと思わない』 = 「どちらかと言えば必要だと思わない」と「必要だと思わない」を合わせた割合

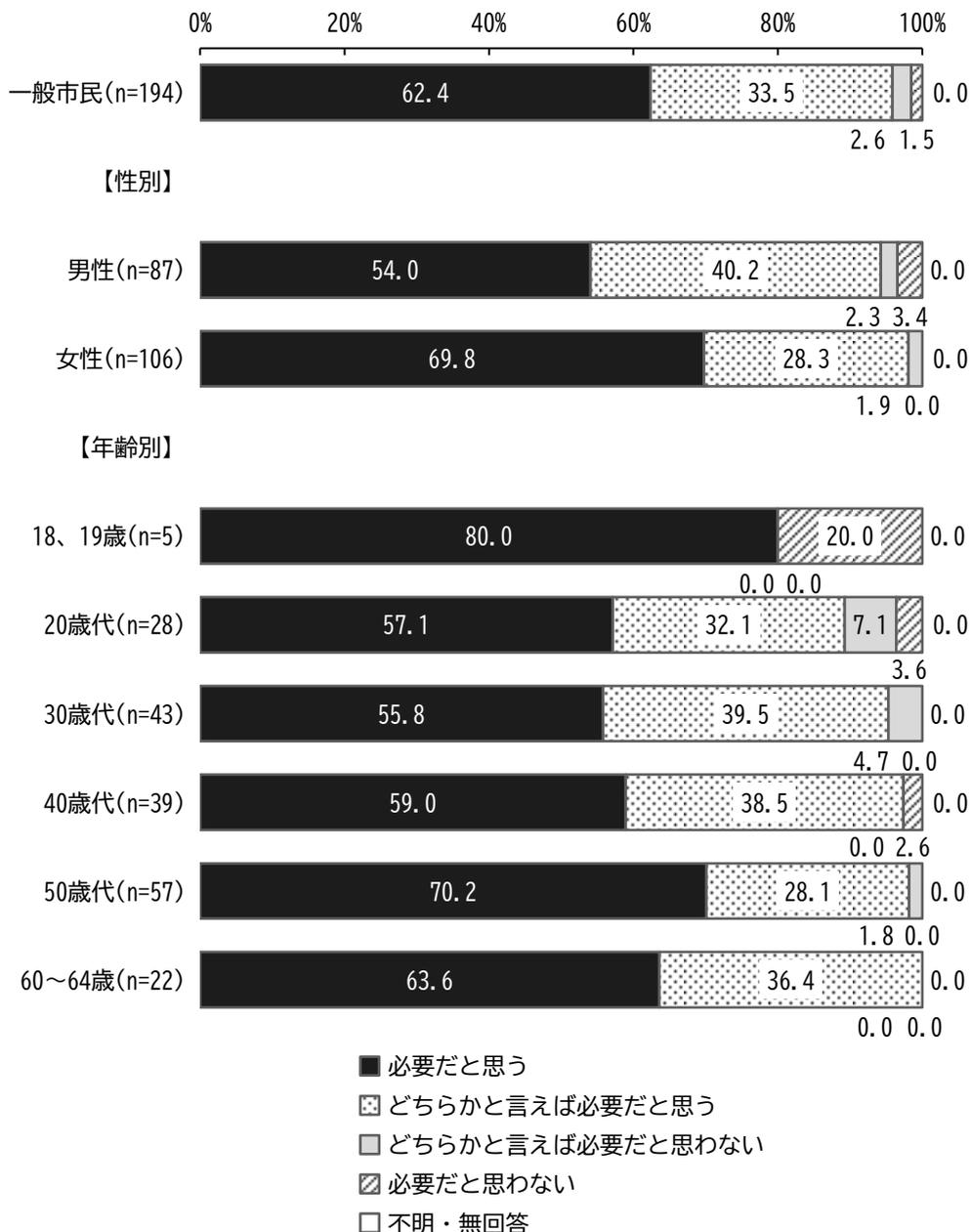
(1) 障がいへの理解を促す幼少期からの教育

障がいへの理解を促す幼少期からの教育は、『必要だと思う』が95.9%、『必要だと思わない』が4.1%となっています。

性別では、男性、女性ともに『必要だと思う』がそれぞれ9割台となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『必要だと思う』が高くなる傾向にあり、60～64歳で100%となっています。

(単数回答)



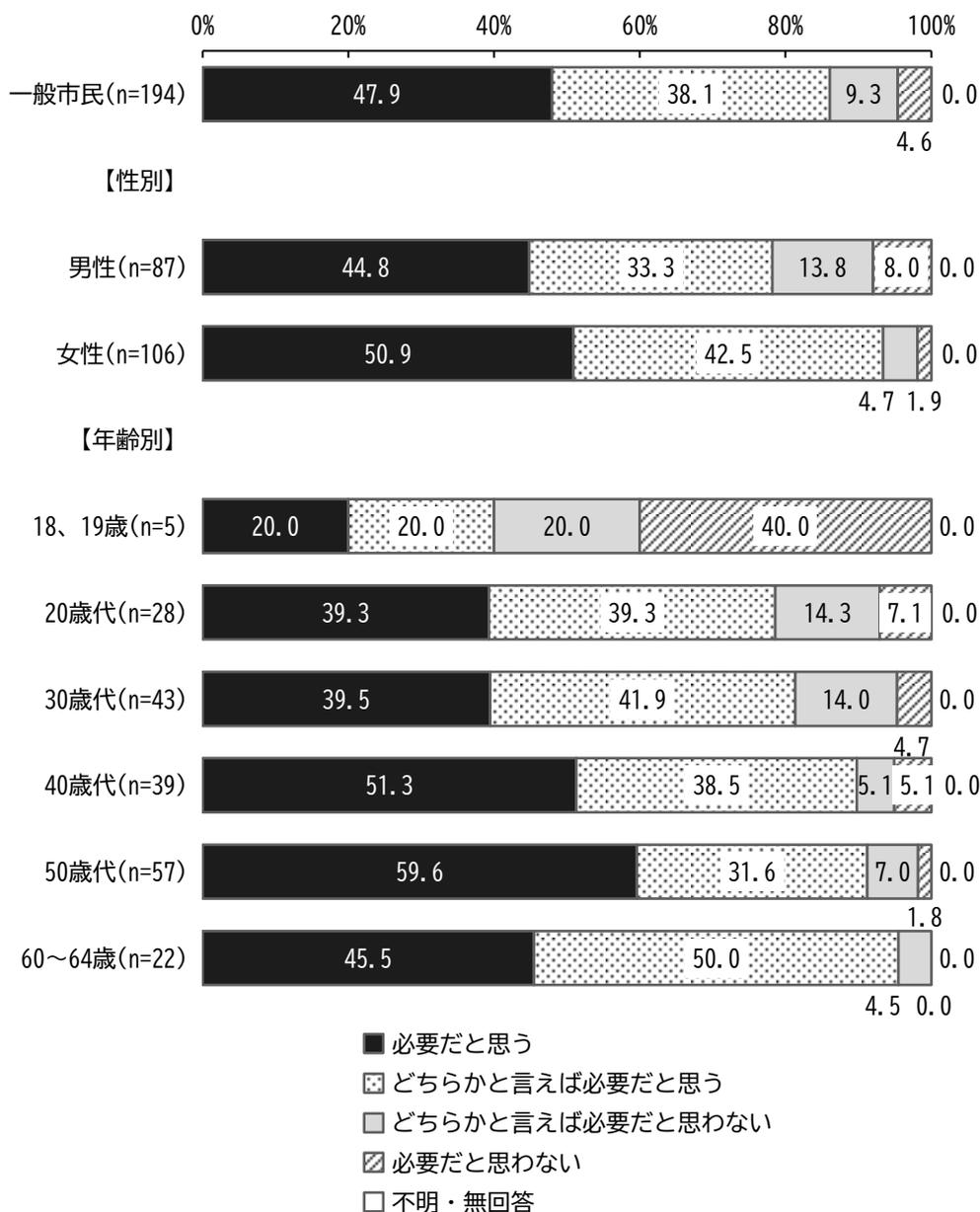
(2) 障がいの有無に関わらず共に学ぶ幼少期からの教育（インクルーシブ教育）の推進

障がいの有無に関わらず共に学ぶ幼少期からの教育（インクルーシブ教育）の推進は、『必要だと思う』が86.0%、『必要だと思わない』が13.9%となっています。

性別では、女性で『必要だと思う』が93.4%と、男性と比べて15.3ポイント高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『必要だと思う』が高くなる傾向にあり、50歳代、60～64歳でそれぞれ9割台となっています。

(単数回答)



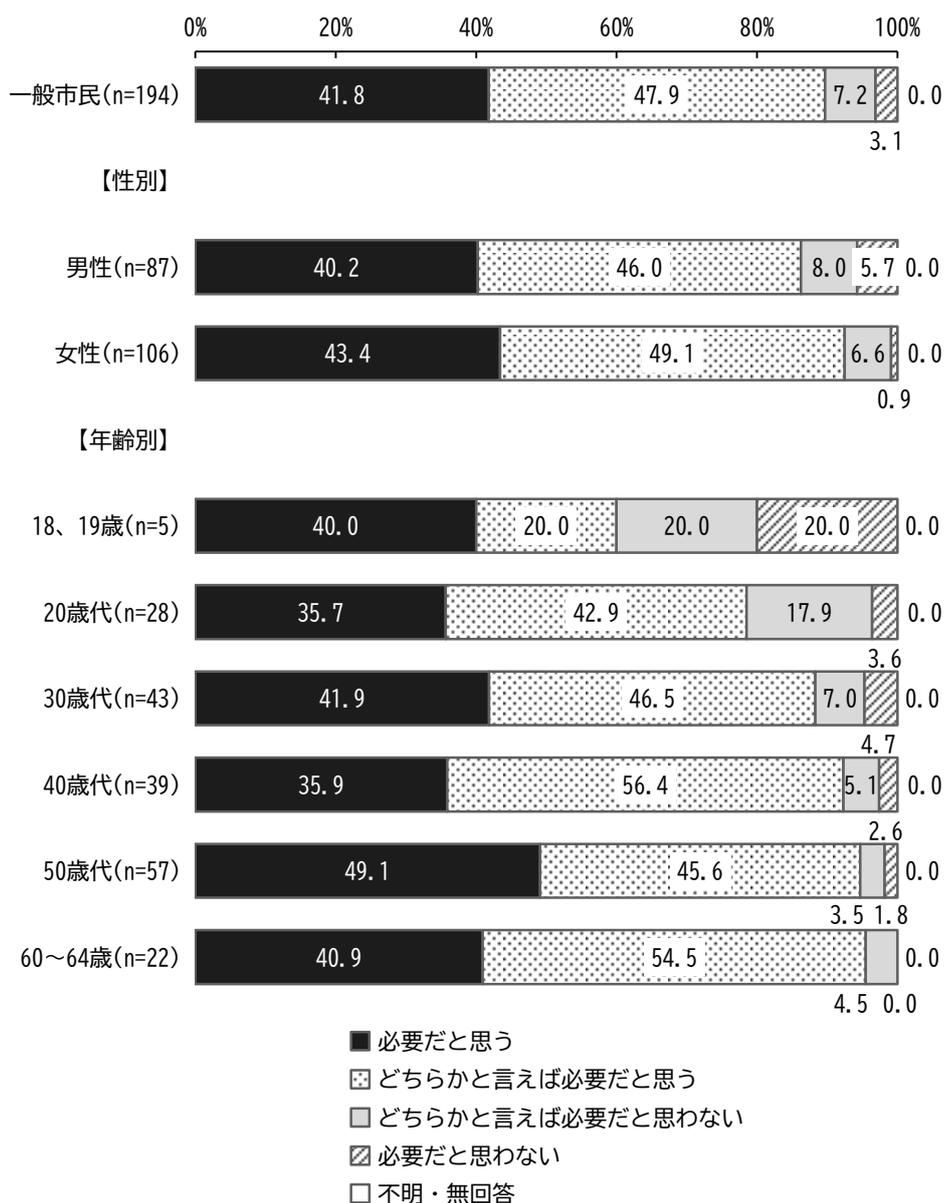
(3) 障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催

障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催は、『必要だと思う』が89.7%、『必要だと思わない』が10.3%となっています。

性別では、女性で『必要だと思う』が92.5%と、男性と比べて6.3ポイント高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『必要だと思う』が高くなる傾向にあり、40歳代、50歳代、60～64歳でそれぞれ9割台となっています。

(単数回答)



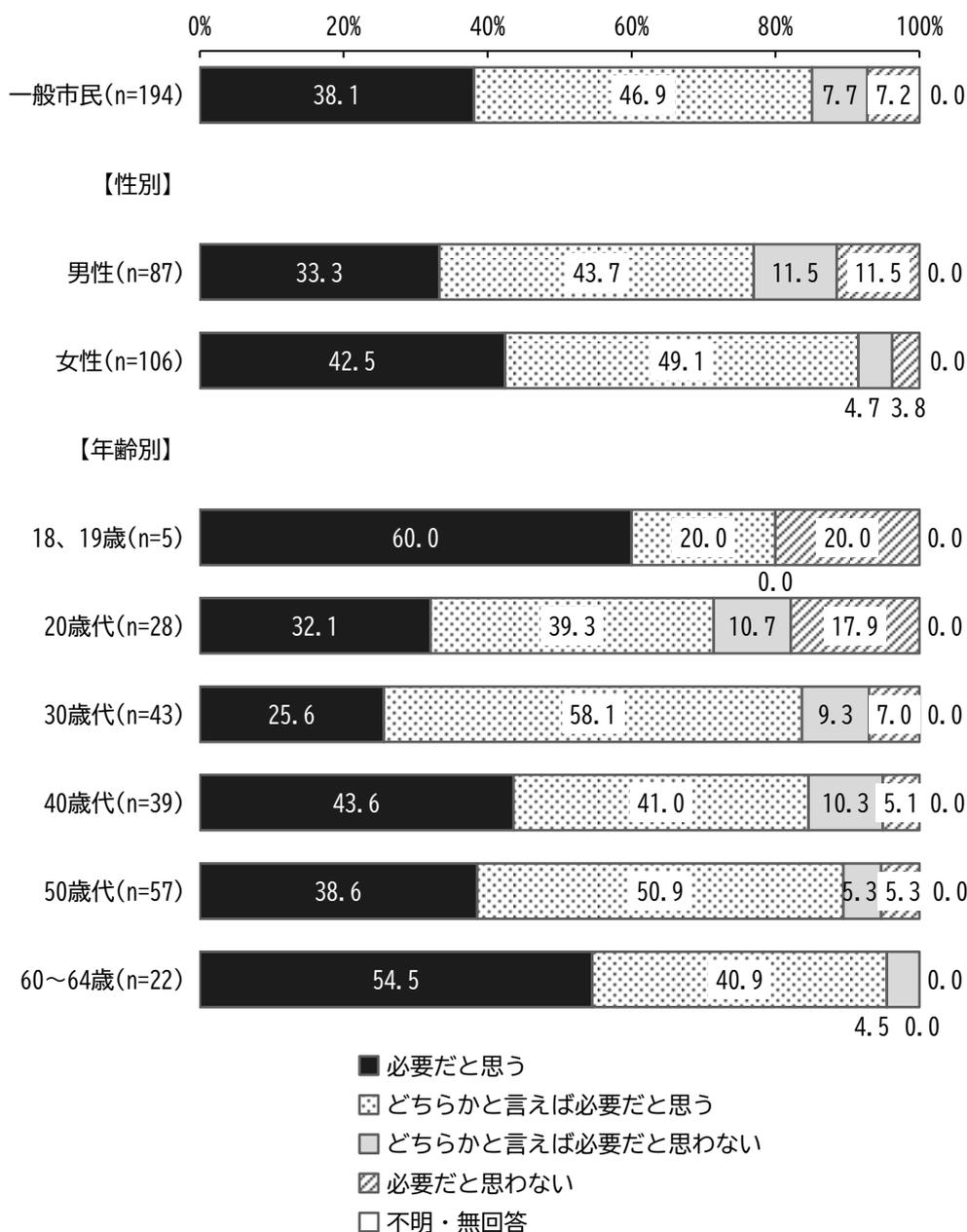
(4) ボランティア活動の促進

ボランティア活動の促進は、『必要だと思う』が85.0%、『必要だと思わない』が14.9%となっています。

性別では、女性で『必要だと思う』が91.6%と、男性と比べて14.6ポイント高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれて『必要だと思う』が高くなる傾向にあり、60～64歳で95.4%となっています。

(単数回答)

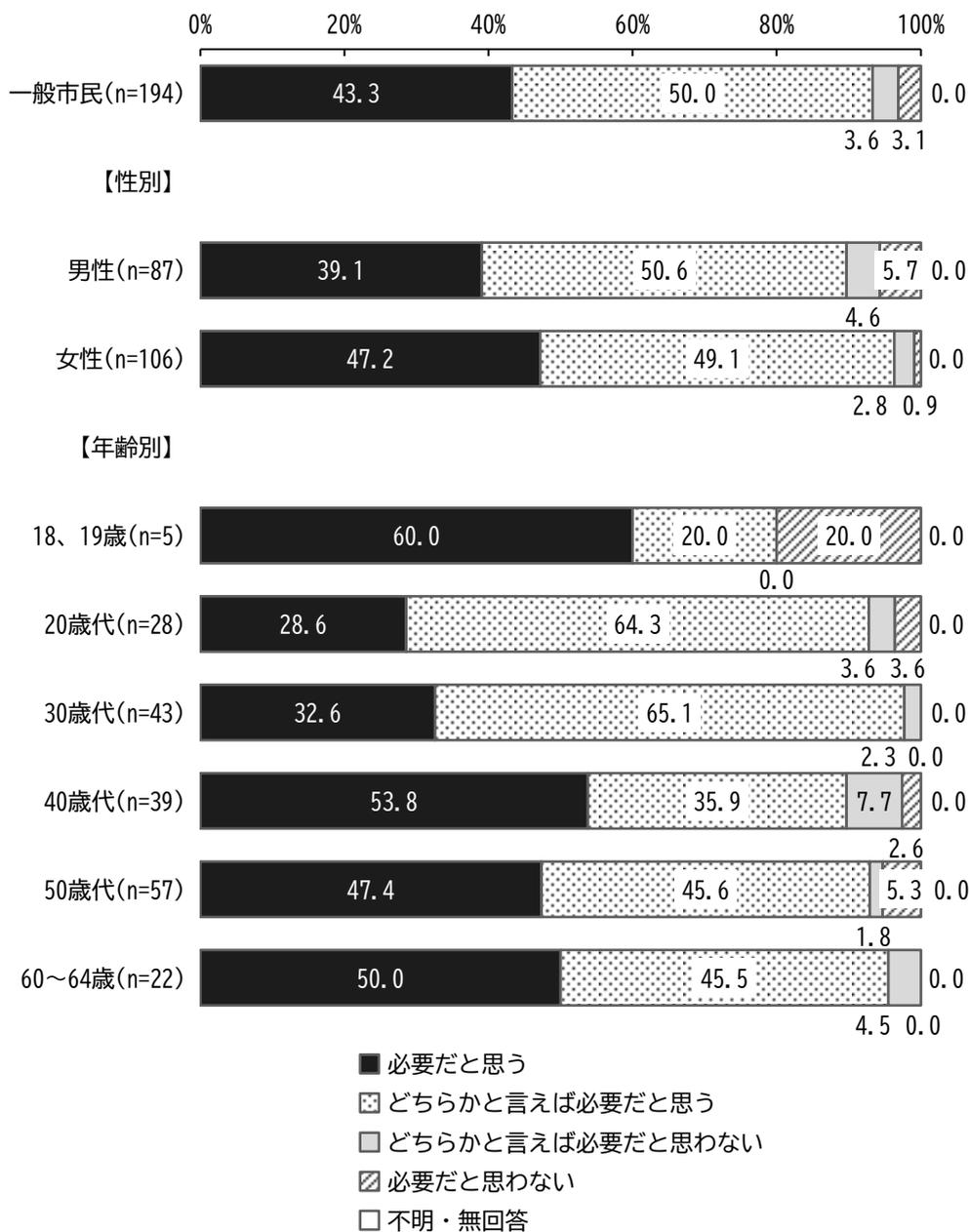


(5) 障がい理解のための広報・啓発

障がい理解のための広報・啓発は、『必要だと思う』が93.3%、『必要だと思わない』が6.7%となっています。

性別では、女性で『必要だと思う』が96.3%と、男性と比べて6.6ポイント高くなっています。年齢別では、40歳代を除いて『必要だと思う』がそれぞれ9割台となっています。

(単数回答)



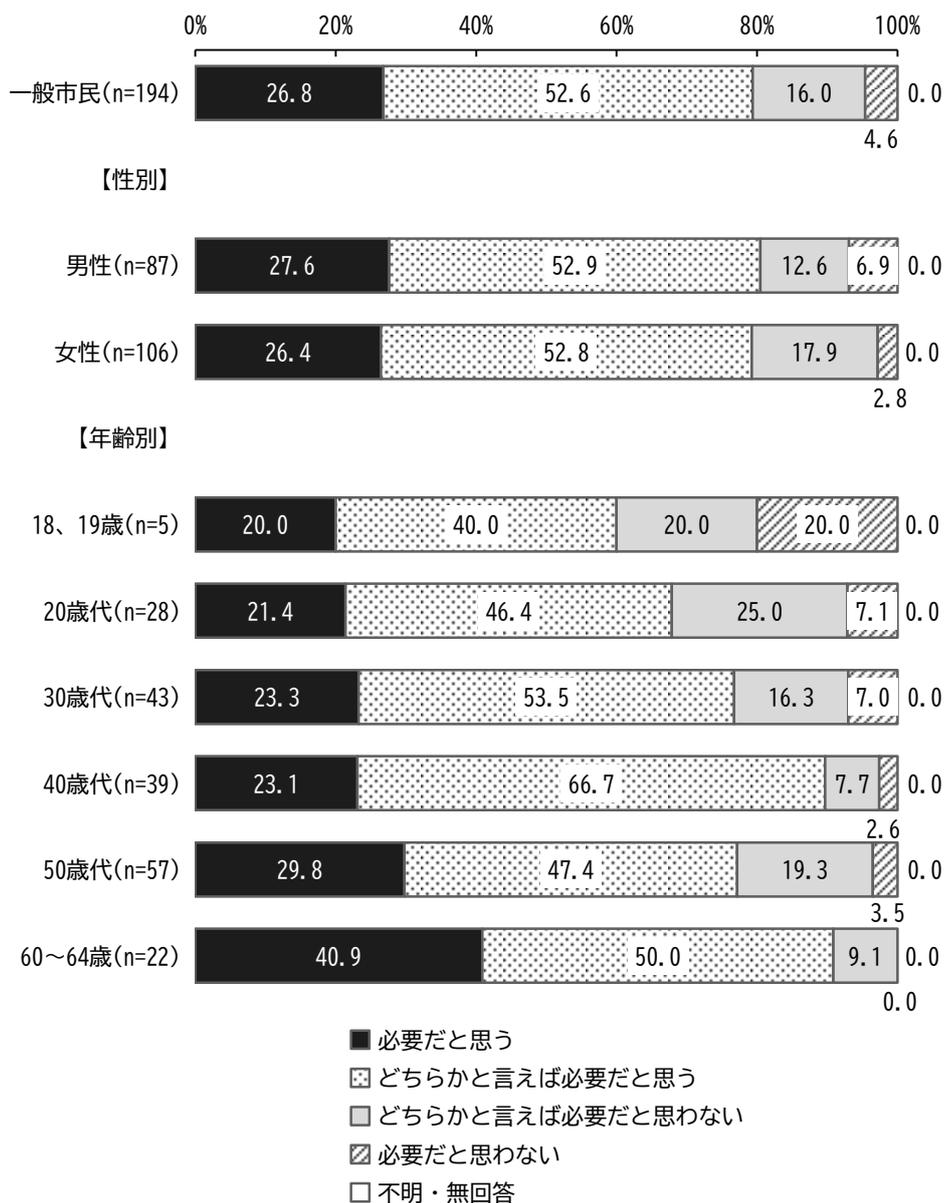
(6) 障がいのある人の施設入所から地域生活への移行

障がいのある人の施設入所から地域生活への移行は、『必要だと思う』が79.4%、『必要だと思わない』が20.6%となっています。

性別では、男性、女性ともに『必要だと思う』がそれぞれ約8割となっています。

年齢別では、40歳代、60～64歳で『必要だと思う』がそれぞれ約9割と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



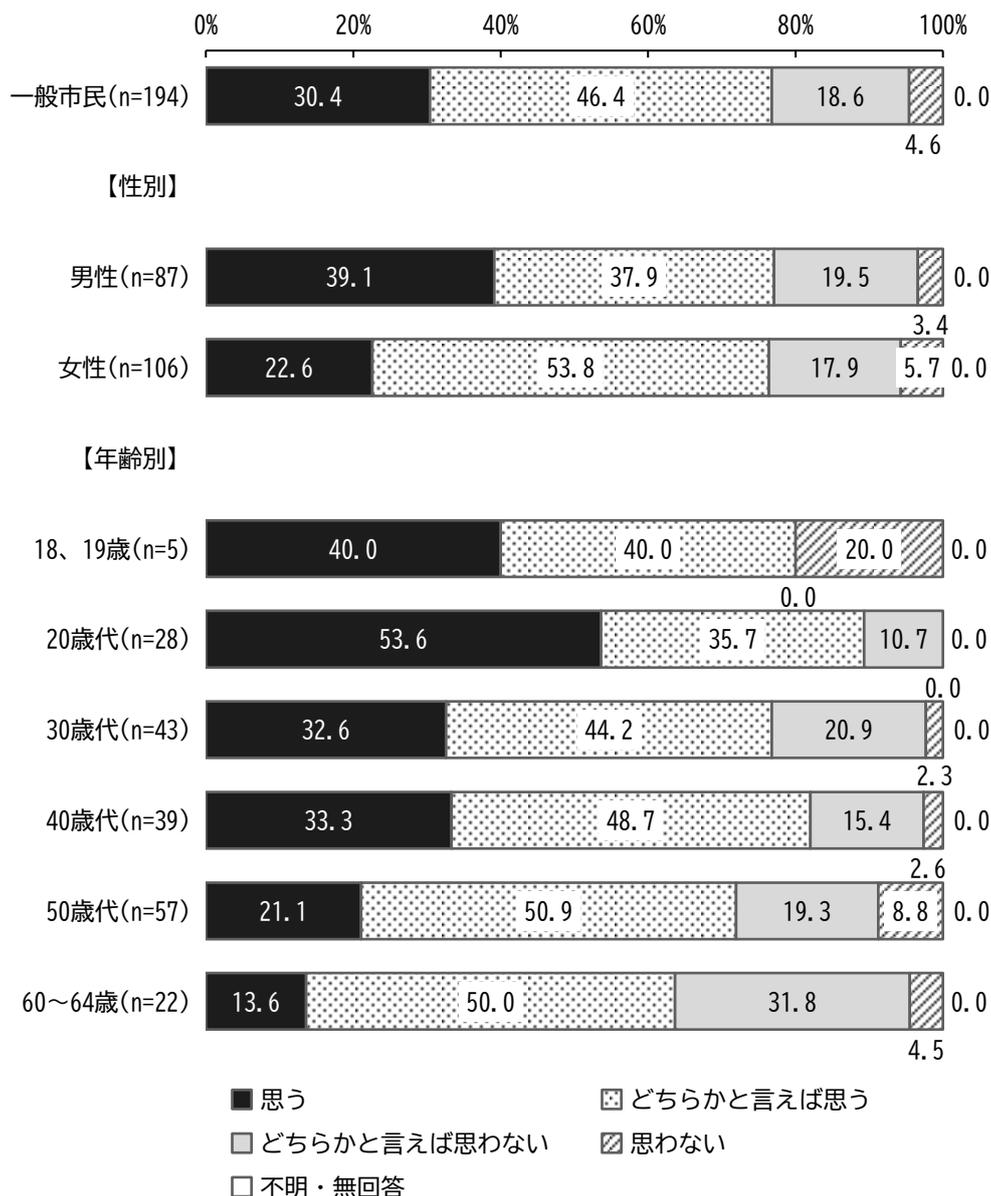
(4) 認知症になったら施設や病院で過ごした方がよい

認知症になったら施設や病院で過ごした方がよいは、『思う』が76.8%、『思わない』が23.2%となっています。

性別では、男性、女性ともに『思う』がそれぞれ7割台となっています。

年齢別では、20歳代、40歳代で『思う』がそれぞれ8割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



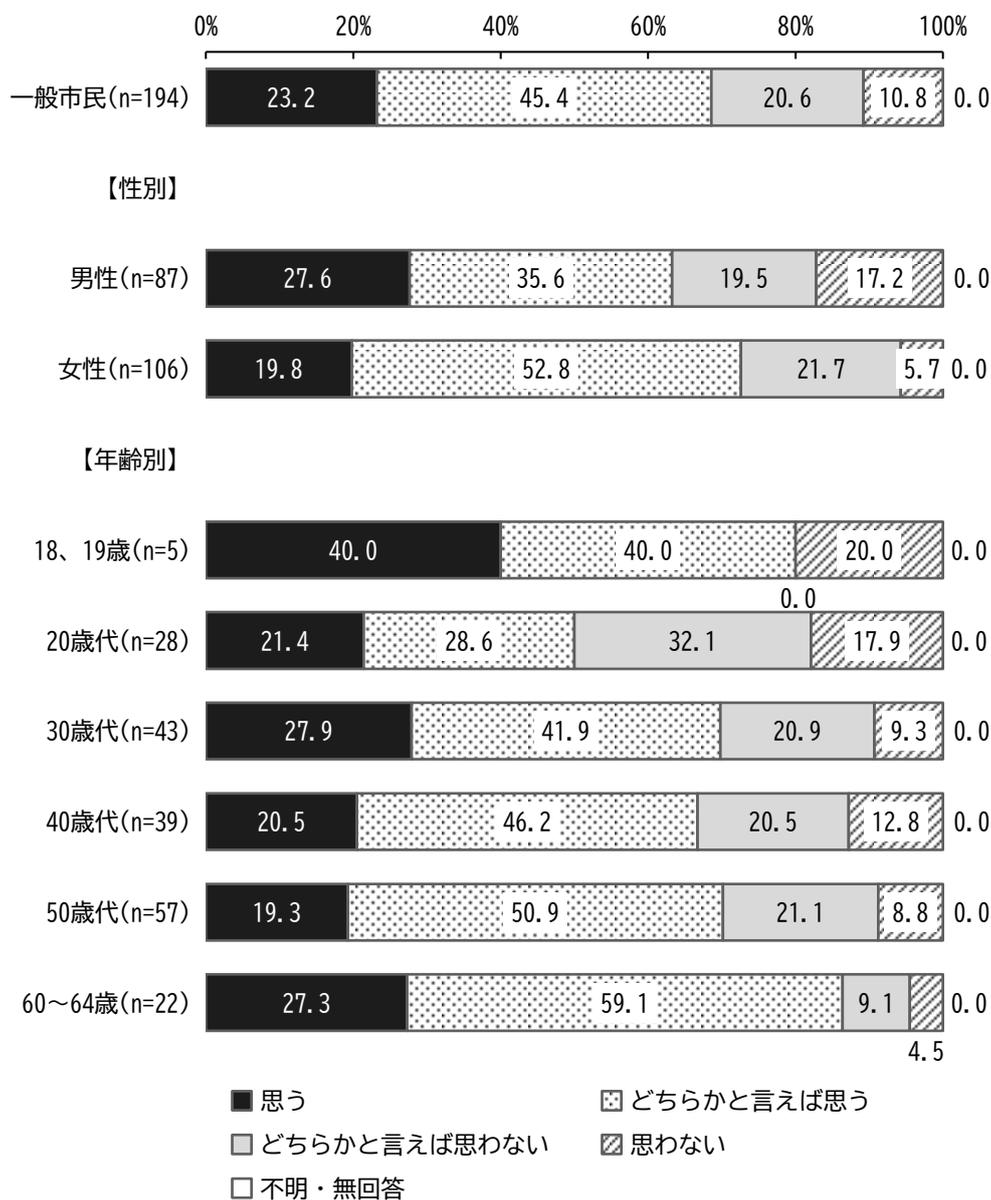
(5) 自分が認知症になっても適切な支援をうけて自立して生活したい

自分が認知症になっても適切な支援をうけて自立して生活したいは、『思う』が68.6%、『思わない』が31.4%となっています。

性別では、女性で『思う』が72.6%と、男性と比べて9.4ポイント高くなっています。

年齢別では、60～64歳で『思う』が86.4%と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



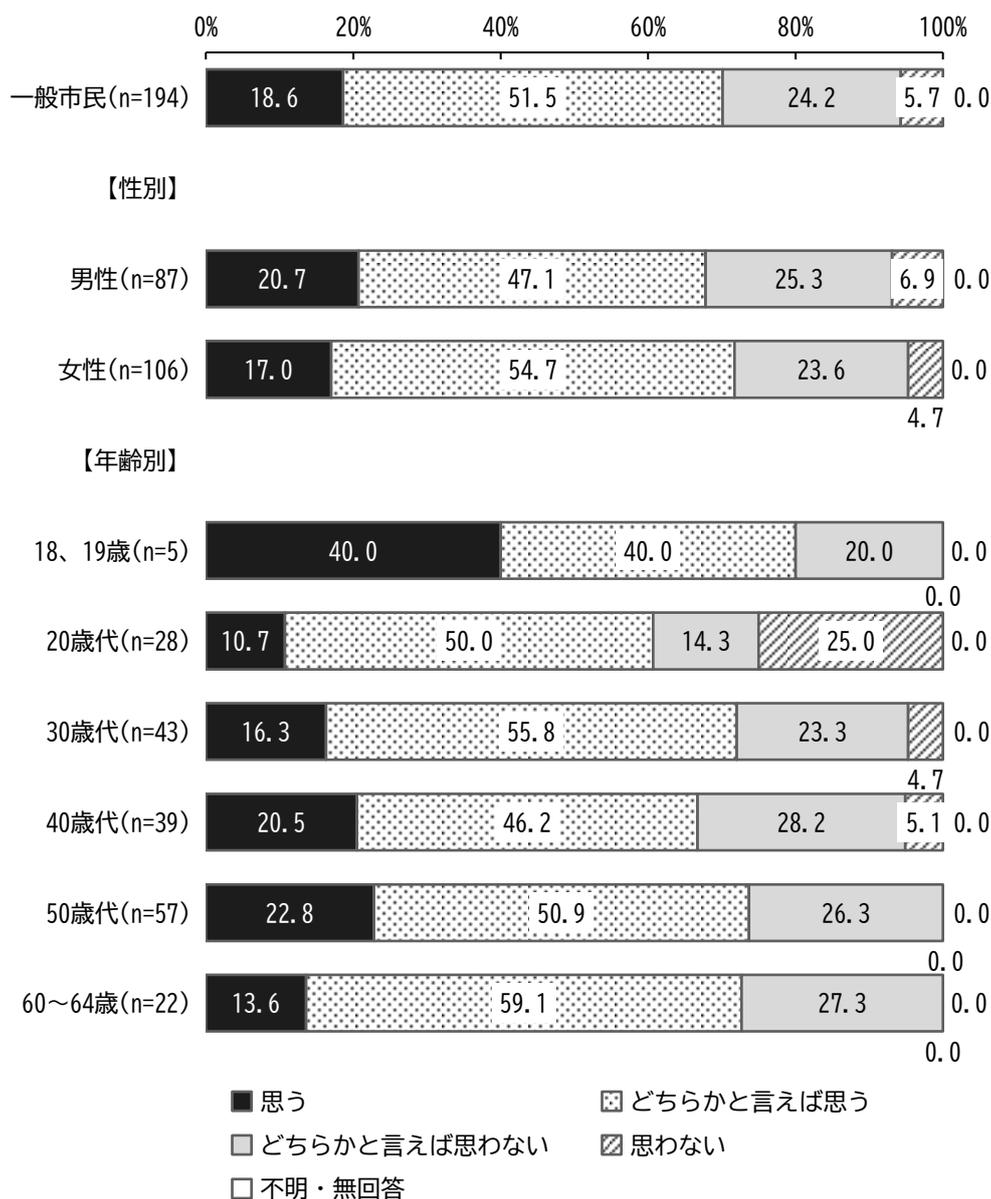
(6) 認知症の人が地域（自宅）で生活できるようにみんなで支えたい

認知症の人が地域（自宅）で生活できるようにみんなで支えたいは、『思う』が70.1%、『思わない』が29.9%となっています。

性別では、男性、女性ともに『思う』がそれぞれ約7割となっています。

年齢別では、30歳代、50歳代、60～64歳で『思う』がそれぞれ7割台と、他の年代と比べて高くなっています。

(単数回答)



春日井市 福祉に関するアンケート調査
【結果報告書】

発 行 : 春日井市

編 集 : 春日井市 健康福祉部 福祉政策課

住 所 : 〒486-8686 愛知県春日井市鳥居松町5-4-4
T E L : 0568-85-6184 F A X : 0568-84-8731

編 集 : 春日井市 健康福祉部 障がい福祉課

住 所 : 〒486-8686 愛知県春日井市鳥居松町5-4-4
T E L : 0568-85-6186 F A X : 0568-84-5764

発行年月 : 令和8年2月